

は じ め に

この冊子には、平成29年度のAセメスターに教養学部前期課程の1・2年生に対して開講される講義内容の概要（『科目紹介』）と、学年・科類・専門学部ごとの時間割（『時間割表』）が記載されています。

『科目紹介』では、時間割ごとに講義に関する情報を記載していますが、より詳しい情報は、UTAS (<https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/>) のシラバスで公開していますので、履修を検討している講義については必ず参照してください。それぞれの講義内容をよく比較して、各自履修計画を立ててください。なお、こちらは『履修の手引き』のI-4に掲載されている、(表2)「前期課程で各科類の学生が取得すべき必要最低単位数」の順に記されています。

『時間割表』は、「科類別時間割表」「総合科目等時間割表」「専門科目時間割表」に分かれています。受講するクラスが指定されている科目は、科類ごとに「科類別時間割表」に、受講するクラスが指定されていない総合科目、主題科目及び展開科目は、「総合科目等時間割表」に、各種情報が記載されています。

入学時に配付された『履修の手引き』を参照して、前期課程の修了要件を満たすためにはどの科目群からどの程度の単位の履修が必要か、進学志望の学部・学科等の要望科目・要求科目はどうなっているか、将来進むべき専門分野の基礎知識を十分につけ、あわせて幅広く深い教養を身につけるためにはどのような組み合わせで講義を履修するのがよいかなどを十分に考えて、バランスよく履修計画を立ててください。

【重要】平成26年度以前の入学者へ

平成27年度以降の入学者を対象に、教養学部前期課程の新しいカリキュラムが始まりました。本冊子に記載されている各科目の情報は、新しいカリキュラムの情報に基づいています。一方で、平成26年度以前に入学した皆さんには、入学時に配付された『履修の手引き』に記載されているカリキュラム（以下、旧カリキュラムという。）が適用されます。そのため、本冊子を利用するにあたっては、新しいカリキュラムと旧カリキュラムとの基本的な違いや、各科目の対応関係を理解しておくことが重要です。例えば、旧カリキュラムで開講されていた科目の一部は新しいカリキュラムは開講されません。その場合、新しいカリキュラムの対応する科目を履修することで、旧カリキュラムの該当科目を履修したとみなす、「科目の読み替え」を原則として行います。

こうした情報の詳細は、すでに配付した『平成26年度以前の入学者のための履修の手引き（補遺）』に記載していますので、必ずこれを熟読した上で、履修計画を立ててください。

教室の変更について

講義を受講する学生が、教室の収容人数を大幅に超え、多数の学生が椅子に座ることのできないケースが、近年目立ってきています。この問題を解決するために、教員からの教室変更の要望があり次第、随時教室の変更を行っています。

したがって、授業期間開始から履修科目確認・訂正期間終了時までは、特に掲示・UTASを確認して、教室変更の情報に十分注意してください。

また、履修科目確認・訂正期間以降についても、空調の故障等の原因により、急遽教室変更が生じることがありますので、教室変更の情報は随時確認するようにしてください。

目 次

1. 科目紹介

基礎科目

外国語	4
身体運動・健康科学実習	23
社会科学	25
人文科学	29
基礎実験	32
数理科学	34
物質科学	39
生命科学	43

展開科目

社会科学ゼミナール	44
人文科学ゼミナール	46
自然科学ゼミナール	51

総合科目

総合科目L 言語・コミュニケーション	57
総合科目A 思想・芸術	155
総合科目B 国際・地域	160
総合科目C 社会・制度	166
総合科目D 人間・環境	170
総合科目E 物質・生命	184
総合科目F 数理・情報	192

主題科目

学術フロンティア講義	199
全学自由研究ゼミナール	204
全学体験ゼミナール	234
国際研修	258

PEAK科目	263

2. 時間割表

科類別時間割表

1年文科一・二類	271
1年文科三類	274
1年理科一類	277
1年理科二・三類	280

総合科目等時間割表	283

専門科目一覧表	304

教職科目一覧表	340

専門科目時間割表	341

3. 教室配置図・地図	374

Aセメスター（A1・A2ターム）科目紹介

p.4より、Aセメスター（A1・A2ターム）に開講される科目の科目紹介（シラバス）が掲載されていますので、履修計画を立てる際の参考にしてください。シラバスは本冊子以外にも、UTASにログインの上、画面上「シラバス」メニューから「(シラバス参照)」を選択することでも参照ができます。UTAS上のシラバスは本冊子の科目紹介よりも多くの情報が掲載されていますので、履修を考えている授業については、UTAS上のシラバスも併せて参照するようにしてください。具体的には、「授業計画」「学習上のアドバイス」などの項目は、UTAS上のシラバスのみに掲載されています。

科目紹介（シラバス）例（科目ごとに掲載されている項目・情報は異なります）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
①	②	東大概論	駒場 太郎	③	④	⑤	⑥	⑦
講義題目 目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス								
⑧								

①時間割コード

それぞれの授業に割り振られている固有の番号です。UTASでシラバスを参照する際などに使用します。

②開講区分

授業が開講される期間を示します。それぞれの表示は以下の期間での開講を表します。

開講区分	正式名称	授業の開講期間
A	Aセメスター	概ね9～1月
A1	A1ターム	概ね9～11月
A2	A2ターム	概ね11～1月

授業日の詳細については、表紙裏の授業等日程を参照してください。

③所属

教養学部（総合文化研究科を含む）が開講する授業は、開講元の部会名又は学科（専攻）が掲載されています。

他学部・研究科等が開講する授業は、当該学部・研究科等の名前が掲載されています。

④曜限

授業が行われる曜限が掲載されています。「集中講義」と記載されている授業は、特定の日程や授業期間外に行われることがありますので、授業内容を確認してください。

⑤単位

当該授業に合格した場合に得られる単位数が掲載されています。当項目の掲載がない科目については、『履修の手引き』p.6に掲載されている内容に従います。

⑥教室

授業が行われる教室が掲載されています。表記と対応する号館・建物は以下のとおりです。

教室名称	建物名称
101～192	1号館
511～534	5号館
721～762	7号館
900	講堂
10-101～10-308	10号館
1101～1109	11号館
1211～1233	12号館
1311～1341	13号館

教室名称	建物名称
KALS	17号館 2階
E21～E49	情報教育棟
K101～K502（下2桁目が0）	21KOMCEE West
K011～K214（下2桁目が1）	21KOMCEE East
学際交流ホール	アドミニストレーション棟 3階
18号館ホール	18号館 1階
音楽実習室	コミュニケーションプラザ北館

駒場キャンパスの建物配置図についてはp.374を参照してください。教室欄に「シラバス参照」と記載されている授業は、上表以外の教室や駒場キャンパス以外の場所で開講される授業のため、正しい開講場所をシラバスやガイダンス等で確認してください。

また、初回のみ通常と異なる教室で行われる授業や、授業開始後に教室変更が行われる授業がありますので、シラバスや掲示板・教養学部前期課程HPのお知らせを随時確認し、実際に授業が行われる教室を正確に把握するようにしてください。

⑦対象

授業の対象となる科類やクラスが掲載されています。欄内の数字は組番号を表し、複数クラスが対象の場合は「6, 16-18, 20」のように範囲を示しています（この場合は17組も対象クラスに含みます）。「奇数」「偶数」と記載のある場合には、学生証番号末尾の数字の奇数・偶数で対象学生を示しています。本項目で指定されていない科類・クラス等に所属している学生は当該授業の履修登録を行うことができないので、注意してください。

⑧科目紹介の内容

具体的な科目紹介の内容が掲載されています。授業によっては、履修にあたっての注意点等が挿入されていることがあります。不明な点は教務課に必ず確認の上、履修登録を行うようにしてください。

英語の履修について

既修外国語の英語は各科目1単位または2単位で、計5単位の科目群であり、英語一列（教養英語）・英語二列S（アカデミック・ディスカッション）・英語二列W（アカデミック・ライティング）に分けられる（その他に総合科目L系列3単位）。

英語一列（教養英語）は共通教科書とこれに関連する音声教材を使用する習熟度別の授業である。英語二列Sも同じく習熟度別の授業であり、文科生、理科生ともFLOW(Fluency-Oriented Workshop)のプログラムにより実施する。英語二列Wは、文科生はALES(A) (Active Learning of English for Students of the Arts)、理科生はALESS(A) (Active Learning of English for Science Students)のプログラムにより実施する。

- 本冊子においては、4ページから「英語一列」「英語二列S」「英語二列W」のシラバスが掲載されている。
- 「英語一列」「英語二列S」「英語二列W」は所属クラスに応じてあらかじめ指定された授業を履修する。「英語一列」「英語二列S」は習熟度別にクラスが分けられている。
- 「英語一列」「英語二列S」「英語二列W」の3科目をそれぞれどのターム・セメスターに履修するかについては、所属クラスにより異なり、下表の4つのグループにあらかじめ分けられる。「(クラス指定総合科目L)」と記載されている部分については、総合科目L系列「英語中級」が所属クラスに対するクラス指定の授業として開講される。

所属クラス	ターム・セメスター			
	1S1	1S2	1A1	1A2
	1S		1A	
文一二 (1-3, 7, 11-12, 16, 18, 24, 26) 文三 (1-3, 10, 14-15) 理一 (1-5, 14, 22-23, 25, 34-35) 理二三 (1-4, 9-10, 15, 17, 20)	英語一列①	英語二列S	(クラス指定総合科目L)	英語一列②
	(クラス指定総合科目L)		英語二列W	
文一二 (4-6, 13, 17, 25) 文三 (4-5, 9, 18) 理一 (6-8, 15-16, 21, 24, 31-33) 理二三 (5-6, 11, 16, 21)	英語一列①	(クラス指定総合科目L)	英語二列S	英語一列②
	英語二列W		(クラス指定総合科目L)	
文一二 (9-10, 14-15, 19-20, 27) 文三 (6, 11-12, 16, 19) 理一 (9-10, 19-20, 26-28, 36-37) 理二三 (7, 13, 18, 22)	英語二列S	英語一列①	英語一列②	(クラス指定総合科目L)
	(クラス指定総合科目L)		英語二列W	
文一二 (8, 21-23, 28) 文三 (7-8, 13, 17, 20) 理一 (11-13, 17-18, 29-30, 38-39) 理二三 (8, 12, 14, 19, 23-24)	(クラス指定総合科目L)	英語一列①	英語一列②	英語二列S
	英語二列W		(クラス指定総合科目L)	

外国語（英語一列・特別クラス・特修クラス）

英語一列（教養英語）・特別クラス・特修クラス

《英語一列②（教養英語）》

目標・概要 「教養英語」は、本学教養学部英語部会教員が教養課程における英語学習のために作成した、理科生、文科生を問わず学生の知的関心に応える高度で分野横断的な内容をもつ教科書『教養英語読本』と、これに関連したリスニング教材を使用して行う授業である。リスニング教材（音声）およびスクリプトは下記「関連ホームページ」で配信する。クラスは、学生の習熟度に合わせて三段階に分かれており、それぞれのグループの学生にもっとも適した進度や授業方法を採用する。その際、全クラスで共通して学習する部分を一定量設けて試験範囲とし、これに実力問題を加えた統一定期試験を実施する。

授業の方法 ・「教養英語」が行われる時間帯には、それぞれ複数のクラスが設けられている。各クラスの教室割当は教務課掲示板に掲示する（他の語学クラスとは違うので注意すること）。
・「教養英語」では、習熟度に応じて三つのグループを設定している。

グループ1：約300名。授業は英語で行われる。指定された共通部分以外のテキストの範囲もカバーし、テキストの内容理解に加え、作文・ディスカッションなど応用的な活動も含まれる。

グループ2：約900名。授業は原則として日本語で行われる。指定された共通部分以外のテキストの範囲もカバーし、テキストの正確な読解に加え、作文・ディスカッションなど各教員の個性を生かした応用的な活動も含まれる。

グループ3：約1800名。授業は原則として日本語で行われる。指定された共通部分をカバーし、語彙・文法等を重視しながら読解力の養成を目指す、それを元にした発展的な活動を含むこともある。

・具体的な授業スケジュール（教材の選択、利用方法、必要な準備など）は、授業開始後に各クラスで教員から伝達される。

成績評価方法 定期試験（統一試験）および平常点

教科書 著者（訳者）：東京大学教養学部英語部会（編）

書名：教養英語読本Ⅰ

出版社：東京大学出版会

関連ホームページ <http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/efas/>

《英語特別クラス》

非英語圏からの留学生、及び入試の外国語を英語以外で受験した者で、かつ英語の履修を希望する者は、英語部会の許可を得て「英語特別クラス」の履修で「英語一列②」「英語二列」「総合科目Ⅱ系列 英語中級」の単位に充当することができる。履修希望者は第一週のガイダンス（日時、場所は掲示を参照）に出席すること。

《英語特修クラス（第3学期終了時点で平均合格していない進学内定者《平均点が40点以上50点未満》対象）》※2014年度以前入学者対象

すでに学んだ英語科目の授業内容を復習し、不足部分を補いつつ、英語の運用能力を高めることを目指す。詳しくはUTAS上のシラバスを参照のこと。

授業科目名	担当教員	教室	開講	曜限	対象クラス
英語一列②	教養英語担当教員	各教室	A1	火3	1年文一二（27-28）文三（19-20）理一（9-13）理二三（7-8）
				火4	1年文一二（14-15）文三（6-8）理一（36-39）理二三（22-24）
				水2	1年文一二（8-10）文三（16-17）理一（17-20）理二三（12-14）
				水3	1年文一二（19-23）文三（11-13）理一（26-30）理二三（18-19）
			A2	火3	1年文一二（24-26）文三（18）理一（1-8）理二三（1-6）
				火4	1年文一二（11-13）文三（1-5）理一（31-35）理二三（20-21）
				水2	1年文一二（1-7）文三（14-15）理一（14-16）理二三（9-11）
				水3	1年文一二（16-18）文三（9-10）理一（21-25）理二三（15-17）
英語特修	後藤 春美	151教室	A	水4	2014年度以前入学の2年生
				水5	2014年度以前入学の2年生

外国語（英語二列S）

Fluency-Oriented Workshop (FLOW)					
授業の目標・概要 The course aims to build students' confidence and ability to engage fluently and critically in a classroom discussion, to be aware of their weaknesses, and to have the tools to improve autonomously. 成績評価方法 Grades are based on active participation in class activities and on related assignments. ※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること					
時間割コード	開講	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50360	A 1	火3	DALZIEL Greg	119教室	1年 文一二(25)文三(18)理一(6-8)理二三(5-6)
50362	A 1	火3	LEE Albert	515教室	1年 文一二(25)文三(18)理一(6-8)理二三(5-6)
50363	A 1	火3	SEDDON Ryan	156教室	1年 文一二(25)文三(18)理一(6-8)理二三(5-6)
50353	A 1	火3	カズノブ ダビッド	117教室	1年 文一二(25)文三(18)理一(6-8)理二三(5-6)
50364	A 1	火3	シンドレイエーバ ガリーナ	516教室	1年 文一二(25)文三(18)理一(6-8)理二三(5-6)
50361	A 1	火3	ジェレミー レドリック	517教室	1年 文一二(25)文三(18)理一(6-8)理二三(5-6)
50350	A 1	火3	ジェームズ エリンガー	K303	1年 文一二(25)文三(18)理一(6-8)理二三(5-6)
50355	A 1	火3	テラシマ アレクサンドラ	120教室	1年 文一二(25)文三(18)理一(6-8)理二三(5-6)
50358	A 1	火3	ナオミ パーマン	K301	1年 文一二(25)文三(18)理一(6-8)理二三(5-6)
50359	A 1	火3	ハンセン キャサリン	K302	1年 文一二(25)文三(18)理一(6-8)理二三(5-6)
50352	A 1	火3	ホールマン フランシス キャンドラー	K501	1年 文一二(25)文三(18)理一(6-8)理二三(5-6)
50354	A 1	火3	マキュワン クリストファー	K401	1年 文一二(25)文三(18)理一(6-8)理二三(5-6)
50349	A 1	火3	モレノ ペナランダ ラケル	116教室	1年 文一二(25)文三(18)理一(6-8)理二三(5-6)
50351	A 1	火3	ラウレット ベネディクト	518教室	1年 文一二(25)文三(18)理一(6-8)理二三(5-6)
50356	A 1	火3	ロック ブライアン	118教室	1年 文一二(25)文三(18)理一(6-8)理二三(5-6)
50440	A 1	火4	CAREY Anne-Marie	K114	1年 文一二(13)文三(4-5)理一(31-33)理二三(21)
50431	A 1	火4	LEE Albert	515教室	1年 文一二(13)文三(4-5)理一(31-33)理二三(21)
50433	A 1	火4	ROLAND Douglas	K501	1年 文一二(13)文三(4-5)理一(31-33)理二三(21)
50434	A 1	火4	SEDDON Ryan	156教室	1年 文一二(13)文三(4-5)理一(31-33)理二三(21)
50439	A 1	火4	ウー ジン	119教室	1年 文一二(13)文三(4-5)理一(31-33)理二三(21)
50427	A 1	火4	ジェームズ エリンガー	K303	1年 文一二(13)文三(4-5)理一(31-33)理二三(21)
50436	A 1	火4	テラシマ アレクサンドラ	120教室	1年 文一二(13)文三(4-5)理一(31-33)理二三(21)
50428	A 1	火4	ナオミ パーマン	K301	1年 文一二(13)文三(4-5)理一(31-33)理二三(21)
50437	A 1	火4	ハンセン キャサリン	K302	1年 文一二(13)文三(4-5)理一(31-33)理二三(21)
50430	A 1	火4	マキュワン クリストファー	K401	1年 文一二(13)文三(4-5)理一(31-33)理二三(21)
50432	A 1	火4	マニナン ジョン	E38教室	1年 文一二(13)文三(4-5)理一(31-33)理二三(21)
50435	A 1	火4	モレノ ペナランダ ラケル	116教室	1年 文一二(13)文三(4-5)理一(31-33)理二三(21)
50426	A 1	火4	ラウレット ベネディクト	518教室	1年 文一二(13)文三(4-5)理一(31-33)理二三(21)
50429	A 1	火4	沈 尚玉	10-202	1年 文一二(13)文三(4-5)理一(31-33)理二三(21)
50567	A 1	水2	BUENO Alex	103教室	1年 文一二(4-6)理一(15-16)理二三(11)
50568	A 1	水2	CAREY Anne-Marie	K401	1年 文一二(4-6)理一(15-16)理二三(11)
50565	A 1	水2	DALZIEL Greg	119教室	1年 文一二(4-6)理一(15-16)理二三(11)

時間割コード	開講	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50558	A 1	水2	DIANA Kartika	114教室	1年 文一(4-6)理一(15-16)理二三(11)
50559	A 1	水2	ウー ジン	K301	1年 文一(4-6)理一(15-16)理二三(11)
50562	A 1	水2	カズノブ ダビッド	117教室	1年 文一(4-6)理一(15-16)理二三(11)
50556	A 1	水2	シンドレイエーバ ガリーナ	516教室	1年 文一(4-6)理一(15-16)理二三(11)
50564	A 1	水2	ジェレミー レドリック	118教室	1年 文一(4-6)理一(15-16)理二三(11)
50566	A 1	水2	ネルソン シャリティー	120教室	1年 文一(4-6)理一(15-16)理二三(11)
50569	A 1	水2	フルカワ ギャヴィン	10-304	1年 文一(4-6)理一(15-16)理二三(11)
50561	A 1	水2	モレノ ペナランダ ラケル	116教室	1年 文一(4-6)理一(15-16)理二三(11)
50557	A 1	水2	ロック ブライアン	K302	1年 文一(4-6)理一(15-16)理二三(11)
50563	A 1	水2	沈 尚玉	115教室	1年 文一(4-6)理一(15-16)理二三(11)
50645	A 1	水3	BUENO Alex	103教室	1年 文一(17)文三(9)理一(21,24)理二三(16)
50633	A 1	水3	CAREY Anne-Marie	K401	1年 文一(17)文三(9)理一(21,24)理二三(16)
50642	A 1	水3	DALZIEL Greg	119教室	1年 文一(17)文三(9)理一(21,24)理二三(16)
50637	A 1	水3	DIANA Kartika	114教室	1年 文一(17)文三(9)理一(21,24)理二三(16)
50641	A 1	水3	LEE Albert	116教室	1年 文一(17)文三(9)理一(21,24)理二三(16)
50646	A 1	水3	SEDDON Ryan	534教室	1年 文一(17)文三(9)理一(21,24)理二三(16)
50643	A 1	水3	カズノブ ダビッド	117教室	1年 文一(17)文三(9)理一(21,24)理二三(16)
50635	A 1	水3	シンドレイエーバ ガリーナ	K303	1年 文一(17)文三(9)理一(21,24)理二三(16)
50632	A 1	水3	ジェレミー レドリック	118教室	1年 文一(17)文三(9)理一(21,24)理二三(16)
50638	A 1	水3	ネルソン シャリティー	120教室	1年 文一(17)文三(9)理一(21,24)理二三(16)
50634	A 1	水3	モレノ ペナランダ ラケル	10-102	1年 文一(17)文三(9)理一(21,24)理二三(16)
50639	A 1	水3	ラウレット ベネディクト	517教室	1年 文一(17)文三(9)理一(21,24)理二三(16)
50636	A 1	水3	ロック ブライアン	K302	1年 文一(17)文三(9)理一(21,24)理二三(16)
50640	A 1	水3	沈 尚玉	115教室	1年 文一(17)文三(9)理一(21,24)理二三(16)
60041	A 2	火3	DALZIEL Greg	119教室	1年 文一(28)文三(20)理一(11-13)理二三(8)
60035	A 2	火3	LEE Albert	515教室	1年 文一(28)文三(20)理一(11-13)理二三(8)
60046	A 2	火3	SEDDON Ryan	156教室	1年 文一(28)文三(20)理一(11-13)理二三(8)
60032	A 2	火3	カズノブ ダビッド	117教室	1年 文一(28)文三(20)理一(11-13)理二三(8)
60037	A 2	火3	シンドレイエーバ ガリーナ	516教室	1年 文一(28)文三(20)理一(11-13)理二三(8)
60043	A 2	火3	ジェレミー レドリック	517教室	1年 文一(28)文三(20)理一(11-13)理二三(8)
60034	A 2	火3	ジェームズ エリンガー	K303	1年 文一(28)文三(20)理一(11-13)理二三(8)
60045	A 2	火3	テラシマ アレクサンドラ	120教室	1年 文一(28)文三(20)理一(11-13)理二三(8)
60033	A 2	火3	ナオミ バーマン	K301	1年 文一(28)文三(20)理一(11-13)理二三(8)
60039	A 2	火3	ハンセン キャサリン	K302	1年 文一(28)文三(20)理一(11-13)理二三(8)
60038	A 2	火3	ホールマン フランシス キャンドラー	K501	1年 文一(28)文三(20)理一(11-13)理二三(8)
60044	A 2	火3	マキュワン クリストファー	K401	1年 文一(28)文三(20)理一(11-13)理二三(8)
60042	A 2	火3	モレノ ペナランダ ラケル	116教室	1年 文一(28)文三(20)理一(11-13)理二三(8)
60040	A 2	火3	ラウレット ベネディクト	518教室	1年 文一(28)文三(20)理一(11-13)理二三(8)

時間割コード	開講	曜限	担当教員	教室	対象クラス
60047	A 2	火3	ロック ブライアン	118教室	1年 文一二(28)文三(20)理一(11-13)理二三(8)
60092	A 2	火4	CAREY Anne-Marie	K114	1年 文三(7-8)理一(38-39)理二三(23-24)
60082	A 2	火4	LEE Albert	515教室	1年 文三(7-8)理一(38-39)理二三(23-24)
60086	A 2	火4	ROLAND Douglas	K501	1年 文三(7-8)理一(38-39)理二三(23-24)
60084	A 2	火4	SEDDON Ryan	156教室	1年 文三(7-8)理一(38-39)理二三(23-24)
60093	A 2	火4	ウー ジン	119教室	1年 文三(7-8)理一(38-39)理二三(23-24)
60080	A 2	火4	ジェームズ エリンガー	K303	1年 文三(7-8)理一(38-39)理二三(23-24)
60087	A 2	火4	テラシマ アレクサンドラ	120教室	1年 文三(7-8)理一(38-39)理二三(23-24)
60094	A 2	火4	ナオミ バーマン	K301	1年 文三(7-8)理一(38-39)理二三(23-24)
60083	A 2	火4	ハンセン キャサリン	K302	1年 文三(7-8)理一(38-39)理二三(23-24)
60088	A 2	火4	マキュワン クリストファー	K401	1年 文三(7-8)理一(38-39)理二三(23-24)
60089	A 2	火4	マニナン ジョン	E38教室	1年 文三(7-8)理一(38-39)理二三(23-24)
60090	A 2	火4	モレノ ペナランダ ラケル	116教室	1年 文三(7-8)理一(38-39)理二三(23-24)
60091	A 2	火4	ラウレット ベネディクト	518教室	1年 文三(7-8)理一(38-39)理二三(23-24)
60081	A 2	火4	沈 尚玉	10-202	1年 文三(7-8)理一(38-39)理二三(23-24)
60119	A 2	水2	BUENO Alex	103教室	1年 文一二(8)文三(17)理一(17-18)理二三(12,14)
60122	A 2	水2	CAREY Anne-Marie	K401	1年 文一二(8)文三(17)理一(17-18)理二三(12,14)
60116	A 2	水2	DALZIEL Greg	119教室	1年 文一二(8)文三(17)理一(17-18)理二三(12,14)
60112	A 2	水2	DIANA Kartika	114教室	1年 文一二(8)文三(17)理一(17-18)理二三(12,14)
60114	A 2	水2	ウー ジン	K301	1年 文一二(8)文三(17)理一(17-18)理二三(12,14)
60123	A 2	水2	カズノブ ダビッド	117教室	1年 文一二(8)文三(17)理一(17-18)理二三(12,14)
60113	A 2	水2	シンドレイエーバ ガリーナ	516教室	1年 文一二(8)文三(17)理一(17-18)理二三(12,14)
60111	A 2	水2	ジェレミー レドリック	118教室	1年 文一二(8)文三(17)理一(17-18)理二三(12,14)
60110	A 2	水2	ネルソン シャリティー	120教室	1年 文一二(8)文三(17)理一(17-18)理二三(12,14)
60117	A 2	水2	フルカワ ギャヴィン	10-304	1年 文一二(8)文三(17)理一(17-18)理二三(12,14)
60120	A 2	水2	モレノ ペナランダ ラケル	116教室	1年 文一二(8)文三(17)理一(17-18)理二三(12,14)
60121	A 2	水2	ロック ブライアン	K302	1年 文一二(8)文三(17)理一(17-18)理二三(12,14)
60115	A 2	水2	沈 尚玉	115教室	1年 文一二(8)文三(17)理一(17-18)理二三(12,14)
60168	A 2	水3	BUENO Alex	103教室	1年 文一二(21-23)文三(13)理一(29-30)理二三(19)
60170	A 2	水3	CAREY Anne-Marie	K401	1年 文一二(21-23)文三(13)理一(29-30)理二三(19)
60162	A 2	水3	DALZIEL Greg	119教室	1年 文一二(21-23)文三(13)理一(29-30)理二三(19)
60164	A 2	水3	DIANA Kartika	114教室	1年 文一二(21-23)文三(13)理一(29-30)理二三(19)
60161	A 2	水3	LEE Albert	116教室	1年 文一二(21-23)文三(13)理一(29-30)理二三(19)
60169	A 2	水3	SEDDON Ryan	534教室	1年 文一二(21-23)文三(13)理一(29-30)理二三(19)
60158	A 2	水3	カズノブ ダビッド	117教室	1年 文一二(21-23)文三(13)理一(29-30)理二三(19)
60167	A 2	水3	シンドレイエーバ ガリーナ	K303	1年 文一二(21-23)文三(13)理一(29-30)理二三(19)
60157	A 2	水3	ジェレミー レドリック	118教室	1年 文一二(21-23)文三(13)理一(29-30)理二三(19)
60165	A 2	水3	ネルソン シャリティー	120教室	1年 文一二(21-23)文三(13)理一(29-30)理二三(19)

時間割コード	開講	曜限	担当教員	教室	対象クラス
60163	A 2	水3	モレノ ペナランダ ラケル	10-102	1年 文一ニ(21-23)文三(13)理一(29-30)理二三(19)
60171	A 2	水3	ラウレット ベネディクト	517教室	1年 文一ニ(21-23)文三(13)理一(29-30)理二三(19)
60166	A 2	水3	ロック プライアン	K302	1年 文一ニ(21-23)文三(13)理一(29-30)理二三(19)
60160	A 2	水3	沈 尚玉	115教室	1年 文一ニ(21-23)文三(13)理一(29-30)理二三(19)

外国語（英語二列W）

Active Learning of English for Students of the Arts (ALESA)		開講区分	A
目標・概要	This course introduces students to the skill of building an effective written argument in English supported by sources and evidence and to the conventions of formal writing. By the end of the course, students will: - be able to present a clear position which is supported by evidence and addresses alternative points of view; - understand the organisation and rhetorical features of an argumentative essay; - be familiar with basic stylistic conventions of academic writing. 履修については、指定された曜限の中でクラスが自動的に割り当てられます。クラスの割り当てについては、UTASまたは掲示板で確認し、第一回授業から指定されたクラスの教室で受講してください。		
授業の方法	Class activities will include reading and analyzing argumentative writing in English; developing a position on an issue on the basis of individual research; engaging in a variety of pre-writing exercises; drafting and revising an essay; and using peer feedback to improve students' own and others' work in discussion and written comments. The class is taught in English, and students are encouraged to speak English in class. Graduate-student teaching assistants are available in the Komaba Writers' Studio to help students with their research, writing, and discussion.		
成績評価方法	Grades are based on writing assignments, discussion, and participation in class activities.		
関連ホームページ	http://ale.c.u-tokyo.ac.jp/		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること			

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50024	月2	BUENO Alex	118教室	1年 文一二(1-3,26-27)文三(1-3,12,19)
50023	月2	DIANA Kartika	114教室	1年 文一二(1-3,26-27)文三(1-3,12,19)
50016	月2	カズノブ ダビッド	117教室	1年 文一二(1-3,26-27)文三(1-3,12,19)
50021	月2	テラシマ アレクサンドラ	120教室	1年 文一二(1-3,26-27)文三(1-3,12,19)
50018	月2	ナオミ バーマン	K301	1年 文一二(1-3,26-27)文三(1-3,12,19)
50019	月2	ネルソン シャリティー	115教室	1年 文一二(1-3,26-27)文三(1-3,12,19)
50022	月2	ハンセン キャサリン	K302	1年 文一二(1-3,26-27)文三(1-3,12,19)
50020	月2	沈 尚玉	116教室	1年 文一二(1-3,26-27)文三(1-3,12,19)
50017	月2	野沢 恵美子	515教室	1年 文一二(1-3,26-27)文三(1-3,12,19)
50244	火1	BUENO Alex	10-202	1年 文三(14-15)
50242	火1	DIANA Kartika	114教室	1年 文三(14-15)
50245	火1	カズノブ ダビッド	117教室	1年 文三(14-15)
50246	火1	フルカワ ギャヴィン	10-102	1年 文三(14-15)
50334	火3	DIANA Karika	114教室	1年 文一二(7)
50333	火3	沈 尚玉	10-102	1年 文一二(7)
50411	火4	BUENO Alex	517教室	1年 文一二(10,20)
50412	火4	DALZIEL Greg	117教室	1年 文一二(10,20)
50416	火4	ジェレミー レドリック	534教室	1年 文一二(10,20)
50414	火4	フルカワ ギャヴィン	10-102	1年 文一二(10,20)
50415	火4	ロック ブライアン	118教室	1年 文一二(10,20)
50787	木2	BUENO Alex	115教室	1年 文一二(9)
50786	木2	DIANA Kartika	114教室	1年 文一二(9)
50856	木3	BUENO Alex	115教室	1年 文一二(18-19,24)文三(6,16)
50865	木3	DALZIEL Greg	516教室	1年 文一二(18-19,24)文三(6,16)

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50863	木3	DIANA Kartika	116教室	1年 文一二(18-19,24)文三(6,16)
50861	木3	テラシマ アレクサンドラ	120教室	1年 文一二(18-19,24)文三(6,16)
50859	木3	ナオミ バーマン	K201	1年 文一二(18-19,24)文三(6,16)
50854	木3	ネルソン シャリティー	114教室	1年 文一二(18-19,24)文三(6,16)
50855	木3	ハンセン キャサリン	K302	1年 文一二(18-19,24)文三(6,16)
50857	木3	フルカワ ギャヴィン	10-102	1年 文一二(18-19,24)文三(6,16)
50858	木3	マニナン ジョン	E25教室	1年 文一二(18-19,24)文三(6,16)
50862	木3	ロック ブライアン	K301	1年 文一二(18-19,24)文三(6,16)
50864	木3	野沢 恵美子	515教室	1年 文一二(18-19,24)文三(6,16)
50981	金1	DALZIEL Greg	10-202	1年 文一二(11-12,14)文三(10)
50978	金1	ジェレミー レドリック	117教室	1年 文一二(11-12,14)文三(10)
50983	金1	ナオミ バーマン	K201	1年 文一二(11-12,14)文三(10)
50979	金1	ネルソン シャリティー	114教室	1年 文一二(11-12,14)文三(10)
50977	金1	マニナン ジョン	E25教室	1年 文一二(11-12,14)文三(10)
50984	金1	ロック ブライアン	K301	1年 文一二(11-12,14)文三(10)
50980	金1	沈 尚玉	10-102	1年 文一二(11-12,14)文三(10)
50982	金1	野沢 恵美子	515教室	1年 文一二(11-12,14)文三(10)
51062	金3	DALZIEL Greg	10-202	1年 文一二(15-16)文三(11)
51066	金3	カズノブ ダビッド	118教室	1年 文一二(15-16)文三(11)
51065	金3	ジェレミー レドリック	117教室	1年 文一二(15-16)文三(11)
51064	金3	ネルソン シャリティー	114教室	1年 文一二(15-16)文三(11)
51061	金3	ロック ブライアン	K301	1年 文一二(15-16)文三(11)
51060	金3	沈 尚玉	10-102	1年 文一二(15-16)文三(11)

外国語（英語二列W）

Active Learning of English for Science Students (ALESS)		開講区分	A
授業の目標・概要	In this course, students learn about formal scientific writing and style in English; the organization, language, and rhetoric of scientific papers; and the process of writing and preparing formal papers through peer review and revision.		
	履修については、指定された曜限の中でクラスが自動的に割り当てられます。クラスの割り当てについてはUTASまたは掲示板で確認し、第一回授業から指定されたクラスの教室で受講してください。		
成績評価方法	Grades are based on writing a research paper, giving a presentation, weekly written assignments, and on participation in class activities.		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること			

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50050	月2	ROLAND Douglas	K401	1年 理一(1-4,35-36)
50046	月2	サーギル ジェームズ クリストファー	119教室	1年 理一(1-4,35-36)
50048	月2	シンドレイエーバ ガリーナ	516教室	1年 理一(1-4,35-36)
50049	月2	タヴァレス ヴァスケス ジェーゴ	KALS(17号館2階)	1年 理一(1-4,35-36)
50045	月2	ホールマン フランシス キャンドラー	K501	1年 理一(1-4,35-36)
50051	月2	マキュワン クリストファー	517教室	1年 理一(1-4,35-36)
50044	月2	モレノ ペナランダ ラケル	10-102	1年 理一(1-4,35-36)
50052	月2	ラウレット ベネディクト	518教室	1年 理一(1-4,35-36)
50109	月3	CAREY Anne-Marie	116教室	1年 理一(22-23,25-28,34,37)
50103	月3	LEE Albert	10-202	1年 理一(22-23,25-28,34,37)
50105	月3	ROLAND Douglas	K401	1年 理一(22-23,25-28,34,37)
50106	月3	SEDDON Ryan	114教室	1年 理一(22-23,25-28,34,37)
50110	月3	ウー ジン	K303	1年 理一(22-23,25-28,34,37)
50099	月3	カズノブ ダビッド	117教室	1年 理一(22-23,25-28,34,37)
50101	月3	シンドレイエーバ ガリーナ	516教室	1年 理一(22-23,25-28,34,37)
50098	月3	ジェームズ エリンガー	K301	1年 理一(22-23,25-28,34,37)
50096	月3	タヴァレス ヴァスケス ジェーゴ	KALS(17号館2階)	1年 理一(22-23,25-28,34,37)
50108	月3	ホールマン フランシス キャンドラー	K501	1年 理一(22-23,25-28,34,37)
50107	月3	マキュワン クリストファー	517教室	1年 理一(22-23,25-28,34,37)
50097	月3	マニナン ジョン	K201	1年 理一(22-23,25-28,34,37)
50104	月3	モレノ ペナランダ ラケル	10-102	1年 理一(22-23,25-28,34,37)
50095	月3	ラウレット ベネディクト	518教室	1年 理一(22-23,25-28,34,37)
50102	月3	笹山 尚子	115教室	1年 理一(22-23,25-28,34,37)
50166	月4	CAREY Anne-Marie	116教室	1年 理一(19)理二三(13,15)
50167	月4	LEE Albert	10-202	1年 理一(19)理二三(13,15)
50164	月4	SEDDON Ryan	114教室	1年 理一(19)理二三(13,15)
50162	月4	ウー ジン	K401	1年 理一(19)理二三(13,15)
50168	月4	ジェームズ エリンガー	K301	1年 理一(19)理二三(13,15)
50165	月4	ハンセン キャサリン	K302	1年 理一(19)理二三(13,15)
50161	月4	笹山 尚子	115教室	1年 理一(19)理二三(13,15)

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50251	火1	CAREY Anne-Marie	115教室	1年 理二三(17-18)
50254	火1	ROLAND Douglas	K401	1年 理二三(17-18)
50253	火1	シンドレイエーバ ガリーナ	516教室	1年 理二三(17-18)
50250	火1	ホールマン フランシス キャンドラー	K501	1年 理二三(17-18)
50252	火1	笹山 尚子	116教室	1年 理二三(17-18)
50516	水1	LEE Albert	10-103	1年 理一(5,9-10)
50518	水1	SEDDON Ryan	115教室	1年 理一(5,9-10)
50514	水1	ウー ジン	K301	1年 理一(5,9-10)
50521	水1	ジェームズ エリンガー	K501	1年 理一(5,9-10)
50520	水1	タヴァレス ヴァスケス ジェーゴ	K201	1年 理一(5,9-10)
50515	水1	フルカワ ギャヴィン	10-102	1年 理一(5,9-10)
50519	水1	マキュワン クリストファー	K302	1年 理一(5,9-10)
50513	水1	ラウレット ベネディクト	518教室	1年 理一(5,9-10)
50811	木2	ウー ジン	K303	1年 理一(14,20)理二三(20)
50810	木2	シンドレイエーバ ガリーナ	516教室	1年 理一(14,20)理二三(20)
50809	木2	ジェームズ エリンガー	K301	1年 理一(14,20)理二三(20)
50814	木2	ハンセン キャサリン	K302	1年 理一(14,20)理二三(20)
50813	木2	フルカワ ギャヴィン	10-202	1年 理一(14,20)理二三(20)
50816	木2	マニナン ジョン	KALS(17号館2階)	1年 理一(14,20)理二三(20)
50812	木2	モレノ ペナランダ ラケル	10-102	1年 理一(14,20)理二三(20)
51092	金3	ROLAND Douglas	K402	1年 理二三(9-10)
51091	金3	SEDDON Ryan	515教室	1年 理二三(9-10)
51094	金3	テラシマ アレクサンドラ	120教室	1年 理二三(9-10)
51095	金3	ナオミ バーマン	K201	1年 理二三(9-10)
51090	金3	ホールマン フランシス キャンドラー	K401	1年 理二三(9-10)
51138	金4	LEE Albert	10-202	1年 理二三(1-4,7,22)
51142	金4	SEDDON Ryan	515教室	1年 理二三(1-4,7,22)
51145	金4	ハンセン キャサリン	K302	1年 理二三(1-4,7,22)
51143	金4	フルカワ ギャヴィン	10-102	1年 理二三(1-4,7,22)
51140	金4	マキュワン クリストファー	K401	1年 理二三(1-4,7,22)
51141	金4	ラウレット ベネディクト	518教室	1年 理二三(1-4,7,22)
51144	金4	リチャード カーター・ホワイト	115教室	1年 理二三(1-4,7,22)

英語以外の外国語

ドイツ語		開講区分	A
授業の目標・概要	●1年生初修クラス 一列の授業では、文法の学習を終えた後、主に教養学部ドイツ語部会編のドイツ語共通教科書を用いて講読や表現練習を中心とする授業を行い、ドイツ語の読解力を養成するとともに、ドイツ語圏の文化・社会についての知識や思考・価値観にふれる。 文科生の演習では、発音練習・聴き取り・文法ドリル・読解や表現の練習などを行い、一列の授業で学習したドイツ語の知識の定着と運用能力の向上を図る。 なお、理科生を対象として、文科生の演習にあたる総合科目L系列「ドイツ語初級（演習）」が開講されているので、積極的に履修してほしい。 また、その他の総合科目L系列「国際コミュニケーション」科目の履修によって、実践的なドイツ語の能力の定着と向上を図ることを期待する。		
	●既修クラス ドイツ語既修者を対象とする中級程度に相当するクラスで、読解や会話などの練習を行う。履修者の学力に応じて、担当教員が教材を指定する。		
	●特修クラス ドイツ語の文法的知識を復習し、基礎的な読解能力をつける。授業への出席と積極的な参加による平常点も重視する。 それぞれの授業について詳しくはUTAS上のシラバスを参照のこと。		
	成績評価方法 一般には、平常点と試験によって評価する。前者ではとくに、授業への積極的な参加を評価する。 関連ホームページ http://deutsch.c.u-tokyo.ac.jp/		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASも参照すること			

時間割コード	曜限	授 業 科 目 名	担当教員	教 室	対象クラス
50030	月2	ドイツ語一列②	大石 紀一郎	10-303	1年 文一二(21)
50057	月2	ドイツ語一列②	黒子 葉子	121教室	1年 理一(30)
50111	月3	ドイツ語一列②	石原 あえか	10-308	1年 理一(29)
50155	月4	ドイツ語一列②	森 芳樹	102教室	1年 文三(14)
50177	月4	ドイツ語一列②	山本 潤	108教室	1年 理二三(19)
50339	火3	ドイツ語一列②	日名 淳裕	1312教室	1年 文一二(22)
50382	火3	ドイツ語一列②	相澤 隆	164教室	1年 文三(16)
50387	火3	ドイツ語一列②	高橋 宗五	1311教室	1年 理一(31)
50463	火4	ドイツ語一列②	久保 哲司	1224教室	1年 理一(27)
50464	火4	ドイツ語一列②	竹峰 義和	1322教室	1年 理一(28)
50602	水2	ドイツ語一列②	高橋 亮介	1222教室	1年 理二三(17)
50603	水2	ドイツ語一列②	長木 誠司	108教室	1年 理二三(18)
50672	水3	ドイツ語一列②	稲葉 治朗	152教室	1年 理一(32)
50792	木2	ドイツ語一列②	一條 麻美子	121教室	1年 文一二(20)
50796	木2	ドイツ語一列②	石原 あえか	10-308	1年 文三(15)
50843	木3	ドイツ語一列②	相澤 隆	102教室	1年 文一二(1)文三(1) 理一(1)理二三(1)
51136	金4	ドイツ語一列②	工藤 達也	158教室	1年 理一(26)
51137	金4	ドイツ語一列②	畠山 寛	157教室	1年 理一(33)
51148	金4	ドイツ語一列②	竹峰 義和	155教室	1年 理二三(20)

時間割コード	曜限	授 業 科 目 名	担当教員	教 室	対象クラス
50678	水3	ドイツ語特修	長木 誠司	108教室	2年 文科 理科
50723	水4	ドイツ語特修	斉藤 渉	149教室	2年 文科 理科

フランス語		開講区分	A
授業の目標・概要	文科生クラス、理科生クラスとも、一列・二列を通じて文法および講読の基礎を固める。 文科生は、これに加えて演習を履修し、発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や講読の応用練習などを行う。 理科生には、文科生の演習に相当するものとして、総合科目L系列国際コミュニケーション「フランス語初級（演習）」が自由選択できるので、積極的に参加してほしい。		
成績評価方法	平常点（出席・授業への参加態度および小テストなど）と定期試験で総合的に評価する		
教科書	各教員が別途指示する		
関連ホームページ	http://langue-fr.c.u-tokyo.ac.jp		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASも参照すること			

時間割コード	曜限	授 業 科 目 名	担当教員	教 室	対象クラス
50031	月2	フランス語一列②	泉 美知子	106教室	1年 文一二(24)
50059	月2	フランス語一列②	大森 晋輔	122教室	1年 理一(37)
50112	月3	フランス語一列②	中田 健太郎	121教室	1年 理一(38)
50113	月3	フランス語一列②	泉 美知子	106教室	1年 理一(39)
50151	月4	フランス語一列②	大森 晋輔	122教室	1年 文一二(23)
50456	火4	フランス語一列②	佐藤 朋子	1211教室	1年 文一二(26)
50708	水4	フランス語一列②	郷原 佳以	112教室	1年 文三(17)
50797	木2	フランス語一列②	鈴木 啓二	105教室	1年 文三(19)
50820	木2	フランス語一列②	関俣 賢一	122教室	1年 理一(35)
50821	木2	フランス語一列②	増田 一夫	155教室	1年 理一(36)
50825	木2	フランス語一列②	中野 知律	113教室	1年 理二三(22)
50844	木3	フランス語一列②	アルベリック ドリブル	10-202	1年 文一二(2)文三(2) 理一(2)理二三(2)
50867	木3	フランス語一列②	坂本 さやか	121教室	1年 文一二(25)
50868	木3	フランス語一列②	松村 剛	105教室	1年 文一二(27)
50869	木3	フランス語一列②	鈴木 順子	158教室	1年 文一二(28)
50870	木3	フランス語一列②	森元 庸介	104教室	1年 文三(18)
50871	木3	フランス語一列②	寺田 寅彦	157教室	1年 文三(20)
50926	木4	フランス語一列②	坂本 さやか	121教室	1年 理二三(23)
51088	金3	フランス語一列②	石橋 正孝	121教室	1年 理一(34)
51099	金3	フランス語一列②	飛嶋 隆信	149教室	1年 理二三(21)
51100	金3	フランス語一列②	斎藤 かぐみ	101教室	1年 理二三(24)
50679	水3	フランス語特修	郷原 佳以	112教室	2年 文科 理科

中国語		開講区分	A
授業の目標・概要	中国語の要である発音をしっかりと身につけた上で、文法の基礎を一年かけて一通り学習する。		
	●文科生は選択必修科目の「中国語初級（演習）②」をあわせて履修し、コミュニケーション能力を養成する。クラス別に開講するので、自分のクラスの演習を履修すること。		
	●理科生には、選択科目の「中国語初級（演習）」を開講しているので、一列で習ったことをもとにコミュニケーション能力を高めることが望ましい。（火2と木5に開講）		
成績評価方法	期末の筆記試験や小テストの結果など。		
教科書	著者（訳者）：楊凱榮・吉川雅之・張麗群		
	書名：基礎汉语		
	出版社：白帝社		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASも参照すること			

時間割コード	曜限	授 業 科 目 名	担当教員	教 室	対象クラス
50154	月4	中国語一列②	河野 直恵	162教室	1年 文三(12)
50338	火3	中国語一列②	山影 統	166教室	1年 文一二(19)
50457	火4	中国語一列②	山影 統	166教室	1年 文三(13)
50526	水1	中国語一列②	波多野 真矢	157教室	1年 理一(22)
50527	水1	中国語一列②	相原 まり子	162教室	1年 理一(24)
50584	水2	中国語一列②	阿古 智子	1231教室	1年 文一二(17)
50587	水2	中国語一列②	楊 凱栄	149教室	1年 文三(10)
50588	水2	中国語一列②	王 前	158教室	1年 文三(11)
50600	水2	中国語一列②	波多野 真矢	157教室	1年 理二三(15)
50601	水2	中国語一列②	村田 雄二郎	164教室	1年 理二三(16)
50704	水4	中国語一列②	刈間 文俊	101教室	1年 文一二(14)
50713	水4	中国語一列②	伊藤 徳也	511教室	1年 理一(18)
50790	木2	中国語一列②	松本 秀士	162教室	1年 文一二(15)
50819	木2	中国語一列②	下出 宣子	107教室	1年 理一(25)
50845	木3	中国語一列②	賈 黎黎	103教室	1年 文一二(3)文三(3) 理一(3)理二三(3)
50848	木3	中国語一列②	下出 宣子	107教室	1年 文一二(16)
50908	木4	中国語一列②	渡辺 剛	152教室	1年 文一二(18)
50993	金1	中国語一列②	小方 伴子	104教室	1年 理一(19)
51003	金2	中国語一列②	田原 史起	102教室	1年 理二三(13)
51081	金3	中国語一列②	奥山 望	152教室	1年 理一(20)
51084	金3	中国語一列②	李 彦銘	156教室	1年 理一(23)
51098	金3	中国語一列②	石井 剛	112教室	1年 理二三(14)
51135	金4	中国語一列②	奥山 望	152教室	1年 理一(21)
50680	水3	中国語特修	吉川 雅之	1213教室	1年 2年 文科 理科

ロシア語		開講区分	A
授業の目標・概要	初修ロシア語の1年目はロシア語の文字からはじめて、ロシア語の基礎文法を修得する。1年を終えるころには簡単なロシア語テキストが自在に読める能力の獲得をめざす。 文系・理系を問わず、共通教科書を使用する。 Sセメスターに学んだ文法の基本を発展させ、さらに新しい文法項目を学ぶとともに、テキストによって読解の基礎をつける。		
成績評価方法	定期試験と平常点。 適宜小テストを行うことがある。		
教科書	著者（訳者）：西中村浩・朝妻恵理子 書名：Изучаем русский язык с нуля（ロシア語をはじめよう） 出版社：朝日出版社		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASも参照すること			

時間割コード	曜限	授 業 科 目 名	担当教員	教 室	対象クラス
50195	月5	ロシア語一列②	安岡 治子	101教室	1年 文一二(4)文三(4) 理一(4-5)理二三(4)(TLP)
50465	火4	ロシア語一列②	乗松 亨平	1312教室	1年 理二三(4)
50798	木2	ロシア語一列②	安岡 治子	106教室	1年 理一(4)
50799	木2	ロシア語一列②	大森 雅子	112教室	1年 理一(5)
51056	金3	ロシア語一列②	西中村 浩	1213教室	1年 文一二(4)
51067	金3	ロシア語一列②	渡邊 日日	154教室	1年 文三(4)
50724	水4	ロシア語特修	大森 雅子	153教室	2年 文科 理科

※TLP履修者は、対象クラスでTLPと指定されている授業を履修すること。なお、総合科目L系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

スペイン語		開講区分	A
授業の目標・概要	スペイン語初修は、共通教科書を用い、1年間かけて、日常使われるスペイン語を理解し、簡単な文章を読んだり書いたり、またスペイン語でコミュニケーションをとるために必要な文法体系全体を学習する。Sセメスターでは、内容を一列（文法）と二列（講読）に分け、Aセメスターでは一列で文法・講読の両方を扱う。文系では、外国人教員が担当するクラス指定の演習を設け、教科書の進度に合わせ、発音、聞き取り、会話練習、文法の応用練習などを行う。また、スペイン語を集中的に勉強したい学生のために、インテンシブクラスを週2回開講する。そのほかに、初級作文や初級会話の科目を開講しており、これらを履修することによりスペイン語の運用能力をさらに高めることができる。		
成績評価方法	各担当教員に任されている。		
教科書	著者（訳者）：東京大学教養学部スペイン語部会 書名：スペイン語初級 出版社：朝日出版社		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASも参照すること			

時間割コード	曜限	授 業 科 目 名	担当教員	教 室	対象クラス
50027	月2	スペイン語一列②	栗林 ゆき絵	105教室	1年 文一二(8)
50061	月2	スペイン語一列②	深澤 晴奈	K113	1年 理二三(9)
50062	月2	スペイン語一列②	宮地 隆廣	1212教室	1年 理二三(10)
50147	月4	スペイン語一列②	深澤 晴奈	K113	1年 文一二(11)
50153	月4	スペイン語一列②	三浦 麻衣子	121教室	1年 文三(9)
50175	月4	スペイン語一列②	竹村 文彦	106教室	1年 理二三(12)
50381	火3	スペイン語一列②	深澤 晴奈	K113	1年 文三(7)
50410	火4	スペイン語一列②	網野 徹哉	159教室	1年 文一二(9)
50495	火5	スペイン語一列②	深澤 晴奈	K113	1年 理二三(8)
50525	水1	スペイン語一列②	中島 聡子	106教室	1年 理一(16)
50594	水2	スペイン語一列②	深澤 晴奈	K113	1年 理一(11)
50599	水2	スペイン語一列②	川崎 義史	1212教室	1年 理二三(7)
50623	水3	スペイン語一列②	久住 真由	158教室	1年 文一二(13)
50707	水4	スペイン語一列②	網野 徹哉	157教室	1年 文三(8)
50712	水4	スペイン語一列②	渡辺 暁	121教室	1年 理一(17)
50806	木2	スペイン語一列②	愛場 百合子	1212教室	1年 理一(10)
50817	木2	スペイン語一列②	倉田 量介	108教室	1年 理一(15)
50876	木3	スペイン語一列②	若林 大我	162教室	1年 理一(12)
50877	木3	スペイン語一列②	川上 英	108教室	1年 理一(14)
50885	木3	スペイン語一列②	中島 聡子	106教室	1年 理二三(11)
50907	木4	スペイン語一列②	川上 英	108教室	1年 文一二(12)
50914	木4	スペイン語一列②	若林 大我	162教室	1年 理一(9)
50915	木4	スペイン語一列②	中島 聡子	106教室	1年 理一(13)
50976	金1	スペイン語一列②	松浦 芳枝	121教室	1年 文一二(10)
51058	金3	スペイン語一列②	有田 美保	107教室	1年 文一二(7)

時間割コード	曜限	授 業 科 目 名	担当教員	教 室	対象クラス
50681	水3	スペイン語特修	高橋 均	1232教室	2年 文科 理科

韓国朝鮮語		開講区分	A
授業の目標・概要	●1年生初修クラス Sセメスターに引き続き、共通教材『韓国朝鮮語初級』を通じて文法と語彙を学んでいき、教科書を終えた後には、さまざまな教材を用いて一年間に学んだ文法知識の応用練習を行います。これらによってAセメスターの授業では、基礎文法を完全に習得した上で、辞書を引きながら新聞・雑誌記事を読める程度、また基本的な内容ならば自分の考えや意見を正確に表現できる程度の力を身につけることを目指します。 文科生はこのほか総合科目L系列において、韓国人教員が担当する「初級（演習）②」を履修し、基礎知識の応用をはかっていきます。理科生には、文科生の「初級（演習）②」に相当する「初級（演習）」が設けられているので、積極的に参加してください。		
	●特修クラス これまでに学んだ内容の復習によって、韓国朝鮮語の基本的な能力を身に付けることを目指します。詳しくはUTAS上のシラバスを参照してください。		
成績評価方法	定期試験と平常点（出席、小テスト、課題など）		
教科書	著者（訳者）：金亨貞・三ツ井崇		
	書名：韓国朝鮮語初級（2）〔試用版〕		
関連ホームページ	http://phiz.c.u-tokyo.ac.jp/~korea/korea_junior.html		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASも参照すること			

時間割コード	曜限	授 業 科 目 名	担当教員	教 室	対象クラス
50053	月2	韓国朝鮮語一列②	三ツ井 崇	1231教室	1年 理一(6)
50330	火3	韓国朝鮮語一列②	生越 直樹	1213教室	1年 文一二(5)
50379	火3	韓国朝鮮語一列②	生越 直樹	1213教室	1年 文三(5)
50466	火4	韓国朝鮮語一列②	齊藤 良子	1321教室	1年 理二三(5)
50725	水4	韓国朝鮮語特修	生越 直樹	102教室	2年 文科 理科

イタリア語		開講区分		A	
授業の目標・概要		●1年生初修クラス 一列二列では、Sセメスターの終わりまでに、初級文法を一通り習得します。Aセメスターでは、それを応用しながら、比較的平易な現代文を中心としたテキストの読解と、接続法・条件法等の文法知識の整理を行います。テキストとして、東京大学イタリア語教材編集委員会編の文法教科書「イタリア語のスタート Italiano... in partenza!」(白水社)を適宜参照しながら、中級読解教科書『ピアッツァ』(東京大学出版会)を主に使用します。あわせて、ネイティヴスピーカの教員による、文法知識の定着と自然なイタリア語の習得のための演習が必修科目として開講されています。総合科目L系列「国際コミュニケーション」として、初級の会話、作文、表現練習、読解も開講されているので、積極的に受講してください。 ●既修クラス 総合科目L系列「国際コミュニケーション」科目の中・上級科目を既修者の単位として認定しています。 ●授業計画 1年生初修—Aセメスター前半 初級文法まとめ Aセメスター後半 講読中心 ●学習上のアドバイス 時間割上可能で意欲的な学習者には、総合科目L系列「国際コミュニケーション」で開講される選択科目「初級・中級会話」「初級・中級作文」「初級・中級読解」「初級・中級表現練習」等の受講をあわせてすすめます。授業には積極的に参加し、有効な学習としてください。			
成績評価方法 平常点とセメスター末の筆記試験					
教科書 著者(訳者): 東京大学イタリア語教材編集委員会編 書名: Italiano... in partenza! イタリア語のスタート 文法と練習 出版社: 白水社					
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASも参照すること					
時間割コード	曜限	授 業 科 目 名	担当教員	教 室	対象クラス
50042	月2	イタリア語一列②	村松 真理子	K303	1年 文三(6)
50331	火3	イタリア語一列②	宮坂 真紀	108教室	1年 文一二(6)
50467	火4	イタリア語一列②	宮坂 真紀	108教室	1年 理二三(6)
50592	水2	イタリア語一列②	宮坂 真紀	102教室	1年 理一(8)
50913	木4	イタリア語一列②	山崎 彩	151教室	1年 理一(7)
50682	水3	イタリア語特修	村松 真理子	K301	2年 文科 理科

日本語						
授業の目標・概要		[注意事項] ●日本語を、前期課程外国語科目の既修外国語、或は、[既修・既修選択]の初修外国語相当として選択した学生は、基礎科目一列② [必修科目] の授業に初回授業から必ず出席すること。 ●新カリキュラムにおける日本語科目（基礎科目一列、二列C、二列P、総合科目L系列）の履修方法等について、基礎科目一列② の初回授業で説明があるので、必ず出席し説明を受けること。 ●総合科目L系列科目(A1, A2)の登録について、UTASや授業での指示に留意し従うこと。 ●基礎科目 日本語一列② 1年生 既修外国語（初修扱い外国語） 『テーマで考え議論する日本語 後半 -Active Learning in Academic Japanese-』 文理横断的なテーマに関して、文献リサーチ、読解・聴解、資料収集、調査、協働タスク、ディスカッション、プレゼンテーション、要旨・レジメ執筆等、様々な能動的な協働活動を通して、日本語の諸技能の習得・上達を目指しつつ、現象・問題や他者の意見を的確に理解する力、資料を分析しデータや論拠に基づき考え述べる力、自分の意見を構築し伝える力、議論し合う力、能動的学習力を養う。 総合科目L系列においては、相互に相補的な授業活動を行う。日本語科目カリキュラム全体・総合科目カリキュラム全体として、様々な分野・目的での四技能の習得・上達にバランス良く資するための授業を設定し、各々の総合科目L系列授業において、それぞれ特徴をもつ授業活動を行う。各授業の特徴・焦点目標については、UTASの各シラバス参照。 総合科目L系列(一部)において、一列授業で扱うテーマ・内容・活動と連動しつつ、相互に相補的な活動を行う。『基礎科目 日本語一列』で扱うテーマやそのテーマでの読解・聴解・協働タスク・ディスカッション等の活動と連動して、一方で、正確な精読、構文・語彙習得（要約・文作・文章構成等、ライティングを含む）のための活動を行い、一方で、アクティブラーニングの発表・プレゼンテーション・発音演習やレポート執筆・論文執筆等、それぞれに特徴をもつ授業活動を行う。 ●総合科目L系列『日本語上級』A1 ターム 「テーマで考え議論する日本語 2: 精読、構文・語彙習得・ライティング中心」 「論文執筆・アカデミックライティング（準備編）」 「アカデミックプレゼンテーションのための発音」 「文学作品を読む・味わう・まとめる・伝える その3」 ●総合科目L系列『日本語上級』A2 ターム 「テーマで考え議論する日本語 2: レポート執筆・発表プレゼンテーション中心」 「論文執筆・アカデミックライティング（実践編）」 「アカデミックプレゼンテーションのための発音」 「文学作品を読む・味わう・まとめる・伝える その3」				
		成績評価方法 「成績評価方法」は、科目・授業列により異なるので、UTAS上のそれぞれの科目のページを参照すること。 一般的に、毎回の授業活動(および予習・復習)を重視し、出席、授業活動参加、ディスカッション、クイズ、宿題等の課題、発表、試験、レポート等を総合して評価する。詳細については第一回目の授業で配布するシラバスで説明する。 ※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASも参照すること				
時間割コード	開講	曜限	授業科目名	担当教員	教室	対象クラス
51258	A	火2	日本語一列②	藤井 聖子	10-205	1年 文科 理科
51262	A	金2	日本語一列②	藤井 聖子	10-205	1年 文科 理科

身体運動・健康科学実習Ⅱ

身体運動・健康科学実習Ⅱ		開講区分	A
目標概要	週1回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。		
授業計画	第1回 教室で教科書を用いた授業（教室は9号館前の掲示を参照）、種目選択 第2回から 選択した種目での授業 セメスター中に2度 身体運動の科学的理解を目的とした共通授業を行う。 12月に体力テストを行う。 体育館種目が別の場所に移動し、外種目を体育館で行うこともあるので、9号館前の掲示板を見ること。		
授業の方法	第1回目の授業で、種目選択を行う。スポーツコース（テニス、サッカー等）、フィットネスコース、サイエンスコースから選択する。その曜限に開設されている種目と説明は http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/shintai/ を参照のこと。 種目選択以降は、各種目に分かれて行う。 基本的には自分の身体を動かして、実習することが第一であるが、各種目により様々なアプローチがなされる。 セメスター中に2回、身体運動の科学的理解を目的とした共通授業を、通常とは別の場所で行う。教室での授業、身体運動の科学的理解のための授業だけでなく、通常の授業でも教科書『教養としての身体運動・健康科学』を用いるので、毎回持ってくる。毎回の授業における心拍数、体力テストの結果等も教科書に記入する。 通常授業での説明、科学的理解のための共通授業、体力テスト等によって、期末にレポートを提出する。		
成績評価方法	1 出席 身体運動・健康科学実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 2 達成度 各自が選択履修している授業について、学習達成度の評価を行う。 3 体力テスト 12月に行い、評価に含める。 4 レポート 通常授業での説明、共通授業、体力テストの結果等を受けて、期末にレポートを提出する。 5 その他 授業中にどのような態度で参加し、どのように自己の役割を認識し、実行しているか、学習内容をどれだけ理解しているのか、等を評価する。		
教科書	著者（訳者）：東京大学身体運動科学研究室 書名：教養としての身体運動・健康科学 出版社：東京大学出版会		
履修上の注意	種目選択後の種目変更は、特別な事情（病気、怪我等）が無い限り認めない。		
学習上のアドバイス	盗難が多いので注意する。体育館は、土足、飲食禁止。		
関連ホームページ	http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/shintai/		
※講義の詳細については、UTASも参照すること			

時間割コード	曜 限	担当教員	対象クラス
50041	月2	実技 担当	1年 文三(4,11,16)理一(5,10-11,15,20-21,25-26)
50337	火3	実技 担当	1年 文一二(12)理一(14,17-19,27-28,34-37)
50409	火4	実技 担当	1年 文一二(1-3,5,8)文三(17-18)理一(24)理二三(1-3,7-8,12,14,16,18)
50622	水3	実技 担当	1年 文一二(7,14-15)文三(8)理一(7-8,12,38-39)理二三(24)
50705	水4	実技 担当	1年 文一二(16,26-28)文三(9)理一(9,13,16,29)理二三(17)
50785	木2	実技 担当	1年 文一二(4,6)文三(1-3)理一(1-3,31-33)理二三(4-6,9-11)
50847	木3	実技 担当	1年 文一二(9,23)文三(14-15)理一(4,6)理二三(13,19-23)
51059	金3	実技 担当	1年 文一二(10-11,13,17-19)文三(5-7,10)理二三(15)
51124	金4	実技 担当	1年 文一二(20-22,24-25)文三(12-13,19-20)理一(22-23,30)

身体運動・健康科学実習Ⅱ（メディカルケア）

身体運動・健康科学実習Ⅱ（メディカルケア）		開講区分	A
目標概要	週1回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。		
授業計画	第1回目までの授業は、クラス指定された身体運動・健康科学実習の曜限で受講する。第1回目の種目選択で、履修する曜限を決め、第2回目以降からそのメディカルケアの曜限で受講する。 各自の状態に合わせて、実習を行う。		
授業の方法	基本的には自分の身体を動かして、実習することが第一であるが、各自の状態により様々なアプローチがなされる。教科書『教養としての身体運動・健康科学』を用いるので、毎回持ってくる。期末にレポートを提出する。		
成績評価方法	1 出席 身体運動・健康科学実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 2 達成度 各自の学習達成度について評価を行う。 3 レポート 授業での説明、実習内容、その結果等を受けて、期末にレポートを提出する。 4 その他 授業中にどのような態度で参加し、どのように自己の役割を認識し、実行しているか、学習内容をどれだけ理解しているのか、等を評価する。		
教科書	著者（訳者）：東京大学身体運動科学研究室 書名：教養としての身体運動・健康科学 出版社：東京大学出版会		
履修上の注意	第1回目はクラス指定された身体運動・健康科学実習の曜限で履修する。そこで今後の指示を受ける。		
学習上のアドバイス	盗難が多いので注意する。体育館は、土足、飲食禁止。		
関連ホームページ	http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/shintai/		
※講義の詳細については、UTASも参照すること			

時間割コード	曜 限	授 業 科 目 名	担当教員	対象クラス
50002	月1	身体運動・健康科学実習Ⅱ（メディカルケア3）	実技 担当	1年 文科 理科
50198	月5	身体運動・健康科学実習Ⅱ（メディカルケア1）	実技 担当	1年 文科 理科
50256	火1	身体運動・健康科学実習Ⅱ（メディカルケア3）	実技 担当	1年 文科 理科
50534	水1	身体運動・健康科学実習Ⅱ（メディカルケア2）	実技 担当	1年 文科 理科

社会科学

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50123	A	法Ⅱ	北村 朋史	教養学部(前期課程) 法・政治	月3	1101教室	1年 文二 文三 2年 文二 文三
講義題目 国際社会と法 目標概要 国際社会には、国内におけるような集権的な統治機関が存在しない。そうした社会において妥当する法とはどのような特徴を有し、どのように機能しているのだろうか。本授業では、近年の具体的な国際紛争事例にも触れながら、国家領域、海洋の利用、国際通商、武力の行使、国際犯罪等にかかわる法について解説し、国際社会における法の役割と限界について考察する。 評価方法 定期試験によって評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
50510	A	法Ⅱ	福岡 安都子 ジェームズ フィッシャー	教養学部(前期課程) 法・政治	水1	1225教室	1年 文一 (1-5,7-14) 2年 文一
講義題目 公法学のテキストを読む 目標概要 【文一のみ履修可】 「法I」で法学につき基礎的知識を習得したことを前提に、引き続き、公法学分野の具体的素材とその読解を通じて、解釈の力を養うことを目指す。 評価方法 基本的に定期試験に基づいて行いますが、授業における各種フィードバックの内容も加味します。 なお、フィッシャー先生担当の2回の授業についても試験を行います。詳細は授業の際に通知します。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
50511	A	法Ⅱ	松下 淳一 ジェームズ フィッシャー	教養学部(前期課程) 法・政治	水1	1331教室	1年 文一(6,22-28) 2年 文一
講義題目 法学入門、司法制度の概要を学ぶ 目標概要 【文一のみ履修可】 法Ⅰに続いて、法律学の本格的な学習に先立ち、その導入として必要な基礎的事項の習得を目標とします。具体的には、条文の読み方から始まり、裁判所制度、民事訴訟・刑事訴訟の区別、「判例」の意味、法曹（裁判官、検察官、弁護士）制度、判決の読み方等について学習します。 弁護士の方を講師としてお招きして、1回20～30分程度（できれば複数回）、実務のお話を伺うことも検討中です。 なお、13回の授業のうち2回（このクラスでは第10回と第11回）はフィッシャー先生による英語の授業です。その2回の内容は、『The origin and nature of the common law, and its role in contemporary legal issues.(コモンローの起源と性質、及び現代的な法的問題における役割)』です。 ※「コモンローとは、制定法主義に立つ大陸法に対して、イギリス及びその法制を継受したアメリカ等の諸国の判例法体系を意味します。 評価方法 定期試験により評価します。フィッシャー先生担当の2回の授業についても試験を行います。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50512	A	法Ⅱ	両角 吉晃 ジェームズ フィッシャー	教養学部(前期課程) 法・政治	水1	1106教室	1年 文一 (15-21) 2年 文一
講義題目 法律文献を読む 目標概要 【文一のみ履修可】 法Ⅰの授業で法律・法学についての基本的な知識を習得したことを前提に、実際に判例や法学論文、さらに関連する分野の諸文献を読むことを通して、法学を学ぶための基礎的能力を向上させることを目標とします。具体的なテーマとしては、働き方や所有権などの問題を取り上げる予定です。 13回の授業のうち2回はフィッシャー先生による英語の授業です。その2回の内容は、『The origin and nature of the common law, and its role in contemporary legal issues.(コモンローの起源と性質、及び現代的な法的問題における役割)』です。 ※コモンローとは、制定法主義に立つ大陸法に対して、イギリス及びその法制を継受したアメリカ等の諸国の判例法体系を意味します。 評価方法 定期試験（筆記試験）によります。 フィッシャー先生の授業に関する出題の配点は、100点中20点とします。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
50124	A	政治Ⅱ	内山 融	教養学部(前期課程) 法・政治	月3	900教室	1年 文一 2年 文一
講義題目 政治学の基礎概念と基礎理論 目標概要 政治学の概念や理論は、政治を認識する際の有益な道具である。本講義では、政治学の基礎的な概念や理論を学ぶことにより、政治現象を見る際の「目」を養うことを目的とする。「政治」、「権力」、「デモクラシー」といった基本的な概念や、それらに関する理論について、できるだけ具体的な事例も交えつつ解説する。 評価方法 定期試験を行う。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50535	A	政治Ⅱ	木宮 正史	教養学部(前期課程) 法・政治	水1	K011	1年 文二 文三 2年 文二 文三
講義題目 科学としての政治学、知恵としての政治学 目標概要 1 「政治とは何か」「何のために政治学を勉強するのか」という根本的な問いから始まって、政治権力(political power)、政治体制(political regime)、国家(state)、民主主義(democracy)、政党(political party)、選挙(election)及び投票行動(voting behavior)など、政治を理解するために必要な基本的な諸概念に関する理解を深め、今後、政治に関する種々の現象を分析するのに必要な基礎を身につける。 2 以上の問題の根底にあるのは、民主主義(democracy)とは何であり、それがどのように機能しているのかいないのかということである。こうした民主主義(democracy)に関する既存の見方をふまえたうえで、その現代的意味についても考察を深めることにする。 3 ますます緊密度を深める政治と経済との関係について、歴史的な展開過程やいくつかの争点を選んで考察を深める。 4 「日本の政治は変わらない」という、1955年体制、自民党一党優位体制が戦後50年以上続いたが、2009年の総選挙で、野党民主党が308議席を獲得、1955年の結党以来、衆議院における第1党を維持してきた自民党が119議席と大敗した。このようにして日本政治において、初めて本格的な政権交代が実現した。ただ、約3年あまりの民主党政権は3人の首相の下で、党内分裂を繰り返し政権の不安定を露出させただけでなく、その実績に関しても期待には遠く及ばなかった。その結果、2012年総選挙で野党自民党が地滑りの大勝をすることによって、現在の自公連立の第2次安倍政権が登場した。安倍政権は政権初期経済政策に注力することによって高い支持率を誇示し政権を安定させ、参議院選挙での勝利に伴い、衆参両議院において憲法改正発議に必要な議席を占めるようになった。しかし、長期政権が確実とみられ「安倍一強」と呼ばれた政治状況も最近内閣支持率の急激な低下と共に激動が予想される。こうした日本政治の現状をどのように考えるのか、という点に関して、政治学を学ぶことによって、自分の中でどのような「進歩、もしくは変化」が見られたのかを確認する。特に、参議院選挙から、18歳以上が選挙権を行使できるようになったわけだが、そうした点に関しても、授業で扱いたい。 評価方法 定期試験55%、課題1 5%、課題2 15%、課題3 25%という割合で成績評価をする。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
50125	A	経済Ⅱ	丸山 真人	教養学部(前期課程) 経済・統計	月3	1225教室	1年 文科 2年 文科
講義題目 人間の経済と資本の論理 目標概要 人間の経済の根底には市場化に馴染まないものが実在しており、それを分析するためには、生命系のパラダイムに依拠するエントロピー経済学と、非市場の人間関係を究明してきた経済人類学の知見が必要である。ところで、現代資本主義は自然環境のみならず、社会関係や人間自身までも擬制的に資本化し、人間生活の全体を市場関係で覆い尽くそうとしている。このような現象の背後には資本の運動法則が存在しており、それを解明するには『資本論』のアプローチが不可欠である。本講義では、これらの学問的遺産を踏まえたうえで、人間の経済を資本の論理から解放する方途を探索することを課題とする。 評価方法 定期試験 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
50496	A	経済Ⅱ	竹野 太三	教養学部(前期課程) 経済・統計	火5	900教室	1年 文科 2年 文科
講義題目 経済Ⅱ 目標概要 本講義では、経済学に興味を持つ前期課程文科生を対象に、価格理論の解説を行う。主として個人や単一企業レベルにおける意志決定過程の考察を基に、完全競争市場や不完全競争市場で達成される均衡の特性の分析を試みることに加え、厚生経済の第一、および第二定理に示される知見を紹介することを目的とする。従って、市場全体、或いは経済全体の特性を示す指標（例えば失業率やインフレ率、経済成長率など）に関わる分析をするマクロ経済学の解説は、本講義では行わない。なお、ミクロ経済学、マクロ経済学のいずれを先に学ぶかは重要なことではない。（履修計画の参考まで。） 評価方法 持ち込み不可の定期試験による。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50126	A	社会Ⅱ	井上 彰	教養学部(前期課程) 社会・社会思想史	月3	1313教室	1年 文科 2年 文科
講義題目 分析的政治哲学入門 目標概要 本授業では、現代英米圏を中心に、政治理論においてメインストリームを形成している「分析的政治哲学」について学習する。分析的政治哲学とは、19世紀に生まれ、20世紀初頭から飛躍的な発展を遂げた分析哲学の道具立てを用いて、政治哲学上の鍵概念である「正義」「自由」「平等」等の構成要件を解明し、それらの主題や適用範囲を明らかにする学問領域である。本授業では、20世紀を代表する分析的政治哲学者であるJ・ロールズの議論をおさえたうえで、そこから発展した様々な論争の検討を通じて、分析的政治哲学の主題や鍵概念の適用範囲をめぐる議論についてわかりやすく解説する。その射程は、グローバル正義論や地球環境（排出権）問題、そして移民問題といった具体的な論点も含まれる。 評価方法 筆記試験の点数に、授業中に複数回課す小レポートの点数を加えて評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
50536	A	数学Ⅰ	高木 俊輔	教養学部(前期課程) 数学	水1	743教室	1年 文科 2年 文科
講義題目 数学Ⅰ 目標概要 文科学向けに一変数関数の微分法と積分法に関する基礎的内容を扱う科目である。社会科学に関連する題材を織り交ぜ、数学的な概念を把握することに重点をおいて講義する。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって順序は異なることがある。 評価方法 定期試験による。小テストやレポートを課した場合、それらも加味する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
50537	A	数学Ⅱ	松尾 厚	教養学部(前期課程) 数学	水1	531教室	1年 文科 2年 文科
講義題目 数学Ⅱ 目標概要 文科学向けの、ベクトルと行列に関する基礎的内容や、計算手法を理解するための科目である。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって順序は異なることがある。この科目を履修した後に、より進んだ内容を総合科目F系列「数理科学概論Ⅱ(文科学)」で学ぶことができる。 評価方法 定期試験による 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							

人文科学

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50127	A	哲学Ⅱ	乗立 雄輝	教養学部(前期課程) 哲学・科学史	月3	1331教室	1年 文科 2年 文科
講義題目 この世界が存在することについて考える 目標概要 （彼が初めてというわけではありませんが）ライブニッツが発して以来、現在に至るまでさまざまな哲学者や科学者たちの頭を悩ませ続けている「なぜ、何もないのではなく、何かがあるのか？」という問いを考察します。 この問いを、最も根源的かつ重要な問いだと主張する哲学者もいる一方で、問いとして適切ではない、もしくは、考えるのが無駄な疑似問題だと批判する哲学者も少なくありません。 しかし、この問いが妥当な問いなのかどうかを批判的に検証することも含めて、この問いを考察することは、この問いに関わる領域の広さゆえに、哲学的思考に必要かつ基本的な諸概念群を理解し、その諸概念を用いながらさまざまな問題を考えていくきっかけとなります。 この講義では、この問いを考えていく中で、存在と無をめぐる問題、因果の問題、「説明する」とはどういうことなのか、原因と理由（根拠）の差異、可能性・偶然性・必然性をめぐる議論といった、これまで哲学者たちが悪戦苦闘してきた諸概念について学ぶと同時に、それらの諸概念を使って、参加者のみなさんが「なぜ、何もないのではなく、何かがあるのか？」という問いへの（この問いそのものの否定の可能性も含めた）応答を試みてほしいと考えます。 評価方法 定期試験によって評価します。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
50497	A	哲学Ⅱ	山本 芳久	教養学部(前期課程) 哲学・科学史	火5	1323教室	1年 文科 2年 文科
講義題目 「感情」をめぐる哲学的考察 目標概要 古典的な哲学において、「感情」というものがどのように捉えられていたのか、テキストを読解しながら、講義形式で解説する。具体的には、アリストテレス、アウグスティヌス、ストア派、トマス・アクィナスなどのテキストを読解する（トマス・アクィナスを中心にしつつ、他の哲学者と対比させる）。哲学的なテキストの綿密な読解力を身につけながら、愛、憎しみ、喜び、悲しみ、希望、絶望など、我々が日常的に直面している具体的な感情の相互関係を総合的に捉えうるような視座を獲得することを目的とする。日常的経験の中から哲学的思考を立ち上げる訓練の場としたい。 評価方法 定期試験 教科書 著者（訳者）：山本芳久 書名：トマス・アクィナス：肯定の哲学 出版社：慶應義塾大学出版会 ガイダンス 特に行わない。							
50128	A	倫理Ⅱ	田中 智彦	教養学部(前期課程) 哲学・科学史	月3	K214	1年 文科 2年 文科
講義題目 〈いのち〉と〈ひと〉のいまを問う 目標概要 In order to have a sense of who we are, we have to have a notion of how we have become, and of where we are going. Charles Taylor 私たちは今日、いのちとひとをめぐる倫理的にどのような状況にあるのだろうか。またその状況は、どのようにして今日あるようになったのだろうか。どのような明日をもたらしうるのだろうか。 この授業ではこうした問いについて考えてゆきたい。その過程において、私たちの生・病・老・死を取り囲んでいるいわば「4つのbio」——生権力（biopower）・生政治（biopolitics）・生命倫理（bioethics）・生命科学技術（biotechnology）——を歴史的・批判的に検討することになるだろう。 したがって、倫理の諸理論を概説するという形はとらない。むしろ過去の、また現在の具体的な事例をとりあげ、そこにどのような問題を見いだすか、それらをどのように考えるかに関して一つの視座を示すことをつうじて、受講者一人ひとりが「ひととして限りあるいのちをいかに生きるべきか」という問いを自ら探究する手がかりを提供したいと思っている。 評価方法 原則として〈レポート75%〉〈平常点25%〉で評価する。ただし、受講者数によってはレポートを試験に変更することもありうる。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50498	A	歴史Ⅰ	岡田 泰平	教養学部(前期課程) 歴史学	火5	523教室	1年 文科 2年 文科
講義題目 東南アジア史と「記憶の政治」 Southeast Asian History and "Politics of Memory" 目標概要 東南アジア史の概要を、モノを中心とした記憶や場から学んでいきます。時期は前史時代から現代までを扱います。地理的な区分は、専門であるフィリピンに偏りがちになってしまうのですが、なるべく諸地域からまんべんなく題材を取り上げていきたいと思えます。 このような授業を行うに際し、歴史そのものについての考え方はUTASシラバス上の「履修上の注意」に示します。東南アジア史の場合、資料が残りがちという事情もあり、様々な方法から過去に接近することが求められます。この点から、モノ、場、記憶を介して歴史を考えるという方法が適切に思われます。 また、東アジアにおいては過去25年程の間、国家間・国民間で「歴史問題」が絶えませんが、東南アジアの「記憶の政治」はあまりそのような現象は見られません。東南アジアの「記憶の政治」は、一方では歴史そのものを考える上でより根源的であり、他方では対外的な「国民」の関心とはなっていないとも言えます。それでもなお、歴史が人々のアイデンティティに深くかかわっており、各国のナショナリズムは国民的なアイデンティティを植え付けることに余念がありません。 歴史というと覚えなければならないという印象が強いと思いますが、私の理解ではむしろ他者理解の基本的な要件です。つまり、他者の歴史を知らないと、その人がどのような意味で自分にとっての他者であるのかわかりません。基本的には東アジアに生きている学生さんを念頭に置いておりますので、東南アジアの歴史を知ることは、21世紀の東南アジアの人々に関心を持っている学生さんにも資する部分は大きいと思えます。 評価方法 ミニレポート：50点 期末課題：50点 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
50129	A	歴史Ⅱ	渡辺 美季	教養学部(前期課程) 歴史学	月3	K212	1年 文科 2年 文科
講義題目 歴史学を知る 目標概要 「歴史を学んで何になるんだろう」——年号や人名の暗記に苦しんだ受験勉強の最中に、そんな風に思ったことはないだろうか。しかし歴史学とはもちろん暗記ではない。「史料に基づき過去の人間生活の事象を研究する学問」である。それは専門的な学問領域であると同時に、“歴史学的にみる・考える”という普遍的な思考力を身に付けるためのトレーニングでもある。物事を長いタイムスパンで捉える力、経験不可能な物事に対するリアルな推測力、「現在」を相対的に視る力——歴史学によって必然的に養われるこれらの力は、過去を振り返るときだけでなく、今を生き、未来を踏み誤らないためにも必要不可欠のものだろう。 この授業では、受講生が歴史学の基礎を学びながら、“歴史学的にみる・考える”力を養うことを目的に、教養学部の6名の歴史学教員がリレー形式で講義する。歴史学の研究とは、どのような発想と手法によって進められ、その結果どのような歴史像が描き出されるのか。歴史学を専門的に学びたい学生ばかりでなく、“歴史学的にみる・考える”力を身に付けたいと考えるすべての文科生に受講してほしい。 評価方法 定期試験を主とし、授業中の課題などを加味して総合的に判断する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
50130	A	ことばと文学Ⅱ	田村 隆	教養学部(前期課程) 国文・漢文学	月3	1214教室	1年 文科 2年 文科
講義題目 『源氏物語』若紫巻精読 目標概要 教科書に載っている『源氏物語』の挿絵で最も有名なものは、おそらく若紫巻の小柴垣の垣間見場面ではなかろうか。それもあって紫上の登場が強く印象づけられる巻ではあるが、実は同じ若紫巻の後半には、光源氏にとっての継母であり帝妃でもある藤壺との密通という重大事件も語られている。明暗両様の二場面が同じ巻に描かれていることはどのような意味を持つのだろうか。また、若紫巻では後の明石巻の伏線となる明石入道や娘の明石君も話題に上っており、『源氏物語』の構想を考える上でも重要な巻と言える。本講義では今年の7月から半世紀ぶりの改版が始まった岩波文庫をテキストに用い、若紫巻を一語一語にこだわりながら共に精読してゆく。 評価方法 論述試験（持込不可）。 教科書 著者（訳者）：藤井貞和ほか 書名：源氏物語（一）桐壺一末摘花 出版社：岩波文庫 ISBN：4003510151 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50499	A	ことばと文学Ⅲ	品田 悦一	教養学部(前期課程) 国文・漢文学	火5	164教室	1年 文科 2年 文科
講義題目 斎藤茂吉と『万葉集』 目標概要 近代短歌史上の巨人と称される斎藤茂吉の歌業を、『万葉集』との関連で考える。「民族伝統と近代的感覚との融合」という通念を覆すとともに、茂吉の初期の歌業における「万葉調」の意義を解釈し直すことが当面の目標となる。 評価方法 定期試験を行なう。そのほかに小レポートを課する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。							
50131	A	ことばと文学Ⅳ	岩瀬 由佳	教養学部(前期課程) 国文・漢文学	月3	158教室	1年 文科 2年 文科
講義題目 世界を巡る説話—インドとアラブの説話文学から— 目標概要 西はアラビア半島を中心とするイスラーム文化圏（北アフリカを含む）から東は日本まで、インド・アラブの説話文学の伝播と受容を論ずる。アラブでは『千一夜物語（アラビアン・ナイト）』、インドでは仏教の釈迦伝と、動物寓話集として知られる「パンチャタントラ」作品群を主にとりあげ、それぞれが世界のさまざまな文化にどのように受容され、変容していったかを、文化背景を考慮しつつ考察する。また、「杵物語」という形式が世界の近現代文学でどのように受け継がれているかを概観する。さらに、日本において民話として定着したインド説話を紹介し、インドやアラブでどのように展開したかを概観し、日本民話バージョンと比較する。 評価方法 コメントペーパー（20%）とレポート（80%） コメントペーパーは、毎回の授業の最後に、質問に答える形で用紙に記入する。ノートを見ても構わないが、独力で書くこと。 レポートの詳細は授業時に発表する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。							
50132	A	心理Ⅱ	本吉 勇	教養学部(前期課程) 心理・教育学	月3	1323教室	1年 文科 2年 文科
講義題目 認知心理学入門 目標概要 人間は、環境から受け取った光や音の情報をもとに、外界のモノや出来事を認識し、過去の記憶や与えられた状況に応じて適切に反応し、また他の人間と相互作用することができる。このすぐれて知的な能力はすべて脳の情報処理によるものである。認知科学(cognitive science)とは、文理の垣根を超えた幅広い分野が融合し、その仕組みを解明し制御することをめざす巨大な学問領域である。 本講義では、多くの錯覚デモや模擬実験を体験しながら、知覚、認識、記憶、感情、思考、社会性、集団心理といった基本的な「こころ」の原理原則と、その背後にある情報処理メカニズムを学ぶ。それによって、進化と学習が生み出した優れた情報処理装置としての人間—その賢さと愚かさの両面—を理解するための視点を身につけることをめざす。 評価方法 定期試験および出席による。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
50538	A	心理Ⅱ	長谷川 壽一	教養学部(前期課程) 心理・教育学	水1	1323教室	1年 文科 2年 文科
講義題目 心の発達と多様性 目標概要 人間の心理には、誰にでもほぼ共通な普遍的な働き（例えば、感覚、知覚、記憶、学習など）があると同時に、個人差や文化差といった心の多様性も存在する。心はまた、同じ個人であっても、乳幼児から老年期に至るまで、発生・発達の過程をたどる。本講義では、発達、個性（パーソナリティ・知能）、社会・文化をキーワードに、心の多様性について論じ、その適応性を考える。 評価方法 定期試験 教科書 PowerPoint教材 ガイダンス 特に行わない。							

基礎実験

基礎実験	
目標概要	自然科学の学習に不可欠な基本的な知識・技能を習得する。 1) 将来の自然科学の発展に対応できるように、自然科学諸分野の基礎的な実験方法と概念を理解できるようにする。 2) 基礎講義の内容を、基礎実験によってよりよく理解できるようにする。 3) 未知の自然現象の解明を目的とする研究実験に必要な観察力・姿勢を養い、みずから実験を計画する場合に不可欠な基本的技法を習得できるようにする。
授業の方法	月曜から金曜の指定された曜日に週1回受講する。 基礎実験は班に別れて行う。班分け、実施日程ならびに各班の実験種目ローテーションを21KOMCEE Eastに掲示するので前もって確認しておくこと。 【実験開始と終了】 13:00に実験を開始する。その時に、実験に関する説明・注意等をするので遅刻は厳禁である。 化学実験では13:20以降の遅刻は必ず欠席扱いとなる。 ただし、13:20以内の遅刻でも予習が不足していた場合、欠席扱いになることがあるので注意すること。 物理学実験では13:30以降の遅刻は欠席扱いとなる。 実験が終了し、データの解析を終えたら、実験ノートと実験報告書に必要な事項を書き、要求されているサンプル等を持って、試問を受けること。OKならばノートに検印を受ける。 きちんと後片付けをしてすみやかに退室すること。内容が十分でない場合は、再実験、再解析を指示する。 欠席：原則として、欠席に対する補充実験は認めない。 遅刻：遅刻は大きく減点する。 予習：必ず自分が受講する種目を予習しておくこと。予習してこない場合、実験の進行に支障を来す。グループで実験を行う場合、他のメンバーに大変迷惑をかけることになる。 また、実験全体の流れを前もって把握しておくことは事故を回避するためにも必ず必要なことである。従って、予習を行ってこなかったものに対しては実験を行うことを認めない。 早退：早退は欠席扱いとなる。 後片付け：後片付けが悪い場合は減点とする。 退室：実験を終了したら必ず終了時のチェック、試問を受けること。OKならばすみやかに退室する。 【用意するもの】 物理系種目：教科書『基礎物理学実験』、実験ノート(B5版)、グラフ用紙、計算機を用意すること。 化学系種目：教科書『基礎化学実験』、実験ノート(B5版)、計算機、白衣、保護メガネを用意すること。 【提出物】 物理系実験：実験終了後、実験ノート、解析結果を提示し、試問を受け、最終実験日に実験ノートを提出する 化学系実験：実験終了後、実験ノート、サンプル、グラフなどを提示し、実験報告を行い、1週間後に実験報告書を提出する。
成績評価方法	成績は、出席、予習、実験ノート、試問、後片付け、提出物（化学実験は実験報告書、物理学実験は実験ノート）で評価する。
教科書	著者（訳者）：基礎物理学実験テキスト編集委員会、教養学部化学部会 書名：基礎物理学実験、基礎化学実験 出版社：学術図書出版社、東京化学同人
履修上の注意	過去ノートの持ち込みはカンニング行為とみなす 携帯・スマホ・デジカメなどの記憶媒体の使用は禁止。 使用は不正行為とみなし厳正に処分する。 館内および外階段は全面禁煙とする。実験室内は飲食禁止。
関連ホームページ	http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/chemistry/exp/index.html
※講義の詳細については、UTASも参照すること	

時間割コード	開講	曜 限	科目名	対象クラス
50085	A 1	月3,月4	基礎実験I(物理学)	1年 理一(6-10,12-13)
50385	A 1	火3,火4	基礎実験I(物理学)	1年 理一(20-23,25-26,29-30)
50665	A 1	水3,水4	基礎実験I(物理学)	1年 理一(1-5,14,31,33-35)
50874	A 1	木3,木4	基礎実験I(物理学)	1年 理一(11,15-19)
51085	A 1	金3,金4	基礎実験I(物理学)	1年 理一(24,27-28,32,36-39)
60001	A 2	月3,月4	基礎実験Ⅱ(物理学)	1年 理一(6-10,12-13)
60048	A 2	火3,火4	基礎実験Ⅱ(物理学)	1年 理一(20-23,25-26,29-30)

時間割コード	開講	曜 限	科目名	対象クラス
60172	A 2	水3,水4	基礎実験Ⅱ(物理学)	1年 理一(1-5,14,31,33-35)
60180	A 2	木3,木4	基礎実験Ⅱ(物理学)	1年 理一(11,15-19)
60189	A 2	金3,金4	基礎実験Ⅱ(物理学)	1年 理一(24,27-28,32,36-39)
50086	A 1	月3,月4	基礎実験I(化学)	1年 理一(6-10,12-13)
50386	A 1	火3,火4	基礎実験I(化学)	1年 理一(20-23,25-26,29-30)
50667	A 1	水3,水4	基礎実験I(化学)	1年 理一(1-5,14,31,33-35)
50875	A 1	木3,木4	基礎実験I(化学)	1年 理一(11,15-19)
51087	A 1	金3,金4	基礎実験I(化学)	1年 理一(24,27-28,32,36-39)
60002	A 2	月3,月4	基礎実験Ⅱ(化学)	1年 理一(6-10,12-13)
60049	A 2	火3,火4	基礎実験Ⅱ(化学)	1年 理一(20-23,25-26,29-30)
60173	A 2	水3,水4	基礎実験Ⅱ(化学)	1年 理一(1-5,14,31,33-35)
60181	A 2	木3,木4	基礎実験Ⅱ(化学)	1年 理一(11,15-19)
60190	A 2	金3,金4	基礎実験Ⅱ(化学)	1年 理一(24,27-28,32,36-39)
50114	A 1	月3,月4	基礎物理学実験	1年 理二三(1-3,6-8) 奇数
50389	A 1	火3,火4	基礎物理学実験	1年 理二三(11,13,15,17) 奇数
50676	A 1	水3,水4	基礎物理学実験	1年 理二三(14,20-23) 奇数
50883	A 1	木3,木4	基礎物理学実験	1年 理二三(4-5,9-10,24) 奇数
51096	A 1	金3,金4	基礎物理学実験	1年 理二三(12,16,18-19) 奇数
60003	A 2	月3,月4	基礎物理学実験	1年 理二三(1-3,6-8) 偶数
60050	A 2	火3,火4	基礎物理学実験	1年 理二三(11,13,15,17) 偶数
60174	A 2	水3,水4	基礎物理学実験	1年 理二三(14,20-23) 偶数
60182	A 2	木3,木4	基礎物理学実験	1年 理二三(4-5,9-10,24) 偶数
60191	A 2	金3,金4	基礎物理学実験	1年 理二三(12,16,18-19) 偶数
50115	A 1	月3,月4	基礎化学実験	1年 理二三(1-3,6-8) 偶数
50390	A 1	火3,火4	基礎化学実験	1年 理二三(11,13,15,17) 偶数
50677	A 1	水3,水4	基礎化学実験	1年 理二三(14,20-23) 偶数
50884	A 1	木3,木4	基礎化学実験	1年 理二三(4-5,9-10,24) 偶数
51097	A 1	金3,金4	基礎化学実験	1年 理二三(12,16,18-19) 偶数
60004	A 2	月3,月4	基礎化学実験	1年 理二三(1-3,6-8) 奇数
60051	A 2	火3,火4	基礎化学実験	1年 理二三(11,13,15,17) 奇数
60175	A 2	水3,水4	基礎化学実験	1年 理二三(14,20-23) 奇数
60183	A 2	木3,木4	基礎化学実験	1年 理二三(4-5,9-10,24) 奇数
60192	A 2	金3,金4	基礎化学実験	1年 理二三(12,16,18-19) 奇数

数理科学

微分積分学②		開講区分	A
目標概要 代数学，幾何学とともに，数学の根幹をなす解析学について，その基本的な考え方や方法を学ぶ．力学における運動方程式などに代表されるように，自然界の多くの現象が，微分積分学を用いて記述される．微分積分学は，あらゆる科学技術の基礎となっている．微分積分学は17世紀末に，ニュートンやライプニッツらによって創成された．ニュートンは量の変化の記述に注目し，速度，加速度などの物理量を表現するために微分の概念を導入した．「微分積分学の基本定理」により，区分求積法によって定義される積分は，微分の逆操作であることが，明確に認識されるようになった． 微分積分学では，極限をとること，無限和をとることなどの操作が重要な役割を果たす．このような微分積分学の基礎となる極限の厳密な定義は，19世紀後半から整えられていった．この授業では，「数理科学基礎」で学んだ極限の扱いに基づき，微分積分学の基礎と応用を学ぶ．具体的な項目は以下の通りである．S2タームで項目1,2を扱い，Aセメスターで項目3～6を扱うことを目安とするが，担当教員によって，順序や内容に一部変更が加えられる場合がある． 1. 一変数関数の微分 (微分の基本性質，テーラーの定理，テーラー展開) 2. 多変数関数の微分 (偏微分と全微分，合成関数の微分の連鎖律) 3. 多変数関数の微分 (続き)(高階偏微分，多変数のテーラーの定理とその応用) 4. 一変数関数の積分 (区分求積法，微分積分学の基本定理) 5. 多変数関数の積分 (多重積分と累次積分，多重積分の変数変換公式) 6. 無限級数と広義積分 (関数列の収束，広義積分) 実数の連続性に基づく微分積分学の基礎の厳密な展開は，2年次Sセメスターの総合科目F系列「解析学基礎」で学ぶことができる．将来，本格的に数学を使う分野に進学しようという場合は「解析学基礎」によって微分積分学の理論的基礎を修得することをすすめる．なお，「解析学基礎」は1年次Sセメスターでも履修することができる．また，2年次Sセメスターの総合科目として，「微分積分学」の直接的な続きにあたる「微分積分学統論」，および「微分積分学」で学んだ事項の応用にあたる「常微分方程式」，「ベクトル解析」が開講される． 成績評価方法 授業中に指示をする 教科書 授業中に指示をする。 関連ホームページ http://faculty.ms.u-tokyo.ac.jp/~sugaku/ ※講義の詳細については，UTASも参照すること			

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50063	月2	山浦 義彦	724教室	1年 理二三(14-17)
50064	月2	緒方 芳子	741教室	1年 理二三(18-20)
50065	月2	今井 直毅	723教室	1年 理二三(21-24)
50169	月4	松田 茂樹	724教室	1年 理一(20-23)
50170	月4	足助 太郎	723教室	1年 理一(24-27)
50171	月4	川又 雄二郎	523教室	1年 理一(28-31)
50172	月4	WILLOX RALPH	741教室	1年 理一(32-35)
50173	月4	吉野 太郎	721教室	1年 理一(36-39)
50458	火4	大場 清	531教室	1年 理一(1,17-19)
50459	火4	斎藤 毅	741教室	1年 理一(2,4,5,8)
50460	火4	橋本 義武	723教室	1年 理一(3,11-13)
50461	火4	大坪 紀之	721教室	1年 理一(6-7,9-10)
50462	火4	篠原 克寿	724教室	1年 理一(14-16)
50673	水3	林 修平	721教室	1年 理二三(1-7)
50674	水3	岡崎 龍太郎	523教室	1年 理二三(8-10)
50675	水3	宮本 安人	524教室	1年 理二三(11-13)

線型代数学②		開講区分	A
目標概要 線型代数学の萌芽である行列は多変数の連立一次方程式を効率的、統一的に扱う手法として発明された。また、行列式は方程式の解がただ一つ存在するための条件として発見された。ベクトルの概念の起こりは古典力学にあり、その意味で線型代数学の歴史は古い。しかし行列の本質である線型性概念の真の威力が認識され、数学の一分野として線型代数学が確立したのは新しく、20世紀にはいつてのことであった。 自然界や社会科学における現象は一般には複雑で一次方程式で表せることはまれだが、一次近似によりその本質的な部分をとらえることは常套手段であり、線型代数学の考え方は非常に有効である。また、量子力学や、フーリエ解析などに現れる無限次元のベクトル空間を扱うための基礎ともなっており、線型代数学の応用については枚挙にいとまがない。このように、線型代数学の考え方は現代数学や理論物理学においてはもちろんのこと、工学、農学、医学、経済学などにおいても基本的な考え方として浸透しており、応用範囲も広い。線型代数学は理論的には単純で明快であるが、その反面、抽象的な概念操作にある程度慣れないと理解しにくい面もある。線型代数学を身につけるには、演習などのさまざまな問題にあたり、理解を深めることが必要である。「数理学基礎」において学んだベクトルと線型写像に関する知識を前提とする。 S2タームでUTASシラバス「授業計画」の項目1, 2を扱い、Aセメスターで項目3～6を扱うことを目安とするが、担当教員によって、順序や内容に一部変更が加えられる場合がある。 成績評価方法 授業中に指示をする 教科書 授業中に指示をする。 ※講義の詳細については、UTASも参照すること			

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50528	水1	植野 義明	721教室	1年 理二三(1-7)
50529	水1	寺田 至	523教室	1年 理二三(8-10)
50530	水1	谷口 健二	524教室	1年 理二三(11-13)
50531	水1	志甫 淳	724教室	1年 理二三(14-17)
50532	水1	小林 正典	741教室	1年 理二三(18-20)
50533	水1	北山 貴裕	723教室	1年 理二三(21-24)
50878	木3	海老原 円	724教室	1年 理一(20-23)
50879	木3	下川 航也	723教室	1年 理一(24-27)
50880	木3	飯田 正敏	523教室	1年 理一(28-31)
50881	木3	山崎 満	741教室	1年 理一(32-35)
50882	木3	梶原 健	721教室	1年 理一(36-39)
51076	金3	大田 佳宏	531教室	1年 理一(1,17-19)
51077	金3	戸瀬 信之	741教室	1年 理一(2,4-5,8)
51078	金3	高木 俊輔	723教室	1年 理一(3,11-13)
51079	金3	白石 潤一	721教室	1年 理一(6-7,9-10)
51080	金3	関口 英子	724教室	1年 理一(14-16)

微分積分学演習・線型代数学演習		開講区分	A
目標概要 数学は講義を聴いただけでは意味を理解することが難しく、自分の手を動かして計算や証明をやってみる必要がある。この2つの科目は微分積分学や線型代数学の講義と一体であり、練習問題を解くことによって講義に対する理解を助け、応用力を養う。講義内容に即した応用問題の他に、講義の理解を深めるための証明問題や、講義で触れられなかった内容に関する補足問題を適宜付け加えることもある。 成績評価方法 各教員が担当クラスの成績評価方法を授業中に説明する。 教科書 教科書は使用しない。 ※講義の詳細については、UTASも参照すること			

時間割コード	曜限	授 業 科 目 名	担当教員	教室	対象クラス
50117	月3	微分積分学演習	中村 勇哉	724教室	1年 理二三(14-17)
50118	月3	線型代数学演習	中村 勇哉	724教室	1年 理二三(14-17)
50119	月3	微分積分学演習	間瀬 崇史	741教室	1年 理二三(18-20)
50120	月3	線型代数学演習	間瀬 崇史	741教室	1年 理二三(18-20)
50121	月3	微分積分学演習	田中 雄一郎	723教室	1年 理二三(21-24)
50122	月3	線型代数学演習	田中 雄一郎	723教室	1年 理二三(21-24)
50481	火5	微分積分学演習	清野 和彦	531教室	1年 理一(1,17-19)
50482	火5	線型代数学演習	清野 和彦	531教室	1年 理一(1,17-19)
50483	火5	微分積分学演習	土岡 俊介	741教室	1年 理一(2,4-5,8)
50484	火5	線型代数学演習	土岡 俊介	741教室	1年 理一(2,4-5,8)
50485	火5	微分積分学演習	片岡 俊孝	723教室	1年 理一(3,11-13)
50486	火5	線型代数学演習	片岡 俊孝	723教室	1年 理一(3,11-13)
50487	火5	微分積分学演習	若林 泰央	721教室	1年 理一(6-7,9-10)
50488	火5	線型代数学演習	若林 泰央	721教室	1年 理一(6-7,9-10)
50489	火5	微分積分学演習	牛腸 徹	724教室	1年 理一(14-16)
50490	火5	線型代数学演習	牛腸 徹	724教室	1年 理一(14-16)
50716	水4	微分積分学演習	片岡 俊孝	721教室	1年 理二三(1-7)
50717	水4	線型代数学演習	片岡 俊孝	721教室	1年 理二三(1-7)
50718	水4	微分積分学演習	柏原 崇人	523教室	1年 理二三(8-10)
50719	水4	線型代数学演習	柏原 崇人	523教室	1年 理二三(8-10)
50720	水4	微分積分学演習	牛腸 徹	524教室	1年 理二三(11-13)
50721	水4	線型代数学演習	牛腸 徹	524教室	1年 理二三(11-13)
50916	木4	微分積分学演習	中村 勇哉	724教室	1年 理一(20-23)
50917	木4	線型代数学演習	海老原 円	724教室	1年 理一(20-23)
50918	木4	微分積分学演習	片岡 俊孝	723教室	1年 理一(24-27)
50919	木4	線型代数学演習	片岡 俊孝	723教室	1年 理一(24-27)
50920	木4	微分積分学演習	清野 和彦	523教室	1年 理一(28-31)
50921	木4	線型代数学演習	清野 和彦	523教室	1年 理一(28-31)

時間割コード	曜限	授 業 科 目 名	担当教員	教室	対象クラス
50922	木4	微分積分学演習	間瀬 崇史	741教室	1年 理一(32-35)
50923	木4	線型代数学演習	山崎 満	741教室	1年 理一(32-35)
50924	木4	微分積分学演習	若林 泰央	721教室	1年 理一(36-39)
50925	木4	線型代数学演習	梶原 健	721教室	1年 理一(36-39)

数理科学基礎（補修）		開講区分	A
目標概要	科学・技術の礎となる数理科学の基礎的内容を学び、高等学校で学んだ数学から大学で学ぶ数学への橋渡しとする。		
	講義は微分積分と線型代数の二つのテーマからなる。本科目の講義内容はS2タームから始まる「微分積分学」「線型代数学」に接続する。		
成績評価方法	定期試験による。		
教科書	授業中に指示をする。		
関連ホームページ	http://faculty.ms.u-tokyo.ac.jp/~sugaku/ms_sl.html		
※講義の詳細については、UTASも参照すること			

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50199	月5	WILLOX RALPH	741教室	1年 理科 2年 理科
50738	水5	佐々田 槇子	722教室	1年 理科 2年 理科

物質科学

電磁気学 A		開講区分	A
目標概要	電気・磁気の法則を電荷やその運動による電流が作り出す電磁場の法則として捉える事によって、電磁気現象を統一的に理解し、基礎方程式としてのマクスウェル方程式に至る。また、代表的な例題の解法を通じて、その内容と応用の理解を深める。主な項目は以下の通りであるが、実際の内容や順序は教員によって多少の違いがあり、特に*印のついた項目は省略される場合がある。 1. 序論：自然界の基本的力と電磁場、ローレンツ力、電荷の保存 2. 静電場 ・クーロンの法則とガウスの法則 ・電位とその性質 ・静電場の微分方程式（ガウスの定理、ストークスの定理） ・導体系 ・静電場のエネルギーとストレス 3. 定常電流 ・オームの法則、連続の方程式 ・回路への応用（キルヒホフの法則） ・ジュール熱 4. 定常電流による磁場 ・アンペールの法則 ・静磁場の微分方程式 ・ベクトルポテンシャル ・ビオー・サヴァールの法則 ・円電流と等価磁石 ・単位系 5. 電磁誘導とマクスウェル方程式 ・ファラデー・レンツの法則 ・変位電流と連続の方程式 ・マクスウェル方程式 ・電磁場のエネルギーと仕事 ・平面電磁波 ・準定常電磁場と交流回路 *6. 物質中の電磁場 *考え方：分極電荷、磁化電流 *誘電体、磁性体（常磁性、反磁性、強磁性） *異なった物質の間の境界条件 *物質中の電磁場エネルギー 成績評価方法 定期試験。 教科書 授業中に指示をする。 ※講義の詳細については、UTASも参照すること		

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50589	水2	久我 隆弘	523教室	1年 理一(1-5,30)
50591	水2	前田 京剛	524教室	1年 理一(6,31-33)
50595	水2	佐野 雅己	531教室	1年 理一(34-36)
50596	水2	加藤 岳生	533教室	1年 理一(37-39)
50597	水2	森松 治	532教室	1年 理二三(1-3,19-20)
50598	水2	大井 万紀人	721教室	1年 理二三(4,22,24)
50803	木2	岸根 順一郎	723教室	1年 理一(7,23-24,26)
50805	木2	若本 祐一	523教室	1年 理一(8-9,19,29)
50818	木2	櫻井 博儀	524教室	1年 理一(21-22,27-28)

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50822	木2	下村 裕	531教室	1年 理二三(7,17-18)
50823	木2	富谷 光良	721教室	1年 理二三(8,14,16)
50824	木2	遠山 満	533教室	1年 理二三(12-13)
51129	金4	年吉 洋	523教室	1年 理一(10-11)
51131	金4	秋山 英文	531教室	1年 理一(12-13,20)
51132	金4	町田 友樹	533教室	1年 理一(14-15,25)
51133	金4	國場 敦夫	723教室	1年 理一(16-18)
51146	金4	藤山 茂樹	524教室	1年 理二三(5-6,9-10)
51147	金4	松田 恭幸	721教室	1年 理二三(11,15,21,23)

電磁気学 B		開講区分	A
目標概要 入学試験で物理学を選択しなかった学生で希望する者を対象とする。 高等学校で未履修であること前提とした講義を行う。 講義では演習、宿題等を十分に課する。 目的は大学レベルの電磁気学を習得してもらう事である。入試において物理学を選択したものは受講資格がない。主な内容は以下の通り。 1. 序論：自然界の基本的力と電磁場、ローレンツ力、電荷の保存 2. 静電場 ・クーロンの法則とガウスの法則 ・電位とその性質 ・静電場の微分方程式（ガウスの定理、ストークスの定理） ・導体系、導体に働く力、静電場のエネルギーとストレス 3. 定常電流 ・オームの法則、連続の方程式 ・回路への応用（キルヒホフの法則） ・ジュール熱 4. 定常電流による磁場 ・アンペールの法則 ・ビオー・サヴァールの法則 ・電流に働く力 ・円電流と等価磁石 ・磁場のエネルギー ・単位系 5. 時間的に変動する電磁場 ・ファラデー・レンツの電磁誘導の法則 ・交流回路 6. 変位電流とマクスウェル方程式 ・変位電流と電荷の保存 ・マクスウェル方程式（積分形） ・平面電磁波 成績評価方法 定期試験. 教科書 授業中に指示をする。 ※講義の詳細については、UTASも参照すること			

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50590	水2	陶山 明	522教室	1年 理一(1-6,30-39)理二三(1-4,19-20,22,24)
50804	木2	上野 和紀	521教室	1年 理一(7-9,19,21-24,26-29)理二三(7-8,12-14,16-18)
51130	金4	齋藤 晴雄	521教室	1年 理一(10-18,20,25)理二三(5-6,9-11,15,21,23)

構造化学		開講区分	A
目標概要 物質の多様な構造や性質，反応を体系的に理解するには，原子や分子に基づいた化学的な考察が不可欠である。本講義では，初歩的な量子論に基づいて，原子の構造や周期律，分子の化学結合の基礎を学ぶ。理論的な基礎だけでなく，契機となった実験結果や身近な物質・現象を通して理解を深めることを目指す。各教員が共通して取り上げる具体的な項目は，下記の通りである。 1. 量子論の必要性 ・ 原子の発光スペクトル(離散的なエネルギー準位，Bohr原子) ・ 電子の粒子性と波動性(電子回折，物質波) 2. 量子論の基礎 ・ Schrödinger方程式 (原子・分子の量子論の出発点) ・ 1次元箱中の電子 (ポリエンの吸収スペクトルと色) ・ 2原子分子の振動 (振動スペクトルと分子構造) 3. 原子の構造と性質 ・ 水素原子 (量子数，エネルギー準位，原子軌道) ・ Pauliの排他原理 (電子スピン) ・ 多電子原子 (元素の周期律と構成原理) 4. 化学結合と分子 ・ 水素分子イオン (分子軌道，化学結合) ・ 2原子分子 (分子の性質と電子構造) 成績評価方法 ※各授業のUTASシラバスを参照すること 教科書 ※各授業のUTASシラバスを参照すること ※講義の詳細については，UTASも参照すること			

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50054	月2	立川 仁典	523教室	1年 理一(7,9,22)
50058	月2	角野 浩史	531教室	1年 理一(31-34)
50060	月2	村田 昌之	524教室	1年 理二三(1-6,13)
50083	月3	安池 智一	523教室	1年 理一(1-4,14,30)
50116	月3	青木 優	524教室	1年 理二三(10-12)
50247	火1	河野 淳也	531教室	1年 理一(11-12,24)
50248	火1	真船 文隆	532教室	1年 理一(27-29,35)
50249	火1	青木 優	524教室	1年 理二三(7-8,15)
50388	火3	小安 喜一郎	532教室	1年 理二三(9,14,19-20)
50391	火3	長谷川 宗良	531教室	1年 理二三(21-24)
50668	水3	澁田 靖	533教室	1年 理一(6,13,15)
50670	水3	山口 和也	531教室	1年 理一(16-18)
50671	水3	真船 文隆	532教室	1年 理一(19-20,36)
50714	水4	齊藤 圭亮	532教室	1年 理一(21,23,25-26)
50715	水4	角野 浩史	531教室	1年 理一(37-39)
50872	木3	中田 真秀	524教室	1年 理一(5,8,10)
50886	木3	橋本 健朗	531教室	1年 理二三(16-18)

生命科学

生命科学Ⅱ		開講区分	A
目標概要 細胞生物学を中心に細胞の構造と機能の初歩を講義する。内容はほぼ以下の通りであるが、講義の具体的な進め方は教員によって多少異なることもある。開講時の説明をよく聞くこと。 1. 細胞内輸送 2. 細胞骨格と細胞運動 3. 細胞間・細胞内情報伝達 4. 神経伝達と機能 5. 細胞周期 6. 動物・植物の発生 7. 遺伝子の発現制御 8. ゲノムと進化 9. 生物多様性 成績評価方法 定期試験に加え、小テスト・レポートなどを加味し総合的に評価する。 教科書 著者（訳者）：東京大学生命科学教科書編集委員会 編 書名：理系総合のための生命科学－分子・細胞・個体から知る“生命”のしくみ－第三版 出版社：（株）羊土社 ISBN：978-4-7581-2039-5 ※講義の詳細については、UTASも参照すること			

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50174	月4	渡邊 雄一郎	1101教室	1年 理二三(9-10,14,16)
50176	月4	豊島 陽子	1102教室	1年 理二三(17-18,21-22)
50994	金1	道上 達男	524教室	1年 理二三(8,11-12,15)
50995	金1	大杉 美穂	1101教室	1年 理二三(19-20,23-24)
51089	金3	大杉 美穂	1101教室	1年 理二三(1-7,13)

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51396	A	社会科学ゼミナール (法・政治)	大串 和雄	法学部	月5	120教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 政治体制の民主化の研究 目標概要 民主主義ではない政治体制（権威主義体制、独裁体制などと呼ばれる）から民主主義体制への移行はいかなる条件のもとで可能になるのか。この問題は、1980年代以来、比較政治学的重要な争点となってきた。本ゼミナールにおいては、まずテキストで政治体制の民主化に関する主要な理論とアジアの具体例について学んだ後、履修者各自が、テキストで取り上げられていない事例に対してテキストで学んだ理論を適用し、報告する。 履修希望者の選考は実施しないが、初回の授業には必ず出席すること。また、本ゼミナールで使用するテキストは日本語であるが、各自が事例研究を進めるにあたっては、日本語の文献には限りがあるため、少なくとも英語の文献に当たって調べることが必要になると思われる。したがって、英語（または事例研究対象国の公用語）の一定以上の読解力が必要とされる。 評価方法 平常点による。 教科書 著者（訳者）：武田康裕 書名：民主化の比較政治—東アジア諸国の体制変動過程 出版社：ミネルヴァ書房 ISBN：4-623-03530-1 ガイダンス 特に行わない。							
51397	A	社会科学ゼミナール (法・政治)	白石 忠志	法学部	水2	K303	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 競争法入門 目標概要 競争法（独禁法）についての簡潔な説明を受けただけで、具体的問題に取り組む。具体的問題の候補として、例えば、以下のようなものが考えられる。 ①民間企業であるGoogleに対し検索結果の表示方法を規制するのは妥当か。 ②日本へのLNGの輸入価格を下げるにはどうすればよいか。 駒場の1年生・2年生でも、上記のような課題には十分にに取り組める。教室で皆で精読できる分量の英語資料・日本語資料を厳選し、しっかりと理解する。 法学部の科目はいずれも、細かな法解釈を考えるとというだけでなく、政策やビジネスに直結し、世界に広がっている。それを早期に体感する機会となることを目指している。 評価方法 平常点による。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
51398	A	社会科学ゼミナール (法・政治)	新田 一郎	法学部	水5	518教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 戸籍の社会史 目標概要 明治～昭和初期の或る一群の戸籍を題材に、資料からいかに問題を析出するか、いかにして調べを進めてゆくかを、さまざまな留意点とともに例示的に学ぶ。戸籍の表面には或る具体的な人間関係が、背景をなす社会制度・法制度に条件づけられて投射されている。表面と背景、それぞれの細部に徹底的にこだわり、戸籍において交錯する「個人」と「制度」を多面的かつ立体的に把握することをめざす。 履修希望者が15名を大きく超えた場合は、レポートを課して選考する。レポートの課題は初回授業で指示し、翌週月曜を提出期限とするので、初回授業に必ず出席すること。受講許可は第2回授業の前日に掲示によって告知する。 評価方法 授業中のパフォーマンスおよび期末レポートによる。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50769	A	社会科学ゼミナール (法・政治)	木宮 正史	教養学部(前期課程) 法・政治	木1	K301	1年 文科 2年 文科
講義題目 比較政治学の新たな古典を読む 目標概要 比較政治学もしくはグローバルヒストリーの新たな古典や論争の書を次々と世に送り出しているフランシスフクヤマの最新の『Political Order and Political Decay』を輪読することで、比較政治学を勉強するために何が必要であるのか、それを自ら確認することを目指す。 評価方法 各自の担当部分に関するレジュメおよび報告、通常の授業における参加度、さらに、期末レポートを総合的に勘案する。期末レポートは、本書に関する書評を4000字～8000字程度で作成してもらう。 教科書 著者（訳者）：Francis Fukuyama 書名：Political Order and Political Decay 出版社：Profile Books ISBN：978-1846684371 ガイダンス 特に行わない。							
50276	A	社会科学ゼミナール (国際関係)	古城 佳子	教養学部(前期課程) 国際関係	火2	117教室	1年 文科 2年 文科
講義題目 国際関係における対立と協調の考察 目標概要 国際関係論（国際政治学）とは何を学ぶのかという問いを念頭に置きながら、E. H. カー『危機の二十年』（原彬久訳、岩波文庫）を読んだ上で、関連した文献（日本語及び英語）を読み、主権国家システムの変容について議論する。受講者数は20名を上限とする。受講希望者は必ず第1回目の授業に出席すること。 評価方法 授業への参加度と課題の小論文により評価する。 教科書 著者（訳者）：E. H. カー（原 彬久訳） 書名：危機の二十年―理想と現実 出版社：岩波文庫（岩波書店） ISBN：4003402219 ガイダンス 第一回授業日に行く。							
50277	A	社会科学ゼミナール (社会・社会思想史)	市野川 容孝	教養学部(前期課程) 社会・社会思想史	火2	119教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 質的調査の方法 目標概要 社会調査は、量的調査と質的調査の二つに大別されるが、本授業では、質的調査と呼ばれるもの（聞き取り調査、参与観察法、ドキュメント分析、ライフストーリー分析、等）について、一定の知識を得つつ、その方法をいくつかのテーマに即して実践しながら習得する。社会調査士【F】科目。 評価方法 授業中に出される諸課題、レポート等。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。							

人文科学ゼミナール

※人文科学ゼミナールの各科目は、「方法基礎」単位未取得の2年生を除いて、2014年度以前の入学者は履修することができないので、注意すること。

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51394	A	人文科学ゼミナール (哲学・科学史)	一ノ瀬 正樹	文学部	火3	1109教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 英米哲学入門 目標概要 哲学入門の一つのやり方として、英語圏の哲学を切り口として、哲学とは何か、どのような主題を論じているのか、どのような論争の経緯があるのか、などについて考察していく。拙著『英米哲学史講義』(2016年、ちくま学芸文庫)を教科書として、最初の時間に私が導入を行い、その後は担当を決めて報告してもらう。扱う具体的なトピックは、言語のプライベート性、所有権概念、因果関係、功利主義(大福主義)、自由とは何か、言語行為論、嘘つきのパラドックス、言語ゲーム、動物倫理、プラグマティズム、反証可能性、曖昧性、バイズ主義などである(全部扱えるかどうかは確言できないが)。出席を重視する。 評価方法 ゼミナールなので、基本的に授業に出席して、報告をしてもらうことを必要条件とする。報告に当たらなかった人には、レポートを提出してもらう。 教科書 著者(訳者): 一ノ瀬正樹 書名: 英米哲学史講義 出版社: ちくま学芸文庫 ISBN: 978-4-480-09739-2 ガイダンス 特に行わない。							
51009	A	人文科学ゼミナール (哲学・科学史)	古荘 真敬	教養学部(前期課程) 哲学・科学史	金2	518教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 『ツァラトウストラ』を読む 目標概要 『ツァラトウストラはこう言った (Also sprach Zarathustra)』は、ニーチェの孤独と病苦と漂泊の生活のなかから生み出された歴史的大作である。スイスのシルスマリアに滞在中の彼を襲った「永遠回帰」の思想を核として一気呵成に書き上げられたとされるこの大作を、当授業では共に丁寧に読み進めていきたい。その共同作業を通じて、哲学のテキストを読むとはどのような営みなのか実際に学ぶことができるだろう。 評価方法 発表の担当および期末レポートで評価する。 教科書 著者(訳者): ニーチェ著(吉沢伝三郎訳) 書名: (ニーチェ全集9) ツァラトウストラ(上)、(ニーチェ全集10) ツァラトウストラ(下) 出版社: ちくま学芸文庫 ISBN: 978-4-480-08079-0、978-4-480-08080-6 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51393	A	人文科学ゼミナール (歴史学)	守川 知子	文学部	月4	118教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 イブン・バットゥータ『大旅行記』を読む 目標概要 14世紀の大旅行家イブン・バットゥータの『大旅行記』を精読することにより、一次史料を読むことの面白さを体感する。あわせて、文献の調べ方や歴史学の方法論の基礎を身につけることを目標とする。 なお、第1回授業は9月25日(月)を予定している。 評価方法 受講者の報告と、授業への参加・態度、およびレポートにより評価する。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
50278	A	人文科学ゼミナール (歴史学)	桜井 英治	教養学部(前期課程) 歴史学	火2	116教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 中世日本の史料を読む 目標概要 古代・中世史研究で使われる史料の多くは、変体漢文とよばれる特殊な漢文で書かれている。それは中国漢文が日本列島に入り、長い年月をかけて独自の変化をとげたものであり、それを読みこなすには一定の訓練と習熟が必要になるが、ひとたび慣れてしまえば、これ以上におもしろい世界はない。そのおもしろさに触れてもらおうというのがこの授業の第一の目標である。一方、一口に史料といっても、古文書・古記録・著述、あるいは一次史料か二次史料かに応じて求められる史料操作も異なってくるし、近年では文献史料ばかりでなく、考古学や民俗学資料の活用も不可欠になってきている。これらさまざまな史・資料を扱う際の技術や心構えについてもあわせて学んでもらうことになる。 評価方法 出席態度、小テスト、期末のレポート等によって総合的に判断する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51395	A	人文科学ゼミナール (歴史学)	松方 冬子	史料編纂所	水5	K302	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 オランダ商館長日記を読む 目標概要 史料を読んで自分で問題を見つけ、周辺史料等を自分で調べたうえでパワーポイントを使って発表し、日本語でレポートを書く訓練をします。 江戸時代、オランダ東インド会社のちにはオランダ領東インド政庁のもとで貿易を担っていた、平戸商館長、長崎商館長の公務日誌を素材として扱います。基本的には日本語訳を用いますが、適宜オランダ語原文も参照します。 商館長日記の内容は、貿易だけでなく、外交面、社会面など多岐にわたりますので、様々な論点からのアプローチが可能です。従来は「日蘭関係史」という枠組みで読まれてきた史料ですが、異文化交流史、グローバルヒストリーの史料であるともいえます。参加者とともに新しい読み方を探していきたいと思います。 参考書は、UTASシラバス「参考書」欄に示すほかにもあります。授業でご紹介します。 評価方法 発表、討論、レポート 教科書 著者（訳者）：東京大学史料編纂所 書名：日本関係海外史料 オランダ商館長日記 訳文編之1～12 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
50953	A	人文科学ゼミナール (歴史学)	杉山 清彦	教養学部(前期課程) 歴史学	木5	115教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 史料で読む明清交替——『建州聞見録』講読 目標概要 歴史学とは、史料に基づいて人類の来し方をたどり、現在をも含むその時々の世界の姿を、時間の流れに即してとらえる営みである。この演習（ゼミナール）では、近世のユーラシア東方に覇を唱えた大清帝国を取り上げ、その建国期の内情を記した朝鮮の漢文史料『建州聞見録』を講読する。『建州聞見録』は、明と清の決戦として名高い萨尔浒の戦（1619年）で捕虜となった朝鮮軍人が書き残した見聞記であり、君主ヌルハチと重臣たちの人物像や、当時の女真人（満洲人）の慣習を活写した貴重な記録として知られている。 本演習では、一次史料の精読を通じて、明末清初期の様相を史料に即して理解するとともに、辞書・索引・年表など各種参考図書の利用法や、史料・研究文献の検索法など、歴史学研究のための基本的な知識と技術を習得することをめざす。受講には特段の資格は要しないが、漢文講読を全員に課すので、15名を超えた場合や、漢文読解に難がある受講希望者については、初回授業時に履修について相談することがある。 評価方法 講読時の平常点と期末のレポートにより評価する。演習であるので、毎回の出席はもちろん、事前の十分な予習と、発言など演習時の積極的参加姿勢とが求められる。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50739	A	人文科学ゼミナール (文化人類学)	福島 真人	教養学部(前期課程) 文化人類学	水5	シラバス 参照	1年 文科
講義題目 アイデンティティ、文化、価値、アイデンティティー文化人類学／社会科学からみた自己、集団、価値の生成、発展、対立のダイナミズム 目標概要 現代のグローバル化する社会において、多くの異なる価値体系や文化が共存することが求められている一方で、メディアなどでは連日そうした価値の対立を示す出来事が多く取り上げられている。それは民族紛争、宗教対立といった問題にとどまらず、たとえば生命倫理、福祉政策やさらには人工知能の発展といった、さまざまな価値の対立が姿を現している。そうした急激な変化の中で、我々自身の個人的、文化的、社会的なアイデンティティもまた、大きな挑戦をうけているといえる。 そもそもアイデンティティとは、自分が自分らしいと感じる価値の体系であり、それは個人のレベルでの自分らしさの感覚から、民族的なレベルでのそれ（エスニック・アイデンティティ）あるいは専門家としての職業的なアイデンティティ等、色々な側面がある。他方価値の構造が急激に変化する中、こうしたアイデンティティ観も大きな挑戦をうけ、さらにメディアの発達やサイバー化によってアイデンティティの分散化、希薄化、さらにはこれと全く異なる多様な傾向への試みも顕著にある。 しかし、こうした多様な自己の探求という動きと逆行するように、過激な宗教思想や、民族的な対立は、むしろ価値の体系が狭く、強固になり、他を認めないという世界的な風潮も高まっている。これは単に宗教や民族面だけでなく、思想、科学的論争においても、たとえば地球温暖化に対する肯定派、否定派の対立は激しさをまし、経済格差と政治的な争いも激しさを増す傾向がある。この背後には、こうした対立を生み出す、われわれの「価値」の構造というのが、単に表面上の理屈や理論に基づくだけでなく、われわれの身体自体に深く根ざすものであるという認識の必要性が存在する。 このゼミでは、アイデンティティにみられる我々の自己観が、多様化する価値観の中でどのように変化し、どんな方向に向かっているかを、文化人類学、社会学、心理学等の領域を分野横断的に概観しながら、その中にある、共通のダイナミズムと解決の（不）可能性について考えることを目的とする。 特にこの授業では、文化、心理、宗教、政治、科学技術といった異なる領域を横断的に支える価値／身体／所属する共同体といった構造が、いかにこうした対立を支え、そのダイナミズムが一見異なる領域の間に興味深い相似性を示すことを理解することをその最終的な目的とする。 評価方法 授業期間中の発表 授業中のディスカッション レポート 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 第一回授業日に行く。2017年09月27日5限14号館7階セミナー室							
51475	A	人文科学ゼミナール (テキスト分析)	郷原 佳以	教養学部(前期課程) フランス語・イタリア語	月5	116教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 フランス語で小説を読む 目標概要 20世紀初頭に様々な領域で活躍した驚くべき詩人・小説家・美術批評家、ギヨーム・アポリネールの短篇小説を読む。初級文法を一通り終え、フランス語で小説を読みたいという学生に、とりわけ「奇妙な物語」が好きな人に向いている。 評価方法 平常点と定期試験 教科書 著者（訳者）：アポリネール／渡辺明正 書名：アポリネール・コント集 出版社：第三書房 ISBN：9784808622077 ガイダンス 特に行わない。							
50279	A	人文科学ゼミナール (テキスト分析)	中尾 まさみ	教養学部(前期課程) 英語	火2	515教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 英語圏現代詩入門 目標概要 20世紀後半以降に英語で書かれた詩をとりあげ、テキストを精密に読んで分析する方法を学びます。現代詩は、形式においても主題においても伝統的な詩のあり方を逸脱し、自由で多様な言語世界を展開しています。脱植民地化を経て「英語圏」と認識される地域も著しく拡大し、また新しいメディアに乗って急速に伝播した大衆文化の影響も見逃せません。その豊かさを知力・想像力を最大限に使ってじっくり味わい、十分な論拠に基づいて考察できるようになることが目標です。 この授業は、少人数のゼミナール形式で行います。履修希望者が20名を超えた場合は、第1回の授業で小論文の試験を実施して選考しますので、必ず出席してください。選考結果は、第2回の授業までに掲示とITC-LMS上で告知します。 評価方法 授業参加（口頭発表、ディスカッション）と定期試験 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50693	A	人文科学ゼミナール (テキスト分析)	深澤 晴奈	教養学部(前期課程) スペイン語	水3	K501	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 スペイン語テキスト分析 目標概要 本コースは、初修スペイン語の文法知識を確認しながら中級レベルの短編小説を読解・解釈し、スペイン語の表現能力の向上を目標とするものである。テキストはスペインの現代作家マヌエル・リバスの短編小説“La lengua de las mariposas”及び“Un saxo en la niebla”を使用する。テキストの注釈を参考にしながらあらかじめ予習をしてきてもらい、授業では文章の訳を提示し各々の訳に対する解説をおこなうことによってスペイン語の知識のより確実な習得を目指す。授業では音読やスペイン語作文にも取り組んでもらうため、初級文法を終え、さらにより総合的なスペイン語能力の向上を目指している積極的な学生の参加を期待する。 評価方法 積極的な授業への参加と質問・コメント及び提出課題への取り組みを通じて総合的に評価をおこなう。 教科書 著者（訳者）：Kunikazu Iwane, Wakako Kikuda 書名：La lengua de las mariposas 出版社：朝日出版社 ISBN：978-4-255-55027-5 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
50740	A	人文科学ゼミナール (テキスト分析)	田口 一郎	教養学部(前期課程) 国文・漢文学	水5	114教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 『酔古堂剣掃』講読 目標概要 中国明代末期の知識人、陸紹珩が記した警句・格言集『酔古堂剣掃』を講読します。 本書は中国よりも、日本で江戸・明治期によく読まれた書籍で、今回使うテキストも、江戸期に日本で刊行されたものを用います。 本書には、これまでに訓読はありますが、全条は現代日本語訳されていません。 今回の演習では、現代日本語訳の無い部分について、訓読を参考にしながら、各種参考書を駆使して訳注をつくっていただくことになります。 履修希望者が20名を超えた場合は、試験を実施して選考しますので、初回授業に必ず出席すること。受講許可は第2回目までに掲示によって告知します。 評価方法 平常点・レポートによる。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。							
51165	A	人文科学ゼミナール (テキスト分析)	矢田 勉	教養学部(前期課程) 国文・漢文学	金5	115教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 江戸の文字・ことば遊び、式亭三馬『小野ばかむら嘘字尽』を読む 目標概要 江戸後期の戯作者、式亭三馬の著作、『小野ばかむら嘘字尽』（「ばかむら」は「愚」に竹かんむり、「嘘」は正しくは言べん）を読みます。 文字遊び、言葉遊びの集大成とも言える本書から、江戸時代人の文字意識・言語意識を読み取るとともに、江戸文学の方法としてのパロディの技法について理解したいと思います。 評価方法 平常点（40パーセント程度）と期末レポート（60パーセント程度）による。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。2017年09月29日							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51010	A	人文科学ゼミナール (データ分析)	矢田部 修一	教養学部(前期課程) 英語	金2	E35教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 統計解析システムRによる言語データの分析 目標概要 小説とか国会の議事録といった言語データを分析対象として用い、統計解析システムRを道具として使って、統計処理の基礎を学ぶ。コンピュータや統計に関する知識は全く前提とせず最も初歩的なことから始めて、データの視覚化および統計的分析のためのさまざまな手法を概観し、そのうちの幾つかは自分で使いこなせるようになることを目標とする。 現代のほとんどの人間は起きている時間の大部分を読んだり書いたり喋ったりといったある種の言語活動に費やしているわけだから、言語データの分析という作業は人文科学のみならず社会科学においても意義を有するものである。授業ではなるべく色々な種類の言語データを取り上げてみたい。 分析のための道具として用いるRは、Windows上でもMac上でもLinux上でも使える無料ソフトウェアである。 履修者の選考は実施しない。 評価方法 授業期間中の数回のレポート50% 期末のレポート50% 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。							
51011	A	人文科学ゼミナール (データ分析)	大森 拓哉	教養学部(前期課程) 心理・教育学	金2	KALS (17号館2階)	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 人間行動データの調査分析 目標概要 物事を客観的に判断するための一つは、証拠となるデータを集め、分析することである。この授業では、人間行動や社会現象一般のデータを用い、的確な分析ができるようになるための基礎を学ぶ。具体的には、EXCELを用いて、実際のデータの収集・分析・考察を講義と演習によって行う。演習は一人一台のPCを使用して行う。 評価方法 出席、授業中の課題、最終課題の合計点で評価する。 出席点20%、課題点80% 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。							
51111	A	人文科学ゼミナール (データ分析)	荒井 良雄	教養学部(前期課程) 人文地理学	金3	115教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 地域調査・地域分析の方法 目標概要 地域を理解・解明するための調査法、分析法の入門的な講義・実習を行います。フィールド調査、地図の読解と作成、地域データの収集・分析、統計データの利用などの内容を含みます。授業の一部は実際にフィールドへ出かける野外実習にあてます。なお、これまでの野外実習の様子は、UTASシラバス「関連ホームページ」欄の人文地理学教室HPで見ることができます。 なお、履修希望者が20名を大きく越えた場合には、小論文の試験によって選考を行う場合がありますので、初回授業に必ず出席してください。受講許可は第2回目以前に掲示によって告知します。 評価方法 実習の成果物（レポート）および最終レポート（各自がテーマを設定して作成）を総合的に評価します。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

自然科学ゼミナール

※自然科学ゼミナールの各科目は、2014年度以前の入学者は履修することができないので、注意すること。

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50185	A	自然科学ゼミナール (身体運動科学)	石井 直方 久保 啓太郎	教養学部(前期課程) スポーツ・身体運動	月4	K402	1年 文科 理科
講義題目 アドバンスト・フィットネス 目標概要 定期的にトレーニングやスポーツを行っている学生やトレーニングに興味を持つ学生を対象に、最新のトレーニング科学の知識を講義と実習を通じて提供する（定員25名）。 *履修者の決定方法等については、UTASシラバスの「履修上の注意」を参照すること。 評価方法 出席、レポート、受講態度などから総合的に評点する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51399	A	自然科学ゼミナール (生命科学)	和田 洋一郎	アイソトープ 総合センター	月5	515教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 放射線影響と利用 目標概要 アイソトープ総合センターにおいては、生命科学から数理科学まで広範な領域にわたって専任教員による研究が行われている。同時に、全学センターとしては学内の放射線利用者への教育や、放射線を使った先端的研究支援を行い、学外に向けては原子力発電所事故の被災自治体や地元教育研究機関と協力して、除染・測定を含む学術的活動を継続的に行い、帰還を支援している。当センターはこれらの活動を通じて、被災地住民にとって真に重要な課題を明らかにし、これに取り組むために従来の学問の限界や枠組みを押し広げる努力を行っている。放射線影響、特に低線量の内部被ばくメカニズム解明やそれに対する防護については未知の点が多く、集学的な対応が必要であることから、その全貌を把握する系統的機会は少ない。そこで、本講義においては可及的に多様な視点から放射線が生体に及ぼす現象を平易に解説することを目的とする。また、当センターは生体イメージングや、α線核種を用いた医薬品開発など、先端的なアイソトープ利用の拠点としての役割も果たしているため、最新の学問的潮流を踏まえて、放射線の有効利用の現状と次の展開についても解説する。特に、アイソトープ総合センターの教職員が取り組む研究とその成果をとりあげることにより、現実的な課題から最先端の科学研究に至るまで概観することを本講義の目的とする。 「放射線影響と利用」では、(受講希望者が多数の場合には)受講を希望する理由書に基づき選抜を実施する。履修希望者は本講義の受講を希望する理由をA4用紙1枚程度に記載し、第1回講義の際に提出すること。選抜結果は、第2回講義前までに掲示する。 評価方法 それぞれの講義のうち幾つかを選択した上でレポート提出を求め、最終回に予定している測定演習の成績と総合して理解度を判定、評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51180	A	自然科学ゼミナール (生命科学)	吉田 丈人	教養学部(前期課程) 生物	集中	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 野外生物学：湖沼のフィールド実習 目標概要 基礎知識を学ぶ講義と野外生物の観察・実験を組み合わせ、実際の生物に触れながら、湖沼生態系とその生物群集に対する理解を深める。今回は、湖沼にすむ魚類の摂餌生態と最適摂餌戦略をテーマとする。 休日を利用して実施する集中講義では、湖沼生態学の基礎を紹介し、調査や実習にその知識を役立てることを期待する。フィールド実習は、関東近郊の湖沼において、休日を利用して実施する。また、採集した試料の分析などのために、調査日以降の休日を利用して実験室実習を行う。休日を利用して実施するこれらの授業・調査・実習に参加できない場合は、履修できないので注意すること。 調査や実験を実施するため、受講者を15名程度に制限する。受講希望者が受講可能数を超える場合は、レポート課題により受講者を選抜する。その他、詳しい内容はガイダンスにおいて説明・指示する。ガイダンスは、10月3日（火曜）昼休みに、106教室を予定している。 評価方法 グループ発表・参加姿勢 教科書 著者（訳者）：Bronmark & Hansson(著) 占部城太郎（監訳） 書名 ：湖と池の生物学：生物の適応から群集理論・保全まで 出版社 ：共立出版 ISBN ：978-4-320-05646-6 ガイダンス 特定日に行う。2017年10月03日 UTASシラバス(「授業目標、概要」参照)							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51181	A	自然科学ゼミナール (生命科学)	和田 元	教養学部(前期課程) 生物	集中	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 身近な植物を通して、植物の生き方を考える 目標概要 駒場キャンパスにどのような植物（草木や樹木）が生育しているのかを調べる。また、駒場キャンパスに生育している植物を実験材料として、器官、組織、細胞レベルでの形態を観察し、それらの形態は植物にとってどのような意味があり、生き方とどのような関係にあるのかについて考える。 評価方法 レポート 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特定日に行う。2017年09月29日12時20分から50分までの時間、21KOMCEE East 生命科学実験室							
50741	A	自然科学ゼミナール (化学)	若杉 桂輔	教養学部(前期課程) 化学	水5	517教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 生命を担う分子の化学 目標概要 本ゼミナールでは、生命を担う主要な生体分子であるタンパク質を題材に、生命現象を分子レベルで理解する「生化学」を学ぶ。特に、生命現象について化学熱力学や化学反応の観点から考える。具体的内容としては、タンパク質の構造、安定性、分子間相互作用、様々な化学反応の触媒機能などを取り上げ、化学熱力学、反応速度、反応機構などについて考える。生物系への進学を希望する学生の受講も大いに歓迎する。なお、受講希望者が多数の場合には、選拔を実施することがある。履修希望者は第1回目の講義に必ず出席すること。 評価方法 出席および各回の講義における発表、質疑応答により評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51406	A 1	自然科学ゼミナール (化学)	伊藤 喜光	工学部	木5	119教室	1年 理科 2年 理科
講義題目 生命現象の理解と技術・医療への展開 目標概要 生体内で機能する分子の本質的な理解が進み、生命現象を操作できる多彩な分子や細胞の創出が可能となっている。本科目では生命メカニズムの理解とその応用の融合である生命工学・細胞工学を俯瞰し、更に医療分野において用いられる材料について、材料学的な視点から学ぶ。 ・生体分子が持つ構造・機能・情報 ・細胞を知る：機能の分化と制御のメカニズム ・生命現象の理解が生み出すテクノロジー ・バイオマテリアルとして働くハイドロゲル ・マテリアルによるナノ医療イノベーション ・診断医療に貢献するマテリアル 本講義では受講希望者が多数である場合、受講者数の調整を行う。(1)化生系・マテリアル志望推薦入学生、(2)工学部志望推薦入学生、(3)それ以外、の希望者の順に受講を許可する((3)の希望者は抽選とする)。このため、原則として1回目の講義には必ず出席すること。 評価方法 出席と提出物 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51012	A	自然科学ゼミナール (化学)	平岡 秀一	教養学部(前期課程) 化学	金2	K201	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 有機反応機構を考える 目標概要 本ゼミナールはSセメスターに開講された「有機反応化学」を発展させ、実際に報告されている様々な有機化学反応を題材に、その反応機構を考える授業である。「有機反応化学」では、有機化合物の立体構造や安定性、基本的な有機反応とその反応機構を電子論的に考えられることを学んだが、本講義ではなぜそのような反応が起こるのか、もしくはある生成物がなぜ優先的に生成するのかを、軌道の相互作用、中間体もしくは遷移状態の安定性をもとに定性的に議論し、合理的な解釈へ至る方法を学ぶ。本授業はSセメスターに開講された「有機反応化学」で学んだ内容が必要になることがあるが、「有機反応化学」を履修していない学生でも、意欲があれば大いに歓迎する。過去に開講されたクラスでも「有機反応化学」未履修者が履修していたが、問題なく最後まで参加していた。なお、「有機反応機構を考える」では、受講希望者が多数の場合には、選抜を実施する。履修希望者は第1回目の講義に必ず出席すること。選抜結果は、第2回講義前までに掲示する。参考として、過去のクラスにおいて、受講者の選抜が行われたことはない。 評価方法 出席および各回の講義における発表、質疑応答により評価する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51401	A	自然科学ゼミナール (数理科学)	小木曾 啓示	教養学部(前期課程) 数学	火2	105教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 群と対称性 目標概要 数理科学のみならず自然科学全般において基礎となる群と群の作用に関する基本概念とその扱い方を多くの具体例とともに解説する。また、時間に余裕があれば、他の重要な代数系である環・体についても解説する。 評価方法 出席とレポートによる。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51407	A	自然科学ゼミナール (数理科学)	米田 剛	教養学部(前期課程) 数学	金2	515教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 数理流体力学の基礎・ミレニアム懸賞問題へのいざない 目標概要 Clay 財団は2000年に、21世紀に解かれるべき数学の未解決問題を7つ挙げた。それぞれの未解決問題に100万ドルの懸賞金がかけられている。 有名なものとしては、ポアンカレ予想やリーマン予想が挙げられる。本授業では、流体力学の基礎方程式である3次元Navier-Stokes方程式に関するミレニアム未解決問題を取り上げ、初学者でも分かりやすく（前提知識としては微分積分学と線型代数学のみを念頭に置いている）その本質を丁寧に説明するのが目的である。より具体的には「全空間または周期的領域における、大きな初期値に対する3次元Navier-Stokes方程式の滑らかな時間大域解の一意存在、または解の爆発を導く」ことがその未解決問題であり、現時点までに到達している諸々の「解の存在定理」を（初学者でも分かりやすく）理解するのが目的である。 評価方法 出席点とレポートによる。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
51403	A	自然科学ゼミナール (情報科学)	伊東 乾	情報学環	火4	学際交流 ホール	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 音楽の自然哲学 目標概要 例えばケプラーの名著『世界の調和』が、多数の譜例に満ちた音楽の書でもあり、そこに楕円軌道法則などが記されている事を諸君は知っているだろうか？デカルトは処女作「音楽提要」で全音階の調和比から極座標の表示を採用している。微分・積分など解析の考え方が普及する以前、「調和」の学harmoniaはミューズの諸学の要に位置づけられていた。このコマでは、古代ギリシャ・ローマの調和観に端を発して、ルネサンス以降の純正調の採用、ダランベール～ナポレオン期にフーリエが導入した三角級数による（静的な）スペクトルの考え方から、時間に陽に依存するフーリエ／ラプラス解析的（動力学的）な音楽の基礎的な取り扱いを、出来るだけ楽器に触れ、あるいは響きを確認し、場合によっては測定・解析などを併用しながら学び、21世紀初頭の今日、いまだ解決を見ない「未踏の問題群」を眺望する、各人固有の視座の獲得を期待してカリキュラムを準備している。 評価方法 レポート 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
60239	A 2	自然科学ゼミナール (基礎工学)	横関 智弘	工学部	月5	K302	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 将来輸送システムを考えるワークショップ：航空宇宙編 目標概要 航空機等の輸送システムについて、現状や将来技術に関してワークショップ形式で議論します。各回、設定するトピックについての説明を行い、課題設定・分析・調査を試み、報告をまとめ、発表し合います。最終回ではまとめのプレゼンテーションを実施します。 本講義「将来輸送システムを考えるワークショップ：航空宇宙編」では、受講希望者が多数の場合には、受講を希望する理由書に基づき選抜を実施する。履修希望者は本講義の受講を希望する理由をA4用紙1枚程度に記載し、第1回講義の際に提出すること。選抜結果は、第2回講義前までに掲示する。 評価方法 出席と発表内容により評価を行う。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
51404	A 1	自然科学ゼミナール (基礎工学)	北垣 亮馬	工学部	水5	K402	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 未来の社会空間学概論 目標概要 2050年には世界人口の3人に2人が都市居住者になることが予想されており、日本のみならず多くの中進国でも人口減少と高齢化社会が進行する。また、温暖化によって今以上に、自然災害や資源問題が深刻化し、人々が暮らすために必要な空間や機能にリスクが上乗せされていくことになる。このような未来を考えた場合、わが国のみならず、グローバルな視点においても、社会基盤学、都市工学、建築学が果たすべく役割は大きい。 本講義は、こうした近い未来に迫るであろう重要な課題を解決するべく、空間をデザイン・利用・制度設計するうえで必要となる重要な理論を体系的に学び、あわせて中長期的な課題解決をはかるうえでの求められる実践方法、検証方法などについても、考察を深めることを目的とする。 評価方法 ・出席点 ・毎回出されるレポート課題のうち、建築、都市、社基で1つずつ選択。計3題 これらの総合点で評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51405	A 1	自然科学ゼミナール (基礎工学)	廣瀬 通孝	工学部	水5	K501	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ヒト化する機械と機械化するヒト(知能ロボットとサイボーグ) 目標概要 人間と機械の融合は機械情報学における新しいテーマの一つである。本講義では、重層化しつつある人間と機械の関係について、ロボットとサイボーグという二つの視点から最先端の話題について体験的に学ぶ。講義は少人数ワークショップ形式で行い、時にはデモも行う。各回、教員からの簡単な話題提供を受け、そこで問われた課題について、教員を交えてディスカッションを行う。ディスカッションのグループ分けは、参加人数によって決める。 1. ヒト化する機械：知能ロボット (1) ヒューマノイドロボット (2) 人工知能と身体知 2. ヒトと融合する機械：サイボーグ (1) ARとVR (2) テレプレゼンスと拡張身体 (3) マイクロマシンとセンサ (4) 生体素子と組織工学 評価方法 レポート 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51409	A	自然科学ゼミナール (基礎工学)	山下 淳	工学部	集中	シラバス 参照	1年 文科 理科
講義題目 知能ロボット入門 (集中講義：10月21日(土) 9:30～17:00・10月22日(日) 9:30～17:00) 目標概要 宇宙開発で用いられるローバ(惑星探査車)に代表されるように、自律的に行動する知能ロボットは人間が直接アクセスできない場所などで活躍しています。 本講義では、センサ情報を用いて外界を認識し、知的に動作する知能ロボットの創り方について、実際のロボットを操作しながら学びます。授業の後半では、グループに分かれて製作した知能ロボットを用いてロボットコンテストを行い、創り上げたロボットの性能(=知能)を競いあいます。授業の最後には、製作した知能ロボットの工夫点などをまとめたプレゼンテーション実習を行うことによって、授業のふりかえりを行います。 ロボット工学は、精密工学、航空宇宙工学、人工知能、情報科学、機構学、運動学、制御工学、計測工学などの幅広い内容を含む総合的な学問です。本授業は、ロボットの基礎知識の学習、知能ロボットの製作、ロボットコンテスト、プレゼンテーションなどを含んだ欲張りな内容です。多くのことを学習したい意欲的な受講生を歓迎します。 本講義では、受講希望者が多数の場合には、受講を希望する理由書に基づき選抜を実施します。履修希望者は、受講希望理由書に必要事項を記載し、9月30日(土)までに電子メールで提出して下さい。選抜結果は、10月3日(火)までに電子メールでお知らせする予定です。 受講希望理由書 ・提出締切：2017年9月30日(土) ・提出宛先：UTASシラバス「授業の目標・概要」欄参照(精密工学科 山下 淳) ・メールの件名は「知能ロボット入門受講希望」として下さい。 ・Word版：http://www.robot.t.u-tokyo.ac.jp/~yamashita/lecture/2017/introduction-robotics/application.docx ・PDF版：http://www.robot.t.u-tokyo.ac.jp/~yamashita/lecture/2017/introduction-robotics/application.pdf ・Text版：http://www.robot.t.u-tokyo.ac.jp/~yamashita/lecture/2017/introduction-robotics/application.txt 受講希望理由書は、http://www.robot.t.u-tokyo.ac.jp/~yamashita/lecture-j.html#2017introduction-robotics からダウンロードできます。 受講希望理由書の必要事項 ・氏名(例：駒場 花子、こまば はなこ) ・学年(例：1年生) ・科類(例：理科I類) ・学籍番号(例：123456A) ・領域(推薦入学の場合)(例：領域3) ・メールアドレス(例：123456@abc.jp) ・受講希望理由(自由に記述して下さい) 評価方法 出席、講義の積極性、レポートなどから総合的に判断します。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
51408	A 1	自然科学ゼミナール (基礎工学)	南部 将一	工学部	集中	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 物質科学のフロンティア 目標概要 原子・分子のレベルで物質の性質を理解し、制御する物質科学について、最先端の話題を取り上げ、物性・電子の視座とナノ・マイクロ・分子の視座から学ぶ。 評価方法 出席+レポート 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51402	A 1	自然科学ゼミナール (医学)	江頭 正人	医学部	火2	K402	1年 理三
講義題目 自然科学ゼミナール（医学）―臨床医学ことはじめ― 目標概要 臨床医学の現場において適切なコミュニケーションは決定的に重要な役割をはたします。例えば、医療者は医療現場において、患者さんやその家族に対して、病気の告知をはじめとした「わるい知らせ」を伝えねばならないことがよくあります。病気であることを知れば、患者さんは落胆し、多大な精神的ストレスを受けることになります。患者さんや家族の精神的負担を最小限にするために、どのような態度、伝え方が良いのでしょうか？ 本ゼミナールにおいては、医療現場でよく経験される状況についての多様なシナリオ（糖尿病、頭部外傷、救急、がん医療など）をもとにして、グループワーク、ロールプレイ、PBLなどによる能動的な方法（アクティブラーニング）を用いて、医療現場で必要とされる思考プロセス、態度、コミュニケーションスキルの習得を目標とします。医学部医学科進学希望の学生を対象に開講します。履修人数は、20名までとします。 評価方法 出席、授業での態度、医学への適性、発表内容を加味した総合的評価 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51400	A 1	自然科学ゼミナール (医学)	孫 大輔	医学部	集中	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 臨床の死生学 目標概要 未曾有の超高齢社会を迎えるにあたり生と死に関する概念はパラダイムシフトを迎えており、それは医療現場にも影響を及ぼしている。死に携わる現場ではケア従事者はどのようなことを感じ、考え、苦悩しているのか。このゼミではそうした臨床現場からの声や言説を拾いながら、死生観や医療倫理に関する文献や映像資料をもとにディスカッションする。また、医療現場の当事者（患者、専門職）にも話を聞く機会を作り、生と死について深く考察する。事前にキューブラー・ロスの「死ぬ瞬間―死とその過程について」（中公文庫）を読んできてもらうことが参加条件となる。 評価方法 プレゼンテーション、レポート、参加度・態度（出欠含む）を総合して、可否の判定を行う。授業中の態度や発言の量も参考にする。30分以上の遅刻は欠席扱いとなる。病欠の場合は事前に連絡が必要。 教科書 著者（訳者）：エリザベス キューブラー・ロス 書名：死ぬ瞬間―死とその過程について 出版社：中央公論新社 ISBN：4122037662 ガイダンス 9月25日(月) 17：30より 本郷キャンパス医学図書館3階セミナー室							
60240	A 2	自然科学ゼミナール (医学)	孫 大輔	医学部	集中	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 臨床の死生学 目標概要 未曾有の超高齢社会を迎えるにあたり生と死に関する概念はパラダイムシフトを迎えており、それは医療現場にも影響を及ぼしている。死に携わる現場ではケア従事者はどのようなことを感じ、考え、苦悩しているのか。このゼミではそうした臨床現場からの声や言説を拾いながら、死生観や医療倫理に関する文献や映像資料をもとにディスカッションする。また、医療現場の当事者（患者、専門職）にも話を聞く機会を作り、生と死について深く考察する。事前にキューブラー・ロスの「死ぬ瞬間―死とその過程について」（中公文庫）を読んできてもらうことが参加条件となる。 評価方法 プレゼンテーション、レポート、参加度・態度（出欠含む）を総合して、可否の判定を行う。授業中の態度や発言の量も参考にする。30分以上の遅刻は欠席扱いとなる。病欠の場合は事前に連絡が必要。 教科書 著者（訳者）：エリザベス キューブラー・ロス 書名：死ぬ瞬間―死とその過程について 出版社：中央公論新社 ISBN：4122037662 ガイダンス 9月25日(月) 17：30より 本郷キャンパス医学図書館3階セミナー室							

総合科目Ⅰ 言語・コミュニケーション

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50341	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	サーギル ジェームズ クリストファー	火3	152教室	1年 文一二(24,26) 理一(1-5)理二三(1-4)
講義題目 The Ghost Story: Describing spaces of the supernatural 目標概要 This short presentation-based course will introduce students to key figures of supernatural horror writing and prominent British and Japanese ghostlore, exploring the ways in which writers have tried to imagine and describe the 'ghostly' world that surrounds them. You will think about how the figure of the ghost (and the spaces it haunts) has had an impact on the way we think about and describe our relationship to place, history and spirituality. The course is designed to help you think critically about the uses of descriptive writings and their aiding in our connection to the world around us. A number of short readings will provide opportunities for class discussion and develop comprehension of the English text itself. Students will be expected to read excerpts and short stories in English on a weekly basis as preparation for in-class work. 評価方法 Attendance, Participation and Engagement: 40% Response paper: 20% Presentation: 40% 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50342	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	ダルグリーシュ プレガム	火3	103教室	1年 文一二(24,26) 理一(1-5)理二三(1-4)
講義題目 Ideas and Thinkers 目標概要 Overview: Thought is the means by which we elaborate who we are, assert our membership of a culture, authorise institutions within society, and make claims upon each other. Indeed, without any philosophical reflection upon society and politics, life today would have neither rationale nor articulated meaning. It is thus precisely at the cross-roads between our daily practices and taken for granted ideas that this course is situated in terms of an examination and critical analysis of a range of texts at the core of the intellectual inheritance of the West. Objectives: 1. reading, analysing and synthesising academic texts; 2. presenting, elaborating and defending arguments orally; 3. taking part in seminars and academic discussions; 4. structuring and organising ideas in a coherent and logical written form. N.B. This course is best suited to students who enjoy engaging in active class discussion and speaking. In the spirit of the critical (perhaps "Western"?) mode of knowledge acquisition, the course is based on interactive seminar discussion and challenging debate and argument. 評価方法 The method of evaluation is by continuous assessment (hence, there is no final exam). A final grade will be given based on: 1. student presentation (individually or in groups, depending on student enrolment for the course) = 50%; 2. seminar participation (English language ability = 25%; intellectual engagement with the course content = 25%) = 50%. 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50343	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	リチャード カーター・ホワイト	火3	155教室	1年 文一二(24,26) 理一(1-5)理二三(1-4)
講義題目 Video Game Culture and Analysis 目標概要 This class will be an introduction to video game culture in the context of cultural theory and human geography. We will look at the past and present of gaming, examining how its diverse platforms and practices intersect with issues of identity, power, social interaction, censorship, violence, warfare and technology. 評価方法 Student assessment will be based on active participation, a coursework project, and a final-in-class assignment. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50344	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	ライアン ケビン	火3	10-201	1年 文一二(24,26) 理一(1-5)理二三(1-4)
講義題目 Learning and Teaching with Videos in English 目標概要 In Latin, a very old language, Docendo Discimus means “by teaching, we learn.” Since you already have 6 years of English, you will have the opportunity to use it by teaching others about one specific video. We choose 4 topics (examples: science, culture, current issues) for the class. You choose a short (3 minute) YouTube video about one of those topics. You work with the teacher to make a transcript (intensive listening). Then you build a lesson plan around that video with questions, explanations, activities, and short games (reading and writing). You teach about your video in a small group to other students, and lead a discussion (speaking and listening). Then online, you continue to discuss and finally make a report about your teaching experience (writing). Students lead all class discussion. You teach your video to a small group of about 6 students for 15 minutes. Then teach the same content to another group. If the class is large enough, you may teach 3 or 4 times. Each time you will get better. You will do this for only 1 of the 4 topics. The other three topics, you will just discuss, with other students leading. Watch a video about the class at kevinryan.com/discuss to see some sample student-created Lessons and Lesson Plans. 評価方法 Lesson Preparation 30%. Leading Discussion 30%. Class Participation 30%. Final Exam 10%. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50345	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	ギルナー リーア	火3	150教室	1年 文一二(24,26) 理一(1-5)理二三(1-4)
講義題目 Presentation skills for the global age 目標概要 This course will prepare you to be active listeners and speakers who can interact in the international scene. In this class we will consider and practice communication strategies that you can use to increase understanding. You will develop your presentation skills through observation and practice. One of the primary aims is to prepare you to participate in international academic forums such as conferences, seminars, and workshops. Course expectations include active participation, respectful attention, serious consideration, and sincere effort. In-class activities will focus on pair and group work as well as short, informal presentations. Students are expected to spend about an hour on homework preparation each week. 評価方法 30% In-class contributions 30% Homework 30% Presentations 10% Q&A 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50346	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	牛村 圭	火3	102教室	1年 文一二(24,26) 理一(1-5)理二三(1-4)
講義題目 英語で日本近現代史を読む 目標概要 外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。 評価方法 発表を含めた平常点、ターム中実施の語彙力試験、そして期末の筆記試験による。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50347	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	アンダル, ジャクリーン	火3	149教室	1年 文一二(24,26) 理一(1-5)理二三(1-4)
講義題目 Reading Drama Texts 目標概要 This presentation based course will use a contemporary British drama text to improve students' ability to speak more effectively in English. The course will help students to develop intelligible pronunciation and to practice stress and intonation patterns. Students will be expected to assimilate a range of features linked to oral fluency in a contextualised manner. The course will help students to experiment with language in terms of tone of voice, register and jargon. The text will be used to provide an opportunity to reproduce authentic speech and to enable discussion and comprehension of the text itself. Students will be expected to read excerpts from the text on a weekly basis as preparation for in-class work. 評価方法 Grades will be based on class participation, presentations and written reflections. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50348	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	大堀 壽夫	火3	153教室	1年 文一二(24,26) 理一(1-5)理二三(1-4)
講義題目 Reading scientific essays 目標概要 認知科学関連のテーマについて書かれた論説文を読み、英語の読解スキルの向上をめざす。より具体的には、(i) ボキャブラリーの拡充、特に英語によるパラフレーズの練習、(ii) 要点を的確に把握するためのパラグラフ・リーディング、およびその発展としての論旨の検討（テキストの主張を鵜呑みにする必然性はない）、(iii) 背景知識を含んだ総合的理解ができるようにする。時間に余裕があれば、英語学習一般についてのtipsを話題にすることもある。 評価方法 授業中のエフォート（発表、応答、quizなど）20-30%、定期試験約70-80%。 教科書 著者（訳者）：Michael Tomasello 書名：A Natural History of Human ThinkingまたはA Natural History of Human Morality 出版社：Harvard UP ガイダンス 特に行わない。						
50417	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	ライアン ケビン	火4	10-201	1年 文一二(11-12)文三(1-3) 理一(34-35)理二三(20)
講義題目 Learning and Teaching with Videos in English 目標概要 In Latin, a very old language, Docendo Discimus means “by teaching, we learn.” Since you already have 6 years of English, you will have the opportunity to use it by teaching others about one specific video. We choose 4 topics (examples: science, culture, current issues) for the class. You choose a short (3 minute) YouTube video about one of those topics. You work with the teacher to make a transcript (intensive listening). Then you build a lesson plan around that video with questions, explanations, activities, and short games (reading and writing). You teach about your video in a small group to other students, and lead a discussion (speaking and listening). Then online, you continue to discuss and finally make a report about your teaching experience (writing). Students lead all class discussion. You teach your video to a small group of about 6 students for 15 minutes. Then teach the same content to another group. If the class is large enough, you may teach 3 or 4 times. Each time you will get better. You will do this for only 1 of the 4 topics. The other three topics, you will just discuss, with other students leading. Watch a video about the class at kevinryan.com/discuss to see some sample student-created Lessons and Lesson Plans. 評価方法 Lesson Preparation 30%. Leading Discussion 30%. Class Participation 30%. Final Exam 10%. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50418	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	サーギル ジェームズ クリストファー	火4	152教室	1年 文一二(11-12)文三(1-3) 理一(34-35)理二三(20)
講義題目 The Ghost Story: Describing spaces of the supernatural 目標概要 This short presentation-based course will introduce students to key figures of supernatural horror writing and prominent British and Japanese ghostlore, exploring the ways in which writers have tried to imagine and describe the 'ghostly' world that surrounds them. You will think about how the figure of the ghost (and the spaces it haunts) has had an impact on the way we think about and describe our relationship to place, history and spirituality. The course is designed to help you think critically about the uses of descriptive writings and their aiding in our connection to the world around us. A number of short readings will provide opportunities for class discussion and develop comprehension of the English text itself. Students will be expected to read excerpts and short stories in English on a weekly basis as preparation for in-class work. 評価方法 Attendance, Participation and Engagement: 40% Response paper: 20% Presentation: 40% 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50419	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	ダルグリーシュ ブレガム	火4	103教室	1年 文一二(11-12)文三(1-3) 理一(34-35)理二三(20)
講義題目 Ideas and Thinkers 目標概要 Overview: Thought is the means by which we elaborate who we are, assert our membership of a culture, authorise institutions within society, and make claims upon each other. Indeed, without any philosophical reflection upon society and politics, life today would have neither rationale nor articulated meaning. It is thus precisely at the cross-roads between our daily practices and taken for granted ideas that this course is situated in terms of an examination and critical analysis of a range of texts at the core of the intellectual inheritance of the West. Objectives: 1. reading, analysing and synthesising academic texts; 2. presenting, elaborating and defending arguments orally; 3. taking part in seminars and academic discussions; 4. structuring and organising ideas in a coherent and logical written form. N.B. This course is best suited to students who enjoy engaging in active class discussion and speaking. In the spirit of the critical (perhaps "Western"?) mode of knowledge acquisition, the course is based on interactive seminar discussion and challenging debate and argument. 評価方法 The method of evaluation is by continuous assessment (hence, there is no final exam). A final grade will be given based on: 1. student presentation (individually or in groups, depending on student enrolment for the course) = 50%; 2. seminar participation (English language ability = 25%; intellectual engagement with the course content = 25%) = 50%. 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50420	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	アンダル, ジャクリーン	火4	149教室	1年 文一二(11-12)文三(1-3) 理一(34-35)理二三(20)
講義題目 Reading Drama Texts 目標概要 This presentation based course will use a contemporary British drama text to improve students' ability to speak more effectively in English. The course will help students to develop intelligible pronunciation and to practice stress and intonation patterns. Students will be expected to assimilate a range of features linked to oral fluency in a contextualised manner. The course will help students to experiment with language in terms of tone of voice, register and jargon. The text will be used to provide an opportunity to reproduce authentic speech and to enable discussion and comprehension of the text itself. Students will be expected to read excerpts from the text on a weekly basis as preparation for in-class work. 評価方法 Grades will be based on class participation, presentations and written reflections. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50421	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	ギルナー リーア	火4	150教室	1年 文一二(11-12)文三(1-3) 理一(34-35)理二三(20)
講義題目 Presentation skills for the global age 目標概要 This course will prepare you to be active listeners and speakers who can interact in the international scene. In this class we will consider and practice communication strategies that you can use to increase understanding. You will develop your presentation skills through observation and practice. One of the primary aims is to prepare you to participate in international academic forums such as conferences, seminars, and workshops. Course expectations include active participation, respectful attention, serious consideration, and sincere effort. In-class activities will focus on pair and group work as well as short, informal presentations. Students are expected to spend about an hour on homework preparation each week. 評価方法 30% In-class contributions 30% Homework 30% Presentations 10% Q&A 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50422	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	WILLIAMS David	火4	154教室	1年 文一二(11-12)文三(1-3) 理一(34-35)理二三(20)
講義題目 Critical Discussion and Thinking 目標概要 The purpose of this class is to build students' English language reading and thinking skills beyond simple description to a more critical and analytical point. Each week students will focus on one topic and critically examine and consider an English language text in a group. At the end of this course it is expected that students will be able to critically consider and assess a range of contemporary topics of domestic and international significance, and be able to reflect better on their own culture. Students will find that the skills acquired in this class will help them to express themselves in other areas of their academic studies; it is hoped the class will be an encouragement to see English language as an investment for the future. This course will be taught exclusively in English. 評価方法 Assessment for this class will be based on four aspects: (i) a series of role sheets filled out for the discussion circle (50% approx.) (ii) weekly vocabulary test (15%) (iii) one in-class presentation (15%) (iv) final examination (20%) In order to gain a top grade for this course students are expected to make an original and unique contribution to each class. 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50423	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	大堀 壽夫	火4	153教室	1年 文一二(11-12)文三(1-3) 理一(34-35)理二三(20)
講義題目 Reading scientific essays 目標概要 認知科学関連のテーマについて書かれた論説文を読み、英語の読解スキルの向上をめざす。より具体的には、(i) ボキャブラリーの拡充、特に英語によるパラフレーズの練習、(ii) 要点を的確に把握するためのパラグラフ・リーディング、およびその発展としての論旨の検討（テキストの主張を鵜呑みにする必然性はない）、(iii) 背景的知識を含んだ総合的理解ができるようにする。時間に余裕があれば、英語学習一般についてのtipsを話題にすることもある。 評価方法 授業中のエフォート（発表、応答、quizなど）20-30%、定期試験約70-80%。 教科書 著者（訳者）：Michael Tomasello 書名：A Natural History of Human ThinkingまたはA Natural History of Human Morality 出版社：Harvard UP ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50424	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	牛村 圭	火4	102教室	1年 文一二(11-12)文三(1-3) 理一(34-35)理二三(20)
講義題目 英語で日本近現代史を読む 目標概要 外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。 評価方法 発表を含めた平常点、ターム中実施の語彙力試験、そして期末の筆記試験による。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50425	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	リチャード カーター・ホワイト	火4	155教室	1年 文一二(11-12)文三(1-3) 理一(34-35)理二三(20)
講義題目 Video Game Culture and Analysis 目標概要 This class will be an introduction to video game culture in the context of cultural theory and human geography. We will look at the past and present of gaming, examining how its diverse platforms and practices intersect with issues of identity, power, social interaction, censorship, violence, warfare and technology. 評価方法 Student assessment will be based on active participation, a coursework project, and a final-in-class assignment. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50548	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	ノールト デリック	水2	10-201	1年 文一二(1-3,7)文三(14-15) 理一(14)理二三(9-10)
講義題目 Persuasion 目標概要 Persuasion refers to the means by which communicators induce others to change their thoughts or take actions to achieve a specific aim. It can be either a positive or negative force in society, leading to mutual gain or harm to one or more persons. In this course, we will study time-honored approaches, strategies, and techniques of persuasion as well as learn about the science behind effective persuasion. The course begins by discussing ancient Greek conceptions of rhetoric, focusing on how language is used to influence individuals and groups. In this part of the course we will analyze the speeches and writings of famous “champions,” “bumblers,” and “villains” of rhetoric. The course then deals with the scientific side to persuasion. Here, we will examine ground-breaking psychological research, including Dr. Robert Cialdini's six principles of persuasion and notion of “pre-suasion.” By the end of the course, students will learn how to be ethical and effective persuaders and better recognize others' attempts to influence them. They will, in addition, hone their analytical, creative, and critical thinking skills. 評価方法 Quizzes: 30% Writing assignments: 30% Presentation: 10% Oral interview: 10% Participation: 20% 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50549	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	グレノン イザベル	水2	10-205	1年 文一二(1-3,7)文三(14-15) 理一(14)理二三(9-10)
講義題目 Research and discussion I 目標概要 The main objective of this course is to enable students to improve their listening skills and develop the skills necessary to properly organize, articulate and support their ideas when discussing various topics. 評価方法 Students will be evaluated based on their contribution to in-class discussions and the quality of their research on the topics. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50550	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	金 志英	水2	154教室	1年 文一二(1-3,7)文三(14-15) 理一(14)理二三(9-10)
講義題目 Media and American Culture 目標概要 This course will use ABC World News videos as a critical window through which to understand the contemporary cultural, social, and international issues in the United States, especially those regarded as important by the US media. On top of watching and comprehending the news clips, students will be asked to acquaint themselves with various materials related to US society and culture, including TV drama, news articles, and YouTube videos. The primary goal of this course is to help student improve English discussion, listening, and comprehension skills. In order to achieve the goal, the students is expected to actively engage in class discussions and presentations. 評価方法 Attendance and Participation (30%), Group Presentations (35%), Final Exam (35%) 教科書 著者（訳者）：Shigeru Yamane & Kathleen Yamane 書名：ABC World News 19 出版社：Kinseido ISBN：978-4-7647-4031-0 ガイダンス 特に行わない。						
50551	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	リチャード カーター・ホワイト	水2	155教室	1年 文一二(1-3,7)文三(14-15) 理一(14)理二三(9-10)
講義題目 Spaces of the Camp 目標概要 This class will examine past and contemporary camp spaces, in the context of political geography. The past century has witnessed a proliferation of camps: detention camps, refugee camps, concentration camps, and many others which are designed to control, order, segregate and exclude. Yet there are also many examples of seemingly benign camps: holiday camps, fitness camps, summer camps, youth camps. The purpose of this course is to explore the common structure and rationality shared among these different camps. Each week we will analyse a different type of camp, using theories from political geography to understand its ambivalent form. In doing so, we will analyse both the far-reaching implications of recognisable and mundane camps, and the effects of seemingly remote and exceptional camps throughout society. 評価方法 Student assessment will be based on participation, homework assignments, and a final in-class assignment. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50552	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	アンダル, ジャクリーン	水2	156教室	1年 文一二(1-3,7)文三(14-15) 理一(14)理二三(9-10)
講義題目 Reading Drama Texts 目標概要 This presentation based course will use a contemporary British drama text to improve students' ability to speak more effectively in English. The course will help; students to develop intelligible pronunciation and to practice stress and intonation patterns. Students will be expected to assimilate a range of features linked to oral fluency in a contextualised manner. The course will help students to experiment with language in terms of tone of voice, register and jargon. The text will be used to provide an opportunity to reproduce authentic speech and to enable discussion and comprehension of the text itself. Students will be expected to read excerpts from the text on a weekly basis as preparation for in-class work. 評価方法 Grades will be based on participation, presentations and written reflections 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50553	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	岩佐 将志	水2	166教室	1年 文一二(1-3,7)文三(14-15) 理一(14)理二三(9-10)
講義題目 英語で読み解く現代社会 目標概要 この授業では、現代社会の動向を社会的な視点から考察している英語文献を題材とし、英文読解の訓練を行う。ここで取り上げるのは、現代社会を「再創造 (Reinvention)」の論理が浸透する社会と捉え、独自の議論を展開している社会学者の著作である。本書では、現代の個人や組織が絶えず自らを作り変えるように迫られている様子が、さまざまな事例を通じて描かれる。本書を読み解くことを通じ、その洗練された議論に触れると同時に、そこで用いられる幅広い語彙や表現を習得することを目指す。 評価方法 授業内の発表、小テスト、期末エッセーから総合的に判断する。 教科書 著者 (訳者) : Anthony Elliott 書名 : Reinvention 出版社 : Routledge ISBN : 9780415682848 ガイダンス 特に行わない。						
50554	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	後藤 春美	水2	153教室	1年 文一二(1-3,7)文三(14-15) 理一(14)理二三(9-10)
講義題目 英語講読 目標概要 Sunil S. Amrith, Crossing the Bay of Bengal: The Furies of Nature and the Fortunes of Migrants (Harvard University Press, 2013) の Prologue に始まり, Chapter 1 などを読み進めていく。Amrith は Harvard University の歴史学の教授で、本書はベンガル湾をめぐる人の移動の歴史などを取り扱ったものである。 評価方法 平常点(毎回の授業で訳読を担当した時の出来、予習の有無などを勘案する。当然、継続的な出席が前提となる。)および最終授業時間に行うテストによって評価する。 教科書 テキストは、ITC-LMSにアップする予定。各自でダウンロードして欲しい。 ガイダンス 特に行わない。						
50555	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	西川 杉子	水2	113教室	1年 文一二(1-3,7)文三(14-15) 理一(14)理二三(9-10)
講義題目 History Today を読む 目標概要 イギリスで出版されている歴史の教養雑誌 History Today に収録された小論文を読み、イギリスの文化・歴史を学ぶ。History Today については図書館に入っているので、参考にするとよい。 評価方法 毎回の小テストおよび授業への参加度。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50624	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	ノールト デリック	水3	10-201	1年 文一二(16,18)文三(10) 理一(22-23,25)理二三(15,17)
講義題目 Human Rights: An Introduction 目標概要 This course explores one of the most important issues of our time -- human rights. Among the topics that will be covered are the origins of human rights as a concept and practice, key events and documents in human rights history, the United Nations human rights system, the role of NGOs in promoting and upholding human rights, and the future of human rights in global society. Time will also be devoted to analyzing human rights case studies in a variety of international contexts. 評価方法 Quizzes: 30% Writing assignments: 30% Presentation: 10% Oral interview: 10% Participation: 20% 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50625	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	グレノン イザベル	水3	10-205	1年 文一二(16,18)文三(10) 理一(22-23,25)理二三(15,17)
講義題目 Research and discussion I 目標概要 The main objective of this course is to enable students to improve their listening skills and develop the skills necessary to properly organize, articulate and support their ideas when discussing various topics. 評価方法 Students will be evaluated based on their contribution to in-class discussions and the quality of their research on the topics. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50626	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	アンダル, ジャクリン	水3	156教室	1年 文一二(16,18)文三(10) 理一(22-23,25)理二三(15,17)
講義題目 Reading Drama Texts 目標概要 This presentation based course will use British drama texts to improve students' ability to speak more effectively in English. The course will help students to develop intelligible pronunciation and to practice stress and intonation patterns. Students will be expected to assimilate a range of features linked to oral fluency in a contextualised manner. The course will help students to experiment with language in terms of tone of voice, register and jargon. The text will be used to provide an opportunity to reproduce authentic speech and to enable discussion and comprehension of the text itself. Students will be expected to read excerpts from the text on a weekly basis as preparation for in-class work. 評価方法 Grades will be based on class participation, presentations and written reflections. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50627	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	高橋 英海	水3	150教室	1年 文一二(16,18)文三(10) 理一(22-23,25)理二三(15,17)
講義題目 英語で世界を見聞きする 目標概要 英語はいまや英米豪などの英語圏のみの言語ではなく、事実上の世界の共通語であり、世界への扉である。本授業では、世界の中の英米豪以外の地域、特にアジアや中東・アフリカ地域から発信されるニュースなどの視聴覚教材を見聞きしながら、世界への視野を広めるとともに英語の理解力を高める。 評価方法 授業への参加度およびテストによる。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。						
50628	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	岩佐 将志	水3	166教室	1年 文一二(16,18)文三(10) 理一(22-23,25)理二三(15,17)
講義題目 英語で読み解く現代社会 目標概要 この授業では、現代社会の動向を社会学的な視点から考察している英語文献を題材とし、英文読解の訓練を行う。ここで取り上げるのは、現代社会を「再創造 (Reinvention)」の論理が浸透する社会と捉え、独自の議論を展開している社会学者の著作である。本書では、現代の個人や組織が絶えず自らを作り変えるように迫られている様子が、さまざまな事例を通じて描かれる。本書を読み解くことを通じ、その洗練された議論に触れると同時に、そこで用いられる幅広い語彙や表現を習得することを目指す。 評価方法 授業内の発表、小テスト、期末エッセーから総合的に判断する。 教科書 著者(訳者) : Anthony Elliott 書名 : Reinvention 出版社 : Routledge ISBN : 9780415682848 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50629	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	リチャード カーター・ホワイト	水3	155教室	1年 文一二(16,18)文三(10) 理一(22-23,25)理二三(15,17)
講義題目 Spaces of the Camp 目標概要 This class will examine past and contemporary camp spaces, in the context of political geography. The past century has witnessed a proliferation of camps: detention camps, refugee camps, concentration camps, and many others which are designed to control, order, segregate and exclude. Yet there are also many examples of seemingly benign camps: holiday camps, fitness camps, summer camps, youth camps. The purpose of this course is to explore the common structure and rationality shared among these different camps. Each week we will analyse a different type of camp, using theories from political geography to understand its ambivalent form. In doing so, we will analyse both the far-reaching implications of recognisable and mundane camps, and the effects of seemingly remote and exceptional camps throughout society. 評価方法 Student assessment will be based on participation, homework assignments, and a final in-class assignment. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50630	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	ロビンズ・ロジャー	水3	151教室	1年 文一二(16,18)文三(10) 理一(22-23,25)理二三(15,17)
講義題目 Building Presentation Skills 目標概要 This course is designed to improve students' English oral communication skills and to enhance their ability to compose and deliver effective presentations in the English language. In addition to weekly exercises in English oral speaking, students will learn the key elements of an efficient, engaging, and persuasive presentation and will apply that knowledge by delivering short in-class presentations. 評価方法 Student achievement will be assessed based on class participation, weekly assignments and exercises, and the successful completion of individual presentations. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50631	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	西川 杉子	水3	113教室	1年 文一二(16,18)文三(10) 理一(22-23,25)理二三(15,17)
講義題目 History Today を読む 目標概要 イギリスで出版されている歴史の教養雑誌 History Today に収録された小論文を読み、イギリスの文化・歴史を学ぶ。History Today については図書館に入っているので、参考にするとよい。 評価方法 毎回の小テストおよび授業への参加度。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
60024	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	ダルグリーシュ プレガム	火3	103教室	1年 文一二(27)文三(19) 理一(9-10)理二三(7)
講義題目 Ideas and Thinkers 目標概要 Overview: Thought is the means by which we elaborate who we are, assert our membership of a culture, authorise institutions within society, and make claims upon each other. Indeed, without any philosophical reflection upon society and politics, life today would have neither rationale nor articulated meaning. It is thus precisely at the cross-roads between our daily practices and taken for granted ideas that this course is situated in terms of an examination and critical analysis of a range of texts at the core of the intellectual inheritance of the West. Objectives: 1. reading, analysing and synthesising academic texts; 2. presenting, elaborating and defending arguments orally; 3. taking part in seminars and academic discussions; 4. structuring and organising ideas in a coherent and logical written form. N.B. This course is best suited to students who enjoy engaging in active class discussion and speaking. In the spirit of the critical (perhaps “Western”?) mode of knowledge acquisition, the course is based on interactive seminar discussion and challenging debate and argument. 評価方法 The method of evaluation is by continuous assessment (hence, there is no final exam). A final grade will be given based on: 1. student presentation (individually or in groups, depending on student enrolment for the course) = 50%; 2. seminar participation (English language ability = 25%; intellectual engagement with the course content = 25%) = 50%. 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
60025	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	ギルナー リーア	火3	150教室	1年 文一二(27)文三(19) 理一(9-10)理二三(7)
講義題目 Presentation skills for the global age 目標概要 This course will prepare you to be active listeners and speakers who can interact in the international scene. In this class we will consider and practice communication strategies that you can use to increase understanding. You will develop your presentation skills through observation and practice. One of the primary aims is to prepare you to participate in international academic forums such as conferences, seminars, and workshops. Course expectations include active participation, respectful attention, serious consideration, and sincere effort. In-class activities will focus on pair and group work as well as short, informal presentations. Students are expected to spend about an hour on homework preparation each week. 評価方法 30% In-class contributions 30% Homework 30% Presentations 10% Q&A 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
60026	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	牛村 圭	火3	102教室	1年 文一二(27)文三(19) 理一(9-10)理二三(7)
講義題目 英語で日本近現代史を読む 目標概要 外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。 評価方法 発表を含めた平常点、ターム中実施の語彙力試験、そして期末の筆記試験による。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
60027	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	リチャード カーター・ホワイト	火3	155教室	1年 文一二(27)文三(19) 理一(9-10)理二三(7)
講義題目 Spaces of the Camp 目標概要 This class will examine past and contemporary camp spaces, in the context of political geography. The past century has witnessed a proliferation of camps: detention camps, refugee camps, concentration camps, and many others which are designed to control, order, segregate and exclude. Yet there are also many examples of seemingly benign camps: holiday camps, fitness camps, summer camps, youth camps. The purpose of this course is to explore the common structure and rationality shared among these different camps. Each week we will analyse a different type of camp, using theories from political geography to understand its ambivalent form. In doing so, we will analyse both the far-reaching implications of recognisable and mundane camps, and the effects of seemingly remote and exceptional camps throughout society. 評価方法 Student assessment will be based on participation, homework assignments, and a final in-class assignment. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
60028	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	ライアン ケビン	火3	10-201	1年 文一二(27)文三(19) 理一(9-10)理二三(7)
講義題目 Learning and Teaching with Videos in English 目標概要 In Latin, a very old language, Docendo Discimus means "by teaching, we learn." Since you already have 6 years of English, you will have the opportunity to use it by teaching others about one specific video. We choose 4 topics (examples: science, culture, current issues) for the class. You choose a short (3 minute) YouTube video about one of those topics. You work with the teacher to make a transcript (intensive listening). Then you build a lesson plan around that video with questions, explanations, activities, and short games (reading and writing). You teach about your video in a small group to other students, and lead a discussion (speaking and listening). Then online, you continue to discuss and finally make a report about your teaching experience (writing). Students lead all class discussion. You teach your video to a small group of about 6 students for 15 minutes. Then teach the same content to another group. If the class is large enough, you may teach 3 or 4 times. Each time you will get better. You will do this for only 1 of the 4 topics. The other three topics, you will just discuss, with other students leading. Watch a video about the class at kevinryan.com/discuss to see some sample student-created Lessons and Lesson Plans. 評価方法 Lesson Preparation 30%. Leading Discussion 30%. Class Participation 30%. Final Exam 10%. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
60029	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	大堀 壽夫	火3	153教室	1年 文一二(27)文三(19) 理一(9-10)理二三(7)
講義題目 Reading scientific essays 目標概要 認知科学関連のテーマについて書かれた論説文を読み、英語の読解スキルの向上をめざす。より具体的には、(i) ボキャブラリーの拡充、特に英語によるパラフレーズの練習、(ii) 要点を的確に把握するためのパラグラフ・リーディング、およびその発展としての論旨の検討（テキストの主張を鵜呑みにする必然性はない）、(iii) 背景的知識を含んだ総合的理解ができるようにする。時間に余裕があれば、英語学習一般についてのtipsを話題にすることもある。 評価方法 授業中のエフォート（発表、応答、quizなど）20-30%、定期試験約70-80%。 教科書 著者（訳者）：Michael Tomasello 書名：A Natural History of Human ThinkingまたはA Natural History of Human Morality 出版社：Harvard UP ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
60030	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	サーギル ジェームズ クリストファー	火3	152教室	1年 文一二(27)文三(19) 理一(9-10)理二三(7)
講義題目 The Ghost Story: Describing spaces of the supernatural 目標概要 This short presentation-based course will introduce students to key figures of supernatural horror writing and prominent British and Japanese ghostlore, exploring the ways in which writers have tried to imagine and describe the 'ghostly' world that surrounds them. You will think about how the figure of the ghost (and the spaces it haunts) has had an impact on the way we think about and describe our relationship to place, history and spirituality. The course is designed to help you think critically about the uses of descriptive writings and their aiding in our connection to the world around us. A number of short readings will provide opportunities for class discussion and develop comprehension of the English text itself. Students will be expected to read excerpts and short stories in English on a weekly basis as preparation for in-class work. 評価方法 Attendance, Participation and Engagement: 40% Response paper: 20% Presentation: 40% 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
60031	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	アンダル, ジャクリン	火3	149教室	1年 文一二(27)文三(19) 理一(9-10)理二三(7)
講義題目 Reading Drama Texts 目標概要 This presentation based course will use a contemporary British drama text to improve students' ability to speak more effectively in English. The course will help students to develop intelligible pronunciation and to practice stress and intonation patterns. Students will be expected to assimilate a range of features linked to oral fluency in a contextualised manner. The course will help students to experiment with language in terms of tone of voice, register and jargon. The text will be used to provide an opportunity for reproducing authentic speech and to enable discussion and comprehension of the text itself. Students will be expected to read excerpts from the text on a weekly basis as preparation for in-class work. 評価方法 Grades will be based on class participation, presentations and written reflections 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
60071	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	牛村 圭	火4	102教室	1年 文一二(14-15)文三(6) 理一(36-37)理二三(22)
講義題目 英語で日本近現代史を読む 目標概要 外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。 評価方法 発表を含めた平常点、ターム中実施の語彙力試験、そして期末の筆記試験による。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
60072	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	ライアン ケビン	火4	10-201	1年 文一二(14-15)文三(6) 理一(36-37)理二三(22)
講義題目 Learning and Teaching with Videos in English 目標概要 In Latin, a very old language, Docendo Discimus means “by teaching, we learn.” Since you already have 6 years of English, you will have the opportunity to use it by teaching others about one specific video. We choose 4 topics (examples: science, culture, current issues) for the class. You choose a short (3 minute) YouTube video about one of those topics. You work with the teacher to make a transcript (intensive listening). Then you build a lesson plan around that video with questions, explanations, activities, and short games (reading and writing). You teach about your video in a small group to other students, and lead a discussion (speaking and listening). Then online, you continue to discuss and finally make a report about your teaching experience (writing). Students lead all class discussion. You teach your video to a small group of about 6 students for 15 minutes. Then teach the same content to another group. If the class is large enough, you may teach 3 or 4 times. Each time you will get better. You will do this for only 1 of the 4 topics. The other three topics, you will just discuss, with other students leading. Watch a video about the class at kevinryan.com/discuss to see some sample student-created Lessons and Lesson Plans. 評価方法 Lesson Preparation 30%. Leading Discussion 30%. Class Participation 30%. Final Exam 10%. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
60073	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	ダルグリーシュ プレガム	火4	103教室	1年 文一二(14-15)文三(6) 理一(36-37)理二三(22)
講義題目 Ideas and Thinkers 目標概要 Overview: Thought is the means by which we elaborate who we are, assert our membership of a culture, authorise institutions within society, and make claims upon each other. Indeed, without any philosophical reflection upon society and politics, life today would have neither rationale nor articulated meaning. It is thus precisely at the cross-roads between our daily practices and taken for granted ideas that this course is situated in terms of an examination and critical analysis of a range of texts at the core of the intellectual inheritance of the West. Objectives: 1. reading, analysing and synthesising academic texts; 2. presenting, elaborating and defending arguments orally; 3. taking part in seminars and academic discussions; 4. structuring and organising ideas in a coherent and logical written form. N.B. This course is best suited to students who enjoy engaging in active class discussion and speaking. In the spirit of the critical (perhaps “Western”?) mode of knowledge acquisition, the course is based on interactive seminar discussion and challenging debate and argument. 評価方法 The method of evaluation is by continuous assessment (hence, there is no final exam). A final grade will be given based on: 1. student presentation (individually or in groups, depending on student enrolment for the course) = 50%; 2. seminar participation (English language ability = 25%; intellectual engagement with the course content = 25%) = 50%. 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
60074	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	大堀 壽夫	火4	153教室	1年 文一二(14-15)文三(6) 理一(36-37)理二三(22)
講義題目 Reading scientific essays 目標概要 認知科学関連のテーマについて書かれた論説文を読み、英語の読解スキルの向上をめざす。より具体的には、(i) ボキャブラリーの拡充、特に英語によるパラフレーズの練習、(ii) 要点を的確に把握するためのパラグラフ・リーディング、およびその発展としての論旨の検討（テキストの主張を鵜呑みにする必然性はない）、(iii) 背景的知識を含んだ総合的理解ができるようにする。時間に余裕があれば、英語学習一般についてのtipsを話題にすることもある。 評価方法 授業中のエフォート（発表、応答、quizなど）20-30%、定期試験約70-80%。 教科書 著者（訳者）：Michael Tomasello 書名：A Natural History of Human ThinkingまたはA Natural History of Human Morality 出版社：Harvard UP ガイダンス 特に行わない。						
60075	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	アンダル, ジャクリーン	火4	149教室	1年 文一二(14-15)文三(6) 理一(36-37)理二三(22)
講義題目 Reading Drama Texts 目標概要 This presentation based course will use a contemporary British drama text to improve students' ability to speak more effectively in English. The course will help students to develop intelligible pronunciation and to practice stress and intonation patterns. Students will be expected to assimilate a range of features linked to oral fluency in a contextualised manner. The course will help students to experiment with language in terms of tone of voice, register and jargon. The text will be used to provide an opportunity to reproduce authentic speech and to enable discussion and comprehension of the text itself. Students will be expected to read excerpts from the text on a weekly basis as preparation for in-class work. 評価方法 Grades will be based on class participation, presentations and written reflections. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
60076	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	リチャード カーター・ホワイト	火4	155教室	1年 文一二(14-15)文三(6) 理一(36-37)理二三(22)
講義題目 Spaces of the Camp 目標概要 This class will examine past and contemporary camp spaces, in the context of political geography. The past century has witnessed a proliferation of camps: detention camps, refugee camps, concentration camps, and many others which are designed to control, order, segregate and exclude. Yet there are also many examples of seemingly benign camps: holiday camps, fitness camps, summer camps, youth camps. The purpose of this course is to explore the common structure and rationality shared among these different camps. Each week we will analyse a different type of camp, using theories from political geography to understand its ambivalent form. In doing so, we will analyse both the far-reaching implications of recognisable and mundane camps, and the effects of seemingly remote and exceptional camps throughout society. 評価方法 Student assessment will be based on participation, homework assignments, and a final in-class assignment. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
60077	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	WILLIAMS David	火4	154教室	1年 文一二(14-15)文三(6) 理一(36-37)理二三(22)
講義題目 Critical Discussion and Thinking 目標概要 The purpose of this class is to build students' English language reading and thinking skills beyond simple description to a more critical and analytical point. Each week students will focus on one topic and critically examine and consider an English language text in a group. At the end of this course it is expected that students will be able to critically consider and assess a range of contemporary topics of domestic and international significance, and be able to reflect better on their own culture. Students will find that the skills acquired in this class will help them to express themselves in other areas of their academic studies; it is hoped the class will be an encouragement to see English language as an investment for the future. This course will be taught exclusively in English. 評価方法 Assessment for this class will be based on four aspects: (i) a series of role sheets filled out for the discussion circle (50% approx.) (ii) weekly vocabulary test (15%) (iii) one in-class presentation (15%) (iv) final examination (20%) In order to gain a top grade for this course students are expected to make an original and unique contribution to each class. 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
60078	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	サーギル ジェームズ クリストファー	火4	152教室	1年 文一二(14-15)文三(6) 理一(36-37)理二三(22)
講義題目 The Ghost Story: Describing spaces of the supernatural 目標概要 This short presentation-based course will introduce students to key figures of supernatural horror writing and prominent British and Japanese ghostlore, exploring the ways in which writers have tried to imagine and describe the 'ghostly' world that surrounds them. You will think about how the figure of the ghost (and the spaces it haunts) has had an impact on the way we think about and describe our relationship to place, history and spirituality. The course is designed to help you think critically about the uses of descriptive writings and their aiding in our connection to the world around us. A number of short readings will provide opportunities for class discussion and develop comprehension of the English text itself. Students will be expected to read excerpts and short stories in English on a weekly basis as preparation for in-class work. 評価方法 Attendance, Participation and Engagement: 40% Response paper: 20% Presentation: 40% 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
60079	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	ギルナー リーア	火4	150教室	1年 文一二(14-15)文三(6) 理一(36-37)理二三(22)
講義題目 Presentation skills for the global age 目標概要 This course will prepare you to be active listeners and speakers who can interact in the international scene. In this class we will consider and practice communication strategies that you can use to increase understanding. You will develop your presentation skills through observation and practice. One of the primary aims is to prepare you to participate in international academic forums such as conferences, seminars, and workshops. Course expectations include active participation, respectful attention, serious consideration, and sincere effort. In-class activities will focus on pair and group work as well as short, informal presentations. Students are expected to spend about an hour on homework preparation each week. 評価方法 30% In-class contributions 30% Homework 30% Presentations 10% Q&A 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
60124	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	後藤 春美	水2	153教室	1年 文一二(9-10)文三(16) 理一(19-20)理二三(13)
講義題目 英語講読 目標概要 Sunil S. Amrith, Crossing the Bay of Bengal: The Furies of Nature and the Fortunes of Migrants (Harvard University Press, 2013) の Prologue に始まり, Chapter 1 などを読み進めていく。Amrith は Harvard University の歴史学の教授で、本書はベンガル湾をめぐる人の移動の歴史などを取り扱ったものである。 評価方法 平常点(毎回の授業で訳読を担当した時の出来、予習の有無などを勘案する。当然、継続的な出席が前提となる。)および最終授業時間に行うテストによって評価する。 教科書 その他。テキストは、ITC-LMSにアップする予定。各自でダウンロードして欲しい。 ガイダンス 特に行わない。						
60125	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	グレノン イザベル	水2	10-205	1年 文一二(9-10)文三(16) 理一(19-20)理二三(13)
講義題目 Research and discussion II 目標概要 The main objective of this course is to enable students to improve their listening skills and develop the skills necessary to properly organize, articulate and support their ideas when discussing various topics. 評価方法 Students will be evaluated based on their contribution to in-class discussions and the quality of their research on the topics. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
60126	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	金 志英	水2	154教室	1年 文一二(9-10)文三(16) 理一(19-20)理二三(13)
講義題目 Media and American Culture 目標概要 This course will use ABC World News videos as a critical window through which to understand the contemporary cultural, social, and international issues in the United States, especially those regarded as important by the US media. On top of watching and comprehending the news clips, students will be asked to acquaint themselves with various materials related to US society and culture, including TV drama, news articles, and YouTube videos. The primary goal of this course is to help student improve English discussion, listening, and comprehension skills. In order to achieve the goal, the students is expected to actively engage in class discussions and presentations. 評価方法 Attendance and Participation (30%), Group Presentations (35%), Final Exam (35%) 教科書 著者(訳者) : Shigeru Yamane & Kathleen Yamane 書名 : ABC World News 19 出版社 : Kinseido ISBN : 978-4-7647-4031-0 ガイダンス 特に行わない。						
60127	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	リチャード カーター・ホワイト	水2	155教室	1年 文一二(9-10)文三(16) 理一(19-20)理二三(13)
講義題目 Video Game Culture and Analysis 目標概要 This class will be an introduction to video game culture in the context of cultural theory and human geography. We will look at the past and present of gaming, examining how its diverse platforms and practices intersect with issues of identity, power, social interaction, censorship, violence, warfare and technology. 評価方法 Student assessment will be based on active participation, a coursework project, and a final-in-class assignment. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
60128	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	アンダル, ジャクリン	水2	156教室	1年 文一二(9-10)文三(16) 理一(19-20)理二三(13)
講義題目 Reading Drama Texts 目標概要 This presentation based course will use a contemporary British drama text to improve students' ability to speak more effectively in English. the course will help students to develop intelligible pronunciation and to practice stress and intonation patterns. Students will be expected to assimilate a range of features linked to oral fluency in a contextualised manner. The course will help students to experiment with language in terms of tone of voice, register and jargon. the text will be used to provide an opportunity to reproduce authentic speech and to enable discussion and comprehension of the text itself. Students will be expected to read excerpts from the text on a weekly basis as preparation for in-class work. 評価方法 Grades will be based on class participation, presentations and written reflections. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
60129	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	ノールト デリック	水2	10-201	1年 文一二(9-10)文三(16) 理一(19-20)理二三(13)
講義題目 Persuasion 目標概要 Persuasion refers to the means by which communicators induce others to change their thoughts or take actions to achieve a preconceived aim. It can be either a positive or negative force in society, leading to mutual gain or harm to one or more persons. In this course, we will study time-honored approaches, strategies, and techniques of persuasion as well as learn about the science behind effective persuasion. The course begins by discussing ancient Greek conceptions of rhetoric, focusing on how language is used to influence individuals and groups. In this part of the course we will analyze the speeches and writings of famous “champions,” “bumblers,” and “villains” of rhetoric. The course then deals with the scientific side to persuasion. Here, we will examine ground-breaking psychological research, including Dr. Robert Cialdini's six principles of persuasion and notion of “pre-suasion.” By the end of the course, students will learn how to be ethical and effective persuaders and better recognize others' attempts to influence them. They will, in addition, hone their analytical, creative, and critical thinking skills. 評価方法 Quizzes: 30% Writing assignments: 30% Presentation: 10% Oral interview: 10% Participation: 20% 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
60130	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	西川 杉子	水2	113教室	1年 文一二(9-10)文三(16) 理一(19-20)理二三(13)
講義題目 History Today を読む 目標概要 イギリスで出版されている歴史の教養雑誌 History Today に収録された小論文を読み、イギリスの文化・歴史を学ぶ。History Today については図書館に入っているので、参考にとよい。 評価方法 毎回の小テストおよび授業への参加度。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
60131	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	岩佐 将志	水2	166教室	1年 文一二(9-10)文三(16) 理一(19-20)理二三(13)
講義題目 英語で読み解く現代社会 目標概要 この授業では、現代社会の動向を社会的な視点から考察している英語文献を題材とし、英文読解の訓練を行う。ここで取り上げるのは、現代社会を「再創造 (Reinvention)」の論理が浸透する社会と捉え、独自の議論を展開している社会学者の著作である。本書では、現代の個人や組織が絶えず自らを作り変えるように迫られている様子が、さまざまな事例を通じて描かれる。本書を読み解くことを通じ、その洗練された議論に触れると同時に、そこで用いられる幅広い語彙や表現を習得することを目指す。 評価方法 授業内の発表、小テスト、期末エッセーから総合的に判断する。 教科書 著者 (訳者) : Anthony Elliott 書名 : Reinvention 出版社 : Routledge ISBN : 9780415682848 ガイダンス 特に行わない。						
60149	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	ノールト デリック	水3	10-201	1年 文一二(19-20)文三(11-12) 理一(26-28)理二三(18)
講義題目 Human Rights: An Introduction 目標概要 This course explores one of the most important issues of our time -- human rights. Among the topics that will be covered are the origins of human rights as a concept and practice, key events and documents in human rights history, the United Nations human rights system, the role of NGOs in promoting and upholding human rights, and the future of human rights in global society. Time will also be devoted to analyzing human rights case studies in a variety of international contexts. 評価方法 Quizzes: 30% Writing assignments: 30% Presentation: 10% Oral interview: 10% Participation: 20% 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
60150	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	グレノン イザベル	水3	10-205	1年 文一二(19-20)文三(11-12) 理一(26-28)理二三(18)
講義題目 Research and discussion II 目標概要 The main objective of this course is to enable students to improve their listening skills and develop the skills necessary to properly organize, articulate and support their ideas when discussing various topics. 評価方法 Students will be evaluated based on their contribution to in-class discussions and the quality of their research on the topics. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
60151	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	ロビンズ・ロジャー	水3	151教室	1年 文一二(19-20)文三(11-12) 理一(26-28)理二三(18)
講義題目 Building Presentation Skills 目標概要 This course is designed to improve students' English oral communication skills and to enhance their ability to compose and deliver effective presentations in the English language. In addition to weekly exercises in English oral speaking, students will learn the key elements of an efficient, engaging, and persuasive presentation and will apply that knowledge by delivering short in-class presentations. 評価方法 Student achievement will be assessed based on class participation, weekly assignments and exercises, and the successful completion of individual presentations. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
60152	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	リチャード カーター・ホワイト	水3	155教室	1年 文一二(19-20)文三(11-12) 理一(26-28)理二三(18)
講義題目 Video Game Culture and Analysis 目標概要 This class will be an introduction to video game culture in the context of cultural theory and human geography. We will look at the past and present of gaming, examining how its diverse platforms and practices intersect with issues of identity, power, social interaction, censorship, violence, warfare and technology. 評価方法 Student assessment will be based on active participation, a coursework project, and a final-in-class assignment. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
60153	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	高橋 英海	水3	150教室	1年 文一二(19-20)文三(11-12) 理一(26-28)理二三(18)
講義題目 英語で世界を見聞する 目標概要 英語はいまや英米豪などの英語圏のみの言語ではなく、事実上の世界の共通語であり、世界への扉である。本授業では、世界の中の英米豪以外の地域、特にアジアや中東・アフリカ地域から発信されるニュースなどの視聴覚教材を見聞きしながら、世界への視野を広めるとともに英語の理解力を高める。 評価方法 授業への参加度およびテストによる。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。						
60154	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	アンデル, ジャクリン	水3	156教室	1年 文一二(19-20)文三(11-12) 理一(26-28)理二三(18)
講義題目 Reading Drama Texts 目標概要 This presentation based course will use a contemporary British drama text to improve students' ability to speak more effectively in English. The course will help students to develop intelligible pronunciation and to practice stress and intonation patterns. Students will be expected to assimilate a range of features linked to oral fluency in a contextualised manner. The course will help students to experiment with language in terms of tone of voice, register and jargon. The drama text will be used to provide an opportunity to reproduce authentic speech and to enable discussion and comprehension of the text itself. Students will be expected to read excerpts from the text on a weekly basis as preparation for work in class. 評価方法 Grades will be based on class participation, presentations and written reflections. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
60155	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	岩佐 将志	水3	166教室	1年 文一二(19-20)文三(11-12) 理一(26-28)理二三(18)
講義題目 英語で読み解く現代社会 目標概要 この授業では、現代社会の動向を社会学的な視点から考察している英語文献を題材とし、英文読解の訓練を行う。ここで取り上げるのは、現代社会を「再創造 (Reinvention)」の論理が浸透する社会と捉え、独自の議論を展開している社会学者の著作である。本書では、現代の個人や組織が絶えず自らを作り変えるように迫られている様子が、さまざまな事例を通じて描かれる。本書を読み解くことを通じ、その洗練された議論に触れると同時に、そこで用いられる幅広い語彙や表現を習得することを目指す。 評価方法 授業内の発表、小テスト、期末エッセーから総合的に判断する。 教科書 著者(訳者): Anthony Elliott 書名: Reinvention 出版社: Routledge ISBN: 9780415682848 ガイダンス 特に行わない。						
60156	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	西川 杉子	水3	113教室	1年 文一二(19-20)文三(11-12) 理一(26-28)理二三(18)
講義題目 History Today を読む 目標概要 イギリスで出版されている歴史の教養雑誌 History Today に収録された小論文を読み、イギリスの文化・歴史を学ぶ。History Today については図書館に入っているので、参考にするとよい。 評価方法 毎回の小テストおよび授業への参加度。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50032	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	岩崎 徹	月2	151教室	1年 文一二(25,28) 文三(5,7,20) 理一(8,12-13)
講義題目 元祖ミュージカルの台本を読む 目標概要 『キャッツ』や『オペラ座の怪人』のロイド・ウェバーの約100年前、ヴィクトリア朝末期のロンドンで大流行し、英語圏に広まった「サヴォイ・オペラ」は、元祖ミュージカルとも言うべき喜歌劇だ。諷刺の利いたギルバートの台本（・歌詞）と軽快で親しみやすいサリヴァンの曲で、現在でも人気が高い。今セメスターは、レパートリーの中から、共和制の伝統をもつヴェニス Gondoliers のゴンドラ漕ぎ兄弟のどちらかが実は王子（？）という The Gondoliers をビデオを鑑賞しながら読み、イギリス的ユーモアを味わう。洗練された英語で書かれた台詞、韻を踏んだ歌詞、それに時代背景や上演のエピソードなどについての詳しい注、と多様な文体にふれる機会にもなる。 評価方法 試験の成績に出席、平常点を加味する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50033	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	平賀 優子	月2	153教室	1年 文一二(25,28) 文三(5,7,20) 理一(8,12-13)
講義題目 英語発音演習—発音力から聴解力へ— 目標概要 この授業では英語の発音力を磨いて聴解力の向上を目指します。発音練習（音読）は、模倣からのみでなく音声学の理論（特に、IPA：International Phonetic Alphabet）やシャドーイング、オーバーラッピングの手法を用いて行います。また、英語の学習の方法も随時紹介し、自学自習ができる能力を養成します。 評価方法 定期試験、平常点（授業態度、出席） 教科書 著者（訳者）：Masakazu Someya 書名：Basic English Pronunciation for Japanese -Light Version- 出版社：Sanshusha ガイダンス 特に行わない。						
50034	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	WILSON Brendan	月2	149教室	1年 文一二(25,28) 文三(5,7,20) 理一(8,12-13)
講義題目 Reading and Listening Comprehension 目標概要 The aim of this course is to improve practical comprehension skills for reading and listening. 評価方法 At the end of the semester, there will be a test of students' reading and listening comprehension skills. 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50035	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	堀越 庸一郎	月2	101教室	1年 文一二(25,28) 文三(5,7,20) 理一(8,12-13)
講義題目 イギリス現代ユーモア小説精読 目標概要 イギリスの作家 Douglas Adams (1952-2001) の小説 The Long Dark Tea-Time of the Soul (1988) を読む。1980年代のイギリスを舞台に北欧神話の神々が登場したりするユーモアSF探偵小説です。世の中には、公的な文書や研究書、あるいは文学作品などの「真面目な」文章よりも、息抜きや娯楽の目的で書かれた小説やエッセイなどの「気楽な」文章の方が圧倒的に多い。そういう「気楽な」英文を気楽に楽しんで読むための読解力や知識を、この授業で多少なりとも身につけて頂ければと思う。授業内容は基本的にテキストの精読になる。テキストをきちんと読むには作法があり、それはそのテキストが「気楽な」文章であろうと、「真面目な」研究論文であろうと、千年前に書かれた古英語の文書だろうと、変わらない。この「作法」も、この授業である程度ご紹介したいことのひとつである。 評価方法 授業中の和訳に対する評価、および各期末レポート（3～4頁分の英文の和訳）。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50036	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	メズールール ジェルマン	月2	K402	1年 文一二(25,28) 文三(5,7,20) 理一(8,12-13)
講義題目 Introduction to Social Inequality Studies M2 目標概要 This course will explore a range of social issues and situations faced by people in different societies around the world. Through learning and discussing these issues, students will develop their comprehension and communication skills in English. The course is designed to help you learn and understand important sociological issues, in English. You will learn new vocabulary, and also practice your English discussion and presentation skills. The exact topics covered will be decided in class, through discussions and votes, and could include: Social Stratification Inequalities of Race and Ethnicity Gender Inequality Access to Education etc. Students will gain a better understanding of basic sociology, as well as use critical thinking to discuss possible solutions to some of the main social inequalities covered in the class. 評価方法 25%: Digital Portfolio 25%: Presentation (2x12.5% or 1x25% depending on class size) 25%: Timed-essay in class 25%: Active participation and contribution to the class 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50037	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	志子田 祥子	月2	10-203	1年 文一二(25,28) 文三(5,7,20) 理一(8,12-13)
講義題目 Let's Read and Discuss 目標概要 The aim of this course is to help students improve their reading and communication skills in English, through a range of student-centred activities designed to stimulate responses and promote social interactions in the classroom, including pair/group work and discussion. We will read a contemporary British author Zadie Smith's novella, 'The Embassy of Cambodia' (2013) as the core textbook. Set in Willesden, north-west London, it is an absorbing story about the life of a young migrant worker from the Ivory Coast, filled with resonant imagery. It is hoped that carefully reading this novella together will help students to develop their reading fluency and to learn to enjoy authentic texts, as well as will open up new horizons for students. 評価方法 Active class participation and significant contribution (approx. 30%); successful completion of a series of activities and assignments including presentations and vocabulary quizzes (approx. 70%). 理由の如何にかかわらず、授業開始後30分以上の遅刻、および授業終了30分以前の早退は欠席とみなす。遅刻・早退2回で欠席1回とみなす。3回以上の欠席は不可。 教科書 著者（訳者）：Zadie Smith 書名：The Embassy of Cambodia 出版社：Hamish Hamilton/ Penguin Books ISBN：978-0-241-14652-1 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50038	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	掘田 隆一	月2	102教室	1年 文一二(25,28) 文三(5,7,20) 理一(8,12-13)
講義題目 英文精読 --- 言語における比喩の遍在性 目標概要 言語と比喩に関する名著の一部を講読して、 ・ 内容の濃い英文を構文を取りながら超精読する能力を養い、 ・ 認知言語学的な観点から言語における比喩について議論し、 ・ 言語に向きあう態度を改めて考え直す ことを目標とする。 評価方法 出席、指名された箇所の精読、予習の有無、定期試験を総合して評価する。定期試験では、既読箇所について和訳、内容把握、意見論述を中心とした問題を出す。 教科書 著者（訳者）：Lakoff, George and Mark Johnson 書名：Metaphors We Live By 出版社：U of Chicago P ISBN：9780226468013 ガイダンス 特に行わない。						
50039	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	佐藤 光	月2	107教室	1年 文一二(25,28) 文三(5,7,20) 理一(8,12-13)
講義題目 英語の小説を聴きながら読む 目標概要 朗読の音声を聞きながら、小説を読むことによって、聴解力と読解力の向上を目指します。小説は、説明文と日常会話から構成されているという意味で、外国語を学ぶためには最適の教材です。今回使用する教材には、20世紀初頭のアメリカを舞台として「善人」が多く登場します。善意が幸せを呼ぶこともあれば、裏目に出ることもあり、人生について考えてみたい人、心の洗濯をしてみたい人、「善人」は胡散臭いけれど、だから興味があるという人、そもそも英語で短編小説を読むという体験をしてみたい人、を歓迎します。 評価方法 定期試験と授業時の質問に対する回答状況をふまえて、総合的に判断します。 教科書 著者（訳者）：O. ヘンリー 短篇集 出版社：朝日出版社 ISBN：978-4-255-15126-7 ガイダンス 特に行わない。						
50040	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	バーチュリ セーラ ルイーザ	月2	10-201	1年 文一二(25,28) 文三(5,7,20) 理一(8,12-13)
講義題目 How to become presentation savvy. 目標概要 Employers and academics demand students have strong communication and presentation skills. As a future professional, you will not only be expected to be a confident speaker, but also to organize and prepare clear, concise, and interesting presentations. This course will prepare you for the future by developing speaking and delivery skills, as well as critical thinking and analytical skills that focus on how to organize a presentation, solve problems, build arguments, and use your creativity. This course is designed to help you become a confident presenter, as well as a savvy presentation writer. All of these tasks ensure you will have plenty of opportunities to develop your oral communication and presentation skills. 評価方法 You will be assessed in four main areas: a). An Assessed pair Pecha-Kucha Presentation b). An Assessed Group Discussion c). An Assessed Debate d). An Assessed Business Pitch 教科書 Teacher produced materials via the class homepage. ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50088	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	堀越 庸一郎	月3	101教室	1年 理一(15-18,31-32)
講義題目 イギリス現代ユーモア小説精読 目標概要 イギリスの作家 Douglas Adams (1952-2001) の小説 The Long Dark Tea-Time of the Soul (1988) を読む。1980年代のイギリスを舞台に北欧神話の神々が登場したりするユーモアSF探偵小説です。世の中には、公的な文書や研究書、あるいは文学作品などの「真面目な」文章よりも、息抜きや娯楽の目的で書かれた小説やエッセイなどの「気楽な」文章の方が圧倒的に多い。そういう「気楽な」英文を気楽に楽しんで読むための読解力や知識を、この授業で多少なりとも身につけて頂ければと思う。授業内容は基本的にテキストの精読になる。テキストをきちんと読むには作法があり、それはそのテキストが「気楽な」文章であろうと、「真面目な」研究論文であろうと、千年前に書かれた古英語の文書だろうと、変わらない。この「作法」も、この授業である程度ご紹介したいことのひとつである。 評価方法 授業中の和訳に対する評価、および各期末レポート (3～4頁分の英文の和訳)。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50089	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	バーチュリ セーラ ルイーザ	月3	10-201	1年 理一(15-18,31-32)
講義題目 How to become presentation savvy. 目標概要 Employers and academics demand students have strong communication and presentation skills. As a future professional, you will not only be expected to be a confident speaker, but also to organize and prepare clear, concise, and interesting presentations. This course will prepare you for the future by developing speaking and delivery skills, as well as critical thinking and analytical skills that focus on how to organize a presentation, solve problems, build arguments, and use your creativity. This course is designed to help you become a confident presenter, as well as a savvy presentation writer. All of these tasks ensure you will have plenty of opportunities to develop your oral communication and presentation skills. 評価方法 You will be assessed in four main areas: a). An Assessed pair Pecha-Kucha Presentation b). An Assessed Group Discussion c). An Assessed Debate d). An Assessed Business Pitch 教科書 Teacher produced materials via the class homepage. ガイダンス 特に行わない。						
50090	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	岩崎 徹	月3	151教室	1年 理一(15-18,31-32)
講義題目 元祖ミュージカルの台本を読む 目標概要 『オペラ座の怪人』の約100年前、ロンドンのサヴォイ劇場で初演されて以来、今でも英米を始め英語圏諸国で人気の高い元祖ミュージカルのコミック・オペラがある。風刺の利いたウィリアム・ギルバートの台本（・歌詞）と、軽快で親しみやすいアーサー・サリヴァンの曲による一連の「サヴォイ・オペラ」は、ドイリー・カート歌劇団により100年以上上演されてきた伝統があるが、英米の主要大学、主要都市にある同好会によるアマチュアの上演も盛んだ。このレパートリーの中から、最初の国際的大ヒット作となったミュージカル史上画期的な作品で、大正時代の日本でも「浅草オペラ」でしばしば上演された『軍艦ピナフォア号』をビデオを鑑賞しながら読み、イギリス的ユーモアを味わう。洗練された英語で書かれた台詞、韻を踏んだ歌詞、時代背景や上演に関する注釈など、さまざまな文体に触れる機会にもなるだろう。 評価方法 試験の成績に出席、平常点を加味する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50091	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	佐藤 光	月3	107教室	1年 理一(15-18,31-32)
講義題目 英語の小説を聴きながら読む 目標概要 朗読の音声聞きながら、小説を読むことによって、聴解力と読解力の向上を目指します。小説は、説明文と日常会話から構成されているという意味で、外国語を学ぶためには最適の教材です。今回使用する教材には、20世紀初頭のアメリカを舞台として「善人」が多く登場します。善意が幸せを呼ぶこともあれば、裏目に出ることもあり、人生について考えてみたい人、心の洗濯をしてみたい人、「善人」は胡散臭いけれど、だから興味があるという人、そもそも英語で短編小説を読むという体験をしてみたい人、を歓迎します。 評価方法 定期試験と授業時の質問に対する回答状況をふまえて、総合的に判断します。 教科書 著者（訳者）：O. ヘンリー 短篇集 出版社：朝日出版社 ISBN：978-4-255-15126-7 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50092	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	WILSON Brendan	月3	149教室	1年 理一(15-18,31-32)
講義題目 Reading and Listening Comprehension 目標概要 The aim of this course is to improve practical comprehension skills for reading and listening. 評価方法 At the end of the semester, there will be a test of students' reading and listening comprehension skills. 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50093	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	石井 クンツ 昌子	月3	104教室	1年 理一(15-18,31-32)
講義題目 英語で社会問題をディベートしよう 目標概要 この授業の最終目標は英語で自分の考えやアイデアを発表する能力を身につけることである。日本と米国の様々な社会問題についてディベートする。各トピックの議論への準備を周到にして、ディベートにより英語のリスニング、スピーキング、プレゼンテーション能力を養う。また、米国の社会問題を扱ったドキュメンタリー映画を視聴し、ディスカッションする。 評価方法 出席率(欠席は3回までとし、4回以上の場合の評価は「不可」とする)、ディベートとデリバリー技術と内容、ディベートへの準備、ディベートとディスカッションへの積極的な参加、ディベートの勝敗、授業態度と英会話への参加 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50094	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	メズールール ジェルマン	月3	K402	1年 理一(15-18,31-32)
講義題目 Introduction to Social Inequality Studies M3 目標概要 This course will explore a range of social issues and situations faced by people in different societies around the world. Through learning and discussing these issues, students will develop their comprehension and communication skills in English. The course is designed to help you learn and understand important sociological issues, in English. You will learn new vocabulary, and also practice your English discussion and presentation skills. The exact topics covered will be decided in class, through discussions and votes, and could include: Social Stratification Inequalities of Race and Ethnicity Gender Inequality Access to Education etc. Students will gain a better understanding of basic sociology, as well as use critical thinking to discuss possible solutions to some of the main social inequalities covered in the class. 評価方法 25%: Digital Portfolio 25%: Presentation (2x12.5% or 1x25% depending on class size) 25%: Timed-essay in class 25%: Active participation and contribution to the class 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50157	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	石井 クンツ 昌子	月4	104教室	1年 理一(11)理二三(5,23-24)
講義題目 英語で社会問題をディベートしよう 目標概要 この授業の最終目標は英語で自分の考えやアイデアを発表する能力を身につけることである。日本と米国の様々な社会問題についてディベートする。各トピックの議論への準備を周到にして、ディベートにより英語のリスニング、スピーキング、プレゼンテーション能力を養う。また、米国の社会問題を扱ったドキュメンタリー映画を視聴し、ディスカッションする。 評価方法 出席率(欠席は3回までとし、4回以上の場合の評価は「不可」とする)、ディベートとデリバリー技術と内容、ディベートへの準備、ディベートとディスカッションへの積極的な参加、ディベートの勝敗、授業態度と英会話への参加 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50158	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	バーチュリ セーラ ルイーザ	月4	10-201	1年 理一(11)理二三(5,23-24)
講義題目 How to become presentation savvy. 目標概要 Employers and academics demand students have strong communication and presentation skills. As a future professional, you will not only be expected to be a confident speaker, but also to organize and prepare clear, concise, and interesting presentations. This course will prepare you for the future by developing speaking and delivery skills, as well as critical thinking and analytical skills that focus on how to organize a presentation, solve problems, build arguments, and use your creativity. This course is designed to help you become a confident presenter, as well as a savvy presentation writer. All of these tasks ensure you will have plenty of opportunities to develop your oral communication and presentation skills. 評価方法 You will be assessed in four main areas: a). An Assessed pair Pecha-Kucha Presentation b). An Assessed Group Discussion c). An Assessed Debate d). An Assessed Business Pitch 教科書 Teacher produced materials via the class homepage. ガイダンス 特に行わない。						
50159	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	山崎 雄史	月4	151教室	1年 理一(11)理二三(5,23-24)
講義題目 Reading Native American Testimony by Peter Nabokov 目標概要 This course will explore the race relation in the United States from a historical perspective, especially that between Native American and white Americans. This course will look at the upsurge of liberator movement of the Dakota Access Pipeline protests in 2016 as our foothold for this exploration. 評価方法 Attendance, Participation, Vocabulary tests 25% Group Presentation and Translation 40% Final Paper 35% 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50160	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	高橋 和子	月4	10-203	1年 理一(11)理二三(5,23-24)
講義題目 TOEFL/TOEICの後は、名作を英語で読もう 目標概要 本授業では、授業前半でTOEFLやTOEICのreading問題を扱う。授業後半では、英語を学ぶ大学生ならば一度は英語で読んでおきたい名作の名場面を取り上げる。随時、名作の中心場面の映像（映画）の視聴、ディスカッション・プレゼンテーションを取り入れることによって、バランスのとれた英語力育成を目標にする。 評価方法 授業参加度：60%（TOEFL/TOEICのreading問題、名作に対する課題等を含む） 定期試験・レポート：40% 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50236	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	山本 史郎	火1	149教室	1年 文一二(21-23) 理一(21)理二三(16)
講義題目 英語を深く読む 目標概要 哲学的議論、科学エッセイ、小説など様々のジャンルの英文を読み、そこに表現されている意味を読みつくし、contextやimplicationを探索し、レトリックを徹底的に分析する。文章に書かれていること、書かれていないことを読みつくすのが目標。 評価方法 授業への参加と定期試験による。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50237	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ギルナー リーア	火1	151教室	1年 文一二(21-23) 理一(21)理二三(16)
講義題目 Presentation skills for the global age 目標概要 This course will prepare you to be active listeners and speakers who can interact in the international scene. In this class we will consider and practice communication strategies that you can use to increase understanding. You will develop your presentation skills through observation and practice. One of the primary aims is to prepare you to participate in international academic forums such as conferences, seminars, and workshops. Course expectations include active participation, respectful attention, serious consideration, and sincere effort. In-class activities will focus on pair and group work as well as short, informal presentations. Students are expected to spend about an hour on homework preparation each week. 評価方法 30% In-class contributions 30% Homework 30% Presentations (Mid-term 10%, Final 20%) 10% Q&A 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50238	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	松本 和子	火1	10-201	1年 文一二(21-23) 理一(21)理二三(16)
講義題目 はじめてのニュース英語 目標概要 ニュース英語を繰り返し聞き、シャドイングを行うことで、ニュース番組で使われている「生の英語」の速さ・発音に慣れることを目指す。 評価方法 シャドイング・授業参加・試験 教科書 著者（訳者）：Timoethy Knowles et al. 書名：Seeing the World through the News 3 出版社：Kinseido ISBN：978-4-7647-4015-0 ガイダンス 特に行わない。						
50239	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	トム・ガリー	火1	153教室	1年 文一二(21-23) 理一(21)理二三(16)
講義題目 Reading John Updike 目標概要 In this class, we will read a short story by the American writer John Updike (1932-2009). Updike was distinguished by the deftness, richness, and wit of his writing, the psychological depth of his characters, and the breadth of his depictions of life during the second half of the Twentieth Century. Through this course, students will become able to read modern literary English more fluently and gain greater insight into the intricacies and possibilities of literature itself. The story that we will read was originally published 1964 and is about a group of students at Harvard University in the early 1950s. 評価方法 Students will be graded based on attendance, preparation, class participation, and a final examination, which will cover the vocabulary and content of the story read in class. 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50240	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	リチャード カーター・ホワイト	火1	155教室	1年 文一二(21-23) 理一(21)理二三(16)
講義題目 Geographies of the Holocaust 目標概要 The Holocaust was one of the most important events of the 20th century, with a profound effect on society, politics and philosophy that continues to be felt today. The course offers an introduction to the history of the Holocaust, including the ideology and rationality of the perpetrators, the development and implementation of the killing operations, and the ongoing cultural and political legacy of the genocide. Students will be exposed to a range of theoretical and historical perspectives, and a consistent theme of this course will be the particular importance of geographical ideas for understanding this pivotal event and its complex relationship with modernity. 評価方法 Student assessment will be based on active participation in class, a presentation and a final essay. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50241	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ノールト デリック	火1	102教室	1年 文一二(21-23) 理一(21)理二三(16)
講義題目 “Success”: From Aristotle to Zuckerberg 目標概要 In this course, we will study “success” principles as understood by Western thinkers and innovators ranging from philosophers in Classical Greece to contemporary business professionals in Silicon Valley. The purpose of the course, besides being to expose students to life questions that date back to ancient times and the ideas of the most influential thought leaders of our own era, is to help participants formulate their own definition of “success,” set concrete and achievable goals, improve their levels of self-confidence and self-awareness, and become more effective in their personal, academic, and work lives. 評価方法 Quizzes: 30% Writing assignments: 30% Presentation: 10% Oral interview: 10% Participation: 20% 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50491	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	WILLIAMS David	火5	154教室	1年 理一(24)理二三(12,14,19)
講義題目 Intermediate Reading, Thinking & Discussion 目標概要 The purpose of this class is to build students' English language reading and thinking skills beyond simple description to a more critical and analytical point. Taking a contemporary thematic approach students will critically examine and consider authentic and semi-authentic texts in groups where texts will be revisited after in depth pre-class reading. The themes explored in class will be exclusively on contemporary British culture. At the end of this course it is expected that students will be able to critically consider and assess a wide range of contemporary topics of domestic and international significance. Students will find that the skills acquired in this class will assist in expressing themselves in other areas of their academic studies, and later in their professional lives. 評価方法 Assessment for this class will be based on evidence of completed homework reading (40%), active class participation, two forum-based presentations (30%), and a final assessment (30%). In order to gain a top grade for this course students are expected to make an original and unique contribution to each class. 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50492	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	牛村 圭	火5	102教室	1年 理一(24)理二三(12,14,19)
講義題目 New York Timesで世界を読む 目標概要 New York Timesに掲載された署名入り記事に注釈が付された教材を精読する。さまざまな今日の諸問題が、英語ではどのように表現されて論じられているかを知る機会とするにとどまらず、学生諸君の文理にわたる知的関心を高めることをも目指したい。 評価方法 担当した訳文の発表を含めた平常点、セメスター中に実施の語彙力テスト、そして期末の筆記試験による。 教科書 書名 : ニューヨークタイムズの窓から 出版社 : 英宝社、2014年 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50493	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ライアン ケビン	火5	10-201	1年 理一(24)理二三(12,14,19)
講義題目 Teaching and Learning English with Online Videos 目標概要 Since you already have 6 years of English, you will have the opportunity to use it by teaching others about one specific video. Students choose 8 topics in areas like science, culture, current issues for the class. You choose a short (3 minute) YouTube video about one of those topics. You work with the teacher to make a transcript (intensive listening). Then you build a lesson plan around that video with questions, explanations, activities, and short games (reading and writing). You teach about your video in a small group to other students, and lead a discussion (speaking and listening). Then online, you continue to discuss and finally make a report about your teaching experience (writing). After week 7, we repeat the process with different topics and practice what you learned from the first 7 weeks. Additional activities will allow you to work more on using your English in a natural teaching and discussion situation. Watch a video about the class at kevinryan.com/discuss to see some sample student-created Lessons and Lesson Plans. 評価方法 Lesson Preparation 30%. Leading Discussion 30%. Class Participation 30%. Final Exam 10%. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50494	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	藤尾 美佐	火5	10-205	1年 理一(24)理二三(12,14,19)
講義題目 世界で勝つための英語プレゼンテーション 目標概要 英語コミュニケーションにおいて、プレゼンテーション（以下プレゼン）は不可欠なスキルである。国際ビジネスの場で英語を実際に使用するビジネスパーソンによっても、最も重要なスキルの1つとして挙げられている（小池・寺内他2009）。また他のスキルと比べ、パフォーマンス的要素も強く、プレゼンスキルを学ぶことによって、英語の非母語話者であっても、母語話者以上のプレゼンターになることができる。 本コースでは、英語のプレゼンに必要な基本的なスキル（プレゼンの構成、資料作成、英語のデリバリー、非言語コミュニケーション（ジェスチャー、アイコンタクトなど）の効果的な使い方）を学んだ後、授業内でグループ・プレゼンテーションを実施する。 さらに、他のグループおよび自分自身のプレゼンのレビューを行うことにより、洞察を深めていく。 授業は、英語と日本語の両方で行う（インストラクションにも極力英語を使用する予定）。 評価方法 授業への積極的な参加・提出物・プレゼンテーション・レポート 教科書 著者（訳者）：藤尾 美佐 書名：20ステップで学ぶ日本人だからこそできる英語プレゼンテーション 出版社：DHC出版 ガイダンス 特に行わない。						
50522	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	松本 和子	水1	10-201	1年 理一(7,33,38)
講義題目 はじめてのニュース英語 目標概要 ニュース英語を繰り返し聞き、シャドイングを行うことで、ニュース番組で使われている「生の英語」の速さ・発音に慣れることを目指す。 評価方法 シャドイング・授業参加・試験 教科書 著者（訳者）：Timothy Knowles et al. 書名：Seeing the World through the News 3 出版社：Kinseido ISBN：978-4-7647-4015-0 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50523	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	河合 祥一郎	水1	E42教室	1年 理一(7,33,38)
講義題目 英語朗読『不思議の国のアリス』 目標概要 『不思議の国のアリス』の原文の音声教材を自宅でよく聴いて予習し、発音やリズム等に気をつけながら音読することで、英語の読み方の基本を身につけます。『鏡の国のアリス』からも「トゥイードルダムとトゥイードルディー」「ハンプディ・ダンプティ」「女王アリス」の3章を読みます。また、毎回授業の初めにTOEICの語彙についての小テストを行い、語彙力を維持します。毎回発音指導を行い、そのための早口言葉を覚えてもらいます。 評価方法 毎回の小テストとクラスでの取り組み姿勢を評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50524	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	サーギル ジェームズ クリストファー	水1	151教室	1年 理一(7,33,38)
講義題目 Writing Myth, Reading Culture: An Introduction to Folklore 目標概要 This course will provide students with a foundation in working in English to conduct folkloric studies. Working through a series of comparative case studies, your class activities will be based around group discussions, screenings, in-class readings and student-led work - each designed to help develop your verbal, written and analytic skills in English language. Students will examine folklore from a cross-cultural perspective, exploring myths and legends from both the geographical East and West. As well as assessing the role of folklore from both contemporary and historical viewpoints, the class will also introduce students to methodological approaches in the investigation of folklore. You will be required to write a research paper and give short presentations in English, as well as to undertake various homework tasks throughout the course (readings, creative assignments, compiling research etc.). 評価方法 Attendance, Participation and Engagement: 20% Research Paper: 40% Presentation: 40% 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50800	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	小林 薫	木2	150教室	1年 理一(6,30,39)
講義題目 ネーションとナショナリズム 目標概要 nation とは何であるか。nationalismとは何であるか。日本語には対応する語彙が見当たらないがために、国民、国家、民族、などと文脈に応じて訳し分けられているが、nation や nationalism とは英語圏においてもまた、捉え方の定まらない厄介な概念であるようである。 本授業ではSteven Grosby, Nationalism: A Very Short Introduction (2007 Oxford) より、第2章 'What is a nation' を講読する。nation 概念について、英語ではどのような論じられ方をしているのか。またその議論の背景にはどのような事情があるのか、検討してみたい。 講読においては、語の意味、文と文の繋がり、段落と段落の繋がりなどに注意し、文章を丁寧に読む事を目標とする。従って、セメスター中に扱う量は必然的に少なからざるを得ないが、文章を速く正確に読む力を培うためには必須の訓練だと考える。 評価方法 丁寧に予習をする事。辞書を必ず持参する事。 授業での発表・議論への参加に基づく平常点、試験を基準とする。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50801	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	河島 弘美	木2	512教室	1年 理一(6,30,39)
講義題目 原文と映画で学ぶ「英米文学と家庭」 目標概要 映画化された作品を通じて英米文学の歴史を知り、多彩な英語表現を学ぶとともに「家庭像」について考察する。 評価方法 毎回の出席、授業参加、提出物、定期試験の結果を総合して評価を行う。 教科書 著者（訳者）：行方昭夫・河島弘美 書名：映画化された英米文学24 そのさわりを読む 出版社：鶴見書店 ISBN：978-4-7553-0376-0 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50802	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	戸谷 陽子	木2	151教室	1年 理一(6,30,39)
講義題目 アカデミックプレゼンテーション 目標概要 大学での授業をはじめ、研究会やパネルディスカッションなど、アカデミックな状況において、英語で口頭発表を行うための方法とスキルを学び、ワークショップ形式で実践することにより、実際に使える技術として身につける。 評価方法 授業時の発表と課題提出、期末発表と最終ポートフォリオを総合的に評価する。 教科書 著者（訳者）：Susan M. Reinhart 書名：Giving Academic Presentations, Second Edition 2nd ed. 出版社：The University of Michigan Press ISBN：9780472035090 ガイダンス 特に行わない。						
50849	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	久世 恭子	木3	149教室	1年 文一二(17)文三(4,8)
講義題目 Language Mythsを読む 目標概要 言語に関する「神話」について言語学者が一般の人向けに解説するテキストを主教材とする。精読と速読の両方により読解力向上を目指すだけでなく、言語神話の背景にある現代社会の問題や文化への関心も養う。また、内容に関連のある戯曲Pygmalionや映画My Fair Ladyも部分的に取り入れる。 評価方法 授業参加・発表30、小テスト・課題20、筆記試験 50 教科書 著者（訳者）：Laurie Bauer and Peter Trudgill (eds.) 書名：Language Myths 出版社：Penguin ISBN：978-0-14-026023-6 ガイダンス 特に行わない。						
50850	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	小林 薫	木3	150教室	1年 文一二(17)文三(4,8)
講義題目 ネーションとナショナリズム 目標概要 nation とは何であるか。nationalismとは何であるか。日本語には対応する語彙が見当たらないがために、国民、国家、民族、などと文脈に応じて訳し分けられているが、nation や nationalism とは英語圏においてもまた、捉え方の定まらない厄介な概念であるようである。 本授業ではSteven Grosby, Nationalism: A Very Short Introduction (2007 Oxford) より、第2章 'What is a nation' を講読する。nation 概念について、英語ではどのような論じられ方をしているのか。またその議論の背景にはどのような事情があるのか、検討してみたい。 講読においては、語の意味、文と文の繋がり、段落と段落の繋がりなどに注意し、文章を丁寧に読む事を目標とする。従って、セメスター中に扱う量は必然的に少なくならざるを得ないが、文章を速く正確に読む力を培うためには必須の訓練だと考える。 丁寧に予習をする事。辞書を必ず持参する事。 評価方法 授業での発表・議論への参加に基づく平常点、試験を基準とする。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50851	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	河島 弘美	木3	512教室	1年 文一二(17)文三(4,8)
講義題目 原文と映画で学ぶ「英米文学と家庭」 目標概要 映画化された作品を通じて英米文学の歴史を知り、多彩な英語表現を学ぶとともに「家庭像」について考察する。 評価方法 毎回の出席、授業参加、提出物、定期試験の結果を総合して評価を行う。 教科書 著者（訳者）：行方昭夫・河島弘美 書名：映画化された英米文学24 そのさわりを読む 出版社：鶴見書店 ISBN：978-4-7553-0376-0 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50852	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	中山 匡美	木3	10-203	1年 文一二(17)文三(4,8)
講義題目 ニュース英語でインプットからアウトプットへ 目標概要 日本の出来事、あるいは日本とも関係の深い世界的な出来事についてのニュースの英文を文字と音声で正しく理解し、ニュースで頻繁に使われる語彙や英語らしい表現を自分の言葉として使えるようになることを目標とする。 評価方法 3回以上欠席した学生は評価の対象とならない。授業への参加姿勢、小テスト、課題、定期試験を総合して評価する。欠席や遅刻で受けられなかったテストについては特別な理由がない限り考慮しないので注意すること。 教科書 著者(訳者): 渡邊あをい 書名: ニュース英語で視野を広げる 出版社: 三修社 ISBN: 978-4-384-33471-5C1082 ガイダンス 特に行わない。						
50853	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	戸谷 陽子	木3	151教室	1年 文一二(17)文三(4,8)
講義題目 アカデミックプレゼンテーション 目標概要 大学での授業をはじめ、研究会やパネルディスカッションなど、アカデミックな状況において、英語で口頭発表を行うための方法とスキルを学び、ワークショップ形式で実践することにより、実際に使える技術として身につける。 評価方法 授業時の発表と課題提出、期末発表と最終ポートフォリオを総合的に評価する。 教科書 著者(訳者): Susan M. Reinhart 書名: Giving Academic Presentations, Second Edition 2nd ed. 出版社: The University of Michigan Press ISBN: 9780472035090 ガイダンス 特に行わない。						
50986	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	田尻 芳樹	金1	150教室	1年 文一二(13)文三(18) 理一(29)理二三(6,21)
講義題目 短編小説を読む 目標概要 この授業では20世紀の英語圏のノーベル賞クラスの作家の短編をいくつか精読し、20世紀ヨーロッパの歴史や新しい文学形式に注意を向けながら、英語の読解力増進を図ります。精読の授業ですので、細かいニュアンスも含めてすべてを訳出していきます。その過程で、英語の表現に関して辞書を丹念に調べたり、文脈に依じての意味をじっくり考えたりする訓練をします。 評価方法 平常の参加度と定期試験。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50987	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	田中 伸一	金1	151教室	1年 文一二(13)文三(18) 理一(29)理二三(6,21)
講義題目 未来学入門 目標概要 ここでいう「未来学」とは、未来と向き合うために教養人としてどのように現在を生きたら良いかに関わる見識を指す。現在の傾向から未来の状態を予測する通常の未来学と違って、逆に想定される未来をもたすには今どうあるべきかを考える backcasting の手法である。また、社会全体の体制がどうあるべきかではなく、それを構成する個人の内面を問題とする。科学者のモラルが大いに問われる昨今、教養人が当然知っておいてよい見識である。 この授業では、数学者・生物学者・科学哲学者であるJ.Bronowskiの著書A Sense of the Future (1977, MIT Press)に所収された5つのエッセーを読み、そうした「未来学」のイロハを学びつつ、未来への向き合い方と現在の生き方を考えていきたい。扱うテーマは、“A Sense of the Future”(未来と向き合う感覚)、“The Creative Process”(創造のプロセス)、“On Art and Science”(芸術と科学について)、“The Reach of Imagination”(想像力が及ぶ範囲)、“The Logic of Nature”(自然の論理)の5つであり、こうした見識は当然ながら文理の垣根などない。また、やや古い著書ではあるが色褪せることもなく、古くて新しい普遍的なテーマを掘り起こす意味がある。 評価方法 積極的な参加や発言、演習(内容紹介)、定期試験を総合的に評価する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50988	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	井上 博之	金1	106教室	1年 文一二(13)文三(18) 理一(29)理二三(6,21)
講義題目 レイモンド・チャンドラー『大いなる眠り』を読む 目標概要 アメリカ合衆国のハードボイルド探偵小説の古典であるレイモンド・チャンドラー (Raymond Chandler) の『大いなる眠り』(The Big Sleep, 1939年) を講読します。多読と精読とを組みあわせてセメスター中の読了を目指し、細部に注意を払って英文を精確に読めるようになること、ある程度の分量の英語を継続的に読む能力を身につけること、会話文などから口語的な表現を学ぶこと、小説を読むおもしろさを実感してもらうことなどが授業の目標となります。あくまでも語学の授業なので今まであまり小説を読んでこなかった学生の受講も歓迎します。比較的平易な英語で書かれた小説ではありますが、2週目以降は毎回20ページほどのペースで進めていくので毎週の予習にある程度の時間がかかることは覚悟しておいてください (こちらからもできるかぎりのサポートはするつもりです)。受講希望者は初回の授業までにテキストを入手し、最初の章 (ペーパーバックの7ページ途中まで) に目をとおしてきてください。時間があればハワード・ホークスによる映画版 (1946年) やその他の関連する映画 (たとえばコーエン兄弟の『ビッグ・リボウスキ』[The Big Lebowski, 1998年] など) も授業中に取りあげます。 評価方法 平常点 (出席、予習、議論への参加度など) が4割、数回行う小テストが3割、定期試験 (あるいは発表およびレポート) が3割を基本として総合的に判断します。 教科書 著者 (訳者) : Raymond Chandler 書名 : The Big Sleep 出版社 : Vintage ISBN : 978-0-394-75828-2 ガイダンス 特に行わない。						
50989	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	清水 徹郎	金1	K303	1年 文一二(13)文三(18) 理一(29)理二三(6,21)
講義題目 Reading and Listening to The New York Times and The Guardian 目標概要 インターネット版The New York TimesまたはThe Guardianから記事とビデオを選び、リスニングとリーディングの演習を行う。リスニングでは生の英語に慣れ、大意を把握できるようになることを目標とする。リーディングでは、用語・慣用表現に加えて、レトリックと論理の組み立てについても正確に読みとれるようになることを目指す。質疑・説明・ディスカッション等は、すべて英語で行う。授業の終わりに英語で短いコメントを書いて提出。また復習を兼ねた小テストを定期的に行い、語彙力の増進を図る。 評価方法 平常点 (出席、予習状況を含む総合的学習態度) 約25%+小テスト他の合計約35%+定期試験約40%をめやすとする。欠席・遅刻の多い場合 (欠席3回超、なお遅刻3回で欠席1回に換算) は、上記のめやすに関わらず「不可」の評価とする。 教科書 The New York TimesまたはThe Guardian (Web版) から毎回教材記事とビデオのURLをクラス指定のYahooボックス (初日にURL通達) にアップする。各自でアクセスして予習すること。プリントは配布しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50990	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	河合 祥一郎	金1	E42教室	1年 文一二(13)文三(18) 理一(29)理二三(6,21)
講義題目 英語朗読『不思議の国のアリス』 目標概要 『不思議の国のアリス』の原文の音声教材を自宅をよく聴いて予習し、発音やリズム等に気をつけながら音読することで、英語の読み方の基本を身につけます。『鏡の国のアリス』からも「トウィードルダムとトウィードルディー」「ハンプディ・ダンプティ」「女王アリス」の3章を読みます。また、毎回授業の初めにTOEICの語彙について的小テストを行い、語彙力を維持します。毎回発音指導を行い、そのための早口言葉を覚えてもらいます。 評価方法 毎回の小テストとクラスでの取り組み姿勢を評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50991	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ポター サイモン	金1	102教室	1年 文一二(13)文三(18) 理一(29)理二三(6,21)
講義題目 Exploring the Human Condition through Dialogs 目標概要 To get some practice using the English language by reading dialogs in which the speakers talk about important or interesting issues, writing answers to questions about chapter contents, preparing oral presentations (conversations, speeches, explanations), and performing in front of the class. 評価方法 Each week students will receive points that reflect their answers to the questions (individual work) and the group presentations (essentially 50% each), and the grade for the entire course will be based on the summation of these. 教科書 著者（訳者）：I.G. Moatfield 書名：Dialogs Among Thoughtful Folk (2016) その他：(available from the first class meeting) ガイダンス 特に行わない。						
51068	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	大橋 理枝	金3	151教室	1年 文三(9,13) 理二三(8,11)
講義題目 Rhetorical Criticism 目標概要 コミュニケーション学の分野で扱われる「レトリック批評」の理論を学ぶと共に、それを応用して実際に作品を分析してみる。 評価方法 二度のグループ発表及び授業中に行う小テストの結果で総合的に判断する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
51069	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ミルズ アンソニー	金3	10-303	1年 文三(9,13) 理二三(8,11)
講義題目 Improving English Language Presentation Skills 目標概要 For many of us, both at university and in the world outside, it is sometimes necessary to make oral presentations in front of an audience. We also often need to know how to respond appropriately and constructively to presentations by others and take part in discussions. A lot of people find these activities stressful, especially if the language that is used is not their own first language. This course aims to give the participants practice in making and responding to oral presentations in English. Each student will make three English-language presentations during the course and all students are expected to participate actively in class discussions. 評価方法 Grades will be calculated according to this system. Attendance is required and you will lose 1% each time you are absent or late to class. Presentations max: 60% (10% for the 1st, 20% for the 2nd, 30% for the 3rd) Active participation max: 20% Written work max. 20% (1 essay of about 500 words, based on the final presentation) TOTAL 100% There will be no final examination. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
51070	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	清水 徹郎	金3	K303	1年 文三(9,13) 理二三(8,11)
講義題目 Reading and Listening to The New York Times and The Guardian 目標概要 インターネット版The New York TimesまたはThe Guardianから記事とビデオを選び、リスニングとリーディングの演習を行う。リスニングでは生の英語に慣れ、大意を把握できるようになることを目標とする。リーディングでは、用語・慣用表現に加えて、レトリックと論理の組み立てについても正確に読みとれるようになることを目指す。質疑・説明・ディスカッション等は、すべて英語で行う。授業の終わりに英語で短いコメントを書いて提出。また復習を兼ねた小テストを定期的に行い、語彙力の増進を図る 評価方法 平常点(出席、予習状況を含む総合的学習態度)約25%+小テスト他の合計約35%+定期試験約40%をめやすとする。欠席・遅刻の多い場合(欠席3回超、なお遅刻3回で欠席1回に換算)は、上記のめやすに関わらず「不可」の評価とする。 教科書 The New York TimesまたはThe Guardian (Web版)から毎回教材記事とビデオのURLをクラス指定のYahooボックス(初日にURLを通達)にアップする。各自で記事およびビデオにアクセスして予習すること。プリントは配布しない。 ガイダンス 特に行わない。						
51071	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ポター サイモン	金3	102教室	1年 文三(9,13) 理二三(8,11)
講義題目 Exploring the Human Condition through Dialogs 目標概要 To get some practice using the English language by reading dialogs in which the speakers talk about important or interesting issues, writing answers to questions about chapter contents, preparing oral presentations (conversations, speeches, explanations), and performing in front of the class. 評価方法 Each week students will receive points that reflect their answers to the questions (individual work) and the group presentations (essentially 50% each), and the grade for the entire course will be based on the summation of these. 教科書 著者(訳者): I.G. Moatfield 書名: Dialogs Among Thoughtful Folk (2016) その他: (available from the first class meeting) ガイダンス 特に行わない。						
51122	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	佐竹 晶子	金3	153教室	1年 文三(9,13) 理二三(8,11)
講義題目 TEDTALKS (science) 目標概要 TEDとそれに関連するReading教材を題材にした教科書を使います。トピックは、睡眠、内向的性格、テキスト・メッセージで生まれた新しい文体、宇宙飛行士の危機対策など興味深い話題が10章ありますが、特に、biomimicry、cyborg、動物の隠れた能力といった最先端の自然科学に関する話題を掘り下げて扱いたいと思います。 評価方法 TEDのリスニング小テスト、期末レポート(テーマは自由) 教科書 書名: 21st Century Reading: Creative Thinking and Reading with TEDTALKS Level 3 出版社: Cengage Learning ISBN: 978-1-305-26571-4 ガイダンス 特に行わない。						
51118	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ポター サイモン	金4	102教室	1年 文一二(4-6,8)文三(17)
講義題目 Exploring the Human Condition through Dialogs 目標概要 To get some practice using the English language by reading dialogs in which the speakers talk about important or interesting issues, writing answers to questions about chapter contents, preparing oral presentations (conversations, speeches, explanations), and performing in front of the class. 評価方法 Each week students will receive points that reflect their answers to the questions (individual work) and the group presentations (essentially 50% each), and the grade for the entire course will be based on the summation of these. 教科書 著者(訳者): I.G. Moatfield 書名: Dialogs Among Thoughtful Folk (2016) その他: (available from the first class meeting) ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
51119	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ミルズ アンソニー	金4	10-303	1年 文一二(4-6,8)文三(17)
講義題目 Improving English Language Presentation Skills 目標概要 For many of us, both at university and in the world outside, it is sometimes necessary to make oral presentations in front of an audience. We also often need to know how to respond appropriately and constructively to presentations by others and take part in discussions. A lot of people find these activities stressful, especially if the language that is used is not their own first language. This course aims to give the participants practice in making and responding to oral presentations in English. Each student will make three English-language presentations during the course and all students are expected to participate actively in class discussions. 評価方法 Grades will be calculated according to this system. Attendance is required and you will lose 1% each time you are absent or late to class. Presentations max: 60% (10% for the 1st, 20% for the 2nd, 30% for the 3rd) Active participation max: 20% Written work max. 20% (1 essay of about 500 words, based on the final presentation) TOTAL 100% There will be no final examination. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
51120	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	佐藤 洋一	金4	103教室	1年 文一二(4-6,8)文三(17)
講義題目 From comprehension to practice 目標概要 本コースでは、映像教材を用いて、英語圏の言語と文化の両方の理解を深めていくことを目指します。毎回の授業で題材となる教材の理解に必要な単語や熟語、文法項目の理解度チェックを行い、かつ学習した項目をベースに、実際の運用を考えていきます。 評価方法 本コースの評価方法は以下の通りです。 出席 20% 授業態度 20% 発表 20% 定期試験 40% 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
51121	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	傅 凱儀	金4	10-203	1年 文一二(4-6,8)文三(17)
講義題目 Studies for Environment and Society 目標概要 After this course, students will: 1.Recognize the complexity of environmental issues and the human element inherent in them. 2.Be alert to the interrelationship of local and global in environmental problems and issues. 3.Recognize the local and global social sources of conflicts and inequalities of issues such as natural resource use, food/agricultural practices, wilderness preservation, population and climate change. 評価方法 Class participation (20%), Presentation and discussion(50%), Final report (30%) 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
51123	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	大橋 理枝	金4	151教室	1年 文一二(4-6,8)文三(17)
講義題目 Rhetorical Criticism 目標概要 コミュニケーション学の分野で扱われる「レトリック批評」の理論を学ぶと共に、それを応用して実際に作品を分析してみる。 評価方法 二度のグループ発表及び授業中に行う小テストの結果で総合的に判断する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50280	A	英語中級	ペティート ジョシュア	火2	157教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 Media Literacy 目標概要 This course is designed to help students hone their ability to clearly express their thoughts and ideas in written English by critically reading and analyzing visual forms of media, mainly advertisements. Throughout the semester you will practice analyzing visual media and their rhetoric, that is, how they go about saying what it is that they have to say. ※この授業は2014年度以前入学者のうち、英語演習②の単位未取得者には、読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 Grading is based on preparation, participation in class discussions, participation in writing workshops, submission of assignments and essays, and the submission of a final writing portfolio. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50281	A	英語中級	伊藤 たかね	火2	151教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 英語音声学入門：理屈で学ぶ英語の発音・聞き取り 目標概要 英語の発音（調音）の仕組みの初歩を学ぶことによって、英語の発音および聞き取りの上達を目指す。あわせて発音記号も学ぶ。 語学を習得する「カン」があまり良くないけれど、理屈は好き、発音・聞き取りは苦手、という学生向き。 ※この授業は2014年度以前入学者のうち、英語一列②の単位未取得者には、読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 毎回の宿題、小テスト、定期試験で総合的に評価する 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50742	A	英語中級	オデイ ジョン	水5	154教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 The Essays of George Orwell 目標概要 George Orwell (1903-1950) was a novelist and essayist, most famous for the novels “Animal Farm” and “1984”. He is regarded as one of the most influential English-language writers of the 20th century. Many of Orwell's essays, including “Shooting an Elephant”, “Politics and the English Language”, and “A Hanging”, are masterpieces of their genre. This course will focus on a number of Orwell's essays, covering topics that were of special importance for the middle decades of the 20th Century: Atomic weapons, colonialism, propaganda, the cold war, etc. The aim of this class is to both to learn about Orwell's essays, and also to improve English discussion skills. To that end, this is an active, discussion-based class, conducted entirely in English. Students will speak English in class. 評価方法 Grades are based on participation in class activities and a final exam. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50743	A	英語中級	小川 浩之	水5	150教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 The Cambridge History of the Cold Warを読む 目標概要 Melvyn P. Leffler and Odd Arne Westad, eds., The Cambridge History of the Cold War, Volume III: Endings (Cambridge: Cambridge University Press, 2010) から選んだ4つの章を読み、冷戦とイスラーム主義、科学技術、生物圏（バイオスフィア）、人権の関係について学ぶ。 ※この授業は2014年度以前入学者のうち、英語一列②の単位未取得者には、読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 授業での発表、質疑応答と議論への貢献、毎週提出する要旨から総合的に評価する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50744	A	英語中級	坪井 栄治郎	水5	10-101	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ことばと認知 目標概要 人間の言語と認知の関係について書かれた英文を読むことを通して、その関係についての理解を深めるとともに、読解力の向上を図ることを目的とする。 ※この授業は2014年度以前入学者のうち、英語二列Rの単位未取得者には、読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 小試験の点数と授業中のperformance(質問された時の解答の出来、授業への参加・集中度)に最終授業時に行う試験の成績で評価。最終試験で6割、小試験と授業中のperformanceで4割の評価比率。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
51013	A	英語中級	坪井 栄治郎	金2	10-101	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ことばと認知 目標概要 人間の言語と認知の関係について書かれた英文を読むことを通して、その関係についての理解を深めるとともに、読解力の向上を図ることを目的とする。 ※この授業は2014年度以前入学者のうち、英語二列Rの単位未取得者には、読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 小試験の点数と授業中のperformance(質問された時の解答の出来、授業への参加・集中度)に最終授業時に行う試験の成績で評価。最終試験で6割、小試験と授業中のperformanceで4割の評価比率。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
51014	A	英語中級	アンデル, ジャクリーン	金2	153教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 Immigration in Japan 目標概要 This introductory course to the study of labour migration focuses on the contemporary experience of Japan. Japan has consistently maintained a 'closed-door' immigration policy for low-skilled work and, as a consequence, migration scholarship has frequently portrayed the country as an exception when compared to other highly developed countries. This course examines whether this characterisation of Japan as exception is valid and focuses primarily on different forms of labour migration to the country since the 1980s, including undocumented migrant workers, female entertainers, trainees, care-workers for the elderly and the ethnic migration of Japanese Brazilians. We will study the experiences of migrants from a variety of countries, including the Philippines, Indonesia, Pakistan, Ghana and China. The course will also examine the issues involved in attracting skilled migrants to Japan. ※この授業は2014年度以前入学者のうち、英語演習②の単位未取得者には、読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 Grades will be based on class participation, presentations and written coursework 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
51015	A	英語中級	寺澤 盾	金2	157教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 英文読解とリスニング 目標概要 日本の社会・文化に関する様々なトピックについて書かれた英文を読みながら、それと（ゆるやかに）関連した英語ビデオも視聴する。英語を正確に読む力とリスニング能力を向上させることを目指す。あわせて、日本のことについて英語で語れるようになることも目指す。 評価方法 授業への参加度、小テスト、および定期試験を総合して評価する。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。						
50282	A	英語上級	高橋 英海	火2	154教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 History and Culture of the Islamic World through English 目標概要 The aim of the course is to improve the English comprehension skills of the student through reading and listening to the materials provided by the instructor on the history, culture and the thought world of the Middle East and the neighbouring regions. 評価方法 The evaluation will be made on the basis of class work (approx. 60%) and the final written report (approx. 40%). 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50745	A	英語上級	ダルグリーシュ プレガム	水5	102教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 Ideas and Thinkers 目標概要 Overview: Thought is the means by which we elaborate who we are, assert our membership of a culture, authorise institutions within society, and make claims upon each other. Indeed, without any philosophical reflection upon society and politics, life today would have neither rationale nor articulated meaning. It is thus precisely at the cross-roads between our daily practices and taken for granted ideas that this course is situated in terms of an examination and critical analysis of a range of texts at the core of the intellectual inheritance of the West. Objectives: 1. reading, analysing and synthesising academic texts; 2. presenting, elaborating and defending arguments orally; 3. taking part in seminars and academic discussions; 4. structuring and organising ideas in a coherent and logical written form. N.B. This course is best suited to students who enjoy engaging in active class discussion and speaking. In the spirit of the critical (perhaps “Western”?) mode of knowledge acquisition, the course is based on interactive seminar discussion and challenging debate and argument. 評価方法 The method of evaluation is by continuous assessment (hence, there is no final exam). A final grade will be given based on: 1. student presentation (individually or in groups, depending on student enrolment for the course) = 30%; 2. seminar participation (English language ability = 15%; intellectual engagement with the course content = 15%) = 30%; 3. end of semester written assignment of a short response paper = 40%. 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						

ドイツ語初級（演習）②		開講区分	A
目標概要 In dem Kurs werden überwiegend Grammatik- und Gespraechs-, durchgeführt, die sich an den Themen des Lehrbuchs orientieren, das auch in der ersten Reihe verwendet wird, und zwar von Lektion 12 bis 18. 一列の授業で学習する教科書のテーマ（12課～18課）に沿った文法と会話の練習をおこなう。			
成績評価方法 出席、および授業中の積極的な参加を平常点として成績評価に入れる。期末に筆記および口頭によるテストを行う（平常点30%、筆記試験35%、口頭試験35%）。			
教科書 著者（訳者）：東京大学教養学部ドイツ語部会編 書名：ドイツ語共通教科書『Einblicke』			
関連ホームページ http://deutsch.c.u-tokyo.ac.jp/			
※講義の詳細については、UTASも参照すること			

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50008	月1	森井 裕一	149教室	1年 文科(TLP)
50043	月2	ゲイド ラッペ	112教室	1年 文三(15)
50150	月4	クリスティアン クリンク	K114	1年 文一二(20)
50664	水3	クリスティアン クリンク	K114	1年 文三(16)
50706	水4	ゲイド ラッペ	104教室	1年 文一二(22)
50866	木3	クリスティアン クリンク	K114	1年 文一二(21)
50912	木4	ゲイド ラッペ	149教室	1年 文三(14)
51034	金2	足立 信彦	118教室	1年 文科(TLP)

※TLP履修者は、対象クラスで「1年 文科(TLP)」と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目Ⅰ系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50007	A	ドイツ語初級（演習）	森井 裕一	月1	149教室	1年 理科
講義題目 ドイツ語演習（TLPクラス指定科目） 目標概要 トライリンガル・プログラム用の演習に当たる。ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）のA1からA2レベルに対応する基本的言語運用能力を養成する。 各自が指定クラス（一列・二列）で習得した文法的知識をもとに、さまざまな応用練習、読み物、会話などによって補いながら、ドイツ語能力の基礎を確実なものとする。週2回のネイティブ教員による授業と連動して、発展的な学習を進める。 評価方法 平常点および期末試験による。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50200	A	ドイツ語初級（演習）	三宅 晶子	月5	115教室	1年 理科
講義題目 ドイツ語初級(演習) 目標概要 理科生を対象として開講される、文科生の演習にあたる科目です。1年理科生のみ受講可能。 ドイツ語を日常的な内容とできるだけ平易な文法で、聞き、話し、書き、読むことができるように、実践力をつけることを目標とする。 評価方法 平常点10%＋ドイツ語レポート20%＋期末試験70% 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
51016	A	ドイツ語初級（演習）	林 志津江	金2	112教室	1年 理科
講義題目 ドイツ語初級(演習) 目標概要 理科生を対象として開講される、文科生の演習にあたる科目です。1年理科生のみ受講可能。 評価方法 最終評価試験（プレゼンテーション）30%、平常点（授業に対する貢献および授業内の成果・提出物）70%を総合的にあわせて判定します。 教科書 著者（訳者）：東京大学教養学部ドイツ語部会（編） 書名：Einblicke ガイダンス 第一回授業日に行う。						
51033	A	ドイツ語初級（演習）	足立 信彦	金2	118教室	1年 理科
講義題目 ドイツ語演習（TLPクラス指定科目） 目標概要 トライリンガル・プログラム用の演習に当たる。ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）のA1からA2レベルに対応する基本的言語運用能力を養成する。 各自が指定クラス（一列・二列）で習得した文法的知識をもとに、さまざまな応用練習、読み物、会話などによって補いながら、ドイツ語能力の基礎を確実なものとする。週2回のネイティブ教員による授業と連動して、発展的な学習を進める。 評価方法 平常点および期末試験による。 教科書 著者（訳者）：東京大学教養学部ドイツ語部会編 書名：ドイツ語共通教科書『Einblicke』 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50746	A	ドイツ語初級（会話）	ククリンスキ ルーベン	水5	116教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ドイツ語初級（会話）、Deutsch-Konversation fuer Anfaenger/innen 目標概要 初めてドイツ語を学ぶ学生をめざし、日常生活における基礎的なドイツ語会話の運用能力を養う。授業の目標はドイツ語圏における認定試験“Goethe Zertifikat A1”に必要なドイツ語能力の養成にある。会話の授業であるため、重点は口頭の練習及び語彙を増やすことにある。 ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修 ドイツ語二列② の単位未取得者には読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 平常点（授業への参加・宿題・出席率）・小テスト・期末試験（口頭試験）を総合的に評価する。中でも授業への積極的な参加を高く評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
51166	A	ドイツ語初級（作文）	山口 裕之	金5	149教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ドイツ語初級（作文） 目標概要 文法項目ごとにドイツ語の文を書く練習をする。目的は大きく分けて二つある。一つは、能動的に文を「書く」という行為を通じて、文法の理解をよりしっかりしたものとすること。その意味で「文法」の授業の性格も併せもつ。もう一つは、自分の言いたいことをドイツ語で表現するという本来の「作文」の力を身につけること。ただし、教科書の構成があくまでも文法項目別になっているので、例えば「お願いをする」「提案する」「意見を述べる」といった目的別の表現のヴァリエーションは、補足のかたちで取り上げることになる。最終的にはある程度定型的な「メールを書く」こともできるようになることを目指したい。 ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修 ドイツ語二列② の単位未取得者には読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 授業への積極的取り組みと期末試験によって総合的に評価する。 教科書 著者（訳者）：横山靖 書名：ドイツ語の作文と文法〔新正書法版〕 出版社：郁文堂 ISBN：4-261-01175-1 ガイダンス 特に行わない。						
50747	A	ドイツ語初級（表現練習）	ヘルマン ゴチェフスキ	水5	学際交流 ホール	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 暗記、朗読と歌唱によって覚えるドイツ語表現 目標概要 読み書きや発音によって初級の授業で学んだ文法や単語の使用法を身につけます。韻文と歌も扱う。 ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修 ドイツ語二列② の単位未取得者には読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 宿題や小テストの積み重ねで評価する。出席は必要である。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50214	A	ドイツ語初級（インテンシヴ）	I・カウフマン	月5	10-102	1年 文科 理科
講義題目 ドイツ語演習（TLPクラス指定科目） 目標概要 In dem Kurs werden die im 1. Semester erworbenen Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben weiter ausgebaut. Der Kurs richtet sich an Lerner auf dem Niveau A1 und soll zum Niveau A2 des Gemeinsamen europäischen Referenzrahmens führen. Die Teilnehmer lernen, Alltagsgespräche zu führen, verschiedene anwendungsbezogene Textsorten zu verstehen und Texte zum Informationsaustausch zu verfassen. Die grammatischen Schwerpunkte sind Nebensätze, Deklination der Adjektive und Verbrektion. この授業では、Sセメスターで習得した、聴く・読む・話す・書く能力をさらに発展させます。授業は、ヨーロッパ参照枠でA1レベルのドイツ語力をもつ受講生が対象で、A2レベルに高めることが目標です。受講者は、日常会話、テキスト読解、情報交換のための文章を作成することを学習します。文法事項としては、副文、形容詞の格変化、動詞の格支配に重点を置きます。 評価方法 Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs, sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価します。やむを得ない場合を除き、授業には毎回出席することを前提とします。 教科書 著者（訳者）：Ulrike Albrecht et al. 書名：Passwort Deutsch, 3-bändige Ausgabe, Kursbuch 2 mit 2 Audio CDs (A2) 出版社：Klett ISBN：978-3-12-675925-0 ガイダンス 特に行わない。						
50283	A	ドイツ語初級（インテンシヴ）	I・カウフマン	火2	10-202	1年 文科 理科
講義題目 ドイツ語初級（インテンシヴコース）A 目標概要 Der Kurs baut auf den im ersten Semester in der Einführungskursen erworbenen Sprachkenntnissen auf und entwickelt vor allem die kommunikativen Sprachfertigkeiten Hören, Sprechen, Schreiben, Lesen. Am Anfang des Kurses wiederholen wir zügig die Grundkenntnisse. Abhängig vom Niveau der Teilnehmer arbeiten wir dann mit einem Lehrwerk der Grundstufe weiter. この授業では、Sセメスターで習得した知識を基盤として、聴く・読む・話す・書く、といったコミュニケーション能力をさらに発展させます。はじめに、既習事項を簡単に復習します。その後、受講者のレベルに合わせて、初級教科書を教材として進めて行きます。 評価方法 成績評価は平常点および試験によって行う。 Die Bewertung erfolgt aufgrund der Qualität der Beiträge im Seminar, den Hausaufgaben und regelmäßiger Tests. Regelmäßige und aktive Teilnahme werden vorausgesetzt. 規則的、そして積極的な参加は前提とされる。評価はゼミにおける貢献の質、宿題および規則的なテストによって行われる。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50298	A	ドイツ語初級（インテンシヴ）	クリスティアン クリンク	火2	K114	1年 文科 理科
講義題目 ドイツ語演習（TLPクラス指定科目） 目標概要 In dem Kurs werden die im 1. Semester erworbenen Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben weiter ausgebaut. Der Kurs richtet sich an Lerner auf dem Niveau A1 und soll zum Niveau A2 des Gemeinsamen europäischen Referenzrahmens führen. Die Teilnehmer lernen, Alltagsgespräche zu führen, verschiedene anwendungsbezogene Textsorten zu verstehen und Texte zum Informationsaustausch zu verfassen. Die grammatischen Schwerpunkte sind Nebensätze, Deklination der Adjektive und Verbrenktion. この授業では、Sセメスターで習得した、聴く・読む・話す・書く能力をさらに発展させます。授業は、ヨーロッパ参照枠でA1レベルのドイツ語力をもつ受講生が対象で、A2レベルに高めることが目標です。受講者は、日常会話、テキスト読解、情報交換のための文章を作成することを学習します。文法事項としては、副文、形容詞の格変化、動詞の格支配に重点を置きます。 評価方法 Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs, sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価します。やむを得ない場合を除き、授業には毎回出席することを前提とします。 教科書 著者（訳者）：Ulrike Albrecht et al. 書名：Passwort Deutsch, 3-bändige Ausgabe, Kursbuch 2 mit 2 Audio CDs (A2) 出版社：Klett ISBN：978-3-12-675925-0 ガイダンス 特に行わない。						
50774	A	ドイツ語初級（インテンシヴ）	I・カウフマン	木1	10-102	1年 文科 理科
講義題目 ドイツ語演習（TLPクラス指定科目） 目標概要 In dem Kurs werden die im 1. Semester erworbenen Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben weiter ausgebaut. Der Kurs richtet sich an Lerner auf dem Niveau A1 und soll zum Niveau A2 des Gemeinsamen europäischen Referenzrahmens führen. Die Teilnehmer lernen, Alltagsgespräche zu führen, verschiedene anwendungsbezogene Textsorten zu verstehen und Texte zum Informationsaustausch zu verfassen. Die grammatischen Schwerpunkte sind Nebensätze, Deklination der Adjektive und Verbrenktion. この授業では、Sセメスターで習得した、聴く・読む・話す・書く能力をさらに発展させます。授業は、ヨーロッパ参照枠でA1レベルのドイツ語力をもつ受講生が対象で、A2レベルに高めることが目標です。受講者は、日常会話、テキスト読解、情報交換のための文章を作成することを学習します。文法事項としては、副文、形容詞の格変化、動詞の格支配に重点を置きます。 評価方法 Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs, sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価します。やむを得ない場合を除き、授業には毎回出席することを前提とします。 教科書 著者（訳者）：Ulrike Albrecht et al. 書名：Passwort Deutsch, 3-bändige Ausgabe, Kursbuch 2 mit 2 Audio CDs (A2) 出版社：Klett ISBN：978-3-12-675925-0 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50967	A	ドイツ語初級（インテンシヴ）	クリスティアン クリンク	木5	K114	1年 文科 理科
講義題目 ドイツ語演習（TLPクラス指定科目） 目標概要 In dem Kurs werden die im 1. Semester erworbenen Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben weiter ausgebaut. Der Kurs richtet sich an Lerner auf dem Niveau A1 und soll zum Niveau A2 des Gemeinsamen europäischen Referenzrahmens führen. Die Teilnehmer lernen, Alltagsgespräche zu führen, verschiedene anwendungsbezogene Textsorten zu verstehen und Texte zum Informationsaustausch zu verfassen. Die grammatischen Schwerpunkte sind Nebensätze, Deklination der Adjektive und Verbrenktion. この授業では、Sセメスターで習得した、聴く・読む・話す・書く能力をさらに発展させます。授業は、ヨーロッパ参照枠でA1レベルのドイツ語力をもつ受講生が対象で、A2レベルに高めることが目標です。受講者は、日常会話、テキスト読解、情報交換のための文章を作成することを学習します。文法事項としては、副文、形容詞の格変化、動詞の格支配に重点を置きます。 評価方法 Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs, sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価します。やむを得ない場合を除き、授業には毎回出席することを前提とします。 教科書 著者（訳者）：Ulrike Albrecht et al. 書名：Passwort Deutsch, 3-bändige Ausgabe, Kursbuch 2 mit 2 Audio CDs (A2) 出版社：Klett ISBN：978-3-12-675925-0 ガイダンス 特に行わない。						
51017	A	ドイツ語初級（インテンシヴ）	I・カウフマン	金2	10-102	1年 文科 理科
講義題目 ドイツ語初級（インテンシヴコース）A 目標概要 Der Kurs baut auf den im ersten Semester in der Einführungskursen erworbenen Sprachkenntnissen auf und entwickelt vor allem die kommunikativen Sprachfertigkeiten Hören, Sprechen, Schreiben, Lesen. Am Anfang des Kurses wiederholen wir zügig die Grundkenntnisse. Abhängig vom Niveau der Teilnehmer arbeiten wir dann mit einem Lehrwerk der Grundstufe weiter. この授業では、Sセメスターで習得した知識を基盤として、聴く・読む・話す・書く、といったコミュニケーション能力をさらに発展させます。はじめに、既習事項を簡単に復習します。その後、受講者のレベルに合わせて、初級教科書を教材として進めて行きます。 評価方法 成績評価は平常点および試験によって行う。 Die Bewertung erfolgt aufgrund der Qualität der Beiträge im Seminar, den Hausaufgaben und regelmäßiger Tests. Regelmäßige und aktive Teilnahme werden vorausgesetzt. 規則的、そして積極的な参加は前提とされる。評価はゼミにおける貢献の質、宿題および規則的なテストによって行われる。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。						
50748	A	ドイツ語初級（第三外国語）	クリスティアン クリンク	水5	K114	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 Deutsche Grammatik / German Grammar (Anfänger / Beginner) 目標概要 Dieser Kurs ist für Studierende ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache konzipiert (Stufe A1 des Europäischen Referenzrahmens). Im Mittelpunkt steht die Vermittlung der grundlegenden deutschen Grammatik. Durch diverse Übungen sollen grundlegende sprachliche Fähigkeiten (Hören, Lesen, Schreiben, Sprechen) erlernt werden. This course is designated for students without any previous knowledge of German (Level A1 of the European Reference Framework). The course focuses on the foundation of the German grammar. Through various exercises, students are taught the essentials of the language (listening, reading, writing, speaking). 評価方法 Die Bewertung erfolgt aufgrund der Qualität der Beiträge im Seminar, den Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige und aktive Teilnahme werden vorausgesetzt. Relevant for the evaluation are the quality of the contribution in class, homework as well as tests. Regular attendance and active participation are a prerequisite. 教科書 著者（訳者）：東京大学教養学部ドイツ語部会編 書名：ドイツ語共通教科書『Einblicke』 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50770	A	ドイツ語初級（第三外国語）	中丸 禎子	木1	149教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ドイツ語初級（第三外国語） 目標概要 第三外国語としてドイツ語を初めて学ぶ学習者向けの授業である。一セメスター間でドイツ語の基礎文法を一通り学習する。 授業終了後は、各自で必要・興味に応じてドイツ語能力を伸ばしていけるよう、最低限の基礎知識とドイツ語の学び方を修得することを目指す。 評価方法 平常点と期末試験による。 教科書 著者（訳者）：Takeshi Uemura, Daina Terasawa 書名：ヴェスト 初級ドイツ語クラス 出版社：白水社 ISBN：9784560064184 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
50284	A	ドイツ語中級（演習）	香田 芳樹	火2	1221教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 抵抗の神学者ボンヘッファーを読む 目標概要 この授業では、20世紀の神学者ディートリヒ・ボンヘッファー（1906-1945）の著作や手紙をドイツ語原典で読みます。ボンヘッファーはプロテスタントの牧師でしたが、反ナチスの運動に参加し、ヒトラーの暗殺計画に加担した罪で逮捕、処刑されました。神に仕える身でありながら、暗殺もやむなしと彼に決意させたのは、「車に轢かれた犠牲者に包帯を巻いてやるだけでなく、車そのものを停めなければならない」という、全体主義への危機感とキリスト者としての強い正義感でした。 青年の頃の著作から、牢獄で友人や両親宛に書かれた手紙まで、ボンヘッファーの思想と人物を知るためのテキストを原文で読みながら、彼が遺した、良心に忠実に生きるためのメッセージに触れたいと思います。 テキストは教科書の例文のように平板ではありませんが、注の助けを借りれば、読みこなせます。また宗教に関する特別な知識や信仰は必要ありません。思想家の魂の叫びをじっくり味読しましょう。 ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修 ドイツ語二列④ の単位未取得者には読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 期末の筆記試験と平常点(出席2／3以上)によって総合的に評価します。 教科書 著者（訳者）：河崎 靖 書名：ボンヘッファーを読む。ドイツ語原典でたどる、ナチスに抵抗した神学者の軌跡 出版社：現代書館 ISBN：978-4-7684-5776-4 ガイダンス 特に行わない。						
50201	A	ドイツ語中級（会話）	クリスティアン クリンク	月5	K114	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ドイツ語中級（会話） 目標概要 Dieser Kurs ist für Studierende mit Vorkenntnissen der deutschen Sprache konzipiert (Stufe A2-B1 des Europäischen Referenzrahmens). Im Mittelpunkt steht die Entwicklung der Kommunikationsfähigkeit. Die bisher erworbenen sprachlichen Fertigkeiten sollen gefestigt und automatisiert werden. Das Hörverständnis soll verbessert, der Wortschatz erweitert und die Ausdrucksfähigkeit ausgebaut werden. Besonders die mündliche Kommunikation soll gezielt gefördert werden. 初級程度の会話力を持つひとのための授業です。コミュニケーション能力を高めるために、すでに得た会話能力をいっそう確実にし、すらすらと話せるようにしましょう。また、聴き取り能力を向上させ、語彙を増やし、高度な表現力を身につけましょう。 ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修 ドイツ語二列④ の単位未取得者には読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 Die Bewertung ergibt sich aus der aktiven Teilnahme im Kurs, den Ergebnissen der Hausaufgaben und einer mündlichen Prüfung am Ende des Semesters. Regelmäßige Anwesenheit wird vorausgesetzt. 授業への積極性、宿題、期末の口述試験によって評価します。出席は前提とします。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50187	A	ドイツ語中級（作文）	グイド ラッペ	月4	516教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ドイツ語中級（作文） 目標概要 学術的なドイツ語を書くための基礎を学ぶ授業。単純な形式から始めて、徐々に複雑な文章を書く訓練に移っていく。ドイツ語の基礎知識が必須。Die deutsche Grammatik zeichnet sich durch komplexe Satzgefüge aus, die einen guten Stil gerade auch im wissenschaftlichen Arbeiten ausmachen. Dieser beginnt mit einfachen Formen und schreitet dann immer weiter fort. Damit ist der Aufgabenbereich und die Dynamik dieses Kurses umrissen, der von einfachen Satzgefügen zu komplexeren fortschreitet. Dabei werden bereits Grundkenntnisse vorausgesetzt, so dass eine gewisse Kompetenz im Verständnis auch von etwas schwierigeren Formen erforderlich ist. So soll – vom Einfachen angefangen zu komplexeren Konstrukten – in die Technik der schriftlichen Ausdrucksfähigkeit eingeführt und diese geübt werden ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修 ドイツ語二列④ の単位未取得者には読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 平常点20%、中間試験30%、定期試験50% Mitarbeit 20%, Zwischentest 30%, Abschlusstest 50% 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50285	A	ドイツ語上級（演習）	識名 章喜	火2	158教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 インタビュー記事を読みながら、表現の型を学ぶ 目標概要 ドイツの雑誌に掲載された、各分野の専門家に対するインタビュー記事を読みながら、ドイツ語で議論する際に必要な表現の型を学び、さらにTVの討論番組を聞き、作文演習も行う。あわせて専門用語の造語法についても理解を深めたい。 評価方法 平常点、レポート、授業内試験で総合的に判断する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
51018	A	ドイツ語上級（読解）	斉藤 渉	金2	K301	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ドイツ語上級（読解）／German Language (Advanced) 目標概要 人文学分野の学術的文体の特性を理解し、高度な読解能力を身につける。こうしたテキストの難しさは、1) 要求される語彙、2) 複雑な文法構造、3) 抽象性の高い思考内容、4) 前提となる背景知識など、複数の要因に分けて考えられる。それぞれの要因への対処法を考え、学びながら、総合的な読解ストラテジーを習得するのが目標である。 評価方法 平常点（40%）＋期末試験（60%）を目安として評価する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						

フランス語初級（演習）②		開講区分	A
目標概要 一列・二列で文法および講読の基礎を学習していることを踏まえ、演習では発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や講読の応用練習などを行う。 この授業科目は文科生を対象としたものであるが、理科生に対しては、これに相当するものとして、総合科目Ⅰ系列国際コミュニケーション「フランス語初級（演習）」が開講されているので、積極的に参加してほしい。			
成績評価方法 平常点（小テスト、出席、発言等）と定期試験で総合的に評価する。			
教科書 担当教員が別途指示する。			
関連ホームページ http://langue-fr.c.u-tokyo.ac.jp			
※講義の詳細については、UTASも参照すること			

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50152	月4	デルヴロワ ミカエル	10-205	1年 文一二(26)
50301	火2	増田 一夫	K302	1年 文科(TLP)
50302	火2	桑田 光平	K301	1年 文科(TLP)
50340	火3	DE VOS PATRICK HENRI	159教室	1年 文一二(23)
50455	火4	ビゼ	164教室	1年 文一二(24)
50585	水2	アルベリック ドリブル	10-101	1年 文一二(27)
50586	水2	ファイフ ベアトリクス	10-103	1年 文一二(28)
50663	水3	ファイフ ベアトリクス	10-103	1年 文一二(25)
50709	水4	アルベリック ドリブル	10-101	1年 文三(20)
51074	金3	ビゼ	105教室	1年 文三(17)
51075	金3	アガエス ジュリアン	10-203	1年 文三(19)
51127	金4	マルティネル ルイ	10-201	1年 文三(18)

※TLP履修者は、対象クラスで「1年 文科(TLP)」と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目Ⅰ系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50299	A	フランス語初級（演習）	桑田 光平	火2	K301	1年 理科
講義題目 T L P フランス語演習（1年次） 目標概要 T L P（トライリング・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（T L P用）、そしてインテンシヴ・コース（T L P用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。 評価方法 期末試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する 教科書 著者（訳者）：Sylvie Poisson-Quinton, Evelyne Sirejols 書名：Amical Niveau 2 出版社：CLE International ISBN：978-2090386059 ガイダンス 特に行わない。						
50300	A	フランス語初級（演習）	増田 一夫	火2	K302	1年 理科
講義題目 T L P フランス語演習（1年次） 目標概要 T L P（トライリング・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（T L P用）、そしてインテンシヴ・コース（T L P用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。 評価方法 期末試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する 教科書 著者（訳者）：Sylvie Poisson-Quinton, Evelyne Sirejols 書名：Amical Niveau 2 出版社：CLE International ISBN：978-2090386059 ガイダンス 特に行わない。						
50003	A	フランス語初級（演習）	アルベリック ドリブル	水5	10-103	1年 理科
講義題目 フランス語初級（演習） 目標概要 一列・二列での学習内容を踏まえながら、発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や講読の応用練習などをおこないます。文科生の必修授業「フランス語初級（演習）②」に対応する授業内容を理科生に向けて開く、ということが趣旨です。 評価方法 平常点（宿題、出席、発言等）と定期試験で総合的に評価する。 教科書 著者（訳者）：Crépieux, Massé et Rousse 書名：Interactions 1 出版社：CLE International ISBN：978-2-09-038699-8 ガイダンス 特に行わない。						
50286	A	フランス語初級（会話）	COUCHOT Herve	火2	10-102	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 フランス語で話そう！French speaking, listening and writing for beginners 目標概要 フランス語 CECR A1-A2 フランス語の会話 ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修 フランス語二列② の単位未取得者には読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 - Writing and conversation tests (X2) - Weekly homework exercices 教科書 著者（訳者）：Mitsuru Ohki, Jean- Luc Azra et al. 書名：“Conversation et Grammaire” フランス語会話+文法 (初級) 出版社：Alma éditions ISBN：4-9901072-9-2 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
51019	A	フランス語初級（作文）	飛嶋 隆信	金2	149教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 フランス語の文例に数多くふれることで、既修の文法項目を再確認すると共に、新たな単語や熟語表現を習得し、日本語の和訳としてではなく、フランス語の発想で自ら表現するための基礎力を養成する。 目標概要 初級の授業で習得した文法の基本知識を復習すると共に、多くの文例や成句を習得し、日本語の文を直訳するのではない、また、英語とも異なるフランス語の発想で短文を書くための練習を行う。 ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修フランス語二列②の単位未取得者には読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 授業への出席および受講姿勢（15%） 小テスト（15%） 期末試験（70%） を総合して評価する。 教科書 著者（訳者）：石井晴一 書名：初歩のテーマ 出版社：三修社 ISBN：978-4-383-23205-9 C1085 ガイダンス 第一回授業日を行う。						
50203	A	フランス語初級（表現練習）	ファイフ ベアトリクス	月5	10-103	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 コミュニケーション能力を最大限に高める 目標概要 この授業はフランス語の知識を深め、その生きた姿に触れたいというみなさん、また、自分の思いや考えをフランス語で、しかもさまざまな方法で表現したいというみなさんに向けられたものです。必修授業である「フランス語初級（演習）」を補うものとイメージして下さるとわかりやすいですが、もちろん意欲のある学生さんすべてに開かれています（すでに「インテンシヴ」などを受講したみなさんにとっても、ちがう角度からフランス語を学ぶ機会となるはずです）。 授業はおおまかに3つのパートから構成されます。 1. 音楽と歌：自分の身体と声、そしてフランス語会話に有効な音楽上のテクニックを使ってみましょう。音楽経験のない学生さんも、もちろん大歓迎です！ 2. スピーチとロールプレイ：さまざまな設定のなかで、やはり自分の身体と声を使ってみましょう。恥ずかしがり屋の学生さんも楽しめるようになっていきます。 3. 多文化的なコミュニケーション：国際的な環境をイメージしてフランス語を使います。 もちろん、フランス語の基礎知識を確実にすることも大切な目標ですから、教科書（下記を参照）を使った「勉強の時間」を上記3つのパートと有機的に組み合わせてゆきます。 ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修フランス語二列②の単位未取得者には読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 平常点とオーラル・テスト 教科書 書名：Amical 1 ガイダンス 特に行わない。						
50998	A	フランス語初級（読解）	坂本 佳子	金1	154教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 フランス語初級（読解） 目標概要 フランス語テキストを読み、初級文法の確認を行いながら、主として語彙力・読解力を養うことを目指す。 ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修フランス語二列②の単位未取得者には読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 授業への参加状況、および期末試験による。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
51167	A	フランス語初級（読解）	佐々木 悠介	金5	156教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 演奏家の自伝的エッセーを読む 目標概要 フランス語で書かれた小説やエッセーと言った「読み物」を自力で読めるようになりたくても、初級文法を形式的に習っただけでは歯が立たない。それはとても残念なことなので、この授業ではその間のステップを提供したい。 演奏家のエッセーの良さは、多くの場合、編集者の手が入ることによって癖のないシンプルな文体に整えられていることである。それでいて直説法単純過去など、日常会話のフランス語とは異なる書き言葉としての性質を備えているから、練習にはもってこいである。 評価方法 予習（授業中にあった分）をメインに評価を行い、辞書持ち込み可の期末テストを行う。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50009	A	フランス語初級(インテンシヴ)	アガエス ジュリアン	月1	10-203	1年 文科 理科
講義題目 T L Pフランス語インテンシヴ・コース（1年次） 目標概要 T L P（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（T L P用）、そしてインテンシヴ・コース（T L P用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。 評価方法 期末試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する 教科書 著者（訳者）：Sylvie Poisson-Quinton, Evelyne Sirejols 書名：Amical Niveau 2 出版社：CLE International ISBN：978-2090386059 ガイダンス 特に行わない。						
50204	A	フランス語初級(インテンシヴ)	デルヴロワ ミカエル	月5	108教室	1年 文科 理科
講義題目 フランス語初級（インテンシヴコース） 目標概要 このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる2つの授業のうちの1つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに 開講されています。インテンシヴコースでは、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培う授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、水曜日5限の授業（フランス語初級（インテンシヴ）、デルヴロワ）も受講しなくてはなりません。SセメスターとAセメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。 評価方法 参加者の規則正しい出席を前提としています。宿題、定期試験によって評価をします。 教科書 開講時に指示します（セメスター開始の時点ですでに教科書が販売されていても初回終了までは購入しないこと）。 ガイダンス 特に行わない。						
50205	A	フランス語初級(インテンシヴ)	アガエス ジュリアン	月5	10-203	1年 文科 理科
講義題目 フランス語初級（インテンシヴコース） 目標概要 このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる2つの授業のうちの1つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに 開講されています。インテンシヴコースでは、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培う授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、木曜日1限の授業（フランス語初級（インテンシヴ）、アガエス）も受講しなくてはなりません。SセメスターとAセメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。 評価方法 参加者の規則正しい出席を前提としています。宿題、定期試験によって評価をします。 教科書 開講時に指示します（セメスター開始の時点ですでに教科書が販売されていても初回終了までは購入しないこと）。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50215	A	フランス語初級(インテンシヴ)	アルベリック ドリブル	月5	10-202	1年 文科 理科
講義題目 T L Pフランス語インテンシヴ・コース (1年次) 目標概要 T L P (トライリンガル・プログラム) 履修生のための授業。一列・二列 (文法と講読)、演習 (T L P用)、そしてインテンシヴ・コース (T L P用) を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。 評価方法 期末試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する 教科書 著者 (訳者) : Sylvie Poisson-Quinton, Evelyne Sirejols 書名 : Amical Niveau 2 出版社 : CLE International ISBN : 978-2090386059 ガイダンス 特に行わない。						
50750	A	フランス語初級(インテンシヴ)	デルヴロワ ミカエル	水5	10-205	1年 文科 理科
講義題目 フランス語初級 (インテンシヴコース) 目標概要 このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる2つの授業のうちの1つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに 開講されています。インテンシヴコースでは、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培う授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、月曜日5限の授業(フランス語初級(インテンシヴ)、デルヴロワ) も受講しなくてはなりません。SセメスターとAセメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。 評価方法 参加者の規則正しい出席を前提としています。宿題、定期試験によって評価をします。 教科書 開講時に指示します (セメスター開始の時点ですでに教科書が販売されていても初回終了までは購入しないこと)。 ガイダンス 特に行わない。						
50955	A	フランス語初級(インテンシヴ)	アガエス ジュリアン	木1	10-203	1年 文科 理科
講義題目 フランス語初級 (インテンシヴコース) 目標概要 このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる2つの授業のうちの1つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに 開講されています。インテンシヴコースでは、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培う授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、月曜日5限の授業(フランス語初級(インテンシヴ)、アガエス) も受講しなくてはなりません。SセメスターとAセメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。 評価方法 参加者の規則正しい出席を前提としています。宿題、定期試験によって評価をします。 教科書 開講時に指示します (セメスター開始の時点ですでに教科書が販売されていても初回終了までは購入しないこと)。 ガイダンス 特に行わない。						
50968	A	フランス語初級(インテンシヴ)	アルベリック ドリブル	木5	10-201	1年 文科 理科
講義題目 T L Pフランス語インテンシヴ・コース (1年次) 目標概要 T L P (トライリンガル・プログラム) 履修生のための授業。一列・二列 (文法と講読)、演習 (T L P用)、そしてインテンシヴ・コース (T L P用) を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。 評価方法 期末試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する 教科書 著者 (訳者) : Sylvie Poisson-Quinton, Evelyne Sirejols 書名 : Amical Niveau 2 出版社 : CLE International ISBN : 978-2090386059 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
51173	A	フランス語初級(インテンシヴ)	アガエス ジュリアン	金5	10-203	1年 文科 理科
講義題目 T L Pフランス語インテンシヴ・コース (1年次) 目標概要 T L P (トライリンガル・プログラム) 履修生のための授業。一列・二列 (文法と講読)、演習 (T L P用)、そしてインテンシヴ・コース (T L P用) を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。 評価方法 期末試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する 教科書 著者 (訳者) : Sylvie Poisson-Quinton, Evelyne Sirejols 書名 : Amical Niveau 2 出版社 : CLE International ISBN : 978-2090386059 ガイダンス 特に行わない。						
50206	A	フランス語初級 (第三外国語)	中田 健太郎	月5	K113	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 フランス語初級 (第三外国語) 目標概要 Sセメスターの同名の科目にひきつづき、フランス語の初級文法を理解する。フランス語の発音の規則を学び、テキストを音読できるようになる。仏和辞典の引き方を理解し、講読の基礎を固める。 評価方法 平常点 (授業への積極的参加や小テストの結果) および期末の試験によって総合的に判断する。 教科書 著者 (訳者) : 春木仁孝・井元秀剛ほか 書名 : 新・フランス語文法 三訂版 出版社 : 朝日出版社 ISBN : 978-4-255-35272-5 その他 : 上記教科書以外については、別途プリント配布もしくは指示する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
50611	A	フランス語初級 (第三外国語)	須藤 佳子	水2	109教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 フランス語初級 (第三外国語) 目標概要 フランス語の初級文法の骨格を理解する。フランス語を正しく音読できるようにする。 評価方法 平常点 (授業参加度・宿題・小テスト) と期末試験の点数を併せて評価する。 教科書 著者 (訳者) : 斎藤 昌三 書名 : ル・フランセ・ファシル 出版社 : 白水社 ISBN : 9784560060698 ガイダンス 特に行わない。						
50751	A	フランス語初級 (第三外国語)	小野 潮	水5	122教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 フランス語初級 (第三外国語) 目標概要 フランス語の初級文法の骨格を理解する。 フランス語のテキストを正しく音読できるようにする。 辞書を引きながら簡単なフランス語を理解できるようにする。 評価方法 期末の試験 教科書 著者 (訳者) : 藤田裕二 藤田知子 Sylvie GILLET 書名 : 新・東京ーパリ、初飛行 出版社 : 駿河台出版社 ISBN : 978-4-411-01124-4 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50287	A	フランス語中級（演習）	DE VOS PATRICK HENRI	火2	106教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 Entendre, comprendre, échanger et exprimer des idées en français. 目標概要 Ce cours s'attachera à consolider les bases syntaxiques et lexicales déjà acquises et à enrichir celles-ci à travers divers types d'exercices de compréhension et d'expression orale. Des exercices écrits seront aussi proposés qui seront suivis de leur exploitation dans l'échange de la parole. On s'y consacrera surtout à la pratique de l'exposé et de la discussion à partir de sujets choisis en commun. Les matériaux seront divers: textes, chansons, films, etc. et dépendront des intérêts des étudiants. ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修フランス語二列④の単位未取得者には読替授業として開講される。 履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 Exposé; participation au cours; devoir final 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50399	A	フランス語中級（演習）	佐藤 朋子	火3	1211教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 時事フランス語 目標概要 時事問題を扱ったテキストを使用してフランス語の技能を総合的に鍛えます。 目標は次の通りです（1、2を優先目標とします）。 (1) フランスの社会や文化について平易なフランス語で書かれた文章を読む力を身につける。 (2) テキストに登場した単語や表現を使って簡単な文章が書けるようになる。 (3) テキストのテーマについてフランス語で簡単な議論が口頭でできるようになる。 (4) テキストのテーマに関連した会話や解説、議論などを聴いて理解する力を向上させる。 ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修フランス語二列④の単位未取得者には読替授業として開講される。 履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 平常点（授業参加とディクテの成績）40% と期末試験（60%）を併せて評価します 教科書 著者（訳者）：加藤晴久、ミシェル・サガズ 書名：A la page — actualité françaises 2017（時事フランス語 2017年度版） 出版社：朝日出版社 ISBN：978-4-255-35279-4 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
50999	A	フランス語中級（会話）	ビゼ	金4	153教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 Conversation 目標概要 Ce cours a en général pour thème une question liée à l'art moderne. Le thème est choisi en fonction du niveau des étudiants. ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修フランス語二列④の単位未取得者には読替授業として開講される。 履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 Un examen oral en fin de semestre. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50400	A	フランス語中級（作文）	ビゼ	火3	1107教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 Expression écrite du français. 目標概要 Ce cours a pour but d'aider les étudiants à s'exprimer en français écrit. Nous travaillons à partir de documents écrits, visuels, ou sonores. L'accent sera mis sur la composition d'un texte argumentatif. ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修フランス語二列④の単位未取得者には読替授業として開講される。 履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 Un examen écrit à la fin du semestre. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50733	A	フランス語中級（作文）	DE VOS PATRICK HENRI	水4	150教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 Entraînement à l'expression écrite en français. 目標概要 Ce cours sera consacré à des exercices de thème proposés à partir de textes relevant de divers registres (épistolaire, dramatique, journalistique, littéraire ou théorique). L'accent sera mis sur les problèmes spécifiques que posent la traduction du japonais en français sur différents plans : lexicque, syntaxe, organisation sémantique et stylistique du discours. ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修フランス語二列④の単位未取得者には読替授業として開講される。 履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 L'évaluation sera faite en tenant compte de l'assiduité, de la participation au travail collectif en classe et d'un exercice final. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50288	A	フランス語中級（読解）	中島 ひかる	火2	102教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
【注意】この授業は、2014年度以前の入学者には、総合科目A系列 フランス語テキスト分析Ⅱ として開講される。 講義題目 フランス語テキスト分析Ⅱ 目標概要 フランス現代のニュース記事を取り上げ講読することで、フランス語の読解力を高めるとともに、現代の時事問題に使われている語彙や表現を知る。また、フランスやヨーロッパの文化や社会、政治・経済に対する関心を深める。フランス社会の特徴が良く現れているニュースを幅広く取り上げる予定だが、あくまで語学の授業であるため、ニュースの背景について、授業で深く分析することはない。 最新のニュースを取り上げるために、主として以下のサイトから記事を選ぶ予定。 (テレビ放送局のニュースであるため映像付きのニュースが多い) ・francetvi nfo http://www.francetvinfo.fr/ - 上記以外のサイト(予約者以外は、読める記事の数や内容に閲覧制限のあるものも多い) ・ル・モンド http://www.lemonde.fr/ ・パリジャン http://www.leparisien.fr/actualites-informations-direct-videos-parisien ・パリマッチ http://www.parismatch.com/Actu-Match/ ・フィガロ http://www.lefigaro.fr/ ・リベラシオン http://www.liberation.fr/ ・ネット新聞 http://www.20minutes.fr/ 評価方法 受講者が5人以下の場合は原則試験は行わず、平常点で評価する。 受講者が多い場合は授業の準備80%、レポート20%程度で評価する。 3分の1以上欠席したものは評価の対象としない。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
50934	A	フランス語中級（読解）	鈴木 順子	木4	156教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
【注意】この授業は、2014年度以前の入学者には、総合科目A系列 フランス語テキスト分析Ⅱ として開講される。 講義題目 シモーヌ・ヴェイユ「人格と聖なるもの」を読む 目標概要 20世紀フランスの女性思想家シモーヌ・ヴェイユの晩年の作品『ロンドン論集と最後の手紙』所収の「人格と聖なるもの」を精読する。適宜初級・中級文法の復習を行いつつ、思想・哲学の基礎用語を含む文章が読める読解力を身につけることを目指す。必要に応じて、シモーヌ・ヴェイユの生涯や思想の紹介、使用されている哲学用語の解説を行い、シモーヌ・ヴェイユの思想の全体像及びフランス20世紀哲学の一端に触れる。 評価方法 授業への参加度、理解確認小テスト、期末テストの結果により総合的に判断する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
50899	A	フランス語上級（読解）	桑田 光平	火3	1224教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 現代美術批評を読む 目標概要 フランス語で書かれた現代美術の評論 ― Hubert DamischのJoseph Albers論とDaniel ArasseのAnselm Kiefer論を予定している― を読み、やや難解といえる理論的なフランス語の文章の読解力をつける。 評価方法 平常点と期末レポートから総合的に評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

中国語初級（演習）②		開講区分	A
目標概要 一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用する。Sセメスターの続きから始める。 ※TLPクラスは教科書が異なるため各クラスのUTASで確認をすること。			
成績評価方法 繰上げ試験と小テストなど			
教科書 著者（訳者）：駒場中国語教育研究会編・李佳樑著 書名：基礎汉语 口语演习教材			
※講義の詳細については、UTASも参照すること			

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50029	月2	林 立梅	152教室	1年 文一二(16)
50149	月4	王 嵐	105教室	1年 文一二(18)
50235	火1	喬 志航	101教室	1年 文一二(15)
50789	木2	賈 黎黎	101教室	1年 文一二(14)
50791	木2	藤原 優美	153教室	1年 文一二(17)
50793	木2	毛 興華	104教室	1年 文三(10)
50794	木2	李 彦銘	154教室	1年 文三(11)
50795	木2	何 珍時	158教室	1年 文三(13)
50909	木4	柴 森	104教室	1年 文一二(19)
51073	金3	張 玉萍	104教室	1年 文三(12)

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50289	A	中国語初級（演習）	李 洵	火2	149教室	1年 理科
講義題目 中国語の基礎を固めるトレーニング 目標概要 一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用する。 評価方法 期末試験と小テストなど 教科書 著者（訳者）：駒場中国語教育研究会編・李佳操著 書名：基礎汉语 口语演習教材 ガイダンス 特に行わない。						
50956	A	中国語初級（演習）	李 雲	木5	103教室	1年 理科
講義題目 中国語の基礎を固めるトレーニング 目標概要 一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用する。 評価方法 期末試験と小テストなど 教科書 著者（訳者）：駒場中国語教育研究会編・李佳操著 書名：基礎汉语 口语演習教材 ガイダンス 特に行わない。						
50004	A	中国語初級（会話）	林 立梅	月1	152教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 中国語の基礎を固めるトレーニング 目標概要 一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用する。 中国語の要である発音をしっかりと身につけた上で、文法の基礎を一年かけて一通り学習する。 ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修中国語二列②の単位未取得者には読替授業として開講される。 履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 期末試験と小テストなど 教科書 著者（訳者）：駒場中国語教育研究会編・李佳操著 書名：基礎汉语 口语演習教材 ガイダンス 特に行わない。						
50771	A	中国語初級（会話）	姚 毅	木1	151教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 中国語初級（会話） 目標概要 本講義は発音を終えた程度の学生を対象とし、中国語のコミュニケーション能力を高めるための実践コースである。勉強、買物、趣味、仕事、交友など日常触れるさまざまな場面を話題にし、「聞く」「話す」の反復練習を通して、その場面に關する典型的表現を覚えていく。また、習ったことを活かし、自分自身の経験、感想などについて発表してもらう。 ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修中国語二列②の単位未取得者には読替授業として開講される。 履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 平常点（授業の参加・小テスト）と期末試験を吟味して評価する。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
51020	A	中国語初級（会話）	毛 興華	金2	150教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 中国語を使おう 目標概要 初級段階で学習した文法事項や語彙を実会話で使えるようにすることを目的とする。 ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修中国語二列②の単位未取得者には読替授業として開講される。 履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 平常点（普段の発表など）・期末発表 教科書 著者（訳者）：鈴木慶夏〔著〕、古川裕〔監修〕 書名：「アクション！」“开始！”2—コミュニケーション中国語— 出版社：朝日出版社 ISBN：978-4-255-45290-6 ガイダンス 特に行わない。						
50207	A	中国語初級（作文）	賈 黎黎	月5	103教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 中国語初級作文 目標概要 半年から一年程度中国語を学習した学生を対象とした授業である。基礎語彙と文法を学び、その知識をもとに作文の訓練をする。更に履修者の作文を添削しながら解説を行うことで初歩的な中国語作文能力を身に付けることを目標とする。 評価方法 課題、小テストと期末試験によって総合的に評価する 教科書 著者（訳者）：何彬 小野秀樹 書名：チャイニーズライティング 出版社：白帝社 ISBN：4-89174-712-9 ガイダンス 特に行わない。						
50772	A	中国語初級（作文）	何 珍時	木1	158教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 中国語初級（作文） 目標概要 中国語の基本的な仕組みを理解しながら、中国語で作文する力をつけ、自分自身のことや日常生活で必要なことを、中国語で書いて表現する能力を養成することを目標としています。 中国語の基本的な文法事項や重要な文型について、詳しく解説し、それを学習しながら、単文を中心とした練習問題を解くことによって、基礎的な作文能力をつけていきます。 評価方法 出席・予習・復習の状況、試験などで総合的に評価します。 教科書 著者（訳者）：小野秀樹 書名：チャイニーズライティング ガイダンス 特に行わない。						
51035	A	中国語初級（表現練習）	藤原 優美	金2	152教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 中国語ハイレベル基礎トレーニング TLP 目標概要 TLP(トライリングル・プログラム)履修生のための科目。中国語一列・二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。 評価方法 期末試験と小テストなど 教科書 著者（訳者）：马燕华 書名：『汉语纵横 精读』〇級 ガイダンス 第一回授業日に行う。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50290	A	中国語初級（インテンシヴ）	毛 興華	火2	156教室	1年 文科 理科
講義題目 中国語の実践能力を養うためのトレーニングB 目標概要 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。火曜日2限と木曜日1限をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』）火曜日2限では、主に発音・会話の訓練を行う。木曜日1限では主に発音、聞き取りの訓練を行う。 実践訓練を行うため、クラス定員を30名までとする。希望者多数の場合は抽選を行うので初回授業に必ず出席すること。Sセメスター履修者を優先するが（SセメスターでC・Dクラスを履修していた学生も優先する）定員に満たない場合は新規履修者も受け入れる。各クラスの組み合わせは下記のとおり。 【A】担当教員：賈黎黎 開講曜限：木5と金2 【B】担当教員：毛興華 開講曜限：火2と木1 ★ 基本的に初修者を対象とするため、ネイティブ・ニアネイティブの受講は認めない。 評価方法 小テスト・期末試験など総合して評価する。 教科書 著者（訳者）：王雪萍・孫軍悦・小野秀樹・駒場中国語教育研究会編 書名：「初級インテンシヴコース 会話教材」及び「初級インテンシヴコース リスニング教材」 ガイダンス 特に行わない。						
50303	A	中国語初級（インテンシヴ）	王 前	火2	112教室	1年 文科 理科
講義題目 TLP中国語実践トレーニング 目標概要 この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる3言語を自在に操る人材になることを目指す。 評価方法 授業態度・小テスト・期末試験等を総合的に評価する。 教科書 著者（訳者）：盛双霞 書名：汉语縦横 会話 0級 第二版 出版社：北京語言大学出版社 ガイダンス 第一回授業日を行う。						
50304	A	中国語初級（インテンシヴ）	白 春花	火2	113教室	1年 文科 理科
講義題目 TLP中国語実践トレーニング 目標概要 この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる3言語を自在に操る人材になることを目指す。 評価方法 授業態度・小テスト・期末試験等を総合的に評価する。 教科書 著者（訳者）：盛双霞 書名：汉语縦横 会話 0級 第二版 出版社：北京語言大学出版社 ガイダンス 第一回授業日を行う。						
50757	A	中国語初級（インテンシヴ）	白 春花	水5	153教室	1年 文科 理科
講義題目 TLP中国語実践トレーニング 目標概要 この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる3言語を自在に操る人材になることを目指す。 評価方法 授業態度・小テスト・期末試験等を総合的に評価する。 教科書 著者（訳者）：駒場中国語教育研究会 孫軍悦、王雪萍、小野秀樹 書名：現代漢語基礎 初級インテンシヴコース リスニング教材 ガイダンス 第一回授業日を行う。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50758	A	中国語初級（インテンシヴ）	張 佩茹	水5	155教室	1年 文科 理科
講義題目 TLP中国語実践トレーニング 目標概要 この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる3言語を自在に操る人材になることを目指す。 評価方法 授業態度・小テスト・期末試験等を総合的に評価する。 教科書 著者（訳者）：駒場中国語教育研究会 孙军悦、王雪萍、小野秀樹 書名：現代漢語基礎 初級インテンシヴコース リスニング教材 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
50773	A	中国語初級（インテンシヴ）	毛 興華	木1	104教室	1年 文科 理科
講義題目 中国語の実践能力を養うためのトレーニングB 目標概要 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。火曜日2限と木曜日1限をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』）火曜日2限では、主に発音・会話の訓練を行う。木曜日1限では主に発音、聞き取りの訓練を行う。 実践訓練を行うため、クラス定員を30名までとする。希望者多数の場合は抽選を行うので初回授業に必ず出席すること。Sセメスター履修者を優先するが（SセメスターでC・Dクラスを履修していた学生も優先する）定員に満たない場合は新規履修者も受け入れる。各クラスの組み合わせは下記のとおり。 【A】担当教員：賈黎黎 開講曜限：木5と金2 【B】担当教員：毛興華 開講曜限：火2と木1 ★ 基本的に初修者を対象とするため、ネイティブ・ニアネイティブの受講は認めない。 評価方法 小テスト・期末試験など総合して評価する。 教科書 著者（訳者）：王雪萍・孫軍悦・小野秀樹・駒場中国語教育研究会編 書名：「初級インテンシヴコース 会話教材」及び「初級インテンシヴコース リスニング教材」 ガイダンス 特に行わない。						
50775	A	中国語初級（インテンシヴ）	藤原 優美	木1	153教室	1年 文科 理科
講義題目 TLP中国語実践トレーニング 目標概要 この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる3言語を自在に操る人材になることを目指す。 評価方法 授業態度・小テスト・期末試験等を総合的に評価する。 教科書 著者（訳者）：盛双霞 書名：汉语縦横 会話 0級 第二版 出版社：北京語言大学出版社 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
50776	A	中国語初級（インテンシヴ）	李 彦銘	木1	154教室	1年 文科 理科
講義題目 TLP中国語実践トレーニング 目標概要 この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる3言語を自在に操る人材になることを目指す。 評価方法 授業態度・小テスト・期末試験等を総合的に評価する。 教科書 著者（訳者）：盛双霞 書名：汉语縦横 会話 0級 第二版 出版社：北京語言大学出版社 ガイダンス 第一回授業日に行う。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50957	A	中国語初級（インテンシヴ）	賈 黎黎	木5	106教室	1年 文科 理科
講義題目 中国語の実践能力を養うためのトレーニングA 目標概要 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。木曜日5限と金曜日2限をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』）木曜日5限では、主に発音・会話の訓練を行う。金曜日2限では主に発音、聞き取りの訓練を行う。 実践訓練を行うため、クラス定員を30名までとする。希望者多数の場合は抽選を行うので初回授業に必ず出席すること。Sセメスター履修者を優先するが（SセメスターでC・Dクラスを履修していた学生も優先する）定員に満たない場合は新規履修者も受け入れる。各クラスの組み合わせは下記のとおり。 【A】担当教員：賈黎黎 開講曜限：木5と金2 【B】担当教員：毛興華 開講曜限：火2と木1 ★ 基本的に初修者を対象とするため、ネイティヴ・ニアネイティヴの受講は認めない。 評価方法 小テスト・期末試験など総合して評価する。 教科書 著者（訳者）：王雪萍・孫軍悦・小野秀樹・駒場中国語教育研究会編 書名：「初級インテンシヴコース 会話教材」及び「初級インテンシヴコース リスニング教材」 ガイダンス 特に行わない。						
51021	A	中国語初級（インテンシヴ）	賈 黎黎	金2	106教室	1年 文科 理科
講義題目 中国語の実践能力を養うためのトレーニングA 目標概要 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。木曜日5限と金曜日2限をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』）木曜日5限では、主に発音・会話の訓練を行う。金曜日2限では主に発音、聞き取りの訓練を行う。 実践訓練を行うため、クラス定員を30名までとする。希望者多数の場合は抽選を行うので初回授業に必ず出席すること。Sセメスター履修者を優先するが（SセメスターでC・Dクラスを履修していた学生も優先する）定員に満たない場合は新規履修者も受け入れる。各クラスの組み合わせは下記のとおり。 【A】担当教員：賈黎黎 開講曜限：木5と金2 【B】担当教員：毛興華 開講曜限：火2と木1 ★ 基本的に初修者を対象とするため、ネイティヴ・ニアネイティヴの受講は認めない。 評価方法 小テスト・期末試験など総合して評価する。 教科書 著者（訳者）：王雪萍・孫軍悦・小野秀樹・駒場中国語教育研究会編 書名：「初級インテンシヴコース 会話教材」及び「初級インテンシヴコース リスニング教材」 ガイダンス 特に行わない。						
51036	A	中国語初級（インテンシヴ）	白 佐立	金2	154教室	1年 文科 理科
講義題目 TLP中国語実践トレーニング 目標概要 この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる3言語を自在に操る人材になることを目指す。 評価方法 授業態度・小テスト・期末試験等を総合的に評価する。 教科書 著者（訳者）：駒場中国語教育研究会 孫軍悦、王雪萍、小野秀樹 書名：現代漢語基礎 初級インテンシヴコース リスニング教材 その他：適宜、講義・演習プリントを配布する ガイダンス 第一回授業日に行う。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
51037	A	中国語初級（インテンシヴ）	李 彦銘	金2	156教室	1年 文科 理科
講義題目 TLP中国語実践トレーニング 目標概要 この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる3言語を自在に操る人材になることを目指す。 評価方法 授業態度・小テスト・期末試験等を総合的に評価する。 教科書 著者（訳者）：駒場中国語教育研究会 孙军悦、王雪萍、小野秀樹 書名：現代漢語基礎 初級インテンシヴコース リスニング教材 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
50142	A	中国語初級（第三外国語）	河野 直恵	月3	162教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 中国語の基礎の習得 目標概要 一年間の学習を通じて中国語の基礎（発音・文法事項）を学ぶ。AセメスターはSセメスターの続きから始める。 評価方法 小テストおよび期末試験 教科書 著者（訳者）：楊凱榮・張麗群 書名：旅して学ぶ中国語 出版社：朝日出版社 ISBN：978-4255451848 ガイダンス 特に行わない。						
50752	A	中国語初級（第三外国語）	中原 裕貴	水5	101教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 初級中国語 目標概要 この授業の学習を通して、正しい中国語の発音、基本的な文法が習得でき、簡単な会話もできるようになる。 評価方法 期末テスト: 60% 小テスト: 20% 授業態度: 20% 教科書 著者（訳者）：相原茂・陳淑梅・飯田敦子 書名：日中いぶこみ交差点 出版社：朝日出版社 ISBN：978-4-255-45286-9 ガイダンス 特に行わない。						
51022	A	中国語初級（第三外国語）	張 玉萍	金2	104教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 中国語の基礎 目標概要 この授業は直接教授法を取り入れ、基本的に中国語で中国語を教えるものである。教員の一方的な説明に終始することなく、学生とのやり取りや学生同士の様々な形の練習を通して、中国語の表現力・思考力を次第に身につけるようにする。できるだけ日本語は使わずに中国語で講義をする。SセメスターはⅠ、Aセメスターはその続きのⅡである。（G1） 評価方法 期末試験と小テスト・中国語での発表および授業参加の態度など 教科書 著者（訳者）：八木章好 鄭麗媚 書名：『おぼえチャイナ』Ⅱ 出版社：朝日出版社、2014年 ガイダンス 特に行わない。						
50074	A	中国語中級（演習）	鍾 非	月2	155教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 中国語作文と和訳 目標概要 中国語作文と中文和訳を隔週で行う。前者はいろいろなレベルの中国語作文（和文中訳）。後者は近年出版された中国語の単行本（経済・政治・社会：向こうの出版社）を正確に朗読した後、きちんと和訳してゆく（中文和訳）。「いろいろ」と主張しただけに、受講者に「作文に終着駅などない」ことを強く気づかせ、「和訳」である以上、みなさまに翻訳の難しさ・醍醐味を存分に味わわせる。「有言実行。じっくり、ゆっくり、ごまかさず」が、方針。 評価方法 （出席を含む）平常点。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50291	A	中国語中級（演習）	秋山 珠子	火2	107教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 中国語映画字幕翻訳実習 目標概要 本授業は、中国インディペンデント映画を中心とした映像翻訳の実習を通し、字幕翻訳のルールを再検討するとともに、言語・音声および映像が伝えるイメージを分析し、的確な日本語に翻訳する力を身につけ、映像翻訳の可能性/不可能性を実践の中で考察することを目標とする。またその過程で、作品および中国の社会や文化に関する理解を深めることを目指す。（G8－10） ※履修希望者多数の場合は抽選を行う。 評価方法 提出物、授業貢献度（出席状況・授業への取り組み・発表など）と最終試験の成績から総合的に判断する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50292	A	中国語中級（会話）	劉 岸麗	火2	153教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 使える中国語を身に着けよう 目標概要 基礎文法、文型を使って日用会話、リスニングを練習する。会話、読解両方のテキストを勉強していくうちにその違いも自然にわかってきます。中検対策のために練習問題も充実しているので、中国語の基礎がより確かなものとなるでしょう。 ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修 中国語二列④ の単位未取得者には読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 中間テスト、定期試験 教科書 著者（訳者）：関中研 書名：新ブラッシュアップ中国語 出版社：朝日出版 ガイダンス 特に行わない。						
50936	A	中国語中級（会話）	李 雲	木4	103教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 中級レベルの中国語日常会話 目標概要 1年の基礎科目で身につけた文法事項と発音を基礎に、会話ができることを目標とする。 評価方法 出席、授業態度、書き取り（適宜）の全てを考慮して、評価する。 教科書 著者（訳者）：衛裕群・汪曉京 書名：リアルタッチ中国 出版社：朝日 その他：定価2300円+税 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
51157	A	中国語中級（会話）	毛 興華	金4	149教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 発表力をつけるトレーニング 目標概要 初級段階で学習した文法項目を応用し、語彙を増やししながら、中国語でプレゼンテーションする能力を身につけることを目標とする。 ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修中国語二列④ の単位未取得者には読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 平常点・期末発表 教科書 著者（訳者）：植屋高史ほか 書名：焦点中国 出版社：白帝社 ISBN：978-4-86398-047-1 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50958	A	中国語中級（作文）	柴 森	木5	104教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 やや高度の中級作文練習 目標概要 中国語の構文を中心にした文法事項を系統的に学習しながら、さまざまな練習問題を解いていく。自分の伝えたいことをできるだけ幅広く中国語で表現できることを目指す。原則として中国語で授業を行う。 評価方法 平常点（20％）と期末試験（80％）による総合的評価。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
51023	A	中国語中級（読解）	伊藤 博	金2	151教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
【注意】 この授業は、2014年度以前の入学者には、総合科目A系列中国語テキスト分析Ⅱ として開講される。 講義題目 『鄧小平年譜』を読む 目標概要 『鄧小平年譜』（以下、『年譜』と略称）の中で、改革・開放初期に当たる1979年以降の事績をピックアップして読んでいく。時間的に余裕があれば、改革・開放期に活躍した人物の回想録（たとえば『谷牧回憶録』）なども読んでみたい。 評価方法 履修者が20名以上の場合は、期末に試験を行う。履修者が20名未満の場合は、分担したテキストの翻訳結果によって決める。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50505	A	中国語上級（会話）	賈 黎黎	火5	152教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 中国語上級会話 目標概要 中国語を2年間以上とった程度で、日常会話以上のレベルを有する学生に向ける上級会話の授業である。 会話力を鍛えることに重点を置いた講義です。 評価方法 授業内の課題と実践レポートに基づき成績評価をする。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50959	A	中国語上級（作文）	毛 興華	木5	150教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 意見を論理的に述べる作文力を養う 目標概要 中国語を2年以上学習した（発音、基本語彙、文法の基本事項をマスターしている）学生を対象とする作文の授業である。主として小論文を執筆する文章力の養成を目的とし、立論や論拠提示など議論を論理的に展開させるための作文力が身につくことを目指す。 セメスターの前半は文章の構築に欠かせない接続詞や指示表現などについて確認しながら、単文・複文や短い文章を書くことで作文の基礎を固めます。後半は、与えられたテーマについて受講生が書いた小論文の添削、講評を行う。 評価方法 授業課題、期末レポート 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50293	A	中国語上級（読解）	石井 剛	火2	516教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 啓蒙と中国 目標概要 「啓蒙」はenlightenmentという概念に対する漢字語による翻訳だ。それはヨーロッパという地域の文化のなかから生まれたものであるにもかかわらず、近代社会を生きるすべての人々にとって重要かつ不可欠な、普遍性のある概念でもある。このことは体制の異なる隣国、中国においても同様だ。 この授業では、「啓蒙」とその歴史に関する平明な議論を中国語で読みながら、わたしたちにとってなじみの深いはずのこの概念が、同じくなじみの深い漢字によって構成されている別の言語ではどのように観念されているのかを感得する。中国という他者を迂回しながら普遍性に向き合う体験を通じて、わたしたち自身のこの概念に対する理解に厚みを与え、より豊かな批判的に思考することを身につけることを目指したい。 評価方法 課題の達成度と毎回の授業でのパフォーマンスを総合的に勘案して評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

ロシア語初級（演習）②			開講区分	A
目標概要 正確な発音を実につけて、簡単なテキストを読む。内容を理解した上で、テキストに関して質疑応答ができるようにする。 成績評価方法 平常点など。 教科書 プリントを配布する。 ※講義の詳細については、UTASも参照すること				
時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50906	木4	アズマイ ナジェージダ	112教室	1年 文一二(4)
50910	木4	GOLUBOVSKAYA Liubov	511教室	1年 文三(4)
50975	金1	アズマイ ナジェージダ	112教室	1年 文科(TLP)

※TLP履修者は、対象クラスで「1年 文科(TLP)」と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目Ⅰ系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50960	A	ロシア語初級（演習）	GOLUBOVSKAYA Liubov	木5	511教室	1年 理科
講義題目 ロシア語演習② 目標概要 初級文法を学習中の学生を対象に、ロシア語の発音・イントネーションに習熟し、簡単な会話が行えるようになることを目指す。 評価方法 平常点など。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
51002	A	ロシア語初級（演習）	アズマイ ナジェージダ	金1	112教室	1年 理科
講義題目 リスニングの力を高めるための演習です。 目標概要 五つのテーマを取り入れる。テーマごとの内容と表現を多く覚えます。ビデオを見たりした後、単語とモデル表現を練習した上で、簡単な議論や、ロールプレイをします。ボイス演習もします。 評価方法 授業参加、宿題結果、発表 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
51024	A	ロシア語初級（会話）	ゴロウィナ クセーニヤ	金2	121教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 会話力強化コース 目標概要 ロシア語の会話力を集中的にアップします。発音を改善するだけでなく、習った文法や表現を実際のロシア人との会話の場面において正確に適用できる余裕を身につけます。また、ロシア語のメディアなどの理解力の向上にも繋がります。 ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修ロシア二列② の単位未取得者には読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 授業にてアナウンスします。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50753	A	ロシア語初級（作文）	北井 聡子	水5	106教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ロシア語初級作文 目標概要 作文練習（和文露訳）を通して、すでに学んだ文法事項を確認し定着を図ります。同時に、語彙を増やし、よく使う構文やイディオムを学ぶことで、表現力を向上させることを目指します。 ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修ロシア二列② の単位未取得者には読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 平常点（課題への取り組み）によって評価します。履修人数によっては期末に試験を実施します。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
50208	A	ロシア語初級（インテンシヴ）	乗松 亨平	月5	151教室	1年 文科 理科
講義題目 ロシア語インテンシヴ・コース 目標概要 ロシア語初級文法を集中的に習得し、その知識を用いて文章を辞書を引きながら読めるようになることを目指す。 評価方法 平常の課題の達成度合いと、定期試験の結果を総合して評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50266	A	ロシア語初級（インテンシヴ）	ゴロウィナ クセーニヤ	火1	152教室	1年 文科 理科
講義題目 ロシア語初級（インテンシヴ）〈TLP科目〉 目標概要 TLP1年生を対象に、ロシア語の基本的能力を高度に育成する。 評価方法 授業中にアナウンスする。 教科書 著者（訳者）：Нахабина, М.М., Антонова, В.Е., Жабокличкая, И.И., Курлова, И.В., Смирнова, О.В., Толстых, А.А. 書名：Русский сезон (A1) 出版社：Златоуст ISBN：978-5-86547-538-5 ガイダンス 特に行わない。						
51168	A	ロシア語初級（インテンシヴ）	GOLUBOVSKAYA Liubov	金5	511教室	1年 文科 理科
講義題目 ロシア語（インテンシヴ） 目標概要 必修のロシア語に加えて、さらなるロシア語知識の獲得を目指す。 評価方法 日常の授業、小テスト、および定期試験 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
51174	A	ロシア語初級（インテンシヴ）	ゴロウィナ クセーニヤ	金5	151教室	1年 文科 理科
講義題目 ロシア語初級（インテンシヴ）〈TLP科目〉 目標概要 TLP1年生を対象に、ロシア語の基本的能力を高度に育成する。 評価方法 授業中にアナウンスする。 教科書 著者（訳者）：Нахабина, М.М., Антонова, В.Е., Жабокличкая, И.И., Курлова, И.В., Смирнова, О.В., Толстых, А.А. 書名：Русский сезон (A1) 出版社：Златоуст ISBN：978-5-86547-538-5 ガイダンス 特に行わない。						
50754	A	ロシア語初級（第三外国語）	毛利 公美	水5	108教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ロシア語初級（第三外国語） 目標概要 ロシア語の基礎文法と基本表現の習得を目指す。最終的には、辞書を使って平易な文章を読んだり、簡単な会話ができるようになることを目標とする。また、教科書に沿ったロシア語の基礎の学習とともに、映像や音楽を通して生のロシア語に触れ、ロシア（語圏）の社会や文化に親しむ。 評価方法 出席、小テスト（毎回実施予定）、定期試験により、総合的に評価します。 教科書 著者（訳者）：桑野隆 書名：初級ロシア語20課 出版社：白水社 ガイダンス 第一回授業日に行う。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
51025	A	ロシア語中級（演習）	濱田 華練	金2	155教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ロシア語の百科事典を読む 目標概要 この授業では、ロシア語初級文法を学び終えた学生を対象に、学術的な論文や新聞・雑誌記事が読めるレベルのロシア語読解力を身につけるとともに、ロシア語のレファレンス類を活用できるようにするための初歩トレーニングを行う。それにあたって、教材として百科事典の項目記事を使用する。 ロシア語の代表的な百科事典としては、帝政時代に刊行された『ブロックハウス・エフロン百科事典 Энциклопедический Словарь Брокгауза и Ефрона』、ソ連時代に刊行された『大ソビエト百科事典 Большая советская энциклопедия』（第1版～第3版）、2000年代から現在まで刊行が続いている『大ロシア百科事典 Большая российская энциклопедия』や『新ロシア百科事典 Новая российская энциклопедия』などがある。その他、受講者の能力・関心に応じて、子供向け事典や言語・歴史・宗教・軍事・自然科学など分野ごとの事典も利用する。 また、文章の読解と並行して、ロシア語百科事典の編纂の歴史、ロシア（ソ連）文化における百科事典の在り方についての解説も適宜行う。受講者たちには、さらに一歩踏み込んで、異なる時代の事典の記述を通して、国の体制・イデオロギーの転換が事物の定義や評価にどのような変化をもたらすか、ということまで関心をもって授業に臨んでもらえれば幸いである。 ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修ロシア二列④の単位未取得者には読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 成績は、出席点・通常点・授業への貢献度によって評価する。ただし、受講人数が多く授業への貢献度の評価が困難と考えられる場合は、最終日に試験を課すこともある。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
50614	A	ロシア語中級（会話）	GOLUBOVSKAYA Liubov	水2	517教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ロシア語中級（会話） 目標概要 ロシア語での表現力の向上をめざす。1年以上、ロシア語を学習した者を対象とする。 ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修 ロシア語二列④の単位未取得者には読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 平常点。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
50696	A	ロシア語中級（作文）	大森 雅子	水3	153教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ロシア語中級（作文） 目標概要 1年半ほどロシア語を学んだ学生を対象に、Eメールで使える表現を解説し、実践的なロシア語能力を高めることを目指します。 ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修 ロシア二列④の単位未取得者には読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 平常点と定期試験 教科書 著者（訳者）：大森雅子 書名：ロシア語のメール・手紙の書き方 出版社：研究社 ISBN：978-4-327-39436-3 ガイダンス 第一回授業日に行う。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50075	A	ロシア語中級（読解）	丸山 由紀子	月2	1221教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
【注意】 この授業は、2014年度以前の入学者には、総合科目A系列 ロシア語テキスト分析Ⅱ として開講される。 講義題目 ロシア語中級（読解） 目標概要 ロシア語を1年間以上学習した学生を対象に、学術論文の精読を通して、アカデミックな文体で書かれたテキストを正確に読める力を養います。文法事項を正確に把握し、文脈を考慮し適切な訳語の選定しながらテキストを読むことで、今後、各自が必要なロシア語文献を正確に読むための基礎力を身につけることを目指します。 評価方法 1. 授業への貢献度、担当箇所の和訳の完成度。 2. 期末レポート。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50734	A	ロシア語中級（インテンシヴ）	GOLUBOVSKAYA Liubov	水4	517教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ロシア語インテンシヴ（Intermediate Level） 目標概要 教科書の会話文の練習をとおして、ロシア語の発音やイントネーション、会話表現の向上を目指します。 評価方法 授業にてアナウンスします。 教科書 著者（訳者）：С.Хавронина 書名：Говорите по-русски 出版社：М. Русский язык. 2014г. ガイダンス 特に行わない。						
50961	A	ロシア語中級（インテンシヴ）	アズマイ ナジェージダ	木5	112教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 自分の考え方をロシア語で表現する実力を高める 目標概要 ロシア語短い作文、発表の訓練 評価方法 授業参加、5回発表 教科書 著者（訳者）：С.Хавронина 書名：Говорите по-русски 出版社：М. Русский язык. 2014г. ガイダンス 第一回授業日に行う。						
51115	A	ロシア語上級（会話）	GOLUBOVSKAYA Liubov	金3	511教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ロシア語上級（会話） 目標概要 ロシア映画を素材に、ロシア語会話の独特な表現法を学ぶ。ロシア語による講義。 評価方法 平常点および定期試験 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50474	A	ロシア語上級（作文）	ゴロウィナ クセーニヤ	火4	K113	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ロシア語作文の書き方・実力アップコース 目標概要 この講義では、文法の復習・実用やテキストの読解、翻訳、様々なジャンルの作文の書き方の練習を通して、ロシア語作文の実力アップを目指します。宿題は主として特定のテーマや文体のエッセーです。作文は受講者の希望に合わせて、手紙、体験記、ブログ、新聞や雑誌の記事、エッセーなどの文体を身につけた上で、最終的に学術論文の書き方を理解し、それに相当する短いものを書いてもらいます。 評価方法 授業参加、宿題、中間試験、定期試験、レポート。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。						

スペイン語初級（演習）②		開講区分	A
目標概要 共通教科書を用い、Aセメスターでは、一列で扱う文法及び講読の進度に合わせ、発音、聞き取り、会話練習、文法の応用練習などを行い、スペイン語の運用能力を高めることをめざす。 成績評価方法 各担当教員に任せられている。 教科書 著者（訳者）：東京大学教養学部スペイン語部会 書名：スペイン語初級 出版社：朝日出版社 ※講義の詳細については、UTASも参照すること			

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50026	月2	ドニャス ベレニャ アントニオ	158教室	1年 文一二(7)
50028	水2	イサベル カルロス	151教室	1年 文一二(12)
50146	月4	イサベル カルロス	113教室	1年 文一二(9)
50148	月4	ロサレス パトリシア	112教室	1年 文一二(13)
50335	火3	イサベル カルロス	K114	1年 文一二(10)
50336	火3	ドニャス ベレニャ アントニオ	1222教室	1年 文一二(11)
50846	木3	イサベル カルロス	112教室	1年 文一二(8)
50911	木4	ドニャス ベレニャ アントニオ	101教室	1年 文三(8)
51125	金4	ドニャス ベレニャ アントニオ	104教室	1年 文三(7)
51126	金4	エクトル シエラ	112教室	1年 文三(9)

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50962	A	スペイン語初級（演習）	ルイズ ティノコ アントニオ	木5	117教室	1年 理科
講義題目 スペイン語初級（演習） 目標概要 スペイン語初級は共通教科書を用い、Sセメスターでは一列で文法を学び、二列で講読を行う。この演習は理科学限定で、教科書の進度に合わせ、発音、聞き取り、初歩的な会話の練習、文法の応用練習などを行い、スペイン語の運用能力をいっそう高めることをめざす。理科学は積極的に参加してほしい。 評価方法 授業の初回に説明する。 教科書 著者（訳者）：東京大学教養学部スペイン語部会 書名：スペイン語初級 第2版 出版社：朝日出版社 ISBN：978-4-255-55091-6 C1087 ガイダンス 特に行わない。						
50261	A	スペイン語初級（会話）	受田 宏之	木1	10-201	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 SKYPEを用いたメキシコの大学生との会話 目標概要 SKYPEを用いてメキシコの大学生と会話することを通じて、実践的なスペイン語力を身につけると同時に、ラテンアメリカについての理解を深めることを目標とする。 評価方法 受講者は、最終日に、自分の好きなテーマについて5分程度のプレゼンをする。プレゼンの評点に、毎回の授業への参加状況を加えて評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
50963	A	スペイン語初級（会話）	FERNANDEZ HERBOSO	木5	114教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 スペイン語会話初級（A1-A2） 目標概要 それぞれの会話レベルを理解し正しい表現ができるように学習する。決まり表現、言い回しなどの使い方をその場面で使えるようにする。 その他に文法、単語のレベルをDELE A2 まで引き上げていく。 ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修 スペイン語二列② の単位未取得者には読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 小テスト、学期末テスト及び口頭試験。 2, 3 週間毎に約10分間のミニテストを行います。授業の評価は、ミニテストの結果と宿題で50%、修了テストの結果50%で総合評価します。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
51169	A	スペイン語初級（会話）	エクトル シエラ	金5	112教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 エンパワーメント・アプローチによるスペイン語初級会話 目標概要 スペイン語の基本的なコミュニケーション力をエンパワーメント・アプローチで養う。スペイン語を通してインド・ヨーロッパ言語の文法を身に着けることを目指す。 「フォノリゼーション」というコンセプトを紹介し、共鳴器官（レゾネーター）を正しく使うことで、ネイティブの発音に近づける。様々なフォノリゼーションを練習し、日本語では行わない声の出し方を体験する。そして、模倣感覚、アンシュスマンとリエゾン感覚、SVO感覚、活用感覚を養い、スペイン語を通してインド・ヨーロッパ言語の構造やロジックに親しむ。 授業の内容は、自己紹介、天気や家族などの日常的な会話、また自己表現まで出来るように会話の演習を行う。スペイン語らしい発音や自然なイントネーションの習得を目指す。また、Sセメスターで学習した規則動詞の現在形、現在進行形や近未来の復習をした上で、不規則動詞や再帰動詞を使った会話を習得する。スペイン語を通じて、インド・ヨーロッパ言語への扉を開く。 このコースは下記の習得を目指す学生を歓迎する。 ・LとRの発音の区別。 ・「ん」と“n”の発音の区別。 ・母音、特に日本語の「ウ」とスペイン語の「u」の区別。 ・二重子音（br, cr, dr, bl, cl, fl…等）を正しく発音。 ・「rr」、子音の前や単語の最終位置における「r」と母音の間における「r」との発音の区別。 ・Whクエスションとyes/noクエスションを区別した正しいイントネーション。 ・基本的な挨拶や自己紹介。 ・好きなこと、嫌いなことについて話せること。 ・家族、友達の紹介や基礎的な会話。 ・料理の簡単な感想や、町の様子を話せること。 ・近い未来にしたいことについて基礎的な会話。 ・基本会話に必要な質問や相手の発言へのコメント。 ・日常生活について基礎的な会話。 ・正しい活用を使って、SVOの文の構成、無主語や不定主語の文を作れること。 ・スペイン語で基本的なプレゼンテーション。 評価方法 参加30%、宿題・パフォーマンス・態度・授業への貢献30%、口頭試験40% 教科書 プリントを配布する。アクティビティー・シートを配布する ガイダンス 第一回授業日に行う。						
50755	A	スペイン語初級（作文）	渡辺 暁	水5	121教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 アウトプットはもちろんインプットも大事にするスペイン語作文の授業 目標概要 スペイン語初級作文では、さまざまな表現を覚えながら作文に応用する作業を行っていきます。皆さんはもちろん、スペイン語で文章ができるようになりたい、と思ってこの授業を取って下さるわけですが、アウトプットと同様、インプットも大事です。この授業では、もちろんスペイン語で文章を書くことを最終的な目標としつつも、テキスト・映像・音楽など、さまざまなかたちでスペイン語そしてスペイン語圏についての情報をインプットしつつ、またスペイン語の文法についても適宜補足をしながら、知識をつけつつアウトプット能力を養っていきます。 ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修スペイン語二列②の単位未取得者には読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 毎回少しずつ書いていく作文（および日本語での感想）と、最終レポートで単位をつける予定です。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
51026	A	スペイン語初級（作文）	有田 美保	金2	107教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 スペイン語初級（作文） 目標概要 本コースは、和文（おもに単文）から適切にスペイン語文にするための解説と演習を中心としたものである。一年生の初修外国語（文科・理科）の授業の流れにほぼ沿ったかたちで進行させ、当該授業内で学んだ文法事項を『書く』ことを通して復習するとともに、能動的な言語応用を図る諸君の積極的な学びの場となるように展開していく。初修外国語の授業でカバーされなかった語彙やフレーズ、またさまざまな話題や言語使用のシーンにふれて、本言語の運用の幅を広げていってほしい。【今セメスターは、GUSTAR型構造→過去時制→未来形→完了時制→接続法と進んでいく予定である】 ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修スペイン語二列②の単位未取得者には読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 授業時間後半で行う類題西訳をセメスター中4回提出、出来栄えや仕上げの丁寧さによって評点を受ける（1回＝25点満点×4回＝100点満点）。その得点から、欠席・遅刻・早退、宿題未遂行、態度不良などがある場合には減点し（最大30点めやす）、また質問・発言など積極的な態度が伺える者にものみプラス評価（最大10点めやす）を入れ、最終評価を算出する。 教科書 「特別な理由」（診断書のある疾病、立証書類で客観性の認められる就職活動・学業活動・冠婚葬祭、遅延証明のある交通機関の遅延、等）による欠席（またはそれにともなう未提出課題）については、都度教員に相談すること。 著者（訳者）：有田美保 書名 ：Paso Doble~Primer Paso 出版社 ：弘学社 ISBN ：978-4-86638-006-3 その他 ：教科書を持参しない者は退室願う。コピー・撮影は固く禁ずる。 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
50209	A	スペイン語初級(インテンシヴ)	イサベル カルロス	月5	112教室	1年 文科 理科
講義題目 スペイン語初級 目標概要 必修スペイン語に加えてスペイン語を集中的に勉強したい学生のために、インテンシヴクラスを開講する。内容は会話と作文で、必修の授業の進度に合わせながら実践的な運用能力を獲得することをめざす。履修人数を制限し、週2回の授業に出席することを義務とする。2つの授業（月5・木5）とも外国人の教師（カルロス・イサベル）が担当する。 評価方法 1課毎に行う小テスト、授業への参加度、ディクテーションと会話（70%） 期末テスト（30%） 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
51557	A	スペイン語初級(インテンシヴ)	イサベル カルロス	木5	101教室	1年 文科 理科
講義題目 スペイン語初級 目標概要 必修スペイン語に加えてスペイン語を集中的に勉強したい学生のために、インテンシヴクラスを開講する。内容は会話と作文で、必修の授業の進度に合わせながら実践的な運用能力を獲得することをめざす。履修人数を制限し、週2回の授業に出席することを義務とする。2つの授業（月5・木5）とも外国人の教師（カルロス・イサベル）が担当する。 評価方法 1課毎に行う小テスト、授業への参加度、ディクテーションと会話（70%） 期末テスト（30%） 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50005	A	スペイン語初級（第三外国語）	栗林 ゆき絵	月1	105教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 スペイン語（初級）（第三外国語） 目標概要 スペイン語の骨格となる動詞の全時制形式を知り、それらが日常会話でいかに用いられているかを学ぶ。 空港・買い物・アポイント・レストラン・ホテル・タクシー等、場面別のダイアログを教材とし、片言以上の運用能力を身につけることを目標とする。 受講者の希望があれば新聞記事講読等も行う。 評価方法 平常点20%（小テスト）、期末試験80%の予定。 出席点は数値化しないが、小テスト（毎回開始時5分程度）を受けたものを出席とみなす。 教科書 著者（訳者）：栗林ゆき絵ほか 書名：エスペランサ 出版社：同学社 ISBN：4-8102-0428-5 ガイダンス 特に行わない。						
50697	A	スペイン語初級（第三外国語）	齊藤 文子	水3	1212教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 速習スペイン語 目標概要 1 セメスターでスペイン語文法の基礎を学びます。 評価方法 毎回の小テスト、期末テスト 教科書 著者（訳者）：上田博人 書名：速習スペイン語コース 出版社：弘学社 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
51027	A	スペイン語初級（第三外国語）	丸山 共恵	金2	158教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 スペイン語初級 目標概要 スペイン語文法の基礎をゆっくり丁寧に学び、簡単な会話・読解・作文にも取り組む。 スペイン語圏の文化・映画・音楽などにも触れながら楽しく学ぶ。 評価方法 平常点40%（小テスト、出欠）期末試験60% 教科書 著者（訳者）：和佐敦子 書名：初級スペイン語文法 全音声DL 版 出版社：朝日出版社 ISBN：978-4-255-55077-0 ガイダンス 特に行わない。						
50210	A	スペイン語中級（演習）	ガルシア ルイス カス ティージャョ カルロス	月5	149教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 スペイン語中級（演習） 目標概要 この教科の目的は、学生がB1-B2レベル相当の学力を身につけることである。授業は主に口頭表現の習得のために構成されている。口頭表現に加え、リスニング、読解、文章表現といった基礎も学習し、学生は実際にスペイン語を使うのに必要な社会文化にも親しむ。 El objetivo del curso es que los estudiantes adquieran las competencias propias de los niveles B1-B2. La clase está planteada para practicar principalmente la expresión oral. Además de la expresión oral, practicaremos también las otras destrezas básicas (comprensión auditiva y lectora y expresión escrita) y los estudiantes se familiarizarán con los aspectos socioculturales necesarios para poder usar la lengua en contextos reales. ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修スペイン語二列④の単位未取得者には読替授業として開講される。 履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 40%出席、授業中の積極性、課題 60%試験 40% Asistencia, participación y tareas de clase. 60% Exámenes 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50940	A	スペイン語中級（会話）	FERNANDEZ HERBOSO	木4	114教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 スペイン語中級（会話） 目標概要 スペイン語圏でコミュニケーションを取るために必要とされる、言語の技能と知識を学ぶ。この授業では既修の文法的知識を強化し、また、生徒がB1レベル（ヨーロッパでの言語技能基準）に達するために必要な語彙とコミュニケーションの習得を目指す。 This course aims at providing the student with the strategies and knowledge necessary to encourage interaction and communication in the Spanish-speaking world. The purpose of the lessons is to reinforce the acquired grammatical knowledge and, particularly, to learn new vocabulary, so that the student is able to develop communication skills up to the B1 level in the Common European Framework. 評価方法 小テスト、期末テスト及び口頭試験。 Mini tests, the end-of-semester exam, and the oral exam. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50964	A	スペイン語中級（作文）	ドニャス ベレニャ アントニオ	木5	102教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 Composición escrita en español(スペイン語作文) 目標概要 El objetivo fundamental del curso es desarrollar las habilidades de los estudiantes para escribir textos de diferentes tipos en español. Para ello deberán familiarizarse con la estructura y los contenidos de los diferentes tipos de textos y con las principales estrategias comunicativas desarrolladas en ellos. Por otro lado, los estudiantes deberán desarrollar también diferentes destrezas como la comprensión lectora, la expresión oral y la comprensión auditiva. （この授業の一番の目的は、異なるタイプの文章をスペイン語で書く能力を高めることです。そのためには、様々なタイプのテキストの構造や内容、そしてその中で用いられる意思伝達のための重要な戦略を理解する必要があります。また、読解や口頭表現、聞き取りなど、書くこと以外の能力を高めることも必要です。） ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修スペイン語二列④ の単位未取得者には読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 La evaluación de los estudiantes se realizará de acuerdo con los siguientes criterios: （成績評価は次のとおりです。） Actividades semanales: 50%(毎週の課題) Examen final: 30%(期末試験) Asistencia y participación en clase: 20%(出席・授業参加) 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
51170	A	スペイン語中級（第三外国語）	ドニャス ベレニャ アントニオ	金5	104教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 Basic Spanish Grammar, direct method 目標概要 This course is designed for students with no previous experience in Spanish, and has as its main objective to help the students achieve a basic level of proficiency through the development of the four basic language skills (listening, speaking, reading and writing). 評価方法 Participation in class: 20 % Assignments: 20 % Tests: 60 % 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50475	A	スペイン語上級（演習）	イサベル カルロス	火4	1231教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 History of the Spanish Empire 目標概要 Under completion of the course students: 1) Will have expanded their knowledge of the Spanish language and will be acquainted with the academic linguistic register used in historiographic studies. 2) Will have an overview of the history of the Spanish empire. Gaining knowledge on this field will be very helpful for those students engaged or planning to engage in Latin American Studies. Other students will also benefit from this course, since these contents will help them gain a more complete and inclusive view of World History. 評価方法 Students will be required to choose one of the topics introduced in the course. They will have to write an essay and prepare an oral presentation on the selected topic. Attendance and class activities: 30% Written essay: 40% Presentation: 30% 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
50143	A	スペイン語上級（会話）	ロサレス パトリシア	月3	112教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 Avancemos tema a tema 目標概要 Guiar a los estudiantes para mejorar su capacidad de expresión e interacción oral. Mediante diversos temas, de interés los estudiantes se ejercitarán para hablar temas de interés general y de uso frecuente. El trabajo en clase permitirá a los alumnos desarrollar el vocabulario, la fluidez, y su capacidad de interacción. Los estudiantes tienen que preparar los temas con antelación para poder participar en clase. （口頭での表現ややりとりの能力を高めます。様々なテーマを通じて、一般的に関心を持たれていることや、よく使う表現を話す練習がなされます。授業では語彙や流暢さ、会話をやりとりする能力を高めることができるでしょう。授業に参加できるよう、予習することは必須です。） 評価方法 10% Asistencia.(出席) 30% Presentación de una noticia del periódico. Oral y escrita. (口頭と筆記による新聞記事の発表) 20% Presentaciones (発表) 40% Trabajo de clase(授業での作業) 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50941	A	スペイン語上級（作文）	ルイズ ティノコ アントニオ	木4	117教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 スペイン語上級（作文） 目標概要 Redacción de varios tipos de textos El objetivo de este curso es que el estudiante se acostumbre a redactar textos de una página de longitud sobre distintos temas, como descripciones, informes, opinión, etc. Durante los ejercicios se repasarán los puntos principales de la gramática y del uso adecuado del vocabulario. （この授業の目的は、学生が1ページ程度の文章を書くのに慣れることである。テーマは描写、報告、意見など。練習の合間に、主な文法事項や、語彙の的確な運用の復習も行う。） 評価方法 出席・授業参加：50% 日常的な作文：30% 期末の作文：20% 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50621	A	韓国朝鮮語初級（演習）②	金 亨 貞	水3	K113	1年 文一二(5)文三(5)
講義題目 韓国朝鮮語初修（文系） 目標概要 Sセメスターに引き続き、「韓国朝鮮語一列」の授業で学んだ文法と語彙を定着させるための応用練習を行います。「スピーキング」「リスニング」「リーディング」「ライティング」の諸領域におけるバランスの取れた理解・表現能力の向上を目指します。 評価方法 期末テスト、小テスト、課題などに基づいて総合的に評価する 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。						
50506	A	韓国朝鮮語初級（会話）	金 亨 貞	火5	155教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 韓国朝鮮語初級の文法と会話 目標概要 このクラスの履修を希望する人は、Sセメスターの「韓国朝鮮語初級（第三外国語）」や「韓国朝鮮語初級（会話）」を履修済みか、それと同等の学力を持っていることが望まれます。 この授業では韓国朝鮮語の基礎文法と語彙を体系的に学習したうえで、様々な場面で実践的に使用できるコミュニケーション能力を身につけることを目指します。 ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修韓国朝鮮語二列②の単位未取得者には読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 期末テスト、小テスト、課題などに基づいて総合的に評価します。 教科書 著者（訳者）：生越直樹・生越まり子・池政京 書名：根と幹（こんとかん） 出版社：朝日出版社 ISBN：978-4-255-55639-0 ガイダンス 特に行わない。						
51028	A	韓国朝鮮語初級（表現練習）	金 亨 貞	金2	114教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 韓国朝鮮語初級の表現練習（会話・聞き取り） 目標概要 Sセメスターに引き続き、韓国朝鮮語の基礎的な文法と語彙を定着させるための応用練習を行います。「スピーキング」「リスニング」「リーディング」「ライティング」の諸領域におけるバランスの取れた理解・表現能力の向上を目指します。 ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修韓国朝鮮語二列②の単位未取得者には読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 期末テスト、小テスト、課題などに基づいて総合的に評価します。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。						
50211	A	韓国朝鮮語初級(インテンシヴ)	金 亨 貞	月5	153教室	1年 文科 理科
講義題目 韓国朝鮮語初級（インテンシヴコース） 目標概要 Sセメスターに引き続き、必修韓国朝鮮語に加えて韓国朝鮮語を集中的に勉強したい学生を対象とし、様々な応用練習を行います。「韓国朝鮮語一列」で学習する文法・語彙・表現などに基づきながら、実践的な運用能力を獲得することを目指します。 評価方法 期末テスト、課題などに基づいて総合的に評価します。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50942	A	韓国朝鮮語初級(インテンシヴ)	金 東漢	木4	150教室	1年 文科 理科
講義題目 基礎知識の確立と定着（その2） 目標概要 基本的にはSセメスターの続きになります。下記はSセメスターのシラバスの内容なのでご参照ください。 韓国朝鮮語のネイティブ教員が担当するこの「インテンシヴ」クラスでは、文字と発音のルールを始め、初級レベルの文法・会話・作文などの総合練習を通じて、一列・二列の授業で学んだ知識の応用・発展と表現力の向上、及びその定着を目指していく。 評価方法 課題などの平常点＋最終週授業日（1月11日）の小テスト 教科書 著者（訳者）：金東漢 書名：「大学韓国語演習」 出版社：白帝社 ISBN：978-4-86398-154-6 ガイダンス 特に行わない。						
50262	A	韓国朝鮮語初級（第三外国語）	張 銀英	火1	103教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 韓国朝鮮語初級 目標概要 できるだけ日本語を使わずに授業を行う。 文字と発音を確認しながら、基本的な文法と会話などを学ぶ。 「読む」「書く」「聴く」「話す」の基本をしっかり身に付けるようにする。 通年で行う授業。AセメスターはSセメスターの続きの学習内容になる。 評価方法 「小テスト」と「期末試験」と「課題」 教科書 著者（訳者）：Easy Korean Academy 書名：easy Korean 1 出版社：Hangulpark（韓国） ISBN：978-89-5518-726-7 ガイダンス 特に行わない。						
50294	A	韓国朝鮮語初級（第三外国語）	岩井 智彦	火2	10-304	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 韓国語初級 目標概要 Sセメスター火曜2限の初級クラスの続きで、同講義を履修した方を受講対象としています。初級後半レベルの文法項目、語彙表現を、確実に身につけることを目標とします。 評価方法 課題、小テストおよび期末テスト 教科書 著者（訳者）：吉本一ほか 書名：韓国語へのとびら 出版社：朝日出版社 ISBN：9784255556178 ガイダンス 特に行わない。						
50295	A	韓国朝鮮語初級（第三外国語）	金 亨貞	火2	101教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 韓国朝鮮語初級の文法と会話 目標概要 現代韓国朝鮮語の文字や発音から始め、基礎文法と語彙を体系的に学習し、基本的な自己紹介やレストランで簡単な注文ができる程度のコミュニケーション能力を身につけることを目指します。受講に際しての予備知識は要りませんが、文字が特殊なので最初の1ヶ月は、きちんと授業を受け、予習・復習を徹底する必要があります。 評価方法 期末テスト、小テスト、課題などに基づいて総合的に評価する 教科書 著者（訳者）：生越直樹・生越まり子・池玫京 書名：根と幹（こんとかん） 出版社：朝日出版社 ISBN：978-4-255-55639-0 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50756	A	韓国朝鮮語中級（演習）	金 亨 貞	水5	152教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 韓国朝鮮語の中級文法 目標概要 Sセメスターに引き続き、中級レベルの韓国朝鮮語の文法と語彙についての体系的な学習を行います。これを通じて、辞書があれば簡単な文章の読解や作文ができる程度の理解・表現能力に加えて、状況・場面に応じて適切な対応ができるコミュニケーション能力を身につけることを目指します。 ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修韓国朝鮮語二列④の単位未取得者には読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 期末テスト、小テスト、課題などに基づいて総合的に評価する 教科書 著者（訳者）：生越直樹 書名：ことばの架け橋 中級表現編 出版社：白帝社 ISBN：978-4-89174-962-0 ガイダンス 特に行わない。						
50965	A	韓国朝鮮語中級（会話）	ジ ミンギョン	木5	152教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 韓国朝鮮語中級（会話） 目標概要 初級の韓国朝鮮語の内容を会話練習を行うことで定着させる。また、中級の様々な文末表現や接続表現を学び、状況や場面に応じて使い分けられるように練習する。 ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修韓国朝鮮語二列④の単位未取得者には読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 課題や授業参加などの平常点、期末テスト 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。						
51171	A	韓国朝鮮語中級（作文）	金 亨 貞	金5	114教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 韓国朝鮮語中級の作文練習 目標概要 Sセメスターに引き続き、韓国朝鮮語の作文練習を集中的に行います。中級レベルの韓国朝鮮語の文法を理解したうえで「基本作文→発展作文→課題作文」の段階的な訓練を通じて、日常生活で必要な文章が自由に書ける程度の表現能力を身につけることを目指します。エッセイ作成などの課題については、教師による添削をもとに誤用の分析と解説が行われます。 評価方法 期末テスト、出席、課題、発表などに基づいて総合的に評価します。 教科書 著者（訳者）：油谷幸利・金恩愛 書名：間違いやすい韓国語表現100-初級編 出版社：白帝社 ISBN：978-4-89174-818-0 ガイダンス 特に行わない。						
50296	A	韓国朝鮮語中級（表現練習）	根本 理恵	火2	10-101	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 韓国朝鮮語中級 言葉と文化の理解を中心に 目標概要 日常会話をさらに発展させるとともに、新聞記事や映画のシナリオ等、幅広い教材を消化することによって応用力・表現力を養いたい。さらに「聞く・話す・読む・書く」練習を通して総合的な語学力を身につけるようにする。また、韓国朝鮮の文化や習慣等、言葉の背景となる事項についてもさらに理解を深めたい。 ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修韓国朝鮮語二列④の単位未取得者には読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 課題の提出および期末テスト。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50699	A	韓国朝鮮語中級（表現練習）	三ツ井 崇	水3	1211教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 韓国朝鮮語文献の読解による中級表現練習 目標概要 韓国朝鮮語文献の講読により中級程度の表現について身につける。 ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修韓国朝鮮語二列④の単位未取得者には読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 出席および期末レポートの完成度を総合的に判断する。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。						
51029	A	韓国朝鮮語中級（読解）	橋本 繁	金2	120教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
【注意】この授業は、2014年度以前の入学者には、総合科目A系列 韓国朝鮮語テキスト分析Ⅱとして開講される。 講義題目 韓国朝鮮語の文章の講読 目標概要 韓国朝鮮語の新聞や雑誌の記事、小説、論説など様々な種類の文章を講読していく。授業は、文法の説明とともに、日本語に訳す場合の難しさ、その背景にある日本語との違いについて確認しながら進めていく。受講には、韓国朝鮮語を2年間学習した程度のレベルを必要とする。履修の際には注意されたい。 評価方法 授業での発表 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50263	A	韓国朝鮮語中級(インテンシヴ)	ジ ミンギョン	火1	156教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 韓国朝鮮語中級（インテンシヴコース） 目標概要 中級韓国朝鮮語を集中的に学習したい人を対象に、「聞く」「話す」「読む」「書く」全領域における韓国朝鮮語能力の向上を目指す。学習した文型や語彙をしっかり覚えたいうえで、応用・表現する力をつけていく。聞き取りや会話はもちろん、中級レベルの文章を読み、自分の考えを韓国朝鮮語でまとめられるように練習する。 評価方法 課題、小テスト、期末テスト 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。						
50837	A	韓国朝鮮語中級(インテンシヴ)	ジ ミンギョン	木2	152教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 韓国朝鮮語中級（インテンシヴコース） 目標概要 中級韓国朝鮮語を集中的に学習したい人を対象に、「聞く」「話す」「読む」「書く」全領域における韓国朝鮮語能力の向上を目指す。学習した文型や語彙をしっかり覚えたいうえで、応用・表現する力をつけていく。聞き取りや会話はもちろん、中級レベルの文章を読み、自分の考えを韓国朝鮮語でまとめられるように練習する。 評価方法 課題、小テスト、期末テスト 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。						
50212	A	韓国朝鮮語中級（第三外国語）	ジ ミンギョン	月5	157教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 韓国朝鮮語中級 目標概要 初級授業で学習した基本的な表現を確認しつつ、韓国朝鮮語運用の土台になる文法と語彙を増やしていく。授業の最後には辞書を引ながら簡単な文章が読めることを目標とする。 評価方法 小テスト、課題、期末テスト 教科書 著者（訳者）：生越直樹、生越まり子、池玫京 書名：花と実 出版社：朝日出版社 ISBN：978-4-255-55652-9 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50006	A	韓国朝鮮語上級（会話）	ジ ミンギョン	月1	103教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 韓国朝鮮語上級（会話） 目標概要 様々な文末表現や接続表現を覚えていくことで、的確な表現・伝達ができるように練習する。また、状況や場面による使い分けや韓国朝鮮語らしい表現法を身につけ、コミュニケーション能力の向上を目指す。 ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修韓国朝鮮語二列④の単位未取得者には読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 課題や授業参加などの平常点、期末テスト 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。						
50403	A	韓国朝鮮語上級（作文）	ジ ミンギョン	火3	1231教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 韓国朝鮮語作文(上級) 目標概要 韓国の大学や大学院への留学も想定し、専門書籍や資料の理解、レポートや論文の作成ができるように、読解力と表現力の向上を目指す。また、日本語との違いを踏まえつつ韓国朝鮮語らしい表現法を身につける。課題として提出した作文やレポートは講師による添削と誤用の分析、解説を行う。 評価方法 期末テストと平常点（課題、発表など） 教科書 著者（訳者）：油谷幸利 書名：間違いやすい韓国語表現100—中級編 出版社：白帝社 ISBN：978-4-89174-772-5 その他：テキストの後半を勉強する ガイダンス 特に行わない。						

イタリア語初級（演習）②			開講区分	A
目標概要 会話、作文など、イタリア語の表現の練習を中心に行い、より実践的なコミュニケーション能力の習得と文法知識の定着をめざします。 成績評価方法 平常点と繰上げ試験（最終授業時）。 教科書 授業中に指示をする。 ※講義の詳細については、UTASも参照すること				
時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50380	火3	アンドレア チヴィーレ	1212教室	1年 文三(6)
51057	金3	アンドレア チヴィーレ	K302	1年 文一二(6)

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50264	A	イタリア語初級（演習）	アンドレア チヴィーレ	火1	K301	1年 理科
講義題目 イタリア語初級（演習） 目標概要 習った文法の知識を復習しながら実際のコミュニケーションに結びつけることを目指します。生きたイタリア語の材料を使いながら、ことばとして理解する力を高めながら、話したり書いたりする能力や意欲を高めることが目標です。SセメスターとAセメスターを通じて、コミュニケーション能力としての目標はUTASシラバス参照の通りです。 ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修イタリア語二列②の単位未取得者には読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 期末筆記試験（最終授業時）と平常点だけではなく、毎回の授業に積極的に参加しているか、総合的に評価します。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
51172	A	イタリア語初級（会話）	マルコ ビオンディ	木4	K302	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 イタリア語初級会話 目標概要 ネイティブスピーカーの教員とともに、イタリア語の初歩を身につけながら、基本的なコミュニケーションと、自然な会話を学びます。 ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修イタリア語二列②の単位未取得者には読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 平常点と最終授業時の試験 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。						
50943	A	イタリア語初級（作文）	大崎 さやの	木5	116教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 イタリア語初級（作文） 目標概要 イタリア語の初級文法を学びながら、作文の練習をします。 ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修イタリア語二列②の単位未取得者には読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 平常点と期末試験（最終授業時に行います） 教科書 著者（訳者）：マリーサ・ディ・ルッソ 長神悟 西本晃二 書名：イタリア語練習問題集 出版社：白水社 ガイダンス 特に行わない。						
51030	A	イタリア語初級（作文）	野里 紳一郎	金2	105教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 イタリア語初級（作文） 目標概要 本講義では、作文演習を主目的としているが、その前提としての基礎的な文法の知識、およびその運用力は不可欠であろうから、まずその習得を目標とする。作文の演習にも配慮しつつ、現代イタリア語の基礎文法の理解をはかっていくことにしたい。 ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修 イタリア語二列②の単位未取得者には読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 期末試験。 教科書 著者（訳者）：マリーサ・ディ・ルッソ 長神悟 西本晃二 書名：イタリア語練習問題集 出版社：白水社 ISBN：4-560-00739-xc3087 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50944	A	イタリア語初級（表現練習）	アンドレア チヴィーレ	金2	119教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 Espresso italiana 目標概要 集中的にさらにイタリア語能力を向上させるためのコースです。読解・文法練習・作文を通し、中心に表現能力をたかめる授業です。会話聞き取りも行い、イタリア語の総合的な能力をしっかりと身につけて定着させ、今後さまざまな分野で用いることを確かなものとするのが目標です。 ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修イタリア語二列②の単位未取得者には読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 授業中の参加とセメスター中の課題とあわせて評価する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
51031	A	イタリア語初級（読解）	池上 俊一	水3	154教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 イタリア語初級（読解） 目標概要 イタリア児童文学の代表作から何作品かを選んで講読するとともに、背景にある文化的・社会的状況についても考えていく。 ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修イタリア語二列②の単位未取得者には読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 期末試験（最終授業時） 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50297	A	イタリア語初級(インテンシヴ)	アンドレア チヴィーレ	火2	155教室	1年 文科 理科
講義題目 初修クラス受講者が集中的にさらにイタリア語能力を向上させるためのコース。 目標概要 必修の時間にプラスして週に、読解・文法練習・作文を中心に運用能力をたかめる授業1コマと、会話聞き取りを中心に応用力をつけるネイティブの教員による授業1コマのあわせて2コマの両方を履修し、1年間のイタリア語学習によって、イタリア語の総合的な能力をしっかりと身につけて定着させます。 初修クラスで学習中の文法事項のまとめと応用にあたる。特に文法項目の練習やセメスター後半には作文や簡単な読解などで、応用力をつける。 第1回 イントロダクションーイタリア語の発音と地方色について セメスター前半 イタリア語の構造、動詞の仕組みと活用（直接法現在）、簡単な聞き取り（映画、音楽） セメスター後半 作文練習、聞き取り（映画、音楽） 評価方法 授業中の参加と、小テストなどのセメスター中の課題を考慮し、期末の試験とあわせて評価する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
51474	A	イタリア語初級(インテンシヴ)	日向 太郎	金5	102教室	1年 文科 理科
講義題目 初級イタリア語（初修）の応用(マキャヴェッリ『君主論』を読む) 目標概要 初修クラス受講者が集中的にさらにイタリア語能力を向上させるためのコース。必修の時間にプラスして週に、読解・文法練習・作文を中心に運用能力をたかめる授業1コマと、会話聞き取りを中心に応用力をつけるネイティブの教員による授業1コマのあわせて2コマの両方を履修し、1年間のイタリア語学習によって、イタリア語の総合的な能力をしっかりと身につけて定着させ、今後さまざまな分野で用いることを確かなものとするのが目標。映画や音楽など、生きたイタリア語イタリア文化に触れる。 評価方法 授業中の参加と、小テストなどのセメスター中の課題を考慮し、期末の試験とあわせて評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50078	A	イタリア語初級（第三外国語）	野里 紳一郎	月2	164教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 イタリア語初級（第三外国語）I 目標概要 イタリア語の基本文法の理解。 ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修 イタリア語二列② の単位未取得者には読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 期末試験（最終授業時） 教科書 著者（訳者）：東京大学イタリア語教材編集委員会編 書名：Italiano... in partenza! イタリア語のスタート 文法と練習 出版社：白水社 ISBN：978-4-560-01763-0 ガイダンス 特に行わない。						
50213	A	イタリア語初級（第三外国語）	池上 俊一	火5	159教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 イタリア語初級（第三外国語） 目標概要 イタリア語の基本文法の理解 評価方法 期末試験（最終授業時） 教科書 著者（訳者）：東京大学イタリア語教材編集委員会編 書名：Italiano... in partenza! イタリア語のスタート 文法と練習 出版社：白水社 ISBN：978-4-560-01763-0 ガイダンス 特に行わない。						
50945	A	イタリア語中級（演習）	大崎 さやの	木4	116教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 イタリア語中級（演習） 目標概要 イタリア語の文法を一通り学んだ人向けの授業です。イタリア語で書かれたさまざまな文章を読み、読解力と表現力を身につけます。 ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修 イタリア語二列④ の単位未取得者には読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 平常点とレポート。 教科書 著者（訳者）：東京大学イタリア語教材編集委員会 書名：P i a z z a 出版社：東京大学出版会 ガイダンス 特に行わない。						
50966	A	イタリア語中級（表現練習）	マルコ ビオンディ	木5	K302	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 イタリア語中級表現練習（Lingua italiana, espressioni di livello medio） 目標概要 すでにイタリア語文法の基礎的な知識の上に、ネイティヴスピーカの教員とともに、自然な発音と会話の力や作文力・語彙力をつけることをめざします。受講者の希望等にも考慮しながら、ビデオ教材なども交えて、イタリア文化をテーマに授業をすすめる予定です。通年で開講していますが、セメスターごとに独立して受講することが履修上も内容としても可能です。 ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修 イタリア語二列④ の単位未取得者には読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 平常点と最終授業時の試験。それぞれの開講時の能力・経験を考慮し、受講を通しての達成度を評価します。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
51032	A	イタリア語中級（読解）	鈴木 国男	金2	103教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
【注意】この授業は、2014年度以前の入学者には、総合科目A系列 イタリア語テキスト分析Ⅱ として開講される。 講義題目 イタリア語演劇テキスト 目標概要 18世紀に活躍し、現在でもイタリアを代表する劇作家として広く読まれ、上演・研究も活発に行われているカルロ・ゴルドーニの戯曲を読む。伝記や演劇史、ヴェネツィアに関する様々な事象についての講義などを織り交ぜ、映像を参考にしながら丁寧にテキストを読み解き、その魅力を探る。 評価方法 毎回の授業に十分予習して積極的に参加しているか、文法事項・作品の内容などをどれだけ理解しているかを、総合的に評価する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50615	A	イタリア語中級(インテンシヴ)	日向 太郎	水2	152教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 中級イタリア語の応用 目標概要 初修クラス受講者が集中的にさらにイタリア語能力を向上させるための中級コース。読解・文法練習・作文を中心に運用能力をたかめる授業1コマと、会話聞き取りを中心に応用力をつけるネイティブの教員による授業1コマのあわせて2コマの両方を履修する。1年間の初修イタリア語学習の基礎の上に、イタリア語の総合的な能力を定着させ、さまざまな専門分野で運用するための能力を養成する。 評価方法 授業中の参加と、小テストなどのセメスター中の課題を考慮し、期末の試験とあわせて評価する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
51001	A	イタリア語中級(インテンシヴ)	マルコ ビオンディ	金1	K302	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 中級イタリア語の応用 目標概要 初修クラス受講者が集中的にさらにイタリア語能力を向上させるための中級コース。読解・文法練習・作文を中心に運用能力をたかめる授業1コマと、会話聞き取りを中心に応用力をつけるネイティブの教員による授業1コマのあわせて2コマの両方を履修する。1年間の初修イタリア語学習の基礎の上に、イタリア語の総合的な能力を定着させ、さまざまな専門分野で運用するための能力を養成する。 評価方法 授業中の参加と、小テストなどのセメスター中の課題を考慮し、期末の試験とあわせて評価する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50700	A	イタリア語上級（作文）	マルコ ビオンディ	水3	K402	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 イタリア語上級作文（Lingua italiana- composizione di livello avanzato） 目標概要 L'obiettivo del corso è imparare come scrivere un testo accademico. Redarre un testo accademico non è una cosa facile, non lo è neanche nella propria lingua. Scriverlo in un'altra lingua porta la sfida a un nuovo livello. La scrittura accademica è piena di strutture e frasi fisse che sono probabilmente presenti anche nella tua lingua madre. ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修 イタリア語二列④ の単位未取得者には読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 Compiti durante il semestre e il test alla conclusione del corso 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50405	A	イタリア語上級（読解）	野里 紳一郎	火3	1221教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 イタリア語講読 目標概要 本講義は一通りの基礎的な文法の知識、およびその運用力をもつ受講者を対象とする。まず、平易な素材を用いて、条件法や接続法、あるいは直説法遠過去などの文法知識の十分な理解をはかっていくことを目標とし、多読よりも精読に比重をおいた講義としたい。 評価方法 期末試験。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50476	A	アラビア語初級（第三外国語）	濱田 聖子	火4	1221教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 アラビア語初級 目標概要 1年間で、正則アラビア語（フスハー）の文法を概観する。辞書を用いて、アラビア語の文章が読解できるようになることを目指す。 評価方法 毎回の課題提出とセメスター最後のテストで評価します。 教科書 著者（訳者）：黒柳恒男・飯森嘉助 書名：現代アラビア語入門 出版社：大学書林 ISBN：978-4-475-01838-8 ガイダンス 特に行わない。						
50759	A	アラビア語初級（第三外国語）	杉田 英明	水5	103教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 アラビア語初級（第三外国語）Ⅱ 目標概要 アラビア文字の読み方から始めて、1年間で文語文法の構造を概観します。毎回、教科書の練習問題を割り当てますので、自宅での作業が不可欠です。 評価方法 期末試験（75%）と提出物（25%）による。 教科書 著者（訳者）：黒柳恒男・飯森嘉助 書名：現代アラビア語入門 出版社：大学書林 ISBN：978-4-475-01838-8 ガイダンス 特に行わない。						
50305	A	アラビア語初級（会話）	エベード イハープ	火2	K401	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 アラビア語初級（会話） 目標概要 This course is offered by courtesy of the Arabic Islamic Institute in Tokyo (AIIT). The aim of the course is to acquaint the students with the fundamentals of the Arabic language. The emphasis will be on conversation, and the students will be taught to speak Arabic in the correct way using essential and useful daily life expressions. The students will also be introduced to the basics of Arabic writing and grammar, as well as to elements of Arabic art and culture. The classes will be conducted by Ehab Ebeid as a native-speaking adjunct lecturer. 評価方法 "The evaluation will be based on attendance and participation, as well as small tests conducted in class time." 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
50735	A	アラビア語中級（第三外国語）	杉田 英明	水4	1223教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 アラビア語中級（第三外国語）Ⅱ 目標概要 ① 初級文法を一通り終えた方を対象に、文法事項を確認しながら、母音符号の付いた比較的簡単な読み物を講読します。自分で辞書を引きながら、文章の意味が取れるようになることを目標とします。これによって、母音符号のない文章が自由に読めるようになるまでの橋渡しをいたします。 ② 残りの時間は、映画の鑑賞など、アラブ・イスラム文化関連の紹介を行なう予定です。 評価方法 訳読の分担による。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50901	A	ヒンディー語初級(第三外国語)	藤井 毅	木3	1211教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ヒンディー語入門(2) 目標概要 共通標準ヒンディー語（近代インド＝アールヤ諸語のひとつ。インド共和国の連邦公用語。推定話者人口約5億人。北インドー帯を中心として、北インド出身者が暮らす移民社会で用いられる）の初級文法を学びます。Aセメスターは、Sセメスターの続きで、指定教科書の第10課より始めます。このセメスターで基本的な文法事項の修得を終え、平易なヒンディー語散文が読めるようにします。 評価方法 休むことなく出席するのは当然として、毎週出される宿題の出来を総合的に評価します。 教科書 著者（訳者）：Snell, Rupert and Simon Weightman 書名：Complete Hindi 出版社：John Murray Learning ISBN：9781444106831 その他：Sセメスターで使用した教科書と同じものです。2016年版が最新のものです。 ガイダンス 特に行わない。						
50946	A	ヒンディー語中級(第三外国語)	藤井 毅	木4	1211教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ヒンディー語（中級文法と読解・2） 目標概要すでに修得した初級文法の知識をさらに深めることを目標とします。出席者の関心に合わせて、ヒンディー語でなければ得られないような内容を持ったテキストを、各種の文献や現代の新聞・雑誌に求めて読解してゆきます。他のところでヒンディー語を学んだことのある学生の出席を歓迎します。 評価方法 輪読するテキストの予習の出来と報告を総合的に評価します。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50902	A	インドネシア語初級 (第三外国語)	高地 薫	木3	109教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 インドネシア語入門 2 (Indonesian language for beginners) 目標概要 インドネシア語はローマ字表記で、発音も日本人にとって比較的容易で、文法の簡易な言語である。この授業では、インドネシア語未修者を対象に、インドネシア語の基本的な文法を身につけ、基本会話、読み書きができるようになることを目的とする。 Aセメスターでは、Sセメスターにおける授業内容を前提に授業を進める。 評価方法 出席、各回に行なう小テスト、期末テストを総合して評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50947	A	インドネシア語中級 (第三外国語)	高地 薫	木4	102教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 インドネシア語中級 (Indonesian language for Intermediate Students) 目標概要 この授業では、インドネシア語既修者を対象に、原文の精読をする。講読するテキストは広い分野から新聞や雑誌の記事、エッセイ、短編小説などを用いる。参加者の研究対象や興味に応じてテキストを追加することもある。 評価方法 演習の内容により評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
51160	A	ベトナム語初級（第三外国語）	加藤 栄	金4	116教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ベトナム語(初級)(4) 目標概要 Sセメスターの学習をふまえ、引き続きベトナム語の初級文法を学ぶ。Aセメスターの授業では、基本文型を用いた口頭練習ばかりでなく、平易な会話文や読み物を辞書を使って読めるようになることも目標としている。 評価方法 課題の提出、小テスト、定期試験の成績をもとに総合的に評価する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50477	A	ベトナム語中級（第三外国語）	岩月 純一	火4	1232教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ベトナム語文献講読 目標概要 中級レベルのベトナム語資料読解能力の習得を目標として、ベトナム語初級を習得済みの学生を対象に、新聞や論説文等の講読を行う。 評価方法 授業における音読及び訳読を見て、総合的に判断する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
50306	A	広東語初級（第三外国語）	谷垣 真理子	火2	115教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 広東語（初級） 目標概要 広東語は中国の南方の方言である。広東・広西地域のほか、香港・マカオ両特別行政区では教育や公共放送の場で使用されている。本授業は広東語の発音の基礎を学ぶと同時に、文法や作文を学ぶ。広東語教授方法の授業ではないので、広東語ネイティブの受講は原則認めない。 評価方法 セメスター中に1回、読みの小テストを行なう。これを期末試験の成績と総合評価する。受講者の顔ぶれによって、さらに小テストを課すこともある。試験時にはイェール式のローマ字表記と繁体字を使うので、習熟しておくこと。 教科書 著者（訳者）：吉川雅之 書名：香港粵語〔基礎会話〕 出版社：白帝社 ISBN：978-4-86398-094-5 ガイダンス 特に行わない。						
50507	A	広東語中級（第三外国語）	吉川 雅之	水5	10-102	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 香港広東語の中級 目標概要 広東語は香港と澳門（マカオ）で公用語である他、中国本土では広東省・広西壮族自治区・海南省の華南3地域を覆うリング・フランカ（広域共通語）として、またベトナムやマレーシア、シンガポールを始めとする東南アジア及び世界の華僑社会では現地語や英語に次ぐ有力言語として広く使用されています。漢語系諸語の中では民族共通語である普通話（いわゆる中国語）に次ぐ影響力を誇り、使用人口は全世界で約8000万人と推定されます。また文学作品・漫画・映画・歌謡曲・新聞雑誌記事などが広東語で書かれることも多く、香港を発信地とした文化的影響力が日本社会にまで及んでいることは周知の事実です。 広東語は、上海語や福建語・台湾語と同様に、中国語（普通話）との間にはやうに言語同士に匹敵する差異を有しています。そのため、中国語とは別に一から学習する必要があります。 この授業では社会的に均質で、対外的に影響力の最も大きい香港の広東語について、中級レベルの養成を目指します。 評価方法 1. 評点は、期末試験に小テストや平常点を加味して算出します。 2. 平常点は、(i) 予習の綿密さ、(ii) 授業中の積極的な態度・学習姿勢、(iii) 授業中の受け答えの正確さ、を重視します。 3. 小テストや暗唱、ディクテーションは随時行います。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
50616	A	ヘブライ語初級（第三外国語）	飯郷 友康	水2	761教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ヘブライ語文法初歩 目標概要 ユダヤ文化を深く理解するために、また中東情勢の一端を把握するために、ヘブライ語の知識は欠かせない。この重要な、そして面白い言語の初歩を、なるべく実用的、実践的に習得したいと思う。ひとまずの目標は、自力で辞書を検索できるようになること――すなわち、文法の基礎を把握すること。そして、ある程度の複雑な長文を理解し得る読解力を身につけること。 評価方法 単元を終えるごとに簡単な宿題、また期末にレポートの提出を課す。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
51038	A	上海語初級（第三外国語）	王 英輝	金2	115教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 上海語 目標概要 上海語を学習対象にし、Sセメスターで学習した発音と基礎的な文法事項をさらに発展させ、会話とリスニングを中心に練習し、簡単な日常会話ができるようになることを目的とする。 評価方法 小テストと平常点と期末試験の成績を総合的に評価する。 教科書 著者（訳者）：榎本 英雄、范 曉 書名：ニューエクスプレス 上海語 出版社：白水社 ISBN：9784560085325 ガイダンス 特に行わない。						
50307	A	ペルシア語初級（第三外国語）	前田 君江	火2	518教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ペルシア語初級 目標概要 1）辞書を用い、文法構造を確認しながら、平易なペルシア語の読解を目指す。 2）複数の辞書を使い分けながら、難解な文章を読解する。 3）イランと中東についての理解を深める。 評価方法 授業への出席と参加の度合による。 期末試験に代わるものとして、読解プリント（和訳）の課題提出を求める。 併せて、授業内で、基本的な文法事項に関する小テストを行う。 教科書 プリントを配布する。読解プリントと文法解説を授業内で配布する。なお、ペルシア語辞典を必携とする。 ガイダンス 特に行わない。						
51161	A	セルビア・クロアチア語初級 （第三外国語）	山崎 信一	金4	114教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 セルビア・クロアチア語（初級） 目標概要 セルビア・クロアチア語の初等文法の基礎の学習を終えた者を対象に、読解力向上のための平易な文章の講読を行う。あわせて、文法事項の復習、簡単な会話の練習、簡単な聞き取りの練習などの機会を設ける。 評価方法 平常点による。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
50969	A	ポーランド語初級(第三外国語)	小 椋 彩	木5	108教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ポーランド語初級 目標概要 引き続きポーランド語の基礎的な文法を学びます。簡単な会話ができ、辞書を活用できることを目標とします。 評価方法 平常点と期末試験 教科書 著者（訳者）：石井哲士朗、三井レナータ 書名：ニューエクスプレス ポーランド語 出版社：白水社 ISBN：9784560067949 ガイダンス 特に行わない。						
50617	A	タイ語初級（第三外国語）	浅見 靖仁	水2	1211教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 タイ語初級 (ภาษาไทยเบื้องต้น) 目標概要 Sセメスターからの継続。原則として、Sセメスターの授業を履修した学生のみ受講を認めますが、すでにタイ語の基礎的知識を持っている学生については、Aセメスターのみの履修も認めます。 評価方法 宿題10%、期末試験90%。 教科書 著者（訳者）：水野潔 書名：ニューエクスプレス タイ語 出版社：白水社 ISBN：978-4560067819 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50948	A	ポルトガル語初級(第三外国語)	牧野 真也	木4	153教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ポルトガル語の基礎 目標概要 ポルトガル語を初めて学習する人を対象としており、Sセメスターの講義と併せて通年でポルトガル語の基礎的な文法を学びます。 評価方法 授業最終日の筆記試験で評価しますが、欠席1/4以上で受験資格を失いますので留意してください。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
50970	A	ポルトガル語中級(第三外国語)	牧野 真也	木5	153教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ポルトガル語の基礎 目標概要 ポルトガル語の初歩的な知識を有する者を対象としており、ポルトガル語（初級）とポルトガル語（中級・Sセメスター）の履修内容を土台として読解力と聴解力を身に付けることを目指します。 評価方法 出席点5割＋平常点5割（講読の割り当て部分の発表など）で60点以上を合格とします。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
50216	A	台湾語初級（第三外国語）	王 嵐	月5	105教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 台湾語会話 目標概要 台湾語は、もとは中国の8大方言区の中の「閩南語」であり（「閩」は古来福建省の別称）、17世紀の初頭以来、中国の福建省南部より台湾に大挙して移住してきた人々の子孫によって使われ始め、現在では、台湾「第二の公用語」とされ、60%以上の台湾人が使用している。台湾語の文法や音韻根幹は福建閩南語とほぼ同じだが、語彙の面において若干異なる。 この授業は、台湾に興味を抱く人のために、台湾語の発音や表記を学習し、名詞・動詞・形容詞等、簡単な日常会話及び基礎文法を学ぶ。 評価方法 平常点（授業への取り組み・出席状況）及び期末試験によって評価する。 教科書 著者（訳者）：村上嘉英 書名：ニューエクスプレス 台湾語 出版社：白水社 ISBN：978-4-560-00364-0 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
50308	A	モンゴル語初級（第三外国語）	荒井 幸康	火2	118教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 モンゴル語 目標概要 Sセメスターに引き続き、初歩的な文法および語彙を習得し、辞書を引きつつ、新聞が読める程度の語学力を身につけることを目標とする。 会話では、適切な質問文をつくり、5分程度の会話を成立させることを目標とする。 また、モンゴル語の背景にある文化を織り込んだ話題を講読で織り込み、モンゴル文化への理解を深める。 評価方法 毎回小テストを行う予定であるので、その点数と最終テストおよび、授業での発言で評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50406	A	トルコ語初級（第三外国語）	高松 洋一	火3	1226教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 現代トルコ語初級文法入門2 目標概要 現代トルコ語の初級文法を習得する。S・A両セメスターの通年で完結するものとする。最終的に新聞・雑誌等のトルコ語のテキストを辞典をひきながら読めるようになることをめざす。Aセメスターでは、受動の動詞、動詞の提案形、命令形、願望形、後置詞、可能の動詞、動名詞、副動詞、形動詞などを中心に学習し、初級文法をひとつとおりマスターすることを目標とする。 評価方法 原則として期末の試験の成績をもとに評価するが、随時行なう課題レポートも考慮することがありうる。 教科書 著者（訳者）：東京外国語大学 トルコ語専攻 編 書名：トルコ語文法 初級・中級 [改訂版] 出版社：東京外国語大学生協同組合出版部 ISBN：978-4-903386-18-8 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50478	A	トルコ語中級（第三外国語）	高松 洋一	火4	1226教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 トルコ語中級文献講読2 目標概要 文献講読を通じて、現代トルコ語の初級文法をいちおう習得した者を対象に、既修・未修の文法事項を整理しつつ、語彙を増やしてトルコ語テキスト読解のスキルを身につけることを目標とする。どのようなテキストに出会っても辞典さえあれば自分で問題を解決できるようになることを目指したい。あわせて講読する文献の内容を通じて、トルコの社会・文化・歴史などに関する知識を深めることも期待したい。 評価方法 期末に試験は行わない。毎回指名してやってもらう訳読によって評価する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
51256	A 1	日本語上級	宇佐美 洋	月1	10-201	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 論文執筆・アカデミックライティング（準備編） 目標概要 大学では、それぞれの専門分野において、自ら問題を設定し、情報・データを収集したうえで考察を加え、その内容を日本語で、論文やレポートとしてまとめていくことが求められます。ただしそのためには、適切な方法論に基づき、準備を行っていくことが必要です。 この授業では、日本語で論文やレポートを執筆していくために必要となる、基本的な考え方のトレーニングを行います。 評価方法 授業への参加状況（出席・小課題への回答等を含む） 最終プレゼンテーション（学生同士の相互評価）・レポート 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
51257	A 1	日本語上級	大久保 雅子	月5	10-201	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 アカデミック・プレゼンテーションのための発音 目標概要 授業でのスピーチ、ゼミ発表、学会発表等のアカデミック・プレゼンテーションに必要な発音スキルの向上を目指す。また、ニュース等の動画を活用した発音練習により、なめらかな発音を身につける。概要は以下のとおりである。 1) ニュース等の生素材を活用し、発音練習を行う。 2) 自分の発音を音響解析し、発音上の問題点を把握する。 3) 自分や他者の発音を振り返り、問題点を改善させる。 4) 日本語の正しいアクセント・イントネーションを知る。 5) 聞き手に伝わりやすいスピーチ・プレゼンテーションの発音を身につける。 評価方法 録音課題30% スピーチ・プレゼンテーション30% 授業中の課題40% 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
51259	A 1	日本語上級	西部 由佳	水5	10-202	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 文学作品を読む・味わう・まとめる・伝える その3 目標概要 目標：日本の近代から現代にかけての文学に焦点をあて、作品に親しみながら、読む力、まとめる力、伝える力を養うことを目的とする。 概要：様々な文学作品に触れることで、内容理解の力、語彙力を高める。 さらに、読んだ内容をわかりやすくまとめ、作品について話し合う活動を行う。最終的には、自分の選んだ作品の内容をまとめ、その作品の良さを伝えるレポートを作成する。 評価方法 クイズ・課題・最終レポート・発表・出席・授業への貢献度（グループ・ペアワークへの参加など）を総合的に評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
51260	A 1	日本語上級	奥川 育子	木1	10-205	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 「テーマで考え議論する日本語 - Active Learning in JSL -」と連動する精読・語彙・ライティング 目標概要 「基礎科目日本語一列②」『テーマで議論する日本語 - Active Learning in JSL -』でのテーマや読解テキスト・活動と連動して、構文・語彙習得、正確な精読と要約を行いつつ、ライティングやプレゼンテーション発表を行う。一列授業と連動し、相互に相補的な活動を行う。それぞれの授業目的・概要や履修方法等詳細は、初回授業での説明、および、それぞれの授業シラバスを参照のこと。 評価方法 出席、授業参加度、課題、クイズ、発表 教科書 書名：テーマで考え議論する日本語 - Active Learning in JSL - ガイダンス 第一回授業日に行う。						
51261	A 1	日本語上級	大久保 雅子	木5	10-205	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 アカデミック・プレゼンテーションのための発音 目標概要 授業でのスピーチ、ゼミ発表、学会発表等のアカデミック・プレゼンテーションに必要な発音スキルの向上を目指す。また、ニュース等の動画を活用した発音練習により、なめらかな発音を身につける。概要は以下のとおりである。 1) ニュース等の生素材を活用し、発音練習を行う。 2) 自分の発音を音響解析し、発音上の問題点を把握する。 3) 自分や他者の発音を振り返り、問題点を改善させる。 4) 日本語の正しいアクセント・イントネーションを知る。 5) 聞き手に伝わりやすいスピーチ・プレゼンテーションの発音を身につける。 評価方法 録音課題30% スピーチ・プレゼンテーション30% 授業中の課題40% 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
51263	A 1	日本語上級	宇佐美 洋	金5	10-205	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 論文執筆・アカデミックライティング（準備編） 目標概要 大学では、それぞれの専門分野において、自ら問題を設定し、情報・データを収集したうえで考察を加え、その内容を日本語で、論文やレポートとしてまとめていくことが求められます。ただしそのためには、適切な方法論に基づき、準備を行っていくことが必要です。 この授業では、日本語で論文やレポートを執筆していくために必要となる、基本的な考え方のトレーニングを行います。 評価方法 授業への参加状況（出席・小課題への回答等を含む） 最終プレゼンテーション（学生同士の相互評価）・レポート 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
60199	A 2	日本語上級	宇佐美 洋	月1	10-201	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 論文執筆・アカデミックライティング（実践編） 目標概要 大学では、自ら問題を設定し、情報・データを収集したうえで考察を加え、その内容を日本語で、論文やレポートとしてまとめていくことが求められます。ただしそのためには、適切な方法論に基づき、準備を行っていくことが必要です。 この授業では、自分にとって興味ある問題を見つけ、その問題について自らデータ収集を行って、実際に小論文を執筆し、相互批評を行う、というプロセスを実践します。 評価方法 授業への参加状況（出席・小課題への回答等を含む） 最終プレゼンテーション・レポート 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
60200	A 2	日本語上級	大久保 雅子	月5	10-201	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 アカデミック・プレゼンテーションのための発音 目標概要 授業でのスピーチ、ゼミ発表、学会発表等のアカデミック・プレゼンテーションに必要な発音スキルの向上を目指す。また、ニュース等の動画を活用した発音練習により、なめらかな発音を身につける。概要は以下のとおりである。 1) ニュース等の生素材を活用し、発音練習を行う。 2) 自分の発音を音響解析し、発音上の問題点を把握する。 3) 自分や他者の発音を振り返り、問題点を改善させる。 4) 日本語の正しいアクセント・イントネーションを知る。 5) 聞き手に伝わりやすいスピーチ・プレゼンテーションの発音を身につける。 評価方法 録音課題30% スピーチ・プレゼンテーション30% 授業中の課題40% 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
60201	A 2	日本語上級	西部 由佳	水5	10-202	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 文学作品を読む・味わう・まとめる・伝える その3 目標概要 目標：日本の近代から現代にかけての文学に焦点をあて、作品に親しみながら、読む力、まとめる力、伝える力を養うことを目的とする。 概要：様々な文学作品に触れることで、内容理解の力、語彙力を高める。 さらに、読んだ内容をわかりやすくまとめ、作品について話し合う活動を行う。最終的には、自分の選んだ作品の内容をまとめ、その作品の良さを伝えるレポートを作成する。 評価方法 クイズ・課題・最終レポート・発表・出席・授業への貢献度（グループ・ペアワークへの参加など）を総合的に評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
60202	A 2	日本語上級	奥川 育子	木1	10-205	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 『テーマで考え議論する日本語 - Active Learning in JSL -』と連動する精読・ライティング・プレゼンテーション 目標概要 『基礎科目日本語一列』でのテーマや読解テキスト・活動と連動し、アクティブラーニングのプレゼンテーション・レポート執筆を行う。一列授業と連動しつつ、相互に相補的な活動を行う。それぞれの授業目的・概要や履修方法等詳細は、初回授業での説明、および、それぞれの授業シラバスを参照のこと。 評価方法 出席、授業参加度、課題、発表、レポート 教科書 書名：テーマで考え議論する日本語 - Active Learning in JSL - ガイダンス 第一回授業日に行う。						
60203	A 2	日本語上級	大久保 雅子	木5	10-205	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 アカデミック・プレゼンテーションのための発音 目標概要 授業でのスピーチ、ゼミ発表、学会発表等のアカデミック・プレゼンテーションに必要な発音スキルの向上を目指す。また、ニュース等の動画を活用した発音練習により、なめらかな発音を身につける。概要は以下のとおりである。 1) ニュース等の生素材を活用し、発音練習を行う。 2) 自分の発音を音響解析し、発音上の問題点を把握する。 3) 自分や他者の発音を振り返り、問題点を改善させる。 4) 日本語の正しいアクセント・イントネーションを知る。 5) 聞き手に伝わりやすいスピーチ・プレゼンテーションの発音を身につける。 評価方法 録音課題30% スピーチ・プレゼンテーション30% 授業中の課題40% 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
60204	A 2	日本語上級	宇佐美 洋	金5	10-205	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 論文執筆・アカデミックライティング（実践編） 目標概要 大学では、自ら問題を設定し、情報・データを収集したうえで考察を加え、その内容を日本語で、論文やレポートとしてまとめていくことが求められます。ただしそのためには、適切な方法論に基づき、準備を行っていく必要があります。 この授業では、自分にとって興味ある問題を見つけ、その問題について自らデータ収集を行って、実際に小論文を執筆し、相互批評を行う、というプロセスを実践します。 評価方法 授業への参加状況（出席・小課題への回答等を含む） 最終プレゼンテーション・レポート 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50508	A	古典語初級（ギリシア語）Ⅱ	松浦 高志	火5	117教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 古典ギリシア語初級（後半） 目標概要 初級文法を1年かけて学び、古典ギリシア語で書かれた簡単な文章を読めるようにする。ギリシア語の文献は紀元前15世紀の線文字B粘土板にさかのぼる。使用地域はやがて東地中海地域全体、一時はさらにインド方面にまで広がった。哲学・歴史学・文学・科学などあらゆる分野に膨大な文献を有し、現在でも主にヨーロッパ文明を通じて大きな影響を与え続けている。 古典ギリシア語とは、紀元前5-4世紀にアテナイを中心とする地域で使われていたギリシア語のことを言う。これを学べばほかの時代・地域のギリシア語や新約聖書のギリシア語も容易に学び得る。文献の豊富さゆえにラテン語、サンスクリット語などとともに印欧比較言語学に豊富な資料を提供するという点でもギリシア語は重要である。 評価方法 「古典ギリシア語初級（前半）」（Sセメスター）とは異なり、期末試験は実施しない。小テスト（50点）、練習問題の発表状況・原典講読の訳読状況（50点）で評価する。 教科書 著者（訳者）：水谷智洋 書名：古典ギリシア語初歩 出版社：岩波書店 ISBN：978-4-00-000829-7 その他：1990年発行、3500円＋税 ガイダンス 特に行わない。						
50777	A	古典語初級（ギリシア語）Ⅱ	上野 慎也	木1	515教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 古典ギリシア語の手ほどき（のつづき） 目標概要 古典ギリシア語で綴られた平易な文章を読解するための力を培う。 評価方法 平常点と期末試験による。平常点とは、授業時間中、教科書の問題演習をする際に、自己の予習結果を発表する事で積み上がる点の事を謂う。「出席点」なるものは存在しない。 教科書 著者（訳者）：水谷智洋 書名：古典ギリシア語初歩 出版社：岩波書店 ISBN：978-4-00-000829-7 ガイダンス 特に行わない。						
50838	A	古典語中級（ギリシア語）Ⅱ	上野 慎也	木2	8-420	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 古典ギリシア語散文講読 目標概要 古典期（前五～四世紀）のアッティカ方言で綴られた散文を精読する。初級で習得した文法の運用能力を錬磨し、実際の読解に必要な作品の背景について基礎知識を蓄える。 評価方法 平常点による。毎回の訳読の首尾を以てこれに当てる。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50010	A	古典語初級（ラテン語）Ⅱ	井上 秀太郎	月1	150教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ラテン語初級 目標概要 Sセメスターの継続。 辞書を使って独力でラテン語の簡単な文章が読めるように、基本的な文法事項を身につける。 評価方法 平常点と期末テストに基づいて評価する 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50217	A	古典語初級（ラテン語）Ⅱ	筒井 賢治	月5	118教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ラテン語文法 目標概要 ラテン語の文法を1年かけて解説し、最終的に辞書と文法書を使って原典講読を行える状態にする。授業としては別個だが、内容的にはSセメスターの授業を継続。下記教科書の12課から。Sセメスターの授業に出席していなかった学生は、11課までの内容をおおむね習得していることが必要となる。 評価方法 期末テスト 教科書 著者（訳者）：中山恒夫 書名：標準ラテン文法（Classica Grammatica Latina） 出版社：白水社 ISBN：978-4560017616 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
51182	A	古典語初級（ラテン語）Ⅱ	ヘルマン ゴチェフスキ	火2	学際交流 ホール	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ラテン語初級（1）－名詞形容詞変化と動詞の現在形を中心に *注 この授業の科目名には制度上「Ⅱ」という数字がついていますが、これは秋からはじまり来年度の春に続く一年間のコースの1セメスター目（つまり予備知識を必要としない初修の授業）に当たります。Aセメスターだけでも単位になりますが、参加する学生は是非来年度のSセメスターにも履修してください。 目標概要 ラテン語は古代から近代まで広く使われた言語で、さまざまな学問分野で読まれる文献も多種多様だが、その基礎勉強を提供するこの授業は古代（紀元前後一世紀ごろ）の「古典語」の文法と基礎単語を一年間のコースで身に付けることを目標としている。 評価方法 試験（最後の授業で実施） 教科書 教科書は以下の二冊を使います。生協でお買い求め下さい。生協で手に入らない場合（過去には有った）授業で教科書を手配します。Hans H. Ørberg Lingua Latina per se Illustrata, Pars I: Familia Romana Focus Publishing 同書の練習問題：Hans H. Ørberg Lingua Latina per se Illustrata, Exercitia Latina IFocus Publishing ガイダンス 第一回授業日に行う。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50079	A	古典語中級（ラテン語）Ⅱ	井上 秀太郎	月2	8-416	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ラテン語散文講読 目標概要 元首政期の散文を丁寧に読むことにより、ラテン語を読解する能力を向上させる。初級の授業で身につけた知識、特に文法的な事項を逐一確認しながら、読み進めていく。 授業では、アウグストゥスと同時代の歴史家リウィウスによる『ローマ建国以来の歴史』の、第二次ポエニ戦争に関する部分を読んでいく。 評価方法 平常点に基づいて評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50267	A	古典語初級 （サンスクリット語）Ⅱ	高橋 晃一	火1	150教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 サンスクリット初級文法 (II) 目標概要 古典サンスクリット語の初級文法を習得し、平易なサンスクリット文を読解する運用力を養成することをめざす。 Aセメスターは、文法の後半部（動詞の変化・複合語）を扱う。 サンスクリット語は古代・中世インドで聖典に用いられ、仏教などを通してアジアの文化にも少なからぬ影響を与えた言語である。また、印欧比較言語学においては、ギリシア語・ラテン語とならぶ重要な位置を占める。サンスクリットを学ぶことは、古典教養の基礎を身につけることである。 授業は文法の解説と練習問題による演習を組み合わせる。 評価方法 授業参加状況（練習問題への取組と課題の提出を含む）と、試験（セメスター中に行う小テストを含む）による。 教科書 著者（訳者）：J.ゴンダ（鎧淳訳） 書名 ：サンスクリット語初等文法 出版社 ：春秋社 ガイダンス 特に行わない。						

総合科目 A 思想・芸術

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50218	A	言語比較論	森 芳樹	教養学部(総合文化) 言語情報科学専攻	月5	K301	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 意味論に基づく言語の比較対照と普遍性 目標概要 この講義では、主にヨーロッパの諸言語を扱いながら、様々な言語現象について各言語でどのように表現されるかという観点から、「言語」とはなにかということと個別言語の特性とはなにかということの双方について考察を進める。日本語をはじめとする東アジアの諸言語との対照も課題の一つである。 今年度は意味論を基盤として、言語の対照比較を考えていきたい。したがって、問題になるのは（それへの言及はあるが）歴史的な比較言語学ではなく、言語の理論とその基盤かつ応用としての個別言語学の「せめぎ合い」である。また言語普遍性と言語相対論の論争も中心課題ではない。それより、個々の意味論上の現象を扱いながら、言語の対照比較について議論する予定である。 評価方法 積極的な授業への参加と期末レポートによる。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
50309	A	言語態理論	郷原 佳以	教養学部(総合文化) 言語情報科学専攻	火2	517教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 フィクションとは何かを考える 目標概要 私たちの身の回りはフィクションで溢れている。私たちはそれがフィクションと知りつつ、あるいはそうと気づかずに、フィクションに惹かれ、嵌まり込む。この授業では、フィクションとは何か、私たちはなぜフィクションを必要とするのか、フィクションの言葉と現実の言葉は区別できるのか、といった問題について書かれた様々な論文（主として文学理論）を読み、これらの問題について考える。専門課程に進んで論文を数多く読むための訓練としたい。 評価方法 発表、議論への参加、期末レポートで総合的に評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
50545	A	現代哲学	野矢 茂樹	教養学部(前期課程) 哲学・科学史	水1	1108教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ウィトゲンシュタインの哲学 目標概要 主として『論理哲学論考』と『哲学探究』におけるウィトゲンシュタインの哲学を解説する。 評価方法 試験 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51039	A	科学哲学	鈴木 貴之	教養学部(前期課程) 哲学・科学史	金2	1331教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 科学哲学入門 目標概要 いわゆる科学革命以降、近代科学はめざましい発展を遂げてきました。近代科学が短期間でこれだけの発展を遂げることができたのは、なぜでしょうか。科学的説明は、他の説明とどのように異なるのでしょうか。人文科学や社会科学も広義の科学の一部と言えるのでしょうか。科学に関するこのような理論的・原理的問題を考察するのが科学哲学です。この授業では、現代の科学哲学の主要問題を概観します。 評価方法 セメスター中に提出する課題の評価30%、定期試験70%で評価します。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
50760	A	記号論理学 I (文科生)	信原 幸弘	教養学部(前期課程) 哲学・科学史	水5	1312教室	1年 文科 2年 文科
講義題目 命題論理と述語論理 目標概要 記号論理学の基礎である命題論理と述語論理を扱う。具体的な練習問題を通じて論理学の記号操作を体得してもらうと同時に、構文論と意味論によって規定される形式的体系の概念や、公理系における健全性や完全性の概念などの理論的な理解を目指す。 評価方法 定期試験 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50011	A	記号論理学Ⅱ	岡本 賢吾	教養学部(前期課程) 哲学・科学史	月1	524教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 完全性定理から不完全性定理まで 目標概要 まず、古典一階述語論理の完全性定理を概観する。その上で、ゲーデルの不完全性定理に進み、その証明を一步步辿る。(第一)不完全性定理とは、(1)自然数論としての最も基本的な能力 (i.e.再帰関数の表現可能性) を備え、(2)しかも、通常の意味での公理系 (i.e.再帰的に枚挙可能な公理系) を成している、という2条件を満たす形式体系であれば、いかなるものであっても、それが無矛盾 (より詳しくはω無矛盾) である限り、必ず、証明することも反証すること (否定を証明すること) も不可能な文 (閉じた式) を含む、というものである。この定理の証明に関わる技術的な事項をできるだけ精確に説明し、この定理が持つ概念的な意義を適切に考察するための基盤を作ることを目指す。 評価方法 レポート (テーマは講義中に指示する)。なお、場合によって、数回出席を取り、この結果を肯定的な評価のためのデータとして使うことがある (否定的評価のためには使わない)。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行く。							
51193	A	精神分析学	原 和之	教養学部(前期課程) 哲学・科学史	月5	121教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 思想史のなかの「精神分析」 目標概要 〔内容〕十九世紀の終わりに神経症の治療法として登場した精神分析は、二十世紀以降人文諸学のさまざまな分野において参照されるようになり、その発想や概念の理解は、現代思想の展開を理解する鍵の一つとなっています。この授業では、精神分析学がそうした位置を占めるようになった歴史的な経緯を、特に創始者フロイトからそのフランスにおける展開に注目して辿りながら、その基本的な発想や概念を、精神分析学内外のさまざまな文献に即して紹介します。さらに講義では、このアプローチが一般に現代の「こころ」をめぐる議論において提起するさまざまな問題や、隣接領域との歴史的あるいは今日的な関連についてもお話ししたいと思います。 評価方法 定期試験 (持ち込み不可) による。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。							
50839	A	表象文化論	林 少陽	教養学部(総合文化) 超域文化科学専攻	水5	105教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 表象文化とは何か 目標概要 この授業は「表象文化とは何か」について、一般的なことを紹介する授業である。主には中国・日本の文化を例に、表象文化と歴史、表象文化と政治との関係などを概説的に紹介する。中国の演劇文化・美術などを紹介する予定であるが、近代日本の「美術」という制度と中国との関連を紹介したい。近代日本と近代中国の具体的な美術、芸術などの作品の読解を通して、東アジアのスケールで、表象文化と「近代」、表象文化と政治などの問題を取り上げたい。表象文化の研究が如何に歴史研究の重要な側面を成しているかを特に紹介したい。毛沢東時代を含む近現代中国の美術史・文化史一般の紹介も例を通して紹介する予定である。 評価方法 参加の積極度と期末レポート 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
50310	A	演劇論Ⅰ	松岡 心平	教養学部(総合文化) 超域文化科学専攻	火2	K113	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 能楽鑑賞入門 目標概要 代表的な能のテキストを読み、また能に関する歴史や約束事などを解説した上で、良いコンディションでの能楽鑑賞をめざしたい。 鏡仙会 (観世流) の11月10日 (金) 6:00p.m.、12月8日 (金) 6:00p.m.の公演の鑑賞を目標にして、授業を進める。どちらも、水道橋の宝生能楽堂での公演。11月公演の能の演目は「源氏供養」「邯鄲 (かんたん)」、12月公演のそれは「富士太鼓」「舍利」の2番立であり、この4曲について、授業で詳しく解説し、実際に能楽堂で鑑賞する。各公演にはそれぞれ2500円程度のチケット代が必要。 敷居が高いと思われがちな能楽 (能と狂言) の世界にじかに触れてもらえたら、と思っている。 評価方法 能楽鑑賞のレポート (2回) と定期試験 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50311	A	演劇論Ⅱ	高橋 宗五	教養学部(総合文化) 超域文化科学専攻	火2	1102教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ヨーロッパ演劇入門 目標概要 ギリシャ悲劇から現代演劇に至るヨーロッパ演劇を代表する作品を読みヨーロッパ演劇の歴史的変遷の基本を学びます。 評価方法 授業中のレポートと期末に提出していただくレポートの両方を考慮して最終的な成績とします。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
50219	A	映画論	刈間 文俊	教養学部(総合文化) 超域文化科学専攻	月5	18号館 ホール	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 中国映画とその表象 目標概要 東アジアの映像世界は、政治的な緊張を一方でははらみながら、目覚しい発展を遂げた経済市場と同じように、その統一市場を形成している。日本アニメや中国の大作映画、韓国ドラマが示すように、映像はたやすく国境を越えていく。だが、映像の越境というテーマは、それほど自明だろうか。日常なにげなく多くの映像表現に接しているが、映像を見れば、それだけで理解できるのだろうか。自分はこう見たという「実感」は、はたして自分が「見た」のか、それとも「見させられた」のか。中国映画をひとつの異文化として観察したとき、そこからなにが見えてくるのかを、なるべく多くの映像素材を使って、多面的に歴史的に考察する。 評価方法 課題映画に対する複数のレポートと、期末の最終レポートを総合的に評価する。すべてのレポートを提出することが、単位の取得には求められる。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51175	A	比較文化論	伊藤 徳也	教養学部(総合文化) 超域文化科学専攻	金5	153教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 日中比較現代文化論入門 目標概要 初学者向け入門講義。20世紀以降の日本と中国の近現代文芸の歴史を比較対照しつつ概観する。そのうえで、いくつかの研究テーマとその内容を紹介する。 評価方法 毎回のペーパーの内容と定期試験を総合的に評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
50220	A	比較文学	佐藤 光	教養学部(総合文化) 超域文化科学専攻	月5	K213	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 比較文学研究入門 目標概要 比較文学とは、各国文学（英文学、日本文学など）の間の影響関係や対応関係を考察する学問です。この授業では比較文学の研究事例を（１）英文学と出会った日本、（２）日本と出会った英文学、（３）クロス・ジャンルの事例としてロンドンのミュージカル研究、という三つの観点から紹介します。 評価方法 定期試験（持ち込み可） 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
51384	A	比較思想	西村 明	文学部	水5	1222教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 宗教の世界/宗教と世界 目標概要 宗教と呼ばれる領域には、さまざまな人や集団や考え方やふるまい方や物や場所やことがらが種々雑多に含まれている。しかし日常的にはそうした人々やものごとに触れる機会は限られている。「宗教はあやしい」とは言うが、では実際、私たちは宗教についてどれほどのことを知っているのだろうか？それで、その「知る」とはどのような意味においてだろうか？また、「日本人は無宗教だ」とよく言われるが、世界を見渡せば日本社会ほどさまざまな宗教的な事象にあふれた社会も珍しい。「無宗教」との自覚も自ら選択した結果というよりも、歴史的経緯として構築された側面も強い。そもそも、「宗教」という言葉自体、よくよく考えてみようとするればするほど輪郭がぼんやりとしてきてははっきりとした像を結ばなくなってしまう。 この授業では、宗教をめぐるさまざまなトピックを紹介しながら、「宗教」について共に考えていきたい。そうした作業を通じて宗教を学問的にとらえるための基礎力を養う。 評価方法 定期試験（60%）・レスポンスカードおよび授業への積極度（40%） 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51183	A	比較思想	大石 紀一郎	教養学部(総合文化) 超域文化科学専攻	火2	8-205	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ドイツにおける「歴史」の思想史 目標概要 ドイツにおける18世紀半ば以降、現代までの「歴史」をめぐる哲学的思考の展開をたどる。テーマとして取り上げるのは、1. 集合名詞単数形の「歴史」(Geschichte)の成立、2. 歴史哲学、とりわけヘーゲルの歴史哲学、3. 歴史研究とその制度化、4. ニーチェの歴史研究批判の位相、5. 歴史的理解に関する20世紀哲学の問いかけ、を予定している。同時に、ドイツやヨーロッパにおける政治・社会の変化との関連も考察する。それによって、現代において「歴史」について語る条件や「歴史」を学ぶ意味について考えるきっかけを提供したい。 評価方法 授業への積極的な参加を前提として、平常点と試験を併せて総合的に評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
51040	A	比較芸術	三浦 篤	教養学部(総合文化) 超域文化科学専攻	金2	525教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 西洋近現代絵画の見方 目標概要 19世紀、20世紀の西洋絵画の見方、考え方を学ぶ。Sセメスターの美術論「西洋伝統絵画の見方」で扱った表象体系が崩壊して、新しい近代のパラダイムに移行する時代の絵画である。19世紀のロマン主義にはじまり、印象派、ポスト印象派、20世紀の抽象絵画、ポップ・アートなど、現在までいたる歴史をたどっていくが、単純に時代順に語るのではなく、主題や造形様式や受容に関わるいくつかの重要な問題を設定して論じる。広い意味における視覚芸術の機能、芸術と社会の関係、芸術家の意義や在り方等々、価値観が揺らぐ時代の美術を考えるためのテーマは少なくない。講義はスライドを使って、作品を具体的に分析しつつ行う。 評価方法 レポート 教科書 著者（訳者）：三浦 篤 書名：まなざしのレッスン ②西洋近現代絵画 出版社：東京大学出版会 ISBN：978-4-13-083031-7 ガイダンス 特に行わない。							
51176	A	西洋思想史	高橋 久一郎	教養学部(前期課程) 哲学・科学史	金5	1311教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 われわれの生において有徳であることはどれほど大事なことか？ 目標概要 現代における倫理問題を考えるに当たって、不可欠な幾つかの考え方について紹介するとともに、その関係について考える。 今年度は「徳性」という概念を核にして、検討する。 評価方法 原則的には、二回のレポートで評価する（授業への貢献を加味する）。 教科書 著者（訳者）：フット フィリッパ (Foot, Philippa) 書名：人間にとって善とは何か (Natural Goodness) 出版社：筑摩書房 (Oxford U.P.) ガイダンス 特に行わない。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51177	A	経済思想史	松原 隆一郎	教養学部(前期課程) 経済・統計	金5	1225教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 経済思想史 目標概要 経済思想史について概説する。原著者の文章をプリントで配布する。 評価方法 期末に、全員に試験を課す。受験しなかった者は受講しなかったとみなす。試験問題の一部は「古典を一冊読み、その感想を解答用紙に書け」というもので、持ち込みは許さない。 教科書 著者（訳者）：松原隆一郎 書名：経済思想入門 出版社：ちくま学芸文庫 ガイダンス 特に行わない。							
50012	A	科学史	東 慎一郎	教養学部(前期課程) 哲学・科学史	月1	521教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ヨーロッパ科学史——古代から初期近代まで 目標概要 本授業では、古代から近代初頭までのヨーロッパにおける科学（自然知）と自然観の歴史を概観します。分野としては、自然観や自然哲学、天文学、物理学や化学、数学や生命論に触れてゆきます。様々な学説の誕生、普及や衰退を追うとともに、そうした学説的変遷の背後にある社会的歴史的事情についても考えます。また、科学に関連して議論された哲学的、認識論的、学問論的問題をも取り上げるでしょう。科学的思考と、人間、世界、認識をめぐる考察との関連を理解することにより、ヨーロッパの科学と思想の多面的な広がりについて認識を深めます。 評価方法 中間テスト（40点満点）と定期試験（60点満点）の合計点によります。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

総合科目B 国際・地域

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50312	A	国際関係論	鶴見 太郎	教養学部(前期課程) 国際関係	火2	531教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 国際社会におけるミクロとマクロ 目標概要 国際関係論の対象は国際社会（地球社会）である。地球大の、あるいは広範な地域にわたる制度や勢力、経済、法、さらには文化や記憶がテーマになることが多く、議論のスケールは壮大である一方で、どこかつかみどころのない話に感じられることもある。人々が日常的に実感できるミクロな次元とそうしたマクロな次元はいかに関わるのか。例えば、誰も望まない戦争や貧困はなぜ発生し、誰もががかわるはずの環境問題に多くの政府が後ろ向きなのはなぜか。本講義では、国際社会を複数の次元や視点から分析し、それら相互のかかわりを見出していく視座の涵養を目指す。 評価方法 授業参加度30％・最終試験70％ 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
50313	A	国際関係史	酒井 哲哉	教養学部(前期課程) 国際関係	火2	1232教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 国際関係史 目標概要 幕末・維新时期から、太平洋戦争終結にいたるまでの、日本外交の展開を、東アジア国際秩序の変容と関連付けながら、歴史的に概観する。 評価方法 通常の筆記試験による。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
50314	A	現代国際社会論	石井 梨紗子	教養学部(前期課程) 国際関係	火2	1225教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 国際協力論序説 目標概要 本講義は、途上国の「開発」に向けた非軍事的支援の総称としての「国際協力」(International Development Cooperation)について、その担い手となる主体と活動の内容を多面的に理解することを目的としている。具体的には、各国政府による政府開発援助(ODA)を始めとした二国間支援、国際機関による多国間支援、および非政府組織(NGO)を通じた支援についてそれぞれの特徴を概観する他、企業や個人による取り組みについても扱う。 国際協力活動への評価はとかく二極化しがちであるが、本講義を通じて「国際協力」を捉える尺度の多様性を学んで欲しい。講義の中では、講師の開発コンサルタントとしての経験に基づくプロジェクト事例等も紹介していく予定である。 国際政治イシューとしての「開発」や「援助」に関心を持つ学生の他、途上国の社会・文化全般に関心を持つ学生の参加も歓迎する。 評価方法 定期試験の成績と講義への参加度合から総合的に判断する。(ただし、受講者数が少ない場合、定期試験に替えてレポートの評点とする場合もある。) 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
50949	A	地域文化論Ⅱ	ギルバート ヘレン	教養学部(総合文化) 地域文化研究専攻	木4	KALS (17号館 2階)	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 Insiders and Outsiders: Imagining Australia 目標概要 This course offers new insights into the age-old theme of cross-cultural encounter by showing how insiders and outsiders have shaped Australia as a distinctive nation in the Asia Pacific region over the last 250 years. Students will discover aspects of Australian history, geography and culture, as seen through the eyes of story tellers, writers, artists, filmmakers, cartoonists, photographers and poets. The general aim is to explore how national identity is created and debated through real and imagined encounters across different settings, times and contexts. Students taking this course will become familiar with key elements of Australian history and culture by learning to critically assess images and texts that reveal the nation's changing role in its region. Classes will also give students opportunities to improve English reading, writing and speaking skills. 評価方法 Assessment is based on class participation, including a short presentation (5 minutes), and one piece of analytical writing (approximately 600 words). 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51162	A	地域文化論Ⅱ	外村 大	教養学部(総合文化) 地域文化研究専攻	金4	516教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 アジア地域における紛争・対立・葛藤と「和解」の模索 目標概要 この授業では、アジア地域における、一国内あるいは複数の国の間での、人びとの紛争・対立・葛藤について、個別の事例を毎回取り上げて論じていきます。具体的には、それがどのようにして起こり、その解決のためにどのような取り組みや政策がとられてきたのか、またそれが効果をもったのか、限界があるとすればどのようななぜであるか、などを、それぞれの問題に詳しい研究者や、当事者、紛争解決のために活動してきた市民運動家などをお招きして話をうかがい、受講者と議論していきます。そして、それぞれの事例について知り、それを比較することで、地域文化研究のあり方を学んでいきます。 また、そうした紛争・対立・葛藤を乗り越えて、アジア共同体をどう展望していくのかについても議論していきます。 評価方法 当該諸問題に関して毎回簡単なコメントペーパーを出してもらう。また、期末には4000字～6000字程度のレポートを提出してもらう予定である。これらのほかに、授業への出席、授業における討論への参加貢献度などを総合的に判断して成績を評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
51041	A	比較地域史	相澤 隆	教養学部(前期課程) 歴史学	金2	521教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 西洋都市史 類型・形態・自治 目標概要 歴史上都市の出現はどのような意味をもっていたのか。このような問を意識しながら西洋都市、とりわけ中世・近世の都市の歴史の概略を、時代ごとに特徴的な都市類型の変遷のかたちで捉えていく。これによってたんに都市の歴史だけでなく、ヨーロッパの歴史と文化の時代的変遷のなかで都市の果たした意味を展望できるように努めたい。 授業ではまず都市とは何かという都市概念の捉え方を論じた後、都市の歴史を古代から順に取り上げていく。叙述の中心には中部ヨーロッパの都市の発展をおく。この地域の都市の独特な性格や、固有の都市類型は常に念頭において講義するが、ヨーロッパの南・東・西とのそれぞれの交流の厚みがこの地域の都市に大きな多様性を与えており、したがってヨーロッパの他地域との関連や比較が重要な意味をもっている。またマックス・ウェーバーの都市類型論も視野においてヨーロッパに独特な都市の発展についても考慮に入れたい。とりわけ中部ヨーロッパは自治都市が栄えた地域であるので、自治の発達をひとつの目安において講義を展開するつもりである。 評価方法 定期試験の評価が成績の基本的な資料となる。他に出席などの平常点を加味するかどうかは受講者の数等によって決定する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
51163	A	日本文化論Ⅰ	松岡 心平	教養学部(前期課程) 国文・漢文学	金4	K113	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 翁（おきな）論—日本演劇の発生と天皇制の変容 目標概要 14Cに世阿弥が大成した「能」という仮面劇の源流は、鎌倉時代に生まれた〈翁〉という儀礼芸能にさかのぼる。この講義では、まずは〈翁〉という儀礼がどのようにして発生し、それがまた「能」という仮面劇にどのように展開していったのか、を考えてみたい。 〈翁〉の発生のプロセスで重要なのは、〈後戸（うしろど）〉という空間ないし観念である。〈後戸〉は、仏堂中央に鎮座する本尊の背後あるいは裏側の空間である。〈後戸〉は、貴と賤、聖と俗、現世と冥界の接点・境界であって、力の発生の場所であり、見方をかえれば、国家の拠り所としての仏教と、大地神のような土着の神々が結びあい習合していく、結節点ともいえる空間であった。 この〈後戸〉を母胎として〈翁〉が発生してくるという事象は、平安末から鎌倉時代にかけて、広般に日本の古層の神々、大地神のものが復活してくる、その一環であった。 天皇という存在もまた、『古事記』『日本書紀』に描かれるような国家的な神道世界だけに頼るのではなく、それらを支える古層の神々とも秘かな契約を結ぶことで新たな力を得て、復活をはかろうとするのである。天皇制の変容といえる事態である。 ともあれ、能という芸能、とりわけその発生の局面を注視することで、日本の政治・文化・宗教史の読み換えをはかってみたいと思う。 評価方法 定期試験 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50778	A	日本文化論Ⅱ	谷口 洋	教養学部(前期課程) 国文・漢文学	木1	107教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 文庫本に見る日本の中国受容 目標概要 日本は古来中国文化を受容してきたが、もとよりすべてを同じように受け容れたのではなく、むしろかなり選択的に受容してきた。ここでは、現代日本における中国受容のあり方を示す簡便なバロメーターとして、文庫本で読める中国の書物にどんなものがあるかということに着目してみる。中国文化を知る上で重要な著作や、中国人が熱愛してやまないものでも、どここの文庫にも入っていないものは意外に多い。また、文庫本のラインナップも、時期によって少なからず変遷している。それらのことどもの背景を考えることによって、日本の中国に対するまなざしや、日本の出版文化について考えると同時に、文庫本という身近なメディアによる中国文化論への入り口ともなることを企図している。 評価方法 期末のレポートを主とする。中国の文献のうち、文庫本で読めるものを何か読破してほしいと考えている。またセメスター中の課題を平常の学習状況として加味する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。							
51042	A 1	日本語日本文学Ⅰ (理科生)	小森 陽一	教養学部(前期課程) 国文・漢文学	金2	164教室	1年 理科 2年 理科
講義題目 宮澤賢治『注文の多い料理店』を読み直す 目標概要 『注文の多い料理店』は、1924年12月に刊行された宮澤賢治生前の唯一の童話集である。舞台となる「イーハトヴ」は、3.11の被災地となった岩手県である。明治三陸大地震の年に生まれ、昭和三陸大地震の年に死んだ宮澤賢治の世界を3.11以後の状況の中で読み直す。 評価方法 定期試験期間中における筆記試験 教科書 著者（訳者）：宮沢賢治 書名：宮沢賢治全集〈8〉 出版社：ちくま文庫 ISBN：4-480-02009-8 ガイダンス 特に行わない。							
51043	A	東洋古典学	溝部 良恵	教養学部(前期課程) 国文・漢文学	金2	1222教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 中国文言小説の成立と展開 目標概要 近代以降西洋の影響を受け、中国においても「小説（=novel）」は、最もよく書かれ、読まれる文学ジャンルになっている。しかし本来中国においては、「小説」という言葉は、『莊子』に見られる言葉で、文字通り「小さな説、些細な言説」といった意味で使われていた。また中国では孔子が「怪力乱神を語らず（不語怪力乱神）」と説き、超自然や虚構を用いた話を記すことを抑制した。そのため「（現代的な意味での）小説」の発生は遅く、六朝時代の「志怪」を経て、唐代の「伝奇」に至りはじめて作者が意識的に虚構を用いた「小説」が書かれるようになったと言われる。本講義では、こうした中国小説（とくに漢文体で書かれた文言小説）の成立の過程と展開、中国的な虚構のあり方を考えていく。その際、関連するジャンルである歴史書、思想書、詩文や白話小説との関係や科学などの社会制度との関連、目録学上の小説の位置、版本学や近代以降の中国小説研究史、日本文学との関連にも触れ、小説史を追うだけでなく、中国の歴史、文化の特質の一側面を理解することを目指す。 評価方法 主として期末時に提出するレポートで評価する。授業時に小レポートを課すこともある。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。							
50221	A	歴史社会論	二宮 文子	教養学部(前期課程) 歴史学	月5	107教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 前近代「帝国」の諸相：ムガル朝とその時代 目標概要 南アジアのムガル朝は、多様な言語・宗教・文化を持った人々を統合し、さらにユーラシア各地やヨーロッパからの移住者・訪問者を引きつけた大帝帝国であった。この授業では、ムガル朝の諸制度、社会、文化などを通して、多様な要素を統合する前近代の「帝国」の様相を理解することを目指す。 評価方法 授業参加 3割（質問への反応） 課題 7割 定期試験は行わない。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50761	A	歴史社会論	田中 創	教養学部(前期課程) 歴史学	水5	521教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 古代ローマの家族と法 目標概要 紀元6世紀の東ローマ皇帝ユスティニアヌスが編纂させた『法学提要Institutiones』第1巻の拙訳と2世紀の法学者ガイウスの『法学提要』第1巻を教材として用い、古代ローマ社会における家族のあり方とその変化を考える。史料から読み取れる法規範を額面通りに学ぶだけではなく、法による規制を必要とした実社会のあり方、帝国の多様な社会構成・民族構成についても考察し、家族・社会の多様な実態を歴史的に把握することが本授業の最大の目的である。同時に、ローマ法についての基礎的な知識を獲得するとともに、古典期法学者の著作との比較を通じて、時代の要請に依じて法原則が修正されていった歴史的過程についても概観したい。 評価方法 平常点（授業への参加姿勢、コメントシート、授業内報告）と期末レポートに基づいて判断する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
51385	A	歴史社会論	高山 博	文学部	金5	518教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 国際政治・経済・社会の変容とメディア 目標概要 グローバル化と情報化が急速に進展する中、世界の構造も日本の社会やシステムも劇的に変貌しつつある。国内外で活躍する人材には、国外の情報を的確に選別・分析し、世界の中における日本の位置や、世界全体の動きを冷静に見通す能力がますます必要とされている。この授業では、国内外のメディアから出される重要な情報の取得の仕方や分析の仕方を学ぶ。変革期を乗り越え、グローバル化した世界でリーダーシップを発揮できる人材となるために必要な知識の獲得と情報分析技術の取得を目指す。 最初の授業で、受講者をヨーロッパ地域、アメリカ地域、アジア・アフリカ地域の三つのグループに分け、毎週各グループから一人ずつ、その担当する地域に関する重要な記事（日本語以外の新聞・雑誌からのもの）の報告と分析を行う。 選考を行うので、氏名、学生証番号、学年、科類、連絡先（メールアドレスなど）とともに、受講希望理由をA4サイズの紙一枚にまとめ、最初の授業に持参すること。 ※履修人数を18名に制限する。 評価方法 授業での報告・ディスカッションを基に評価する。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
50779	A	近現代史	外村 大	教養学部(前期課程) 歴史学	木1	156教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
【注意】 この授業は、2014年度以前の入学者には、総合科目B系列 近現代史Ⅱ として開講される。 講義題目 日本帝国の戦時動員 目標概要 この授業では、1930年代末から1945年にかけて展開された、日本帝国による労働力・「慰安婦」・植民地出身者の兵士等としての動員について、実態、背景、それによる被害とその影響について論じる。その際、本国だけでなく植民地での動員についても取り上げる。また、史料を読み、事実を確認するという、歴史学の基礎的な訓練も行い、過去に起こったことが現在生きている人びとにどんな意味を持つのかについても考えていく。 評価方法 セメスター中に提出してもらった課題および期末のレポートをもとに評価を行う。 教科書 著者（訳者）：外村大 書名：朝鮮人強制連行 出版社：岩波書店 ガイダンス 特に行わない。							
50315	A	歴史と文化	岩本 通弥	教養学部(前期課程) 歴史学	火2	1212教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 民俗学から見た日本のモダニゼーション 目標概要 衣生活に関わる日本の近代は、一貫して和装から洋装への転換であった。しかし、いかに洋風化が進んでも、例えば玄関や上がり框では履物を脱いで素足で上がったり、あるいはスリッパという室内履きに履き替えることは、今も病院や学校などに残されている。本講義では柳田国男の『明治大正史世相篇』にならって、それに引き続いて、昭和・平成の世相の変化を、民俗学的に概観する。 評価方法 定期試験 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50971	A	歴史と文化	山口 輝臣	教養学部(前期課程) 歴史学	金2	1321教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 食からみる日本の近代 目標概要 授業の目標 受講生が日本や近代といったことを自らで考えていくための素材を提供すること。そして、そうした材料について受講生が考えていくことにより、歴史研究という営為を理解する手助けとなること。 授業の概要 日本の近代について考える方法には様々なものがある。今回は食という視点から検討してみることにする。 日本の近代について、政治や経済といった分野なら、受講生の多くはそれなりの知識を持っているはずである。ところが、食についてはどうだろうか？ そしてそれはどうしてだろうか？ そんなことをきっかけに、食という切り口から、日本とか近代とかいうものについて受講生が考える素材を提供してみたい。 対象とするのは19世紀中頃からおよそ100年ほど。 評価方法 授業への参加状況と定期試験を1：4で評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
50222	A	世界史論	松原 宏之	教養学部(前期課程) 歴史学	月5	162教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 「転回」後の近代史ーアメリカ合衆国の建国から「トランプ」までを事例に 目標概要 アメリカ合衆国をケースに、「近代社会」を考えるためのレッスン。現代歴史学が経験したいいくつかのターン、とくに文化論的転回がわれわれの歴史像にいかなる影響をおよぼしうのかを把握するのが第一の目標。それら歴史像に評価を下せるのが第二の目標。その上で、「トランプ」にいたるアメリカ社会の展開を歴史的に説明しなおすのを目標としたい。 評価方法 レポート 小レポートと講義への参加 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。							
50762	A	世界史論	黛 秋津	教養学部(前期課程) 歴史学	水5	1321教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 世界史の中のオスマン帝国 目標概要 近世から近代にかけてユーラシア大陸に存在したいくつかの巨大帝国の中で、オスマン帝国は600年の長きにわたって存続し、世界史の中で大きな位置を占めている。この帝国は、イスラーム世界のみならず、西欧やロシアをはじめとする他の地域の歴史にも大きな影響を与えた。この授業では、オスマン帝国の歴史をたどりながら、同帝国がイスラーム世界や周辺世界（主に西欧とロシア）にいかなる影響を与え、世界史の中にいかに位置づけられるのか、という問題を考える。 評価方法 授業期間中に課すいくつかの課題と、期末レポート（5～6000字程度）により評価する 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
51383	A	世界史論	島田 竜登	文学部	木2	1101教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 近代世界とアジア・日本 目標概要 本講義では、16世紀以降の近代世界の諸相を検討しながら、グローバル化時代の現代に生きるわれわれにとって、世界史とは何かということを考える。15世紀末から、アメリカ大陸を含めた世界の一体化が急速に進展する。モノや人、情報がグローバルなスケールで移動し、人々の生活が大きく変化し、現在のわれわれの社会を生み出していったのである。本講義は近年盛んとなっているグローバル・ヒストリーの立場から近代世界を考察し、その中で東洋史や西洋史、日本史の意義を考えてみたい。 本講義は、いずれ文学部に進学し、東洋史、西洋史、日本史といった歴史研究を志す学生にはもちろん、社会科学や自然科学を専門とするも、とくに長期的な視点に立って現代を考えようとするに関心のある学生にも有意義なものとなるであろう。 評価方法 試験を実施する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50316	A	文化人類学Ⅰ	田辺 明生	教養学部(前期課程) 文化人類学	火2	511教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 文化人類学入門—現代世界を問い直す 目標概要 現代世界に生きる私たちにとって、人類学的知がもつ意義と可能性について論ずる。つきつめて言うならば、「自己」と「他者」、「人間」と「非人間」、「社会」と「自然」の関係における対立・分離（二）と融和・統合（一）の両面を奥深く認識することこそが、人類学的知の要諦である。一が二であり、二が一である世界とはどのようなものか。そうした知のありかたは、現代世界にいかなる意義と可能性を持つのか。私たちが生きるアクチュアルな問題群をとりあげながら、人類学からのオルタナティブの考え方を提示したい。本授業では、人類学的思考の基礎を学んでもらい、そこから現代世界を問い直すきっかけをつかんでもらうことを目標とする。 評価方法 授業毎のリアクションペーパー（30%）、最終レポート（70%） 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
51178	A	文化人類学Ⅱ	箭内 匡	教養学部(前期課程) 文化人類学	金5	513教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 文化人類学的思考—映像人類学的アプローチ— 目標概要 文化人類学の原点は、世界の諸民族を研究する「民族学」という学問である。異なる文化を生きる人々を、フィールドワークの作業を通じて、どのように理解してゆくか——映像的手段（写真、映画、ビデオ等）は、歴史的に見てもこの過程で決して無視できない役割を果たしてきた。この授業では、映像を積極的に援用しつつ文化人類学という学問の歴史をたどる中で、文化人類学的思考とはいかなるものであるのかを議論していきたい。 いま私は、文化人類学の原点は「民族学」にあるといったけれど、実は現在の文化人類学のフィールドは、先端科学のラボやインターネット上の空間など、「民族学」からは程遠いような、現代世界のあらゆる場所にまで広がっている。実際、外から見れば、一体どうしてこれが一つの学問なのかと戸惑っても不思議ではない。しかし、授業において数多くの映像を見る経験を積み重ねる中で、そのように外側からは把握するのが困難な、今日の文化人類学の全体的なあり方を、よりよく理解することができるのではないかと思う。 最後に、この授業を通じて、映像ないしイメージというものの学問的作業における意味も考えてみたい。学問は一般には言葉を使って—とりわけ文字を使って—なされる。これに対して文化人類学者は、フィールドワークという作業をつねに重視してきたが、それは「まだ文字に書かれていないもの」、「まだ言葉では表現されていないもの」を把握するためであり、そうしたまだ言葉や文字になっていないものが考察対象として決定的に重要だと考えるからである。この点は、とかく机上の作業になりがちな学問一般について反省的に考える機会にもなりうると思う。 評価方法 試験（予定）。 教科書 著者（訳者）：村尾静二・箭内匡・久保正敏編 書名：映像人類学（シネ・アンソロポロジー）—人類学の新たな実践へ 出版社：せりか書房 ISBN：978-4796703338 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

総合科目C 社会・制度

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50780	A	法と社会	西土 彰一郎	教養学部(前期課程) 法・政治	木1	1221教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 法理論の探求 目標概要 ある論者の言葉を借りるならば、法理論とは「法システム全体が、環境に適合しつつその首尾一貫性を保つことができているかということについての、法システム内部における法の『反省理論』である」。この講義では、この意味での法理論をとともに探求することを目的としている。その際、社会学における社会システム理論など隣接分野の知見を用いつつ、法の理論的反省を企てている「教科書」を読みとくことにより、以上の目的を追究してみたい。 理論的反省の経験は、「思考の型の中で全体を推論すること」である。したがって、法の内的視点からとはいえ、反省理論を探求することは、様々な分野の学生にとっても刺激的であるように考えられる。 評価方法 定期試験および授業の参加度で評価する。 教科書 著者（訳者）：トーマス・ヴェスティング（毛利透＝福井康太＝川島惟＝西土彰一郎・訳） 書名：法理論の再興 出版社：成文堂 ガイダンス 特に行わない。							
51044	A	法と社会	山元 一	教養学部(前期課程) 法・政治	金2	761教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 法と社会——グローバル化時代の日本国憲法 目標概要 本講義は、日本国憲法とそれを取り巻く諸問題について検討し、それを通じて、憲法の基本原理とその現代的課題についての理解を深めることを目標とします。その際の視点としては、法の歴史的考察や比較憲法にも留意しつつ、グローバル化時代の日本国憲法がいかなる役割を果たすべきなのかについて、考えていきたいと思います。 評価方法 期末に実施される試験に基づいて成績評価を行います。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
51045	A	日本国憲法	渋谷 秀樹	教養学部(前期課程) 法・政治	金2	1106教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 日本国憲法 目標概要 教科書は、以下の体系に沿ってかかれています。 第1章 憲法総論 1憲法の概念、2憲法の性質、3法の支配（立憲主義）、4憲法改正の限界 第2章 人権総論 5人権の根拠と限界、6人権の享有主体、7私人間効力、8新しい人権 第3章 人権各論 9法の下での平等、10思想・良心の自由、11宗教の自由、12表現の自由、13刑事手続上の権利、14財産権、15生存権、16選挙権 第4章 統治機構総論 17権力分立、18民主主義と違憲審査制、19天皇、20平和主義 第5章 統治機構各論 21立法の概念、22行政の概念、23司法の概念、24地方自治の本旨 授業は、より体系的なものに組みなおし、また適宜時事的な問題にも触れながら、憲法の基本が理解できるようなものとしたい。 なお、憲法の条文を適宜参照するので、教科書のほかに『六法』を用意されたい。 評価方法 定期試験による。 教科書 著者（訳者）：渋谷秀樹 書名：憲法への招待 新版 出版社：岩波書店 ISBN：978-4-00-431470-7 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50223	A	現代社会論	丹羽 美之	教養学部(前期課程) 社会・社会思想史	月5	1106教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
【注意】この授業は、2014年度以前の入学者には、総合科目C系列 マス・メディア論 として開講される。 講義題目 テレビ番組で見る戦後日本 目標概要 日本でテレビの本放送が始まって60年あまり。テレビは単に戦後日本の歴史を映し出すだけでなく、戦後日本の歴史を積極的に作り出し、動かしてきた。この授業では、ドキュメンタリー、ドラマ、バラエティなど、それぞれの時代に放送されたテレビ番組を視聴しながら、テレビと戦後日本の歴史を多角的に振り返る。 評価方法 ミニレポート、期末レポートによって総合的に評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51046	A	比較社会論	傅 凱儀	教養学部(前期課程) 社会・社会思想史	金2	531教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
【注意】この授業は、2014年度以前の入学者には、総合科目C系列 経済人類学 として開講される。 講義題目 Economic Anthropology 目標概要 This course introduces students to the issues, methods, and concepts of economic anthropology. Economic anthropologists try to ask questions about human nature, power and social life in all cultures. In doing this, economic anthropology takes a position in the main intellectual battlefield of the last 100 years, engaging with dramatic questions about the basic nature of the human condition. The material for the course will consider issues of production, distribution, and consumption in non-Western societies as well as Western societies. We will be thinking about the purpose of work and material goods, the comparison of gifts and commodities, why poverty exists, the evolution of regional and global economies, and the way contemporary capitalist economies shape other aspects of society and culture. 評価方法 Grades are based on participation in class activities (60%) and a final paper (40%). 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51047	A	政治経済学	丸川 知雄	教養学部(前期課程) 経済・統計	金2	162教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 マクロ・ヒストリー 目標概要 人類の歴史を巨視的にとらえるさまざまな歴史観（マクロ・ヒストリー）を紹介し、その妥当性を検討します。マクロ・ヒストリーとは、単に歴史を記述するものではなく、歴史の動きを内在的または外在的要因によって説明しようとする試みです。もちろん歴史学とは無縁ではありませんが、むしろ思想の系譜としては、哲学や政治思想、経済思想の分野から生まれてきたものです。マクロ・ヒストリーには、技術や生産力の成長が社会の変動をもたらす、自然環境によって社会の発展パターンが決まる、といったように客観的な条件によって人類の歴史を説明するものと、民主主義や自由、あるいは特定の宗教などの理念が歴史を動かすと説明するものがあります。また、おのおのの社会の内在的発展を見ようとする歴史観、社会の間の相互作用を重視する歴史観、さらに世界全体を見なければ意味がないとする歴史観など、歴史を見る単位による類型化もできます。こうしてさまざまな歴史観を対比し、関連づけ、類型化することを試みたいと思います。また、理論の紹介にとどまらず、できればデータを用いて理論を検証することも試みたいと思います。最後に、現在は歴史の転換点か歴史の直線路にあるのかともに考えましょう。 評価方法 レポートおよび定期試験によって行います。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50317	A	計量社会科学	清水 剛	教養学部(前期課程) 経済・統計	火2	K011	1年 文科 理科 2年 文科 理科
【注意】この授業は、2014年度以前の入学者には、総合科目C系列 社会統計学 として開講される。 講義題目 計量社会科学/社会統計学 目標概要 本講義では、「数値によって社会を見ること」の問題点と基本的な統計分析の考え方を学んでいく。社会に関するさまざまなデータは客観的に存在しているようなものではなく、それ自体が社会的な条件の下で形成される。この点を踏まえて、まずデータを「読む」とはどのようなことかについて講義した上で、その上で統計分析の考え方を述べていく。なお、必ずしも高度な統計の知識を前提とするわけではないが、基礎的な数学および統計の知識を持っていることが望ましい。 評価方法 定期試験による 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
50763	A	現代教育論	丹野 義彦	教養学部(前期課程) 心理・教育学	水5	1323教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 臨床と教育の心理学 目標概要 臨床と教育に関連したテーマについて、論点や事実を具体的に整理しながら述べる。例えば下記のようなテーマを論じる予定である。 ①教育病理の歴史 ②いじめ（集団制裁から遊び型いじめへ） ③非行（ツッパリスタイルの持つ意味） ④校内暴力（生徒間暴力から対教師暴力） ⑤不登校（行きたいのに行けないのはなぜか） ⑥不安障害の症状とメカニズム（不安をどのように克服するか） ⑦抑うつ症状とメカニズム（抑うつとアパシー） ⑧学歴社会の病理（学歴は重視されているか） ⑨大学入試過熱（共通一次は大学をどう変えたか） ⑩大学の一般教育（一般教育は必要か無用か） ⑪世界の教育（アメリカと日本で教育や大学はどう違うか） ●教育学や教育心理学に関するアンケートや調査を頻繁におこない、フィードバックしていく予定。 評価方法 成績の評価は、試験が5割、レポートが5割とする。レポートは3通程度。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
50080	A	教育臨床心理学	石垣 琢磨、 石川 亮太郎、松島 公望	教養学部(前期課程) 心理・教育学	月2	1101教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 教育臨床心理学 目標概要 臨床心理学は、多様な個々のクライアントの具体的福祉向上をめざす、実践（心理臨床）のための「学」である。しかし、それを学問体系として、あるいは、科学として理解するためには、精神分析学や精神医学とならび、認知・発達・社会などの心理学諸分野の知識が不可欠である。本講義では、「発達」をキーワードに、臨床心理学と、それに基づく教育支援の理解を目的とする。 評価方法 定期試験を行う。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50950	A	教育臨床心理学	前田 基成	教養学部(前期課程) 心理・教育学	木4	900教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 青年期の臨床心理学 目標概要 近年、いじめや不登校の問題行動のほか、自然災害や犯罪被害に関連して心のケア、カウンセリングということが社会的に注目されている。本講義では心の健康である精神保健、適応論と不適応、中学生・高校生の青年期に見られる問題行動などについて、その心理的メカニズムを臨床心理学の基礎知識に基づいて学習する。 評価方法 定期試験による。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
60234	A 2	教育社会科学	村上 祐介	教育学部	金2; 火2	522教室	1年 文科 理科
講義題目 教育実践・政策学入門 目標概要 (目標) この授業は、教育の「現場」と「制度・政策」がそれぞれどのように動いているのか、また両者がどのように関係しているのかを理解したうえで、現代の教育課題を分析する視点を獲得し、それらの課題について自分で考えることができるようにすることが目標である。 (概要) 教育の実践や政策に関わる領域は多岐にわたる。この授業では、主に社会教育、学校教育、教育行政を専門とする3名の教員が交代で授業を担当し、それぞれの研究分野について、教育実践と制度・政策の実態、および相互の関係がどう展開しているのかについて、基本的な事項を含めながら講義を行う。 評価方法 担当者ごとにレポートまたは小テストを課す。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
51357	A 1	高等教育論入門	小方 直幸	教育学部	木5	521教室	1年 文科 理科
講義題目 高等教育概論 目標概要 この授業は、自身の経験を超えて大学を理解する機会を提供することで、今後の受講生の学生生活の一助となることを目標としています。具体的には、日本の大学も相対化できるようにするため、制度や歴史、学生生活等に関わるいくつかのトピックスを取り上げ、日米大学の比較を通じて、大学の多様性や大学のあり様を学びます。 評価方法 授業への参加状況と、期末レポートによって成績を評価します。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							

総合科目D 人間・環境

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50224	A	地球環境論	後藤 則行	教養学部(前期課程) 国際関係	月5	521教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 地球環境問題概論～学際的アプローチによる検討 目標概要 地球環境問題は、近代産業社会の急激な発展に伴って引き起こされ、今後さらなる深刻化の様相が危惧される、地球規模の物質循環および生態系を含む自然環境と人間活動の相互関係におけるバランスの喪失（破壊）と認識される。そして、その方向転換のために、従来の経済成長至上主義、大量生産（消費）、大量廃棄型の社会・経済構造、ならびに我々のライフスタイルの変革が迫られている状況にある。人類は、明るい未来に向けて賢明な対応ができるのだろうか？ 本講義では、こうした基本的問題意識を背景に、「人間社会（活動）と自然環境の調和（共生）」という永遠のテーマを理念軸に地球環境問題の現況を概観し、主として社会科学的視点から問題の構造的な理解を深め、今後の対応策を検討する。より具体的には、地球温暖化問題を主たる対象とし、規範とすべき指針として提唱されている「持続可能な発展（Sustainable Development）」の実現に向けて、多様な学問的視点（科学・技術工学、経済学、国際政治学、他）を取り入れた学際的アプローチによる検討、ならびに将来展望を試みる。受講生は、多角的な視点から対象を見ることが学んでほしい。 評価方法 期末筆記試験（持込み不可）。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。							
50318	A	環境物質科学	角野 浩史	教養学部(前期課程) 化学	火2	1322教室	1年 文科 理科
講義題目 物質循環と環境化学 目標概要 環境問題は近年、高濃度汚染による局地的な被害（いわゆる公害問題）から低濃度汚染による地球規模の慢性被害へと、質的に変化を遂げてきた。環境中に排出された化学物質はどのような挙動をとり、どのような運命をたどるのであるか。そのことを考える際、忘れてはならない事は、もともと天然においても化学物質は動いているのであり、地球上での循環・滞留を繰り返しているという事である。 本講義では、環境化学・地球化学の立場から、環境中における種々の化学物質・元素の自然の分布とそれに対する人為の影響について検討する。具体的なテーマとしては、CO₂による地球温暖化、フロンによるオゾン層破壊、酸性雨などについても取り上げる。 評価方法 定期試験と平常点 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
50268	A	生態学	伊藤 元己	教養学部(前期課程) 生物	火1	512教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 生態学 目標概要 生態学は、身近な環境での生き物の生活史から、地球レベルでの生物圏の挙動や物質循環に至るまで、広いスケールを対象する。同時に、個体内の遺伝的多様性、個体レベルでの種多様性、個体群（集団）や生物群集の動態と多様性、そして物質循環とエネルギー流を示す生態系に至るまで、多段階の階層性を持つことになるので、生態学の理解は多岐に渡り、一筋縄ではいかない面がある。しかし、それが自然界で生活している生き物と生態系の実態であり、生態学を学ぶ面白さでもある。 本講義の前半は伊藤が担当し、まず生態学とはどのような学問かを紹介した後、主に植物生態学とフィールド生態学の視点から、生物多様性とはなにか／保全生態学／植物と動物の共進化／植物の生理生態／植物の生態分布、などを解説する。後半は山道が担当し、主に動物生態学と数理生態学の視点から講義を行う。内容は個体群成長と生活史／生物間相互作用／多種共存と群集動態／個体群動態と食物網／物質循環とエネルギー流／生態と進化の相互作用である。 全体として、基礎科学としての生態学だけに留まらず、人間社会との接点に位置する自然環境や生物多様性の保全、そして生態系への人為的負荷と地球環境への視点など、応用的な側面も併せて講義する。 評価方法 定期試験 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50903	A	社会環境論	梶田 真	教養学部(前期課程) 人文地理学	木3	1101教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 地域開発と地域の動態 目標概要 地域的不平等発展という言葉があるように、経済成長は必ずしも全国一様の発展をもたらすわけではなく、成長地域と成長から取り残される地域を生み出すことになります。このような中で、中央政府は“均衡ある国土の発展”といった観点から、経済成長から取り残された地域の開発を推進し、後進地域自身も格差を埋めようと様々な開発事業を行ってきました。しかし、こうした政策・取り組みは意図するような成果をあげることができたのでしょうか。また、経済面以外の部分を含め、地域にどのような影響を及ぼしたのでしょうか。本講義では「虫の目」の視点から、個別地域の動態を丁寧に跡づけていくことによって、これらの点について考えていきたいと思います。 評価方法 成績はレポートによって評価します。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
50192	A	社会生態学	松原 宏	教養学部(前期課程) 人文地理学	月4	K011	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 産業立地と地域経済の実態 目標概要 本講義では、日本の地域経済の実態を事例を通して学ぶとともに、地域経済と地域政策の理論について理解を深めることをねらいとする。授業は3部からなり、第1部地域経済の理論では、経済地理学独自の経済地域のとらえ方、地域経済循環と地域構造の考え方を紹介する。第2部では、日本の地域構造の歴史的变化をおさえた後に、都市地域、工業地域、農山村地域の事例をもとに、現代日本の地域経済の実態をみていく。第3部では、地域経済政策の理論を解説した後、日本における地域政策の歴史と今後のあり方を検討する。 評価方法 試験 数回書いてもらう質問票も評価に含める 教科書 著者（訳者）：松原 宏編 書名：地域経済論入門 出版社：古今書院 ガイダンス 特に行わない。							
50225	A	地域生態学	永田 淳嗣	教養学部(前期課程) 人文地理学	月5	516教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 人文地理学農山漁村地域調査入門 目標概要 国内の農山漁村の特定の地域を取り上げ、ローカルな生態・社会環境の制約と可能性の下で、人々がどのように生きてきたかを考察する。細かい調査・分析技術の習得よりも、まずは現場の人々の話にしっかり耳を傾けること、そして、具体的なデータに基づく論理的な思考の訓練に重点を置く。取り上げる対象・地域に対する知識の習得、データの収集と基本的な分析、議論には、相当な自主性と忍耐が要求される。1月以降に予定している短期の野外調査への参加を前提とする。受講希望者多数の場合は選抜を行う（15名程度）。 評価方法 通常の授業における課題への取り組み、野外実習本番での取り組み、最終レポートの内容を総合的に評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
50319	A	地域生態学	江口 卓	教養学部(前期課程) 人文地理学	火2	1311教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ブータンヒマラヤの地誌 目標概要 ヒマラヤ地域について理解を深めると同時に、地理学の視点から地域をどのようにとらえるかを理解することを目指す。ブータンヒマラヤを中心に、ヒマラヤ地域の自然・社会・文化の特徴について概観しながら、相互の関係について考え、ヒマラヤにおける地域の成り立ちについて理解を深める。 評価方法 成績は、授業内の小テスト（1回）・レポート（1回）・受講態度などにより評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50193	A	人間行動基礎論 (理科生)	今井 久登	教養学部(前期課程) 心理・教育学	月4	1313教室	1年 理科 2年 理科
講義題目 知を科学する：基礎心理学から探る人間理解の地平を拓くためのヒント 目標概要 心理学の基礎領域（知覚・認知領域）について理論的側面から概説する授業である。 本講義では、概説するにあたっての出発点として「人工知能（AI）は人間のように思考しうなのか」という問いを立て、この問いに対するなんらかの答えにたどり着くことを目指して、心の基礎過程の理解のためにこれまでに蓄積されてきた心理学の知見をたどるという方略をとる。 具体的には、人間の知的な働きのあり方や特徴について、「機械による知の実現」という視点を持ちながら、心理学の基礎的領域の知見を、思考、記憶、学習、注意、知覚の順にたどった上で、文化や発達、身体論などとの関係といった発展的な内容にも触れる。解説の立ち位置としては、計算論的・生理学的なメカニズムの解説というよりは、機能的な側面からの解説が主である。 半期の講義が終わった後に、受講者が人間理解の各自の地平をそれぞれのやり方で拓いてみようとした時、その手がかりのひとつとして心理学的な立場からの知見や視点をを用いることができるようになることが最終目標である。機械の知と人間の知とを対比しながら、「人間のように思考できる人工知能（AI）」なるものを作り上げることがどこまで可能であるのかを考えつつ、人間の知の働きの複雑さと華麗さ、あるいは単純さと愚かさについて知ることで、人間の知についての各自の理解を構築し、深化させてほしい。 評価方法 定期試験によって評価する（持ち込みは不可）。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
50701	A	人間行動基礎論 (理科生)	大久保 街亜	教養学部(前期課程) 心理・教育学	水3	1313教室	1年 理科 2年 理科
講義題目 思考と認識の実験心理学 目標概要 現生人類はHomo sapiens と呼ばれる。これは「人間、知的なるもの」と訳される。知性が人間の基本的特徴であることが、この名称からよくわかる。人間の知性において複雑で、他の種との違いを際立たせる能力に思考がある。何か筋道を立て考えることを思考と呼ぶ。我々の複雑な文明も何十世代も積み重ねてきた思考の産物である。このような人間を特徴付ける思考という心の働きについてこの講義では、主に(1)判断と意思決定、(2)問題解決、(3)推論という3つの側面から検討する。思考を糸口にして人間の知的側面について理解を深め、願わくは「人間とは何か？」という根本的な疑問を考えるきっかけとしてほしい。 評価方法 レポート(30%、セメスター中に何回か提出を求める)、小テスト(20%、セメスター中に何回か行う)、定期試験(50%)の3つから総合的に評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
50320	A	情報認知科学	鈴木 宏昭	教養学部(前期課程) 心理・教育学	火2	1106教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 人間の認知のダイナミズム 目標概要 記憶、推論、問題解決などの高次認知における、内的資源(情報処理機構、経験的知識、生得的制約)と外的資源(状況、道具、他者)の利用、およびその間の相互作用について論じる。これらを通して、人間の知性を多様な資源の巧みな組合せによる創発として捉える可能性を提示する。 評価方法 定期試験による。 教科書 著者（訳者）：鈴木宏昭 書名：教養としての認知科学 出版社：東京大学出版会 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
50226	A	認知脳科学	石金 浩史	教養学部(前期課程) 心理・教育学	月5	1313教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ニューロンから心へー脳の仕組みと心の特性ー 目標概要 本講義では様々な精神機能の実現に深く関与する「脳」を研究対象とする神経科学分野に関して、いくつかのトピックを選び、基礎的な知識から最新の知見まで紹介する。この分野は心理学・生物学をはじめとして医学・工学・物理学等が結集してその解明に突き進んでいる学際的なフロンティア領域であり、幅広くその応用が期待されている。そして、脳研究の知見は「我々がいかなる存在であるのか」ということを垣間見せてくれる。授業では「心の諸特性」とそれを司る「脳のメカニズム」がどのような実験手法で解明されてきたのかを、視聴覚教材を用いて体験しながら学ぶ。また、心理・生物データの特性や標準的な科学的取り扱い、およびそれらに基づいた論理展開や解釈の仕方を勉強した上で、原著論文のデータを交えつつ、「ニューロンの活動」から「皮質レベルの活動」、そして「行動や意識」のレベルにいたるまでの「脳」と「心」の関係を包括的に理解することを目指す。 評価方法 定期試験成績による。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50479	A	認知脳科学	岡ノ谷 一夫	教養学部(前期課程) 心理・教育学	火4	1313教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 脳科学入門 目標概要 脳の構造と機能を学び、脳で可能な演算・情報処理についての知見を深める。 評価方法 定期試験による。 教科書 著者（訳者）：高橋宏和 書名：メカ屋のための脳科学入門－脳をリバースエンジニアリングする－ 出版社：日刊工業新聞社 ISBN：978-4526075360 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51117	A	適応行動論	長谷川 壽一	教養学部(前期課程) 心理・教育学	金3	1106教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 人間性の進化的理解 目標概要 人間は明らかに生物界の一員であり、200種近い霊長類の中の一つであるが、「人間と動物」という表現の言外に示唆されるように、社会通念としては、人間は他の動物とは異質な、あるいは超越した存在であるとみなされる場合がほとんどである。しかし、実際のところ、人間と他の動物との間の断絶はどれほど深いのか？ われわれが進化的存在であるとすれば、現代人は進化的過去をどのように背負っているのか？ 文化的な存在としての人間は、生物学的制約から解放されて完全な自由を実現できるのか？ 人間が特別な類人猿であるならば、それはなぜどのような形でそうなのか？ この講義では、一介のサル（類人猿）にすぎない「ヒト」と、テクノロジーを携え無数の文化を花開かせ、地球上の征服者にのし上がった「人間」の間に横たわる諸問題を、進化と適応という観点から考えていきたい。 評価方法 定期試験および実習参加時の出席点 教科書 著者（訳者）：長谷川寿一・長谷川眞理子 書名：進化と人間行動 出版社：東京大学出版会 ISBN：4-13-012032-8 ガイダンス 特に行わない。							
50840	A	社会行動論	堀毛 一也	教養学部(前期課程) 心理・教育学	木2	1313教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 社会心理学入門 目標概要 本講義では、人間の社会的行動の諸相について、説明の基盤となす学問体系とされる「社会心理学」的視点から、歴史的展開を踏まえつつ、研究のしかたやその成果について解説する。社会心理学は、「社会的環境によって統制・影響される人間行動について、また一方で、人間行動が社会構造やその形成過程をどのように統制・影響するかを解明する学問」とされる。本講義では、具体的な研究レベルとして、パーソナリティ、対人関係、集団・文化をとりあげ、これらの問題に関する心理学的なアプローチの仕方の特徴について解説する。 評価方法 コメントカード（平常点：30％）と定期試験（70％）による。 教科書 著者（訳者）：堀毛一也・竹村和久・小川一美 書名：社会心理学：人と社会との相互作用の探求（心理学の世界：基礎編7） 出版社：培風館 ISBN：978-4-563-05873-9 ガイダンス 特に行わない。							

スポーツ・身体運動実習		開講区分	A
目標概要	週1回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。		
授業計画	第1回目の授業で、種目選択を行う。場所は第1体育館前広場（雨ならば第2体育館、詳しくは9号館前の掲示板を参照すること）。 スポーツコース（テニス、サッカー等）、フィットネスコース、サイエンスコースから選択する。その曜限に開設されている種目と説明は http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/shintai/ を参照のこと。 種目選択以降は、各種目に分かれて行う。 ゴルフでは、東大検見川運動場でのラウンド実習が行われ、3回分の出席となる。		
授業の方法	所定の場所で実施する。基本的には自分の身体を動かして、実習することが第一であるが、選択種目、担当教員により様々なアプローチがなされる。雨天時等で実施場所に変更がある場合等の連絡は、教務課掲示板ではなく、9号館前の掲示板に掲示する。		
成績評価方法	1 出席 スポーツ・身体運動実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 2 達成度 各自が選択履修している授業について、学習達成度の評価を行う。 3 その他 授業中にどのような態度で参加し、そのように自己の役割を認識し、実行しているか、学習内容をどれだけ理解しているのか、等を評価する。		
教科書	教科書は使用しない。		
履修上の注意	種目選択後のキャンセルは認めない。併せて、1つのセメスターに3コマ以上登録することは認めない。 種目選択後の種目変更は、特別な事情（病気、怪我など）が無い限り認めない。		
学習上のアドバイス	1コマ1単位であり、2Sセメスター終了時までに2単位、2Aセメスターに2単位、計4単位を上限として履修することができる。盗難が多いので注意する。体育館は、土足、飲食禁止。		
関連ホームページ	http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/shintai/		
※講義の詳細については、UTASも参照すること			

時間割コード	曜 限	担当教員	対象クラス
50144	月3	各教員	2年 文科 理科
50321	火2	各教員	2年 文科 理科
50618	水2	各教員	2年 文科 理科
51048	金2	各教員	2年 文科 理科

スポーツ・身体運動実習（メディカルケア）		開講区分	A
目標概要	週1回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。		
授業計画	第1回目 種目選択（第1体育館前広場、雨ならば第2体育館） 月3、火2、水2、金2のどれかのスポーツ・身体運動実習に出て、自分の選択するメディカルケアコースの登録をする。 出席できない場合は、9号館1階教員控え室で登録する。 第2回目以降 各自の選択した曜限での授業		
授業の方法	各自の状況に応じて、各自に合った運動を処方して行う。 毎回目誌をつけて、自己の状況を確認する。		
成績評価方法	1 出席 この授業の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 2 達成度 各自が選択履修している授業について、学習達成度の評価を行う。 3 その他 授業中にどのような態度で参加し、どのように自己の役割を認識し、実行しているか、学習内容をどれだけ理解しているのか、等を評価する。		
教科書	教科書は使用しない。		
履修上の注意	初回のみスポーツ・身体運動実習の授業に参加する。次回からMCの曜限に移行し、履修登録もMCの曜限とする。 体育館は土足、飲食禁止。 盗難注意。		
学習上のアドバイス	基本的には健康診断等で保健センターから指示された者が受講するが、本人の申し出によりメディカルケア担当教員の判断によって指示されれば、受講できる。またセメスター途中でも、メディカルケアコースに移動すること、また回復により元の授業に復帰することも可能なので、担当教員とよく相談すること。		
関連ホームページ	http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/shintai/		
※講義の詳細については、UTASも参照すること			

時間割コード	曜 限	授 業 科 目 名	担当教員	対象クラス
50013	月1	スポーツ・身体運動実習（メディカルケア3）	各教員	2年 文科 理科
50227	月5	スポーツ・身体運動実習（メディカルケア1）	各教員	2年 文科 理科
50269	火1	スポーツ・身体運動実習（メディカルケア3）	各教員	2年 文科 理科
50546	水1	スポーツ・身体運動実習（メディカルケア2）	各教員	2年 文科 理科

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51184	A	スポーツ・身体運動実習Ⅱ	吉岡 伸輔	教養学部(前期課程) スポーツ・身体運動	集中	(実習)	1年 文科 理科
講義題目 スキー・スノーボード実習 目標概要 スキー・スノーボードは、代表的な冬季スポーツである。これらの種目は、雪山という特殊な自然環境のもとで、滑走のための特別な用具を用いて行われる。そのため、安全で爽快な滑走を楽しむためには、事故防止のための知識や特殊な身体操作法の獲得が必須となる。本授業では、スキー場での学外実習により、これらの知識・技能の獲得を目指す。なお、実習のための交通・宿泊・傷害保険、リフト代の費用負担が必要となる。用具を持っていない者は、用具レンタル代が別途必要となる。 ※身体運動・健康科学実習のAセメスター第1回目に受講手続きに関する説明を行う。 評価方法 実技上達、受講態度、技術の理解、および実技実習に関するレポート 教科書 著者（訳者）：東京大学身体運動科学研究室 書名：教養としての身体運動・健康科学 出版社：東京大学出版会 ガイダンス 特に行わない。							
50547	A	身体運動科学	久保 啓太郎	教養学部(前期課程) スポーツ・身体運動	水1	K114	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 健康増進およびパフォーマンス向上のためのスポーツ科学 目標概要 運動（トレーニング）を実践することは、現代におけるあらゆる年齢層にとって大切であることは常識になりつつある。本講義では、一般人における健康増進、競技選手におけるパフォーマンス向上のためのスポーツ科学に関する基礎的な内容から、最近の知見も交えて概説する。特に、運動（トレーニング）に伴う身体諸機能（筋機能、骨強度、呼吸循環など）の変化から、それに基づいた適切な運動処方、トレーニング方法を紹介する。 評価方法 レポート2回（中間、期末）を80%、平常点（出欠確認を兼ねた複数回の小レポート）を20%として、総合的に評価する 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51049	A	身体運動科学	中澤 公孝	教養学部(前期課程) スポーツ・身体運動	金2	K212	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 身体運動科学 目標概要 授業の目標： ニューロリハビリテーションやスポーツ科学の理論基盤としての身体運動科学を学び、実用科学としての身体運動科学の意義を、臨床応用の事例を通じて理解することが目標。 授業の概要： 脊髄損傷や脳卒中など、神経系障害のリハビリテーション理論やスポーツの基礎をなす身体運動科学についての講義を系統的に行う。 評価方法 出席状況、小テスト、レポートを総合的に評価する。 教科書 著者（訳者）：中澤公孝 書名：歩行のニューロリハビリテーション 一歩行の再獲得をめざした理論と臨床― 出版社：杏林書院 ガイダンス 特に行わない。							
50081	A	健康スポーツ医学	福井 尚志	教養学部(前期課程) スポーツ・身体運動	月2	K212	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 健康スポーツ医学 目標概要 現代生活では身体を動かす機会が少なくなったことで健康がさまざまな障害されることが多くなった。糖尿病、高血圧、高脂血症（脂質異常症）、心臓病、脳血管障害などの生活習慣病がその代表であるが、肩こりや腰痛も多くの場合運動の不足と関連している。これらの健康障害を改善し、また予防するためにスポーツがすすめられる。一方、スポーツを一生懸命に行ったことでかえって健康を害する人もいる。過度の運動から病気になり、あるいはスポーツ中に怪我や障害を負うことも多い。スポーツ障害の原因は何か、予防のために何をすればよいか、また障害が起った場合スポーツ復帰のためにどういうことをすればよいのかを考え研究するのがスポーツ医学である。本講座では駒場にいる内科、整形外科、精神科、産業医、歯科の専門家から現代人が知っておくべき健康医科学、スポーツ医学などの医学的知識および健康に関する知識を学ぶ。 評価方法 筆記試験（講義を分担する教員がそれぞれ出題する） 教員によっては出席状況も考慮して評価する場合がある。 教科書 著者（訳者）：東京大学身体運動科学研究室編 書名：教養としての身体運動・健康科学 出版社：東京大学出版会 ガイダンス 特に行わない。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50270	A	身体運動メカニクス	吉岡 伸輔	教養学部(前期課程) スポーツ・身体運動	火1	1322教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 スポーツ動作を科学する 目標概要 身体運動メカニクスでは、身体と運動をキーワードに、特にスポーツ動作について、自然科学的な研究成果を体系的に講義する。この授業では、通常、健康であれば意識外に追いやられる「身体や運動」について再認識し、それを自然科学的観点から直視して深く考えること、そしてダイナミックなスポーツ動作の成り立ちをバイオメカニクスの観点から理解することを目的とする。 評価方法 授業への参加態度および試験 教科書 著者（訳者）：深代千之、川本竜史、石毛勇介、若山章信 書名：スポーツ動作の科学 出版社：東京大学出版会 ISBN：978-4-13-052705-7 C3075 ガイダンス 第一回授業日に行く。							
50841	A	情報メディア伝達論	越塚 登	情報学環	木2	K113	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 情報メディア伝達論（オープンデータによる、オープンイノベーションとオープンガバメント） 目標概要 近年、「情報」の「メディア表現」を活用した重要な取組の一つにオープンデータ（Open Data）がある。オープンデータとは、政府自治体や公的機関、教育研究機関、場合によっては民間企業等が保有する膨大な情報を、プログラムしやすい形式でオープンにすることによって、それらの機関組織の透明化や新しいビジネスやサービスの創出、また経済対策、イノベーション政策、地方創生などの目的に資する活動をいう。ここ数年、我が国のIT戦略の中核にすえられた取組でありかつ、世界的にもG8でオープンデータ憲章が採択されるなど、非常に活発に進められている。また、このオープンデータを核として、公共性の高いデータを出す政府自治体、それを使ってソリューションを提供する民間や個人が協業する、新しい官民連携の方式、またそれを行政に取り入れた新しいオープンガバメントのあり方（Government 2.0）も扱う。これは、まさに最先端の情報技術と公共政策、ビジネスモデルのクロスオーバーした領域であり、理系的知見と文系的知見がコラボレーションすることが不可欠である。 本授業では、まずはじめに、オープンデータとは何か、また世界のオープンデータの取組、それを利用した新しい情報サービスや行政問題の解決などを、世界における事例を挙げて解説する。例えば、本講義の担当教員である越塚が実際にリードしてきた、日本政府のオープンデータカタログであるdata.go.jp、公共交通オープンデータ、東京メトロオープンデータ、横須賀市・豊島区の自治体オープンデータ、札幌観光オープンデータなどの事例を紹介する。 （例） ・data.go.jp（日本政府、内閣官房によるオープンデータカタログ） ・www.odpt.org（公共交通オープンデータ） ・http://sapporo.odcity.org（札幌オープンデータ） 次に、実際に、行政や企業の前線で活躍している外部ゲスト講師をお招きし、行政におけるリアルな課題、企業における課題、そして、実際の行政は企業が保有するデータを授業の中で公開し、その「オープンデータ」を使った課題解決について授業の中で考えていく。 最後、講義の中で紹介された、実社会における様々な課題を、オープンデータを使っていかに解決するかを、履修者自らが考案し、課題発表や討論を行って理解を深めていく。 評価方法 出席、レポート提出、課題発表 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行く。							
50082	A	情報メディア表現論	池尻 良平	情報学環	月2	521教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 教育メディアのデザイン 目標概要 教育メディアは教育理論・学習理論を踏まえた上でデザインされる特殊なメディアであり、時代に合わせて多種多様なものが生まれている。本講義では教育メディアを「個人差に対応する教育メディア」、「リッチな情報を伝える教育メディア」、「インタラクティブな教育メディア」、「コミュニティを作る教育メディア」の4つに分類し、それぞれの代表的な事例を挙げつつ、背景にあるデザイン理論を解説していく。 本講義では、多様な教育メディアの特徴と背景理論を理解し、教育メディアのデザインができるようになることを目標に設定している。 評価方法 成績評価は出席とレポートで行う。出席に関しては全13回のコメントシートの提出（1回あたり5点、合計65点）で評価する。レポートに関しては、期末に課すレポート（35点）で評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51185	A	科学技術社会論	藤垣 裕子	教養学部(前期課程) 情報・図形	火2	164教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 科学技術社会論入門 目標概要 現代社会において科学／技術の発展はめざましく、生活の隅々にまで浸透し、かつ社会およびその構成員一人一人の安全やリスクに直結する形です。環境、食糧、医療、災害、情報、など、さまざまな分野において、科学／技術と社会との接点の問題の調停が求められている。遺伝子組換え食品や狂牛病の危険のある牛の規制をどうするか、情報技術のグローバル化にともなう各国の法整備の問題、医療技術の発達にともなう倫理の問題など、自然科学の個別の学問領域を越えた複合領域の問題となりつつある。ところが、既成の学問は、個別の学問領域によって分割されすぎていて、このような問題群がまっすぐに扱えないでいた。気がかりではあるが、各専門領域のメインタスクからは少々ずれているために今まで体系的に扱われてこなかった領域、あるいは各分野の人々が個別に論じ、相互に枠組みを共有してこなかったがゆえにまだ見通しの悪い領域、そこに科学技術社会論の研究領域がある。これまで文系と理系双方から等閑視されてきた、膨大な境界領域の問題を扱う学問分野である。科学者の社会的責任とは何だろうか。今後の科学技術のガバナンスはどうあるべきか。専門家と市民の科学コミュニケーションはどうあるべきか。さまざまな事例をもとに考えてみよう。将来の自らの研究成果の社会への影響に関心のある理系の学生、そして自然科学の個別の学問領域を越えて、外交や国際関係、法律そして社会制度の關係する複合領域の問題（科学技術のガバナンス）に関心のある文系の学生、双方に開かれている。 評価方法 レポート 教科書 著者（訳者）：藤垣裕子編 書名：科学技術社会論の技法 出版社：東京大学出版会 ISBN：4-13-003204-6 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51372	A	現代工学概論	六川 修一	工学部	木5	532教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 工学概論 目標概要 工学とは、科学技術を用いて経済的・社会的価値を生み出すための学問である。対象は宇宙、地球、地域、都市、社会、産業、製品、生活から生命、分子、原子まで、多岐にわたる。生み出される価値も、地球環境の保全、経済発展、利便性、快適性、安全安心から心の豊かさまで、幅が広い。さらに2011年3月11日の東日本大震災に直面し、工学にはまだまだ研究を進め解決すべき課題が山積しており、技術と社会との関わりを一層密にしなければならないことが再認識されている。工学がさまざまな価値を生み出すためのアプローチには、目標や問題を特定し、目標達成、問題解決の手段を設計するというニーズ立脚型アプローチと、目標達成、問題解決に活かされる技術を開発するというシーズ指向型アプローチが存在する。本講義では、工学に関わる複数の課題に関する各2回程度の講義を通じて、工学の全体像を把握するとともに、工学の基底をなす基本的な方法論を理解することを目的とする。 評価方法 6つのサブテーマに関してそれぞれ課題として与えるレポートと出席により総合的に評価する 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51364	A	現代工学基礎 I	泉 聡志	工学部	月5	K212	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 四力学とデザイン入門～ワークショップで学ぶ機械のデザイン 目標概要 機械工学科で伝統的に教えられてきた四力学（ヨンリキガク）は、機械力学、材料力学、熱工学、流体力学からなり、自動車、鉄道、航空機、ガスタービン、スマートフォン、医療器械など、あらゆるものの設計に必須の知識となっている。さまざまな機械を生み出すためのいわゆるエンジニアリングには、デザインの思考と発想力が不可欠である。そしてその発想をかたちあるものにする設計の技術、これを実際にかたちづくる生産加工技術、この2つの連携が我々の生活を豊かにする様々な機械を生み出す。 講義パートでは、主に四力学の講義を行い、力学のエッセンス・面白さを学んでもらう。また、生産加工の講義として、材料の造り方、それを必要な形に仕上げる加工技術を分かりやすく紹介する。 ワークショップパートでは、発想をデザインする方法を学びながら実践する。 評価方法 出席及びレポートによる 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51369	A	現代工学基礎Ⅰ	星野 隆行	工学部	水5	533教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 物理情報システム工学 -あらゆる工学を計測・制御・システムで斬る- 目標概要 物理的、人工的、社会的、どんな対象であれ、そこに望みの機能を工学的に実現する際、 1) 対象で生じる物理現象のモデリングと解析、 2) 計測による物理現象の本質の情報化、 3) 情報処理と制御による所望の機能の最適な実現 4) 情報の認識とシステムインテグレーションによる実世界への働きかけ、 が重要となる。本講義は、駒場生にこの工学的方法論のエッセンスを講義することを目的とする。具体的には、以下の各項目に関し、最先端の事例を交えつつ講義する。 1) 物理現象の数理モデリング 未だ科学技術の土俵にあがったことがない社会的課題が生じたとき、まずその対象の中で生じている物理現象を数式で表現し、問題として定式化することが重要となる。これを数理モデリングという。本講義では、音声・生物・ロボット・環境など動きや空間的变化をもつシステムを例に数理モデリングの基礎を説明する。 2) 計測工学の基礎：物理現象の情報化 計測工学とは、対象の物理的状態を如何に定量化し、所望の情報を抽出するかに関する学問体系であり、あらゆる科学技術の出発点となる。本講義では、肉眼では見えないものを捉えその動きを可視化する手法について扱う。生きた細胞の非破壊的な計測法や人間の運動計測を例にとり、肉眼では捉えられない極微弱・微細な動きを伴うシステムを検出・可視化する方法と、そこに内在する情報の利用について説明する。 3) 信号処理の基礎：情報理解と実世界インテリジェントシステムへの応用 信号処理とは、生物・社会・経済・ロボットや自動車など動きや空間的な変化をもつシステムから計測された様々な信号を数学的に加工し、望みの情報を取り出すことや機能を実現させるための科学技術である。本講義では、音声信号など揺らぎのあるデータの扱い・統計的モデリングを例にとり、システムモデリングに基づく情報理解（認識・識別・判定）の基礎と実世界制御について説明する。また、人間の音声情報処理を例にとり音源分離や音声認識やバーチャル・リアリティへの応用について説明する。 4) 情報の認識と計算システムの基礎：人工知能技術とそれを可能にする高性能計算技術 数理モデリング、計測工学、信号処理などを全て統合して計算システム上で情報を認識し、その結果をもとに実世界（生物・経済・社会・経済・ロボットなど）へフィードバックすることで、実世界で機能する知的システムの実現が可能になる。本講義では、情報の認識を担う技術として近年急速に発展している深層学習技術の基礎とその応用例、そしてこれを実現させる高性能計算システムについて説明する。 評価方法 計測、信号処理、計算システム、システムインテグレーションに関するレポート課題3つで評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51374	A	現代工学基礎Ⅱ	岩佐 義宏	工学部	木5	121教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 物理をエンジニアリング 目標概要 物理学とエンジニアリングは互いに切っても切れない関係で発展して来ました。産業革命に刺激されて発展した熱力学、電磁気学の方程式から生まれた電信技術、ドイツ鉄鋼業から生まれた量子力学、など歴史を繙くとその例には事欠きません。そして現代、その関係はどのようになっているのでしょうか？この講義では、身近だけれども不思議な現象を実際にお見せするところから始めて、その謎解きとその奥にひそむ物理を解説し、さらに現代科学技術との関係までのストーリーを下記の4つのテーマについてそれぞれ「読み切り」で示します。そして、物理がエンジニアリングに「応用される」というだけの関係ではなく、エンジニアリング自体が物理学を変革してゆく様子を皆さんにお伝えします。 1. 超伝導 - 量子の世界からエネルギー革命へ 2. ナノサイエンス - オングストロームの世界を操る 3. 光の物理学 - 光と原子の物理学—レーザーで原子を冷やす 4. 理論物理学の挑戦 - 基礎方程式の力 評価方法 成績評価は出席とレポートで行う 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51373	A	現代工学基礎Ⅱ	牛山 浩	工学部	木5	E25教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 マルチスケールシミュレーション入門 ― 分子から地球まで化学する 目標概要 ミクロな分子の世界からマクロな地球規模での物質やエネルギーの移動まで、さまざまなスケールの問題をコンピュータによるMicrosoft Excelを利用したシミュレーションを通して学ぶ。授業は3つのスケールについて、それぞれ講義1回と演習3回のユニットで構成される。 評価方法 出席、および、演習結果とレポート。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
60235	A 2	現代工学基礎Ⅱ	梅田 靖	工学部	火2, 金2	K402	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 デザイン思考によるイノベーション入門 目標概要 イノベーションを引き起こすためには、技術的、もしくは、非技術的な新しい発想が不可欠である。ただやみくもに考えても新しい発想が出てくる訳ではなく、そこには適切な思考方法がある。本講義では、イノベーションを引き起こすことが可能な人材になるために、広い意味での工学設計の分野で注目を集めている4つの思考法（本講義では、「イノベーションのための4つの道具」と呼ぶ）を学ぶ。四つの道具とは、デザイン思考、サービス設計、体系的設計方法論、および、ロジカル思考である。この4つの道具は、2つの座標軸によって分類できる。第一の軸は、より論理性、体系性を重んじる「論理的思考」と、より思考の柔軟性、発想の豊かさを重んじる「デザイン思考」である。第二の軸は、対象を、ものを中心に考える「実物指向」と、ものだけでなくサービスを含めて考える「サービス指向」である。 本講義のメッセージは、この4つの道具を学ぶことにより、各道具を比較し、各道具の特徴と限界を知ることができ、結果としてこの4つの道具をバランス良く使いこなすことで様々な新しい発想を生み出すことが可能になる、ということである。 手法は、チームによる演習を通して実践的に学習し、最終回で与えられた課題に対してイノベティブな提案を行うプレゼンテーションを行う。 演習課題は、2015年度は、「一人暮らしの大学生の健康を増進する製品/サービス」、2016年度は、「自分たちの欲しい学内ファシリティ」であった。今年は何が出てくるか？ 評価方法 出席、演習課題、レポート、プレゼンテーション、演習への積極性を総合して評価する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51370	A	社会システム工学基礎Ⅱ	羽藤 英二	工学部	水5	1311教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 人間社会と交通システム 目標概要 交通システムは、現在の経済・生活・社会において、なくてはならないものである。また、近年の増え続ける地震などの災害や度重なる事故のことを考えると、交通システムと社会のあり方は新しいステージへと向かう必要がある。本講義は、道路交通、鉄道、航空など様々な交通システムと人間・地域社会との様々な関わりやそうした交通システムを支える様々な技術について、社会基盤学、都市工学、機械工学、電気工学をはじめとする「交通」の専門家が、歴史、人、環境、インフラ、車両、動力、制御などといった切り口から、最新の技術的展望や現代の交通政策的課題を含めて包括的に講義する。 評価方法 1) 課題内容：全4回のレポートの合計によって評価します(各25点)。各講義で出されるレポート課題に対して、第Ⅰ～Ⅱ部から2課題、第Ⅲ～Ⅳ部から2課題を選んで、レポートを提出してください。4回提出された場合のみ、成績評価の対象となりますので、注意してください。 2) 提出方法：レポートは、原則として第Ⅰ～Ⅱ部は11/22講義終了時、第Ⅲ～Ⅳ部は1/24 17:00までにアドミニストレーション棟1F教務課レポートボックスに提出するものとします。 3) レポートの体裁：表紙は不要。左上を必ずホチキスで綴じること。レポート冒頭に対象とした講義名及び担当教員名、及び学籍番号・氏名・科類を明記すること。以上の体裁を満たしていないレポートは採点できないことがありますので、充分注意してください。念のため、レポートのコピーを必ず取っておくこと。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51376	A	社会システム工学基礎Ⅱ	小泉 秀樹	工学部	木5	1312教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 TOKYO：東京の都市計画 目標概要 さまざまな人々を惹きつけてやまない世界一の大都市TOKYO それは、どのように発展し、制御されてきたのか、そしてどこに向かおうとしているのか？ 本講義では、TOKYO／東京を題材として、都市の発展とその制御について、歴史、文化、環境、経済、社会制度、計画・デザイン手法など総合的・包括的観点から講義を行い、都市の諸問題について自問し、またその将来を構想することにむけて必要となる学術的パースペクティブを獲得することを目的として実施する。 評価方法 出席点およびレポート 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
51371	A	総合工学基礎Ⅱ	上坂 充	工学部	水5	1212教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 核科学応用概論 目標概要 現代科学技術を構築する基礎のひとつに、原子核や放射線や光の科学がある。ここでは放射線、医療、核融合、原子核、素粒子やレーザーを用いた技術から、これらを応用したシステムである原子力安全、エネルギー政策、レジリエンス、核融合、医療装置について概説する。 評価方法 出席数とレポートの採点により評価する 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
51381	A	総合工学基礎Ⅱ	鈴木 真二	工学部	金5	158教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 航空技術とその安全性向上への取り組み 目標概要 人類の飛行技術獲得の歴史は、科学と技術の発展と、安全性獲得のための制度確立の歴史であると言える。この過程を振り返ることで技術的発明と、科学的研究の相互作用、事故とその対策による安全性の向上プロセスと制度設計を学び、あらたな技術イノベーションを達成するための方法論を習得する。 評価方法 出席およびレポートにより成績を評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51377	A	生体医工学基礎Ⅱ	神保 泰彦	工学部	木5	1221教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 生体医工学の世界－工学から見た生体物理現象と医療応用技術－ 目標概要 周囲の環境に適応しながら生命を維持し、伝えていくのが生体現象の本質であり、その過程で生じた障害への対処が医療診断・治療です。最先端の医療では、工学技術が重要な役割を果たしています。本講義では、生体現象を情報、物質、エネルギーの流れの視点から説明し、工学技術に基づく医療診断・治療の研究開発動向と今後の可能性について議論します。 評価方法 レポートで評価します（講義出席状況も考慮します）。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51367	A	環境・エネルギー工学概論	村上 進亮	工学部	火2	121教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 環境・エネルギー工学概論 目標概要 本講義は工学部全体として、環境・エネルギー問題を概観した上で、工学的なアプローチの理解を進めることを目的としている。内容は大きく3つのパートに分かれており、それぞれの取りまとめ担当の教員が講義を行う。よって、受講者には以下を目標とされたい。 ・現在良く議論されている環境・エネルギー問題の概観を理解すること ・それぞれの問題の特徴を技術的、社会システムの双方の視点から理解すること ・技術、社会それぞれどのようなアプローチでその解決に当たっているのかを理解すること ・これらを理解した上でどのような課題が残されており、そのために何をすべきかを考えること 評価方法 レポート（3課題、各A4で2から3枚程度を予定）＋出席点による。 出席回数が余りに少ない場合は合計点の如何に関わらず単位を認めない場合がある。 詳しくは第1回目の講義でのオリエンテーションで説明する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51365	A	環境・エネルギー工学基礎Ⅱ	松島 潤	工学部	月5	513教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 エネルギー資源論 目標概要 本講義では、地球科学・工学、エネルギー化学・科学、資源経済・政策学の基礎学理を概観し、地球システムの理解、エネルギー資源の開発・変換・有効利用、環境の保全、エネルギー資源の安定供給といった一連の方法論を概説する。エネルギー資源を取り巻く多様な分野を多角的に概観することにより、エネルギー資源の本質を理解することを助け、複雑性を呈するエネルギー資源に係る困難な問題にどのように対処すべきかについてともに考える。 評価方法 出席状況とレポートにて成績評価する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51378	A	環境・エネルギー工学基礎Ⅱ	多部田 茂	工学部	木5	K401	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 海と社会概論 目標概要 人類は地球に負担をかけながら生活している。現在、世界の人口は約70億人だが、もしこの人々が日本人と同じ水準の生活をする、地球が2.5個も必要になる。有限な地球に負担をかけず、持続可能な社会を実現するためには、地球の面積の7割を占める海洋を賢く利用して行くことが必要不可欠である。これまで海洋は科学的な探査を主体とする調査の時代であったが、これからは、海洋のメカニズムを熟知した上での統制のとれた海洋利用を実現してゆくことが、カギとなる。 例えば、海洋には未だに利用されていない資源が相当量残されており、循環型社会に適したエネルギー資源の供給源となる可能性を有している。また我が国のEEZ（排他的経済水域）内には、黒潮と親潮の合流による好漁場、深層水、メタンハイドレート、鉱物資源等が存在しており、海洋資源の潜在的ポテンシャルは非常に高い。これらを利用することにより、我が国の脆弱な食料、資源・エネルギー基盤の強化や新産業の創出が期待されるとともに、海底空間の利用によってCO ₂ の海底地下地層への隔離等の環境問題の課題解決に資する可能性をも秘めている。 この講義では、食料・資源・エネルギーの安定確保と地球環境問題解決のための海洋利用技術について包括的に学び、その方向性を論じる。 評価方法 出席点（初回は除く）40% 課題のプレゼンテーションおよびレポート 60% 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
51386	A	看護学概論Ⅱ	真田 弘美	医学部	木5	1213教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 看護学概論Ⅱ－社会で活躍する看護プロフェッショナル－ 目標概要 高度に医療技術が発展してきた現代社会では、疾患を抱えたまま生活する者は多くなり、また、従来の医学モデルでは解決できない、健康への様々なニーズが顕在化してきている。特に少子高齢化が高度に進んだ日本においては、この社会を看護学モデルとして扱い、新たな対処方法を構築することへの社会的期待が高まっている。つまり、生きを支える学問である看護学は、あらゆる年代の個人から集団、地域社会を対象に、健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛緩和等について、生涯を通して支援することが出来る。 本講義では、保健・医療・福祉の分野における臨床実践や研究、政策活動に至るまで、社会で広く活躍している看護のプロフェッショナルから実際の活動についてご講義いただき、少子高齢社会において看護学が担う役割と今後の看護学の発展について議論する。 評価方法 出席およびレポート 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
60238	A 2	環境と生物資源	櫻井 武司	農学部	木5	166教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 農業フィールドワーク論 目標概要 日本および海外の農村におけるフィールドワークについて理解を深める 評価方法 出席とレポート 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
60237	A 2	食糧と環境	根本 圭介	農学部	月1	511教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 農業生産学概論 目標概要 人口爆発に伴う食糧需要、農業を取り巻く環境の悪化と自然資本の枯渇、穀物を巡る食糧需要とエネルギー需要の競合、経済のグローバル化に伴って深刻化する世界農業の構造的問題など、今日の農業は、かつてなかったほど多くの問題を抱えている。本講義では農業の生態学的な原理を踏まえつつ、世界の農業システムはいかなる座標軸の上で多様化してきたか、そこで展開してきた技術発展の必然性とは何か、フードサプライチェーンの発達は農業をどのように変えてきたか、今日の農業が将来の世界人口を扶養できるか、といった問題を論じた上で、あらためてアジア稲作の持つ意味を考えてみたい。 評価方法 ・小課題（授業中に毎回実施する）と出席点により、総合的に評価する。 ・定期試験は行わない。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行く。							
51388	A	放射線環境科学	田野井 慶太郎	農学部	水5	1214教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 福島第一原発事故に起因した農業環境における放射能汚染の実状および調査研究により得られた知見を学ぶ 目標概要 2011年3月の東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所事故では多くの放射性物質が環境中に放出されました。放射性物質が降下した場の多くは農林水畜産業の場であり、事故直後から農学者により多くの調査研究がなされました。本講義では、食の安全と農業環境に焦点を当て、農業の場における放射能汚染の実態とその対策のための試験研究で得られた知見を学びます。同時に放射線や放射性物質の基礎も講義します。受講者は、本講義を通じて、農業環境における放射能汚染の実態把握と放射能汚染からみた食の安全確保への取り組みを理解することが期待されています。さらに、当該事故と同時代を生き、今後世界を舞台に活躍が期待される受講者諸君にとって、本講義が、当該事故を体験とともに語れる人材となる最初のステップとなることを期待します。 評価方法 試験により評価します。 教科書 著者（訳者）：中西友子 書名：土壌汚染―フクシマの放射性物質のゆくえ 出版社：NHKブックス ISBN：ISBN-10: 4140912081、ISBN-13: 978-4140912089 ガイダンス 第一回授業日に行く。							
51390	A 1	住環境の科学	稲山 正弘	農学部	木5	156教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 人と木と木造建築 目標概要 地球温暖化などの環境問題に対し、木材の適切な利用を核とした資源循環型社会への移行が世界的に求められています。本講義では、森林資源から木造建築に至るまでの様々な観点で「人と木と木造建築」について学んでいきます。すなわち、木材の微細構造から基礎的物性などに関する基礎知識や、未利用資源あるいはリサイクル利用に関する社会科学的な分野の基礎知識等を学び、木材を有効活用してつくられる製材・木質材料（集成材・合板・繊維板等）の特徴や、木造住宅に至るまでの生産・流通などについて学び、木造建築の設計に必要な基礎知識や様々な木造建築の事例、および居住空間等木材を使用した環境のアメニティ等について学習します。 評価方法 レポートで評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
51358	A	教育心理学の世界	岡田 猛	教育学部	木5	1311教室	1年 文科 理科
講義題目 教育心理学の世界 目標概要 教育心理学は、心理学の手法を用いて、教育の科学的基礎を実証的に探究し、また、その知見の教育や生活場面への応用まで考える学問である。このため、教授・学習、発達、臨床、認知科学、情報科学など、人間理解にかかわる多岐にわたる内容を扱う。この授業では、教育心理学において具体的にどのような研究が行われているのかや、どのような実践が行われているのかを知ってもらうために、これまで行われてきた重要な研究から近年の新たな知見まで幅広く紹介する。各回の授業は、本学の教育心理学コースの教員や教育心理学にかかわる若手研究者が行う。これらを通じて、教育心理学とはどのような学問であるのかを知ることが主たる目的である。さらに、心理学の手法と知見にもとづき、広い分野での応用・実践に取り組む研究者、心理技術者の養成の基礎となる、人間に関する心理学的理解や、心理学の基本的な研究手法を知ることも目的としている。 評価方法 最終回に、理解度を確認するテストを実施して評価を行う。テストは、本授業で扱った複数の領域から出題される。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行く。							

振動・波動論		開講区分	A
目標概要 音や光は我々が生存してゆく上で決定的に重要な情報を担い、音楽、美しい景色、絵画、写真と生活に喜びを与えてくれる。 音と光は共に波動現象の典型例であるが、我々の知的興味を引き付ける振動・波動現象は身近なところに数多く存在する。 たとえば、ブランコはどうして漕げるのだろうかとか、海の波はどうして波打ち際に碎けるのだろうかなど。 また、建造物や製品の設計においても、振動・波動の影響は欠かせない。 このように我々の日常と密接に関わっている振動・波動現象を、物理学の基本法則により根本的に理解することがこの講義の目的である。 その内容は古典的な場の理論の初歩を含み、引き続き量子力学、場の量子論を学ぶ者にとっては必須なものでもある。 主な項目は以下の通りであるが、実際の内容や順序は教員によって多少の違いがあり、特に*印のついた項目は省略される場合がある。			
1. 序論 2. 1自由度系の振動 ・単振動 ・減衰振動 ・強制振動、共鳴、Q値 *パラメーター励振 *簡単な非線形振動 3. 連成振動 ・2自由度系 ・基準振動、うなり ・N自由度系 4. 1次元の波動 ・弦、弾性体、気柱 ・縦波と横波 ・波動方程式 ・反射と透過 *波のエネルギー *インピーダンス 5. フーリエ級数、変換の方法 ・考え方、基本事項、線形性 ・波束 ・位相速度と群速度 *不確定性関係 *6. 2, 3次元の波 *波動方程式 *平面波 *球面波 *水の表面波 *反射と屈折 *干渉、回折			
成績評価方法 定期試験。			
教科書 各講義のUTASシラバスを参照すること。			
※講義の詳細については、UTASも参照すること			

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50322	火2	鈴木 康夫	723教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
50323	火2	大川 祐司	741教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
50764	水5	澤井 哲	721教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
51050	金2	大川 祐司	721教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
51051	金2	菊川 芳夫	723教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50228	A	解析力学	加藤 光裕	教養学部(前期課程) 物理	月5	532教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 解析力学 目標概要 解析力学は、ニュートンに始まる古典力学の最も一般的で洗練された理論形式であり、これによって保存量と対称性の関係や可積分性等の力学の構造を見通し良く理解することができるようになる。また、量子力学や統計力学を構築する上で不可欠な基礎を与えるものでもあり、現代物理学を理解する上で重要な役割を果たす。本講義では、理系1年で学ぶ力学の基礎知識をもとにして、その発展としての解析力学の理論形式や諸概念をじっくりと学ぶことを目標とする。 評価方法 主に試験による。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
51179	A	相対論	菊川 芳夫	教養学部(前期課程) 物理	金5	533教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 相対性理論 目標概要 特殊および一般相対性理論の基礎を、歴史的背景及び実験的検証を踏まえて解説する。相対性の概念、光の伝播の問題、ローレンツ変換とその物理的意味、時空の概念等を詳しく論じた後、テンソルを用いた共変的記述、相対論的運動学とその応用、マックスウェル方程式の相対論的構造について述べる。さらに、一般相対性理論を概説し、重力波観測の意義を議論する。 ニュートン力学および微積分の基礎知識を前提とする。またマックスウェル電磁気学の基礎知識を講義の終盤までに学習しておくことが望ましい。 評価方法 試験およびレポート 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
50324	A	量子論	清水 明	教養学部(前期課程) 物理	火2	721教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 量子論の基礎 目標概要 量子論は、現在の物理学の中核を成す理論であり、物理学のみならず、化学、電子工学、情報理論や、時には生物学にまで、広く使われている。また、量子論で発展した不確定性関係は、文科系の著作にもしばしば現れる。量子論は現代人の最低限の教養のひとつであるといっても過言ではない。 ところが残念ながら、初学者向けの量子論の講義というと、その本質を教えることなく、簡単な例だけ見せて終わることが多いのが実情である。 それに対して本講義では、計算ができるだけ易くなるような例を用いて、量子論の基本的な考え方や本質を、丁寧に教えることを目指す。 評価方法 定期試験 教科書 著者（訳者）：清水明 書名：新版 量子論の基礎 出版社：サイエンス社 ISBN：978-4-7819-1062-8 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
50014	A	統計物理学	福島 孝治	教養学部(前期課程) 物理	月1	523教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 統計物理学 目標概要 多数の気体分子を考えたとき、初期条件としての位置と運動量のようなミクロな状態とその時間発展規則としての運動方程式が与えられると、少なくとも古典力学の意味で、ミクロな状態の時々刻々の移り変わりは予言することはできるであろう。しかしながら、その気体分子の数がアボガドロ数のように非常に大きな数の場合に、運動方程式を解くことで有益な情報は得られるとは限らない。一方で、熱力学は、温度や圧力のように驚くほど少数の変数でマクロな世界の性質を記述することに成功している。このミクロな状態からマクロな熱力学的性質を議論する理論体系を与えているのが統計力学である。講義では、統計力学の基本的な考え方や概念を古典平衡統計力学の範囲で説明し、いくつかの適用例題(気体のボイルーシャルルの法則、強磁性の相転移現象、等)を解説する。 評価方法 定期試験と数回のレポートによる総合評価 中村メソッドによるレポート点検も評価対象 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50972	A	物理学Ⅱ (文科生)	金子 邦彦	教養学部(前期課程) 物理	木5	523教室	1年 文科 2年 文科
講義題目 システムの物理 目標概要 物理学にせよ、生命科学にせよ、さらには社会科学にせよ、システムの時間発展の普遍的性質を抽出し、その様式を分類し、理解するのは重要な課題である。こうした問題に対して、これまでに物理学(数理学)が達成した基本的な考え方を紹介する。内容は理系の物理学でも学ばないものも含むが、数式はあまり用いず、図を多用して、時間発展の様子が直感的に理解できるような講義を目指す。 まず力学入門からはじめて、それを一般化した力学系理論、そこで見出されたカオスについて紹介する。ついで、マクロなシステムの安定性と不可逆性について熱力学からの考え方を簡単に述べ、対比して秩序形成過程の理論を紹介する。最後に、こうした考えをふまえて、生物や社会システムの理論の可能性を議論する。 評価方法 定期試験またはレポート 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
50781	A	化学平衡と反応速度	佐藤 健	教養学部(前期課程) 化学	木1	513教室	1年 文科 理科
講義題目 化学平衡と反応速度 目標概要 化学反応を理解するためには、平衡状態で成り立つ静的条件と、平衡状態に到達するまでの反応速度や反応機構に関する動的条件の両方を考慮する必要がある。本講義では、「化学熱力学」の基礎を踏まえ、化学平衡が成立するための条件を熱力学的に導出し、平衡定数の意味を解説するとともに、化学反応が平衡状態に至るまでの反応速度について講義する。また、一般的な化学反応と対比させて酵素反応速度論について解説する。 評価方法 定期試験による 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
50325	A	化学平衡と反応速度	瀬川 浩司	教養学部(前期課程) 化学	火2	512教室	1年 文科 理科
講義題目 化学平衡と反応速度 目標概要 化学平衡と反応速度を中心とする化学反応論は、物質科学や生命科学を理解するうえで重要な基礎となるものである。本講義では、熱力学を発展させ、電気化学や生命科学の入門につなげる。具体的には、エネルギー利用に必要な二次電池や燃料電池、環境科学にかかわる気体の連鎖反応、生命現象にかかわる酵素反応や光化学反応、反応速度の温度依存性や分子軌道との関連などについて取り上げる。 評価方法 演習と定期試験 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。							
50326	A	分子システムの化学	豊田 太郎	教養学部統合自然科学科	火2	533教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 分子が協同的に形成する形・機能・ダイナミクス 目標概要 身近にあふれる物質の様々な現象の解明、さらには最先端の高機能性材料の開発や新たな生命現象の発見は、分子の性質や反応、そして分子間の相互作用を理解し、「分子が組み合わせられたシステム」という観点に立つところから始まる。これまでの講義では、原子・分子や化学反応をただ暗記していただけてはなかっただろうか。もしくは、分子の形状や反応の仕組みを、物理の観点に立って理解することが、最先端の化学ということに終始していたかもしれない。否、化学本来の持ち味は「物質の多様性の理解」、「物質の設計と開発」である。本講義では、そのサイエンスの最先端を駒場の化学系教員が紹介する。基礎から体系立てて化学の最先端を解説する本講義を受講することで、分子や物質の多様性、分子システムという考え方を習得していただきたい。 評価方法 各回での復習問題(12回)の解答を総合して評価する。研究室見学会での小課題も成績評価に含まれる。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51379	A	物質・生命工学概論	阿部 英司	工学部	金5	1214教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
【注意】この授業は、2014年度以前入学者が履修する場合は、総合科目D系列として扱われるので、注意すること。 講義題目 物質・生命工学概論 目標概要 物質・材料の探究と開発は、新たな物理現象の発見につながる基礎科学として重要であるのに加え、生命工学を通じた医療分野の技術革新から環境・資源問題の解決に至るまで、幅広い分野での産業創出や新たな社会価値の創造を支える工学の基盤となっている。本講義では、ナノサイエンス・ナノテクノロジーをベースにした物質・材料の基礎と最先端研究を紹介し、エネルギーや環境、情報通信、バイオ、医療などへの応用について理解を深めることを目的とする。 評価方法 出席およびレポート。第2回～第13回の講義に関連して出題される課題（全6課題）のうち、3つを選択してレポートを提出してください。各課題は別々のレポートとして提出すること。 最終提出期限：1月19日（金）（レポート提出は10月から受け付けます） 提出先：アドミニストレーション棟 1階ロビー レポート提出ボックス 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
51362	A	物質・生命工学基礎Ⅱ	長汐 見輔	工学部	月1	158教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ナノ・機能マテリアル入門 目標概要 「古典的・量子力学的波動の振る舞いについて理解したうえで、ナノテクノロジーとその機能マテリアルへの応用について学ぶ」ことがこの講義の目標である。大学教養学部では基礎科学の普遍性を強調したアカデミックなアプローチで講義が行われることが多く、専門の決まっていない学生に対する講義としてはある種正しい。しかしながら、厳密性を重視した数学による表現が多用されると、高校までに学習した物理や化学の知識との間に大きなギャップを感じることも多いのではないかと思う。間違っって捉えてはいけないのは、数学的難しさと物理的な難しさは違うという点である。この講義では、固体中の電子の挙動を表すシュレーディンガー方程式の物理的意味を正しく理解し、どのように我々の身の回りのテクノロジーに結実しているのかをわかりやすく解説する。 評価方法 出席、小テスト、レポート課題によって評価する。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51368	A	物質・生命工学基礎Ⅱ	馬渡 和真	工学部	火2	108教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 量子計測化学序論Ⅱ -分子・錯体・固体など化学を広く量子力学で理解する（物性化学への橋渡し）- 目標概要 量子計測化学序論Ⅰでは量子化学を扱う構造化学へスムーズに移行すべく、原子を対象として量子化学の考え方や軌道のイメージについて講義した。本講義では、量子化学の考え方をベースに、原子から分子、錯体、固体へと移行して、化学を広く理解するための講義を実施する。第2年次S1タームで開講される物性化学へと橋渡しとしても位置づけている。 毎回化学に関する身近なテーマを設定して、何となくしか理解していない身近な現象が量子化学を用いてはじめてメカニズムを理解できることを示す。 評価方法 出席とレポート課題 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
50229	A	進化学	青木 誠志郎	教養学部(前期課程) 生物	月5	1322教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 進化学 目標概要 生物の不思議を進化の観点から見つめ、現在の生物学において活発に研究がなされている様々な現象、例えば生物の多様性はなぜ生まれるのか、生物が協力しあうには何が必要か、生命の条件とは何か、生態系の持続には何が必要か、有性生殖はいつ起源しなぜ維持されているのかなどの不思議について、科学的興味をもつことを目標とする。また一般社会における通説的な考え方、例えば“高等”や“下等”といった概念を、進化学の観点から見直したい。高等学校で生物を学ばなかった者にもわかるように、授業の早期に最低限の遺伝学の説明を行い、現代進化学の基本となる遺伝子-個体-集団から見た生物について、科学的に理解できるようにする。 評価方法 定期試験、宿題の提出、質問や発言・出席などの授業への姿勢 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50230	A 1	現代生命科学Ⅰ (文科生、理一生)	石丸 喜朗	教養学部(前期課程) 生物	月5	1311教室	1年 文科 理一 2年 文科 理一
講義題目 生命科学の基礎 目標概要 特に21世紀以降、生命科学は飛躍的に発展しています。本授業では、生命科学の基礎知識・基本原理を幅広く習得し、科学的思考力を身に付けることを目標とします。身近な生命現象を手がかりとして、その奥にある仕組みを科学的に基本から学習します。過去の生物学の履修歴は問いません。知的好奇心に溢れ、勉学意欲に富んだ学生の参加を希望します。 評価方法 繰り上げ試験を実施 教科書 著者（訳者）：東京大学生命科学教科書編集委員会 書名：現代生命科学 出版社：羊土社 ISBN：978-4-7581-2053-1 ガイダンス 特に行わない。							
50015	A 1	現代生命科学Ⅱ (文科生、理一生)	池内 昌彦	教養学部(前期課程) 生物	月1	1212教室	1年 文科 理一 2年 文科 理一
講義題目 現代生命科学Ⅱ 目標概要 生命科学を地球、人間、植物、微生物、ゲノム、遺伝子という観点から概観し、地球の生命の現状と将来を考える。 評価方法 試験 教科書 著者（訳者）：東京大学生命科学教科書編集委員会 書名：現代生命科学 出版社：羊土社 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51359	A	分子生命科学	濡木 理	理学部	木5	522教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 分子から見た生命現象 目標概要 生物の織りなすさまざまな生命現象は、すべて遺伝子DNAにコードされた遺伝情報が機能を発揮した結果であると言ってもよい。遺伝情報は、RNA、タンパク質、そしてそれが作り出す低分子有機化合物などの分子の形となり、これらの分子が相互作用しながら細胞内外で働いた結果、生き物としての不思議な性質が作り出されてくるのである。生物化学という学問分野は、このような生命現象が、分子の働きによっていかに作り出されるかを解明する研究分野である。 この授業では、この分野の代表的な教科書である「細胞の分子生物学 第5版」に沿って基本的な概念の説明と、その知識を基盤とする最先端の研究の紹介を交互に行う。基礎知識がなくとも生命科学の研究のテストを味わうことができるように配慮して講義を進める。理学部生物化学科の担当教員6名により、本学科の研究と密着した、タンパクの質構造と機能、RNAによる制御、神経細胞の分化、生体リズム、味覚・嗅覚・光感覚、学習記憶などのテーマについての講義を行う予定である。 評価方法 出席（50%）とレポート（50%）にて評価する 教科書 次の教科書を使用する。 教科書 著者（訳者）：ALBERTS/JOHNSON/LEWIS/RAFF/ROBERTS/WALTER（翻訳：中村桂子、中塚公子、宮下悦子、松原謙一、羽田裕子、青山聖子、滋賀晴子、滝田郁子） 書名：細胞の分子生物学（第5版） 出版社：ニュートンプレス ISBN：4-315-51867-2 C3045 ガイダンス 特に行わない。							
50973	A	惑星地球科学Ⅰ (理科生)	小久保 英一郎 中本 泰史	教養学部(前期課程) 宇宙地球	木5	1222教室	1年 理科 2年 理科
講義題目 惑星地球科学Ⅰ(惑星系天文学概論) 目標概要 太陽系は惑星、衛星、環、小惑星、太陽系外縁天体、彗星と、質量・組成・軌道の異なる多様な天体から構成されている。これらの天体はどのような特徴をもち、どのようにして形成されたのだろうか。また、近年、観測によって銀河系には太陽系以外にも多様な惑星系が存在することが明らかになっている。これらの惑星系は太陽系とは何が違うのだろうか。授業では惑星系の構造・起源・進化について、最新の観測・理論研究の成果を交えながら概説する。 評価方法 課題レポートによって評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50509	A	惑星地球科学Ⅱ (理科生)	磯崎 行雄	教養学部(前期課程) 宇宙地球	火5	1102教室	1年 理科 2年 理科
講義題目 地球科学の基礎：とくに地球表層環境の物質とその変遷史 目標概要 地球表層環境の歴史は、固体地球の歴史と密接に関連している。約40年に及ぶ地球生命および環境の歴史を、固体地球の歴史と対比しながら解説する。人類が直面する地球環境問題を考える上での基礎知識の習得を期待する。 評価方法 定期試験、および各講義ごとに行う小テストにより評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51360	A	地球惑星環境学入門	高橋 嘉夫	理学部	木5	122教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 化学で解く地球と環境：環境地球化学入門 目標概要 地球表層での物質循環・化学過程のいくつかの例を大気圏・水圏・地圏に分けて考えると共に、関連する環境問題について取り上げる。関連して、地球の大気や海洋がどのように進化して現在の姿になったかについても知る。これらの知識を基盤とすることで、現在の地球環境問題の本質を探ることができる。また、これら地球化学・環境化学の基礎となる化学熱力学や分析手法についても解説する。 評価方法 出席、小テスト、定期試験を基に総合的に評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51052	A	宇宙科学Ⅰ (理科生)	蜂巢 泉	教養学部(前期課程) 宇宙地球	金2	1313教室	1年 理科 2年 理科
講義題目 宇宙科学全般の基礎 目標概要 宇宙の始まり、銀河の形成、恒星の進化、元素の起源、ブラックホール、中性子星、惑星系の形成、地球外生命の可能性など幅広く宇宙の現象を扱う。 講義の内容をわかりやすくまとめた講義ノートを生協書籍部で販売（700円程度）している。教科書代わりに使うので、購入しておいて欲しい。 なお、この講義に対する学生諸君からの評価は、次のところにまとめてあるので、それも参考にして選択してほしい（東京大学教養学部宇宙地球部会ホームページ）。 http://www.esa.c.u-tokyo.ac.jp 評価方法 評価は主に定期試験で行う。2度のレポートを提出してもらい、定期試験の点に付加点として追加する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
50782	A	宇宙科学Ⅱ (理科生)	松原 英雄	教養学部(前期課程) 宇宙地球	木1	523教室	1年 理科 2年 理科
講義題目 宇宙の物質循環を理解するために使われる物理・化学・数学 目標概要 宇宙科学Iで学んだ様々な宇宙の現象の中から、特に赤外線天文学（可視光～電波天文学も含む）の研究の現場である「宇宙の物質循環」に関係したテーマを幾つか掘り下げて学習する。これにより、大学の1、2年生で学ぶ基礎的な物理学・化学・数学が、最前線の宇宙科学（特にスペースからの赤外線天文学）の研究の現場でどのように使われているか、具体的な例を通じて習得し、基礎科目の学習の重要性を再認識することを目指す。 生まれたての星や銀河とその母胎である星間物質、原始惑星系円盤や系外惑星など、赤外線天文学の観測対象について学習するだけでなく、宇宙飛翔体（天文衛星・探査機）やその運用・データ処理など、研究を遂行するために我々研究者が日々の研究や業務の現場で直面している課題についても紹介する。 評価方法 中間レポートと定期試験の成績の合計で評価する。中間レポートの提出が無い場合、定期試験の受験が無い場合は不合格となる。なお前年度までに出題したものと異なる問題が出題されることがある。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50765	A	惑星地球科学Ⅱ (文科生)	小宮 剛	教養学部(前期課程) 宇宙地球	水5	532教室	1年 文科 2年 文科
講義題目 地球惑星科学概論Ⅱ 目標概要 地球惑星科学Ⅰに引き続き、特に以下の点について、講義する。 地球史：固体地球進化（熱史）、大気・海洋表層環境進化（酸素と二酸化炭素）、暗い太陽のパラドックスと表層環境進化、地球生物史（プレカンブリア）、全球凍結、顕生代の生命史と大量絶滅 表層環境：大気・海洋構造、炭素循環、第四紀以降（氷期間氷期サイクル）、地球温暖化、環境と人類史、鉱床の形成と成長の限界（資源、エネルギー問題） 評価方法 定期試験を行う 出席も加味 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51053	A	宇宙科学Ⅰ (文科生)	鈴木 建	教養学部(前期課程) 宇宙地球	金2	1225教室	1年 文科 2年 文科
講義題目 天文学・宇宙物理学の基礎的内容 目標概要 宇宙における天体現象が、現代科学の手法を用いてどのように理解されているのかを、自ら噛み砕いて把握することが、本講義の目標である。 評価方法 定期試験(義務)＋中間レポート(希望者のみ) 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51389	A	微生物の科学	大西 康夫	農学部	水5	1102教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 微生物の世界 目標概要 微生物の種の多様性と微生物が示す驚くべき機能の多様性は、微生物が生物学、生物化学、遺伝学、生理学、分子生物学の基本的研究対象となり、かつバイオテクノロジーの主役として活躍する基本をなしている。本講義では、まず、イントロダクションとして、微生物学の歴史、微生物取扱手法、微生物の多様性を解説する。その後、種々の微生物（あるいは微生物群）について、それぞれが示す多様な生命現象をわかりやすく紹介していくことで、受講者を「微生物の世界」にいざなう。主として「人類に役に立つ微生物」という農学的見地から微生物について解説するが、受講者には、いわゆる「応用微生物学」のエッセンスを学んでいただきたいと考えている。 評価方法 定期試験の成績に出席点を加味して評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51391	A 1	アグリバイオロジー	堤 伸浩	農学部	金5	K402	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 植物の機能とその利用 目標概要 前世紀後半、世界の食料生産は「緑の革命」に代表されるような資本投入型技術の開発により大きく飛躍した。これら増産主体の農業技術は、人口爆発に伴う食糧需要をなんとか支えてきた反面、農業生態系全体の調和・持続性との間に大きな摩擦を生んできた。さらなる人口増、工業化や砂漠化による耕地面積の減少、地球規模での異常気象などによってこのジレンマが拡大の一途を辿るなかで、問題解決に向けた新たな取り組みが求められている。本講義では、農業生産の基礎となる植物の機能とその利用について最新の知見を解説し、将来の技術開発の方向性を考える。 評価方法 定期試験、授業への参加姿勢（小レポートを含む）、出席点によって総合的に評価する。試験は定期試験期間に行う。ノートおよび配付資料は持ち込み可とする（ノート・配付資料以外は持ち込み不可）。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51387	A	応用動物科学Ⅱ	堀本 泰介	農学部	月5	522教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 高等動物の比較生物学 目標概要 高等動物（主に哺乳類、鳥類）の解剖、生理、病気、感染症、診療など、加えて公衆衛生、ヒトと動物の関係などについて、獣医学専攻と応用動物科学専攻の教員が講義する。 評価方法 レポートによる。 各講義で自分が理解した内容およびそれに関する意見、感想などをA4で2枚以内にまとめ、次の講義時に提出。 最終回の講義のレポートは平成30年1月12日までにアドミニストレーション棟1F レポートボックスに提出すること。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51392	A	海の生命科学	潮 秀樹	農学部	金5	743教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 海の生命科学 目標概要 水温、塩分、水圧等の大きく異なる棲息環境に、バクテリア、プランクトンなどの微小な生物から、各種の無脊椎動物、魚類、大型は哺乳類に至る多種多様な生物が独自の進化・繁栄をしてきた。水圏には地球上のほぼすべての動物門が棲息しており、その多様性は陸上の比ではない。水中での生活を可能にするために、陸上生物には見られない特殊な器官やユニークな代謝経路を発達させた種も多い。しかし、陸上生物である我々ヒトにとって、水圏にはまだまだ未解明の現象が多く、そこに未知の利用可能性や新たな研究領域の発展可能性を秘めたフロンティアが存在する。われわれ人類は、様々な形で水圏生物と関わりを持っている。水圏生物に関する理解を深め、再生産可能な形で有効に利用することは、人類が真剣に取り組むべき課題である。この課題達成のために求められることは、水圏生物をよく知ることである。 本講義では、水圏生物科学専攻各講座の教員が、（１）海洋生物の生理、（２）海洋生物の有機化学、（３）海洋生物のゲノム科学、（４）海洋生物の食への利用と生理調節作用、について、その研究の概要と最新の動向について紹介する。 評価方法 授業への参加状況や理解状況（小テストなどを課す場合もある、30%）および定期試験（70%）をもとに評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
50231	A	生物物理学	矢島 潤一郎	教養学部(前期課程) 生物	月5	1212教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 生物物理学—実験から理論まで— 目標概要 生物は物質で構成されている。したがって物理学的な立場から生命現象を理解できる。しかしながら、単に化学物質を寄せ集めただけでは生命らしさはあらわれてこない。生物物理学は、生物を分子や細胞に要素還元するとともに、それらが相互作用するシステムとして生物を捉えることで、生命現象の普遍的な理解をめざす学問であるといえる。本講義では、生物を構成する物質の最小単位であるタンパク質などの生体高分子から、それらの集合体である超分子や細胞までの各階層において生命らしさが創発する仕組みと、生命の可塑性と頑健性についての数理的な理解の方法を学ぶ。 いま、生命科学研究の最前線では生命科学と物質科学の境目があいまいとなってきた。つまり、生物を物質として捉え、物理学的な観点から見直すことで、生命現象を自然現象の一部として統一的に理解しようとする試みが盛んに行われている。さらに、物理学の立場から生物を俯瞰すると、生物は未解明の新領域でもあり、新たな物理学を開拓できる可能性を秘めている。このように、従来とは異なる観点で生物学を捉え直すことに興味がある学生や、物理学の立場から見た生命像に興味のある学生には、本講義の受講を勧める。大学の生命科学が未履修であっても構わない。 評価方法 平常点及び小テスト 場合によってレポートを課す場合もある。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							

総合科目F 数理・情報

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50783	A	数理科学概論Ⅰ (文科生)	小林 俊行	教養学部(前期課程) 数学	木1	723教室	1年 文科 2年 文科
講義題目 数理科学概論Ⅰ 目標概要 文科生向けに一変数関数の微分法の基本的な考え方から始めて、二変数関数の偏微分法の基礎と応用ならびに重積分に関する基礎的な内容を扱う科目である。社会科学に関連する題材を織り交ぜ、数学的な概念を把握することに重点をおいて講義する。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって順序は異なることがある。この科目を履修した後に、より進んだ内容を理科学向け総合科目F系列「微分積分学統論」で学ぶことができるが、そのためには「数学Ⅱ」「数理科学概論Ⅱ(文科生)」もあわせて履修しておくことが望ましい。 評価方法 定期試験の成績に平常点（中間試験等）を加味する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
50327	A	数理科学概論Ⅱ (文科生)	辻 雄	教養学部(前期課程) 数学	火2	514教室	1年 文科 2年 文科
講義題目 数理科学概論Ⅱ(文科生) 目標概要 文科生向けの、行列の定める線型変換（一次変換）の固有値と固有ベクトルを求める手法と その応用を扱う科目である。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって順序は異なることがある。この科目では「数学Ⅱ」で扱う内容を前提とするが、基礎科目「数学Ⅰ」で扱う内容は前提としない。ただし、UTASシラバス「授業計画」欄項目3においては「数学Ⅰ」の関連する内容を理解しておくことが望ましい。 評価方法 試験による 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
51380	A	数理工学入門	平井 広志	工学部	木5	151教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 最適化の数理 目標概要 産業経済活動に現れる生産計画、配送計画、スケジューリング、投資計画を始めとする多くの重要な問題は、大規模な最適化問題として捉えられる。本講義では、現実問題からどのように数理的な構造をとり出し、最適化問題として定式化するかを学ぶとともに、モデル化された最適化問題を効率的に解くアルゴリズムを設計し、解析するための考え方を学ぶ。 評価方法 出席と2回のレポート課題 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
50232	A	統計データ解析Ⅰ	小池 祐太	教養学部(前期課程) 数学	月5	E41教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 統計データ解析Ⅰ 目標概要 ビッグデータの時代と言われている。近年、データの計測およびストレージ技術の発達とともに、大規模データから適切に情報抽出し、それを意思決定に活用することが必須のリテラシーとなっている。いっぽうデータの形式と対応する解析法の変化は著しく、新しい方法を正しく利用するために、普遍的な統計科学の原理を理解することが重要である。基礎となる統計数理とともに、具体的な統計解析手法とその運用を、統計ソフトウェアによるデータ解析実習を通じて習得する。 統計データ解析Ⅰでは、受講者が統計ソフトウェアを用いた実験によって確率的現象に慣れ、統計推測法の意味を理解し、データ解析の方法を実習する。統計ソフトウェアRの使い方を学んだあと、シミュレーションによってランダムネスと極限定理を体験する。後で必要になる確率分布を学び、基本的な記述統計量と標本分布に関する基礎事項を学習する。推測統計における基礎的な推定・検定法、および分散分析、回帰分析の方法を、データ処理を通じて実習する。 評価方法 出席、および課題の発表あるいはレポートによる。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50766	A	統計データ解析 I	小池 祐太	教養学部(前期課程) 数学	水5	E41教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 統計データ解析I 目標概要 ビッグデータの時代と言われている。近年、データの計測およびストレージ技術の発達とともに、大規模データから適切に情報抽出し、それを意思決定に活用することが必須のリテラシーとなっている。いっぽうデータの形式と対応する解析法の変化は著しく、新しい方法を正しく利用するために、普遍的な統計科学の原理を理解することが重要である。基礎となる統計数理とともに、具体的な統計解析手法とその運用を、統計ソフトウェアによるデータ解析実習を通じて習得する。 統計データ解析Iでは、受講者が統計ソフトウェアを用いた実験によって確率的現象に慣れ、統計推測法の意味を理解し、データ解析の方法を実習する。統計ソフトウェアRの使い方を学んだあと、シミュレーションによってランダムネスと極限定理を体験する。後で必要になる確率分布を学び、基本的な記述統計量と標本分布に関する基礎事項を学習する。推測統計における基礎的な推定・検定法、および分散分析、回帰分析の方法を、データ処理を通じて実習する。 評価方法 出席、および課題の発表あるいはレポートによる。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
50974	A	統計データ解析 I	吉田 朋広	教養学部(前期課程) 数学	木5	E41教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 統計データ解析I 目標概要 ビッグデータの時代と言われている。近年、データの計測およびストレージ技術の発達とともに、大規模データから適切に情報抽出し、それを意思決定に活用することが必須のリテラシーとなっている。いっぽうデータの形式と対応する解析法の変化は著しく、新しい方法を正しく利用するために、普遍的な統計科学の原理を理解することが重要である。基礎となる統計数理とともに、具体的な統計解析手法とその運用を、統計ソフトウェアによるデータ解析実習を通じて習得する。 統計データ解析Iでは、受講者が統計ソフトウェアを用いた実験によって確率的現象に慣れ、統計推測法の意味を理解し、データ解析の方法を実習する。統計ソフトウェアRの使い方を学んだあと、シミュレーションによってランダムネスと極限定理を体験する。後で必要になる確率分布を学び、基本的な記述統計量と標本分布に関する基礎事項を学習する。推測統計における基礎的な推定・検定法、および分散分析、回帰分析の方法を、データ処理を通じて実習する。 評価方法 出席、および課題の発表あるいはレポートによる。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

図形科学 A		開講区分	A
目標概要	3次元立体形状の図的表現および形状処理について、C A D（計算機援用設計）／C G（コンピュータ・グラフィックス）ソフトの実習を通して学び、立体形状の把握・伝達・構想能力を養う.主な学習項目は以下のとおり。 1. 2Dモデリング（線分，円，多角形，スプライン曲線） 2. 3Dモデリング（押し出し・回転，空間幾何課題の解法） 3. アセンブリ・正投影図面 4. パースペクティブビュー（透視投影） 5. レンダリング（色彩，マッピング，陰影） 6. アニメーション（動的表示，ウォークスルー）		
成績評価方法	出席、レポート（実習課題）、および、定期試験によって評価する。		
教科書	次の教科書を使用する。		
教科書	著者（訳者）：鈴木賢次郎，横山ゆりか，金井崇，舘知宏 共著 書名：3D-CAD/CG入門〔第3版〕～Inventorと3ds Maxで学ぶ図形科学 出版社：サイエンス社 ISBN：978-4-7819-1389-9		
※講義の詳細については、UTASも参照すること			

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50055	月2	柏原 賢二、福田 玄明	E21教室	1年 文科 理一(14,17,23,29,39) 2年 文科 理科
50084	月3	福田 玄明、柏原 賢二	E21教室	1年 文科 理一(5,19-21,36) 2年 文科 理科
50273	火2	横山 ゆりか、吉岡 陽介	E26教室	1年 文科 理二三(1-14) 2年 文科 理科
50383	火3	吉岡 陽介、横山 ゆりか	E26教室	1年 文科 理一(15-16,32-33) 2年 文科 理科
50669	水3	奈尾 信英、舘 知宏	E21教室	1年 文科 理一(9-11,37) 2年 文科 理科
50711	水4	舘 知宏、奈尾 信英	E21教室	1年 文科 理一(12,24,27-28,30) 2年 文科 理科
50768	木1	奈尾 信英、早川 大地	E21教室	1年 文科 理二三(15-24) 2年 文科 理科
50808	木2	早川 大地、奈尾 信英	E21教室	1年 文科 理一(13,18,34,38) 2年 文科 理科
51083	金3	田中 一郎、山下 典理男	E31教室	1年 文科 理一(22,25-26,35) 2年 文科 理科
51128	金4	山下 典理男、田中 一郎	E31教室	1年 文科 理一(1-4,6-8,31) 2年 文科 理科

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50233	A	基礎統計	佐藤 俊樹	教養学部(前期課程) 経済・統計	月5	1108教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 基礎統計 目標概要 統計学の考え方の基礎にあたる部分を解説する。 範囲としては分布をとらえる指標、よく用いられるいくつかの確率分布の解説、検定や推定の初歩などを考えているが、技法を詳しく説明するよりも、その背後にある考え方（いわば統計学はどのような風に見ようとしたのか）に焦点をあてて進めていく。初心者にとって最大の障壁はそこが理解できないことであり、その結果として、具体的な数式や論理が「ブラックボックス」化するからである。 他の統計学関係の講義をある程度理解できる人にとっては、特に得るものがないと思われるので、そういう人の履修は勧めない。 評価方法 試験 最も初歩的なところを範囲とするので、点数稼ぎを防ぐために、評価は厳しい。なお、2014年度まででいえば、平均して2割が不可。登録しても勉強していないかぎり、試験に出ても時間の無駄だと思う。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
50328	A	統計分析	佃 康司	教養学部(前期課程) 経済・統計	火2	166教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 応用統計学入門 目標概要 「データ」が持つ特徴はさまざまである。 例えば、歪んだ分布をしている、数え上げでとられており整数値のみをとる、とりうる範囲が限られる、極端に大きい値が沢山ある…等々。 その他、近似的に正規分布とみなせるように変換されたデータや順序を与えるように変換されたデータを扱う場合もある。 データ分析の方法はその背後に想定する統計モデルによって異なるが、分析にあたっては、データの特徴を把握し、どういうモデルを仮定してどういう解析方法を用いるかを、解析者が分析毎に考える必要がある。 本授業では、（例えば基礎統計の授業などで）統計学について一度は学習したことがあることを前提に、正規分布の仮定を行うことができないデータに関して推定・検定といった分析方法をその背景とともに紹介する。 授業の目標は「これらの例を通してデータ分析のための選択肢を増やすとともに、統計学の論理を理解すること」である。 評価方法 原則として試験による。 レポートを出す可能性がある。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。							

アルゴリズム入門		開講区分	A
目標概要	コンピュータやインターネットに代表される情報処理・情報通信技術は、現代社会の基盤となっています。このような技術の基盤となっているのが「アルゴリズム」と呼ばれる概念です。アルゴリズムは、観測データからの気象予測や、文章からの執筆年代予測など、あらゆる分野での問題解決の基礎となるものです。 本科目の目的は、アルゴリズムの基本概念や、アルゴリズムを作るための考え方を、プログラミングを通して習得することです。 扱う話題としては以下のものが挙げられます。 - 数の計算と関数 変数と配列 - 条件分岐と繰り返し 場合分け・真偽値・論理演算・文字列・繰り返し - 関数から「計算」へ 反復計算・再帰関数 - アルゴリズムと計算量 整列法 - 数値計算 数値積分・モンテカルロ法・数値誤差・連立1次方程式 - パターン認識 動的計画法・アラインメント 本科目では、これらの学習の手立てとしてRuby言語によるプログラミングを用います。		
成績評価方法	共通試験および演習の成績によって評価します。 共通試験は基本的な事項の確認を中心とした問題になります。出題範囲などについては授業中に知らせます。		
教科書	著者（訳者）：増原英彦・東京大学情報教育連絡会 書名：情報科学入門: Rubyを使って学ぶ 出版社：東京大学出版会 ISBN：978-4-13-062452-7		
※講義の詳細については、UTASも参照すること			

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50001	月1	森畑 明昌	E21教室	1年 文科 理二三(1-10) 2年 文科 理科
50056	月2	山口 文彦	E31教室	1年 文科 理一(18,24,27-28) 2年 文科 理科
50156	月4	山口 泰	E21教室	1年 文科 理一(1-5,15) 2年 文科 理科
50196	月5	伊知地 宏	E21教室	1年 文科 理二三(11-17) 2年 文科 理科
50272	火2	萩谷 昌己	E21教室	1年 文科 理一(6,14,20,25,32) 2年 文科 理科
50593	水2	千葉 滋	E26教室	1年 文科 理一(9,22-23,26,29) 2年 文科 理科
50710	水4	田中 哲朗	E31教室	1年 文科 理一(7-8,10-11) 2年 文科 理科
50807	木2	地引 昌弘	E31教室	1年 文科 理一(12,16-17,37) 2年 文科 理科
50992	金1	中山 英樹	E21教室	1年 文科 理一(13,36,38-39) 2年 文科 理科
51004	金2	対馬 かなえ	E21教室	1年 文科 理二三(18-24) 2年 文科 理科
51082	金3	山口 和紀	E26教室	1年 文科 理一(21,30-31,33) 2年 文科 理科
51134	金4	羽山 博	E26教室	1年 文科 理一(19,34-35) 2年 文科 理科

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51361	A	計算機プログラミング	萩谷 昌己	教養学部(前期課程) 情報・図形	金2	E26教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 プログラミング技法 目標概要 プログラミングが簡潔で速く、正確になることは、情報科学の知識や数学的能力だけでは不十分であり、技法としてのプログラミングを身に着け、訓練を経ることが必須である。本講義では、簡単なプログラム作成が出来ることを前提として、より速く、より正確、より大規模なプログラムを作成する技術的側面について講義し、実際の課題を通してプログラミング技法を錬成する。 評価方法 期末までに、数回課題レポートを科し、その結果により成績評価を行う 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
51366	A	情報・システム工学概論	峯松 信明	工学部	月5	158教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
【注意】この授業は、2014年度以前入学者には総合科目D系列 情報技術論 として開講されるので、注意すること。 講義題目 情報・システム工学概論 目標概要 近年情報技術の対象は、個数、金額、品番など、数値として管理するのが適切であることが一見してわかるものから、人間の言葉、動作、社会的行動など、単純な数値化による情報技術の適用が容易でないものに広がってきている。本講では、こうした対象に情報技術を適用するのに必要となる技術を概観し、具体的な適用例の紹介を通じてその理解を深める。 評価方法 出席数と、講義内容に関して出題される課題に対してレポートの採点を組み合わせて行う。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
51363	A	情報システム基礎Ⅱ	三田 吉郎	工学部	月1	1321教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 わかる電子回路 目標概要 電子回路は、自動車から玩具に至るまで、世の中のありとあらゆる分野で使われている、普遍的な技術である。と同時に、電気電子工学のしっかりした理論体系を持っているので、基礎理論を一たび学ぶだけで、驚くほど多くの分野に応用することができる。工学の基礎ともいえるこの電子回路理論を、実演も含めながらわかりやすく講義する。学習の応用として実用的な回路を設計し、学生の意欲により自作演習と発表会を計画する。 評価方法 出席、中間レポートならびに最終課題(学生の創意工夫を伸ばす自由課題)によって総合的に判断する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51382	A	情報システム基礎Ⅱ	國吉 康夫	工学部	金5	721教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 人間とロボットの科学 目標概要 ロボットのルーツは、人間や動物の知的行動を工学的に再現しようとする試みにある。身体、知覚、行動、知能を数理的、科学的に定式化し、適切な工学的実現を行うことで、様々なロボットができる。それは、人間や動物を科学的に理解することであると同時に、人間に有用なロボット技術を構築することでもある。さらには、人間の能力を補い、拡張する技術、人間に新たな体験を提供する技術にもつながる。 本講義では、人間のための技術としての仮想現実や生活支援ロボット、人間を理解する手段としての認知発達ロボティクス、ヒューマノイドロボットやサイボーグ技術など、最先端のロボティクスを俯瞰すると共に、その実現に向けた基礎知識を学ぶ。高校～大学1年程度の数学および物理学を使って、人間とロボットに共通の機能定式化を具体的に学び、工学的実現方法も見えていく。これらを統合すると、知能ロボット機能の一つの全貌が理解できるはずである。 評価方法 出席、小テスト、レポートによる。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
60236	A 2	モデリングとシミュレーション基礎Ⅱ	鳥海 不二夫	工学部	集中	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 経済物理・金融情報学・計算社会科学 目標概要 現代の社会における現象は複雑系に特徴的な特性を示し、新古典経済理論や金融工学、社会学では説明の付かない現象が数多く観察される。それに対して理工系の知見を適用して、社会現象を実証的に解明し解析しようとする学問がいくつも存在する。この講義では、そのような学問の中で経済物理・金融情報・計算社会科学の考え方や手法を学習するとともに、社会現象・人間行動に関係する複雑な現象にどのように取り組むかを考える。 ※履修人数制限 20人 ※講義は12月に集中講義にて行う（現在のところ28、29日を予定）。 ※受講希望者は10月10日(火)までに100字程度の希望理由を添えて申し込むこと https://goo.gl/forms/An59BCV93dNwSsxy2 評価方法 講義後に行われる試験によって評価。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							

学術フロンティア講義

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51288	A	生命の宿る星を 宇宙にさがす	生駒 大洋	理学部	月4	2	164教室	1年 理科 2年 理科
目標概要 我が国の太陽系探査ミッション「はやぶさ2」は、来年の小惑星リュウグウ到着に向けて順調に航行を進めている。このミッションでは、小惑星に生命の起源物質の痕跡があるかということも、大きな研究対象の一つである。他方、太陽系以外の多くの星に惑星が存在することが明らかになりつつある。そして、それらの惑星に生命が存在するのかわかるということが、惑星科学・天文学・生命科学を通じた自然科学の最先端テーマとして真剣に研究されている。本講義においては、地球に生命が存在することの意味、太陽系とはどのような特徴をもつ惑星系なのか、どのような惑星系であれば生命が存在しうるか、次々と観測される太陽系以外の惑星系とはどのようなものかについて、この分野の世界をリードしている教員が最先端のサイエンスを講義する。 評価方法 出席、レポートを総合して評価 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。								
51244	A	文化資源 文化遺産 世界遺産	美馬 秀樹 中村 雄祐 松田 陽	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	月5	2	レクチャー ホール	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 コーディネータ：中村雄祐（文学部） ナビゲータ：松田 陽（文学部） 我々が世界で何かに出会って驚くとき、我々はその対象に驚くと同時に、実は、自分のものの見方が変わったことにも驚いている。こうしてあらわれてくるものを、我々は文化資源と呼ぶことにする。このような文化資源が何らかのきっかけで周知され、そこに相当数の人々が共感や郷愁やエキゾチズムをおぼえた時、それは文化遺産となる。こうして生まれた文化遺産を、人々はさまざまなかたちで使おうとする。この過程で特殊な条件が揃い、かつ政治的に大きな判断がなされたとき、それは世界遺産となる。 以上に示したプロセスを定式化することはできない。だが視点を変えて、文化資源、文化遺産、世界遺産を通して人々がいったい何をしているのかについては、我々は明らかにすることができる。ここから現代社会が過去とどう付き合っているかが少しは見えてくるだろう。 文化資源、文化遺産、世界遺産は、いずれも我々が現在頻繁に見聞きする言葉であるが、それらが社会で広く使われるようになったのは最近のことである。本講義では、文化資源、文化遺産、世界遺産という考え方がどのようにして社会に受け容れられていったのかを明らかにし、今日、これらの考え方に導かれながら、我々がどのような活動を行い、何を達成しようとしているのかを、多分野横断的に検討する。 評価方法 出席およびレポート 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。								
51344	A	化学システム工学で拓く 未来のものづくり	杉山 弘和	工学部	月5	2	164教室	1年 理科
目標概要 本講義では化学システム工学科の教員が、持続可能な未来のものづくりを実現するための化学と工学の役割を分かりやすく説明します。以下のテーマに触れる予定です。 ・産業で役立つ化学材料をつくる ・社会に貢献する薄膜材料をつくる ・排ガスをクリーンにする触媒をつくる ・医療で使える材料を化学でつくる ・医薬品を上手につくる ・ビッグデータを使って新規化合物をつくる ※このゼミは9月25日（月）6限（18：45～）に743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 評価方法 主に出席・レポート 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60219	A 2	ネット社会の秩序と法	太田 勝造	法学部	火3	1	534教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 ITCのとどまることのない発展は、人間社会の秩序に大きな変容をもたらしている。本講義では、社会学、経済学、心理学等の社会科学の理論と知見はもとより、進化論や人工知能などの自然科学をも参考として、人類が直面している「知」と「社会」の変容に対してアプローチを試みるものである。法や政治がこの変化をどのように制禦しようとし、果たしてそれはどこまで可能かを考える。法や政治についての素養は特に必要としない。本講義は、奥村裕一講師（公共政策大学院教授）、清水剛講師（総合文化研究科教授）、及び太田勝造講師（法学政治学研究科教授）のオムニバス講義である。 評価方法 筆記試験による。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。								
51247	A	家	刈間 文俊	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	水5	2	524教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 住まいのことを考えるにせよ、家族のことを考えるにせよ、「家」は我々にとって、豊かなイメージを喚起する力を持っている言葉だ。にもかかわらず、「家」を語ることが難しいのは、それが我々の弱さと結びついているからである。字源をたずねれば、漢字の「家」のかんむりは、家屋の屋根に由来するという。可傷的な存在が必要とする保護を、助けを提供するものとして成立したはずの「家」が、その揺るぎなさゆえにかえって桎梏となり、あるいは保護をもたらすはずの外界からの遮断がむしろ無法を助長するといった矛盾を、我々はまさに自身の弱さにおいてくぐり抜けることを余儀なくされる。そしてそこで刻まれた経験は、しばしば逃れ出ることの難しい、共感の閉域を構成することになっている。 「家」という言葉を聞くと、誰もが何かを思い描くのだが、しかしその何かは、それぞれ決定的に異なっている。誰もが自分の「家」にとらわれている。そのとらわれの身から踏み出す一步を、本講義の提供するさまざまな「家」へのアプローチから見いだして欲しい。 評価方法 セメスター末レポートと授業時のコメントの提出による出席点にもとづいて評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行く。								
51308	A	現代の数学 —その源泉と フロンティア—	坪井 俊	数理科学研究所	水5	2	157教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 この講義では、現在の数学研究の現場で話題になっている事柄を平易に解説する。 高等学校で学んだ数学、大学の前期課程で学ぶ数学が、どのように現代の数学につながっているか、現代の数学の研究の源泉はどこにあり、どのようなことがわかっていて、何を求めて研究が行われているかということを、最前線で活躍する数学者がいくつかのトピックについて数回ずつ解説する。 2017年度Aセメスターは以下の内容である：坪井俊「負曲率の世界」、新井仁之「数学でせまる目の錯覚の謎」、斎藤毅「平方数の和になる素数と可換環」、儀我美一「微分方程式の微分できない解」、中村周「数学的に厳密な量子力学と、たくさんの謎」。 評価方法 上の5個のトピックの一つについて、4000字以上のレポートを書き、1月25日（木曜日）16：00までにアドミニストレーション棟1F レポートボックスに提出する。 レポートの内容は講義中に出される問題、あるいはトピックに関連して自分で調べたこと、考えたこと、計算したことなど。 また、出席の状況を各教員の講義中に一度以上調べる。 履修登録をしている学生に対して、このレポートおよび出席状況により、成績評価を行い、単位を認定する。 提出されたレポートは、教員のコメントを付して郵送により返却するので、角2の封筒にそのまま投函できるように返送先を記入し、レポートはその封筒に入れて、開封のまま提出してください(切手不要)。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行く。								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51250	A	脳科学の基礎と研究の最前線	岡ノ谷 一夫 長谷川 壽一	教養学部(前期課程) 心理・教育学	木5	2	1108教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 脳科学は脳の仕組み（メカニズム）と働き（機能）を研究する学際領域である。このテーマ講義では、脳科学に関心のある教養学部前期課程の学生諸君を対象に、この分野の見取り図を示すと共に、その奥行きと魅力を伝え、脳科学への誘い（いざない）を目指している。 脳科学は比較的新興の学際領域であるため、伝統的な個々の学問分野ではとうていカバーしきれない。そこでこの講義では、教養学部生命・認知科学科、理化学研究所脳科学総合研究センター（理研BSI）、総合文化研究科進化認知科学研究センターの各スタッフが、オムニバス形式で脳科学の全体像を描いてゆく。 具体的な下位分野のテーマとしては、電気生理学、神経解剖学（計測法を含む）、分子神経科学、認知神経科学（神経経済学を含む）、計算神経科学などを扱う。初学者向けの講義なので、文系諸君の受講も歓迎する。 評価方法 10回の講義のうち特に興味をもった3回を選び、それぞれについて1500～2000字のレポートを作成する。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 第一回授業日に行う。								
51249	A	物質のはじまりとはたらき —フェムト、ナノ、エクサの世界	美馬 秀樹 藤森 淳 堀田 知佐	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	木5	2	レクチャー ホール	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 コーディネータ：藤森 淳（理学部） ナビゲータ：堀田 知佐（教養学部） 我々の世界が物質でできているのは周知の事実であるが、では、なぜどのようにして物質はできたのかという疑問を持ち追求していくと、物質の最小単位や宇宙のはじまりを探索する果てしない旅に出ることになる。そこには、とてつもなく高いエネルギーや短い時間の現象が支配する、極微から宇宙空間まで広がる我々の直観を越えたダイナミックな世界がある。一方、我々の周りで見られる様々な物質の多様性や先端デバイスの機能は、巨視的な数の原子や電子が集まって個々の粒子にはない新たなはたらきを生み出す創発現象である。 本講義では、このような広く限らない魅力にあふれた物質科学を、物理、化学、電子工学の第一人者が、さらに広い視野からわかりやすく解き明かす。 理科I類に限らない広い分野の理系学生に加え、多くの文系学生の聴講を期待する。 評価方法 出席およびレポート 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。								
51346	A	海研究のフロンティアⅡ	早稲田 卓爾	工学部	金2	2	101教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 本講義は、理学・工学・農学・法学・総合文化・新領域創成科学研究科、海洋・地震・気候システム・東洋文化・生産技術研究所、史料編纂所・アジア生物資源環境研究センターなどで海洋に関する研究・教育活動に関わっている教員が、最先端の研究成果を紹介する。 講義に関する追加情報は、以下に記載されます。 http://www.oa.u-tokyo.ac.jp/ ※このゼミは9月25日（月）6限（18：45～）に743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 評価方法 出席および授業内レポート 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51253	A	放射線を科学的に理解する	渡邊 雄一郎 小豆川 勝見 鳥居 寛之	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	金5	2	K303	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 福島第一原子力発電所の事故から歳月が経ち、人々の意識も風化を始めています。福島では、復興と帰還への取り組みが進んでいますが、事故にともなって広範な地域に放出された大量の放射性物質による環境汚染は、そう簡単に片付くものではありません。事故当時は、放射線の問題が連日マスコミを賑わせ、その影響について様々な議論が沸き起こりましたが、人々の科学的リテラシーの欠如が問題となりました。 わが国ではこれまで、放射線の基礎的知識に関する教育が十分になされてきませんでした。放射線を理解するには、物理・化学・生物・医学・工学・農学・法律など様々な分野の知識が必要で、全てを網羅することは容易ではありません。大学においても、広く一般の学生が系統立って学べる機会は限られています。 その貴重な機会を提供すべく、教養学部の教員が科学者・教育者の使命と意気込んで始めた講義が、今期で7年目の実績をもつ主観科目「放射線を科学的に理解する」です。3人の教員：鳥居・小豆川・渡邊を中心に、ゲスト講師も招き、放射性核種や放射線の物理学的性質から環境汚染問題、そして医学的影響やリスクの考え方まで、幅広く講義を展開します。学際的な教養学部の強みを生かした講義で、科学的知識を体系的に身につけ、定性的および定量的に正しく判断する能力を養うことを目的とします。 理科生を主な対象としますが、意欲のある文科生も歓迎します。教員一同、熱意あふれる分かりやすい講義を心がけており、履修生からは、理解が深まり役に立つ授業だったと、毎年高い評価を受けています。 ★ 前半ガイダンス、後半【鳥居：理学部】放射線入門（放射線とは、身の周りの放射線） ★【鳥居】放射線物理学（放射性崩壊と放射能、放射線と物質の相互作用） ★【小豆川：教養化学】放射線計測学（放射線の測定原理・方法・問題点） ★【鳥居】放射線物理学・放射線化学（物質中でのエネルギー損失過程、放射線の単位） ★【渡邊：教養生命科学】放射線生物学（放射線の細胞および生体への影響） ★【坪倉正治：相馬・南相馬病院】被曝調査・医療支援（福島事故後の内部被曝の現状、現場での医療） ★【鳥居】原子核物理学・原子力工学（原子核模型と核構造、核崩壊と核分裂、原子力発電の原理） ★【小豆川】環境放射化学（放射線量の時間変化、放射性物質の濃縮と拡散） ★【藤原徹：農学部応用生命化学】放射性物質汚染と農業（植物によるセシウムの吸収と輸送） ★【小豆川】環境放射化学（シミュレーションと将来の放射線量） ★【太田岳史：医学部附属病院放射線科】放射線医療（放射線治療・診断技術と人体の被曝） ★【渡邊】放射線の利用（生命科学研究、育種、滅菌、工学応用など） ★【鳥居】加速器科学（人工の放射線）・放射線防護学（線量評価とリスクコミュニケーション） なお、以下の教科書はこの講義を元に執筆したものです。なくても分かるように講義しますが、授業の深い理解に役立つので是非お勧めします。 評価方法 出席とレポートによる合否判定 教科書 著者（訳者）：鳥居 寛之・小豆川勝見・渡辺雄一郎 著（中川恵一 執筆協力） 書名：放射線を科学的に理解する ～基礎からわかる東大教養の講義～（初版第5刷以降を推奨） 出版社：丸善出版 ISBN：978-4-621-08597-4 その他：2014年発行の第5刷以降の購入を推奨します。 ガイダンス 第一回授業日に行う。								
51252	A	教養学部生のための キャリア教室1： これからの時代を どう生きるか	標葉 靖子	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	金5	2	K214	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 グローバル化・高度情報化・高齢化といった変化が日本を含む世界各国の社会や経済を揺さぶり、これからの時代はますます複雑で不確実性の高い時代になっていくと言われています。そのような時代だからこそ、皆さんには、大学に在籍している間に、自らのキャリアを自らで創っていくための基礎・教養を身につけてほしい。産・官・学・民、文系・理系、グローバル・ローカルといった既存の枠にとらわれずに、より豊かなキャリア観をもって多様な体験や学びに積極的に取り組んでほしい。そのために、国内外で活躍する各界の方をゲストスピーカーに迎え、キャリアについて、プロフェッショナルについて、これからの時代について、自分について語っていただく学術フロンティア講義を開講します。 企業（外資系、ベンチャー含む）、大学・研究機関、国際機関、官公庁、NPOなどでグローバルに活躍されているトップリーダーの方から、皆さんが5年後、10年後に向き合うだろう等身大の悩みをもった若手の方まで、多様な経験をもった幅広い年代の方による講演を予定しています。ただ単に話を聴くだけでなく、講師の方に積極的に質問・議論できる時間や、ワークショップを通じて主体的にキャリアについて考えるセッションも設ける予定です。各界に関心のある学生だけでなく、キャリア意識がまだ漠然としている学生の履修を歓迎します。なお過去の講演概要および本年度講演予定のゲストスピーカー及び略歴は、授業ホームページ（http://www.sr.komex.c.u-tokyo.ac.jp/career/career1.html）で確認することができます。 評価方法 出席とレポートによる総合評価 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51332	A	ノーベル賞に学ぶ 物理工学	芝内 孝禎	工学部	金5	2	521教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 近年のノーベル物理学賞の多くは、磁性や超伝導などの物性物理学、量子光学、量子情報、ソフトマターなど「物理工学」と呼べる分野での受賞となっている。これらの受賞内容を学ぶことは、物理工学の歴史や今後の展開を知るのいい機会になると考えられる。そこで、過去40年間のノーベル物理学賞から物理工学分野に関連の深い受賞テーマをとりあげ、その物理的背景や受賞後の発展などを含めて、各テーマを専門とする教員陣がわかりやすく解説する。 評価方法 毎回提出する小レポートにより評価を行う。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。								
51293	A	医科学研究最前線	武川 睦寛	医科学研究所	集中	1	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 がん・感染症・免疫/アレルギー疾患をはじめとする難治性疾患の病因・病態の解明と、これらの疾病に対する治療・予防法の開発を目指す医科学研究所の研究活動の実際を紹介すると共に、関連する分野（疾患ゲノム解析や神経・筋疾患、機能性RNAによる治療薬開発などを含む）の動向について、集中講義形式で分かりやすく解説する。 ※開講日時:12月2日（土）9:15～16:40、および12月3日（日）9:30～16:40 <12月2日> 9:15～9:30 医科研紹介 9:30～16:40 講義(1コマ90分、12:40～13:30昼休み) <12月3日> 9:30～16:40 講義(1コマ90分、12:40～13:30昼休み) ※開講場所:医科学研究所(白金台キャンパス) 講堂(1号館1階) ※ガイダンスは9月26日(火)2限に教養学部で行う ※9月26日(火)2限のガイダンスに参加できなくても、履修登録をしていれば、本講義への参加は可能である。 評価方法 レポート 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特定日に行う。2017年09月26日2限1105教室								

全学自由研究ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51312	A	微分積分学から理解する 現代数学の必須概念・ル ベーク積分とソボレフ空間	米田 剛	数理科学研究所	月1	2	115教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 微分積分学を履修したばかりの初学者が、ルベーク積分とソボレフ空間を理解する事を目標としている。ルベーク積分とは、現代数学において必須の概念の一つであるが、通常はその習得のためには「測度論」を学ばなければならず、その為に、初学者にとって、そのルベーク積分の本質をなかなか掴みにくくなっているのが現状である。本講義では、「無限」という概念に焦点を当て、微分積分の知識のみで「何故ルベーク積分という積分がむしろ自然か」ということを理解することが目標である。 ソボレフ空間とは、自然現象を記述する際に重要となる「偏微分方程式」を数学解析する際に必須となる概念であり、より具体的には、微分した関数が連続とはならないもの全体を扱ううえでとても重要となる概念である。その概念を習得する為には、(ルベーク積分のときと同様) 通常は色々な前提知識を積み重ねていかなければならず、最低でも学部3年、4年までかかるのが通常である。本講義ではそのような概念を最短で(従って微分積分学のみを前提知識として) 習得するのがもう一つの目標となる。 もしそのようなルベーク積分やソボレフ空間に興味があれば、数学科の講義で改めて深く習得することを勧める。 評価方法 出席点とレポートによる。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。								
51304	A 1	Biotechnology: Recent Advances and Applications in Medicine and Agriculture	Yaron SILBERBERG	GLP推進室	木2	1	K402	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 This course is aimed for students of all disciplines. You will first be provided with basic scientific background that will allow for the understanding of current topics in Biotechnology, from agricultural uses, through genetic engineering and stem cell therapy, to recent applications in NanoMedicine for treatment of cancer and other diseases. In addition, we will conduct interactive discussions on recent advances and applications of biotechnology, also tackling moral and ethical concerns, such as issues related to GM food, cloning technology and stem cell research. Finally, we will discuss the current state of the biotechnology and pharmaceuticals industries, as well as the available career options. This is a GLP I Designated Course. At the end of this course, students will: 1. Understand the scope, the main concepts and the terminology used in the inter-disciplinary field of biotechnology 2. Have a grasp on the various agricultural, medical and environmental benefits of biotechnology 3. Have insights into key processes and techniques used in the field 4. Understand key social and ethical issues revolving Biotechnology 5. Gain insight into the employment and career options in biotechnology-related fields. 評価方法 Choice of Essay (1500 words) or short (5 min) Presentation (60%) Attendance and Participation (40%) 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。								
51301	A	湾岸諸国の社会と ジェンダー	辻上 奈美江	教養学部	月4	2	158教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 本講義では、中東地域のフェミニズムの歴史について理解するとともに、主に湾岸諸国のジェンダー問題についての講義を行う。授業の後半では教科書を輪読し、中東地域全体のフェミニズムの歴史、「アラブの春」によるジェンダー関係への影響についての理解を深める。 評価方法 授業時間内の発表とテストなどにより評価する。 教科書 著者(訳者): 辻上奈美江 書名: イスラーム世界のジェンダー秩序 出版社: 明石書店 ISBN: 9784750340678 ガイダンス 第一回授業日に行う。								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51289	A	地球惑星環境学	田近 英一	理学部	月5	2	150教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 地球の環境は、どのように形成され、進化し、変動してきたのだろうか。地球は、その表面に液体の水をたたえ生命に満ちあふれた太陽系で唯一の惑星である。このような地球環境の成立と進化には、大気や海、生命圏、そして固体地球の活動が深く関与している。 本ゼミナールでは、惑星としての地球の環境と進化を特徴づける、大気や海が存在、固体地球の活動、気候進化、生物進化、生命と環境の関わり、地球環境の変動などに関する最新の知見を紹介し、地球環境がどのように形成され、進化し、変動してきたのか、その歴史とメカニズムを理解することを目指す。 評価方法 毎回の出席とレポートで評価する 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。								
51286	A 1	生産組織の経済史	岡崎 哲二	経済学部	月5	1	117教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 人々の働き方の歴史的変化とその経済的意味について理解する。 評価方法 演習への参加の程度による。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。								
51309	A	インターネットガバナンスの最前線を追う	一井 信吾	数理科学研究所	月5	2	E35教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 今では、私たちの生活も、社会・経済活動もインターネットなしでは動きません。 ではインターネットはどのようにして世界中の人々を、国をまたがって、結びつけているのでしょうか。国連が運営している？国どうし条約を結んでいる？そんなことはありません。AT&TやNTTのような通信企業、もしくはGoogleやFacebookのような情報企業が動かしている？そうでもありません。 インターネットを動かす仕組みは、個人・団体・企業・国家など色々な立場の関係者が協力しながら、また時に対立しながら、自発的に作ってきました。そしてそれは今も変化を続けています。この仕組みをインターネットガバナンスと呼んでいます。 アメリカでは、トランプ政権がネット中立性と言われる課題について、これまでとは逆の政策を打ち出して大騒ぎになっています。アフリカのいくつかの国では政府が情報をコントロールするためにインターネットを遮断しました。これはインターネットシャットダウンと呼ばれ、人権問題としても論議されています。中国ではネットワーク安全法が施行されましたが、言論統制のためではないかとも言われています。このように、国家との関係も大きな問題となっています。 これは一体何なのか？何が起きていて、何が問題なのか？これからインターネットはどのように変わっていくのか？今まさに動いているインターネットガバナンスの状況と一緒に追いかけてみませんか。 評価方法 担当する報告（40%）、討論への参加（30%）、最終レポート（30%） 教科書 著者（訳者）：ローラ・デナルデイス 書名：インターネットガバナンス 出版社：河出書房新社 ISBN：978-4-309-24724-3 ガイダンス 第一回授業日に行う。								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51311	A	対称群の表現論	松本 久義	数理科学研究所	月5	2	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 群とは対称性を記述する数学的概念である。「対称群」とは有限集合における置換全体のなす群であるが、これは有限集合の対称性を表す基本的な概念ということになる。 「群の表現」とは群のいろいろな数学的対象における対称性としての現れ方を、線形代数を用いて記述することであるといえよう。この方法論は大きな成功をおさめ数学の多くの分野のみならず物理学などにも影響を及ぼす一大分野が形作られている。 対称群自体は一見単純なもの見えるが、表現を考えることにより極めて豊かな世界を垣間見ることができる。 このセミナーでは群についての簡単な解説から始めて対称群の表現論を目標とする講義を私が行う。聴衆としては数学あるいは数理物理の研究者を志望している学生を想定している。 この講義は数理科学研究科棟122で行う。 評価方法 レポートによる。授業中に提示する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。								
51302	A	実践的プログラミング	金子 知適 福田 玄明	教養学部(前期課程) 情報・図形	月6	2	E38教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 プログラミングによる問題解決では、与えられた問題に対して、計算時間を見積りながら適切なアルゴリズムを考えることと、それをプログラムとして実現することの両方が必要となる。本授業では「国際大学対抗プログラミングコンテスト」などに出題された問題を題材として、アルゴリズムを考えてプログラムを作る能力を実践的に養うことを目指す。 プログラミングの経験を受講の前提とする。また、プログラミングコンテストに参加する意欲のある受講者を歓迎する。詳細は http://www.graco.c.u-tokyo.ac.jp/icpc-challenge/ を参照のこと。 評価方法 演習問題の解答状況およびゼミへの参加状況によって評価する 教科書 その他。 ガイダンス 第一回授業日に行う。								
51271	A	ウェアラブルセンシングとIoTを利用しブレイン・コンピューター・インターフェースをつくる	坂口 菊恵	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	火2	2	K303	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 脳機能や身体運動のイメージング技術の普及と、得られたデータの機械学習の組み合わせにより、頭で想像することにより機器を操作したり、思考をデータ化して他者に送り、仮想現実を体験させたりといったSFのような技術の基礎ができてくる。産業応用も急速な発展が見込まれている。 そのような技術の入り口として、本授業ではウェアラブル簡易脳波計の利用および組み立て、機械学習によるデータ解析、さらに出力をマイコンを搭載したデバイスやソフトウェアで利用する、といったプロセスに取り組む。心理学、神経科学、情報科学、工学といった幅広い分野の知見を利用して、脳波によって操作できるロボットのような面白い作品を作ったり、基礎研究に役立てる方法を立案したりする。 基礎知識は不要だが、興味を持って意欲的に取り組む学生を歓迎する。 評価方法 グループワーク参加、プレゼンテーション 教科書 著者（訳者）：小林雅一 書名：AIの衝撃：人工知能は人類の敵か 出版社：講談社現代新書 ガイダンス 第一回授業日に行う。								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51266	A	0から始める Webプログラミング	小原 優貴 山口 和紀	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	火2	2	KALS (17号館2階)	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 【概要】 本授業は、知識0の人でもWebプログラミングができるようになることを目的とし、第1部「Webプログラミングの基礎体力づくり」、第2部「Webサービスの開発」と2部構成で設計しています。 第1部では、HTML、CSS、JavaScript、PHP に関する基礎・応用を学びます。また、C言語を用いたプログラミングも行うことで、機械語に近い言語の特徴も学びます。 第2部では、チームを作って実際にWebサービスを開発します（1人で開発することを選んでも問題ありません）。そして、最終的にそのWebサービスをデモも含めた形で発表します。 【授業の進め方】 ・第1部「Webプログラミングの基礎体力づくり」 多くの事項を学んでもらう必要があるため、基本的に第2回～第8回には事前課題があります。授業中は、事前課題に関する復習やフィードバック、グループワークを通した授業内容の理解やプログラミングを行います。そのため、授業外学習が多くなることを理解した上で履修してください。 ・第2部「Webサービスの開発」 第1部で学んだことを参考に、自分があったら良いなと思うWebサービスを自分の力で開発します。ここで、授業中に2～3人のチームを組む機会を設けるため、チームでの開発も可能です。1人で開発したい場合は、そうしてもらっても構いません。そして、開発したWebサービスを発表してもらいます。 【授業スケジュール】 第1回 ガイダンス 第2回 環境整備、HTML、CSS、Javascript 第3回 コンピュータの仕組み、C言語（基礎） 第4回 PHP（基礎） 第5回 PHP（応用）、セキュリティ 第6回 C言語（応用） 第7回 PHP（オブジェクト指向） 第8回 PHP（MVC: Model View Controller） 第9回 チーム決め、Web サービス開発 第10回 Webサービス開発 第11回 中間発表 第12回 Webサービス開発 第13回 最終発表 【補足】 ・この授業では、受講生が互いに学べる人が多いと考えるため、ペアワークやグループワークで学ぶ機会を多くつくります。 ・PCでの作業が多くなるため、基本的には自分のPCを持ってくるください。 ・授業外学習が多くなるため、それを理解した上で履修してください。 ・本授業は、教養教育高度化機構アクティブラーニング部門特任助教の吉田壘も担当します。 評価方法 授業への出席、課題の提出状況、中間発表、最終発表をふまえて、総合的に評価します。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51269	A 1	理論と実践から芸術を学ぶ	真船 文隆 岡本 佳子	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	火2,金2	2	K501	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 【授業の概要】 本授業の目的は芸術に関する講読や創作体験を通して、芸術を座学と実践の両面から学ぶ姿勢を身につけることです。とくに演劇と音楽を対象として、作品や理論などの資料を読み込む演習と実際に創作を行う実践ワークショップを行います。これらを通して、国内の総合大学ではあまり触れる機会のない芸術理解の方法を体験することを目指します。実施にあたり第一線で活躍する学外のゲスト講師からの協力を得て開講します。音楽や演劇の実技経験は不要ですが、授業外でも準備に取り組み芸術作品に多く触れる積極性を期待します。 The aim of this course is to gain basic knowledge and skills of understanding arts (especially theatre and music) from various aspects such as theory, composition and performance. Students are expected to read and analyze excerpts from theories of arts or literal works, to attend performance workshops instructed by professional artists and to submit essays. This seminar does not require performance experience. See course website: http://www.sr.komex.c.u-tokyo.ac.jp/index.html 【演劇】(第2回～第7回)：コミュニケーションプラザ北館 舞台芸術実習室 ゲスト講師：西尾 佳織／Kaori Nishio, the director of the theater company "Bird Park" テーマ(予定)：「自分の内側のもやもやした感覚を、外に引っ張り出してみる。それをしげしげ眺めてみる。」 劇作家、演出家、鳥公園主宰。幼少期をマレーシアで過ごす。東大表象文化論卒業、東京芸大芸術環境創造科修了。2007年に鳥公園を結成以来、全作品の脚本・演出を担当。「正しさ」から外れながらも確かに存在するものたちに、少しトボけた角度から、柔らかな光を当てようと試みている。 【音楽】(第8回～第13回)：コミュニケーションプラザ北館 音楽実習室(※10/20は舞台芸術実習室) ゲスト講師：野口 桃江／Momoko Noguchi, composer, multidisciplinary artist テーマ(予定)：「楽譜のアルケオロジと共感覚的ワークショップ」 桐朋学園大学音楽学部 作曲理論学科卒業。同大学研究科修了。仏リヨン国立高等音楽院にて電子音響とオーケストレーションを学んだ後、蘭デン・ハーグ王立音楽院 ArtScience学科修士課程修了。現代音楽をベースに、光、映像、センサー等を用いた作品制作とパフォーマンスを世界各所で行っている 評価方法 全ての授業への出席を前提に、演習・ワークショップへの貢献度、2つのミニレポートの内容により総合的に判定します。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。2017年09月26日2限 21KOMCEE West K501								
60215	A 2	芸術を言語化する	真船 文隆 岡本 佳子	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	火2,金2	2	K501	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 芸術を能動的に理解するための方法として、芸術を言語化し文章として表現する練習を行う授業です。具体的には絵画や音楽、演劇、映画等を鑑賞して作品解説や批評を実際に執筆し、グループワークを行ってブラッシュアップして発表することを目指します。実施にあたり、実践の場で活躍する学外のゲスト講師からの協力を得て開講する予定です。前提知識は不要ですが、授業外でも積極的に劇場やコンサートに足を運び、なるべく芸術作品に多く触れる積極性を期待します。詳細はウェブサイトを確認の上、ガイダンスに参加してください。 授業ウェブサイト：http://www.sr.komex.c.u-tokyo.ac.jp/index.html 評価方法 全ての授業への参加を前提に、演習への貢献度、課題提出とその内容により総合的に判断する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51350	A 1	伊豆に学ぶプラス A1 「感じる・考える・行動する」サイクルの発動	鴨田 重裕	農学部	火2	1	152教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
60223	A 2	伊豆に学ぶプラス A2 「感じる・考える・行動する」サイクルの発動	鴨田 重裕	農学部	火2	1	152教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科

目標概要 この講義の最大の目標は、伊豆ゼミ運営に関わる学生スタッフの育成と組織化である。学生スタッフとは一ゼミ生でありながら、伊豆ゼミをよく理解するファシリテーターとしてゼミにおいて自律的に活躍してゼミの目指すべき方向性を示す、伊豆ゼミの中核となる存在である。

さて、近年「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律」が制定されるなど環境教育の重要性は社会的認知度を増した。実際、「持続可能な社会の実現」というキーワードを意識せずには将来を考えられない状況にある。しかし、環境教育の実態は、初等・中等教育において「完了」しているかのような風潮ではあるまいか。法が謳うように、環境保全活動及び環境教育を自ら進んで行うような流れになっているだろうか。

環境教育が重要だとされるが、その真意はなかなか学生の皆さんには伝わりにくいのではないか。もしかすると伊豆ゼミは、その伝わり難い部分を少しだけでも補えるのではなかろうか。これまでに受けて来た環境教育は、おそらく大学受験ではほとんど役に立たなかったと思われる。受験で役に立たなかったことを、社会に出てからも役に立たないことだと思い込んでいる節はなかろうか。「環境保全の意欲」が低いのは、身につまされる経験がなければ致し方ないことも知れない。真に社会の役に立つ人材となるために、そんな誤解は早々に解くがよろしかろう。

「伊豆に学ぶ」シリーズでは、環境の問題、景観の問題、獣害の問題など身近な森林が抱える様々な問題を意識化するために、現地に足を運び、伊豆半島に特徴的な事象観察を行い、また、実体験を交えて自分の五感で体験学習した。受講者は色々なことを気付ける自分に気付くという思いがけない体験をしたと思う。そもそも学びとは一体何なのだろうかと、少し自問する気分も生じたのではあるまいか。また、同じ体験をしながらも、自分とは違った見方、感じ方で捉える同世代の大きな存在も強く意識したに違いない。伊豆ゼミは、高い志と低い垣根の両立を目指して丁寧に組み上げ、何よりも「感じる」ことを大事にした。正味4日程の短い間に、様々な「つながり」を感じられる仕掛けに仕上げたつもりである。

本講義「伊豆に学ぶプラス」は、伊豆ゼミの果実を確かなものにすることを大きな目標とし、真剣に考え・顧みて、議論することを大切にする。最近の若者を支配する「空気」を読まなければならない雰囲気には、異を唱えたい。和して同ぜず。色々な背景を背負った受講生同士が異なる意見を吐露し合い、むしろ意見が違っても大切に思っている根っこの部分が同じであったり共通性があったりすることに気付くこと、そういう仲間の存在のありがたさを知ることを実現する「場」としたい。受講生同士のつながりから、己と社会のつながりをいかに構築していくかを模索し、社会の一員として環境保全に取り組むべきと強く意識できることを期待したい。学生が主体となり、自由に学ぶ「場」を提供すること、それが全ての伊豆に学ぶシリーズに共通する理念である。総合大学ならではの面白さを追求したいと考えている。

評価方法 出席数と授業態度、プレゼンテーションとファシリテーションの質を評価する。

教科書 教科書は使用しない。

ガイダンス 第一回授業日に行う。

51323	A	翻訳演習	山本 史郎	教養学部	火3	2	1322教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科

目標概要 文学作品を中心に、様々な英文を日本語に翻訳する。翻訳実践の基本的な方法、翻訳という行為についての基本的な考え方を学ぶ。

評価方法 毎週の課題をもとに評価する。

教科書 教科書は使用しない。

ガイダンス 第一回授業日に行う。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51303	A 1	Sustainability Science and Global Environmental Governance	Ali KHARRAZI	GLP推進室	火3	1	534教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 This course introduces the emerging discipline of Sustainability Science and introduces the evolution of development and environmental issues in an era of globalization. Upon completion of this course participants will develop a strong understanding of a) concepts and issues in contemporary Sustainability Science, b) international conflicts and cooperation in the field of sustainable development, and c) hone trans-disciplinary thinking, communication, and research skills. The core questions throughout the course are: How to improve global environmental governance to substantially address global environmental problems? Students are encourage to critically think on what needs to be done to address global environment and development challenges from the perspective of sustainability science. This course is a 'GLP I Designated Course.' 評価方法 The students will be graded on (1) active class participation 25%, (2) oral presentations 25%, and (3) one class paper 50%. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。								
51245	A	モンゴル文字と史料	Khohchahar E. Chuluu	東洋文化研究所	火4	2	1311教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 本講義では、簡単なモンゴル語史料を講読できるようになることを目指す。 13世紀初頭に創られた縦書きの伝統モンゴル文字は今日、中国領内のモンゴル民族の間で広く使われているうえ、モンゴル国ではキリル文字を替えてモンゴル文字を復元する動きが見られる。また、歴史的にみると、とりわけ清代（1644～1911）には膨大なモンゴル語公文書が作成され、その残った分だけでもかなりの数がある。本講義ではまずモンゴル文字を習得してから、簡単なモンゴル語史料の講読に挑戦する。 評価方法 辞書をみながら簡単なモンゴル語史料のローマ字転写と翻訳を実施する。 作業は家でも図書館でも行って構わない。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51246	A	ココロのトリセツ —自己覚知とレジリエンス—	石垣 琢磨 細野 正人	教養学部(前期課程) 心理・教育学	火5	2	K201	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 【概要】 本ゼミは、2017年Sセメスターより全学研究ゼミナールとして開講しています。AセメスターではSセメスターとは異なる内容を取り扱います。 このゼミの目的は、自分自身の特徴を知ることによってメンタルヘルス不調を長期的に予防することに加え、逆境やトラブル、強いストレスに直面したときでも適応できる心理のプロセスを学び、レジリエンスを高めることです。大学在学中はもちろんですが、社会人になっても心の健康を保つことができる人材を育てることを長期的目標としています。 前半の授業では、現代社会のメンタルヘルスの実情と自己覚知について学びます。自己覚知とは、自分がどのような人間なのか、どのような影響力があるのかなど、自分がどんな人間なのかを自覚することです。後半の授業では、レジリエンスについて学びます。レジリエンスとは回復力を意味します。皆さんが社会で活躍するためには、必要不可欠な能力の一つです。 本ゼミは、細野正人特任助教が主担当を務めます。 【予定されているテーマ】 ・ガイダンス・現代社会のメンタルヘルス ・自分を知ると人はどう変わるか ・自分を好きになる心理学 ・人間関係を改善する心理学 ・自分にあった恋愛を楽しむための心理学 ・負けない心（ゲストスピーカーによる講演） ・レジリエンスとは ・ネガティブ感情をコントロールできるのか ・マイナスの思い込み ・カウンセリング・オフィスのリアル（ゲストスピーカーによる講演） ・自信を立て直す ・強みと弱みを活かしてレジリエンスを高める（プレゼンテーション） ※テーマは変更になることがあります。 【注意事項】 履修希望者は、9/26初回ガイダンスに必ず参加してください。定員（20名前後）超過時は志望理由を元に選考します。 【学習上のアドバイス】 授業開始時にメンタルヘルス・自己覚知・レジリエンス等に関する知識は一切不要です。一から学びたい学生を対象に授業を実施します。 評価方法 授業への出席、毎回のリアクションペーパーで評価します。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51276	A	科学的思考を鍛える ～大隅先生のノーベル 賞研究を題材に～	増田 建	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	火5	2	KALS (17号館2階)	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 【概要】 本授業は初年次教育部門の田上遼特任助教がファシリテーションを行います。 本授業では細胞生物学や分子生物学の論文を読解することで、科学的思考を鍛えることを目的とします。ここでは、ノーベル生理学・医学賞を受賞した研究を題材に、生物学の科学研究とその思考法を理解します。科学研究のエッセンスである論文を読み進めることにより、科学的思考について学び、さらに他者にその研究内容を説明できるようになるまで理解を深めます。 この授業では、そのような科学的思考を鍛えるために、ノーベル生理学・医学賞を受賞した大隅先生のオートファジーに関する研究を中心に物事を科学的に考える力を養います。 本授業では、ペアワークやグループワークで学ぶ機会を多くつくります。 【本授業の流れ】 本授業では、下記の流れで科学的思考を鍛えます。 ・与えられた論文を読解して、科学研究を理解する こちらが提示したオートファジーの発見とオートファジーに関わる遺伝子を明らかにした論文を読み進めていきます。そこでは科学的な研究の進め方、研究の成果物である論文の構造・読み方を学ぶと同時にオートファジーに関する基礎的な知識を習得します。 ・課題を設定し、発表する オートファジーに関連した内容で自分が興味を持った生命現象や遺伝子を課題として、関連する学術論文を検索し、読解します。その研究を更に発展させるような研究計画を構想して、発表します。 【本授業をおすすめしたい人】 ・本授業の題材は生命科学ですが、必要な情報を共有した上で授業を進めるようにします。オートファジーについての知識がなくても、授業の中で学び、科学的思考を鍛えることができます。生命科学が得意・不得意に関わらず、興味を持った方は是非受講してください。 【注意事項】 定員は40名とし、その人数を超える場合は選考します。詳しくは初回のガイダンスにて説明します。 評価方法 授業に参加することを合格の必要条件としたうえで、授業への参加、課題の成果物を総合的に評価します。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。								
51315	A	作曲＝指揮	伊東 乾	情報学環	火5	2	学際交流 ホール	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 作曲：始めの数回で履修者にアンケートをとって内容を決定する。過去には課題を決め履修者が作成した譜面の添削・演奏なども行ったが、自由提出としたところ0人といった反応があったから、実際に楽曲を作る課題はあまり出していない。諸君の創意が発揮されてこそそのレッスンであり、残念に思う。意欲的な履修を期待する。 指揮：P. ブレーズと科目担当者による「図形を用いない指揮技法」Angular Dynamicsのメソッド実技を学ぶ。課題曲のアナリゼ、連弾等によるピアノ指揮伴実習、通例代々木のオリンピック青少年記念センターで行うゼミ合宿での弦楽四重奏実技などのカリキュラムを準備する。 評価方法 場合により合宿参加後に感想レポートを課すことがある。 教科書 次の教科書を使用する。 教科書 書名 (刊行準備中) Modern Principles of Music Conducting 出版社 東京大学出版会 その他 プリントにて適宜配布 ガイダンス 第一回授業日に行う。								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51275	A	素粒子物理実験の世界に触れてみよう	松本 悠	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	水4	2	K301	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 素粒子物理学、と聞くと何やら難しい感じがするかもしれません。確かに、きちんと理論を勉強するには、基礎知識が必要です。しかし“素粒子”は、非常に身近な存在です。そこで、この授業では、理論的な背景はある程度割愛して（希望があれば説明します）、素粒子の種類や性質、相互作用といった観測事実を基に、どのように分類できるのかを自ら考え、理解してもらいます。また、簡単な実験装置を使い、宇宙から飛来する素粒子、ミューオンを観測し、その実験結果から何が分かるか、考えてもらいます。最後に、ヒッグス粒子が発見された、ジュネーブのCERNという研究機関にあるLHCという加速器で、実際に使用されたデータ、もしくはフルシミュレーションデータを用いて解析し、様々な粒子を探し出してもらいます。素粒子物理実験の、簡単な体験をしてもらいたいと思います。 評価方法 出席点を基本とします。その上に、題材への取組姿勢や、グループワークへの積極性、プレゼンテーションおよびレポートの内容を評価に加えます。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。								
51268	A 1	図書館の学び・活用・提案①	真船 文隆 岡本 佳子	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	水4	1	K201	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 「図書館の学び・活用・提案」（通称「こまとちゃんゼミナール」）は、教養学部生のホームライブラリーとなる駒場図書館の使い方を身に付け、大学の学習や研究に役立てるとともに、駒場図書館と利用者である学生の協働や、学びのあり方について考える授業です。担当教員による授業進行を中心に、駒場図書館からの協力を得て実施します。 A1ターム実施分「図書館の学び・活用・提案①」では、大学図書館をよりよく利用するための実習を行います。具体的には、1. 駒場図書館の概要を知ること、2. 学習や研究のための図書館の活用方法（参考図書スペースやレファレンスサービス等）を学ぶこと、3. 情報を探すための基本的なデータベースの使い方を学習すること（学外GWサービスの利用を含む）を通して、学内で利用可能な学習のための図書館のリソースを使いこなすことが目標です。詳細はWebサイト（http://www.sr.komex.c.u-tokyo.ac.jp/index.html）を参照の上、初回ガイダンスに参加してください。 ※受講人数を20名程度に制限します ※本授業の受講生はA2ターム実施の「図書館の学び・活用・提案②」への連続履修が望ましいです ※授業内容は受講人数等により変更する可能性があります 評価方法 出席状況、授業への貢献度、ミニレポート提出で合否判定を行います 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。								
60214	A 2	図書館の学び・活用・提案②	真船 文隆 岡本 佳子	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	水4	1	K201	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 「図書館の学び・活用・提案」（通称「こまとちゃんゼミナール」）は、教養学部生のホームライブラリーとなる駒場図書館の使い方を身に付け、大学の学習や研究に役立てるとともに、駒場図書館と利用者である学生の協働や、学びのあり方について考える授業です。担当教員による授業進行を中心に、駒場図書館からの協力を得て実施します。 A2ターム実施分「図書館の学び・活用・提案②」では、駒場図書館所蔵の図書を発信するための実習を行います。具体的にはグループでテーマを決め、関連する図書を選定し紹介文を執筆し、グループ内でブラッシュアップします。執筆した文章はウェブサイトや展示等を通して公開することを目指します。 そのほか授業内外（授業外実施の場合は希望者のみ）にて、駒場図書館のバックヤード見学、学外図書館の見学を予定しています。詳細はWebサイト（http://lecture.ecc.u-tokyo.ac.jp/~c-yokamo/）を参照の上、ガイダンスに参加してください。ガイダンスは9月27日（水）4限の「図書館の学び・活用・提案①」の第1回授業日と11月22日（水）4限の「図書館の学び・活用・提案②」第1回授業日、あわせて2回行います。 ※受講人数を20名程度に制限します ※本授業の受講希望者はA1ターム実施の「図書館の学び・活用・提案①」との連続履修が望ましいです ※授業内容は受講人数等により変更する可能性があります 評価方法 出席状況とグループワークへの貢献度、課題の内容で合否判定を行います 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特定日に行う。2017年09月27日4限「図書館の学び・活用・提案①」実施教室K201および11月22日4限K201								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51265	A	未来の学びのデザイン ーワークショップをつくろうー	小原 優貴 山口 和紀	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	水5	2	KALS (17号館2階)	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 この授業の主な目的は、「未来の学びがどうなるのか」を皆さんに考えて頂き、それを学びのためのイベントである「ワークショップ」として皆さんに実践して貰うことです。 近年大学における学びとして、講義だけを行う一方通行型の授業に変わってグループディスカッションなど、学生を主体とした活動をより多く取り入れた「アクティブラーニング」と総称される学習活動が注目されています。またワークショップを初めとした学校外での学びであるインフォーマルラーニングが注目されるなど、学びを取り巻く環境も徐々に変化をしています。本授業はものづくり・研修・商品開発・メディア表現など様々な分野で行われている「創ることで学ぶ活動である」ワークショップに注目します。 この授業の前半ではアクティブラーニング手法を用いた授業を展開します。学習観や経験学習などワークショップに関連する背景理論について概観するとともに、ワークショップの実践活動を行っているゲストスピーカーを招いた体験を行います。授業の中盤からはそれらを踏まえて、グループで「未来の学び」について考え、ワークショップとして表現して貰う活動を行います。 また、上記に加え、授業を通して以下の知識やスキルを身につけることを目標とします。 ・ワークショップをデザインして実践できる ・授業で扱った理論等を元に自分なりの学びのあり方を示せる ・教員やほかの受講生に自分の考えを伝えることができる ・ほかの受講生と協力して課題に取り組むことができる 学校教育以外での学び（特にワークショップ）に興味関心のある方、参加体験型イベントの企画運営方法や背景理論を知りたい方、グループで何かを創りあげる経験をしたい方などにオススメの授業です。 ※上記のような授業のねらいからグループワークや議論の時間を多く設けるため、他者とのコミュニケーションを積極的に行いたい学生や、そうしたスキルを身に付けたい学生の参加を歓迎します 評価方法 授業へのコミットメント・グループワークでの貢献などを総合的に評価する 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。								
51314	A	現代生物学研究の 独創と創造	堀越 正美	分子細胞生物学 研究所	水5	2	149教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 現代の学生は将来、自分が研究者、科学者としてどのように人生を生きていくのか、研究の独創や創造はどのように生み出されるのか、また、論理的に考えるとどういったことなのか等について、まったくと言ってよいほど力を身につけていない。そのような状況を踏まえ、教養学部の中から将来を考える志の高い学生に対して、現代生物学研究の現状や研究者のあり方について考える機会を設けたい。 東京大学の授業の中では、異色な授業と言われている。考える力を身につけるにはどうしたらよいかと考えている学生、将来、科学者や研究者を目指したい学生、自分の考えを述べ議論するような授業に参加したい人に勧める。 評価方法 出席 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。								
51468	A	食文化理論	河崎 妙子	学生による全学自由 研究ゼミナール	水5	2	512教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 日頃の生活に密着した食文化について学ぶことで、今後一般社会に出た場合、あらゆる食のシーンで自信を持って行動することができる。特に世界に出て活躍することを目指している人は特に日本の食文化を知っておくことは必要不可欠である。 また、食の知識を身に付けることは、自分自身の健康にもつながることになる。 評価方法 出席率及びレポートの評価 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51297	A	災害復興支援活動と法・社会	米村 滋人	法学部	木2	2	117教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 日本は世界有数の災害大国であり、地震・津波・火山噴火・台風・集中豪雨等による被害が頻繁に発生している。災害の発生後に問題となるのが、被災者・被災地域の復興である。復興支援は行政（政府や関係自治体）によっても担われるが、近年は、ボランティア活動や各種非営利活動等の民間の支援活動が重要な役割を担っている。この授業では、東日本大震災や熊本地震などの実例を素材として、災害復興の現状と課題を知り、復興支援活動の意義やそのあり方を考えることを目的とする。同時に、われわれ自身が有意義な復興支援に従事するためにはどうすれば良いかについても、議論を交わしたい。 評価方法 平常点とレポートによる。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。								
51279	A 1	国連とインクルージョン	井筒 節	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	木4	1	K301	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 国連で、193カ国の首脳によって採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」(2015)。SDGsは、2016年から2030年までの国際の優先事項を定めたもので、「誰も置き去りにしない（Leaving no one behind）」こと、すなわち「インクルージョン」をコア概念としている。国連では、女性、子供、移民・難民・国内避難民、先住民・少数民族、障害者、高齢者、LGBT等のインクルージョンが重点課題とされている。偏見や差別により周辺化された人々は、身体的・性的暴力や殺人を含む人権侵害、貧困を始めとする様々な開発上の困難に曝されることが多い。また、国際社会においては、障害、LGBT、精神保健等、テーマ自体が周辺化されることもある。 2017年Aセメスターは、SGDsにおいて優先事項として含まれた「性と生殖に関する健康（Sexual and Reproductive Health: SRH）」を主要テーマとする。SRHとは、ジェンダーの平等が達成され、人が安全で満ち足りた性生活を営み、結婚をするかしないか、子どもを産むか産まないか、産むなら何人産むかを自由に決められることであり、国連人口開発会議（カイロ）以降、人口問題の根本理念として国連の優先事項の一つとされている。一方で、性教育、避妊具の使用、望まない妊娠、妊産婦保健、HIVを含む性感染症、性暴力、女性器切除、LGBTI、人身取引等、宗教や文化と深く関わるテーマを多く含んでいるゆえ、国際の合意が難しく、開発途上国の現場でも周辺化されやすい分野の一つでもある。ジェンダーや人権、教育・保健、そして貧困削減においても基礎をなすSRHをめぐることは、国連人口基金（UNFPA）をはじめ、国連児童基金（UNICEF）、世界保健機関（WHO）、国連教育科学文化（UNESCO）、国際移住機関（IOM）等、多くの国連機関が様々な取組みを行っている。しかし、昨今も、文化的または政治的観点から論議を呼んでおり、例えば、米国トランプ政権は、本年より、UNFPAへの資金拠出を停止している。 本講義では、国連機関職員や当事者を含む講師から現場の状況を学びつつ、学生間の討議や調査を行い、SRHをめぐる国際社会の新しい解決策を考える。また、これを通して、国連の実際およびインクルージョンについて学ぶことを目的とする。 評価方法 授業への参加と課題 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 第一回授業日に行う。								
51264	A	現代現象学における西田幾多郎	景山 洋平	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	木4	2	K401	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 本授業では、21世紀以降の現代現象学の観点から、近代日本を代表する西田幾多郎の哲学の意義を考察する。従来から西田と彼の同時代の西洋哲学（特に現象学）との関係はしばしば指摘されてきた。だが、今世紀の欧州で現象学の理論的可能性が新たに評価されている状況を、そして、ガブリエルやメイヤスーなど内実は異なれ「実在論」を称する哲学者が現象学を仮想敵として自らの哲学を提示する状況を考えるならば、現象学とのつながりを指摘される西田幾多郎についてもその意義を改めて検討すべきである。そのために、本授業では、西田哲学の各局面を代表するテキストとして『善の研究』(1911)、『場所』(1926)、『弁証法的な一般者としての世界』(1934)を取り上げ、その主要論点について参加者で討議する。 授業は各テキストの重要箇所を受講者が紹介・討議する講読形式で進める。各テキストについて読解の手引と現象学との関係をまとめたハンドアウトを配布し、授業の各所に教員の解説を織り交ぜるので、初学者でも問題ない。 評価方法 出席、報告および議論への貢献等の平常点とレポートとで判断する。 教科書 著者（訳者）：西田幾多郎 書名：善の研究（岩波文庫） 出版社：岩波書店 ISBN：4003312414 ガイダンス 第一回授業日に行う。								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51270	A	「茶わんの湯」から最新の科学を考える	鹿島 勲	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	木4	2	K113	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 普段は特別に意識しない、なんの変哲もない茶わんと湯であっても、よくよく観察することで様々な系に共通する普遍的な構造や法則、および、最新の知見と関係していることが見えてくる。オムニバス形式で行う本ゼミでは、物理学者の寺田寅彦が名随筆「茶わんの湯」にて考察した事柄を現代の科学で再度実演・考察する試みに加え、寺田が取り上げることのなかった素材としての茶わん（陶磁器）や湯（お茶）に関する講義・実演を行う。また、寺田寅彦的思考（複雑な仕組みからできるだけ単純なことを見つけ出す考察）の代表として複雑系に関する講義も予定している。これらの取り組みを通じ、新しい事象や法則の発見は科学への貢献のみならず、実社会問題の発見や解決と密接に関係しうることの具体的に学習することも目的とする。 【講義予定】 「茶碗と科学」 左合 澄人 株式会社ノリタケカンパニーリミテド 「破壊に見る記憶」 中原 明生 日本大学理工学部・一般教育教室（物理） 「寺田寅彦と複雑系の科学」 松下 貢 中央大学 理工学部 名誉教授 「味を感じるまで：味情報の伝達・処理の仕組み」 岡田 晋治 東京大学 大学院農学生命科学研究科 応用生命化学専攻 ILSI Japan 寄付講座「機能性食品ゲノミクス」 「お茶にまつわる話」 堤坂 裕子 衣笠 仁 佐藤 晃平 株式会社伊藤園 中央研究所 「味を感じる仕組み」 石丸 喜朗 明治大学 農学部 農芸化学科 食品機能化学研究室 「茶の色から考える光合成色素」 増田 建 東京大学大学院総合文化研究科 広域科学専攻広域システム科学系 増田建研究室 「お茶のなかの分子世界：はたらく分子・みえる分子」 原野 幸治 東京大学総括プロジェクト機構「革新分子技術」総括寄付講座 大学院理学系研究科化学専攻（兼務） 「茶わんの湯から考える五感と自分」 鳴海 拓志 東京大学大学院情報理工学系研究科 知能機械情報学専攻 「茶わんの湯と大気科学」 三浦 裕亮 東京大学大学院理学系研究科 地球惑星科学専攻 大気海洋科学講座 「寅彦を英訳する」 トム・ガリー 東京大学 大学院総合文化研究科 言語情報科学専攻 グローバルコミュニケーション研究センター 「液滴の魔術：ニュートンの虹、ウィルソンの霧箱」 鳥井 寿夫 東京大学大学院総合文化研究科 広域科学専攻 相関基礎科学系 【関連ホームページ】 http://www.adves.c.u-tokyo.ac.jp/chawan/ 【問い合わせ先】 UTASシラバス参照 評価方法 ①各講義の最後に提出する出欠カード兼感想・質問カードおよび、②レポートの提出により評価する。レポートの課題・提出期限・提出場所・提出方法に関しては、本講義第1回目のガイダンスにてアナウンスする。感想・質問カードおよび、レポートは書籍・ホームページ等で公開する予定がある。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51251	A 1	生命科学の現在・パート20	松田 良一	教養学部(前期課程) 生物	木5	1	162教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 駒場の教室を飛び出し、最先端の生命科学研究現場を訪問し、研究者から研究内容や研究者人生について聞く。研究施設の見学も行う。このゼミを通じてプロフェッショナルの流儀について学ぼう。このゼミは既に15年間開講し、受講生の中には生命科学の研究者になった人は多い。文科系に進学しようとしている学生にも研究のプロの話を聞くことは参考になるはずだ。 評価方法 毎回、レポートを提出する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。2017年10月05日5限教室は開講日までに掲示・web上で指定する。								
51273	A 1	平和のために東大生ができること I	岡田 晃枝	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	木5	1	KALS (17号館2階)	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 ソ連崩壊後に誕生した国々の多くはソ連の負の遺産を抱えたままで、それぞれの国内事情や国際環境等に応じた速度と程度で民主化・資本主義化の道を、(前向きであれ後ろ向きであれ)進んでいる。民主主義への移行にしばしば伴う国内社会の混乱をいかに抑えるか。民主化を融資や援助のコンディショナリティとする欧米先進国にどう取り入るか。15か国の道のりは一様でなく、また、平坦ではありえない。 この授業では、非民主主義国家の開発の問題を、国連の持続可能な開発目標 (SDGs) に照らして考える。具体的には、旧ソ連諸国の中でもとくに強い権威主義体制の国と言われるトルクメニスタンを取り上げ、開発、民主化、安定を検討する。 *この授業は、A2タームの集中講義として行われる国際研修「平和のために東大生ができること：トルクメニスタン研修」の事前準備および選抜を兼ねる。トルクメニスタンへの国際研修に参加したい者は必ず初回ガイダンスに参加し、この授業に履修登録すること。 評価方法 授業の中で行われる議論へのコミットメント、毎回のミニレポートおよび最終レポート 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。								
60216	A 2	平和のために東大生ができること —冷戦を知らない世代が作る軍縮教育モデル	岡田 晃枝	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	木5	1	KALS (17号館2階)	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 戦争を知らないどころか、核戦争に巻き込まれる危険が真剣に議論されていた冷戦すら過去のものとなってから生まれた世代は、戦争体験や被爆証言をどのように受け継いでゆけばよいのか。特定の国民・民族・個人の歴史証言を記録する意味とは何か。そしてそれは世界の平和に寄与するものたりえるのか。このゼミでは軍縮と平和について、感情論に陥らず、イデオロギー色をできるだけ排して、学び合い、語り合う。 昨年度から続く取組は、世界各国の教科書で広島・長崎への原爆投下に関わる記述がどれくらいあるのかを調べ、そこから、被爆証言の国際社会への提示のあり方を批判的に検討するものである。 今セメスターは、今年7月に採択された核兵器禁止条約の成立過程について検討することも並行して行いたい。 上記以外にも、履修生の関心に合わせて、戦争や平和に関係する新たなプロジェクトを行う予定である。 評価方法 授業への貢献度による 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。								
51325	A	建築構造デザイン入門 (Introduction of Structural Design)	高田 毅士	工学部	木5	2	154教室	1年 理科
目標概要 魅力ある建築空間を実現可能としている建築構造デザインに焦点を当てた体験的講義。建築構造デザインにおける、使用材料の特性の把握、各種荷重の評価、建設方法の工夫を通じて、それらがどのように関連し建物がデザインされるのか、視覚的、直感的にわかりやすく紹介する。講義形式を中心とするが、さらに、建築学科研究室訪問ツアー、都内の有名建築を実体験するツアーを企画するとともに、コンピュータを用いたバーチャル・ブリッジデザインコンテストを実施したり、簡単な力学模型を学生に製作してもらい、それを用いて構造実験コンテストを実施し、「構造力学のしくみ」を自ら体験してもらう。建築に興味ある学生、ものづくりに興味ある学生、建築設計の背後にある力学に興味のある学生、将来、建築学科に進学希望の学生はぜひ受講してもらいたい。 評価方法 ふたつの構造コンテストの参加を必須条件とする 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51349	A	古典落語から知る江戸の自然・文化	石橋 整司	農学部	木5	2	517教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 古典落語は江戸時代に発展した庶民の娯楽であり、その中で描かれる情景は江戸庶民の生活ぶりや江戸時代の風俗を反映している。いいかえれば、現代の東京の姿からはわからない当時の自然や文化、生活を知ることができる。本ゼミでは、古典落語の中に出てくる江戸の自然や文化に関する描写をきっかけとして当時の江戸庶民が生活していた自然環境や生活の中に息づいていた文化を知ることが目的としている。 9月28日開講 毎週の講義では、実際の古典落語の内容にまつわるテーマについて担当者が事前に調査を行い発表する形式で講義を進める。また、10月から12月まで毎月1回ずつ土曜日に学外での集中講義を行う。 詳しい講義の進め方、内容、講義日と休講日、集中講義の内容等については第1回の講義の際に説明する。 ※履修人数制限 15名 評価方法 出席点とレポートの評価で行う。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。								
51305	A	英語による数学書の輪講	河東 泰之	数理科学研究所	木5	2	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 英語によって、数学書の輪講を行う。これによって、基本的な数学内容について英語で発表できる力を身につける。 評価方法 最後まで出席し、発表を続けたものに単位を与える。 教科書 著者（訳者）：Kenneth A. Ross 書名：Elementary Analysis 出版社：Springer ISBN：978-1-4614-6270-5 ガイダンス 第一回授業日に行う。								
51310	A	証明と計算機	植田 一石	数理科学研究所	木5	2	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 数学における「厳密な証明」の概念は時代とともに変化しているが、現時点で最も厳密だと考えられている「形式的証明」や、その計算機科学との関わりを、文献の輪講によって学ぶ。 評価方法 発表を中心とした授業への参加をもとに評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。								
51282	A	国際ビジネス法務の最前線	玉井 克哉	先端科学技術研究センター	木5	2	K301	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 国際的なビジネスにおける最先端の問題に触れることで、自己の将来について考えるための材料を提供するゼミである。国際的な視野を持つことは、ビジネスの現場において活躍する弁護士や企業の法務担当者にはいまや必須であり、裁判官や検察官にとっても極めて重要である。本ゼミは、学部1・2年生という早い段階で国際ビジネスに関わる法務の現場に案内し、あわせて諸外国の法律家やその候補者と交流する機会を設けることによって、各自の問題意識を深める試みである。ジャンルとしては、知的財産法や情報法を中心に据える予定である。 具体的には、次のような内容を予定している。 (1) 最先端の法的問題についての研究。たとえば、次のような問題について研究する。 ・ヤマハ、カワイ等の楽器教室の事業に著作権がどのように作用するか。 ・バイオ医薬品に関する特許権にどのような権利範囲や効力を認めるか。 ・輸入ブランド品のロット番号を削除することは商標権に触れるか。 (2) グローバルなビジネスについて、活躍の顕著な諸先輩の訪問やインタビュー。 (3) 日本や外国の法律実務家（及びその候補者）との交流。日本、米国およびドイツの裁判官や弁護士による招待講演を計画している。また、今セメスター中に希望者を選抜し、中国で最高峰の一つとされる清華大学ロースクール（北京）を2018年4月～7月の間に訪問し、現地の学生と交流することを計画している。 受講には、高い英語力と強い勉学意欲が必須である。 評価方法 平常点による。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特定日に行う。2017年10月05日5限K301（9月28日ではなく10月5日に行うので注意されたい。）								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51285	A	障害者のリアルに迫る	熊谷 晋一郎	先端科学技術研究センター	木5	2	K402	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 障害をもつ当事者や、障害問題に関わる実践家や専門家など、多彩なゲストの語りを聞き、対話を重ねる中で、障害および人間についての深い理解を目指す。 評価方法 リアクションペーパーを12回の授業中10回出し、その内容を踏まえて成績を判断する 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。								
51283	A	読み破る政治学 ー多読・乱読・精読ゼミー	牧原 出	先端科学技術研究センター	木5	2	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 このゼミでは、多読、乱読、ときに精読を心がけ、古今東西の政治学に関する本を読み破る。毎週1冊本を読んで短いペーパーを書く。ゼミの場では、意見を言う、質問をする、反論をする、大いに語る。サーブ、レシーブ、パスを回して、スパイク？ゴール？とにかく皆さんの灰色の脳細胞を回してほしい。ゼミが終わると、一つ本に対する理解と愛着が深まったことに気付くだろう。著者同席の会や、本の良質な目利きが参加する会もあるだろう。夏休み・冬休みにはOB・OGとともに合宿を行う。 準備をしっかりすればゼミでは自在に語れるだろう。だがそうはいかなくとも、ゼミに出席し発言を心がけること。ゼミの時間はとにかく灰色の脳細胞の全身運動だ。なお、課外活動も他に色々ある。 ※受講人数：あらかじめ制限はしない。 ※開講場所：先端科学技術研究センター1 3号館2 Fセミナー室（2 2 5号室） 評価方法 出席点 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。								
51284	A	イスラーム政治思想・入門ー預言者映画を読み解く	池内 恵	先端科学技術研究センター	木5	2	515教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 イスラーム政治思想にとって、預言者ムハンマドの生涯の事績は、『コーラン』そのものの文言とともに、規範の典拠である。預言者の伝記は、イスラーム諸国で語り継がれ、読まれ、共通認識となっている。預言者が啓示を受け、イスラーム教団を立ち上げ、教団が発展していく過程の物語の一つ一つの場面は、記録され、解釈されて、イスラーム法的な規範を導出する根拠として引証されてきた。イスラーム政治思想の理解のためには、預言者ムハンマド伝の全体構成と一つ一つの場面とその意味を理解することは不可欠であり、最短の方法でもある。 預言者ムハンマド伝の代表的作品は、イブン・イスハークが著し、イブン・ヒシャームが編集したものであるが、これは詳細な注を付された邦訳がある（『預言者ムハンマド伝』後藤明・医王秀行・高田康一・高野大輔訳、岩波書店、全4巻、2010～2012年）。これを読み込むことが、イスラーム政治思想の典拠としての預言者の事績を理解するための入門であり、出門であるが、この忙しい世の中に、そう簡単に完遂しうる事業ではない。 そこで、この講義では、イスラーム政治思想のイントロダクションとして、映画の助けを借りて、預言者伝の一つ一つの要素を解説してみよう。セメスターをかけて解説するのはムスタファー・アッカド監督・アンソニー・クイン主演の『ザ・メッセージ砂漠の旋風』（1976年）である。この作品は、エジプトやレバノンのイスラーム法学者が監修し、サウジアラビアやリビアが出資し、ハリウッドに依頼して当時の有力な俳優や技術陣を動員して製作され、世界中で公開され好評を博した。 この映画を見ながら、各場面を、イブン・ヒシャーム『預言者ムハンマド伝』の記述に照らし合わせて読解し、それらがイスラーム法学解釈や、イスラーム政治思想において、どのような典拠として機能するかを解説していく。 また、エジプトなどで製作されたその他のムハンマド映画・イスラーム映画も比較の対象として視野に入れる。 評価方法 適宜小レポートを課す 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51291	A	全学自由研究ゼミナール 気候・海洋学入門 ー大気海洋研究所の先端研究からー ：地球と人類の未来を左右する気候研究、海洋研究の入門として、大気海洋研究所で行っている研究を中心に話題提供し、我々の将来について考えます。	小島 茂明	大気海洋研究所	木5	2	113教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 人工衛星から撮影された夜の地表の画像は、「現代の地球環境の姿」を如実に表しています。これをみると、日本を含め世界の都市部がいかに多くのエネルギーを使っているかよくわかります。先進国では、原始のヒトが生きていくのに必要なエネルギーの100倍以上も一人一人が消費しています。人口増とあいまって全世界の消費エネルギー量が爆発的に増大し、「地球環境問題」が生じました。現在、人為起源の二酸化炭素の放出が自然の変動幅を超え、急激な環境変化が懸念されています。気候研究、海洋研究は、こうした問題に正面から取り組む研究分野です。本ゼミナールでは、大気海洋研究所で行っている研究の最先端の成果を含め興味深いトピックスを集めました。地球と人類の未来を左右する気候や海洋に関する研究の入門編として、これらについて理解を深めることにより、我々の将来について考えるきっかけを提供します。 評価方法 講義中に行う演習の提出と、全体を通したレポート課題の提出による。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。								
51295	A	質量分析学入門	松崎 浩之	総合研究博物館	木5	2	518教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 質量分析は、同位体を検出する最も強力なツールとして、自然科学のあらゆる分野で基本的な分析手法となっているばかりでなく、現在も新しい概念・新しい技術による技術開発が進んでいる。本コースでは、質量分析技術の技術的基礎をしっかりと学び、加速器質量分析、レーザー共鳴質量分析など、最先端の技術を正しく理解する。その上で、実際にこれらの質量分析システムを実際に体験する実習を行う。 地球上のどのような物質を持って来ても、究極の感度で分析すれば、あらゆる元素・同位体を検出できるだろう。そしてそれらは、その物質がそこに至るまでに経験してきたあらゆる物理・化学的過程を記録しているはずである。私たちは物質中に記録された宇宙・地球の歴史を読み解くことを夢見て、研究開発を進めている。この夢を皆さんと共有するのが本コースの目標である 評価方法 出席とレポート。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。								
51294	A	立場の心理学： Crossing Your Culture- 日本社会や他国のマ ジョリティの特権（権力 含む）について考える	伊藤 圭子	国際センター	木5	2	107教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 これまでの多文化理解や国際化などの教育現場では、「他者」であるマイノリティー（弱者）」に焦点を当て、他者の立場について学ぶことが多いが、本科目では、マジョリティー側、「特権・権力を持つ者（社会における強者）」としての自己の立場に焦点を当てることで異文化理解を深めることが目標である。 特権とは「労なく得ることのできる恩恵」と定義され、努力のもとでなく、特権集団（例えば、人種でいえば、日本で日本人として生まれたこと、など）にたまたま生まれたことで自動的に受けることのできる恩恵のことである。「特権を持つ集団」、いわばマジョリティー集団に属する人々は、社会的強者の立場となる。本科目では、心理学の立場理論を通して、この社会における強者としての立場を可能にしている構造や制度について学ぶと共に、特権集団の持つ心理的特徴やアイデンティティ、社会化のプロセスについて紹介する。学生の皆さんが世界に通じる国際性豊かな人間になる上でも、「自分の特権に自覚的である」ことで、他者（ここでは社会的弱者）との信頼関係を得て、他者（弱者）と共に良い社会を築くには何をすれば良いのか、ということについて考察する。 評価方法 出席状況 / Attendance (40) % リアクションペーパー / Reaction papers (30) % 授業内での議論への貢献等の平常点 / Class participation (30) % 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51462	A	ボーカロイド音楽論	鮎川 ばて	学生による全学自由 研究ゼミナール	木5	2	学際交流 ホール	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 はじめまして、ボカロPで音楽評論家の鮎川ばてと申します。本講義は、現代日本の音楽状況の中でもっとも重要な存在感を示す「ボーカロイド（ボカロ）」を用いた音楽群の分析を通して、近年のボカロ流行現象の本質、ひいては音楽自体の本質に迫ろうという講義です。 講義では、講師がこれまでも強調してきた「永きにわたった人類による”うたの私有”が終わった」ことのインパクトを考えます。それは同時に、既存の音楽論を振り返り、再検討する機会にもなるでしょう。「アンチ・セクシュアル」というキーワードが、講義のひとつの軸になっていきます。 最初に「シーンの中で人気を博したのが、ラブソング群ではなかった」という事実に注目します。かつて音楽評論家の湯川れい子さんは「人間は、思春期を迎えるとラブソングを求めるようになる生き物なんです」と語りました。果たしてそうでしょうか。ボカロシーンでは、アンチ・ラブソング、とまでは言わないまでも、恋愛などの通念を自明としない感性を持った曲が人気を博しました（ex.「LOVEという得体の知れないもの」）。人によっては厨二病的とも言えるその感性の内と外を、フランスの人文学者ミシェル・フーコーの議論を参照しながら考えていくところから講義はスタートします。 主なアプローチ手法は、記号論、ジェンダー論、精神分析ですが、駒場と言え、リベラルアーツ。私は、一本書出身者としてこの理念に共感する者です。狭義のアカデミシヤンではないゆえに可能なある種の知的蛮勇として、前記の人文科学的手法に留まらない領域横断的な分析を試みてみたいと思っています。 開講にあたって大学から頂戴した前期課程講師用マニュアルには、皆さんに次の3つを促すようにと謳われています。「新しい概念の理解」「自発的想起」「創造的思考」。これらの現場の実践が、私の言葉で言えば「知的蛮勇」であり、「批評」です。 ボカロは老若男女、すべての人を受け入れるシーンですが、その上で、やはり主役は、若いみなさんだと思っています。みなさんが当事者として立ち会い、そしていまだ深度のある議論が少ないボカロカルチャーこそは、そのような批評の対象とするに最適です。 ボカロが好き。音楽が好き。かつてボカロが好きだった人。どの立場の人でも主役です。科類は問いません。「感覚を思考の俎上にあげることを恐れないあなたの参加をお待ちしています。 ＜補記＞ 講師は本年度より東京大学先端科学技術研究センター人間支援工学分野中邑研究室に協力研究員として所属しています。同研究室は、学校教育がフィットしない非典型的な子どもたちにオルタナティブな教育を提供するプロジェクト「ROCKET」を運営しています。本講義は独立したものですが、「典型的ではないこと」をめぐる思考において同プロジェクトと共鳴しています。このような活動に関心のある学生にも集まってもらえたらと思っています。 評価方法 出席および期末レポートなどで評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。								
51463	A	日本の医療の光と影～ 医療と福祉の現場から 考える現代社会	土谷 良樹	学生による全学自由 研究ゼミナール	木5	2	164教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 「こんなはずじゃなかった」、医療に対してそんな思いを抱いたことはありませんか？家族が病気で入院して病院にお世話になった際に、医療従事者に対してとても残念な、悔しい思いをしたことはありませんか？医師も看護師も薬剤師も、患者のための医療を志し、何年もかけて勉強して、国家資格をとって、日々忙しく頑張っているにもかかわらず、結果として患者に良い医療を提供できていないことが、ときに、いや、しばしば起こります。何故でしょうか。 患者側の要因、医療者側の要因、医療システムの問題、医療経済による制約、その他さまざまな社会的要因、政治的要因など、非常に多くの因子がこの現実を規定しています。医療は日本に根付いた文化とも言える社会システムであり、根拠となる法は国会で制定され、日常的には厚生労働省が管理運営し、予算は財務省が管理します。その内容は頻繁に改定され、医療システムは常に変化しています。医学が発展しても、医療システムが足並みをそろえて発展しなければ、良い医療は提供できません。 このゼミでは、日本の医療現場で日常的に起きている問題を出発点として、その背景に何があるのか、それを探求していきます。単位認定には、13回中、8回以上の参加が求められます。 評価方法 全13回の講義のうち、8回以上に出席すること。 教科書 著者（訳者）：本田宏 書名：なぜ、病院が大赤字になり、医師たちは疲れ果ててしまうのか!?—医療をつくり変える33の方法 出版社：合同出版 ISBN：978-4772604543 ガイダンス 第一回授業日に行う。								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51272	A	LGBTやその他のマイノリティが直面する問題と法的な対応の現在	坂口 菊恵	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	金2	2	K302	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 社会にはさまざまなマイノリティが生活しており、また誰もが「マイノリティ」となる可能性を持っている。マイノリティの権利を守る条例や法律が話題になることが多いが、そのような仕組みはどのような時になぜ必要になるのだろうか。専門家や当事者の方の実体験をうかがいつつ、調査学習とプレゼンテーションを行う。下記のようなトピックを取り扱う予定である。 ・同性婚／同性パートナーシップ法はなぜ必要とされるのか ・文科省による「LGBTの児童生徒への配慮を求める通知」 ・子どもを持つとした時に同性カップルに何が起こるか ・性分化疾患当事者のかかえる問題 ・ダブルマイノリティ（セクシュアルマイノリティと病気、障害、民族etc.） ・トランスジェンダーへの法的対応と健康 ・「障害者差別解消法」をめぐって 評価方法 分担任員：本学広報戦略本部 ユアン・マッカイ グループワーク参加、プレゼンテーション 教科書 著者（訳者）：フレデリック・マルテル 書名：現地レポート世界LGBT事情 出版社：岩波書店 ガイダンス 第一回授業日に行う。								
51274	A	企業の開発現場を学び、問題解決に取り組もう	松本 悠	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	金3	2	K501	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 授業の目標は、この授業自体が、皆さんのキャリアを考えるきっかけになる事です。皆さんに企業の現場を知る機会を提供し、将来のキャリアパスに役立つ経験となるよう期待しています。また同時に、課題に真摯に向き合うことで、社会との関連性を意識した、学問や研究への興味関心を喚起することも期待しています。 ・社会・企業組織を理解する この授業でのキャリア教育は、企業の講演や、会社見学など受け身なものに限られていた「職業理解」から、さらに一歩踏み込んだ内容です。企業の社会での理念や存在価値を理解し、実際に理念を体現する開発現場を体験するプロジェクトベースドラーニングを行うことで、能動的な学びとなり、職業観や社会との接続をより深く理解することができます。 ・キャリア形成に必要な基礎的・汎用的能力の習得 実際に体験することで、キャリア形成のための能力の必要性を理解することができます。その能力とは、①人間関係形成・社会形成能力、②自己理解・自己管理能力、③課題対応能力、④キャリアプランニング能力、です。授業を通して、これらの能力の意味を理解しながら、習得します。 評価方法 企業とはどういうものなのか、その組織や社会との関連を、ゲームを通して学びます。その後、企業の方を招いて、技術や理念、それに基づく事業を紹介していただき、課題を提示してもらいます。ニーズ、実現性、事業化などの複合的な観点から考察し、課題に対する具体的なアイデア（解決案）を提案してもらいます。扱う題材は未定ですが、決定次第、ポスターで告知をします。掲示板や担当教員へメール等でご確認下さい。（一昨年度は、お菓子の新たな可能性、水素社会実現に向けて、浮体式洋上風力発電所の設計。前年度は、心地よい車内空間、移動の喜び、など。） 教科書 出席点を基本とします。その上に、題材への取組姿勢や、グループワークへの積極性、プレゼンテーションの内容を評価に加えます。 ガイダンス 教科書は使用しない。 特に行わない。								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51300	A	エルンスト・ユンガー をめぐって	和仁 陽	法学部	金3	2	1223教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 エルンスト・ユンガー(Ernst Jünger, 1895-1998)は二十世紀のほぼすべてを生きたドイツの文筆家である。実は、夏に展開科目社会科学ゼミナールの枠で、この作家のテキストを丁寧にドイツ語で読む授業「エルンスト・ユンガーを読む」(32050)を行った。この過程で参加者諸氏に触発されて、私自身Sセメスター当初予期していた以上に、ユンガーについて改めて調べ直したり考え直したりしたので、折角だからというのも変だが、Aセメスターも彼を取り上げてどうかと思い立った次第です。 但し、今回は、ユンガーのテキストそのものを読むことに限定せず、参加者の関心・希望によっては、ユンガーを結節点とした intellectual history に用心深く手を掛けてもよいかと思っている。その場合でも、漫然とユンガー談義をしても意味がないので、まず、ユンガーのドイツ語をきちんと読む作業姿勢は堅持します。 いうまでもなく、上記社会科学ゼミナールとはまったく別の、独立した授業です。 評価方法 平常点による。 教科書 著者（訳者）：国松孝二編 書名：独和大辞典 出版社：小学館 ガイダンス 特に行わない。								
51298	A	犯罪と刑罰を考える	三隅 諒	法学部	金5	2	116教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 犯罪と刑罰を考える上では、その原因と対策に関する議論が不可欠です。法学部では刑法という科目において「いかなる場合に犯罪が成立するか」を学びますが、「なぜ犯罪者は犯罪に走るのか」「犯罪者の対策はどのように行われているか」といった問題を専門的に扱う科目は、意外に多くありません。こうした問題を解決するには、法学のみならず、心理学や社会学、精神医学など、様々な領域の学問が必要であり、多様な関心を持った人が集まる駒場において学ぶに相応しい科目と言えます。各人の関心から、犯罪と刑罰を考えるきっかけをつかんでもらうことが目標です。 評価方法 平常点（発言等によるゼミへの貢献度）によります。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。								
51319	A	Molecular Biology of the Cell 輪読ゼミ	尾藤 晴彦	医学部	金5	2	E49教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 主に駒場の2年生を対象とし（1年生も参加可能）、Molecular Biology of the Cellを英語で読むことで、生命科学を英語で学ぶ習慣を身につけ、さらにその基礎となっている原著論文を読む事が出来るようになる事を目標とする。 ※ガイダンス場所：医学部・教育研究棟二階 N203、および教養学部情報教育棟 E49教室 初回9月29日5限 ※開講場所：医学部・教育研究棟二階 N203、本郷に来られない学生のために教養学部情報教育棟 E49教室にて遠隔講義を行う 評価方法 出席と上記のプレゼンテーションに基づいて評価を行う。 教科書 著者（訳者）：Bruce Alberts, Alexander Johnson, Julian Lewis, David Morgan, Martin Raff, Keith Roberts, and Peter Walter 書名：Molecular Biology of the Cell 6th edition 出版社：Garland Science ISBN：978-0815344322 ガイダンス 特定日に行う。2017年09月29日5限医学部・教育研究棟N 2 0 3教室と教養学部・情報教育棟E 4 9教室（遠隔講義）								
51318	A	近世史料を読んでみよう	松澤 克行	史料編纂所	金5	2	117教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 日本近世（江戸時代）の史料（古文書や古記録）を実際に読んで解釈することで、日本史学研究の基礎的作業を体験してもらうこととする。 評価方法 輪読への参加実績、報告の内容によって評価する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51467	A	法と社会と人権 －社会の実態を知り、 人権を学び考える－	山下 敏雅	学生による全学自由 研究ゼミナール	金5	2	164教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 当ゼミは、1992年度以来川人博弁護士が中心になり担当してきた。今セメスターも川人弁護士の協力を得て、当ゼミの出身者山下敏雅弁護士が担当する。笠置裕亮弁護士（当ゼミOB）も協力する。 人権問題を考えるにあたって大切なのは、社会の実態をよく知ることである。Aセメスターのテーマとしては、メディア、環境、司法、安全保障などを予定している。 文1は勿論、文2・文3・理1・理2・理3の学生も歓迎する。 このゼミでは、授業時間帯以外にフィールドワークを実施している。事件現場、NGO、法律事務所、官公庁、企業、労働組合、裁判所、少年院、刑務所、テレビ局、新聞社、病院などに出向き、様々な当事者、専門家、弁護士、医師、公務員などから話を聞く。様々な職に就いている当ゼミ卒業生との交流も随時行う。 これらのフィールドワーク（主として平日午後6時以降、土日祝日に実施）は、今セメスターを通じて15回以上実施予定だが、いずれかを選択して、計2回以上参加すること。 金曜5限の授業では、10月～11月は講義形式を中心にし、12月～1月はテーマ班ごとに、授業やフィールドワークで学んだことをまとめて、書面または口頭で学生発表する。 ※ガイダンスは9月29日5限（第一回授業時）におこなう。 評価方法 日常のゼミ活動、学生発表及び期末レポートにもとづく合否判定 講義及びフィールドワークで学んだことを基礎にして、上記発表を行い、かつ期末レポートを作成すること 教科書 著者（訳者）：川人 博 編著 書名：テキストブック現代の人権第4版 出版社：日本評論社 ISBN：978-4-535-51725-7 ガイダンス 第一回授業日に行う。								
51469	A	知力の再構築	青山 繁晴	学生による全学自由 研究ゼミナール	金5	2	152教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 いま最高学府で学ぶ者は、ガラス越しに世界が壊れるのを見ている。この「世界」とは第二次大戦後の秩序のことだ。自称イスラーム国の暴虐、難民の空前の発生、ロシアとNATOの衝突危機、いずれを見ても、大戦の勝者が創設した国連は機能を喪っている。また勝者による経済秩序を支えたIMFは、SDRと呼ばれる準備資産の構成通貨の一角に、本来の通貨機能を持たない人民元を加えたために崩壊していく恐れがある。その勝者は、トランプ米大統領の出現、イギリスのEU離脱から見て取れるように内部から崩壊が始まっている。最高学府の知性とは、敗者としての日本を痛切に省みることから出発したが、今やその勝者と敗者が混然とするなか、学生は受験勉強、試験勉強を通じて積み上げてきた知性を、やがてガラス戸を開いて出て行く現実世界で問われることになる。 予め用意された回答に合理的に合わせる知力ではもう通用しない。日本は戦前、海軍兵学校、陸軍士官学校の成績優秀者が戦争を指導して敗れた。それにもかかわらず戦後も、国家公務員となる時まですべて試験に適合することが優先されてきた。この知力に、世界の現場で鍛えたやすりを掛けてみないか。講座の目的は、混沌を乗り切る技術論ではない。世界が壊れるからこそ訪れる、理念と哲学の再構築の好機をしっかりと掴む、その方法論の探求である。 講師は現在参議院議員であるが、作家、マスメディアとネットの発信者として知られている一方、元は共同通信記者として事件・経済・政治報道、シンクタンク社長として危機管理・安全保障の実務に携わってきた。講師の多様な側面が展開され刺激豊かな講座としたい。 この講座では世界の現場で活躍されている以下のゲストの方々をお呼びして、講師との対談、受講生との議論を行う予定である。(五十音順) ・青山千春 東京海洋大学准教授 ・福岡浩 新潟大学災害・復興研究所教授 また、正規の授業時間外にフィールドワークを行う予定である。今のところ以下を予定しているが、情勢によって叶わざることがある旨ご承知おき頂きたい。 ・国会 ・首相官邸 ・自衛隊基地 評価方法 出席および期末レポート 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60211	A 2	英語を使いながら細胞を培養しよう Experimental Biology Course - "Let's try cell culture in English"	松田 良一	教養学部(前期課程)生物	集中	2	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 ヒトの成体は約60兆の細胞から成り立っている。私たちはそれらの細胞の機能により生きている。この実験生命科学ではニトリ胚の細胞を生きたまま分離し、それらをプラスチック皿内で培養する。受講した諸君は細胞培養法の科学的意義を学ぶにとどまらず、細胞を培養する重要さも実感出来るはずだ。この授業は23年前から続く伝統的授業で、4月入学生の文理を問わず1, 2年生に開講している。2012年度より、この授業では英語を公用語にしたので、PEAK生と4月入学生が同時に履修できる数少ない機会である。 The human body consists of about six trillion cells. Our lives depend on the function of each cell. In this laboratory course, we will isolate living cells from chick embryos and cultivate them on plastic dishes. You will learn both the scientific significance and the joy of cell biology and culture techniques in this lab course. To facilitate the interaction between domestic and international students, this course was started in 1992 and opened to all PEAK and April-enrolled students since 2012. The official language used is English throughout the course. 評価方法 受講者は全員レポートを提出すること。レポートの使用言語は英語でも日本語でも良い。レポートは2018年2月13日(火)の午後5時までに15号館309A室に提出すること。Enrolled students are asked to submit their lab-reports written in English or in Japanese. Reports should be submitted to Room#309A, Building#15, before 5PM of Feb. 13, 2018. 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特定日に行う。2017年09月27日 UTAS (「授業目標、概要」参照)								
51277	A	南京大学フィールドワーク研修	白 佐立	教養学部(前期課程)教養教育高度化機構	集中	2	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が進級要件(2014年度以前入学者)・前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。 本講義では、中国南京大学の学生と共に南京の街を歩き、街の人々の生活を「再発見」するためのフィールドワークを実施する。フィールドワークを通して南京の人々の生活に触れることで、人々の考え方や生活に対するリアルな理解、想像力を持つことを狙いとする。書籍やマスメディアからの情報を鵜呑みにするような〈情報の消費者〉ではなく、自らの目と足で経験し、その経験から独自の視点と見解を見出す、そんな〈知の生産者〉を目指す、柔軟性と意欲に溢れた学生の参加を期待する。 履修者には、1週間のフィールドワーク期間中、午前中はディスカッション、午後はフィールドワークを実施してもらう。履修希望者は9月に開催するガイダンスに参加することが必須である。そしてレポート課題(ガイダンス時に説明)により派遣学生を選抜する。 なお、南京大生とは主に日本語と英語でコミュニケーションをとるので、中国語未習得者の参加も歓迎する。積極的にコミュニケーションを取る意欲こそが望まれる。 例年のフィールドワーク内容はLAPホームページとLAPの公式FACEBOOKを参照のこと。 *受講人数: 20名 *開講場所: 中国・南京大学。フィールドワーク実施場所は南京市内。 *開講期間: 2018年3月4日～18日(予定)。前半、後半に分け、それぞれ10名を派遣。派遣する前の事前討論会(2回、日時未定)への参加は必須である。 *ガイダンス 日時: 2017年9月28日(木) 12:20～12:50 場所: 駒場国際教育研究棟(旧6号館)314教室 *選抜方法: 履修希望者は必ずガイダンスに参加し、選考レポートを提出すること。 *参加費用: 派遣に必要な費用の一部は学生負担とする(詳細はガイダンス時に説明)。 *単位登録についての説明は、ガイダンス時に行う。 講義に関する最新情報はLAPホームページを参照すること。 評価方法 講義への参加状況およびレポートで評価する 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特定日に行う。2017年09月28日 UTASシラバス(「授業目標、概要」参照)								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51278	A	東大×南大共同 フィールドワーク於東京	白 佐立	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 本講義では、2017年11月に中国・南京大学から日本語上級者10名を迎え入れ、東大×南大共同フィールドワークを実施する。フィールドワークでは、東大生と南京大学の学生と共に東京の街を歩き、街の人々の生活に触れることで、人々の考え方や生活に対するリアルな理解・想像力を持つことを狙いとする。 フィールドワークのテーマは9月28日に開催するガイダンス時に説明する。履修者は11月3日～5日間で、南大生とのディスカッション、フィールドワーク、結果発表を実施してもらう。履修希望者はガイダンスに参加することが必須である。なお、南大生とは主に日本語でコミュニケーションをとるので、中国語未習得者の参加も歓迎する。積極的にコミュニケーションを取る意欲こそが望まれる。 ＊受講人数：20名。履修希望者が多い場合、レポートによる選抜を実施する。 ＊開講期間：2017年11月3日～5日。事前講義（日時未定）への参加は必須である。 ＊ガイダンス 日時：2017年9月28日（木）5限 場所：駒場国際教育研究棟（旧6号館）314教室 ＊授業計画・方法：ガイダンス時に説明する。 講義に関する最新情報はLAPホームページを参照すること。 評価方法 講義への参加状況およびレポートで評価する 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特定日に行う。2017年09月28日5限駒場国際教育研究棟（旧6号館）314教室								
60212	A 2	教養学部生のための キャリア教室2A (社会連携プロジェクト・ 第5期)	標葉 靖子	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	集中	1	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が進級要件（2014年度以前入学者）・前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。 【注意】この授業に参加するためには、履修登録とは別に事前エントリーが必要です。必ず授業ウェブサイトで本授業の詳細（スケジュール、プロジェクト内容、注意事項等）を確認の上、授業ウェブサイト（http://www.sr.komex.c.u-tokyo.ac.jp/career/career2.html）に記載の方法で事前エントリーを行ってください。 本授業は、大学にしながら「社会」に触れる機会“early exposure”を目指したキャリア教室シリーズのひとつです。本授業では、学生が4～5名のチームとなって、学外連携先が提示するミニプロジェクトに取り組みます。ミニプロジェクトの実践を通して、チームで成果物を出す難しさややりがいを知るとともに、社会に広く関心を持ち、今後の学修に活かせるようになることが本授業における到達目標です。なお授業ウェブサイトの更新情報は、Twitter(お知らせ専用アカウント @CareerKOMABA、ハッシュタグ #キャリア教室2) でも確認することができます。 プロジェクト連携先（予定）： アクサ生命保険株式会社、日本電気株式会社（NEC）、財務省、内閣府地方分権改革推進室 授業スケジュール： 初日1月29日（月）ガイダンス&導入ワークショップ 1月30日（火）、2月2日（金）プロジェクト1 2月6日（火）、9日（金）プロジェクト2 2月13日（火）、16日（金）プロジェクト3 2月19日（月）、22日（木）プロジェクト4 最終日2月26日（月）まとめ（プロジェクトレポートの作成） ※ 4つのプロジェクトのうち2つ以上への参加を希望する方はキャリア教室2A・2Bの両方（計2単位）、どれか1つのプロジェクトだけに参加する方はキャリア教室2Aのみ（1単位）を登録してください。なお初日（ガイダンス&導入ワークショップ）および最終日（まとめ）は、キャリア教室2A・2B合同で実施します。 ※ 原則14時～18時を予定していますが、プロジェクトの進行により多少前後する可能性があります。 ※ 本授業では、希望者のみのオプションとして会社/省庁訪問等の機会も設けています。 ※ 9月27日（水）、29日（金）の12:20-12:50に101号館1階13B室で説明会を実施します。本授業に関心のある方は是非お越しください。両日の内容は同じです。（本説明会に参加していなくても事前エントリーは可能です。） 評価方法 プロジェクトへの参加、レポートによる総合評価 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特定日に行う。UTASシラバス（「授業目標、概要」参照）								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60213	A 2	教養学部生のための キャリア教室2B (社会連携プロジェクト・ 第5期)	標葉 靖子	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	集中	1	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が進級要件（2014年度以前入学者）・前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。 【注意】この授業に参加するためには、履修登録とは別に事前エントリーが必要です。必ず授業ウェブサイトで本授業の詳細（スケジュール、プロジェクト内容、注意事項等）を確認の上、授業ウェブサイト（http://www.sr.komex.c.u-tokyo.ac.jp/career/career2.html）に記載の方法で事前エントリーを行ってください。 本授業は、大学にいながら「社会」に触れる機会“early exposure”を目指したキャリア教室シリーズのひとつです。本授業では、学生が4～5名のチームとなって、学外連携先が提示するミニプロジェクトに取り組みます。ミニプロジェクトの実践を通して、チームで成果物を出す難しさとやりがいを知るとともに、社会に広く関心を持ち、今後の学修に活かせるようになることが本授業における到達目標です。 プロジェクト連携先および授業スケジュールは、キャリア教室2Aと同じです。キャリア教室2Aのシラバスに記載した4つのプロジェクトのうち2つ以上への参加を希望する方はキャリア教室2A・2Bの両方（合計2単位）に登録してください。どれか1つのプロジェクトだけに参加する方は、こちらではなく、キャリア教室2Aのみに登録をお願いします。 ※ 9月27日（水）、29日（金）の12:20-12:50に101号館1階13B室で説明会を実施します。本授業に関心のある方は是非お越しください。両日の内容は同じです。（本説明会に参加していなくても事前エントリーは可能です。） 評価方法 プロジェクトへの参加、レポートによる総合評価 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特定日に行う。UTASシラバス（「授業目標、概要」参照）								
51267	A	ブランドデザインスタジオ17 ～「おさんぽ」をブラン ドデザインする～	真船 文隆 宮澤 正憲 岡本 佳子	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	集中	2	K502	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 【注意】この授業に参加するには、履修登録とは別に「説明会への出席」と「エントリーシートの提出」が必要です。授業登録だけでは参加できません。 ●プログラムについて 『正解のない問いに、共に挑む』特別教育プログラムです。参加者の皆さんが今後、広く社会一般で活用し得る「共創」の手法を「21 KOMCEE（理想的教育棟）」を舞台に、東京大学×博報堂ブランドデザインのコラボレーションにより学んでもらいます。全回、ワークショップ形式で行われ、現役の広告会社社員、ブランド・コンサルタントがプログラム・デザインおよびファシリテーションを担当します。 本プログラムでは参加者の多様性を重視する目的により、参加学生と一定数の社会人参加者が一緒になってプロジェクトチームを結成し、チームでのアイデア創出を行ってもらうことを予定しています。 【URL】http://www.bdstudio.komex.c.u-tokyo.ac.jp/ ●この授業について ジャン・ジャック・ルソーは『孤独な散歩者の夢想』と題する書を著わし、イマヌエル・カントは決まった道筋を決まった時間に散歩したことで知られています。チャールズ・ディケンズは毎日午後になると3時間にもおよぶ散歩をしていたそうで、チャイコフスキーやベートーヴェンは散歩を日課とし散歩中に思いついたメロディーをノートにまとめていたといいます。ウディ・アレンは「朝マディソン・アヴェニューを散歩して仕事に行く人々や学校へ行く子供たちを眺めるだけでたくさんのアイデアがわいてきて、もっとこの街についての物語を語りたくなる」と語ったそうです。 気晴らしや気分転換のために散歩する人もいれば、ダイエットや健康のための散歩をする人もいます。街や自然と触れ合うため、同行する人との時間を楽しむため、偶然の出会いを期待して、ペットと一緒に、ゲームをプレイする一環で、…古来、人は散歩と様々なかたちで関わってきました。今回のブランドデザインスタジオはこの「散歩」をテーマとしてとりあげます。 参加いただく皆さんには、まず多様なリサーチや議論を通じて「散歩」というテーマを多面的に捉え直してもらいます。その後、集めた情報を分析・統合し、「散歩」の持つ本質的な価値や課題を探究したうえで、そこに立脚して新しいアイデアを創出していただきます。「散歩」に関する新たな商品やサービス、空間やイベントなどアイデアは自由に発想していただき、「散歩」を世に問うていただきたいと思います。 本授業における最終成果物として、授業終了後に一般公開する形でプレゼンテーションをしていただく予定です。 評価方法 全ての授業への参加を前提に、個人ワークの提出内容、グループワークへの貢献、最終プレゼンテーション内容により評価します。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特定日に行う。2017年09月28日 UTASシラバス（「授業目標、概要」参照）								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51299	A 1	法学部生・LS生と学ぶ 民法―判例を素材に	大村 敦志	法学部	集中	1	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 法学学習者（法学部生・LS生）が駒場生を相手に授業を行うことを通じて、授業者も参加者とともに法に対する理解を深めることを目標とする。担当教員は、これまで同じ方法で高校生を相手に授業を行ってきたが、この方法には大きなメリットがあるため、駒場でも同様の試みを行ってみることにした。 授業は10月14日、21日、28日（いずれも土曜日）の午後に集中講義の形で行う。場所は法文一号館19番教室（本郷キャンパス）なので、注意すること。なお、初回は13時30分から17時30分まで。2回目・3回目の開始・終了時間は初回に示す。 評価方法 出席（参加）とレポートによる。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。								
60218	A 2	制度を創る民法― コントラクト・デザイン 入門編Part2	大村 敦志	法学部	集中	1	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 法学部やロースクールで学ぶ民法は、裁判所での適用を念頭に置いた民法である（裁判規範としての民法）。しかし、民法（特に契約法）は、私たちが社会関係を創り出していくため道具でもある（ツールとしての民法）。この授業では、民法を使った簡単な制度づくりを体験することを通じて、ツールとしての民法（市民としての民法へのかかわり方）についての理解を深める。 授業は11月25日、12月2日、9日（いずれも土曜日）の午後に集中講義の形で行う。場所は法文一号館19番教室（本郷キャンパス）なので、注意すること。なお、初回は13時30分から17時30分まで。2回目・3回目の開始・終了時間は初回に示す。 評価方法 出席（参加）とレポートによる。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。								
60220	A 2	ロボティック医療 システム	光石 衛	工学部	集中	1	シラバス 参照	1年 理科 2年 理科
目標概要 手術ロボットによって、（１）臓器や骨格の裏側や内部などの医師が通常では見ることができない部位を見ることができるようになる。また、（２）医師が通常手では困難な狭い領域や臓器の裏側の手術、微細な手術、高精度な手術が可能となる。さらに、（３）遠隔地での診断や手術も可能となる。 本ゼミナールでは、当該研究室で開発されている世界最先端の深部脳神経外科超微細手術支援システム、眼科手術支援システム、最小侵襲人工膝関節置換術支援システム、遠隔低侵襲手術支援システム、集束超音波を用いた非侵襲結石破壊システムなどを実際に操作する。次に、ものづくり技術・知識、コンピュータ・ネットワークなどの情報学の知識、医学的知識を駆使して実現する手術ロボットはどのようにして構築されるのか、その入門を学ぶ。 第１回（駒場）：ガイダンスと概略説明 第２回（本郷：土曜、あるいは、日曜）：手術ロボットの実体験（その１） 第３回（本郷：土曜、あるいは、日曜）：手術ロボットの実体験（その２）、手術ロボットをどのようにして構築するか基礎の解説 ※受講人数：20名に制限する。 ※このゼミは9月25日（月）6限（18：45～）に743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 評価方法 出席（2／3）と最終レポート1回（1／3）にて採点 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特定日に行う。2017年10月04日5限1号館107教室								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51340	A	革新的自動車触媒技術	伊藤 喜光	工学部	集中	2	シラバス参照	1年 理科
51341		光で水から水素・酸素をつくる						
51342		Pythonを使ってデータ駆動型ケミストリーを体験しよう						
51343		電子書籍と紙の本：どちらが環境に良いか考えよう						
目標概要 本ゼミナールは工学部の化学・生命系三学科(応用化学、化学システム工学、化学生命工学)の研究室の協力により実施する全学体験ゼミナールの一つです。各研究室において最先端の研究を体験し、化学・生命系分野に関する理解を深めてもらうことを目的としています。本ゼミを含む下記の9種のゼミは、合同でガイダンス、最終プレゼンテーションを行います。 51335 熱に応答する不思議な高分子をつくってみよう！ 51336 有機半導体デバイスの作製と評価 51337 再生可能炭素資源から役に立つものをつくろう 51338 デジタルバイオアッセイ 51339 コンピューターで蛋白質分子のしくみを調べよう 51340 革新的自動車触媒技術 51341 光のエネルギーで水を水素と酸素に分解しよう 51342 Pythonを使ってデータ駆動型ケミストリーを体験しよう 51343 電子書籍と紙の本：どちらが環境に良いかを考えよう 原則教養学部の講義と重ならない日程、時間帯に各研究室に数人のグループで参加し、研究室の教員や大学院生の指導のもとに、ショートコースの研究プログラムにしたがって実験・研究を行います。実際にゼミを行う日程、時間帯は受講決定後、受講生と受け入れ研究室との相談により決定します（3~4日間）。1月27日（土）に、成果発表会を本郷地区にて共同で開催し、他のグループの成果についても聞き、討論を行います。研究現場、プレゼンテーション資料の作成、討論などを体験できる貴重な機会ですので、多くの方の参加をお待ちしております。なお、この本ゼミは入門編ですので、高度な専門知識は必要ありません。対象クラスは1年 理科です。本講義を受講するためには、履修登録のみではなく、別途申込が必要です。ガイダンスにて申込方法をアナウンスするので、必ずそれに従い申し込んで下さい。 ※開講日・具体的内容は、UTASシラバス授業計画欄参照。 ※1月27日（土）に本郷・工学部5号館において、上記の9種のゼミ合同でプレゼンテーションを行います。 ※このゼミは9月25日（月）6限（18：45～）に743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 ※上記工学部合同ガイダンスとは別に、化学生命系の合同ガイダンスを10月2日（月）5、6限（16:50～、18:45～）に104教室で行います。（5限と6限は同じ内容です） 評価方法 出席および成果発表による総合的評価 実験への参加により評価する。期末に合同発表会を開催する。発表会への参加は必須ではないが、強く推奨する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特定日に行う。2017年10月02日5限104教室（同日 6 限にも同じ内容で開催）								
51331	A	電子情報ゼミ：Androidによるモバイルプログラミング入門	川原 圭博	工学部	集中	2	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 スマートフォンやタブレットPCなどの主要な開発環境であるAndroidを用いて、携帯情報端末のプログラミングの基礎を習得することを目的としています。主としてJavaの言語仕様に触れたことがある者を対象とし、Android APIを利用してユーザインタフェースやセンサ情報の取得を行うアプリケーションの作成に実践的に取り組みます。 本授業は、配布プリントに記載されたサンプルプログラムを基に自身でアプリケーションを開発する演習形式です。演習では、計算機上のでエミュレーションにとどまらず、実機(スマートフォン)を用いて動作検証を行います。個人の習熟度に合わせて個別に課題を与えることもあります。Androidの開発機を持たない履修者には貸与も可能です。 ※このゼミは9月25日（月）6限（18：45～）に743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 評価方法 授業への参加回数と発表結果。頑張って最後まで出ていただくことが重要です。（開発ですので、それなりに自習の時間が長くなります。） 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51330	A	製品を分解してわかる 環境問題	梅田 靖	工学部	集中	1	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 製品を開発する際に、環境への影響を配慮して製品を設計することは今や当たり前のことになりつつある。この講義では、製品使用後にリサイクルを容易にするための「リサイクル性設計」に焦点を当て、実際の製品（液晶テレビを予定）を分解しながら、どのような設計上の工夫がされているのかを観察するとともに、「リサイクル」の仕組みについて学ぶ。 ※このゼミは9月25日（月）6限（18：45～）に743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 評価方法 出席、講義中の積極性、レポートから総合的に判断する 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特定日に行う。2017年09月25日6限工学部合同ガイダンス（743教室）で行う								
60221	A 2	太陽光発電と エネルギーシステム： 原理の理解から実習まで	杉山 正和	工学部	集中	1	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が進級要件（2014年度以前入学者）・前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。 地球温暖化問題に対する切り札として近年ますます注目されている太陽光発電について、太陽電池の構造・機能を物理に基いて理解し、現在までに提案されている様々な太陽電池の利点・欠点を概観することにより、超高効率・低コストな次世代太陽電池・太陽光発電システムを開発するための基礎を学ぶ。 太陽電池の研究開発を行っている教員により基礎から最先端のトピックまでの集中講義のほか、受講者が自ら量子ドット太陽電池を作成・評価する実習を行い、体験に基づいた深い理解を得ることを目指す。また、実際に最先端太陽電池の研究開発を進めている駒場IIキャンパスの先端研でゼミを行うため、講義と並行して研究設備を見学し、研究者との交流することも可能である。 ※このゼミは9月25日（月）6限（18：45～）に743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 評価方法 講義と実習への出席により単位を与える。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特定日に行う。2017年09月28日6限107教室								
51470	A	基礎植物学輪講IV	寺島 一郎	理学部	集中	2	シラバス 参照	1年 理一 理二 2年 理一 理二
目標概要 生物学の講義では現時点での知見を解説することが多いが、学生が最前線に立つころにはその知識は時代遅れになってしまう。現時点の知見を「暗記」するよりも「歴史的背景をふまえて基礎を理解」することの方がはるかに大切である。このゼミナールでは、歴史的背景をふまえて基礎を理解するという姿勢を貫きながら、植物形態・解剖学の基礎的な教科書を使って輪講を行う。状況によっては、程度の高い英語で書かれた教科書も用いる。 評価方法 受講生各人について、このゼミナールによって植物学の基礎の理解がどれだけ深まったのかを評価する。物理・化学を受験科目とし、生物学の知識の乏しい受講生も歓迎する。ゼミナール開始時点での知識のレベルは問わない。 教科書 著者（訳者）：原裏 書名：植物の形態（増訂版） 出版社：裳華房（1984） その他：絶版となっているのでコピーを配布する予定である。 ガイダンス 特定日に行う。2017年10月14日2限本郷キャンパス理学部2号館026号室								
60222	A 2	ワンパクなタンパク質 を科学する：実習編	高橋 伸一郎	農学部	集中	1	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が進級要件(2014年度以前入学者)・前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。 初年次ゼミナール理科「私たちの身近にあるワンパクなタンパク質を科学する」では、身近にある興味あるタンパク質を選び、性質を調べると同時に、その重要性を体験し、この経験をもとに、一般の人達にそのタンパク質の重要性を納得してもらうツールを作ってきました。本講義は、その続編として、タンパク質やこれをコードする遺伝子を実際に扱って見て、タンパク質とは何かを実体験することを目標としています。もちろん、この初年次ゼミナール理科の講義を履修していない学生さんの参加も歓迎します。 ※このゼミは9月25日（月）6限（18：45～）に1313教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。 評価方法 出席と実習での活動で評価します。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特定日に行う。2017年09月25日6限駒場キャンパス13号館1313教室								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51321	A	最先端の生命科学研究を駒場で体験する	新井 宗仁	教養学部	集中	2	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科

目標概要

教養学部後期課程（理系）・統合自然科学科の「統合生命科学コース」には、ライフサイエンス研究の若きトップランナーが集結し、生命科学のフロンティアを開拓している。本ゼミの履修学生は、最先端の研究を展開している研究室に数名ずつ配属され、未解明の研究課題に実際に取り組んでもらう。研究室配属には次の3通りがある。

(1)【1 研究室型】Aセメスターを通して一つの研究室に所属
（1つの研究を深く追究したい学生向き）

(2)【2 研究室型】A1タームとA2タームで別の研究室に所属
（複数の研究を実体験したい学生向き）

(3)【オムニバス型】特定の研究室に所属せず、全ての研究室を少しずつ体験
（多様な研究を俯瞰したい学生向き）

研究の進め方は教員と相談して決める。研究室によって曜限を指定する場合、指定しない場合、集中して行う場合がある。オムニバス型は曜限を決めて実施する。セメスターの最後に、履修者全員が参加して成果報告会を開催する。

統合生命科学コースの特徴は、先端性と多様性である。准教授が独立した研究室を運営できるため、26もの研究室がある。その研究テーマは極めて多様であり、分子生物学や細胞生物学、植物生理学といった理学的な基礎研究から、神経科学、内分泌学といった医科学的な研究、そして、創薬などを目指した薬学・農学・工学的な研究まで多岐にわたる。ノーベル生理学・医学賞を受けたオートファジー研究が駒場で開始されたという事実が象徴するように、流行にとらわれない独創性の高い研究が行われている。実験や理論などのアプローチ法も多彩である。若き教員が柔軟な発想で、先端的でチャレンジングな研究テーマを選び、熱心に学生を指導するのみでなく、教員自らが現場に立って実験をしている研究室も多い。

ガイダンス資料はゼミのウェブサイト（<http://folding.c.u-tokyo.ac.jp/seminar/>）にも掲載する。ガイダンス後に学生の希望を集計して配属先を決定する。ガイダンスに出席できない場合には、ウェブサイトに記載された方法で希望を提出すること。

生命科学が大好きで、新しい分野を切り拓きたいという熱い想いを持つ学生を歓迎する。また、文系から理系への転向を考えている学生も受講できる。熱い現場で、熱い教員たちが学生諸君を待っている。

担当教員と研究テーマ：

浅井 禎吾	ポストゲノム型天然物探索
新井 宗仁	計算機を使って理論的に新規タンパク質をデザインする
大杉 美穂	マウス受精卵の細胞分子生物学
坪井 貴司	ホルモン分泌や細胞内シグナル伝達反応を目で視てみよう！
道上 達男	ツメガエル胚の細胞形状と組織変形のダイナミズム
矢島潤一郎	光学顕微鏡を用いたバイオナノマシンの機能定量
吉富 徹	機能的な高分子ゲルの中に微細藻類を入れて培養してみよう！
吉本敬太郎	分子認識型核酸をみつけよう＆調べよう！
若杉 桂輔	新たなタンパク質分子を設計し、創ってみよう

評価方法 研究への取り組みや成果報告会での発表をもとに評価する。

教科書 教科書は使用しない。

ガイダンス 特定日に行う。2017年09月29日 1号館108教室

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51322	A	生命の普遍原理に迫る 研究体験ゼミ	石原 秀至	教養学部	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が進級要件（2014年度以前入学者）・前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。 本ゼミは、東京大学生物普遍性連携研究機構（Universal Biology Institute）に関わる研究室で研究体験型のゼミをおこない、通常の学生実験や講義では体験できない、最先端の科学研究の一端に触れる。 この研究機構では、生物に共通する普遍的な法則とメカニズムの解明を目指し、従来の生物学の枠を越えて、数理科学、理論物理、分子生物学、生物物理学、進化生物学、有機化学、ナノバイオテクノロジー、細胞イメージングなど、広範な分野の研究者が共同で研究に取り組んでいる。過去半世紀にわたる生命科学の進展により、我々は生体内で起こる分子レベルの反応の詳細や、それに関わる分子種についての膨大な知識を集積してきた。一方で、それら分子が総体として織りなす「生きている状態」とは、そもそもどのような状態なのか？そして、そのような状態を特徴付ける法則や原理は何か？このような基本的な問題について、我々人類はまだほとんど理解できていない。これは、生物学のみに閉じた課題ではなく、現象の記述と理解に必要な数理科学の発展や、新たな実験・計測技術の開発も必須である。現代生命科学は科学諸分野のフロンティアを押し広げるとともに、これらを再統合する現場ともなっている。 しかし、前期課程（1, 2年生）における既存の学生実験は、旧来の専門に通じる素養を学ぶことに主眼が置かれているため、最先端の分野横断的な学問領域での演習や実験を行える機会は少ない。本ゼミでそのような場を提供したい。 本ゼミの受講者は、学部1、2年の早い段階で、学問分野の垣根を越えた統合的な科学研究の現場に携わりつつ、一方で基本的な実験技術やデータ解析手法を学習する。また配属先の研究室によっては、数理演習や計算機実習を通じて理論研究の基礎を学ぶこともできる。 未知の分野にチャレンジし、将来的に自ら新しい分野を開拓していこうと思う意欲的かつ野心的な学生を歓迎する。 評価方法 講義・実習への出席、取り組み姿勢、成果報告会での発表をもとに評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特定日を行う。2017年09月28日 昼休み（12:15-12:45）に106教室								
51320	A	2017年度Aセメスター 最先端のサイエンスを 駒場で研究体験する プログラム	内田 さやか	教養学部	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 本ゼミは、駒場キャンパスの後期課程「教養学部 統合自然科学科」に所属する研究室に直接来て、最先端のサイエンスを体験してもらうプログラムである。これまで、講義科目や分野ごとに学習した自然科学が、先端のサイエンスへどのように深化、融合、創成されるのかを、研究室での実習を通じて実感できる。つまり、最先端のサイエンスと基礎科目や総合科目との“架け橋”が本ゼミの特徴といえる。受講者は、配属先の研究室で、実験、データ解析、討論、文献調査、などを体験することで、研究活動の実践的な方法論を学ぶことができる。 1つの研究室が数名の学生を受け入れる。ゼミの進め方は、受け入れ教員との相談の上決定するが、研究室によって、曜日時限を指定する場合と、指定せずに集中で行う場合がある。成果報告会兼懇談会を定期試験終了後に開催し、教員、大学院生を交え、発表と討論を行う。 本ゼミのガイダンスは、9月27日（水）昼休み（12：15～12：30）に1号館121教室にて行う。その際に、各ゼミの内容や進め方について、資料を配布する。ガイダンス後に学生の希望を集計し、配属先を決定する。（ガイダンスに出席できない場合でも、下記のHPからガイダンス資料を参照し、資料に記載された手続きに則れば、本ゼミは受講可能である） 担当教員（予定、本ゼミに関する最新の情報とガイダンス資料は下記のHPに掲載） ・内田 さやか：X線回折による結晶構造解析の基礎を学ぶ ・加藤 雄介 他：物理学のテキストの輪読や演習問題を解くことを通じて、議論の楽しみ方を学ぶ ・酒井 邦嘉：ノーベル賞の対象となった脳科学の論文を読み、サイエンスの考え方を学ぶ ・角野 浩史：質量分析計を用いて火山ガス、温泉ガスなどのヘリウムや炭素の同位体比を測定し、その地球化学的意味を考察する ・寺尾 潤：分子建築学により超分子化合物を合成し、NMRによる構造解析を行う ・豊田 太郎：有機反応を駆使して生体分子を模倣した新奇有機分子を自在につくり、分子集団の性質を操る ・鳥井 寿夫：レーザー周波数安定化法を学び、レーザーで原子を冷却する ・平岡 秀一：有機化学、錯体化学に基づきナノ分子の合成および自己組織化に関する研究を行う ・福島 孝治：計算物理の方法を学び、プログラミングをして自然法則をシミュレートすることをたのしむ ・村田 滋：可視光領域に吸収をもつ光機能性分子を合成し、その光化学的特性を調べる ※本ゼミに関する最新の情報とガイダンス資料は、 教養学部 統合自然科学科のHP：http://www.integrated.c.u-tokyo.ac.jp/ および 世話人（内田さやか）のHP：http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/suchida/ に掲載する 評価方法 ゼミへの取り組みによる 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特定日を行う。2017年09月27日12:15-12:30に1号館121教室								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51316	A	学部学生のための研究 入門コース-UROP2 (Undergraduate Research Opportunity Program 2)	川越 至桜	生産技術研究所	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が進級要件（2014年度以前入学者）・前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。 駒場リサーチキャンパスにある生産技術研究所（生研）では、IT、ナノテクノロジー、バイオや環境の分野を始めとした、工学全般における様々な最先端の研究を行っている。このような先端研究について、従来の受動的な授業とは異なり、自分自身の手を動かしながら研究を進め、実験や実習を通して実践的に学んでいくのが、本ゼミナールの特徴である。 研究テーマに関しては、生研で行われている数々の研究から興味のあるテーマを選択する。授業の形態としては、選択したテーマを研究している研究室の一員として、設定した目的や計画のもと研究を進め、最後に研究成果の発表を行う。具体的な方法、内容や日時などの研究の進め方については、研究室の教員と相談しながら決めること。 このような実際の研究プロセスを体験することにより、研究のノウハウを学んでいく入門コースである。 授業内容や研究テーマの詳細については、ホームページ (http://www.oshimalab.iis.u-tokyo.ac.jp/UROP/) を参照のこと。 ※履修人数を20名に制限する。 ※開講場所：生産技術研究所 ※ガイダンスは、9月26日（火）および9月29日（金）の2日間、12時20分より教養学部1号館104教室にて行う。2回とも同一内容で実施。 評価方法 日頃の研究への取り組み、報告書、および研究発表により、成績を評価する。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特定日に行う。2017年09月26日、および9月29日12時20分より1号館104教室								
51317	A	「日本語を教える」とは	菊地 康人	日本語教育センター	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 「日本語を外国語として教えること」（日本語教育）に関心のある皆さんのためのゼミです。 国際化が進むこれからの時代、皆さんが、身の回りや将来の留学生活などで「日本語を教える」経験をする可能性は（プロの日本語教師にはならないまでも）十分あるでしょう。また、皆さん自身が語学を学ぶ上でも、母語である日本語を外国語として観察することは貴重な経験です。こうした趣旨から、また、何よりも皆さんに日本語教育の魅力とその思いがけない深さを知ってもらいたい、日本語そのものの魅力も改めて感じてもらえたらという趣旨で、このゼミを開講します。 最終的な目標は、皆さんが実際に東大の留学生に日本語を教える「日本語教師ミニ体験」をするところに置きます。「日本語を教える」という仕事は、学習者ができるだけ効率的に、かつ学習を楽しみながら着実に習得できるよう、よく考えて内容を設計する必要があります。そのためには、教授者は、1) 日本語そのものを（例えば受身を教えるなら、日本語の受身の仕組みを）十分分析するとともに、2) 「それを学習者にどう教えると（学習者がどう学ぶと）、よく理解でき、適切に使えるようになるか」を考え、3) その方法を編み出し、実際に教育する、というプロセスを踏むことになります。これは、日本語学・対照言語学・第二言語習得・学習心理学等、関連分野の成果を活かして組み立てる魅力的な教育活動で、当然、それを有効に進めるための研究も伴います。本当は、こうした勉強を重ね、十分トレーニングを受けた後でないと教壇に立てないのですが、このゼミは、皆さんに日本語教育を知ってもらうため、上の1) 2) 3) 全てを「ミニ体験」してもらおう珍しいコースです。 授業体験をする前の内容は、「日本語教育の一端に触れる／日本語の分析の一例／留学生に日本語学習について聞く／日本語教育の基礎知識／教授項目の分析／教案と教材の作成／教授技術トレーニング」等、さまざまな準備に充てます。この間、担当教員が、ワークショップ方式（一緒に考えたり作ったりする）・ゼミ形式・講義形式を併用して指導・助言を行い、日本語教育の基礎知識を実践的に提供します。これらを経て、実際に授業体験をし、授業を受けた留学生からコメントを得、実習報告会を行って締め括ります。 本センター（本郷キャンパス）は、日本語教育を専攻する教員たちが、世界各国から来た東大の留学生たちに初級から上級までの日本語教育を提供している場です。このゼミは、その教員たちが駒場生の皆さんのために開講するものですが、実際の教育現場の様子に接してもらうためセンターで開講します。場所は、龍岡門そば、本部棟の隣の第2本部棟5階です。 なお、このゼミは09年冬学期（現在のAセメスター）に初めて開講して以来、幸い好評を得て、以後、每期、内容を改善しながら連続的に実施しており（先々期のみ臨時開講）、今回は16期目です。これまで15期の受講者総数は約120名に達します。 評価方法 出席、授業参加度、作成する教案、期末レポート等を総合的に勘案します。なお、上記のように、最終的な目標である「留学生に日本語を教える授業」に向かって毎回順次積み上げていくコースなので、どの回も、欠席するとその後大きな支障を生じ、他の受講者にも迷惑がかかります。2回以上の欠席が初めから見込まれる場合は、受講を遠慮してください（2回以上欠席の場合、単位の認定はしません）。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。								

全学体験ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51290	A	考える力を養う／ コントラクトブリッジ	浅井 潔	理学部	火5	2	114教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 ===== 「コントラクト・ブリッジ」（以下「ブリッジ」と呼ぶ）は、トランプを使用して行う競技（ゲーム）であり、チェス、囲碁、将棋と共に「マインド・スポーツ」と呼ばれている。世界中に愛好者がおり、ブリッジの国際組織（WBF = World Bridge Federation）には100か国以上が加盟している。本ゼミナールでは、ブリッジのルールを学び、推定力、判断力、分析力、集中力を駆使して確率を見積って最適なプレイを選ぶ考え方を実践を通じて身に着ける。担当教員（浅井）は日本リーグでプレイした経験を持つ上級者である。本授業は公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟の協力を得る。 ※受講人数：40名に制限する。 評価方法 合格・不合格：宿題の成績、ゲーム達成度および授業への出席実績に基づいて行う。 教科書 Webページ及び無料学習用ソフトを使用 ガイダンス 特定日に行う。2017年09月21日5限114教室								
51313	A	生命科学の最前線	秋山 徹	分子細胞生物学 研究所	火5	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 ===== 分子細胞生物学研究所では、最先端の生命科学研究が日夜活発に展開されている。Aセメスターに行われる本ゼミナールでは、分子細胞生物学研究所の各研究室にて最先端の生命科学研究を体験学習する（UTASシラバスの履修上の注意参照）。 カバーする分野は、基礎から応用まで多岐にわたり、以下の内容を含む。 1) 細胞の増殖・分化・癌化、癌幹細胞の研究 2) 遺伝子発現制御と染色体の構築・分配の研究 3) 神経ネットワーク形成、記憶形成メカニズムの研究 4) 肝臓の発生・病態・再生、iPS細胞を用いた再生医学の研究 5) ゲノム情報学を駆使した染色体機能の研究 6) タンパク質の機能を制御する生理活性物質・治療薬の創成 7) ノンコーディングRNA・RNAサイレンシングの分子機構の研究 8) ゲノムの老化と再生 9) ストレス応答経路 10) 構造生物学による原子レベルの生命現象解析 11) 計算機シミュレーションによる生命分子動態の理解 12) 生殖細胞におけるクロマチンダイナミクス研究 評価方法 出席 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51348	A	Arduinoを使って応用システムを作ろうD	廣瀬 明	工学部	火6	2	K301	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 ===== ITの普及と発展により、我々の身の回りには新しい製品やサービスが登場し、時として生活スタイルを大きく変えたり、ビジネスの枠組み自体に大きな影響を与えたりすることがある。購買者や利用者として製品やサービスが提供するメリットを享受することはたやすいが、逆に購買者や利用者を興奮させたり、目を見開かせたりする製品やサービスを創造することは容易ではない。では、購買者や利用者を「これはすごい!」、「これは便利だ」、「これは心地よい」、「これは楽しい」と言わせるモノを創ってみようではないかというのがこのゼミの狙いである。 まずは、「作ってみた」というレベルから開始して、最終的には製品やサービスが果たす「社会的なゴール」を意識したレベルのモノづくりに取り組んで欲しいと考えている。従って、ゼミに参加するにあたっては何にチャレンジしたいのか、具体的な目標を持って臨んでもらいたい。個々のゼミ生の目標に基づき、専門家による指導を受けたり、製造現場を見学に出向いたりしたいと考えている。また、構築した応用システムは、完成後、想定される利用者に試用してもらい、利用者の評価を受ける予定である。さらに、本ゼミでは起業を支援した実績があり、起業にチャレンジしたい学生諸君の参加を大いに歓迎する。 ※受講人数：10名に制限する。 ※開講場所：駒場 21 KOMCEE West 3階K301号室 受講を希望する学生は、廣瀬（UTASシラバス参照）まで必ず事前にメールで申し込むこと。（希望者多数の場合には抽選とする） ※このゼミは9月25日（月）6限（18：45～）に743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 評価方法 ガイダンス、講義、実習、システム構築、プレゼンテーション、発表会への参加。 教科書 著者（訳者）：Missimo Banzi（船田 巧） 書名：Arduinoをはじめよう 出版社：オーム社（オライリー・ジャパン） ISBN：978-4-87311-537-5 ガイダンス 第一回授業日に行う。								
51333	A	創造力増強のための寺小屋講座（シーズン5）	生田 幸士	工学部	水5	2	531教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 ===== 記憶力と受験テクニック偏重の日本の受験勉強から脱却し、真の創造力、想像力、独創力、人間力を持ち世界に羽ばたける人間になるための第1歩の講座である。一方的な座学ではなく、「たまご落とし」コンテスト、「馬鹿ゼミ」など、知的で楽しい演習を中心としている。5年目となる本年は、さらにバージョンアップした東大初の試行を取り入れ、頭脳の再構築をめざす。指導者は工学部計数工学科と先端科学技術研究センターを兼務する生田幸士教授であるが、受講対象者は理系、文系を問わない。 基礎知識不要、やる気と元気が必須！ ※このゼミは9月25日（月）6限（18：45～）に743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 評価方法 レポート、プレゼン等の総合評価（ペーパーテストはしない） 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。								
51347	A	飛行ロボットを作って飛ばす	土屋 武司	工学部	水5	2	シラバス参照	1年 理科 2年 理科
目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 ===== 飛行ロボットとは無人航空機（ドローン）である。室内で飛行する大きさ数10cm～1m程度、重量数100gの飛行ロボットを自ら設計、製作し飛行させることを目標とする。小さくても飛行ロボットには航空工学の基礎が詰まっており、講義、実習を通じてこれを理解する。 ※このゼミは9月25日（月）6限（18：45～）に743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 評価方法 授業への参加、貢献度による。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51248	A 1	ピアサポート・支えあいの理論と実践を学ぶ - 相互扶助のキャンパスづくり	高野 明	学生相談ネットワーク本部	水5	1	K301	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 ===== ピアサポートとは、学生生活上で支援(援助)を必要としている学生に対し、仲間である学生同士で気軽に相談に応じ、手助けを行う活動です。本学では、学生のみなさんの支え合いと自主的成長を促進するために、学生ボランティアのピアサポーターを組織し、学生による学生を支えるピアサポート活動を全学的に展開しています。 この授業では、ピアサポートの理論と実践方法について体験的に学習し、相互扶助のキャンパスづくりに貢献できる知識とスキルを習得することを目標とします。授業は、ピアサポート活動に関わる教員による講義と実習、学生同士のディスカッションによって構成されます。受講者には、相互扶助のキャンパス作りに関する学習への積極的なコミットメントが求められます。 なお、この授業を受講することで、ピアサポーター認定のための予備研修を受けたことになります。 評価方法 毎回授業で行うレポート作成をもとに評価します 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。								
51326	A	ロボット競技を体験しようB	國吉 康夫	工学部	水6	2	1212教室	1年 文科 理科
目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 ===== ロボット競技とは、決められたルールに従ってオリジナルのロボットを製作して競わせるものである。ルールを徹底的に分析し、討論して最適戦略と最適マシン仕様を策定し、機械工学、電子工学、情報工学、人工知能を学び、身につけ、協力して最強のマシンを設計・製作・改良・検証する。勝つためには、訴求力あるプレゼン資料の作成や、力を発揮する組織運営、あらゆる事象を想定した危機管理など、文系的能力も不可欠である。 本ゼミでは、これらの総合的取り組みの様々な段階を実体験することで、一つの具体的目標に向けて、全員が徹底的に頭脳を振り絞り、創造力を発揮することで、総合的に人間力を高めることを狙う。 専門的な知識は前提としない。文理問わず興味を持った人に来てもらいたい。 本ゼミは1年S semesterのAから2年A semesterのDまでで構成されるが、途中からの参加も歓迎する。Aに参加した学生と、B～Dに途中から参加した学生には、基礎からの講義および実習を行い、基礎的な知識・技能の習得をまず達成する。その後、次semester以後の当ゼミに参加して発展的内容に取り組むことは歓迎するが、どうするかは全く本人の自由である。 発展的な内容を体験したい学生や、本格的なロボットの企画設計、製作等の活動を通した「ものづくり」を体験したい場合は、「NHK大学ロボコン」に参加するチーム「東京大学RoboTech」の活動への参加も歓迎する。 講義は平日5限後に駒場で行い、実習は集中講義形式をとり、本郷で行う（土曜、日曜に行う場合がある）。 ※履修人数を20名程度に制限する。 ※関連HP：http://www.isi.imi.iu-tokyo.ac.jp/~lectures/robot-semi.htm http://www.mech.t.u-tokyo.ac.jp/robotech/ 評価方法 講義及び実習への参加度合いにより、合格・不合格を判定する。 各学生の得意分野を積極的に評価する。たとえば、文系の学生で機械加工等が得意でなくとも、論理的分析やプレゼン資料作成で評価するなど、多様性を重んじる。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51327	A	ロボット競技を体験しようD	國吉 康夫	工学部	水6	2	1212教室	2年 文科 理科
目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 ===== ロボット競技とは、決められたルールに従ってオリジナルのロボットを製作して競わせるものである。ルールを徹底的に分析し、討論して最適戦略と最適マシン仕様を策定し、機械工学、電子工学、情報工学、人工知能を学び、身につけ、協力して最強のマシンを設計・製作・改良・検証する。勝つためには、訴求力あるプレゼン資料の作成や、力を発揮する組織運営、あらゆる事象を想定した危機管理など、文系能力も不可欠である。 本ゼミでは、これらの総合的取り組みの様々な段階を実体験することで、一つの具体的目標に向けて、全員が徹底的に頭脳を振り絞り、創造力を発揮することで、総合的に人間力を高めることを狙う。 専門的な知識は前提としない。文理問わず興味を持った人に来てもらいたい。 本ゼミは1年SセメスターのAから2年AセメスターのDまでで構成されるが、途中からの参加も歓迎する。Aに参加した学生と、B～Dに途中から参加した学生には、基礎からの講義および実習を行い、基礎的な知識・技能の習得をまず達成する。その後、次セメスター以後の当ゼミに参加して発展的内容に取り組むことは歓迎するが、どうするかは全く本人の自由である。 発展的な内容を体験したい学生や、本格的なロボットの企画設計、製作等の活動を通した「ものづくり」を体験したい場合は、「NHK大学ロボコン」に参加するチーム「東京大学RoboTech」の活動への参加も歓迎する。 講義は平日5限後に駒場で行い、実習は集中講義形式をとり、本郷で行う（土曜、日曜に行う場合がある）。 ※履修人数を20名程度に制限する。 ※関連HP：http://www.isi.imi.i.u-tokyo.ac.jp/lectures/robot-semi.htm http://www.mech.t.u-tokyo.ac.jp/robotech/ 評価方法 講義及び実習への参加度合いにより、合格・不合格を判定する。 各学生の得意分野を積極的に評価する。たとえば、文系の学生で機械加工等が得意でなくとも、論理的分析やプレゼン資料作成で評価するなど、多様性を重んじる。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。								
51281	A	将棋で磨く知性と感性	金子 知適 森畑 明昌 堀口 弘治 勝又 清和	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	木5	2	K501	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 ===== 将棋は千年に亘る歴史を持つ日本の伝統文化である。このセミナーでは日本将棋連盟の全面的協力を得て、講義と対局の両面から将棋文化を学ぶ。 第1回にガイダンスを行う。履修希望者が多い場合は、第1回目のガイダンスの際に書いて提出してもらう作文によって、未経験者を優先して履修者を決定する。ガイダンスの会場は授業の部屋とは異なる。 ※受講人数：40名に制限する。 ※ガイダンス：初回授業日5限にK011教室で行う。 4名の担当教員のうち、代表教員は金子 評価方法 出席や簡単なレポートで評価する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。2017年9月28日5限K011教室								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51353	A	秋の奥秩父を巡る	山田 利博	農学部	木5	2	120教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科

目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

森林は多様な生物の生息場所であるとともに、人にとっても木材や水などさまざまな恩恵をもたらす存在です。日本の国土の約7割は森林に覆われていますので、森林を知ることが、自然の成り立ちや人と自然のかかわりを知ることそのものであるといえます。しかし、現代の日常生活では、森林の生命の営みや森林の恩恵を経験的に知る機会は決して多くありません。秩父演習林の位置する奥秩父山地は、関東甲信越地方の水源地であり、深い森林と切り立った渓谷が原生的な自然を形作っています。東京近郊で人間の影響の少ない自然に触れることができる数少ない地域です。また、秩父地方はかつての交通の要衝として縄文時代に遡る歴史をもち、日本武尊の伝承やオオカミ信仰など、山岳信仰の痕跡が多く残されており、札所34ヶ所や秩父銘仙をはじめ、自然と伝統文化の関係が深い地域です。

本ゼミでは、秩父地方の自然史や生業・歴史に関する事前講義を踏まえて、奥秩父山地の森林や秩父市近郊の社寺の見学を行います。自然については、樹木の更新、動植物の分布、シカによる植生衰退、山地森林のもつ水源涵養機能など、森林生態系の成り立ちを学ぶとともに、放棄された人工林など、森林利用や管理の変遷についても学びます。伝統文化については、札所の信仰巡礼の歴史、秩父夜祭の屋台行事と神楽、秩父三社の成り立ちなどを通じて、人と森林のかかわりを学びます。最終的に、自らの体験をもとに、森林の成り立ち・人と森林のかかわりについて考えていただくことを目標とします。本ゼミを通じて、奥秩父の自然や伝統文化を味わうとともに、経験的に自然を知るという自然科学の基本的なアプローチを学んでいただくことを期待しています。

※受講人数を10名以下に制限します。

※受講希望者はガイダンスに参加して下さい。

※担当教員：山田利博・平尾聡秀・浅野友子・鈴木智之

※このゼミは9月25日（月）6限（18：45～）に1313教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。

評価方法 出席と発表・レポートで評価します。

教科書 教科書は使用しない。

ガイダンス 第一回授業日に行う。2017年09月28日5限120教室

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60226	A 2	森のエネルギーを使いこなす	安村 直樹	農学部	金2	1	E39教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 ----- 本講義は森のエネルギーを体感すること、森林管理の観点からその流通・利用（森からエネルギーを取り出して家庭等で使うまで）における問題点について学ぶことの二点を目的とする。 わが国の森には莫大な利用可能エネルギーが眠っている。しかもそのエネルギーは森林の成長に伴って毎年増え続けている。我々は森のエネルギーを薪（まき）や炭、ペレットの形で取り出して採暖や炊事などに利用することが出来る。 木材の用途は大きく分けて住宅用材などの用材と炭や薪などの燃料材に二分できる。一般に先進国では木材消費量が占める燃料材の割合は低いが、欧米の水準（10～16％）とわが国（5.3％）には大きな隔りがある。森林資源の豊富なわが国には燃料材、すなわち森のエネルギー利用の増大する余地がある。 森のエネルギー利用の増大によって、現在手入れが不足しているとされる里山や人工林の回復も期待される。現時点での、田無および富士地域での森のエネルギー利用がどのように森林管理に関わっているのか、自身の目で確認してもらいたい。 講義の目的を達するため本講義では伐倒および植樹、薪割りや炭焼き、薪や炭を用いた炊事・ストーブ・暖炉を体験する。普段の電気や石油・ガスそしてエアコンを用いた食事・ストーブ・空調との違いを、五感を働かせて体感する。自らの体を動かして何かを体感したい学生の参加を歓迎する。体験に際して、炭焼きの歩留まりや炊事の薪炭消費量、伐採による光環境の変化などの定量的なデータを出来る限り取得する。これらに加え実際に森のエネルギーを日常的に利用する世帯・施設への聞き取り調査などを通じて、森林管理の観点から森のエネルギーの流通・利用における問題点について学び、考察する。 講義は初回ガイダンスを含む通常講義3回(2017/12/1、12/8、12/15@教養学部キャンパス)と集中講義2回(2018/1/27土曜日@田無演習林、1/28日曜日-30火曜日@富士癒しの森研究所)から構成される。薪割りなどの作業の安全を確保する関係上、履修人数を18名に制限する。田無演習林および富士癒しの森研究所における集中講義は参加必須である。宿泊費9000円は事前の講義で集金する。宿泊費の他に往復交通費（田無およそ800円、富士およそ4000円）が必要となる。 分担教員：齋藤暖生、當山啓介、山田晋、小山明日香 ※このゼミは9月25日（月）6限（18：45～）に1313教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。 評価方法 出席とレポート 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。2017年12月01日								
51307	A	電磁気学で使う数学	清野 和彦 高山 茂晴	数理科学研究所	金2	2	512教室	1年 文科 理科
目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 ----- 理系の1年生がAセメスターで学ぶ電磁気学では、物理的な量の関係がベクトル場や微分形式と呼ばれるものの微積分によって表されます。ところが、ベクトル場や微分形式の微積分を数学の授業で学ぶのは2年生のSセメスターであり、さらに、その前提となる多変数関数の積分を学ぶのは1年生Aセメスターの微分積分学の中盤になるのが普通です。そこで、このゼミナールでは多変数関数の積分とベクトル場や微分形式の微積分について学びます。内容がかなり多いので、数学として何を言っているのかを説明するのが主で、証明はほとんどしない予定です。必要なことは電磁気学の講義でも説明されますし、少し待てば数学の講義でも学ぶ内容ですので、数学が気になって電磁気学の本当の内容に集中できない人や、数学が苦手で見えたこともない数学の記号がでてきただけでめまいがして電磁気学どころではなくなってしまう、というような人を念頭において話を進める予定です。 なお、電磁気学の物理学としての内容には一切触れません。電磁気学そのものの理解を深めようというものでないことにくれぐれも注意してください。また、このゼミで扱う数学はすべて電磁気学で使われますが、電磁気学の講義で使われるかどうかはそれぞれの電磁気学の授業の担当教員の考え如何です。その点も心に留めておいて下さい。 評価方法 毎回の小テストと、それを補充するレポートによる。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51292	A	日本再生に向けた戦略と政策が果たす役割～政策の最前線を現役官僚が語る～	坂田 一郎 芳川 恒志	公共政策大学院	金4	2	511教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 私たちは、他国と比較すれば「豊かで安心できる」社会に生きてきましたが、超少子高齢化、財政赤字、エネルギー問題、世界の不安定化等、日本を取り巻く環境はめまぐるしく変化しています。このような環境下では、これまで享受してきた「豊かさ」や「安心」は、もはや自明なものではありません。「豊かさ」や「安心」を持続可能なものとするためには、社会と経済の「仕組み」を不断に見直し、世界の目まぐるしい変化の最先端に適応し続けることが求められます。 本講義では、このような激動する社会において、政策立案の最前線で日々奮闘している経済産業省・財務省・金融庁の現役官僚をゲストスピーカーとして招きます。それぞれが担当する政策分野について、①激動する国際社会の動向、②その変化が私たちの社会・経済に与える影響やその変化の意義、③日本経済の再生に向けた戦略、④政策が果たす役割を語るとともに、学生の皆さんとディスカッションしていただきます。産業政策、財政政策、金融政策、通商政策、資源エネルギー政策、環境政策など、私たちの社会・経済のあり方に深く関わる政策をテーマとしてとりあげる予定です。 本講義を通じ、以下の3点を身につけていただくことができると考えています。 1) メディアでは時として報道されない、世界規模の構造変化の真の姿 2) 学際的な視点から、社会・経済の諸問題を分析すること 3) 日本経済の再生戦略と、それを実現するために政策が果たす役割 文系・理系を問わず、次代の日本を担う学生の皆さんの幅広い参加を期待しています。 評価方法 出席点及びレポートにより評価。レポートは、各回の終わりにゲストスピーカーが出題する課題について、2テーマ程度選択し、それぞれ数枚（A4・3ページ程度）にまとめたものを、所定の時期（各回の講義の中でお知らせします。）までに提出して下さい。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。								
51280	A	囲碁で養う考える力	森畑 明昌 金子 知通 石倉 昇 吉原 由香里 黒瀧 正憲	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	金5	2	K501	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 囲碁は、古い歴史を持つ日本の伝統文化であるばかりでなく、国際的にも広く普及し親しまれている頭脳のスポーツである。本ゼミナールでは、囲碁のルールを学び、お互いの実戦を通じて、判断力、分析力、洞察力、集中力などを養う。指導に際しては日本棋院の全面的な協力を得る。囲碁は初めての人を対象として、基本のルールから教える。 第1回にガイダンスを行い、希望者が多い場合は、第1回目のガイダンスの際に書いてもらう作文によって、履修者を（未経験者の中から）決定する。 ※受講人数：40名に制限する。 ※5名の担当教員のうち、代表教員は森畑 評価方法 講義への参加状況をもとに可否を判定する。 教科書 著者（訳者）：石倉昇・梅沢由香里・黒瀧正憲・兵頭俊夫 書名：東大教養囲碁講座ーゼロからわかりやすく 出版社：光文社（新書） ISBN：978-4334034108 ガイダンス 特定日に行う。2017年09月29日5限K011								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51306	A	じっくり学ぶ数学Ⅱ	牛腸 徹 高山 茂晴	数理科学研究所	金5	2	シラバス 参照	1年 文科 理科
目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 ===== 数学を学ぶ上で微分積分学と線型代数学は最も基本的なものです。そこで、Sセメスターの「じっくり学ぶ数学Ⅰ」に引き続き、論理的な順番には余りこだわらずに、微分積分学や線型代数学における基本的な考え方を順番に取り上げて、何をどう考えているのかとか、何がアイデアなのかということになるべくはっきりした形で説明してみようと思います。それにより、正規の数学の講義と合わせて、皆さんにより良く微分積分学や線型代数学を身につけていただく助けになればと考えています。 一応、ゼミは講義形式で行おうと考えていますが、時間に余裕のある方には演習問題を解いて頂く時間を取りたいと思っています。また、文系の方でも十分理解していただけるのではないかと思いますので、文系、理系を問わず、興味のある方でしたらどなたでも歓迎します。 ※開講場所：数理科学研究科棟117号室 ※授業登録はできませんが、もう一度、数学をじっくり学び直したいと思われる2年生の参加も歓迎します。 評価方法 問題を解いたノート提出 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。								
60217	A 2	身近な環境化学実習 —駒場の水を科学する—	鹿島 勲 堀 まゆみ	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	集中	1	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 ===== 「水」と聞いてどのようなイメージを持つだろうか。水道水は採水場所・日時によって違いがあるのか、水道水とペットボトルの水はどう違うのか、ミネラルウォーターといってもいろいろな種類があるがいったいどのような違いがあるのか、といった様々な水に関する疑問を、実習を通して多角的な視点で解決していくことが本実習の目標である。 本実習では、身近な水、例えば、駒場キャンパス内の水道水や市販されているペットボトルウォーターについて、化学分析（試料採取、前処理操作、測定）を実際に体験し、試料を構成している化学成分が何であるか、及びそれらの成分の濃度はどれくらいであるかといった情報を取得し、得られた結果から身近に接している水の状態を環境化学的に解釈し考察する。実習最終日は発表資料作成を行い、ショートプレゼンテーションを実施する。 特に本実習では、化学分析を体験し、環境分析化学の面白さに触れてもらうことを重要視している。 【実施日】 集中講義として、下記の日時に行う。 (実験の進行状況により、終了時刻は前後する場合がある。) 2018年1月31日（水）10:30～18:00 2018年2月1日（木）10:30～18:00 2018年2月2日（金）10:30～18:00 【関連ホームページ】 http://www.adves.c.u-tokyo.ac.jp/practical/ 【問い合わせ先】 UTASシラバスを参照 本実習の履修には、専門的知識・事前学習を必要としない。文科・理科を問わず興味がある学生を歓迎する。 評価方法 出席、実習取り組み姿勢、ショートプレゼンテーション 成績評価方法の詳細に関しては、ガイダンスおよび実習1日目に説明する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特定日に行う。2017年09月29日 お昼休み12時25分から121教室								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51335	A	熱に応答する不思議な高分子をつくってみよう！	伊藤 喜光	工学部	集中	2	シラバス参照	1年 理科
51336		有機半導体デバイスの作製と評価						
51337		再生可能炭素資源から役に立つものをつくろう						
51338		デジタルバイオアッセイ						
51339		コンピュータで蛋白質分子のしくみを調べよう						

目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

本ゼミナールは工学部の化学・生命系三学科(応用化学、化学システム工学、化学生命工学)の研究室の協力により実施する全学体験ゼミナールの一つです。各研究室において最先端の研究を体験し、化学・生命系分野に関する理解を深めてもらうことを目的としています。本ゼミを含む下記の9種のゼミは、合同でガイダンス、最終プレゼンテーションを行います。

51335 熱に応答する不思議な高分子をつくってみよう！
51336 有機半導体デバイスの作製と評価
51337 再生可能炭素資源から役に立つものをつくろう
51338 デジタルバイオアッセイ
51339 コンピューターで蛋白質分子のしくみを調べよう
51340 革新的自動車触媒技術
51341 光のエネルギーで水を水素と酸素に分解しよう
51342 Pythonを使ってデータ駆動型ケミストリーを体験しよう
51343 電子書籍と紙の本：どちらが環境に良いかを考えよう

原則教養学部の講義と重ならない日程、時間帯に各研究室に数人のグループで参加し、研究室の教員や大学院生の指導のもとに、ショートコースの研究プログラムにしたがって実験・研究を行います。実際にゼミを行う日程、時間帯は受講決定後、受講生と受け入れ研究室との相談により決定します(3~4日間)。1月27日(土)に、成果発表会を本郷地区にて共同で開催し、他のグループの成果についても聞き、討論を行います。研究現場、プレゼンテーション資料の作成、討論などを体験できる貴重な機会ですので、多くの方の参加をお待ちしております。なお、本ゼミは入門編ですので、高度な専門知識は必要ありません。対象クラスは1年 理科です。本講義を受講するためには、履修科目登録のみではなく、別途申込が必要です。ガイダンスにて申込方法をアナウンスするので、必ずそれに従い申し込んで下さい。

※開講日・具体的内容は、UTASシラバス授業計画欄参照。
※1月27日(土)に本郷・工学部5号館において、上記の9種のゼミ合同でプレゼンテーションを行います。
※このゼミは9月25日(月)6限(18:45~)に743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
※上記工学部合同ガイダンスとは別に、化学生命系の合同ガイダンスを10月2日(月)5、6限(16:50~、18:45~)に104教室で行います。(5限と6限は同じ内容です)

評価方法 出席および成果発表による総合的評価
実験への参加により評価する。期末に合同発表会を開催する。発表会への参加は必須ではないが、強く推奨する。
教科書 教科書は使用しない。
ガイダンス 特定日に行う。2017年10月02日5限104教室(同日6限にも同じ内容で開催)

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51345	A	鉱物資源はどこでできるのか?—フィールド調査と鉱物採集の旅—	加藤 泰浩	工学部	集中	1	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 ===== 私達の文明の発展は、様々な鉱物資源によって支えられています。また、ある種の鉱物は宝石と呼ばれ、その美しさで私達の心を満たしてくれます。このような「鉱物資源」は、どこで、そしてどのようにして出来るのでしょうか? 東京周辺でも、1970年代までは様々な鉱山が稼行し、鉱物資源が採掘されていました。また実は、美しい鉱物が採れる場所というのも、東京近郊に多数存在しています。そこでこの授業では、東京周辺で野外巡検（日帰り）を行い、こうした鉱物資源を実際に採取・観察してもらいます。そして、それを通じて鉱物の魅力に触れてもらうとともに、私達の生活を支える鉱物資源への理解を深めてもらうことを目標とします。 ※このゼミは9月25日（月）6限（18：45～）に743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 評価方法 野外巡検終了後にレポートを作成してもらい、その内容により成績評価を行います。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。								
51334	A	ナノ・バイオテクノロジー：最先端ラボへようこそ	宮田 完二郎	工学部	集中	1	シラバス参照	1年 理科 2年 理科
目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 ===== 最先端の科学技術では、ナノスケールでの物質の構造や特性の制御が欠かせません。これをどうやって実現しているのか、学んでみませんか？ ・ナノスケールのとても小さな世界で起こる出来事をどうやって知ることができるのでしょうか？ ・ナノスケールの材料を操作して組み立てるにはどうすればいいのでしょうか？ まさに今、最先端の微細加工や分子レベルでの物質の操作を用いながら、バイオテクノロジーが目覚ましく発展しています。それだけでありません。巨大な構造物の強度を高めたいとき、物質が放つ光を制御して利用したいとき、その決め手となっているのは、ナノテクノロジーなのです。 本体験ゼミナールでは、ナノとバイオに関する2つの最先端技術に関するテーマを体験し、そのエッセンスを学びます。 ※このゼミは9月25日（月）6限（18：45～）に743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 評価方法 実験や講義への参加による評価 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特定日に行う。2017年09月26日6限105教室で行う個別ガイダンスほか、9月25日の工学部合同ガイダンス								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51324	A	i.school KOMABA II: イノベーション・ワークショップへの招待	小松崎 俊作	工学部	集中	2	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 ===== 世界的に漂う閉塞感を打ち破るのは、新しい価値を生み出すイノベーションしかありません。世界の人々が賞賛する、日本らしい優れたモノやサービスを次々に生み出してゆくことが日本の生き残る道ではないでしょうか。そのためにはイノベーションを生み出すことのできる人材を育てることが重要です。 スタンフォード大学のd.schoolを始めとして、世界中でイノベーション教育が始まっています。東京大学でも2009年にi.schoolがスタートしました。新しい製品、サービス、ビジネスモデル、社会システムを生み出す力を身に付けるためのワークショップを開催しています。対象は大学院生中心で、全ての分野から応募することができます。 この全学体験ゼミナールは、駒場生の皆さんにもi.schoolのワークショップを体験してもらうことを目的としています。イノベーションを生み出す楽しさを、一刻も早く皆さんに知ってもらいたいと考えています。 なお、Sセメスターに実施したi.school KOMABA Iとは一部もしくは全部の内容が異なります。 ※このゼミは9月25日（月）6限（18：45～）に743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 評価方法 グループワークでの発言・貢献、プレゼンテーションにより評価します。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。								
51328	A	全日本学生フォーミュラ大会に向けたフォーミュラレーシングカーを作るプロジェクトB	草加 浩平 中尾 政之	工学部	集中	2	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 ===== 【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が進級要件（2014年度以前入学者）・前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。 本ゼミでは9月に開催が予定されている「全日本学生フォーミュラ大会」出場車両の企画から設計、製作、試験、改良の一連のプロジェクトを体験する。フォーミュラレーシングカーを題材とした「ものづくり」の一連の流れを体験し、「ものづくり」の楽しさ、面白さ、難しさを感じ取ると共に、その中で自分のやりたいこと、進むべき道を発見することを目標とする。 車産業が総合産業であると同様、本プロジェクトに要求される内容も単に工学的知識だけでなく、企業との交渉、広報活動、ドライビングなど多岐にわたる。本ゼミ参加メンバー各自がそれぞれに自分の得意とするあるいは好きな分野の仕事を見つけ、進めることで、本プロジェクトはうまく進む。よって本ゼミでは工学部進学希望者に限らず、文科系、理科系すべての学生を対象とする。 ※このゼミは9月25日（月）6限（18：45～）に743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 評価方法 必修項目への出席及びプロジェクトへの参加度合いにより、合格・不合格を判定する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特定日に行う。2017年09月27日5限駒場1号館115教室								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51329	A	全日本学生フォーミュラ大会に向けたフォーミュラレーシングカーを作るプロジェクトD	草加 浩平 中尾 政之	工学部	集中	2	シラバス参照	2年 文科 理科
目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 ----- 【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が進級要件（2014年度以前入学者）・前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。 本ゼミでは9月に開催が予定されている「全日本学生フォーミュラ大会」出場車両の企画から設計、製作、試験、改良の一連のプロジェクトを体験する。フォーミュラレーシングカーを題材とした「ものづくり」の一連の流れを体験し、「ものづくり」の楽しさ、面白さ、難しさを感じ取ると共に、その中で自分のやりたいこと、進むべき道を発見することを目標とする。 車産業が総合産業であると同様、本プロジェクトに要求される内容も単に工学的知識だけでなく、企業との交渉、広報活動、ドライビングなど多岐にわたる。本ゼミ参加メンバー各自がそれぞれに自分の得意とするあるいは好きな分野の仕事を見つけ、進めることで、本プロジェクトはうまく進む。よって本ゼミでは工学部進学希望者に限らず、文科系、理科系すべての学生を対象とする。 ※このゼミは9月25日（月）6限（18：45～）に743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 評価方法 必修項目への出席及びプロジェクトへの参加度合いにより、合格・不合格を判定する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特定日に行く。2017年09月27日5限駒場1号館115教室								
51287	A	目に見えない素粒子や原子核を見てやろう	下浦 享 山口 英斉	理学部	集中	1	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 ----- 【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が進級要件（2014年度以前入学者）・前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。 サブアトムック粒子、即ち原子以下の大きさを持つ微細粒子を測ることは、原子核・素粒子・宇宙物理学の実験的研究において最も基本的な手法であり、検出器はサブアトムックな世界を研究する上での目や耳とも謂うべきものである。授業では、目に見えないサブアトムック粒子測定の基本原則を理解することを目標とする。そのため、授業は以下のような構成を取る。 （１）講義により、粒子検出器についての基礎的な検出原理を理解する。（２）実際に、幾つかの検出器を構築する。（３）構築した検出器を用いてサブアトムック粒子を測定する。（４）測定結果を評価考察する。 ※実習指導の都合から、履修人数は20名以下が望ましい。 ※期間中は和光市の理化学研究所内の宿泊施設に宿泊することを前提とする。 評価方法 実習へと取り組み姿勢と達成度、及び発表会での発表内容に基づいて評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特定日に行く。2017年10月05日5限101教室								
60225	A 2	雪の森林に学ぶ～北海道演習林	鎌田 直人	農学部	集中	2	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 ----- 【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が進級要件・前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。第1回講義およびガイダンスに出席していない学生の受講は認めない。 北方針広混交林帯に位置する北海道演習林では、森林環境の保全と持続的な木材生産との調和を目指した研究を一貫して行っている。本ゼミナールでは、雪に覆われた北海道の冬の森林をスノーシューを履いて探索し、冬季の樹木、植物、動物などの姿を通じて森林生態系の総合的な理解を深める。また、北海道演習林で行っている天然林施業の実践を学ぶことにより、森林資源の保全と活用の方法について考究する。 ※このゼミは9月25日（月）6限（18：45～）に1313教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。 評価方法 インターネット経由でビデオ配信する第2回講義の課題、および、現地講義・実習におけるレポートによる合否判定 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特定日に行く。2017年11月20日6限1101教室								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51356	A 1	企画系 さらに伊豆に学ぶA1 人と人をつなぐ	鴨田 重裕	農学部	集中	1	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 ===== 【注意】 web版シラバスにより詳細な情報があります。受講希望者はそちらを熟読ください。 本講は「伊豆に学ぶ」に参加した学生同士のつながりを深化させることを目標とする実験的な体験ゼミである。全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラス」と同じく伊豆ゼミの自主研修の雰囲気を大切に考えて、それを駒場キャンパスに持ち込むことを目指したい。 「企画系」と冠したこの講義では、学んだことをどう実践し、活かしていくのか、そのことを最重視する。感じる力、考える力、行動する力。東大生に足りないものは何であろう。立ち止まって、ゆっくりじっくり自分流に自分の人生を振り返ってみて欲しい。多くの東大生が回り道をしたがらず、最短を突き進むべきと考えるようにみえるが、果たしてそれで良いのだろうか。 ※受講人数：特に設定しない ※講義の目標：伊豆ゼミの自主研修の雰囲気を駒場キャンパスに持ち込むこと ※開講場所：駒場・南伊豆（オプション） ※駒場での講義：月曜6限。ただし受講生の都合に柔軟に対応する。企画進捗に合わせて3、4回とゼミ既修者を集めて駒場で自主研修を実施する。 ※伊豆での集中講義（希望者のみ）：イノシシソーセージを作る。 ※駒場での集中講義：駒場祭「伊豆の燻製屋」にて伊豆の獣害問題を説明するフライヤー配布、イノシシソーセージを燻製して販売 ※このゼミは9月25日（月）6限（18：45～）に1313教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。 評価方法 授業中の取り組み姿勢、企画立案および企画実行の取り組み姿勢、責任ある行動を重視する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特定日に行う。2017年10月02日6限1102教室。（10月5,10日にも1102教室でガイダンスを実施する。）								
60228	A 2	企画系 さらに伊豆に学ぶA2 人と人をつなぐ	鴨田 重裕	農学部	集中	1	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 ===== 【注意】 web版シラバスにより詳細な情報があります。受講希望者はそちらを熟読ください。 本講は「伊豆に学ぶ」に参加した学生同士のつながりを深化させることを目標とする実験的な体験ゼミである。全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラス」と同じく伊豆ゼミの自主研修の雰囲気を大切に考えて、それを駒場キャンパスに持ち込むことを目指したい。 「企画系」と冠したこの講義では、学んだことをどう実践し、活かしていくのか、そのことを最重視する。感じる力、考える力、行動する力。東大生に足りないものは何であろう。立ち止まって、ゆっくりじっくり自分流に自分の人生を振り返ってみて欲しい。多くの東大生が回り道をしたがらず、最短を突き進むべきと考えるようにみえるが、果たしてそれで良いのだろうか。 ※受講人数：特に設定しない ※講義の目標：伊豆ゼミの自主研修の雰囲気を駒場キャンパスに持ち込むこと ※開講場所：駒場・南伊豆（オプション） ※駒場での講義：月曜6限。ただし受講生の都合に柔軟に対応する。企画進捗に合わせて3、4回とゼミ既修者を集めて駒場で自主研修を実施する。 ※伊豆での集中講義（希望者のみ）：イノシシソーセージを作る。 ※駒場での集中講義：駒場祭「伊豆の燻製屋」にて伊豆の獣害問題を説明するフライヤー配布、イノシシソーセージを燻製して販売 ※このゼミは9月25日（月）6限（18：45～）に1313教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。 評価方法 授業中の取り組み姿勢、企画立案および企画実行の取り組み姿勢、責任ある行動を重視する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特定日に行う。2017年11月30日6限1102教室。（10月2,5,10日にも1102教室でガイダンスを実施する。）								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60229	A 2	伊豆に学ぶ1 竹炭焼き、山、桜、菜 の花、温泉など自然と 人の繋がりをまなぶ	鴨田 重裕	農学部	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科

目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意1】 この授業は、開講日程の都合上成績が進級要件(2014年度以前入学者)・前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

【注意2】 本ゼミは楽しめるゼミであるが、「楽単」ではありません。

【注意3】 web版シラバスに申込方法などの重要な伝達事項をまとめてあります。必ず良くお読みください。

樹芸研究所と下賀茂寮のある伊豆半島南部は、シイ・カシの常緑広葉樹が優占する森林が多いが、かつて植えられ利用された竹林が放置され大きな問題となっている。自然を乱開発して破壊するという問題ではなく、長い年月行ってきた干渉の手を引いて放ったらかすという特徴がある。意識してみるとそういう現象は他にもたくさんあることに気付くだろう。このゼミナールではその問題の竹林の有効利用の一つとして竹炭生産をとりあげ、竹の伐採、窯詰め、炭焼きの作業を行いながら、これらの問題の本質が何なのかを一緒に考えてみたい。簡単に「考えてみたい」と書いたが、考える前にまず感じられる「感性」を磨いてやる必要があるかも知れない。竹炭焼きの待ち時間には、樹芸研究所の森林も見てもらおう。近年大きな問題となっている獣害の現場をよく観察した後に、原因獣の対処法について検討を行う。一例として、原因獣を野菜などと一緒に竹炭で炙る処分法（バーベキュー）の実施を計画している。（本ゼミとは別のプログラムになるが、イノシシを解体するところから始めてソーセージに加工するまでの全工程を体験する活動を、本ゼミ周辺の活動として実施している。全学体験ゼミナールよりディープな体験活動に発展的に参加されるもまたヨシ。）

伊豆はまた温泉の地であるので温泉と景観に関する特別講義を行う予定である。温泉と言え湯に浸かることしか思わないだろうが、おもしろい見方があることに驚くことでしょう。もちろん講義で温泉知識を涵養した後は、源泉100%の天然温泉を堪能していただく。ちょうど見頃を迎える桜と菜の花畑を観察し、人の暮らしと景観についても思索を巡らせてみたい。本体験ゼミナールが目指すものは、かつては当たり前だった人間の生活の原点を見直すことにある。現代社会では見えにくくなっている様々な「つながり」が見えるきっかけを与えてくれることであろう。堅苦しく考えなくてもよいが、まじめにゼミに取り組んでもらいたい。

竹炭焼きというちょっと非日常的な体験を通して、ふだんあまり意識しないで通り過ぎてしまうことがいかに多いかを意識しながら、ゼミで用意したアクティビティを通して様々なことを体験しつつ、楽しく学んでいただきたい。

受講生にとって有意義なゼミに仕上がることを一番大切にします。

ゼミ後は、ゼミをじっくり振り返りつつ次のゼミの運営に参画する「伊豆に学ぶプラス」や学園祭企画に取り組む「企画系さらに伊豆に学ぶ」につなげてもらいたい。

楽単ではない、楽しい伊豆ゼミをぜひご堪能いただきたい。

※このゼミは9月25日（月）6限に1313教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。

評価方法 駒場での事前講義と現地講義での取り組み姿勢とレポートで可否を判定する。

講義の無断欠席やレポートの不提出は不合格とするので、ご注意ください。

教科書 教科書は使用しない。

ガイダンス 特定日に行う。2017年10月02日6限1102教室（10/5、10/10、11/30にも1102教室でガイダンスを実施する。）

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60230	A 2	伊豆に学ぶ2 竹炭焼き、山、桜、菜 の花、温泉など自然と 人の繋がりをまなぶ	鴨田 重裕	農学部	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科

目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意1】 この授業は、開講日程の都合上成績が進級要件(2014年度以前入学者)・前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

【注意2】 本ゼミは楽しめるゼミであるが、「楽単」ではありません。

【注意3】 web版シラバスに申込方法などの重要な伝達事項をまとめてあります。必ず良くお読みください。

樹芸研究所と下賀茂寮のある伊豆半島南部は、シイ・カシの常緑広葉樹が優占する森林が多いが、かつて植えられ利用された竹林が放置され大きな問題となっている。自然を乱開発して破壊するという問題ではなく、長い年月行ってきた干渉の手を引いて放ったらかすという特徴がある。意識してみるとそういう現象は他にもたくさんあることに気付くだろう。このゼミナールではその問題の竹林の有効利用の一つとして竹炭生産をとりあげ、竹の伐採、窯詰め、炭焼きの作業を行いながら、これらの問題の本質が何なのかを一緒に考えてみたい。簡単に「考えてみたい」と書いたが、考える前にまず感じられる「感性」を磨いてやる必要があるかも知れない。竹炭焼きの待ち時間には、樹芸研究所の森林も見てもらおう。近年大きな問題となっている獣害の現場をよく観察した後に、原因獣の対処法について検討を行う。一例として、原因獣を野菜などと一緒に竹炭で炙る処分法（バーベキュー）の実施を計画している。（本ゼミとは別のプログラムになるが、イノシシを解体するところから始めてソーセージに加工するまでの全工程を体験する活動を、本ゼミ周辺の活動として実施している。全学体験ゼミナールよりディープな体験活動に発展的に参加されるもまたよし。）

伊豆はまた温泉の地であるので温泉と景観に関する特別講義を行う予定である。温泉と言えば湯に浸かることしか思わないだろうが、おもしろい見方があることに驚くことでしょう。もちろん講義で温泉知識を涵養した後は、源泉100%の天然温泉を堪能していただく。ちょうど見頃を迎える桜と菜の花畑を観察し、人の暮らしと景観についても思索を巡らせてみたい。本体験ゼミナールが目指すものは、かつては当たり前だった人間の生活の原点を見直すことにある。現代社会では見えにくくなっている様々な「つながり」が見えるきっかけを与えてくれることであろう。堅苦しく考えなくてもよいが、まじめにゼミに取り組んでもらいたい。

竹炭焼きというちょっと非日常的な体験を通して、ふだんあまり意識しないで通り過ぎてしまうことがいかに多いかを意識しながら、ゼミで用意したアクティビティを通して様々なことを体験しつつ、楽しく学んでいただきたい。

受講生にとって有意義なゼミに仕上がることを一番大切にします。

ゼミ後は、ゼミをじっくり振り返りつつ次のゼミの運営に参画する「伊豆に学ぶプラス」や学園祭企画に取り組む「企画系さらに伊豆に学ぶ」につなげてもらいたい。

楽単ではない、楽しい伊豆ゼミをぜひご堪能いただきたい。

※このゼミは9月25日（月）6限に1313教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。

評価方法 駒場での事前講義と現地講義での取り組み姿勢とレポートで合否を判定する。

講義の無断欠席やレポートの不提出は不合格とするので、ご注意ください。

教科書 教科書は使用しない。

ガイダンス 特定日に行う。2017年10月05日6限1102教室（10/2、10/5、11/30にも1102教室でガイダンスを実施する。）

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60231	A 2	伊豆に学ぶ3 竹炭焼き、山、桜、菜 の花、温泉など自然と 人の繋がりをまなぶ	鴨田 重裕	農学部	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科

目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意1】 この授業は、開講日程の都合上成績が進級要件(2014年度以前入学者)・前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

【注意2】 本ゼミは楽しめるゼミであるが、「楽単」ではありません。

【注意3】 web版シラバスに申込方法などの重要な伝達事項をまとめてあります。必ず良くお読みください。

樹芸研究所と下賀茂寮のある伊豆半島南部は、シイ・カシの常緑広葉樹が優占する森林が多いが、かつて植えられ利用された竹林が放置され大きな問題となっている。自然を乱開発して破壊するという問題ではなく、長い年月行ってきた干渉の手を引いて放ったらかすという特徴がある。意識してみるとそういう現象は他にもたくさんあることに気付くだろう。このゼミナールではその問題の竹林の有効利用の一つとして竹炭生産をとりあげ、竹の伐採、窯詰め、炭焼きの作業を行いながら、これらの問題の本質が何なのかを一緒に考えてみたい。簡単に「考えてみたい」と書いたが、考える前にまず感じられる「感性」を磨いてやる必要があるかも知れない。竹炭焼きの待ち時間には、樹芸研究所の森林も見てもらおう。近年大きな問題となっている獣害の現場をよく観察した後に、原因獣の対処法について検討を行う。一例として、原因獣を野菜などと一緒に竹炭で炙る処分法（バーベキュー）の実施を計画している。（本ゼミとは別のプログラムになるが、イノシシを解体するところから始めてソーセージに加工するまでの全工程を体験する活動を、本ゼミ周辺の活動として実施している。全学体験ゼミナールよりディープな体験活動に発展的に参加されるもまたヨシ。）

伊豆はまた温泉の地であるので温泉と景観に関する特別講義を行う予定である。温泉と言え湯に浸かることしか思わないだろうが、おもしろい見方があることに驚くことでしょう。もちろん講義で温泉知識を涵養した後は、源泉100%の天然温泉を堪能していただく。ちょうど見頃を迎える桜と菜の花畑を観察し、人の暮らしと景観についても思索を巡らせてみたい。本体験ゼミナールが目指すものは、かつては当たり前だった人間の生活の原点を見直すことにある。現代社会では見えにくくなっている様々な「つながり」が見えるきっかけを与えてくれることであろう。堅苦しく考えなくてもよいが、まじめにゼミに取り組んでもらいたい。

竹炭焼きというちょっと非日常的な体験を通して、ふだんあまり意識しないで通り過ぎてしまうことがいかに多いかを意識しながら、ゼミで用意したアクティビティを通して様々なことを体験しつつ、楽しく学んでいただきたい。

受講生にとって有意義なゼミに仕上がることを一番大切にします。

ゼミ後は、ゼミをじっくり振り返りつつ次のゼミの運営に参画する「伊豆に学ぶプラス」や学園祭企画に取り組む「企画系さらに伊豆に学ぶ」につなげてもらいたい。

楽単ではない、楽しい伊豆ゼミをぜひご堪能いただきたい。

※このゼミは9月25日（月）6限に1313教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。

評価方法 駒場での事前講義と現地講義での取り組み姿勢とレポートで可否を判定する。

講義の無断欠席やレポートの不提出は不合格とするので、ご注意ください。

教科書 教科書は使用しない。

ガイダンス 特定日に行う。2017年10月10日6限1102教室（10/2、10/5、11/30にも1102教室でガイダンスを実施する。）

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60232	A 2	伊豆に学ぶ —熱帯植物編— 無意識に食べてきた チョコレートを教材に 据えて見えるコト	鴨田 重裕	農学部	集中	1	シラバス 参照	1年 文科 理科
目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 ----- 【注意】 web版シラバスに重要な伝達事項（申込方法）あり。 「伊豆に学ぶ」シリーズは2006年度の全学体験ゼミナール開講と同時に産声を上げた。双子の兄弟と言える「夏版伊豆に学ぶ」に加えて、伊豆三部作をお届けしたいという構想をずっと抱いて2014年度に至った。このプログラムを学生諸君に届けたい気持ちは着想した2006年から衰えたことはないが、まだ準備が十分ではないと実現を見送ってきた。いや待て、初回の「伊豆に学ぶ」はどうだったか。最後は「えい！やってみよう」と走らせたのではなかったか。まだまだ荒削りなプログラムだと言って温め続けるより、一まず走らせて、走らせて気付いた部分に改良を加えていくのが伊豆ゼミの流儀ではなかったか。2014年度に上梓した新企画「伊豆に学ぶ—熱帯植物編—」もなんだかんだで4回目である。 「伊豆に学ぶ」シリーズは、人と自然のつながりや、人と人のつながり、そして現代社会において見えにくい「プロセス」が見えてくる仕掛けであることを基本としている。そのコンセプトは熱帯編でも同じである。チョコレートやプリンが大好きという人は少なくないであろう。それらの原料が、カカオやバニラという植物由来であることを知っている人も少なくなかろう。しかし、それらがどういう植物なのか、実物を見たり触ったりしたことがある人はいるだろうか。実際にカカオを焙煎して、細かく挽いてカカオバターと混ぜて練ったことがある人はいるだろうか。その製造の過程で、きめ細かい温度制御が求められることを知っている人は果たしているだろうか。このゼミを通して完成させる実物のカカオを使った手作りチョコレートは、それはそれは価値あるものであることは間違いない。是非、店で売っているチョコレートと食べ比べていただきたい。その体験こそが、このゼミでしかお伝えできない事だと言っても過言ではない。手作りした甲斐あって美味しいのか？をここで言及しても無意味だ。伊豆に来てのお楽しみである。 本ゼミは農学生命科学研究科附属演習林の樹芸研究所で展開される。樹芸研究所と聞いて「樹芸」ってなんだ？？と思うだろうか。「樹芸」とは樹に親しみ、樹を暮らしに役立て、樹を育むことを包含する言葉と私たちは定義している。樹芸研究所が開講する一連の体験ゼミは「人の暮らしと生態系の関わり」を基調に、「樹芸」体験を盛り込んで、学ぶということの原点を見直すことに重きを置いている。「伊豆に学ぶ—熱帯植物編—」は森林・樹木の物質生産機能に特化した体験ゼミで、熱帯植物を使う樹芸体験を用意している。チョコレートやプリンやバニラアイスなど、私たちの日常生活において在り来たりになっているモノたちに焦点を当て、日頃の生活において見ようとししない・気付こうとししない、見えにくい「プロセス」を探る旅に出よう。熱帯まで足を運んでもできないことを、東大生はなんと伊豆で体験デキルのだ。 ゼミ後は、ゼミをじっくり振り返りつつ次のゼミの運営に参画する「伊豆に学ぶプラス」、より創造的に取り組む「企画系さらに伊豆に学ぶ」につなげてもらいたい。 評価方法 駒場での事前講義と現地講義での取り組み姿勢とレポートで可否を判定する。 志望者多数の場合、初回講義（ガイダンス）の出席者を優先する。講義の無断欠席やレポートの不提出は不合格とする。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特定日に行う。2017年10月02日6限1102教室（10/5,10,11/30にも1102教室でガイダンスを実施する。）								
51355	A 1	伊豆に学ぶ（夏）3 自然と人の繋がりについてゼミを振り返る	鴨田 重裕	農学部	集中	1	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 ----- 【注意】 本ゼミは「伊豆に学ぶ（夏）」の既習者向けのゼミである。 伊豆に学ぶ（夏）では「森林」に関する「？」を現物をそっくりそのまま見て、触って実感できただろうか。理屈をこねまわすよりも、実物を見て「何をどう感じるか」ということを大事にするゼミとしたつもりである。 普段の講義では学べない様々なことを体験できたことと思う。「伊豆に学ぶ」の受講生の多くは学びの原点回帰を体験できたような気分になる。果たしてそれは夢・幻であったのだろうか。夢・幻で終わらせないのが本ゼミの目指すものである。 体験しっぱなしではまだ伊豆ゼミは終了していない。伊豆ゼミではゼミ本番を終えた後にしっかりと振り返る部分を大切にしている。振り返り部分を独立させて、「伊豆に学ぶ（夏）3 後編」とした。A1ターム講義のタイトル名に「夏」が付く理由はそういうことである。 伊豆ゼミ既修者にとってゼミで実施した自主研修はとりわけ興味深い体験であったと思う。 評価方法 CM製作への取組姿勢と受講態度、および伊豆ゼミ事後レポートを評価対象とする。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51471	A 1	森に学ぶ（ふらの） 後編	鴨田 重裕	農学部	集中	1	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 ===== 本ゼミでは一次産業を意識してみたい。大方の日本人は日本は先進国だと思っていると思う。先進国とは一次産業を捨て高次産業にシフトすることを意味するのだろうか？本当にそうなのだろうか？ 北海道の大自然の中にどっぷりと身を置いたことで、ちょっと内に変化が起った君たちには、たっぷりとその様なことを考えてもらいたい。 今、答えを出さなくてよい。答えは君達が積み上げていくものなのだ。 よく考えたあとは、仕上げにもう一度自然に会いに行こう。 そして語りあおう。 評価方法 現地講義での取り組み姿勢とレポートで可否を判定する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。								
51351	A 1	危険生物の知識（秋編）	石橋 整司	農学部	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 ===== 森林に生息する生物の中には人間を含めた他の生物に対して有害ないしは不快なものも含まれている。こうした生物から被害を受けないようにする知識はフィールドで作業をする場合大切であるが、同時にそれらの生物が生態系の中で果たす役割についての理解なしに「有害」、「危険」と退けてしまうことは自然についての正しい知識を身につけることにはならない。そこで、人間にとって「有害」、「危険」、「不快」といわれる生物を実際のフィールドで観察、学習し、これらの生物に対する対処法を身につけると同時に、自然の中での人間との関わりについて学ぶ。 ※受講可能人数：最大20名まで。 ※このゼミは9月25日（月）6限（18：45～）に1313教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。 ※現地講義開講場所：大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林および富士癒しの森研究所。 ※駒場キャンパスでの事前講義と富士癒しの森研究所、千葉演習林における2回の現地講義、駒場キャンパスでの事後講義を行う。開講日は以下のように予定している。 事前講義（ガイダンスを含む）【駒場キャンパス】 9月29日（金）5限 150教室 10月6日（金）5限 150教室 第1回現地講義【千葉演習林管内】 10月14日（土）日帰り 第2回現地講義【富士癒しの森研究所管内】 10月21日（土）～22日（日）（1泊2日） 事後講義【駒場キャンパス】 10月27日（金）5限 150教室 富士癒しの森研究所での現地講義の宿泊費および食費は自己負担（5,000円程度）。また、現地講義の交通費も自己負担となる。正確な負担額については事前講義時に説明する。 評価方法 出席とレポートで評価する。なお現地講義に参加できない学生の履修は原則として認められない。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51352	A 1	森の魅力をマッピング ～GPSを使ったオリジナル地図づくり～	石橋 整司	農学部	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 「木材資源を得る場所」、「レクリエーションの場所」、「癒しの場所」等々森林には人それぞれの活用の仕方があり、また楽しみ方がある。人々が森林に求める情報もさまざまであり、森林を対象とした情報発信には個々の情報の特性に合った多様な方法が求められるが、特に地図情報にさまざまな属性を盛り込んだフィールドマップは森林の魅力を伝えるための有効なツールである。本ゼミナールでは、「森の魅力を伝える地図づくり」をテーマに、GPS受信機とデジタルカメラを使って森林の魅力を視覚的に伝えるオリジナルの地図づくりに挑戦する。 本ゼミナールの直接の目標はオリジナル地図の作成であるが、地図づくりを通じて森林の持つさまざまな「魅力」に意識を向け、五感を使って森林を観察する機会を得ることが本質的な目的である。自らの感性を高め、五感を通してさまざまな森の情報を獲得することで見逃してきた多くの「魅力」の存在を実感して欲しい。 なお、講義の実施概要は以下の通りであるが、詳細な計画については9月26日（火）2限に行うガイダンスを兼ねた第1回講義で説明する。 ※このゼミは9月25日（月）6限（18：45～）に1313教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。 【講義計画（予定）】 9月26日（火）2限 ガイダンスと講義 104教室 10月3日（火）2限 講義 104教室 10月10日（火）2限 講義 104教室 10月17日（火）2限 講義 104教室 10月24日（火）2限 講義 104教室 11月3日（金・祝）から5日（日）現地講義（富士癒しの森研究所） 11月7日（火）2限 講義 104教室 評価方法 出席、現地講義で作成する成果品、レポートで評価する。なお現地講義に参加できない学生の履修は原則として認められない。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。								
60224	A 2	房総の森と生業（なりわい）を学ぶ	石橋 整司	農学部	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 森林は長らく人間の生活の一部であり、生業（なりわい）として森林の資源を利用する人々を中心に管理されてきた。しかし、現代ではそれらの生業の多くは衰退し、人間と森林の関わりは希薄になってきており、様々な弊害も生じている。 たとえば、森林における生業が衰退すれば広大な森林への目配りや管理が不十分となる。その上、森林との関わり希薄化は森林に対する誤解や過剰な期待をもたらし、森林による地球温暖化防止や国土保全といった課題に際して方向性を誤る恐れも大きくなる。 本ゼミは、人間との共存の長い歴史を持つ南房総の暖温帯林において、森林の生態や景観に親しむとともに、炭焼きや木工、竹林利用、林業、狩猟採集などの生業を体験・学習することで、自分が納得できる「森林との関係」を会得するとともに、今後推進すべき森林産業や、森林と人間のあるべき未来を考えてもらうことが目的である。 将来様々な分野に進む幅広い人材が受講することを期待しています。 ※最大履修受入人数 20名 ※このゼミは9月25日（月）6限（18：45～）に1313教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。 【履修希望者への注意事項】 履修希望者は①氏名、②性別、③学生証番号、④住所、⑤本人電話番号、⑥メールアドレス、⑦希望動機（100字程度）、⑧緊急連絡先、をe-mailでUTASシラバス記載の連絡先まで送ってください。締め切りは10月5日（木）17時です。希望者多数（20名以上）の場合は、希望動機等を参考に選考します。参加の可否は10月10日（火）17時までにお知らせします。連絡がない場合は下記連絡先に確認してください。 連絡先：石橋整司 UTASシラバス参照 評価方法 現地実習の中で、学習成果を発表し討論を行う。成果発表により可否を判定する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特定日に行う。2017年10月02日6限 105教室								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60227	A 2	癒しの森と地域社会 (冬)	浅野 友子	農学部	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 ===== 山梨県山中湖村は、富士山の麓にある観光地であり、別荘も多数存在する地域である。周辺には戦前戦後にかけて植林されたカラマツ林を主として森林が多く存在し、豊かな自然景観に恵まれている。しかし、近年ほとんどの森林では、枯れ木の処理、アクセス路の管理、適切な除伐や間伐、などの手入れが行われておらず、大きな樹木や繁茂した灌木がむしろ景観の阻害となったり、樹木が倒れて人や家屋に対して危険であったりする。また、森林内には散策や自然観察が行えるような道はほとんど整備されておらず、観光資源としても利用されていない。つまり、森林が地域の環境資源として十分に活用されていない状況があり、森林の利用が地域の課題となっている。 富士癒しの森研究所（山梨県山中湖村）では、この地域課題の解決に向けて、「癒しの森プロジェクト」という地域と協働した研究・教育活動に取り組んでいる。このプロジェクトでは、とくに森林の持つ人間への「癒し」の機能に着目し、地域の人々と森林との関係を再構築しようとしている。 本ゼミナールでは、癒しの森プロジェクトの一環として、受講生には、地域の森林を取り巻く現状を調査し、地域住民と交流、議論しながら、実際に地域の森林を活用した「地域づくり」の活動を体験してもらう。二日間の現地講義では、地域住民と共に現場に出て地域の森林の活用方法について柔軟なアイデアを出し合い実際に現場に手を入れるところまで行う。キャンパス内では体験することのできない、地域住民との交流と協働そして森の手入れの体験を通して日本の地域社会が直面する課題に挑む貴重な体験をしてもらいたい。 ※受講可能人数：20名まで。 ※ガイダンス：11月21日の第1回目の講義の際に行う。 ※現地講義開講場所：大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所。 ※現地講義開講期間：12月8日（金）夜から12月10日（日）の2泊2日を予定。 ※講義は駒場キャンパスにおける4回の講義（11月21日（火）、11月28日（火）、12月1日（金）、12月5日（火）の2限に534教室で実施予定）と12月8日（金）夜から12月10日（日）にかけて富士癒しの森研究所で実施する2泊3日の現地集中講義で行う。 ※このゼミは9月25日（月）6限（18：45～）に1313教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。 富士癒しの森研究所への交通費、宿泊費、食費等の実費は自己負担となる。負担額等の現地講義の概要については11月21日の第1回講義時に説明する。 評価方法 出席とレポートで評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。2017年11月21日2限 534教室								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51354	A	ダムと土砂と海	蔵治 光一郎	農学部	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科

目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

注意：開講日程の都合上成績が進級要件・前期課程修了要件に反映されないことがあるので、十分に注意すること。

ダムは、河川の流れを寸断して自然生態系に大きな悪影響をもたらすとともに、堆砂（砂が溜まること）により数十年間から百年間で利用不可能になります。海岸では、川から海へ流れ出す砂がダムによってせきとめられたことにより、供給量が減少し、波と風によって削られ、砂浜や砂丘が年々縮小しています。環境負荷の大きいダム建設を続けることは将来に大きな禍根を残す可能性があります。

本ゼミは、ダムの最も大きな問題の一つである「土砂」の問題について、現場でのフィールド体験を通じて学ぶことを目的として開講します。日本で最も多量に土砂が堆積している天竜川佐久間ダム（1956年完成、総貯水量3億2685万立米、土砂堆積量1億2700万立米）を見学します。

東京大学演習林生態水文学研究所（愛知県瀬戸市）では、小さいダムにたまった土砂量を実際に測定する実習を行い、得られたデータを用いて流出した土砂量を計算する手法についても学びます。

また、下流の海岸で、天竜川からの土砂の供給が減少したことにより、砂丘が削られ、くぼ地に埋め立てたごみが露出するという事件が起きた「中田島砂丘」を見学します。また、東京大学水産実験所の菊池潔准教授の案内により、遠州灘や浜名湖の沿岸域の漁業の現場などを見学します。この地域では、海岸沿いの低地に住宅が密集しており、南海トラフ津波対策として巨大防潮堤の建設工事が始まっていますが、砂丘侵食や津波防災を住民のみなさんがどのように受け止め、行動されているかを学びます。

ダムや土砂、海岸について、予備知識は必要としません。文系、理系いずれの学生でも楽しめる内容です。現地の状況を自分の目で確かめ、肌で感じてもらうことが最大のねらいです。

※代表教員のほか、菊池潔（東京大学水産実験所）、広嶋卓也・田中延亮・水内佑輔・佐藤貴紀（東京大学演習林生態水文学研究所）が協力教員として参加します。

※人数：20名に制限します。受講希望学生が20名を超過した場合は選抜を行います。

※9/27（水）5限と6限に107教室にてガイダンスおよび第一回講義を行います（同じ内容）。ガイダンスに出ないで履修を希望する学生も受け付けますので、9/27の16時までに担当教員にその旨をメールで連絡してください。

※フィールド体験ゼミの日程（予定）

2/24（土）名鉄瀬戸線・尾張瀬戸駅前集合（前泊も可）

演習林生態水文学研究所にて、ダムに堆積した土砂量を測定する実習

データを用いて、土砂流出量、堆積量の計算手法の学習

東京大学演習林生態水文学研究所赤津宿泊施設（愛知県瀬戸市）泊

2/25（日）天竜川佐久間ダムにて、堆積土砂の現場見学

東京大学水産実験所（浜名湖畔）泊

2/26（月）東京大学水産実験所および周辺の浜名湖・遠州灘にて、漁船、漁港、海岸などの見学

浜松市の中田島砂丘の見学、津波防潮堤工事現場の見学

午後5時頃、浜松駅にて解散予定

評価方法 2月24～26日の2泊3日のフィールド体験ゼミに全日程参加し、当日指示する感想文を締切日までに提出した者を合格とします。

教科書 教科書は使用しない。

ガイダンス 特定日に行う。2017年09月27日5限および6限に107教室

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60205	A 2	柏キャンパス サイエンスキャンプ I (物性)	宇垣 正志	新領域創成科学 研究科	集中	1	シラバス 参照	1年 理科 2年 理科
60206		柏キャンパス サイエンスキャンプ II (宇宙)						
60207		柏キャンパス サイエンスキャンプ III (エネルギーとマテリアル)						
60208		柏キャンパス サイエンスキャンプ IV (環境)						1年 文科 理科 2年 文科 理科
60209		柏キャンパス サイエンスキャンプ V (生命)						
60210		柏キャンパス サイエンスキャンプ VI (大気と海洋)						

目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

=====

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が進級要件（2014年度以前入学者）・前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

本ゼミナールは、本学柏キャンパスの先端研究部局における「知の冒険の現場」を、ウィンタープログラムとして3泊4日にわたり集中的に体験する「柏サイエンスキャンプ」

<http://www.k.u-tokyo.ac.jp/ksc/>

の6つあるコースのひとつです。情報が随時アップデートされますので、上記URLを参照してください。

将来の研究者としての基礎トレーニングを積むことを目的としています。（宿泊は隣接する宿泊施設を利用、宿泊費用は大学が負担）

4名程度の小グループで行われる研究室体験活動では、柏キャンパス内の物性研究所内の研究室で実際に最先端の研究を体験します。最終日には研究室体験活動の成果発表会を行います。研究テーマは多岐にわたり、世界トップレベルの教員のもと、普段の授業では体験できない「研究者」としての自分を発見する新しい世界へ誘います。また、本ゼミナールをサポートする研究室の大学院生や若手研究員、海外研究者との交流を通じて、今後の「研究者という人生」を考える絶好の機会が提供されます。

「柏サイエンスキャンプ」には、本コースを含めて I から VI までのコースがあり、日程の異なるコースを2つまで履修可能です。（すなわちIIIとIV、VとVIは、どちらかひとつしか履修できません。）

履修人数には上限があります。履修希望者はサイエンスキャンプ事務局

UTASシラバスを参照

あてメールで必ずエントリーして下さい。

エントリー期限 2017年9月29日（金）正午12時

評価方法 担当教員による研究室体験活動の評価と成果発表会の評価による。

教科書 教科書は使用しない。

ガイダンス 特定日に行う。KSC I …… 9月27日6限 104教室
KSC II …… 9月26日6限 104教室
KSC III …… 9月25日6限 104教室
KSC IV …… 9月25日6限 105教室
KSC V …… 9月27日6限 105教室
KSC VI …… 9月28日6限 104教室

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51254	A	最先端メディカルゲノムサイエンスを体験する2017A	松田 浩一	新領域創成科学研究科	集中	2	シラバス参照	1年 理科 2年 理科
目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 ===== メディカル情報生命専攻に所属する教員・若手研究者が、それぞれのキャンパスで実施する体験的プログラムに参加し、現代生物学・基礎医科学研究の最先端の現場を体験することができます。 合わせて、実施キャンパスの見学説明等も行いますので、実際の大学院での研究がどんな雰囲気のところ、どのように行われるのかを直接肌で感じ取り、今後の進路選択にも役立つ貴重な経験が出来るでしょう。 ★履修ガイダンスとして、下記メディカル情報生命専攻HPの「カリキュラム」→「教養学部生へ」→『全学体験ゼミナール』を是非訪問してください。 『Aセメスター開催予定プログラム』（履修者は下記から一つを選択できます） (1) 遺伝情報を消去!?～RNAサイレンシングを体験する～ (2) 呼吸・運動に不可欠のシナプス（神経筋接合部）を見てみよう (3) 自然科学の総合研究所のスケールを味わってみませんか？さらにウイルスをのぞいてみませんか！ (4) がん細胞を抗がん剤で処理した時の細胞死イメージング (5) 体質を調べる (6) プロテオミクスを体験する (7) 正常細胞とがん細胞、ES細胞とiPS細胞の染色体を比較してみよう/What's different between ES cells and iPS cells as well as normal and cancer cells. (8) 遺伝子医療革命-DNAが医療を変える- ※詳細や更新内容については、メディカル情報生命専攻のホームページ 【URL】： http://www.cbms.k.u-tokyo.ac.jp に掲示するので随時確認してください。 ※各プログラムは、それぞれの実施キャンパス、実施期間、予定日時が異なります。また、UTASへの履修登録に加え、別途メールで実習申込を行い採択される必要があります。詳細情報はUTASシラバスの「授業計画」を参照してください。 評価方法 各プログラム責任者からの出席状況を取りまとめこれに基づき評価(合格、不合格)を決定する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。								
51255	A	火山との共生：箱根火山を知ろう	前野 深	地震研究所	集中	1	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 ===== このゼミナールでは、地球科学の一分野である火山学の基礎と、実際に発生した火山活動が火山学的にどのように理解できるかを、首都圏に最も近い活火山・箱根火山を例に学ぶ。11月の2回の事前授業により火山学の概要と箱根火山の基礎について学ぶ。そして12月には実際に箱根火山での巡検を行い、実スケールの火山を体験し、火山研究の現場に触れる。講義と巡検を通して火山研究の一端に触れ、火山学の役割や火山と人間社会とのかかわりについても考える。 評価方法 講義及び巡検の出席とレポートにより評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特定日に行う。2017年09月27日5限 112教室								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51296	A	映像デザイン実習	松本 文夫	総合研究博物館	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科

目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

映像制作の実習を通して「世界を表現する」体験をすることがこの授業の目標である。20世紀は映像の世紀であったといわれる。19世紀以降、写真、映画、テレビ、インターネットが次々と生み出され、視覚情報の生産と流通は劇的に増大した。社会の出来事や物語がおびただしい映像断片に記録され、世界は映像を介して理解される対象になっている。一方、自らカメラを持って「世界をみる」という行為は、現実を観察して写し取ることになり、そこに内在する人・モノ・意味などの諸関係を再編成する試みに発展する。すなわち、映像は記録と保存だけでなく、創出と再生のメディアである。映像によって事態を切り開き、状況を再解釈し、異なる時空間を横断し、新しい世界の姿を示すことができる。この授業を通して、映像による表現の可能性を実験的に追求してほしい。映像制作の経験は必要としないが、映画・写真・物語・構造・空間・造形などに関心があることが望ましい。

10月2日の授業ガイダンス時に小課題を実施する。履修希望者が予定人数（20名）を上回るときは、この小課題により履修許可者を選抜する。授業ガイダンスに参加できない者は、事前に担当教員に申し出ること（授業ガイダンス終了後の申し出は受け付けない）。該当者には小課題にかわるレポートの提出を求める（10月2日の内容とは異なる）。連絡先等はUTASシラバスの「履修上の注意」の項を参照のこと。

※履修人数を20名に制限する

評価方法 提出作品により評価する。

教科書 プリントを配布する。

ガイダンス 特定日に行う。2017年10月02日5限 155教室

「国際研修」の履修について

国際研修の各授業では、以下の共通目標が定められている。

異なる言語・文化の環境に触れ、国際交流の現場を体験し、グローバルな視野を養う機会を得る。

授業内容としては、(1) 海外の学生との合同学習などを含む短期の海外研修、(2) 海外教育機関との海外での共同教育プログラム、(3) 海外の学生との日本国内での研修、(4) 海外の教育機関が提供するプログラムを利用した研修、といったさまざまな活動がある。そのような機会によって得られる成果が、主題科目の単位として認定される。

国際研修の受講にあたっては、海外渡航経験の有無は問わない。国際研修はむしろ、学生にとってのはじめての海外経験を、後押しする科目である。進んで自分の視野を開こうとする、学生の積極的な参加姿勢がのぞまれる。

授業によっては、参加者の選抜を行ったり、ある水準以上の語学力を求めたりする場合がある。研修のため海外に渡航する前に事前講義が実施される授業や、他の科目の履修が条件とされる授業もある。履修科目登録期間後に選抜の結果が発表される授業もある。その場合は履修を希望する授業にまず登録し、選抜にもれた場合は履修科目確認・訂正期間に登録を削除すること。また、履修が許可された後から出発までの期間の履修の中止は担当教員に膨大な負担をかけることになるので、あらかじめ十分に授業内容、渡航に際する留意事項、費用を確認して履修登録すること（履修を取りやめることで生じるキャンセル料は学生負担となることがある）。学生が負担する費用については、授業によって異なる。それぞれの授業のシラバスを参照し、ガイダンスに出席して説明を受けること。

2017年度Aセメスター（A1・A2ターム）には以下の7授業が開講される。

講義題目	研修地
多様であることの魅力：メキシコ研修	メキシコ
UTokyo/ANU Exchange in Tokyo and Canberra, Australia	オーストラリア
台湾研修	台湾
短期集中英語：オーストラリアで上級を目指す！	オーストラリア
RoboCon: Basic robotics amid a multicultural academic environment in Malaysia	マレーシア
イタリアの食文化・農業・共同体	イタリア
ボン大学ドイツ語ウインタースクール	ドイツ
平和のために東大生ができること：トルクメニスタン研修	トルクメニスタン

国際研修

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	教 室	対 象
51558	A	多様であることの魅力 ：メキシコ研修	和田 毅 受田 宏之	火6	2	K303	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 ■国際研修を履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。 ===== 本研修プログラムでは、2018年2月から3月にかけて2週間ほどメキシコ各地を訪問します。参加学生は、スペイン語力の向上はいまでもなく、日本では到底得られないだろう知見を得ることが期待されます。「ラテンアメリカに興味があるけれども長期間留学するのは難しい」という学生に、特に勧めたいプログラムです。 スペイン語圏で最大の人口を誇るメキシコは、複雑な魅力に満ちた国です。ときに過酷でもある多様な自然は、各地域独自の農法や食文化を発展させてきました。日本には貧困や犯罪のニュースが入ってきますが、それらに対抗する市民社会の発達もみられます。600万人ないしそれ以上ともされる先住民も、グローバリゼーションにしたたかに対応しています。首都のメキシコシティでは、まずメキシコ大学院大学 (COLMEX)、メキシコ国立自治大学 (UNAM) というラテンアメリカを代表する2つの大学との交流に励みます。ほかにも、先住民移住者のコミュニティやストリートチルドレンを支援するNPOを訪問する、先住民の言語復興プロジェクトに関与する言語学者に会って話を聞くなど、様々な活動に取り組みます。現地の大学生にガイドをしてもらいつつ、旧市街など市内を観光する時間も設けます。メキシコシティ以外では、グアナファト州にある日系企業の自動車部品工場を訪れ、さらにユカタン州にある個性豊かな農村に滞在します。 評価方法 事前講義への貢献、研修時の報告と態度、および報告書の内容に基づいて評価します。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51186	A	UTokyo/ANU Exchange in Tokyo and Canberra, Australia	矢口 祐人	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 ■国際研修を履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。 ===== 【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が進級要件（2014年度以前入学者）・前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。 This course takes place in Canberra, Australia, although students are also asked to participate in some sessions in Tokyo. Students will be visiting Australia and taking a course with students at Australian National University. 評価方法 presentations 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特定日に行う。2017年09月26日6限21KOMCEE West B1レクチャーホール							
51187	A	台湾研修	阿古 智子	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 ■国際研修を履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。 ===== 【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が進級要件（2014年度以前入学者）・前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。 台湾の大学、社会団体、文化団体、企業などを訪問し、日本統治の時代から国民党統治の時代、台湾人意識が高まる若者たちが民主化運動を展開する今日の台湾に至るまで、台湾の歴史と変化を現場で学ぶ。視察と交流は主に中国語で行い、これまで学んできた中国語の更なるブラッシュアップを図る。テーマ別に2-3人のチームを組み、日本語か英語のできる台湾の学生の支援を借りてフィールドワークを行い、インフォーマントから情報を得る。プログラムの最後には発表会を行う。 評価方法 講義、フィールドワークへの参加状況、プログラムの最後に行う発表を総合的に評価 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。							

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	教 室	対 象
51188	A	短期集中英語: オーストラリアで上級を目指す!	櫻井 勇介	集中	2	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 ■国際研修を履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。 ----- 【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が進級要件(2014年度以前入学者)・前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。 教室での体系的な英語学習と学外での活動を組み合わせ、実践的な英語運用力を向上させる。対象履修生は英語運用力の上級レベルを目指す学生とし、日本では体験できない様々な英語学習場面を経験し、新しい言語学習方法に触れ、今後の英語学習の可能性を広げることも目指す。 ----- Students will engage in structured in-class activities and out-of-class authentic fieldwork to develop their practical English competence. Target participants are students who wish to develop their English skills to an advanced level. They will work in fields and communication situations which students seldom encounter in Japan. They will also have new language learning experiences, and learn new English study strategies which will be useful for their future. 評価方法 合否評価。現地での活動状況、成果物、および帰国後のレポートを総合的に考慮して評価する。 ----- Pass/Fail: The grade is given based on student's engagement in activities, task achievements, and post-course reflection essay. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特定日に行う。2017年09月27日6限21KOMCEE West B1レクチャーホール							
51189	A	RoboCon: Basic robotics amid a multicultural academic environment in Malaysia	櫻井 勇介	集中	2	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 ■国際研修を履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。 ----- 【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が進級要件（2014年度以前入学者）・前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。 マレーシア工科大学の学生とともに簡単なロボット作りに取り組み、最終課題として「ロボコン」大会を行う。現地の学生とのバディーシステムで授業と一緒に参加し、ロボット作成を通じて、自身の英語運用力やコミュニケーション技能の向上にも資する。日々の課題として学習ジャーナルを記録し、まとめとして作成したロボットの機能の分析と異文化体験と自身の取り組みについて内省レポートを作成する。 ----- Students will work on basic robot creation with Malaysian students at the University of Technology Malaysia, and organise a robot competition as the finale of the course. The students will join regular science classes with the local Malaysian students, and develop their English skills and communicative competence through daily campus life and lecturers. The students will regularly reflect on their academic and intercultural experience during the course to enhance their awareness of their study experience in Malaysia, a multicultural society. 評価方法 合否評価。現地での活動状況、成果物、および帰国後のレポートを総合的に考慮して評価する。 ----- Pass/Fail: The grade is given based on student's engagement in activities, task achievements, and post-course reflection essay. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特定日に行う。2017年09月28日6限21 KOMCEE West Lecture Hall							

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	教 室	対 象
60188	A 2	イタリアの食文化・農業・共同体	大澤 麻里子	木5	2	K112	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 ■国際研修を履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。 ----- イタリア料理は、我々日本人にとってもなじみ深い存在であり、イタリア料理を含む地中海料理は2010年世界無形文化遺産に登録され、その文化的、社会的側面がますます注目されている。イタリアはまた、欧州食品安全機関EFSA、国連機関FAO、WFPなどが本部を置き、「食の安全性」、「持続可能な農業」、「共同体と食」、「飽食と飢餓」など世界規模の食の問題を考える上で、中心的な役割を果たす国でもある。 本科目はイタリアの食・農業・共同体を中心的テーマとし、事前講義・演習と現地研修によって構成されている。前半では、駒場キャンパス内で今回のテーマに関わりの深い専門家による事前講義を受講し、現地の大学で行うプレゼンテーションの準備をする。後半ではイタリアのいくつかの地域に赴き、同世代の大学生とのディスカッション、食や農業に関する施設の視察、生産者や経営者へのインタビュー、食文化体験などを通して、イタリアの食や農業を取り巻く諸問題に対する知識・関心を広げ、その上で興味のあるテーマを絞り込み、自ら学びを掘り下げる事を目標とする。 評価方法 講義・演習への積極的参加、現地での課題、プレゼンテーション、レポートの内容を総合的に判断する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特定日に行く。2017年10月05日6限21KOMCEE East K113							
60197	A 2	ボン大学ドイツ語ウインタースクール	森井 裕一	集中	2	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
目標概要 ■国際研修を履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。 ----- 【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が進級要件（2014年度以前入学者）・前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。 「国際研修」科目では、異なる言語・文化の環境に触れ、国際交流の現状を体験し、グローバルな視野を養う機会を得ることを目標とする。 ボン大学Rheinische Friedrich-Wilhelms-Universität Bonnで約2週間ドイツ語集中講座を受講し、実践的なドイツ語能力習得を目指す。午前中は話す、聞く、書くを中心としたドイツ語集中コース、午後や週末はドイツ・ヨーロッパ事情の講義やワークショップ、ドイツの社会や文化に触れる研修等を行う。 評価方法 授業への積極的な参加と、帰国後のレポート（4000字程度）の提出、（メールによる提出）。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特定日に行く。							

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	教 室	対 象
60198	A 2	平和のために東大生ができること：トルクメニスタン研修	岡田 晃枝	集中	2	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科

目標概要 ■国際研修を履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が進級要件（2014年度以前入学者）・前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

ソ連崩壊とともに独立したトルクメニスタンは、隣接するアフガニスタンが混乱し、同じ中央アジアの国々の多くが内戦や民族衝突を経験する中、積極的中立政策をしかけ、治安の安定を保ってきている。豊富な天然ガスをもとに、経済的にも発展しつつある。その一方で、大統領の権限が非常に強い政治体制が「個人崇拜」「カルト的独裁」のように欧米の人権メディアから強く批判されている国でもある。

この研修では、「独裁」と呼ばれている国の実態がどのようなものであるか、その断片を知るとともに、閉鎖的な国であることからくる開発上の問題点を、国連の持続的開発目標（SDGs）に照らして学ぶ。強い権威主義体制の国で暮らし、その政府の方針のもとで教育を受けている、文化も規範も異なる若者たちと交流することで、コミュニケーションの重要性を身をもって知ることにもつながる。

なお、交流先大学の教授言語は英語であり、交流言語は英語とする。ロシア語が広く通じるので、ロシア語の習得を目指すロシア語学習者の履修も歓迎する。

*この授業を履修するには、A1チームに開講される全学自由研究ゼミナール「平和のために東大生ができること I」を履修して合格し、なおかつその全学ゼミの授業で課される課題および面接を通じて選抜されることが必須要件である。授業のガイダンスは、全学ゼミ「平和のために東大生ができること I」のガイダンスと同時に行う。希望者は必ず出席すること。

評価方法 研修準備への取組、研修中のコミットメント、研修後の報告書

教科書 教科書は使用しない。

ガイダンス 特定日に行う。2017年09月28日5限駒場17号館KALS

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51559	A	自然科学ゼミナール (PEAK)	前田 章 ウッドワード ジョナサン	教養学部(前期課程) PEAK前期	火2	120教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
■ 2016年度以降入学の学生が履修する場合は、展開科目「自然科学ゼミナール」の科目として扱われます。 ■ 2015年度以前入学者は履修することができないので、注意してください。 ===== 講義題目 Applications of Mathematics in the Sciences 目標概要 This course is designed to demonstrate how mathematical concepts that U. Tokyo students have learned in their pure mathematics classes are used and applied in advanced studies in the natural and social sciences. Understanding applications of mathematics in the sciences allows students to understand what they have learned more deeply, and helps them to realize the importance of mathematics for their advanced studies in the Senior Division programs. The course is delivered by three instructors from different fields of expertise, presenting three stories of the use of mathematics. Each part focuses on particular mathematical ideas and methods and gives examples of where they can be applied. The fields of academic discipline and topics are the following: Part I (mathematical economics). Dynamic optimization and economic decision: Finding optimal lifelong consumption-savings plan. Part II (physics / chemistry). The mathematical description of quantum mechanics: Complex linear vector spaces and bra-ket notation and their application in describing the fundamental property of spin. Part III (biomedical engineering). Human movement control: Mathematical modelling and control systems related to human movement. 評価方法 Grading for this course is based on those of three parts. Part I: In-class quizzes Part II: Assignments, quizzes, attendance and participation Part III: Assignment (60%), presentation (20%), attendance and participation (20%) 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51493	A	哲学・倫理 (PEAK)	オデイ ジョン	教養学部(前期課程) PEAK前期	水2	534教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
■ 2015年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目A（思想・芸術）の科目として扱われます。 ■ 2014年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。 ===== 講義題目 Introduction to Philosophy 目標概要 This course will introduce students to some of the fundamental debates in philosophy, such as the nature of morality and our obligations, the nature of knowledge and the status of science; the nature of the mind and whether we have free will; and some paradoxes of time. 評価方法 Assessment will be divided between student participation (30%) and a final student essay (70%). 教科書 著者（訳者）：Matthew Chrisman and Duncan Pritchard (Editors) 書名：Philosophy of Everyone 出版社：Routledge ISBN：9781138672949 ガイダンス 特に行わない。							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51484	A	ことばと文学 (PEAK)	武田 将明	教養学部(前期課程) PEAK前期	火3	522教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
■2015年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目A（思想・芸術）の科目として扱われます。 ■2014年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。 ===== 講義題目 Reading Modern Japanese Short Stories 目標概要 This class introduces the history of modern Japanese literature through reading representative short stories published from 1895 to 1980. We will spend two weeks for a story (or a set of stories). In the first week, I explicate the social and literary background of the story, ask your first impressions and decide the topics for discussion (so you are supposed to read through the story before attending the class). Then, you are to submit via email a short essay on any of the topics (about 300 words) by Friday night. The second week is mainly dedicated to the discussion based on your essay. Positive contributions to the discussion are always appreciated. The English translations of all stories are provided in the class. If you are interested in the originals, do not hesitate to ask me. 評価方法 Your participation in the discussion (20 percent). Six short essays (50 percent). One long essay (about 1000 words: 30 percent). 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51494	A	思想・芸術 I (PEAK)	高橋 英海	教養学部(前期課程) PEAK前期	月3	K302	1年 文科 理科 2年 文科 理科
■2015年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目A（思想・芸術）の科目として扱われます。 ■2014年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。 ===== 講義題目 History and Culture of the Islamic World 目標概要 The aim of the course is to acquaint the student with the basic facts relating to the history, culture and the thought world of the Middle East and the neighbouring regions. 評価方法 The evaluation will be made on the basis of class work (approx. 60%) and the final written report (approx. 40%). 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51485	A	思想・芸術Ⅲ (PEAK)	ホールマン フランシス キャンドラー	教養学部(前期課程) PEAK前期	金2	K401	1年 文科 理科 2年 文科 理科
■2015年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目A（思想・芸術）の科目として扱われます。 ■2014年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。 ===== 講義題目 Introduction to Cultural Anthropology 目標概要 Anthropology focuses on how human beings create meaning and order in their lives and societies. It explores the diversity of human societies as well as the features that they share in common, challenging us to appreciate the different logics underlying human action and institutions while allowing us to see some aspects of cultural and social organization that have cross-cultural parallels. Cultural anthropology asks what motivates people to behave as they do, how they organize and make sense of their social and physical environments, how certain people and institutions come to wield power over others, and how the politics of the nation-state and the demands of national and global economies affect people's lives at the local level. Using the theory and methods of cultural anthropology, students will learn about cross-cultural variation in political organization, social groups, language, law, economic systems, nationalism, religion, and gender. We will study both article-length accounts and a book-length ethnography of a rural Bosnian village. Students will also conduct their own ethnographic projects. 評価方法 Midterm 30% Final 40% Term Paper 30% 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51491	A	法・政治 (PEAK)	FOOTE Daniel 杉之原 真子	教養学部(前期課程) PEAK前期	火4	K214	1年 文科 理科 2年 文科 理科
■ 2015年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目C（社会・制度）の科目として扱われます。 ■ 2014年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。 ===== 講義題目 Law and Political Science 目標概要 The objective of the course is to familiarize the students with the basics of law and political science. The course will be taught by specialists in these fields. Each lecturer will teach the basics in his or her own field. Part 1 of Law and Political Science is an introduction to political science. It aims at providing students with basic understanding of issues and theoretical concepts in political science. It also discusses features of Japanese politics from a comparative perspective. Part 2, the law component, will be taught by a lecturer who specializes in Japanese law and society, with guest lectures by a specialist in Asian law and history; the emphasis will be placed on distinctive features of the legal system and noteworthy themes and developments rather than dogmatic jurisprudence. 評価方法 Written examination at the end of the semester. Class participation will also be taken into account. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
51483	A	経済・統計 (PEAK)	GRIFFEN Andrew	教養学部(前期課程) PEAK前期	月4	K303	1年 文科 理科 2年 文科 理科
■ 2015年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目C（社会・制度）の科目として扱われます。 ■ 2014年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。 ===== 講義題目 Microeconomics 目標概要 This is an introductory course in microeconomics in which the primary goal will be to introduce students to formal economic models. Economics is a tremendously interesting discipline and touches on many fascinating aspects of life: What determines prices? Why do we have markets? Why do we think the market allocation is “good” in some sense? Should governments intervene in markets? Why do countries have different standards of living? Why do people within countries have different levels of income? What determines decisions about whether to work and invest in education? How do people behave in strategic situations? Although an introductory course cannot possibly hope to cover all aspects of economics, the idea is to introduce a broad range of the models used in economics and to get students to understand economists’ way of thinking. The course will be technical and cover the topics using formal models, which will be good in ways in which I will explain when we discuss educational investments. However, we will also play several games and have discussions based on readings to illustrate the principles involved. 評価方法 1. Homework A small weekly homework assignment will be given and we will discuss its solution in the following class. It is recommended for students to complete the homework. 2. Quizzes There will be pop quizzes during the semester. They will be given on random days and at random times during the lecture. 3. Exams There will be one midterm exam and a cumulative final exam. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51490	A	社会・制度 I (PEAK)	NOBLE Gregory McELWAIN Kenneth	教養学部(前期課程) PEAK前期	月5	K112	1年 文科 理科 2年 文科 理科
■2015年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目C（社会・制度）の科目として扱われます。 ■2014年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。 ===== 講義題目 Japan and the Governance of Democratic Market Economies 目標概要 Citizens in advanced societies constantly appeal to the ideals of democracy, but how is representative democracy actually organized? How do different countries handle the inevitable tradeoffs among competing democratic ideals? And how do they seek to make public policies that reflect the desires of their (often competing and contending) citizenries while also crafting effective responses to the vagaries of market capitalism? Running through this course are two broad themes. First, democracy can be conceptualized as a chain of delegation from voters to politicians and parties and then to governments. This chain, though sometimes loose or knotted, makes governments sensitive to the demands of the people who elect them. Second, democracies generally fall into two broad camps, majoritarian and consensus. The first type places highest priority on majority rule, decisiveness, and accountability, while the second seeks to encourage participation by the widest possible range of social groups. Majoritarian systems, as exemplified by the United Kingdom tend to have two-party systems; consensus countries, such as Sweden or Denmark almost always have multi-party systems and coalition cabinets. 評価方法 Class participation (quality, quantity, civility): 25% Three papers of roughly 1,000 words each (about three pages double-spaced; the third a little longer) due at the end of each course section: 25 x 3 = 75% 教科書 See the instruction in the Section of "Advice for Prospective Students." ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51480	A	スポーツ・身体運動実習Ⅱ (PEAK) (4月生)	石井 直方 マクグレース ケリー	教養学部(前期課程) PEAK前期	木4	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
■2015年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目D（人間・環境）の科目として扱われます。 ■2014年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。 ===== 講義題目 Recreational activities for the promotion of fitness and wellness 目標概要 Provide an understanding of the fitness components and the importance of good strength, flexibility and endurance in physical health and wellness. Expose students to variety of activities that can be incorporated into a daily lifestyle. Apply the training principles for the management of the fitness components. 評価方法 a. Participation – 60% (minimum two-thirds attendance required) b. Effort in class activities – 25% c. Written Report – 15% 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51561	A	国際関係 (PEAK)	松田 康博	教養学部(前期課程) PEAK前期	水5	516教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
■2015年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目B（国際・地域）の科目として扱われます。 ■2014年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。 ===== 講義題目 International Relations in East Asia 目標概要 This course will offer students a series of lectures on East Asian history and international relations by providing a solid foundation in the central topics and most recent scholarship in East Asian Studies. This course aims to expand students' knowledge beyond a few specialized countries or areas in East Asia by providing a broader perspective of East Asia as a whole. Another objective of the course is to offer a better understanding of East Asian societies through the study of history. 評価方法 Marks are based on attendance (20%), take home exams (40%) and a final exam (40%) 教科書 著者（訳者）：Alice Lyman Miller and Richard Wich 書名：Becoming Asia 出版社：Stanford University Press ISBN：0804771510 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51566	A	国際・地域 I (PEAK)	バクスター ジョシュア	教養学部(前期課程) PEAK前期	金4	K301	1年 文科 理科 2年 文科 理科
■ 2015年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目B（国際・地域）の科目として扱われます。 ■ 2014年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。 ===== 講義題目 Introduction to East Asia 目標概要 This course is designed to investigate the geographical area known as East Asia from roughly 1600 to the 1950s. It will focus on how we think about the past through looking at key problems that are shared by China, Japan, and Korea. Each week themes such as modernization, gender, eurocentrism, the nation, and colonialism, will be used to examine specific historical moments. How historical knowledge changes over time, bottom-up approaches to history, social constructions such as gender, and new forms of power are a few of the problems that will be addressed through the course themes. The aim is that students will learn to read, think, and write with a critical and analytical self-awareness about history. 評価方法 3 One-page Response Papers 15% 2 Quizzes 20% Short Paper (1400 words) 30% Final Exam 35% 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51564	A	科学技術基礎論(PEAK)	橋本 毅彦	教養学部(前期課程) PEAK前期	木1	K303	1年 文科 理科 2年 文科 理科
■ 2015年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目D（人間・環境）の科目として扱われます。 ■ 2014年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。 ===== 講義題目 The History of Science and Technology in Japan 目標概要 This course will lecture and discuss historical issues from the history of science, technology, and medicine, as well as social history of time and clock in pre-modern, and contemporary Japan. 評価方法 attendance and homework 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
51482	A	電磁気学の基礎 (PEAK) (4月生)	堀田 知佐	教養学部(前期課程) PEAK前期	水3	518教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
■ 2015年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目E（物質・生命）の科目として扱われます。 ■ 2014年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。 ===== 講義題目 Electromagnetism (PEAK) 目標概要 The main topic of this course is the derivation of time independent Maxwell's equations from the empirical rules that we could recognize within our circumstances. These equations are a set of first-order partial differential equations which constitute a complete description of electric and magnetic phenomena. The concept of classical "electric and magnetic fields" are introduced, which are indispensable in order to fully describe electric and magnetic forces and corresponding phenomena we observe in the real world. 評価方法 The audiences need to submit the homework almost every week. (Some of them are solved within the class). We give an exam at the end of the semester. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51565	A	意思決定の数理(PEAK)	前田 章	教養学部(前期課程) PEAK前期	金2	517教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
■2015年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目F（数理・情報）の科目として扱われます。 ■2014年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。 ===== 講義題目 Decision Analysis 目標概要 Policy makers in governments and management in businesses are experiencing ever more complex situations these days in light of their economic surroundings, stakeholders, organizations, etc. To make rational and sound decisions in policy making or management strategy, they seek for transparent methodologies and tools that have a basis on objective information and quantitative analyses. In this lecture, students will learn the theory and practice of Decision Analysis (DA). DA is a school among theories of decision making that is on the basis of probability, optimization, and expected utility theories, and that is intended to offer a framework of "normative" decision making. Related disciplines include management science/operations research and microeconomics. This lecture thus also works as a good introduction to these subjects. 評価方法 Evaluation is based on final exam. 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51487	A	情報科学 (PEAK)	Suppakitpaisarn Vorapong	教養学部(前期課程) PEAK前期	木2	E41	1年 文科 理科 2年 文科 理科
■2015年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目F（数理・情報）の科目として扱われます。 ■2014年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。 ===== 講義題目 Information Science 目標概要 Information science, such as machine learning, becomes an important basic for both social science and natural science. This course contains of three parts. In the first part, a basic programming in Ruby will be discussed. Then, in the second part, basic concepts of information science will be provided based on the Ruby programming. After that, we will explain some concepts in machine learning in the third part of this course. 評価方法 Evaluations are based on exercises during sessions, several take-home assignments, and a final exam. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51454	A	全学自由研究ゼミナール (PEAK)(数学Ⅰ①)	鮑 園園	教養学部(前期課程) PEAK前期	木3	517教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 Single-variable calculus 目標概要 The course covers differentiation and integration of a function in one-variable. It starts with the definition of a set and concludes with a discussion of ordinary differential equations. Some applications of these concepts will be discussed. 評価方法 A written examination at the end of the semester. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
51439	A	全学自由研究ゼミナール (PEAK)(数学Ⅱ①)	松尾 厚	教養学部(前期課程) PEAK前期	水3	516教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 Introductory course in linear algebra 目標概要 Students will study the properties of vectors, matrices and determinants as well as the concepts of abstract vector spaces and linear maps on such spaces. Various applications of these concepts will also be presented. 評価方法 Written examination at the end of the semester. 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51448	A	全学自由研究ゼミナール (PEAK)(地球科学)	東塚 知己	教養学部(前期課程) PEAK前期	火3	K211	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 Introduction to earth science 目標概要 This is an introductory course for earth science covering planetary science, ocean science, and atmospheric science and solid earth science. 評価方法 Attendance, report, and final exam 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
51472	A	学術フロンティア講義 (PEAK)	前島 志保	教養学部(前期課程) PEAK前期	金2	116教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 Introduction to Japan in East Asia 目標概要 This course is a lecture series showcasing the wide range of research conducted by faculty at the University related to Japan in East Asia. The purpose is to illustrate how fundamental concepts and knowledge learned in the junior division can lead to interesting intellectual explorations in the senior division of the PEAK Japan in East Asia Program. 評価方法 50% Class participation (reaction papers) 50% Final paper 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
51563	A	分析化学 (IEAK)	ウッドワード・ジョナ サン・ロジャー	教養学部(前期課程) PEAK前期	水2	K402	1年 文科 理科 2年 文科 理科
■ 2015年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目E (物質・生命) の科目として扱われます。 ■ 2014年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。 ===== 講義題目 Analytical Chemistry 目標概要 To scientists, being able to measure and analyse our environment is one of the most important capabilities. This course is concerned with the methods and technologies available to accurately and precisely measure the properties of real world samples, for example from determining the concentration of heavy metal ions in river water, measuring the concentration of a drug molecule in a blood sample to determining the concentration of pollutant gases in the atmosphere. The course builds on existing knowledge of fundamental chemical principles and has a practical focus which will be of particular use to students with an interest in Environmental Science. 評価方法 Assessed homework activities plus final examination. 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。							
51476	A	全学自由研究ゼミナール (PEAK)	ジロドウ イザベル	教養学部(前期課程) PEAK前期	火1	515教室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 Wild Law and Earth Jurisprudence : A Critical Introduction to Global Environmental Governance 目標概要 Despite 50 years of awareness of environmental issues and about 40 years of environmental law, environmental regulations have not fundamentally changed the rate of environmental destruction. As an emerging philosophy of law, Earth Jurisprudence challenges mainstream environmental law and governance : it seeks to provide the foundation for a shift in existing legal rules, institutions and decisions processes from an exclusive focus on human beings to bio- and ecocentric principles and practices. Drawing on short lectures, case studies, scenario analysis and role-play simulations, this seminar examines from a critical perspective the possibility to integrate ecological thinking within new environmental regulations dealing with complex issues such as : climate change and its many adverse impacts, bio-diversity loss, natural resource depletion, transboundary pollution and waste, etc. In so doing, students explore the potential but also the limits of 'Wild Law' understood as a network of legal norms entwined within the physical context of the larger ecological systems. 評価方法 Evaluation will be based on active participation to classroom discussions and learning activities (70%) and a short term paper on one particular topic that has been agreed upon with the instructor (30%). 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

Aセメスター（A1・A2ターム） 授業時間割表

次ページより、Aセメスター（A1・A2ターム）に開講される科目の時間割表が掲載されていますので、必要に応じて参照し、履修計画を立てる際の参考にしてください。

本冊子には以下の種類の時間割表が掲載されています。

- ・科類別時間割表
- ・総合科目等時間割表
- ・専門科目一覧表
- ・専門科目時間割表
- ・教職科目一覧表

【時間割参照上の注意事項】

科類別時間割表

- ・時間割表は、1年文科一類・二類～理科二・三類の順に並んでいます。
- ・掲載されている科目は、基礎科目とクラス指定の総合科目のみです。

総合科目等時間割表

- ・時間割表は、授業の曜限順に月曜1限～金曜6限、集中講義まで掲載されています。
- ・掲載されている科目は、クラス指定されていない総合科目と、主題科目及び展開科目です。

専門科目一覧表

専門科目時間割表

- ・2Aセメスターに履修可能な専門科目の時間割が、学部ごとに掲載されています。
- ・時間割表に掲載されていない科目は2Aセメスターに履修をすることができません。
- ・専門科目についての詳細は、p.304を参照してください。

教職科目一覧表

- ・2Aセメスターに履修可能な教職科目の時間割が掲載されています。
- ・教育職員免許状の取得についての詳細は『教養学部便覧（前期課程）』を参照してください。

1 年

文科一類・二類 科類別時間割表

	月曜日				
	時間割 コード	開講 区分	対象クラス	科目名	教員名 教室
1 時 限					
2 時 限	50026	A	7	スペイン語初級（演習）②	ドニャスベレニャアントニオ 158
	50027	A	8	スペイン語一列②	栗林 ゆき絵 105
	50029	A	16	中国語初級（演習）②	林 立梅 152
	50030	A	21	ドイツ語一列②	大石 紀一郎 10-303
	50031	A	24	フランス語一列②	泉 美知子 106
		A	1-3,26-27	英語二列W（ALESA）	各教員 各教室
	50032	A	25,28	英語中級	岩崎 徹 151
	50033	A	25,28	英語中級	平賀 優子 153
	50034	A	25,28	英語中級	WILSON BRENDAN 149
	50035	A	25,28	英語中級	堀越 庸一郎 101
	50036	A	25,28	英語中級	メズールー ジェルマン K402
	50037	A	25,28	英語中級	志子田 祥子 10-203
	50038	A	25,28	英語中級	堀田 隆一 102
	50039	A	25,28	英語中級	佐藤 光 107
	50040	A	25,28	英語中級	バーチュリ セーラ ルイーサ 10-201
3 時 限	50124	A	文一	政治Ⅱ	内山 融 900
	50123	A	文二	法Ⅱ	北村 朋史 1101
	50125	A		経済Ⅱ	丸山 真人 1225
	50126	A		社会Ⅱ	井上 彰 1313
	50127	A		哲学Ⅱ	乗立 雄輝 1331
	50128	A		倫理Ⅱ	田中 智彦 K214
	50129	A		歴史Ⅱ	渡辺 美季 K212
	50130	A		ことばと文学Ⅱ	田村 隆 1214
	50131	A		ことばと文学Ⅳ	岩瀬 由佳 158
	50132	A		心理Ⅱ	本吉 勇 1323
4 時 限	50146	A	9	スペイン語初級（演習）②	イサベル カルロス 113
	50147	A	11	スペイン語一列②	深澤 晴奈 K113
	50148	A	13	スペイン語初級（演習）②	ロサレス バトリシア 112
	50149	A	18	中国語初級（演習）②	王 嵐 105
	50150	A	20	ドイツ語初級（演習）②	クリスティアン クリンク K114
	50151	A	23	フランス語一列②	大森 晋輔 122
	50152	A	26	フランス語初級（演習）②	デルヴロワ ミカエル 10-205
5 時 限	50195	A	4	ロシア語一列②	安岡 治子 101

	火曜日				
	時間割 コード	開講 区分	対象クラス	科目名	教員名 教室
1 時 限	50235	A	15	中国語初級（演習）②	喬 志航 101
	50236	A	21-23	英語中級	山本 史郎 149
	50237	A	21-23	英語中級	ギルナー リーア 151
	50238	A	21-23	英語中級	松本 和子 10-201
	50239	A	21-23	英語中級	トム・ガリー 153
	50240	A	21-23	英語中級	リチャード カーター・ホワイト 155
	50241	A	21-23	英語中級	ノールト デリック 102
2 時 限	51258	A		日本語一列②	藤井 聖子 10-205
3 時 限	50330	A	5	韓国朝鮮語一列②	生越 直樹 1213
	50331	A	6	イタリア語一列②	宮坂 真紀 108
	50335	A	10	スペイン語初級（演習）②	イサベル カルロス K114
	50336	A	11	スペイン語初級（演習）②	ドニャスベレニャアントニオ 1222
	50337	A	12	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当 (実習)
	50338	A	19	中国語一列②	山影 統 166
	50339	A	22	ドイツ語一列②	日名 淳裕 1312
	50340	A	23	フランス語初級（演習）②	DE VOS PATRICK HENRI 159
		A	7	英語二列W（ALESA）	各教員 各教室
		A1	25	英語二列S（FLOW）	各教員 各教室
		A2	28	英語二列S（FLOW）	各教員 各教室
	50341	A1	24,26	英語中級	THURGILL JAMES CHRIS 152
	50342	A1	24,26	英語中級	ダルクグリーシュ フレガム 103
	50343	A1	24,26	英語中級	リチャード カーター・ホワイト 155
	50344	A1	24,26	英語中級	ライアン ケビン 10-201
	50345	A1	24,26	英語中級	ギルナー リーア 150
	50346	A1	24,26	英語中級	牛村 圭 102
	50347	A1	24,26	英語中級	アンダル, ジャクリーン 149
	50348	A1	24,26	英語中級	大堀 壽夫 153
	60024	A2	27	英語中級	ダルクグリーシュ フレガム 103
	60025	A2	27	英語中級	ギルナー リーア 150
	60026	A2	27	英語中級	牛村 圭 102
	60027	A2	27	英語中級	リチャード カーター・ホワイト 155
	60028	A2	27	英語中級	ライアン ケビン 10-201
	60029	A2	27	英語中級	大堀 壽夫 153
	60030	A2	27	英語中級	THURGILL JAMES CHRIS 152
	60031	A2	27	英語中級	アンダル, ジャクリーン 149
		A1	27,28	英語一列②	教養英語担当教員 各教室
		A2	24-26	英語一列②	教養英語担当教員 各教室
4 時 限	50409	A	1-3,5,8	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当 (実習)
	50410	A	9	スペイン語一列②	網野 徹哉 159
	50455	A	24	フランス語初級（演習）②	ビゼ 164
	50456	A	26	フランス語一列②	佐藤 朋子 1211
		A	10,20	英語二列W（ALESA）	各教員 各教室
		A1	13	英語二列S（FLOW）	各教員 各教室
	50417	A1	11-12	英語中級	ライアン ケビン 10-201
	50418	A1	11-12	英語中級	THURGILL JAMES CHRIS 152
	50419	A1	11-12	英語中級	ダルクグリーシュ フレガム 103
	50420	A1	11-12	英語中級	アンダル, ジャクリーン 149
	50421	A1	11-12	英語中級	ギルナー リーア 150
	50422	A1	11-12	英語中級	Williams David 154
	50423	A1	11-12	英語中級	大堀 壽夫 153
	50424	A1	11-12	英語中級	牛村 圭 102
	50425	A1	11-12	英語中級	リチャード カーター・ホワイト 155
	60071	A2	14-15	英語中級	牛村 圭 102
	60072	A2	14-15	英語中級	ライアン ケビン 10-201
	60073	A2	14-15	英語中級	ダルクグリーシュ フレガム 103
	60074	A2	14-15	英語中級	大堀 壽夫 153
	60075	A2	14-15	英語中級	アンダル, ジャクリーン 149
	60076	A2	14-15	英語中級	リチャード カーター・ホワイト 155
	60077	A2	14-15	英語中級	Williams David 154
	60078	A2	14-15	英語中級	THURGILL JAMES CHRIS 152
	60079	A2	14-15	英語中級	ギルナー リーア 150
		A1	14-15	英語一列②	教養英語担当教員 各教室
		A2	11-13	英語一列②	教養英語担当教員 各教室
5 時 限	50496	A		経済Ⅱ	竹野 太三 900
	50497	A		哲学Ⅱ	山本 芳久 1323
	50498	A		歴史Ⅰ	岡田 泰平 523
	50499	A		ことばと文学Ⅲ	品田 悦一 164

1 年

文科一類・二類 科類別時間割表

	水曜日					
	時間割 コード	開講 区分	対象クラス	科目名	教員名	教室
1 時 限	50510	A	文一 1-5,7-14	法Ⅱ	彌 銀子 ^{ミタガネ} ヲシナ	1225
	50511	A	文一 6,22-28	法Ⅱ	飯 善之 ^{イヘノリ} ヲシナ	1331
	50512	A	文一 15-21	法Ⅱ	鵜 護 ^{ウヰ} ヲシナ	1106
	50535	A	文二	政治Ⅱ	木宮 正史	K011
	50536	A		数学Ⅰ	高木 俊輔	743
	50537	A		数学Ⅱ	松尾 厚	531
	50538	A		心理Ⅱ	長谷川 壽一	1323
2 時 限	50028	A	12	スペイン語初級（演習）②	イサベル カルロス	151
	50584	A	17	中国語一列②	阿古 智子	1231
	50585	A	27	フランス語初級（演習）②	アルベリック ドリブル	10-101
	50586	A	28	フランス語初級（演習）②	ファイフ ベアトリクス	10-103
		A1	4-6	英語二列S（FLOW）	各教員	各教室
		A2	8	英語二列S（FLOW）	各教員	各教室
	50548	A1	1-3,7	英語中級	ノールト デリック	10-201
	50549	A1	1-3,7	英語中級	グレノン イザベル	10-205
	50550	A1	1-3,7	英語中級	金 志英	154
	50551	A1	1-3,7	英語中級	リチャード カーター・ホワイト	155
	50552	A1	1-3,7	英語中級	アンダル, ジャクリン	156
	50553	A1	1-3,7	英語中級	岩佐 将志	166
	50554	A1	1-3,7	英語中級	後藤 春美	153
	50555	A1	1-3,7	英語中級	西川 杉子	113
	60124	A2	9-10	英語中級	後藤 春美	153
	60125	A2	9-10	英語中級	グレノン イザベル	10-205
	60126	A2	9-10	英語中級	金 志英	154
	60127	A2	9-10	英語中級	リチャード カーター・ホワイト	155
	60128	A2	9-10	英語中級	アンダル, ジャクリン	156
	60129	A2	9-10	英語中級	ノールト デリック	10-201
	60130	A2	9-10	英語中級	西川 杉子	113
	60131	A2	9-10	英語中級	岩佐 将志	166
		A1	8-10	英語一列②	教養英語担当教員	各教室
		A2	1-7	英語一列②	教養英語担当教員	各教室
3 時 限	50621	A	5	韓国朝鮮語初級（演習）②	金 亨貞	K113
	50622	A	7,14-15	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	(実習)
	50623	A	13	スペイン語一列②	久住 真由	158
	50663	A	25	フランス語初級（演習）②	ファイフ ベアトリクス	10-103
		A1	17	英語二列S（FLOW）	各教員	各教室
		A2	21-23	英語二列S（FLOW）	各教員	各教室
	50624	A1	16,18	英語中級	ノールト デリック	10-201
	50625	A1	16,18	英語中級	グレノン イザベル	10-205
	50626	A1	16,18	英語中級	アンダル, ジャクリン	156
	50627	A1	16,18	英語中級	高橋 英海	150
	50628	A1	16,18	英語中級	岩佐 将志	166
	50629	A1	16,18	英語中級	リチャード カーター・ホワイト	155
	50630	A1	16,18	英語中級	ロビンズ・ロジャー	151
	50631	A1	16,18	英語中級	西川 杉子	113
	60149	A2	19-20	英語中級	ノールト デリック	10-201
	60150	A2	19-20	英語中級	グレノン イザベル	10-205
	60151	A2	19-20	英語中級	ロビンズ・ロジャー	151
	60152	A2	19-20	英語中級	リチャード カーター・ホワイト	155
	60153	A2	19-20	英語中級	高橋 英海	150
	60154	A2	19-20	英語中級	アンダル, ジャクリン	156
	60155	A2	19-20	英語中級	岩佐 将志	166
	60156	A2	19-20	英語中級	西川 杉子	113
		A1	19-23	英語一列②	教養英語担当教員	各教室
		A2	16-18	英語一列②	教養英語担当教員	各教室
4 時 限	50704	A	14	中国語一列②	刈間 文俊	101
	50705	A	16,26-28	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	(実習)
	50706	A	22	ドイツ語初級（演習）②	グイド ラッペ	104
5 時 限						

	木曜日					
	時間割 コード	開講 区分	対象クラス	科目名	教員名	教室
1 時 限						
2 時 限	50785	A	4,6	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	(実習)
	50789	A	14	中国語初級（演習）②	賈 黎黎	101
	50790	A	15	中国語一列②	松本 秀士	162
	50791	A	17	中国語初級（演習）②	藤原 優美	153
	50792	A	20	ドイツ語一列②	一條 麻美子	121
		A	9	英語二列W（ALESA）	各教員	各教室
3 時 限	50843	A	1	ドイツ語一列②	相澤 隆	102
	50844	A	2	フランス語一列②	アルベリック ドリブル	10-202
	50845	A	3	中国語一列②	賈 黎黎	103
	50846	A	8	スペイン語初級（演習）②	イサベル カルロス	112
	50847	A	9,23	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	(実習)
	50848	A	16	中国語一列②	下出 宣子	107
	50866	A	21	ドイツ語初級（演習）②	クリスティアン クリンク	K114
	50867	A	25	フランス語一列②	坂本 さやか	121
	50868	A	27	フランス語一列②	松村 剛	105
	50869	A	28	フランス語一列②	鈴木 順子	158
		A	18-19,24	英語二列W（ALESA）	各教員	各教室
	50849	A	17	英語中級	久世 恭子	149
	50850	A	17	英語中級	小林 薫	150
	50851	A	17	英語中級	河島 弘美	512
	50852	A	17	英語中級	中山 匡美	10-203
	50853	A	17	英語中級	戸谷 陽子	151
4 時 限	50906	A	4	ロシア語初級（演習）②	アズマイ ナジェーダ	112
	50907	A	12	スペイン語一列②	川上 英	108
	50908	A	18	中国語一列②	渡辺 剛	152
	50909	A	19	中国語初級（演習）②	柴 森	104
5 時 限						

1 年

文科一類・二類 科類別時間割表

	金曜日					
	時間割 コード	開講 区分	対象クラス	科目名	教員名	教室
1 時 限	50976	A	10	スペイン語一列②	松浦 芳枝	121
		A	11-12,14	英語二列W (ALESA)	各教員	各教室
	50986	A	13	英語中級	田尻 芳樹	150
	50987	A	13	英語中級	田中 伸一	151
	50988	A	13	英語中級	井上 博之	106
	50989	A	13	英語中級	清水 徹郎	K303
	50990	A	13	英語中級	河合 祥一郎	E42
	50991	A	13	英語中級	ポター サイモン	102
2 時 限	51262	A		日本語一列②	藤井 聖子	10-205
3 時 限	51056	A	4	ロシア語一列②	西中村 浩	1213
	51057	A	6	イタリア語初級 (演習) ②	アンドレア チヴィーレ	K302
	51058	A	7	スペイン語一列②	有田 美保	107
	51059	A	10-11,13,17-19	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	(実習)
		A	15-16	英語二列W (ALESA)	各教員	各教室
4 時 限	51124	A	20-22,24-25	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	(実習)
	51118	A	4-6,8	英語中級	ポター サイモン	102
	51119	A	4-6,8	英語中級	ミルズ アンソニー	10-303
	51120	A	4-6,8	英語中級	佐藤 洋一	103
	51121	A	4-6,8	英語中級	傅 凱儀	10-203
	51123	A	4-6,8	英語中級	大橋 理枝	151
5 時 限						

1 年

文科三類 科類別時間割表

	月曜日					
	時間割 コード	開講 区分	対象クラス	科目名	教員名	教室
1 時 限						
2 時 限	50041	A	4,11,16	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	(実習)
	50042	A	6	イタリア語一列②	村松 真理子	K303
	50043	A	15	ドイツ語初級（演習）②	グイド ラッベ	112
		A	1-3,12,19	英語二列W（ALESА）	各教員	各教室
	50032	A	5,7,20	英語中級	岩崎 徹	151
	50033	A	5,7,20	英語中級	平賀 優子	153
	50034	A	5,7,20	英語中級	WILSON BRENDAN	149
	50035	A	5,7,20	英語中級	堀越 庸一郎	101
	50036	A	5,7,20	英語中級	メズールール ジェルマン	K402
	50037	A	5,7,20	英語中級	志子田 祥子	10-203
	50038	A	5,7,20	英語中級	堀田 隆一	102
	50039	A	5,7,20	英語中級	佐藤 光	107
	50040	A	5,7,20	英語中級	バーチュリ セーラ ルイーザ	10-201
3 時 限	50123	A		法Ⅱ	北村 朋史	1101
	50125	A		経済Ⅱ	丸山 真人	1225
	50126	A		社会Ⅱ	井上 彰	1313
	50127	A		哲学Ⅱ	乗立 雄輝	1331
	50128	A		倫理Ⅱ	田中 智彦	K214
	50129	A		歴史Ⅱ	渡辺 美季	K212
	50130	A		ことばと文学Ⅱ	田村 隆	1214
	50131	A		ことばと文学Ⅳ	岩瀬 由佳	158
	50132	A		心理Ⅱ	本吉 勇	1323
4 時 限	50153	A	9	スペイン語一列②	三浦 麻衣子	121
	50154	A	12	中国語一列②	河野 直恵	162
	50155	A	14	ドイツ語一列②	森 芳樹	102
5 時 限	50195	A	4	ロシア語一列②	安岡 治子	101

	火曜日					
	時間割 コード	開講 区分	対象クラス	科目名	教員名	教室
1 時 限		A	14-15	英語二列W（ALESА）	各教員	各教室
2 時 限	51258	A		日本語一列②	藤井 聖子	10-205
3 時 限	50379	A	5	韓国朝鮮語一列②	生越 直樹	1213
	50380	A	6	イタリア語初級（演習）②	アンドレア チヴィーレ	1212
	50381	A	7	スペイン語一列②	深澤 晴奈	K113
	50382	A	16	ドイツ語一列②	相澤 隆	164
		A1	18	英語二列S（FLOW）	各教員	各教室
		A2	20	英語二列S（FLOW）	各教員	各教室
	60024	A2	19	英語中級	ダルクリースー プレガム	103
	60025	A2	19	英語中級	ギルナー リーア	150
	60026	A2	19	英語中級	牛村 圭	102
	60027	A2	19	英語中級	リチャード カーター・ホワイト	155
	60028	A2	19	英語中級	ライアン ケビン	10-201
	60029	A2	19	英語中級	大堀 壽夫	153
	60030	A2	19	英語中級	THURGILL JAMES CHRIS	152
	60031	A2	19	英語中級	アンダル, ジャクリン	149
4 時 限		A1	19-20	英語一列②	教養英語担当教員	各教室
		A2	18	英語一列②	教養英語担当教員	各教室
	50457	A	13	中国語一列②	山影 統	166
	50409	A	17-18	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	(実習)
		A1	4-5	英語二列S（FLOW）	各教員	各教室
		A2	7-8	英語二列S（FLOW）	各教員	各教室
	50417	A1	1-3	英語中級	ライアン ケビン	10-201
	50418	A1	1-3	英語中級	THURGILL JAMES CHRIS	152
	50419	A1	1-3	英語中級	ダルクリースー プレガム	103
	50420	A1	1-3	英語中級	アンダル, ジャクリン	149
	50421	A1	1-3	英語中級	ギルナー リーア	150
	50422	A1	1-3	英語中級	Williams David	154
	50423	A1	1-3	英語中級	大堀 壽夫	153
	50424	A1	1-3	英語中級	牛村 圭	102
5 時 限	50425	A1	1-3	英語中級	リチャード カーター・ホワイト	155
	60071	A2	6	英語中級	牛村 圭	102
	60072	A2	6	英語中級	ライアン ケビン	10-201
	60073	A2	6	英語中級	ダルクリースー プレガム	103
	60074	A2	6	英語中級	大堀 壽夫	153
	60075	A2	6	英語中級	アンダル, ジャクリン	149
	60076	A2	6	英語中級	リチャード カーター・ホワイト	155
	60077	A2	6	英語中級	Williams David	154
	60078	A2	6	英語中級	THURGILL JAMES CHRIS	152
	60079	A2	6	英語中級	ギルナー リーア	150
		A1	6-8	英語一列②	教養英語担当教員	各教室
		A2	1-5	英語一列②	教養英語担当教員	各教室
	50496	A		経済Ⅱ	竹野 太三	900
	50497	A		哲学Ⅱ	山本 芳久	1323
	50498	A		歴史Ⅰ	岡田 泰平	523
	50499	A		ことばと文学Ⅲ	品田 悦一	164

1 年

文科三類 科類別時間割表

	水曜日					
	時間割 コード	開講 区分	対象クラス	科目名	教員名	教室
1 時限	50535	A		政治Ⅱ	木宮 正史	K011
	50536	A		数学Ⅰ	高木 俊輔	743
	50537	A		数学Ⅱ	松尾 厚	531
	50538	A		心理Ⅱ	長谷川 壽一	1323
2 時限	50587	A	10	中国語一列②	楊 凱榮	149
	50588	A	11	中国語一列②	王 前	158
		A2	17	英語二列S (FLOW)	各教員	各教室
	50548	A1	14-15	英語中級	ノールト デリック	10-201
	50549	A1	14-15	英語中級	グレンノン イザベル	10-205
	50550	A1	14-15	英語中級	金 志英	154
	50551	A1	14-15	英語中級	リチャード カーター・ホワイト	155
	50552	A1	14-15	英語中級	アンダル, ジャクリン	156
	50553	A1	14-15	英語中級	岩佐 将志	166
	50554	A1	14-15	英語中級	後藤 春美	153
	50555	A1	14-15	英語中級	西川 杉子	113
	60124	A2	16	英語中級	後藤 春美	153
	60125	A2	16	英語中級	グレンノン イザベル	10-205
	60126	A2	16	英語中級	金 志英	154
	60127	A2	16	英語中級	リチャード カーター・ホワイト	155
	60128	A2	16	英語中級	アンダル, ジャクリン	156
	60129	A2	16	英語中級	ノールト デリック	10-201
	60130	A2	16	英語中級	西川 杉子	113
	60131	A2	16	英語中級	岩佐 将志	166
		A1	16-17	英語一列②	教養英語担当教員	各教室
		A2	14-15	英語一列②	教養英語担当教員	各教室
3 時限	50621	A	5	韓国朝鮮語初級 (演習) ②	金 亨貞	K113
	50622	A	8	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	(実習)
	50664	A	16	ドイツ語初級 (演習) ②	クリスティアン クリンク	K114
		A1	9	英語二列S (FLOW)	各教員	各教室
		A2	13	英語二列S (FLOW)	各教員	各教室
	50624	A1	10	英語中級	ノールト デリック	10-201
	50625	A1	10	英語中級	グレンノン イザベル	10-205
	50626	A1	10	英語中級	アンダル, ジャクリン	156
	50627	A1	10	英語中級	高橋 英海	150
	50628	A1	10	英語中級	岩佐 将志	166
	50629	A1	10	英語中級	リチャード カーター・ホワイト	155
	50630	A1	10	英語中級	ロビンズ・ロジャー	151
	50631	A1	10	英語中級	西川 杉子	113
	60149	A2	11-12	英語中級	ノールト デリック	10-201
	60150	A2	11-12	英語中級	グレンノン イザベル	10-205
	60151	A2	11-12	英語中級	ロビンズ・ロジャー	151
	60152	A2	11-12	英語中級	リチャード カーター・ホワイト	155
	60153	A2	11-12	英語中級	高橋 英海	150
	60154	A2	11-12	英語中級	アンダル, ジャクリン	156
	60155	A2	11-12	英語中級	岩佐 将志	166
	60156	A2	11-12	英語中級	西川 杉子	113
		A1	11-13	英語一列②	教養英語担当教員	各教室
		A2	9-10	英語一列②	教養英語担当教員	各教室
4 時限	50707	A	8	スペイン語一列②	網野 徹哉	157
	50705	A	9	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	(実習)
	50708	A	17	フランス語一列②	郷原 佳以	112
	50709	A	20	フランス語初級 (演習) ②	アルベリック ドリブル	10-101
5 時限						

	木曜日					
	時間割 コード	開講 区分	対象クラス	科目名	教員名	教室
1 時限						
2 時限	50785	A	1-3	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	(実習)
	50793	A	10	中国語初級 (演習) ②	毛 興華	104
	50794	A	11	中国語初級 (演習) ②	李 彦銘	154
	50795	A	13	中国語初級 (演習) ②	何 珍時	158
	50796	A	15	ドイツ語一列②	石原 あえか	10-308
	50797	A	19	フランス語一列②	鈴木 啓二	105
3 時限	50843	A	1	ドイツ語一列②	相澤 隆	102
	50844	A	2	フランス語一列②	アルベリック ドリブル	10-202
	50845	A	3	中国語一列②	賈 黎黎	103
	50847	A	14-15	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	(実習)
	50870	A	18	フランス語一列②	森元 庸介	104
	50871	A	20	フランス語一列②	寺田 寅彦	157
		A	6,16	英語二列W (ALESA)	各教員	各教室
	50849	A	4,8	英語中級	久世 恭子	149
	50850	A	4,8	英語中級	小林 薫	150
	50851	A	4,8	英語中級	河島 弘美	512
	50852	A	4,8	英語中級	中山 匡美	10-203
	50853	A	4,8	英語中級	戸谷 陽子	151
4 時限	50910	A	4	ロシア語初級 (演習) ②	GOLUBOVSKAYA Liubov	511
	50911	A	8	スペイン語初級 (演習) ②	ドニャス・ベレニャ・アントニオ	101
	50912	A	14	ドイツ語初級 (演習) ②	グイド ラッペ	149
5 時限						

1 年

文科三類 科類別時間割表

	金曜日					
	時間割 コード	開講 区分	対象クラス	科目名	教員名	教室
1 時 限	50986 50987 50988 50989 50990 50991	A A A A A A	10 18 18 18 18 18	英語二列W (ALES A) 英語中級 英語中級 英語中級 英語中級 英語中級	各教員 田尻 芳樹 田中 伸一 井上 博之 清水 徹郎 河合 祥一郎 ポター サイモン	各教室 150 151 106 K303 E42 102
2 時 限	51262	A		日本語一列②	藤井 聖子	10-205
3 時 限	51067 51059 51073 51074 51075 51068 51069 51070 51071 51122	A A A A A A A A A A	4 5-7,10 12 17 19 11 9,13 9,13 9,13 9,13	ロシア語一列② 身体運動・健康科学実習Ⅱ 中国語初級（演習）② フランス語初級（演習）② フランス語初級（演習）② 英語二列W (ALES A) 英語中級 英語中級 英語中級 英語中級 英語中級	渡邊 日日 実技担当 張 玉萍 ビゼ アガエス ジュリアン 各教員 大橋 理枝 ミルズ アンソニー 清水 徹郎 ポター サイモン 佐竹 晶子	154 (実習) 104 105 10-203 各教室 151 10-303 K303 102 153
4 時 限	51125 51126 51124 51127 51118 51119 51120 51121 51123	A A A A A A A A A	7 9 12-13,19-20 18 17 17 17 17 17	スペイン語初級（演習）② スペイン語初級（演習）② 身体運動・健康科学実習Ⅱ フランス語初級（演習）② 英語中級 英語中級 英語中級 英語中級 英語中級	ドニヤス・バレニア・アントニオ エクトル シエラ 実技担当 マルティネル ルイ ポター サイモン ミルズ アンソニー 佐藤 洋一 傅 凱儀 大橋 理枝	104 112 (実習) 10-201 102 10-303 103 10-203 151
5 時 限						

1 年

理科一類 科類別時間割表

	月曜日					
	時間割 コード	開講 区分	対象クラス	科目名	教員名	教室
1 時 限						
2 時 限	50041	A	5,10,11,15,20,21,25,26	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	(実習)
	50053	A	6	韓国朝鮮語一列②	三ツ井 崇	1231
	50054	A	7,9,22	構造化学	立川 仁典	523
	50055	A	14,17,23,29,39	図形科学 A	植原 賢二, 福田 玄明	E21
	50056	A	18,24,27-28	アルゴリズム入門	山口 文彦	E31
	50057	A	30	ドイツ語一列②	黒子 葉子	121
	50058	A	31-34	構造化学	角野 浩史	531
	50059	A	37	フランス語一列②	大森 晋輔	122
		A	1-4,35-36	英語二列 W (ALESS)	各教員	各教室
	50032	A	8,12-13	英語中級	岩崎 徹	151
	50033	A	8,12-13	英語中級	平賀 優子	153
	50034	A	8,12-13	英語中級	WILSON BRENDAN	149
	50035	A	8,12-13	英語中級	堀越 庸一郎	101
	50036	A	8,12-13	英語中級	メズールル ジェルマン	K402
	50037	A	8,12-13	英語中級	志子田 祥子	10-203
	50038	A	8,12-13	英語中級	堀田 隆一	102
	50039	A	8,12-13	英語中級	佐藤 光	107
	50040	A	8,12-13	英語中級	バーチュリ セラ ルイーザ	10-201
3 時 限	50083	A	1-4,14,30	構造化学	安池 智一	523
	50084	A	5,19-21,36	図形科学 A	福田 玄明, 植原 賢二	E21
	50085	A1	6-10,12-13	基礎実験Ⅰ (物理学)	物理学実験担当	(実習)
	50086	A1	6-10,12-13	基礎実験Ⅰ (化学)	化学実験担当	(実習)
	60001	A2	6-10,12-13	基礎実験Ⅱ (物理学)	物理学実験担当	(実習)
	60002	A2	6-10,12-13	基礎実験Ⅱ (化学)	化学実験担当	(実習)
	50111	A	29	ドイツ語一列②	石原 あえか	10-308
	50112	A	38	フランス語一列②	中田 健太郎	121
	50113	A	39	フランス語一列②	泉 美知子	106
		A	22,23,25,28,34,37	英語二列 W (ALESS)	各教員	各教室
	50088	A	15-18,31-32	英語中級	堀越 庸一郎	101
	50089	A	15-18,31-32	英語中級	バーチュリ セラ ルイーザ	10-201
	50090	A	15-18,31-32	英語中級	岩崎 徹	151
	50091	A	15-18,31-32	英語中級	佐藤 光	107
	50092	A	15-18,31-32	英語中級	WILSON BRENDAN	149
	50093	A	15-18,31-32	英語中級	石井 クンツ 昌子	104
	50094	A	15-18,31-32	英語中級	メズールル ジェルマン	K402
4 時 限	50156	A	1-5,15	アルゴリズム入門	山口 泰	E21
	50085	A1	6-10,12-13	基礎実験Ⅰ (物理学)	物理学実験担当	(実習)
	50086	A1	6-10,12-13	基礎実験Ⅰ (化学)	化学実験担当	(実習)
	60001	A2	6-10,12-13	基礎実験Ⅱ (物理学)	物理学実験担当	(実習)
	60002	A2	6-10,12-13	基礎実験Ⅱ (化学)	化学実験担当	(実習)
	50169	A	20-23	微分積分学②	松田 茂樹	724
	50170	A	24-27	微分積分学②	足助 太郎	723
	50171	A	28-31	微分積分学②	川又 雄二郎	523
	50172	A	32-35	微分積分学②	WILLOX RALPH	741
	50173	A	36-39	微分積分学②	吉野 太郎	721
		A	19	英語二列 W (ALESS)	各教員	各教室
	50157	A	11	英語中級	石井 クンツ 昌子	104
	50158	A	11	英語中級	バーチュリ セラ ルイーザ	10-201
	50159	A	11	英語中級	山崎 雄史	151
	50160	A	11	英語中級	高橋 和子	10-203
5 時 限	50195	A	4-5	ロシア語一列②	安岡 治子	101

	火曜日					
	時間割 コード	開講 区分	対象クラス	科目名	教員名	教室
1 時 限	50247	A	11-12,24	構造化学	河野 淳也	531
	50248	A	27-29,35	構造化学	真船 文隆	532
	50236	A	21	英語中級	山本 史郎	149
	50237	A	21	英語中級	ギルナー リーア	151
	50238	A	21	英語中級	松本 和子	10-201
	50239	A	21	英語中級	トム・ガリー	153
	50240	A	21	英語中級	リチャード カーター・ホワイト	155
	50241	A	21	英語中級	ノールト デリック	102
2 時 限	50272	A	6,14,20,25,32	アルゴリズム入門	萩谷 昌己	E21
	51258	A		日本語一列②	藤井 聖子	10-205
3 時 限	50337	A	14,17-19,27-28,34-37	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	(実習)
	50383	A	15-16,32-33	図形科学 A	調 陽介, 榎山 ゆりか	E26
	50385	A1	20-23,25-26,29-30	基礎実験Ⅰ (物理学)	物理学実験担当	(実習)
	50386	A1	20-23,25-26,29-30	基礎実験Ⅰ (化学)	化学実験担当	(実習)
	60048	A2	20-23,25-26,29-30	基礎実験Ⅱ (物理学)	物理学実験担当	(実習)
	60049	A2	20-23,25-26,29-30	基礎実験Ⅱ (化学)	化学実験担当	(実習)
	50387	A	31	ドイツ語一列②	高橋 宗五	1311
		A1	6-8	英語二列 S (FLOW)	各教員	各教室
		A2	11-13	英語二列 S (FLOW)	各教員	各教室
	50341	A1	1-5	英語中級	THURGILL JAMES CHRIS	152
	50342	A1	1-5	英語中級	ダルクリーシュ プレガム	103
	50343	A1	1-5	英語中級	リチャード カーター・ホワイト	155
	50344	A1	1-5	英語中級	ライアン ケビン	10-201
	50345	A1	1-5	英語中級	ギルナー リーア	150
	50346	A1	1-5	英語中級	牛村 圭	102
	50347	A1	1-5	英語中級	アンダル, ジャクリン	149
	50348	A1	1-5	英語中級	大堀 壽夫	153
	60024	A2	9-10	英語中級	ダルクリーシュ プレガム	103
	60025	A2	9-10	英語中級	ギルナー リーア	150
	60026	A2	9-10	英語中級	牛村 圭	102
	60027	A2	9-10	英語中級	リチャード カーター・ホワイト	155
	60028	A2	9-10	英語中級	ライアン ケビン	10-201
	60029	A2	9-10	英語中級	大堀 壽夫	153
	60030	A2	9-10	英語中級	THURGILL JAMES CHRIS	152
	60031	A2	9-10	英語中級	アンダル, ジャクリン	149
		A1	9-13	英語一列②	教養英語担当教員	各教室
		A2	1-8	英語一列②	教養英語担当教員	各教室
4 時 限	50458	A	1,17-19	微分積分学②	大場 清	531
	50459	A	2,4-5,8	微分積分学②	斎藤 毅	741
	50460	A	3,11-13	微分積分学②	橋本 義武	723
	50461	A	6-7,9-10	微分積分学②	大坪 紀之	721
	50462	A	14-16	微分積分学②	篠原 克寿	724
	50385	A1	20-23,25-26,29-30	基礎実験Ⅰ (物理学)	物理学実験担当	(実習)
	50386	A1	20-23,25-26,29-30	基礎実験Ⅰ (化学)	化学実験担当	(実習)
	60048	A2	20-23,25-26,29-30	基礎実験Ⅱ (物理学)	物理学実験担当	(実習)
	60049	A2	20-23,25-26,29-30	基礎実験Ⅱ (化学)	化学実験担当	(実習)
	50409	A	24	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	(実習)
	50463	A	27	ドイツ語一列②	久保 哲司	1224
	50464	A	28	ドイツ語一列②	竹峰 義和	1322
		A1	31-33	英語二列 S (FLOW)	各教員	各教室
		A2	38-39	英語二列 S (FLOW)	各教員	各教室
	50417	A1	34-35	英語中級	ライアン ケビン	10-201
	50418	A1	34-35	英語中級	THURGILL JAMES CHRIS	152
	50419	A1	34-35	英語中級	ダルクリーシュ プレガム	103
	50420	A1	34-35	英語中級	アンダル, ジャクリン	149
	50421	A1	34-35	英語中級	ギルナー リーア	150
	50422	A1	34-35	英語中級	Williams David	154
	50423	A1	34-35	英語中級	大堀 壽夫	153
	50424	A1	34-35	英語中級	牛村 圭	102
	50425	A1	34-35	英語中級	リチャード カーター・ホワイト	155
	60071	A2	36-37	英語中級	牛村 圭	102
	60072	A2	36-37	英語中級	ライアン ケビン	10-201
	60073	A2	36-37	英語中級	ダルクリーシュ プレガム	103
	60074	A2	36-37	英語中級	大堀 壽夫	153
	60075	A2	36-37	英語中級	アンダル, ジャクリン	149
	60076	A2	36-37	英語中級	リチャード カーター・ホワイト	155
	60077	A2	36-37	英語中級	Williams David	154
	60078	A2	36-37	英語中級	THURGILL JAMES CHRIS	152
	60079	A2	36-37	英語中級	ギルナー リーア	150
		A1	36-39	英語一列②	教養英語担当教員	各教室
		A2	31-35	英語一列②	教養英語担当教員	各教室
5 時 限	50482	A	1,17-19	線型代数学演習	清野 和彦	531
	50484	A	2,4-5,8	線型代数学演習	土岡 俊介	741
	50486	A	3,11-13	線型代数学演習	片岡 俊孝	723
	50488	A	6-7,9-10	線型代数学演習	若林 泰央	721
	50490	A	14-16	線型代数学演習	牛腸 徹	724
	50491	A	24	英語中級	Williams David	154
	50492	A	24	英語中級	牛村 圭	102
	50493	A	24	英語中級	ライアン ケビン	10-201
	50494	A	24	英語中級	藤尾 美佐	10-205

1 年

理科一類 科類別時間割表

		水曜日				
		時間割 コード	開講 区分	対象クラス	科目名	教員名 教室
1 時 限	50525	A	16		スペイン語一列②	中島 聡子 106
	50526	A	22		中国語一列②	波多野 真矢 157
	50527	A	24		中国語一列②	相原 まり子 162
		A	5,9-10		英語二列W(ALESS)	各教員 各教室
	50522	A	7,33,38		英語中級	松本 和子 10-201
2 時 限	50523	A	7,33,38		英語中級	河合 祥一郎 E42
	50524	A	7,33,38		英語中級	THURGILL JAMES CHRIS 151
	50589	A	1-5,30		電磁気学 A	久我 隆弘 523
	50590	A	1-6,30-39		電磁気学 B	陶山 明 522
	50591	A	6,31-33		電磁気学 A	前田 京剛 524
3 時 限	50592	A	8		イタリア語一列②	宮坂 真紀 102
	50593	A	9,22-23,26,29		アルゴリズム入門	千葉 滋 E26
	50594	A	11		スペイン語一列②	深澤 晴奈 K113
	50595	A	34-36		電磁気学 A	佐野 雅己 531
	50596	A	37-39		電磁気学 A	加藤 岳生 533
4 時 限		A1	15-16		英語二列S(FLOW)	各教員 各教室
		A2	17-18		英語二列S(FLOW)	各教員 各教室
	50548	A1	14		英語中級	ノールト デリック 10-201
	50549	A1	14		英語中級	グレノン イザベル 10-205
	50550	A1	14		英語中級	金 志英 154
5 時 限	50551	A1	14		英語中級	リチャード カナー・初付 155
	50552	A1	14		英語中級	アンデル ジャクリン 156
	50553	A1	14		英語中級	岩佐 将志 166
	50554	A1	14		英語中級	後藤 春美 153
	50555	A1	14		英語中級	西川 杉子 113
6 時 限	60124	A2	19-20		英語中級	後藤 春美 153
	60125	A2	19-20		英語中級	グレノン イザベル 10-205
	60126	A2	19-20		英語中級	金 志英 154
	60127	A2	19-20		英語中級	リチャード カナー・初付 155
	60128	A2	19-20		英語中級	アンデル ジャクリン 156
7 時 限	60129	A2	19-20		英語中級	ノールト デリック 10-201
	60130	A2	19-20		英語中級	西川 杉子 113
	60131	A2	19-20		英語中級	岩佐 将志 166
		A1	17-20		英語一列②	教養英語担当教員 各教室
		A2	14-16		英語一列②	教養英語担当教員 各教室
8 時 限	50665	A1	1-5,14,31,33-35		基礎実験 I (物理学)	物理学実験担当 (実習)
	50667	A1	1-5,14,31,33-35		基礎実験 I (化学)	化学実験担当 (実習)
	60172	A2	1-5,14,31,33-35		基礎実験 II (物理学)	物理学実験担当 (実習)
	60173	A2	1-5,14,31,33-35		基礎実験 II (化学)	化学実験担当 (実習)
	50668	A	6,13,15		構造化学	澁田 靖 533
9 時 限	50622	A	7-8,12,38-39		身体運動・健康科学実習 II	実技担当 (実習)
	50669	A	9-11,37		図形科学 A	奈良 信英 簡 知宏 E21
	50670	A	16-18		構造化学	山口 和也 531
	50671	A	19-20,36		構造化学	真船 文隆 532
	50672	A	32		ドイツ語一列②	稲葉 治朗 152
10 時 限		A1	21,24		英語二列S(FLOW)	各教員 各教室
		A2	29-30		英語二列S(FLOW)	各教員 各教室
	50624	A1	22-23,25		英語中級	ノールト デリック 10-201
	50625	A1	22-23,25		英語中級	グレノン イザベル 10-205
	50626	A1	22-23,25		英語中級	アンデル ジャクリン 156
11 時 限	50627	A1	22-23,25		英語中級	高橋 英海 150
	50628	A1	22-23,25		英語中級	岩佐 将志 166
	50629	A1	22-23,25		英語中級	リチャード カナー・初付 155
	50630	A1	22-23,25		英語中級	ロビンズ・ロジャー 151
	50631	A1	22-23,25		英語中級	西川 杉子 113
12 時 限	60149	A2	26-28		英語中級	ノールト デリック 10-201
	60150	A2	26-28		英語中級	グレノン イザベル 10-205
	60151	A2	26-28		英語中級	ロビンズ・ロジャー 151
	60152	A2	26-28		英語中級	リチャード カナー・初付 155
	60153	A2	26-28		英語中級	高橋 英海 150
13 時 限	60154	A2	26-28		英語中級	アンデル ジャクリン 156
	60155	A2	26-28		英語中級	岩佐 将志 166
	60156	A2	26-28		英語中級	西川 杉子 113
		A1	26-30		英語一列②	教養英語担当教員 各教室
		A2	21-25		英語一列②	教養英語担当教員 各教室
14 時 限	50665	A1	1-5,14,31,33-35		基礎実験 I (物理学)	物理学実験担当 (実習)
	50667	A1	1-5,14,31,33-35		基礎実験 I (化学)	化学実験担当 (実習)
	60172	A2	1-5,14,31,33-35		基礎実験 II (物理学)	物理学実験担当 (実習)
	60173	A2	1-5,14,31,33-35		基礎実験 II (化学)	化学実験担当 (実習)
	50710	A	7-8,10-11		アルゴリズム入門	田中 哲朗 E31
15 時 限	50705	A	9,13,16,29		身体運動・健康科学実習 II	実技担当 (実習)
	50711	A	12,24,27-28,30		図形科学 A	簡 知宏 奈良 信英 E21
	50712	A	17		スペイン語一列②	渡辺 暁 121
	50713	A	18		中国語一列②	伊藤 徳也 511
	50714	A	21,23,25-26		構造化学	齊藤 圭亮 532
16 時 限	50715	A	37-39		構造化学	角野 浩史 531

		木曜日				
		時間割 コード	開講 区分	対象クラス	科目名	教員名 教室
1 時 限						
2 時 限	50785	A	1-3,31-33		身体運動・健康科学実習 II	実技担当 (実習)
	50798	A	4		ロシア語一列②	安岡 治子 106
	50799	A	5		ロシア語一列②	大森 雅子 112
	50803	A	7,23-24,26		電磁気学 A	岸根 順一郎 723
	50804	A	7,9,19,21-24,26-29		電磁気学 B	上野 和紀 521
3 時 限	50805	A	8-9,19,29		電磁気学 A	若本 祐一 523
	50806	A	10		スペイン語一列②	愛場 百合子 1212
	50807	A	12,16-17,37		アルゴリズム入門	地引 昌弘 E31
	50808	A	13,18,34,38		図形科学 A	早川 大地 堀 信英 E21
	50817	A	15		スペイン語一列②	倉田 量介 108
4 時 限	50818	A	21-22,27-28		電磁気学 A	櫻井 博儀 524
	50819	A	25		中国語一列②	下出 宣子 107
	50820	A	35		フランス語一列②	関保 賢一 122
	50821	A	36		フランス語一列②	増田 一夫 155
	50800	A	14,20		英語二列W(ALESS)	各教員 各教室
5 時 限	50801	A	6,30,39		英語中級	小林 薫 150
	50802	A	6,30,39		英語中級	河島 弘美 512
		A	6,30,39		英語中級	戸谷 陽子 151
6 時 限	50843	A	1		ドイツ語一列②	相澤 隆 102
	50844	A	2		フランス語一列②	アルベリック ドリブル 10-202
	50845	A	3		中国語一列②	賈 黎黎 103
	50847	A	4,6		身体運動・健康科学実習 II	実技担当 (実習)
	50872	A	5,8,10		構造化学	中田 真秀 524
7 時 限	50874	A1	11,15-19		基礎実験 I (物理学)	物理学実験担当 (実習)
	50875	A1	11,15-19		基礎実験 I (化学)	化学実験担当 (実習)
	60180	A2	11,15-19		基礎実験 II (物理学)	物理学実験担当 (実習)
	60181	A2	11,15-19		基礎実験 II (化学)	化学実験担当 (実習)
	50876	A	12		スペイン語一列②	若林 大我 162
8 時 限	50877	A	14		スペイン語一列②	川上 英 108
	50878	A	20-23		線型代数学②	海老原 円 724
	50879	A	24-27		線型代数学②	下川 航也 723
	50880	A	28-31		線型代数学②	飯田 正敏 523
	50881	A	32-35		線型代数学②	山崎 満 741
9 時 限	50882	A	36-39		線型代数学②	梶原 健 721
10 時 限	50913	A	7		イタリア語一列②	山崎 彩 151
	50914	A	9		スペイン語一列②	若林 大我 162
	50874	A1	11,15-19		基礎実験 I (物理学)	物理学実験担当 (実習)
	50875	A1	11,15-19		基礎実験 I (化学)	化学実験担当 (実習)
	60180	A2	11,15-19		基礎実験 II (物理学)	物理学実験担当 (実習)
11 時 限	60181	A2	11,15-19		基礎実験 II (化学)	化学実験担当 (実習)
	50915	A	13		スペイン語一列②	中島 聡子 106
	50917	A	20-23		線型代数学演習	海老原 円 724
	50919	A	24-27		線型代数学演習	片岡 俊孝 723
	50921	A	28-31		線型代数学演習	清野 和彦 523
12 時 限	50923	A	32-35		線型代数学演習	山崎 満 741
	50925	A	36-39		線型代数学演習	梶原 健 721
13 時 限						
14 時 限						
15 時 限						
16 時 限						

1 年

理科一類 科類別時間割表

金曜日						
	時間割 コード	開講 区分	対象クラス	科目名	教員名	教室
1 時 限	50992	A	13,36,38-39	アルゴリズム入門	中山 英樹	E21
	50993	A	19	中国語一列②	小方 伴子	104
	50986	A	29	英語中級	田尻 芳樹	150
	50987	A	29	英語中級	田中 伸一	151
	50988	A	29	英語中級	井上 博之	106
	50989	A	29	英語中級	清水 徹郎	K303
	50990	A	29	英語中級	河合 祥一郎	E42
	50991	A	29	英語中級	ボター サイモン	102
2 時 限	51262	A		日本語一列②	藤井 聖子	10-205
3 時 限	51076	A	1,17-19	線型代数学②	大田 佳宏	531
	51077	A	2,4-5,8	線型代数学②	戸瀬 信之	741
	51078	A	3,11-13	線型代数学②	高木 俊輔	723
	51079	A	6-7,9-10	線型代数学②	白石 潤一	721
	51080	A	14-16	線型代数学②	関口 英子	724
	51081	A	20	中国語一列②	奥山 望	152
	51082	A	21,30-31,33	アルゴリズム入門	山口 和紀	E26
	51083	A	22,25-26,35	図形科学 A	田中 一郎, 山下 典理男	E31
	51084	A	23	中国語一列②	李 彦銘	156
	51085	A1	24,27-28,32,36-39	基礎実験 I (物理学)	物理学実験担当	(実習)
	51087	A1	24,27-28,32,36-39	基礎実験 I (化学)	化学実験担当	(実習)
	60189	A2	24,27-28,32,36-39	基礎実験 II (物理学)	物理学実験担当	(実習)
	60190	A2	24,27-28,32,36-39	基礎実験 II (化学)	化学実験担当	(実習)
	51088	A	34	フランス語一列②	石橋 正孝	121
4 時 限	51128	A	1-4,6-8,31	図形科学 A	山下 典理男, 田中 一郎	E31
	51129	A	10-11	電磁気学 A	年吉 洋	523
	51130	A	10-18,20,25	電磁気学 B	齋藤 晴雄	521
	51131	A	12-13,20	電磁気学 A	秋山 英文	531
	51132	A	14-15,25	電磁気学 A	町田 友樹	533
	51133	A	16-18	電磁気学 A	國場 敦夫	723
	51134	A	19,34-35	アルゴリズム入門	羽山 博	E26
	51135	A	21	中国語一列②	奥山 望	152
	51124	A	22-23,30	身体運動・健康科学実習 II	実技担当	(実習)
	51085	A1	24,27-28,32,36-39	基礎実験 I (物理学)	物理学実験担当	(実習)
	51087	A1	24,27-28,32,36-39	基礎実験 I (化学)	化学実験担当	(実習)
	60189	A2	24,27-28,32,36-39	基礎実験 II (物理学)	物理学実験担当	(実習)
	60190	A2	24,27-28,32,36-39	基礎実験 II (化学)	化学実験担当	(実習)
	51136	A	26	ドイツ語一列②	工藤 達也	158
	51137	A	33	ドイツ語一列②	畠山 寛	157
5 時 限						

1年 理科二類・三類 科類別時間割表

	月曜日						
	時間割 コード	開講 区分	対象クラス	科目名	教員名	教室	
1 時 限	50001	A	1-10	アルゴリズム入門	森畑 明昌	E21	
2 時 限	50060	A	1-6,13	構造化学	村田 昌之	524	
	50061	A	9	スペイン語一列②	深澤 晴奈	K113	
	50062	A	10	スペイン語一列②	宮地 隆廣	1212	
	50063	A	14-17	微分積分学②	山浦 義彦	724	
	50064	A	18-20	微分積分学②	緒方 芳子	741	
	50065	A	21-24	微分積分学②	今井 直毅	723	
3 時 限	50114	A1	1-3,6-8 奇数	基礎物理学実験	物理学実験担当	(実習)	
	50115	A1	1-3,6-8 偶数	基礎化学実験	化学実験担当	(実習)	
	60003	A2	1-3,6-8 偶数	基礎物理学実験	物理学実験担当	(実習)	
	60004	A2	1-3,6-8 奇数	基礎化学実験	化学実験担当	(実習)	
	50116	A	10-12	構造化学	青木 優	524	
	50118	A	14-17	線型代数学演習	中村 勇哉	724	
	50120	A	18-20	線型代数学演習	間瀬 崇史	741	
	50122	A	21-24	線型代数学演習	田中 雄一郎	723	
4 時 限	50114	A1	1-3,6-8 奇数	基礎物理学実験	物理学実験担当	(実習)	
	50115	A1	1-3,6-8 偶数	基礎化学実験	化学実験担当	(実習)	
	60003	A2	1-3,6-8 偶数	基礎物理学実験	物理学実験担当	(実習)	
	60004	A2	1-3,6-8 奇数	基礎化学実験	化学実験担当	(実習)	
	50174	A	9-10,14,16	生命科学Ⅱ	渡邊 雄一郎	1101	
	50175	A	12	スペイン語一列②	竹村 文彦	106	
	50176	A	17-18,21-22	生命科学Ⅱ	豊島 陽子	1102	
	50177	A	19	ドイツ語一列②	山本 潤	108	
		A	13,15	英語二列W(ALESS)	各教員	各教室	
	50157	A	5,23-24	英語中級	石井 クンツ 昌子	104	
	50158	A	5,23-24	英語中級	バーチェリ セーラ ルイーザ	10-201	
	50159	A	5,23-24	英語中級	山崎 雄史	151	
	50160	A	5,23-24	英語中級	高橋 和子	10-203	
	5 時 限	50195	A	4	ロシア語一列②	安岡 治子	101
		50196	A	11-17	アルゴリズム入門	伊知地 宏	E21

	火曜日						
	時間割 コード	開講 区分	対象クラス	科目名	教員名	教室	
1 時 限	50249	A	7-8.15	構造化学	青木 優	524	
		A	17-18	英語二列W (ALESS)	各教員	各教室	
	50236	A	16	英語中級	山本 史郎	149	
	50237	A	16	英語中級	ギルナー リーア	151	
	50238	A	16	英語中級	松本 和子	10-201	
	50239	A	16	英語中級	トム・ガリー	153	
	50240	A	16	英語中級	リチャード カーナー・初任	155	
50241	A	16	英語中級	ノールト デリック	102		
2 時 限	50273	A	1-14	図形科学A	横山 ゆりか, 吉岡 昌介	E26	
	51258	A		日本語一列②	藤井 聖子	10-205	
3 時 限	50388	A	9.14,19-20	構造化学	小安 喜一郎	532	
	50389	A1	11.13.15.17 奇数	基礎物理学実験	物理学実験担当	(実習)	
	50390	A1	11.13.15.17 偶数	基礎化学実験	化学実験担当	(実習)	
	60050	A2	11.13.15.17 偶数	基礎物理学実験	物理学実験担当	(実習)	
	60051	A2	11.13.15.17 奇数	基礎化学実験	化学実験担当	(実習)	
	50391	A	21-24	構造化学	長谷川 宗良	531	
		A1	5-6	英語二列S(FLOW)	各教員	各教室	
		A2	8	英語二列S(FLOW)	各教員	各教室	
	50341	A1	1-4	英語中級	THURGILL JAMES CHRIS	152	
	50342	A1	1-4	英語中級	ダググリーシュ プレガム	103	
	50343	A1	1-4	英語中級	リチャード カーナー・初任	155	
	50344	A1	1-4	英語中級	ライアン ケビン	10-201	
	50345	A1	1-4	英語中級	ギルナー リーア	150	
	50346	A1	1-4	英語中級	牛村 圭	102	
	50347	A1	1-4	英語中級	アンダル, ジャクリン	149	
	50348	A1	1-4	英語中級	大堀 壽夫	153	
	60024	A2	7	英語中級	ダググリーシュ プレガム	103	
	60025	A2	7	英語中級	ギルナー リーア	150	
	60026	A2	7	英語中級	牛村 圭	102	
	60027	A2	7	英語中級	リチャード カーナー・初任	155	
	60028	A2	7	英語中級	ライアン ケビン	10-201	
	60029	A2	7	英語中級	大堀 壽夫	153	
	60030	A2	7	英語中級	THURGILL JAMES CHRIS	152	
	60031	A2	7	英語中級	アンダル, ジャクリン	149	
		A1	7-8	英語一列②	教養英語担当教員	各教室	
		A2	1-6	英語一列②	教養英語担当教員	各教室	
	4 時 限	50409	A	1-3,7,8,12,14,16,18	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	(実習)
		50465	A	4	ロシア語一列②	乗松 亨平	1312
		50466	A	5	韓国朝鮮語一列②	齊藤 良子	1321
		50467	A	6	イタリア語一列②	宮坂 真紀	108
		50389	A1	11.13.15.17 奇数	基礎物理学実験	物理学実験担当	(実習)
		50390	A1	11.13.15.17 偶数	基礎化学実験	化学実験担当	(実習)
		60050	A2	11.13.15.17 偶数	基礎物理学実験	物理学実験担当	(実習)
60051		A2	11.13.15.17 奇数	基礎化学実験	化学実験担当	(実習)	
		A1	21	英語二列S(FLOW)	各教員	各教室	
		A2	23-24	英語二列S(FLOW)	各教員	各教室	
50417		A1	20	英語中級	ライアン ケビン	10-201	
50418		A1	20	英語中級	THURGILL JAMES CHRIS	152	
50419		A1	20	英語中級	ダググリーシュ プレガム	103	
50420		A1	20	英語中級	アンダル, ジャクリン	149	
50421		A1	20	英語中級	ギルナー リーア	150	
50422		A1	20	英語中級	Williams David	154	
50423		A1	20	英語中級	大堀 壽夫	153	
50424		A1	20	英語中級	牛村 圭	102	
50425		A1	20	英語中級	リチャード カーナー・初任	155	
60071		A2	22	英語中級	牛村 圭	102	
60072		A2	22	英語中級	ライアン ケビン	10-201	
60073		A2	22	英語中級	ダググリーシュ プレガム	103	
60074		A2	22	英語中級	大堀 壽夫	153	
60075		A2	22	英語中級	アンダル, ジャクリン	149	
60076		A2	22	英語中級	リチャード カーナー・初任	155	
60077		A2	22	英語中級	Williams David	154	
60078		A2	22	英語中級	THURGILL JAMES CHRIS	152	
60079		A2	22	英語中級	ギルナー リーア	150	
		A1	22-24	英語一列②	教養英語担当教員	各教室	
		A2	20-21	英語一列②	教養英語担当教員	各教室	
5 時 限	50495	A	8	スペイン語一列②	深澤 晴奈	K113	
	50491	A	12.14.19	英語中級	Williams David	154	
	50492	A	12.14.19	英語中級	牛村 圭	102	
	50493	A	12.14.19	英語中級	ライアン ケビン	10-201	
	50494	A	12.14.19	英語中級	藤尾 美佐	10-205	

1 年

理科二類・三類 科類別時間割表

水曜日						
	時間割 コード	開講 区分	対象クラス	科目名	教員名	教室
1 時 限	50528	A	1-7	線型代数学②	植野 義明	721
	50529	A	8-10	線型代数学②	寺田 至	523
	50530	A	11-13	線型代数学②	谷口 健二	524
	50531	A	14-17	線型代数学②	志甫 淳	724
	50532	A	18-20	線型代数学②	小林 正典	741
	50533	A	21-24	線型代数学②	北山 貴裕	723
2 時 限	50590	A	1-4,19-20,22,24	電磁気学B	陶山 明	522
	50597	A	1-3,19-20	電磁気学A	森松 治	532
	50598	A	4,22,24	電磁気学A	大井 万紀人	721
	50599	A	7	スペイン語一列②	川崎 義史	1212
	50600	A	15	中国語一列②	波多野 真矢	157
	50601	A	16	中国語一列②	村田 雄二郎	164
	50602	A	17	ドイツ語一列②	高橋 亮介	1222
	50603	A	18	ドイツ語一列②	長木 誠司	108
		A1	11	英語二列S(FLOW)	各教員	各教室
		A2	12,14	英語二列S(FLOW)	各教員	各教室
	50548	A1	9-10	英語中級	ノールト デリック	10-201
	50549	A1	9-10	英語中級	グレノン イザベル	10-205
	50550	A1	9-10	英語中級	金 志英	154
	50551	A1	9-10	英語中級	リチャード カーター・ホワイト	155
	50552	A1	9-10	英語中級	アンダル ジャクリン	156
	50553	A1	9-10	英語中級	岩佐 将志	166
	50554	A1	9-10	英語中級	後藤 春美	153
	50555	A1	9-10	英語中級	西川 杉子	113
	60124	A2	13	英語中級	後藤 春美	153
	60125	A2	13	英語中級	グレノン イザベル	10-205
	60126	A2	13	英語中級	金 志英	154
	60127	A2	13	英語中級	リチャード カーター・ホワイト	155
	60128	A2	13	英語中級	アンダル ジャクリン	156
	60129	A2	13	英語中級	ノールト デリック	10-201
	60130	A2	13	英語中級	西川 杉子	113
	60131	A2	13	英語中級	岩佐 将志	166
		A1	12-14	英語一列②	教養英語担当教員	各教室
		A2	9-11	英語一列②	教養英語担当教員	各教室
3 時 限	50673	A	1-7	微分積分学②	林 修平	721
	50674	A	8-10	微分積分学②	岡崎 龍太郎	523
	50675	A	11-13	微分積分学②	宮本 安人	524
	50676	A1	14,20-23 奇数	基礎物理学実験	物理学実験担当	(実習)
	50677	A1	14,20-23 偶数	基礎化学実験	化学実験担当	(実習)
	60174	A2	14,20-23 偶数	基礎物理学実験	物理学実験担当	(実習)
	60175	A2	14,20-23 奇数	基礎化学実験	化学実験担当	(実習)
	50622	A	24	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	(実習)
		A1	16	英語二列S(FLOW)	各教員	各教室
		A2	19	英語二列S(FLOW)	各教員	各教室
	50624	A1	15,17	英語中級	ノールト デリック	10-201
	50625	A1	15,17	英語中級	グレノン イザベル	10-205
	50626	A1	15,17	英語中級	アンダル ジャクリン	156
	50627	A1	15,17	英語中級	高橋 英海	150
	50628	A1	15,17	英語中級	岩佐 将志	166
	50629	A1	15,17	英語中級	リチャード カーター・ホワイト	155
	50630	A1	15,17	英語中級	ロビンズ・ロジャー	151
	50631	A1	15,17	英語中級	西川 杉子	113
	60149	A2	18	英語中級	ノールト デリック	10-201
	60150	A2	18	英語中級	グレノン イザベル	10-205
	60151	A2	18	英語中級	ロビンズ・ロジャー	151
	60152	A2	18	英語中級	リチャード カーター・ホワイト	155
	60153	A2	18	英語中級	高橋 英海	150
	60154	A2	18	英語中級	アンダル ジャクリン	156
	60155	A2	18	英語中級	岩佐 将志	166
	60156	A2	18	英語中級	西川 杉子	113
		A1	18-19	英語一列②	教養英語担当教員	各教室
		A2	15-17	英語一列②	教養英語担当教員	各教室
4 時 限	50717	A	1-7	線型代数学演習	片岡 俊孝	721
	50719	A	8-10	線型代数学演習	柏原 崇人	523
	50721	A	11-13	線型代数学演習	牛腸 徹	524
	50676	A1	14,20-23 奇数	基礎物理学実験	物理学実験担当	(実習)
	50677	A1	14,20-23 偶数	基礎化学実験	化学実験担当	(実習)
	60174	A2	14,20-23 偶数	基礎物理学実験	物理学実験担当	(実習)
	60175	A2	14,20-23 奇数	基礎化学実験	化学実験担当	(実習)
	50705	A	17	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	(実習)
5 時 限						

木曜日						
	時間割 コード	開講 区分	対象クラス	科目名	教員名	教室
1 時 限	50768	A	15-24	図形科学A	奈尾 信美 早川 大地	E21
2 時 限	50785	A	20	英語二列W(ALESS)	各教員	各教室
	50804	A	4-6,9-11	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	(実習)
	50804	A	7-8,12-14,16-18	電磁気学B	上野 和紀	521
	50822	A	7,17-18	電磁気学A	下村 裕	531
	50823	A	8,14,16	電磁気学A	富谷 光良	721
	50824	A	12-13	電磁気学A	遠山 満	533
	50825	A	22	フランス語一列②	中野 知律	113
3 時 限	50843	A	1	ドイツ語一列②	相澤 隆	102
	50844	A	2	フランス語一列②	アルベリック ドリブル	10-202
	50845	A	3	中国語一列②	賈 黎黎	103
	50883	A1	4-5,9-10,24 奇数	基礎物理学実験	物理学実験担当	(実習)
	50884	A1	4-5,9-10,24 偶数	基礎化学実験	化学実験担当	(実習)
	60182	A2	4-5,9-10,24 偶数	基礎物理学実験	物理学実験担当	(実習)
	60183	A2	4-5,9-10,24 奇数	基礎化学実験	化学実験担当	(実習)
	50885	A	11	スペイン語一列②	中島 聡子	106
	50847	A	13,19-23	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	(実習)
	50886	A	16-18	構造化学	橋本 健朗	531
4 時 限	50883	A1	4-5,9-10,24 奇数	基礎物理学実験	物理学実験担当	(実習)
	50884	A1	4-5,9-10,24 偶数	基礎化学実験	化学実験担当	(実習)
	60182	A2	4-5,9-10,24 偶数	基礎物理学実験	物理学実験担当	(実習)
	60183	A2	4-5,9-10,24 奇数	基礎化学実験	化学実験担当	(実習)
	50926	A	23	フランス語一列②	坂本 さやか	121
5 時 限						

1 年

理科二類・三類 科類別時間割表

	金曜日					
	時間割 コード	開講 区分	対象クラス	科目名	教員名	教室
1 時 限	50994	A	8,11-12,15	生命科学Ⅱ	道上 達男	524
	50995	A	19-20,23-24	生命科学Ⅱ	大杉 美穂	1101
	50986	A	6,21	英語中級	田尻 芳樹	150
	50987	A	6,21	英語中級	田中 伸一	151
	50988	A	6,21	英語中級	井上 博之	106
	50989	A	6,21	英語中級	清水 徹郎	K303
	50990	A	6,21	英語中級	河合 祥一郎	E42
	50991	A	6,21	英語中級	ポター サイモン	102
2 時 限	51003	A	13	中国語一列②	田原 史起	102
	51004	A	18-24	アルゴリズム入門	対馬 かなえ	E21
	51262	A		日本語一列②	藤井 聖子	10-205
3 時 限	51089	A	1-7,13	生命科学Ⅱ	大杉 美穂	1101
	51096	A1	12,16,18-19 奇数	基礎物理学実験	物理学実験担当	(実習)
	51097	A1	12,16,18-19 偶数	基礎化学実験	化学実験担当	(実習)
	60191	A2	12,16,18-19 偶数	基礎物理学実験	物理学実験担当	(実習)
	60192	A2	12,16,18-19 奇数	基礎化学実験	化学実験担当	(実習)
	51098	A	14	中国語一列②	石井 剛	112
	51059	A	15	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	(実習)
	51099	A	21	フランス語一列②	飛嶋 隆信	149
	51100	A	24	フランス語一列②	斎藤 かぐみ	101
		A	9-10	英語二列W(ALESS)	各教員	各教室
	51068	A	8,11	英語中級	大橋 理枝	151
	51069	A	8,11	英語中級	ミルズ アンソニー	10-303
	51070	A	8,11	英語中級	清水 徹郎	K303
	51071	A	8,11	英語中級	ポター サイモン	102
	51122	A	8,11	英語中級	佐竹 晶子	153
4 時 限	51130	A	5-6,9-11,15,21,23	電磁気学B	斎藤 晴雄	521
	51146	A	5-6,9-10	電磁気学A	藤山 茂樹	524
	51147	A	11,15,21,23	電磁気学A	松田 恭幸	721
	51096	A1	12,16,18-19 奇数	基礎物理学実験	物理学実験担当	(実習)
	51097	A1	12,16,18-19 偶数	基礎化学実験	化学実験担当	(実習)
	60191	A2	12,16,18-19 偶数	基礎物理学実験	物理学実験担当	(実習)
	60192	A2	12,16,18-19 奇数	基礎化学実験	化学実験担当	(実習)
		A	1-4,7,22	英語二列W(ALESS)	各教員	各教室
	51148	A	20	ドイツ語一列②	竹峰 義和	155
5 時 限						

総合科目等時間割表

L：言語・コミュニケーション A：思想・芸術 B：国際・地域 C：社会・制度 D：人間・環境 E：物質・生命 F：数理・情報

開講 曜限	時間割 コード	開講 区分	系	授業科目名	担当教員名・所属	教室
月1	50007	A	L	ドイツ語初級（演習）	森井 裕一 ドイツ語	149
月1	50009	A	L	フランス語初級（インテンシヴ）	アガエス ジュリアン フランス語・イタリア語	10-203
月1	50004	A	L	中国語初級（会話）	林 立梅 中国語	152
月1	50005	A	L	スペイン語初級（第三外国語）	栗林 ゆき絵 スペイン語	105
月1	50006	A	L	韓国朝鮮語上級（会話）	ジ ミンギョン 韓国朝鮮語	103
月1	51256	A 1	L	日本語上級	宇佐美 洋 日本語	154
月1	60199	A 2	L	日本語上級	宇佐美 洋 日本語	154
月1	50010	A	L	古典語初級（ラテン語）Ⅱ	井上 秀太郎 古典語・地中海諸言語	150
月1	50011	A	A	記号論理学Ⅱ	岡本 賢吾 哲学・科学史	524
月1	50012	A	A	科学史	東 慎一郎 哲学・科学史	521
月1	50013	A	D	スポーツ・身体運動実習	実技担当 スポーツ・身体運動	（実習）
月1	60237	A 2	D	食糧と環境	根本 圭介 農学部	511
月1	50014	A	E	統計物理学	福島 孝治 物理	523
月1	51362	A	E	物質・生命工学基礎Ⅱ	長汐 晃輔 工学部	158
月1	50015	A 1	E	現代生命科学Ⅱ（文科生、理一生）	池内 昌彦 生物	1212
月1	51363	A	F	情報システム基礎Ⅱ	三田 吉郎 工学部	1321
月1	51312	A		全学自由研究ゼミナール 微分積分学から理解する現代数学の必須概念・ルベグ積分とソボレフ空間	米田 剛 数理学研究科	115
月2	50074	A	L	中国語中級（演習）	鍾 非 中国語	155
月2	50075	A	L	ロシア語中級（読解）	丸山 由紀子 ロシア語	1221
月2	50078	A	L	イタリア語初級（第三外国語）	野里 紳一郎 フランス語・イタリア語	164
月2	50079	A	L	古典語中級（ラテン語）Ⅱ	井上 秀太郎 古典語・地中海諸言語	8-416
月2	50080	A	C	教育臨床心理学	石垣 琢磨 心理・教育学	1101
月2	50081	A	D	健康スポーツ医学	福井 尚志 スポーツ・身体運動	K212
月2	50082	A	D	情報メディア表現論	池尻 良平 情報学環	521
月3	50142	A	L	中国語初級（第三外国語）	河野 直恵 中国語	162
月3	50143	A	L	スペイン語上級（会話）	ロサレス バトリシア スペイン語	112
月3	51494	A	A	思想・芸術Ⅰ（PEAK）	高橋 英海 PEAK前期	K302
月3	50144	A	D	スポーツ・身体運動実習	実技担当 スポーツ・身体運動	（実習）

開講 曜限	時間割 コード	開講 区分	系	授業科目名	担当教員名・所属	教室
月4	51393	A		人文科学ゼミナール（歴史学）	守川 知子 文学部	118
月4	50185	A		自然科学ゼミナール（身体運動科学）	石井 直方 スポーツ・身体運動	K402
月4	50187	A	L	ドイツ語中級（作文）	グイド ラッペ ドイツ語	516
月4	51483	A	C	経済・統計（PEAK）	Griffen Andrew Shields PEAK前期	K303
月4	50192	A	D	社会生態学	松原 宏 人文地理学	K011
月4	50193	A	D	人間行動基礎論（理科生）	今井 久登 心理・教育学	1313
月4	51288	A		学術フロンティア講義 生命の宿る星を宇宙にさがす	生駒 大洋 理学部	164
月4	51301	A		全学自由研究ゼミナール 湾岸諸国の社会とジェンダー	辻上 奈美江 教養学部	158
月5	51396	A		社会科学ゼミナール（法・政治）	大串 和雄 法学部	120
月5	51475	A		人文科学ゼミナール（テキスト分析）	郷原 佳以 フランス語・イタリア語	116
月5	60239	A 2		自然科学ゼミナール（基礎工学）	横関 智弘 工学部	K302
月5	51399	A		自然科学ゼミナール（生命科学）	和田 洋一郎 アイソトープ総合センター	515
月5	50200	A	L	ドイツ語初級（演習）	三宅 晶子 ドイツ語	115
月5	50214	A	L	ドイツ語初級（インテンシヴ）	I・カウフマン ドイツ語	10-102
月5	50201	A	L	ドイツ語中級（会話）	クリスティアン クリンク ドイツ語	K114
月5	50203	A	L	フランス語初級（表現練習）	ファイフ ベアトリクス フランス語・イタリア語	10-103
月5	50205	A	L	フランス語初級（インテンシヴ）	アガエス ジュリアン フランス語・イタリア語	10-203
月5	50215	A	L	フランス語初級（インテンシヴ）	アルベリック ドリブル フランス語・イタリア語	10-202
月5	50204	A	L	フランス語初級（インテンシヴ）	デルヴロワ ミカエル フランス語・イタリア語	108
月5	50206	A	L	フランス語初級（第三外国語）	中田 健太郎 フランス語・イタリア語	K113
月5	50207	A	L	中国語初級（作文）	賈 黎黎 中国語	103
月5	50208	A	L	ロシア語初級（インテンシヴ）	乗松 亨平 ロシア語	151
月5	50210	A	L	スペイン語中級（演習）	ガルシア ルイス カステイージョ スペイン語	149
月5	50209	A	L	スペイン語初級（インテンシヴ）	イサベル カルロス スペイン語	112
月5	50212	A	L	韓国朝鮮語中級（第三外国語）	ジ ミンギョン 韓国朝鮮語	157
月5	50211	A	L	韓国朝鮮語初級（インテンシヴ）	金 亨貞 韓国朝鮮語	153
月5	50216	A	L	台湾語初級（第三外国語）	王 嵐 中国語	105
月5	60200	A 2	L	日本語上級	大久保 雅子 日本語	10-201

開講 曜限	時間割 コード	開講 区分	系	授業科目名	担当教員名・所属	教室
月5	51257	A 1	L	日本語上級	大久保 雅子 日本語	10-201
月5	50217	A	L	古典語初級（ラテン語）Ⅱ	筒井 賢治 古典語・地中海諸言語	118
月5	50218	A	A	言語比較論	森 芳樹 言語情報科学専攻	K301
月5	51193	A	A	精神分析学	原 和之 哲学・科学史	121
月5	50219	A	A	映画論	刈間 文俊 超域文化科学専攻	18号館 ホール
月5	50220	A	A	比較文学	佐藤 光 超域文化科学専攻	K213
月5	50221	A	B	歴史社会論	二宮 文子 歴史学	107
月5	50222	A	B	世界史論	松原 宏之 歴史学	162
月5	50223	A	C	現代社会論	丹羽 美之 社会・社会思想史	1106
月5	51490	A	C	社会・制度Ⅰ（PEAK）	NOBLE GREGORY WILLIA PEAK前期	K112
月5	50224	A	D	地球環境論	後藤 則行 国際関係	521
月5	50225	A	D	地域生態学	永田 淳嗣 人文地理学	516
月5	50226	A	D	認知脳科学	石金 浩史 心理・教育学	1313
月5	50227	A	D	スポーツ・身体運動実習	実技担当 スポーツ・身体運動	（実習）
月5	51364	A	D	現代工学基礎Ⅰ	泉 聡志 工学部	K212
月5	51365	A	D	環境・エネルギー工学基礎Ⅱ	松島 潤 工学部	513
月5	50228	A	E	解析力学	加藤 光裕 物理	532
月5	50229	A	E	進化学	青木 誠志郎 生物	1322
月5	50230	A 1	E	現代生命科学Ⅰ（文科生、理一生）	石丸 喜朗 生物	1311
月5	51387	A	E	応用動物科学Ⅱ	堀本 泰介 農学部	522
月5	50231	A	E	生物物理学	矢島 潤一郎 統合自然科学科	1212
月5	50232	A	F	統計データ解析Ⅰ	小池 祐太 数学	E41
月5	50233	A	F	基礎統計	佐藤 俊樹 経済・統計	1108
月5	51366	A	F	情報・システム工学概論	峯松 信明 工学部	158
月5	51244	A		学術フロンティア講義 文化資源、文化遺産、世界遺産	美馬 秀樹 教養教育高度化機構	レクチャー ホール
月5	51344	A		学術フロンティア講義 化学システム工学で拓く未来のものづくり	杉山 弘和 工学部	164
月5	51289	A		全学自由研究ゼミナール 地球惑星環境学	田近 英一 理学部	150
月5	51286	A 1		全学自由研究ゼミナール 生産組織の経済史	岡崎 哲二 経済学部	117

開講 曜限	時間割 コード	開講 区分	系	授業科目名	担当教員名・所属	教室
月5	51309	A		全学自由研究ゼミナール インターネットガバナンスの最前線を追う	一井 信吾 数理科学研究科	E35
月5	51311	A		全学自由研究ゼミナール 対称群の表現論	松本 久義 数理科学研究科	シラバス 参照
月6	51302	A		全学自由研究ゼミナール 実践的プログラミング	金子 知適 情報・図形	E38
火1	50266	A	L	ロシア語初級（インテンシヴ）	ゴロウィナ クセーニヤ ロシア語	152
火1	50265	A	L	イタリア語初級（演習）	アンドレア チヴィーレ フランス語・イタリア語	K301
火1	50264	A	L	イタリア語初級（演習）	アンドレア チヴィーレ フランス語・イタリア語	K301
火1	50262	A	L	韓国朝鮮語初級（第三外国語）	張 銀英 韓国朝鮮語	103
火1	50263	A	L	韓国朝鮮語中級（インテンシヴ）	ジ ミンギョン 韓国朝鮮語	156
火1	50267	A	L	古典語初級（サンスクリット語）Ⅱ	高橋 晃一 古典語・地中海諸言語	150
火1	50268	A	D	生態学	伊藤 元己 生物	512
火1	50269	A	D	スポーツ・身体運動実習	実技担当 スポーツ・身体運動	（実習）
火1	50270	A	D	身体運動メカニクス	吉岡 伸輔 スポーツ・身体運動	1322
火1	51476	A		全学自由研究ゼミナール （PEAK）Wild Law and Earth Jurisprudence : A Critical Introduction to Global Environmental Governance	ジロドウ イザベル PEAK前期	515
火2	50277	A		社会科学ゼミナール（社会・社会思想史）	市野川 容孝 社会・社会思想史	119
火2	50276	A		社会科学ゼミナール（国際関係）	古城 佳子 国際関係	117
火2	50278	A		人文科学ゼミナール（歴史学）	桜井 英治 歴史学	116
火2	50279	A		人文科学ゼミナール（テキスト分析）	中尾 まさみ 英語	515
火2	51401	A		自然科学ゼミナール（数理科学）	小木曾 啓示 数理科学研究科	105
火2	51402	A 1		自然科学ゼミナール（医学）	江頭 正人 医学部	K402
火2	51559	A		自然科学ゼミナール（PEAK）	前田 章 PEAK前期	120
火2	50281	A	L	英語中級	伊藤 たかね 英語	151
火2	50282	A	L	英語上級	高橋 英海 英語	154
火2	50280	A	L	英語中級	ベティート ジョシュア 英語	157
火2	50283	A	L	ドイツ語初級（インテンシヴ）	I・カウフマン ドイツ語	10-202
火2	50298	A	L	ドイツ語初級（インテンシヴ）	クリスティアン クリンク ドイツ語	K114
火2	50284	A	L	ドイツ語中級（演習）	香田 芳樹 ドイツ語	1221
火2	50285	A	L	ドイツ語上級（演習）	識名 章喜 ドイツ語	158

開講 曜限	時間割 コード	開講 区分	系	授業科目名	担当教員名・所属	教室
火2	50300	A	L	フランス語初級（演習）	増田 一夫 フランス語・イタリア語	K302
火2	50299	A	L	フランス語初級（演習）	桑田 光平 フランス語・イタリア語	K301
火2	50286	A	L	フランス語初級（会話）	クーショ、エルヴェ フランス語・イタリア語	10-102
火2	50287	A	L	フランス語中級（演習）	DE VOS PATRICK HENRI フランス語・イタリア語	106
火2	50288	A	L	フランス語中級（読解）	中島 ひかる フランス語・イタリア語	102
火2	50289	A	L	中国語初級（演習）	李 洵 中国語	149
火2	50290	A	L	中国語初級（インテンシヴ）	毛 興華 中国語	156
火2	50303	A	L	中国語初級（インテンシヴ）	王 前 中国語	112
火2	50304	A	L	中国語初級（インテンシヴ）	白 春花 中国語	113
火2	50292	A	L	中国語中級（会話）	劉 岸麗 中国語	153
火2	50291	A	L	中国語中級（演習）	秋山 珠子 中国語	107
火2	50293	A	L	中国語上級（読解）	石井 剛 中国語	516
火2	50294	A	L	韓国朝鮮語初級（第三外国語）	岩井 智彦 韓国朝鮮語	10-304
火2	50295	A	L	韓国朝鮮語初級（第三外国語）	金 亨貞 韓国朝鮮語	101
火2	50296	A	L	韓国朝鮮語中級（表現練習）	根本 理恵 韓国朝鮮語	10-101
火2	50297	A	L	イタリア語初級（インテンシヴ）	アンドレア チヴィーレ フランス語・イタリア語	155
火2	50305	A	L	アラビア語初級（会話）	エベード イハープ 古典語・地中海諸言語	K401
火2	50306	A	L	広東語初級（第三外国語）	谷垣 真理子 中国語	115
火2	50307	A	L	ペルシア語初級（第三外国語）	前田 君江 中国語	518
火2	50308	A	L	モンゴル語初級（第三外国語）	荒井 幸康 中国語	118
火2	51182	A	L	古典語初級（ラテン語）Ⅱ	Hermann Gottschewski ドイツ語	学際交流 ホール
火2	50309	A	A	言語態理論	郷原 佳以 言語情報科学専攻	517
火2	50310	A	A	演劇論Ⅰ	松岡 心平 超域文化科学専攻	K113
火2	50311	A	A	演劇論Ⅱ	高橋 宗五 超域文化科学専攻	1102
火2	51183	A	A	比較思想	大石 紀一郎 超域文化科学専攻	8-205
火2	50312	A	B	国際関係論	鶴見 太郎 国際関係	531
火2	50313	A	B	国際関係史	酒井 哲哉 国際関係	1232
火2	50314	A	B	現代国際社会論	石井 梨紗子 国際関係	1225

開講 曜限	時間割 コード	開講 区分	系	授業科目名	担当教員名・所属	教室
火2	50315	A	B	歴史と文化	岩本 通弥 歴史学	1212
火2	50316	A	B	文化人類学 I	田辺 明生 文化人類学	511
火2	50317	A	C	計量社会科学	清水 剛 経済・統計	K011
火2	60234	A 2	C	教育社会科学	村上 祐介 教育学部	522
火2	50318	A	D	環境物質科学	角野 浩史 化学	1322
火2	50319	A	D	地域生態学	江口 卓 人文地理学	1311
火2	50320	A	D	情報認知科学	鈴木 宏昭 心理・教育学	1106
火2	50321	A	D	スポーツ・身体運動実習	実技担当 スポーツ・身体運動	(実習)
火2	51185	A	D	科学技術社会論	藤垣 裕子 情報・図形	164
火2	60235	A 2	D	現代工学基礎Ⅱ	梅田 靖 工学部	K402
火2	51367	A	D	環境・エネルギー工学概論	村上 進亮 工学部	121
火2	50322	A	E	振動・波動論	鈴木 康夫 物理	723
火2	50323	A	E	振動・波動論	大川 祐司 物理	741
火2	50324	A	E	量子論	清水 明 物理	721
火2	50325	A	E	化学平衡と反応速度	瀬川 浩司 化学	512
火2	50326	A	E	分子システムの化学	豊田 太郎 統合自然科学科	533
火2	51368	A	E	物質・生命工学基礎Ⅱ	馬渡 和真 工学部	108
火2	50327	A	F	数理科学概論Ⅱ（文科生）	辻 雄 数学	514
火2	50328	A	F	統計分析	佃 康司 経済・統計	166
火2	51269	A 1		全学自由研究ゼミナール 理論と実践から芸術を学ぶ/Understanding Arts through Theory and Practice	真船 文隆 教養教育高度化機構	K501
火2	60215	A 2		全学自由研究ゼミナール 芸術を言語化する	真船 文隆 教養教育高度化機構	K501
火2	51266	A		全学自由研究ゼミナール 0から始めるWebプログラミング	小原 優貴 教養教育高度化機構	KALS (17号館2階)
火2	51271	A		全学自由研究ゼミナール ウェアラブルセンシングとIoTを利用しブレイン・ コンピューター・インターフェースをつくる	坂口 菊恵 教養教育高度化機構	K303
火2	51350	A 1		全学自由研究ゼミナール 伊豆に学ぶプラスA1「感じる・考える・行動する」サイクルの発動	鴨田 重裕 農学部	152
火2	60223	A 2		全学自由研究ゼミナール 伊豆に学ぶプラスA2「感じる・考える・行動する」サイクルの発動	鴨田 重裕 農学部	152
火3	51394	A		人文科学ゼミナール（哲学・科学史）	一ノ瀬 正樹 文学部	1109
火3	50399	A	L	フランス語中級（演習）	佐藤 朋子 フランス語・イタリア語	1211

開講 曜限	時間割 コード	開講 区分	系	授業科目名	担当教員名・所属	教室
火3	50400	A	L	フランス語中級（作文）	ビゼ フランス語・イタリア語	1107
火3	50899	A	L	フランス語上級（読解）	桑田 光平 フランス語・イタリア語	1224
火3	50403	A	L	韓国朝鮮語上級（作文）	ジ ミンギョン 韓国朝鮮語	1231
火3	50405	A	L	イタリア語上級（読解）	野里 紳一郎 フランス語・イタリア語	1221
火3	50406	A	L	トルコ語初級（第三外国語）	高松 洋一 中国語	1226
火3	60219	A 2		学術フロンティア講義 ネット社会の秩序と法	太田 勝造 法学部	534
火3	51457	A		全学自由研究ゼミナール Reading Modern Japanese Short Stories	武田 将明 PEAK前期	522
火3	51323	A		全学自由研究ゼミナール 翻訳演習	山本 史郎 教養学部	1322
火3	51303	A 1		全学自由研究ゼミナール Sustainability Science and Global Environmental Governance	Ali KHARRAZI GLP推進室	534
火3	51448	A		全学自由研究ゼミナール Introduction to earth science	東塚 知己 PEAK前期	K211
火4	51403	A		自然科学ゼミナール（情報科学）	伊東 乾 情報学環	学際交流 ホール
火4	50474	A	L	ロシア語上級（作文）	ゴロウィナ クセニヤ ロシア語	K113
火4	50475	A	L	スペイン語上級（演習）	イサベル カルロス スペイン語	1231
火4	50476	A	L	アラビア語初級（第三外国語）	濱田 聖子 古典語・地中海諸言語	1221
火4	50477	A	L	ベトナム語中級（第三外国語）	岩月 純一 中国語	1232
火4	50478	A	L	トルコ語中級（第三外国語）	高松 洋一 中国語	1226
火4	51491	A	C	法・政治（PEAK）	FOOTE DANIEL HARRING PEAK前期	K214
火4	50479	A	D	認知脳科学	岡ノ谷 一夫 心理・教育学	1313
火4	51245	A		全学自由研究ゼミナール モンゴル文字と史料	額定其勞 東洋文化研究所	1311
火5	50505	A	L	中国語上級（会話）	賈 黎黎 中国語	152
火5	50506	A	L	韓国朝鮮語初級（会話）	金 亨貞 韓国朝鮮語	155
火5	50213	A	L	イタリア語初級（第三外国語）	池上 俊一 フランス語・イタリア語	159
火5	50508	A	L	古典語初級（ギリシア語）Ⅱ	松浦 高志 古典語・地中海諸言語	117
火5	50509	A	E	惑星地球科学Ⅱ（理科生）	磯崎 行雄 宇宙地球	1102
火5	51246	A		全学自由研究ゼミナール ココロのトリセツ―自己覚知とレジリエンス―	石垣 琢磨 心理・教育学	K201
火5	51276	A		全学自由研究ゼミナール 科学的思考を鍛える ～大隅先生のノーベル賞研究を題材に～	増田 建 生物	KALS (17号館2階)
火5	51315	A		全学自由研究ゼミナール 作曲＝指揮	伊東 乾 情報学環	学際交流 ホール
火5	51290	A		全学体験ゼミナール 考える力を養う／コントラクトブリッジ	浅井 潔 理学部	114

開講 曜限	時間割 コード	開講 区分	系	授業科目名	担当教員名・所属	教室
火5	51313	A		全学体験ゼミナール 生命科学の最前線	秋山 徹 分子細胞生物学研究所	シラバス 参照
火6	51348	A		全学体験ゼミナール Arduinoを使って応用システムを作ろうD	廣瀬 明 工学部	K301
火6	51558	A		国際研修 多様であることの魅力：メキシコ研修	和田 毅 地域文化研究専攻	K303
水1	50545	A	A	現代哲学	野矢 茂樹 哲学・科学史	1108
水1	50546	A	D	スポーツ・身体運動実習	実技担当 スポーツ・身体運動	(実習)
水1	50547	A	D	身体運動科学	久保 啓太郎 スポーツ・身体運動	K114
水2	51397	A		社会科学ゼミナール（法・政治）	白石 忠志 法学部	K303
水2	50611	A	L	フランス語初級（第三外国語）	須藤 佳子 フランス語・イタリア語	109
水2	50614	A	L	ロシア語中級（会話）	GOLUBOVSKAYA Liubov ロシア語	517
水2	50615	A	L	イタリア語中級（インテンシヴ）	日向 太郎 フランス語・イタリア語	152
水2	50616	A	L	ヘブライ語初級（第三外国語）	飯郷 友康	761
水2	50617	A	L	タイ語初級（第三外国語）	浅見 靖仁 中国語	1211
水2	51493	A	A	哲学・倫理（PEAK）	オデイ ジョン PEAK前期	534
水2	50618	A	D	スポーツ・身体運動実習	実技担当 スポーツ・身体運動	(実習)
水2	51563	A	E	分析化学（PEAK）	ウッドワード・ジョナサン・ロジャー PEAK前期	K402
水3	50693	A		人文科学ゼミナール（テキスト分析）	深澤 晴奈 スペイン語	K501
水3	50696	A	L	ロシア語中級（作文）	大森 雅子 ロシア語	153
水3	50697	A	L	スペイン語初級（第三外国語）	齊藤 文子 スペイン語	1212
水3	50699	A	L	韓国朝鮮語中級（表現練習）	三ツ井 崇 韓国朝鮮語	1211
水3	51031	A	L	イタリア語初級（読解）	池上 俊一 フランス語・イタリア語	154
水3	50700	A	L	イタリア語上級（作文）	マルコ ビオンディ フランス語・イタリア語	K402
水3	50701	A	D	人間行動基礎論（理科生）	大久保 街亜 心理・教育学	1313
水3	51482	A	E	電磁気学の基礎（PEAK）（4月生）	堀田 知佐 PEAK前期	518
水3	51439	A		全学自由研究ゼミナール（PEAK）（数学Ⅱ①） Introductory course in linear algebra	松尾 厚 PEAK前期	516
水4	50733	A	L	フランス語中級（作文）	DE VOS PATRICK HENRI フランス語・イタリア語	150
水4	50734	A	L	ロシア語中級（インテンシヴ）	GOLUBOVSKAYA Liubov ロシア語	517
水4	50735	A	L	アラビア語中級（第三外国語）	杉田 英明 古典語・地中海諸言語	1223
水4	51268	A 1		全学自由研究ゼミナール 図書館の学び・活用・提案①	真船 文隆 教養教育高度化機構	K201

開講 曜限	時間割 コード	開講 区分	系	授業科目名	担当教員名・所属	教室
水4	60214	A 2		全学自由研究ゼミナール 図書館の学び・活用・提案②	真船 文隆 教養教育高度化機構	K201
水4	51275	A		全学自由研究ゼミナール 素粒子物理実験の世界に触れてみよう	松本 悠 教養教育高度化機構	K301
水5	51398	A		社会科学ゼミナール（法・政治）	新田 一郎 法学部	518
水5	51395	A		人文科学ゼミナール（歴史学）	松方 冬子 史料編纂所	K302
水5	50740	A		人文科学ゼミナール（テキスト分析）	田口 一郎 国文・漢文学	114
水5	50739	A		人文科学ゼミナール（文化人類学）	福島 真人 文化人類学	シラバス 参照
水5	50741	A		自然科学ゼミナール（化学）	若杉 桂輔 化学	517
水5	51404	A 1		自然科学ゼミナール（基礎工学）	北垣 亮馬 工学部	K402
水5	51405	A 1		自然科学ゼミナール（基礎工学）	廣瀬 通孝 工学部	K501
水5	50744	A	L	英語中級	坪井 栄治郎 英語	10-101
水5	50743	A	L	英語中級	小川 浩之 英語	150
水5	50742	A	L	英語中級	オデイ ジョン 英語	154
水5	50745	A	L	英語上級	ダルグリーシュ プレガム 英語	102
水5	50747	A	L	ドイツ語初級（表現練習）	Hermann Gottschewski ドイツ語	学際交流 ホール
水5	50746	A	L	ドイツ語初級（会話）	ククリンスキ ルーベン ドイツ語	116
水5	50748	A	L	ドイツ語初級（第三外国語）	クリスティアン クリンク ドイツ語	K114
水5	50003	A	L	フランス語初級（演習）	アルベリック ドリブル フランス語・イタリア語	10-103
水5	50750	A	L	フランス語初級（インテンシヴ）	デルヴロワ ミカエル フランス語・イタリア語	10-205
水5	50751	A	L	フランス語初級（第三外国語）	小野 潮 フランス語・イタリア語	122
水5	50758	A	L	中国語初級（インテンシヴ）	張 佩茹 中国語	155
水5	50757	A	L	中国語初級（インテンシヴ）	白 春花 中国語	153
水5	50752	A	L	中国語初級（第三外国語）	中原 裕貴 中国語	101
水5	50753	A	L	ロシア語初級（作文）	北井 聡子 ロシア語	106
水5	50754	A	L	ロシア語初級（第三外国語）	毛利 公美 ロシア語	108
水5	50755	A	L	スペイン語初級（作文）	渡辺 暁 スペイン語	121
水5	50756	A	L	韓国朝鮮語中級（演習）	金 亨貞 韓国朝鮮語	152
水5	50759	A	L	アラビア語初級（第三外国語）	杉田 英明 古典語・地中海諸言語	103
水5	50507	A	L	広東語中級（第三外国語）	吉川 雅之 中国語	10-102

開講 曜限	時間割 コード	開講 区分	系	授業科目名	担当教員名・所属	教室
水5	51259	A 1	L	日本語上級	西部 由佳 日本語	10-202
水5	60201	A 2	L	日本語上級	西部 由佳 日本語	10-202
水5	50760	A	A	記号論理学Ⅰ（文科生）	信原 幸弘 哲学・科学史	1312
水5	50839	A	A	表象文化論	林 少陽 超域文化科学専攻	105
水5	51384	A	A	比較思想	西村 明 文学部	1222
水5	50761	A	B	歴史社会論	田中 創 歴史学	521
水5	50762	A	B	世界史論	黛 秋津 歴史学	1321
水5	50763	A	C	現代教育論	丹野 義彦 心理・教育学	1323
水5	51369	A	D	現代工学基礎Ⅰ	星野 隆行 工学部	533
水5	51370	A	D	社会システム工学基礎Ⅱ	羽藤 英二 工学部	1311
水5	51371	A	D	総合工学基礎Ⅱ	上坂 充 工学部	1212
水5	51388	A	D	放射線環境科学	田野井 慶太郎 農学部	1214
水5	50764	A	E	振動・波動論	澤井 哲 物理	721
水5	50765	A	E	惑星地球科学Ⅱ（文科生）	小宮 剛 宇宙地球	532
水5	51389	A	E	微生物の科学	大西 康夫 農学部	1102
水5	50766	A	F	統計データ解析Ⅰ	小池 祐太 数学	E41
水5	51247	A		学術フロンティア講義 家	刈間 文俊 教養教育高度化機構	524
水5	51308	A		学術フロンティア講義 現代の数学－その源泉とフロンティア－	坪井 俊 数理科学研究科	157
水5	51265	A		全学自由研究ゼミナール 未来の学びのデザイン－ワークショップをつくろう－	小原 優貴 教養教育高度化機構	KALS (17号館2階)
水5	51314	A		全学自由研究ゼミナール 現代生物学研究の独創と創造	堀越 正美 分子細胞生物学研究所	149
水5	51468	A		全学自由研究ゼミナール 食文化理論	河崎 妙子 学生による全学自由研究ゼミナール	512
水5	51333	A		全学体験ゼミナール 創造力増強のための寺小屋講座（シーズン5）	生田 幸士 工学部	531
水5	51347	A		全学体験ゼミナール 飛行ロボットを作って飛ばす	土屋 武司 工学部	シラバス 参照
水5	51248	A 1		全学体験ゼミナール ピアサポート・支えあいの理論と実践を学ぶ－相互扶助のキャンパスづくり	高野 明 学生相談ネットワーク本部	K301
水6	51327	A		全学体験ゼミナール ロボット競技を体験しようD	國吉 康夫 工学部	1212
水6	51326	A		全学体験ゼミナール ロボット競技を体験しようB	國吉 康夫 工学部	1212
木1	50769	A		社会科学ゼミナール（法・政治）	木宮 正史 法・政治	K301
木1	50774	A	L	ドイツ語初級（インテンシヴ）	I・カウフマン ドイツ語	10-102

開講 曜限	時間割 コード	開講 区分	系	授業科目名	担当教員名・所属	教室
木1	50770	A	L	ドイツ語初級（第三外国語）	中丸 禎子 ドイツ語	149
木1	50955	A	L	フランス語初級（インテンシヴ）	アガエス ジュリアン フランス語・イタリア語	10-203
木1	50771	A	L	中国語初級（会話）	姚 毅 中国語	151
木1	50772	A	L	中国語初級（作文）	何 珍時 中国語	158
木1	50773	A	L	中国語初級（インテンシヴ）	毛 興華 中国語	104
木1	50776	A	L	中国語初級（インテンシヴ）	李 彦銘 中国語	154
木1	50775	A	L	中国語初級（インテンシヴ）	藤原 優美 中国語	153
木1	50261	A	L	スペイン語初級（会話）	受田 宏之 スペイン語	10-201
木1	60202	A 2	L	日本語上級	奥川 育子 日本語	10-205
木1	51260	A 1	L	日本語上級	奥川 育子 日本語	10-205
木1	50777	A	L	古典語初級（ギリシア語）Ⅱ	上野 慎也 古典語・地中海諸言語	515
木1	50778	A	B	日本文化論Ⅱ	谷口 洋 国文・漢文学	107
木1	50779	A	B	近現代史	外村 大 歴史学	156
木1	50780	A	C	法と社会	西土 彰一郎 法・政治	1221
木1	51564	A	D	科学技術基礎論（PEAK）	橋本 毅彦 PEAK前期	K303
木1	50781	A	E	化学平衡と反応速度	佐藤 健 化学	513
木1	50782	A	E	宇宙科学Ⅱ（理科生）	松原 英雄 宇宙地球	523
木1	50783	A	F	数理科学概論Ⅰ（文科生）	小林 俊行 数学	723
木2	50837	A	L	韓国朝鮮語中級（インテンシヴ）	ジ ミンギョン 韓国朝鮮語	152
木2	50838	A	L	古典語中級（ギリシア語）Ⅱ	上野 慎也 古典語・地中海諸言語	8-420
木2	51383	A	B	世界史論	島田 竜登 文学部	1101
木2	50841	A	D	情報メディア伝達論	越塚 登 情報学環	K113
木2	50840	A	D	社会行動論	堀毛 一也 心理・教育学	1313
木2	51487	A	F	情報科学（PEAK）	Suppakitpaisarn Vorapong PEAK前期	E41
木2	51297	A		全学自由研究ゼミナール 災害復興支援活動と法・社会	米村 滋人 法学部	117
木2	51304	A 1		全学自由研究ゼミナール Biotechnology: Recent Advances and Applications in Medicine and Agriculture	Yaron SILBERBERG GLP推進室	K402
木3	50901	A	L	ヒンディー語初級（第三外国語）	藤井 毅 中国語	1211
木3	50902	A	L	インドネシア語初級（第三外国語）	高地 薫 中国語	109

開講 曜限	時間割 コード	開講 区分	系	授業科目名	担当教員名・所属	教室
木3	50903	A	D	社会環境論	梶田 真 人文地理学	1101
木3	51454	A		全学自由研究ゼミナール (PEAK) (数学 I ①) Single-variable calculus	鮑 園園 PEAK前期	517
木4	50934	A	L	フランス語中級 (読解)	鈴木 順子 フランス語・イタリア語	156
木4	50936	A	L	中国語中級 (会話)	李 雲 中国語	103
木4	50940	A	L	スペイン語中級 (会話)	FERNANDEZ HERBOSO スペイン語	114
木4	50941	A	L	スペイン語上級 (作文)	ルイズ ティノコ アントニオ スペイン語	117
木4	50942	A	L	韓国朝鮮語初級 (インテンシヴ)	金 東漢 韓国朝鮮語	150
木4	50945	A	L	イタリア語中級 (演習)	大崎 さやの フランス語・イタリア語	116
木4	51172	A	L	イタリア語初級 (会話)	マルコ ビオンディ フランス語・イタリア語	K302
木4	50946	A	L	ヒンディー語中級 (第三外国語)	藤井 毅 中国語	1211
木4	50947	A	L	インドネシア語中級 (第三外国語)	高地 薫 中国語	102
木4	50948	A	L	ポルトガル語初級 (第三外国語)	牧野 真也 スペイン語	153
木4	50949	A	B	地域文化論Ⅱ	ギルバート ヘレン 地域文化研究専攻	KALS (17号館2階)
木4	50950	A	C	教育臨床心理学	前田 基成 心理・教育学	900
木4	51480	A	D	スポーツ・身体運動実習Ⅱ (PEAK) (4月生)	石井 直方 PEAK前期	シラバス 参照
木4	51279	A 1		全学自由研究ゼミナール 国連とインクルージョン	井筒 節 教養教育高度化機構	K301
木4	51264	A		全学自由研究ゼミナール 現代現象学における西田幾多郎	景山 洋平 教養教育高度化機構	K401
木4	51270	A		全学自由研究ゼミナール 「茶わんの湯」から最新の科学を考える	鹿島 勲 教養教育高度化機構	K113
木5	50953	A		人文科学ゼミナール (歴史学)	杉山 清彦 歴史学	115
木5	51406	A 1		自然科学ゼミナール (化学)	伊藤 喜光 工学部	119
木5	50967	A	L	ドイツ語初級 (インテンシヴ)	クリスティアン クリンク ドイツ語	K114
木5	50968	A	L	フランス語初級 (インテンシヴ)	アルベリック ドリブル フランス語・イタリア語	10-201
木5	50956	A	L	中国語初級 (演習)	李 雲 中国語	103
木5	50957	A	L	中国語初級 (インテンシヴ)	賈 黎黎 中国語	106
木5	50958	A	L	中国語中級 (作文)	柴 森 中国語	104
木5	50959	A	L	中国語上級 (作文)	毛 興華 中国語	150
木5	50960	A	L	ロシア語初級 (演習)	GOLUBOVSKAYA Liubov ロシア語	511
木5	50961	A	L	ロシア語中級 (インテンシヴ)	アズマイ ナジェーダ ロシア語	112

開講 曜限	時間割 コード	開講 区分	系	授業科目名	担当教員名・所属	教室
木5	50962	A	L	スペイン語初級（演習）	ルイズ ティノコ アントニオ スペイン語	117
木5	50963	A	L	スペイン語初級（会話）	FERNANDEZ HERBOSO スペイン語	114
木5	50964	A	L	スペイン語中級（作文）	ドニャス ベレニャ アントニオ スペイン語	102
木5	50965	A	L	韓国朝鮮語中級（会話）	ジ ミンギョン 韓国朝鮮語	152
木5	50943	A	L	イタリア語初級（作文）	大崎 さやの フランス語・イタリア語	116
木5	50966	A	L	イタリア語中級（表現練習）	マルコ ビオンディ フランス語・イタリア語	K302
木5	50969	A	L	ポーランド語初級（第三外国語）	小椋 彩 ロシア語	108
木5	50970	A	L	ポルトガル語中級（第三外国語）	牧野 真也 スペイン語	153
木5	51261	A 1	L	日本語上級	大久保 雅子 日本語	10-205
木5	60203	A 2	L	日本語上級	大久保 雅子 日本語	10-205
木5	51357	A 1	C	高等教育論入門	小方 直幸 教育学部	521
木5	51372	A	D	現代工学概論	六川 修一 工学部	532
木5	51374	A	D	現代工学基礎Ⅱ	岩佐 義宏 工学部	121
木5	51373	A	D	現代工学基礎Ⅱ	牛山 浩 工学部	E25
木5	51376	A	D	社会システム工学基礎Ⅱ	小泉 秀樹 工学部	1312
木5	51377	A	D	生体医工学基礎Ⅱ	神保 泰彦 工学部	1221
木5	51378	A	D	環境・エネルギー工学基礎Ⅱ	多部田 茂 工学部	K401
木5	51386	A	D	看護学概論Ⅱ	真田 弘美 医学部	1213
木5	60238	A 2	D	環境と生物資源	櫻井 武司 農学部	166
木5	51390	A 1	D	住環境の科学	稲山 正弘 農学部	156
木5	51358	A	D	教育心理学の世界	岡田 猛 教育学部	1311
木5	50972	A	E	物理科学Ⅱ（文科生）	金子 邦彦 物理	523
木5	51359	A	E	分子生命科学	濡木 理 理学部	522
木5	50973	A	E	惑星地球科学Ⅰ（理科生）	小久保 英一郎 宇宙地球	1222
木5	51360	A	E	地球惑星環境学入門	高橋 嘉夫 理学部	122
木5	51380	A	F	数理工学入門	平井 広志 工学部	151
木5	50974	A	F	統計データ解析Ⅰ	吉田 朋広 数学	E41
木5	51250	A		学術フロンティア講義 脳科学の基礎と研究の最前線	岡ノ谷 一夫 心理・教育学	1108

開講 曜限	時間割 コード	開講 区分	系	授業科目名	担当教員名・所属	教室
木5	51249	A		学術フロンティア講義 物質のはじまりとはたらきーフェムト、ナノ、エクサの世界	美馬 秀樹 教養教育高度化機構	レクチャー ホール
木5	51251	A 1		全学自由研究ゼミナール 生命科学の現在・パート20	松田 良一 生物	162
木5	51273	A 1		全学自由研究ゼミナール 平和のために東大生ができること I	岡田 晃枝 教養教育高度化機構	KALS (17号館2階)
木5	60216	A 2		全学自由研究ゼミナール 平和のために東大生ができることー冷戦を知らない世代が作る軍縮教育モデル	岡田 晃枝 教養教育高度化機構	KALS (17号館2階)
木5	51325	A		全学自由研究ゼミナール 建築構造デザイン入門 (Introduction of Structural Design)	高田 毅士 工学部	154
木5	51349	A		全学自由研究ゼミナール 古典落語から知る江戸の自然・文化	石橋 整司 農学部	517
木5	51305	A		全学自由研究ゼミナール 英語による数学書の輪講	河東 泰之 数理科学研究科	シラバス 参照
木5	51310	A		全学自由研究ゼミナール 証明と計算機	植田 一石 数理科学研究科	シラバス 参照
木5	51291	A		全学自由研究ゼミナール 気候・海洋学入門ー大気海洋研究所の先端研究からー	小島 茂明 大気海洋研究所	113
木5	51284	A		全学自由研究ゼミナール イスラーム政治思想・入門ー預言者映画を読み解く	池内 恵 先端科学技術研究センター	515
木5	51285	A		全学自由研究ゼミナール 障害者のリアルに迫る	熊谷 晋一郎 先端科学技術研究センター	K402
木5	51282	A		全学自由研究ゼミナール 国際ビジネス法務の最前線	玉井 克哉 先端科学技術研究センター	K301
木5	51283	A		全学自由研究ゼミナール 読み破る政治学ー多読・乱読・精読ゼミー	牧原 出 先端科学技術研究センター	シラバス 参照
木5	51295	A		全学自由研究ゼミナール 質量分析学入門	松崎 浩之 総合研究博物館	518
木5	51294	A		全学自由研究ゼミナール 立場の心理学：Crossing Your Culture-日本社会や 他国のマジョリティの特権（権力含む）について 考える	伊藤 圭子 国際センター	107
木5	51462	A		全学自由研究ゼミナール ボーカロイド音楽論	鮎川 ばて 学生による全学自由研究ゼミナール	学際交流 ホール
木5	51463	A		全学自由研究ゼミナール 日本の医療の光と影ー医療と福祉の現場から考える 現代社会	土谷 良樹 学生による全学自由研究ゼミナール	164
木5	51281	A		全学体験ゼミナール 将棋で磨く知性と感性	金子 知適 情報・図形	K501
木5	51353	A		全学体験ゼミナール 秋の奥秩父を巡る	山田 利博 農学部	120
木5	60188	A 2		国際研修 イタリアの食文化・農業・共同体	大澤 麻里子 国際交流センター	K112
金1	50998	A	L	フランス語初級（読解）	坂本 佳子 フランス語・イタリア語	154
金1	51002	A	L	ロシア語初級（演習）	アズマイ ナジェージダ ロシア語	112
金1	51001	A	L	イタリア語中級（インテンシヴ）	マルコ ビオンディ フランス語・イタリア語	K302
金2	51009	A		人文科学ゼミナール（哲学・科学史）	古莊 真敬 哲学・科学史	518
金2	51011	A		人文科学ゼミナール（データ分析）	大森 拓哉 心理・教育学	KALS (17号館2階)
金2	51010	A		人文科学ゼミナール（データ分析）	矢田部 修一 英語	E35

開講 曜限	時間割 コード	開講 区分	系	授業科目名	担当教員名・所属	教室
金2	51012	A		自然科学ゼミナール（化学）	平岡 秀一 化学	K201
金2	51407	A		自然科学ゼミナール（数理科学）	米田 剛 数理科学研究科	515
金2	51014	A	L	英語中級	アンダル, ジャクリーン 英語	153
金2	51013	A	L	英語中級	坪井 栄治郎 英語	10-101
金2	51015	A	L	英語中級	寺澤 盾 英語	157
金2	51033	A	L	ドイツ語初級（演習）	足立 信彦 ドイツ語	118
金2	51017	A	L	ドイツ語初級（インテンシヴ）	I・カウフマン ドイツ語	10-102
金2	51018	A	L	ドイツ語上級（読解）	斉藤 渉 ドイツ語	K301
金2	51016	A	L	ドイツ語初級（演習）	林 志津江 ドイツ語	112
金2	51032	A	L	イタリア語中級（読解）	鈴木 国男 フランス語・イタリア語	103
金2	51019	A	L	フランス語初級（作文）	飛嶋 隆信 フランス語・イタリア語	149
金2	51022	A	L	中国語初級（第三外国語）	張 玉萍 中国語	104
金2	51020	A	L	中国語初級（会話）	毛 興華 中国語	150
金2	51037	A	L	中国語初級（インテンシヴ）	李 彦銘 中国語	156
金2	51023	A	L	中国語中級（読解）	伊藤 博 中国語	151
金2	51021	A	L	中国語初級（インテンシヴ）	賈 黎黎 中国語	106
金2	51036	A	L	中国語初級（インテンシヴ）	白 佐立 中国語	154
金2	51035	A	L	中国語初級（表現練習）	藤原 優美 中国語	152
金2	51024	A	L	ロシア語初級（会話）	グロウィナ クセニヤ ロシア語	121
金2	51025	A	L	ロシア語中級（演習）	濱田 華練 ロシア語	155
金2	51026	A	L	スペイン語初級（作文）	有田 美保 スペイン語	107
金2	51027	A	L	スペイン語初級（第三外国語）	丸山 共恵 スペイン語	158
金2	51028	A	L	韓国朝鮮語初級（表現練習）	金 亨貞 韓国朝鮮語	114
金2	51029	A	L	韓国朝鮮語中級（読解）	橋本 繁 韓国朝鮮語	120
金2	51030	A	L	イタリア語初級（作文）	野里 紳一郎 フランス語・イタリア語	105
金2	50944	A	L	イタリア語初級（表現練習）	アンドレア チヴィーレ フランス語・イタリア語	119
金2	51038	A	L	上海語初級（第三外国語）	王 英輝 中国語	115
金2	51039	A	A	科学哲学	鈴木 貴之 哲学・科学史	1331

開講 曜限	時間割 コード	開講 区分	系	授業科目名	担当教員名・所属	教室
金2	51040	A	A	比較芸術	三浦 篤 超域文化科学専攻	525
金2	51485	A	A	思想・芸術Ⅲ（PEAK）	HALLMAN FRANCIS CAND PEAK前期	K401
金2	51041	A	B	比較地域史	相澤 隆 歴史学	521
金2	51042	A 1	B	日本語日本文学Ⅰ（理科生）	小森 陽一 国文・漢文学	164
金2	51043	A	B	東洋古典学	溝部 良恵 国文・漢文学	1222
金2	50971	A	B	歴史と文化	山口 輝臣 歴史学	1321
金2	51044	A	C	法と社会	山元 一 法・政治	761
金2	51045	A	C	日本国憲法	渋谷 秀樹 法・政治	1106
金2	51046	A	C	比較社会論	傅 凱儀 社会・社会思想史	531
金2	51047	A	C	政治経済学	丸川 知雄 経済・統計	162
金2	60234	A 2	C	教育社会科学	村上 祐介 教育学部	522
金2	51048	A	D	スポーツ・身体運動実習	実技担当 スポーツ・身体運動	（実習）
金2	51049	A	D	身体運動科学	中澤 公孝 スポーツ・身体運動	K212
金2	60235	A 2	D	現代工学基礎Ⅱ	梅田 靖 工学部	K402
金2	51050	A	E	振動・波動論	大川 祐司 物理	721
金2	51051	A	E	振動・波動論	菊川 芳夫 物理	723
金2	51052	A	E	宇宙科学Ⅰ（理科生）	蜂巢 泉 宇宙地球	1313
金2	51053	A	E	宇宙科学Ⅰ（文科生）	鈴木 建 宇宙地球	1225
金2	51361	A	F	計算機プログラミング	萩谷 昌己 情報・図形	E26
金2	51565	A	F	意思決定の数理（PEAK）	前田 章 PEAK前期	517
金2	51346	A		学術フロンティア講義 海研究のフロンティアⅡ	早稲田 卓爾 工学部	101
金2	51472	A		学術フロンティア講義 （PEAK）（4月生）Introduction to Japan in East Asia	前島 志保 PEAK前期	116
金2	51269	A 1		全学自由研究ゼミナール 理論と実践から芸術を学ぶ/Understanding Arts through Theory and Practice	真船 文隆 教養教育高度化機構	K501
金2	60215	A 2		全学自由研究ゼミナール 芸術を言語化する	真船 文隆 教養教育高度化機構	K501
金2	51272	A		全学自由研究ゼミナール LGBTやその他のマイノリティが直面する問題と法的な対応の現在	坂口 菊恵 教養教育高度化機構	K302
金2	51464	A		全学自由研究ゼミナール Introduction to Biology	リチャード シェファースン PEAK前期	1105
金2	60226	A 2		全学体験ゼミナール 森のエネルギーを使いこなす	安村 直樹 農学部	E39
金2	51307	A		全学体験ゼミナール 電磁気学で使う数学	高山 茂晴 数理科学研究科	512

開講 曜限	時間割 コード	開講 区分	系	授業科目名	担当教員名・所属	教室
金3	51111	A		人文科学ゼミナール（データ分析）	荒井 良雄 人文地理学	115
金3	51115	A	L	ロシア語上級（会話）	GOLUBOVSKAYA Liubov ロシア語	511
金3	51117	A	D	適応行動論	長谷川 壽一 心理・教育学	1106
金3	51300	A		全学自由研究ゼミナール エルンスト・ユンガーをめぐって	和仁 陽 法学部	1223
金3	51274	A		全学自由研究ゼミナール 企業の開発現場を学び、問題解決に取り組もう	松本 悠 教養教育高度化機構	K501
金4	50999	A	L	フランス語中級（会話）	ビゼ フランス語・イタリア語	153
金4	51157	A	L	中国語中級（会話）	毛 興華 中国語	149
金4	51160	A	L	ベトナム語初級（第三外国語）	加藤 栄 中国語	116
金4	51161	A	L	セルビア・クロアチア語初級（第三外国語）	山崎 信一 ロシア語	114
金4	51162	A	B	地域文化論Ⅱ	外村 大 地域文化研究専攻	516
金4	51163	A	B	日本文化論Ⅰ	松岡 心平 国文・漢文学	K113
金4	51566	A	B	国際・地域Ⅰ（PEAK）	バクスター, ジョシュア PEAK前期	K301
金4	51292	A		全学体験ゼミナール 日本再生に向けた戦略と政策が果たす役割～政策の最前線を現役官僚が語る～	坂田 一郎 公共政策大学院	511
金5	51165	A		人文科学ゼミナール（テキスト分析）	矢田 勉 国文・漢文学	115
金5	51166	A	L	ドイツ語初級（作文）	山口 裕之 ドイツ語	149
金5	51167	A	L	フランス語初級（読解）	佐々木 悠介 フランス語・イタリア語	156
金5	51173	A	L	フランス語初級（インテンシヴ）	アガエス ジュリアン フランス語・イタリア語	10-203
金5	51168	A	L	ロシア語初級（インテンシヴ）	GOLUBOVSKAYA Liubov ロシア語	511
金5	51174	A	L	ロシア語初級（インテンシヴ）	ゴロウィナ クセーニヤ ロシア語	151
金5	51170	A	L	スペイン語中級（第三外国語）	ドニャス ベレニャ アントニオ スペイン語	104
金5	51169	A	L	スペイン語初級（会話）	エクトル シエラ スペイン語	112
金5	51171	A	L	韓国朝鮮語中級（作文）	金 亨貞 韓国朝鮮語	114
金5	51474	A	L	イタリア語初級（インテンシヴ）	日向 太郎 フランス語・イタリア語	102
金5	60204	A 2	L	日本語上級	宇佐美 洋 日本語	154
金5	51263	A 1	L	日本語上級	宇佐美 洋 日本語	154
金5	51175	A	A	比較文化論	伊藤 徳也 超域文化科学専攻	153
金5	51176	A	A	西洋思想史	高橋 久一郎 哲学・科学史	1311
金5	51177	A	A	経済思想史	松原 隆一郎 経済・統計	1225

開講 曜限	時間割 コード	開講 区分	系	授業科目名	担当教員名・所属	教室
金5	51385	A	B	歴史社会論	高山 博 文学部	518
金5	51178	A	B	文化人類学Ⅱ	箭内 匡 文化人類学	513
金5	51381	A	D	総合工学基礎Ⅱ	鈴木 真二 工学部	158
金5	51179	A	E	相対論	菊川 芳夫 物理	533
金5	51379	A	E	物質・生命工学概論	阿部 英司 工学部	1214
金5	51392	A	E	海の生命科学	潮 秀樹 農学部	743
金5	51391	A 1	E	アグリバイオロジー	堤 伸浩 農学部	K402
金5	51382	A	F	情報システム基礎Ⅱ	國吉 康夫 工学部	721
金5	51253	A		学術フロンティア講義 放射線を科学的に理解する	渡邊 雄一郎 生物	K303
金5	51252	A		学術フロンティア講義 教養学部生のためのキャリア教室Ⅰ：これからの時代をどう生きるか	標葉 靖子 教養教育高度化機構	K214
金5	51332	A		学術フロンティア講義 ノーベル賞に学ぶ物理工学	芝内 孝禎 工学部	521
金5	51298	A		全学自由研究ゼミナール 犯罪と刑罰を考える	三隅 諒 法学部	116
金5	51319	A		全学自由研究ゼミナール Molecular Biology of the Cell 輪読ゼミ	尾藤 晴彦 医学部	E49
金5	51318	A		全学自由研究ゼミナール 近世史料を読んでみよう	松澤 克行 史料編集所	117
金5	51467	A		全学自由研究ゼミナール 法と社会と人権 - 社会の実態を知り、人権を学び考える -	山下 敏雅 学生の希望による全学自由研究ゼミナール	164
金5	51469	A		全学自由研究ゼミナール 知力の再構築	青山 繁晴 学生の希望による全学自由研究ゼミナール	152
金5	51280	A		全学体験ゼミナール 囲碁で養う考える力	森畑 明昌 教養教育高度化機構	K501
金5	51306	A		全学体験ゼミナール じっくり学ぶ数学Ⅱ	高山 茂晴 数理科学研究科	シラバス 参照
集中	51180	A		自然科学ゼミナール（生命科学）	吉田 丈人 生物	シラバス 参照
集中	51181	A		自然科学ゼミナール（生命科学）	和田 元 生物	シラバス 参照
集中	51409	A		自然科学ゼミナール（基礎工学）	山下 淳 工学部	シラバス 参照
集中	51408	A 1		自然科学ゼミナール（基礎工学）	南部 将一 工学部	シラバス 参照
集中	60240	A 2		自然科学ゼミナール（医学）	孫 大輔 医学部	シラバス 参照
集中	51400	A 1		自然科学ゼミナール（医学）	孫 大輔 医学部	シラバス 参照
集中	51184	A	D	スポーツ・身体運動実習Ⅱ	吉岡 伸輔 スポーツ・身体運動	（実習）
集中	60236	A 2	F	モデリングとシミュレーション基礎Ⅱ	鳥海 不二夫 工学部	シラバス 参照
集中	51293	A		学術フロンティア講義 医科学研究最前線	武川 睦寛 医科学研究所	シラバス 参照

開講曜限	時間割コード	開講区分	系	授業科目名	担当教員名・所属	教室
集中	60211	A 2		全学自由研究ゼミナール 英語を使いながら細胞を培養しよう Experimental Biology Course - "Let's try cell culture in English"	松田 良一 生物	シラバス参照
集中	51267	A		全学自由研究ゼミナール ブランドデザインスタジオ17 ~「おさんぽ」をブランドデザインする~	真船 文隆 教養教育高度化機構	K502
集中	60212	A 2		全学自由研究ゼミナール 教養学部生のためのキャリア教室2A(社会連携プロジェクト・第5期)	標葉 靖子 教養教育高度化機構	シラバス参照
集中	60213	A 2		全学自由研究ゼミナール 教養学部生のためのキャリア教室2B(社会連携プロジェクト・第5期)	標葉 靖子 教養教育高度化機構	シラバス参照
集中	51278	A		全学自由研究ゼミナール 東大×南大共同フィールドワーク於東京	白 佐立 教養教育高度化機構	シラバス参照
集中	51277	A		全学自由研究ゼミナール 南京大学フィールドワーク研修	白 佐立 教養教育高度化機構	シラバス参照
集中	51321	A		全学自由研究ゼミナール 最先端の生命科学研究を駒場で体験する	新井 宗仁 教養学部	シラバス参照
集中	51320	A		全学自由研究ゼミナール 2017年度Aセメスター 最先端のサイエンスを駒場で研究体験するプログラム	内田 さやか 教養学部	シラバス参照
集中	51322	A		全学自由研究ゼミナール 生命の普遍原理に迫る研究体験ゼミ	石原 秀至 教養学部	シラバス参照
集中	60218	A 2		全学自由研究ゼミナール 制度を創る民法—コントラクト・デザイン入門編Part 2	大村 敦志 法学部	シラバス参照
集中	51299	A 1		全学自由研究ゼミナール 法学部生・LS生と学ぶ民法一判例を素材に	大村 敦志 法学部	シラバス参照
集中	51330	A		全学自由研究ゼミナール 製品を分解してわかる環境問題	梅田 靖 工学部	シラバス参照
集中	60221	A 2		全学自由研究ゼミナール 太陽光発電とエネルギーシステム：原理の理解から実習まで	杉山 正和 工学部	シラバス参照
集中	51343	A		全学自由研究ゼミナール 電子書籍と紙の本：どちらが環境に良いか考えよう	伊藤 喜光 工学部	シラバス参照
集中	51340	A		全学自由研究ゼミナール 革新的自動車触媒技術	伊藤 喜光 工学部	シラバス参照
集中	51341	A		全学自由研究ゼミナール 光で水から水素・酸素をつくる	伊藤 喜光 工学部	シラバス参照
集中	51342	A		全学自由研究ゼミナール Pythonを使ってデータ駆動型ケミストリーを体験しよう	伊藤 喜光 工学部	シラバス参照
集中	51331	A		全学自由研究ゼミナール 電子情報ゼミ: Androidによるモバイルプログラミング入門	川原 圭博 工学部	シラバス参照
集中	60220	A 2		全学自由研究ゼミナール ロボティック医療システム	光石 衛 工学部	シラバス参照
集中	51470	A		全学自由研究ゼミナール 基礎植物学輪講IV	寺島 一郎 理学部	シラバス参照
集中	60222	A 2		全学自由研究ゼミナール ワンバクタンパク質を科学する：実習編	高橋 伸一郎 農学部	シラバス参照
集中	51316	A		全学自由研究ゼミナール 学部学生のための研究入門コース-UROP2 (Undergraduate Research Opportunity Program 2)	川越 至桜 生産技術研究所	シラバス参照
集中	51317	A		全学自由研究ゼミナール 「日本語を教える」とは	菊地 康人 日本語教育センター	シラバス参照
集中	60217	A 2		全学体験ゼミナール 身近な環境化学実習 —駒場の水を科学する—	鹿島 勲 教養教育高度化機構	シラバス参照
集中	51335	A		全学体験ゼミナール 熱に応答する不思議な高分子をつくってみよう！	伊藤 喜光 工学部	シラバス参照
集中	51336	A		全学体験ゼミナール 有機半導体デバイスの作製と評価	伊藤 喜光 工学部	シラバス参照
集中	51337	A		全学体験ゼミナール 再生可能炭素資源から役に立つものをつくろう	伊藤 喜光 工学部	シラバス参照

開講 曜限	時間割 コード	開講 区分	系	授業科目名	担当教員名・所属	教室
集中	51338	A		全学体験ゼミナール デジタルバイオアッセイ	伊藤 喜光 工学部	シラバス 参照
集中	51339	A		全学体験ゼミナール コンピューターで蛋白質分子のしくみを調べよう	伊藤 喜光 工学部	シラバス 参照
集中	51345	A		全学体験ゼミナール 鉱物資源はどこでできるのか? フィールド調査と鉱物採集の旅	加藤 泰浩 工学部	シラバス 参照
集中	51329	A		全学体験ゼミナール 全日本学生フォーミュラ大会に向けたフォーミュ ラレーシングカーを作るプロジェクトD	草加 浩平 工学部	シラバス 参照
集中	51328	A		全学体験ゼミナール 全日本学生フォーミュラ大会に向けたフォーミュ ラレーシングカーを作るプロジェクトB	草加 浩平 工学部	シラバス 参照
集中	51324	A		全学体験ゼミナール ischool KOMABA II: イノベーション・ワークショップへの招待	小松崎 俊作 工学部	シラバス 参照
集中	60224	A 2		全学体験ゼミナール 房総の森と生業（なりわい）を学ぶ	石橋 整司 農学部	シラバス 参照
集中	51351	A 1		全学体験ゼミナール 危険生物の知識（秋編）	石橋 整司 農学部	シラバス 参照
集中	51352	A 1		全学体験ゼミナール 森の魅力をマッピング～GPSを使ったオリジナル地図づくり～	石橋 整司 農学部	シラバス 参照
集中	60225	A 2		全学体験ゼミナール 雪の森林に学ぶ～北海道演習林	鎌田 直人 農学部	シラバス 参照
集中	60232	A 2		全学体験ゼミナール 伊豆に学ぶ一熱帯植物編― 無意識に食べてきた チョコレートを教材に据えて見えるコト	鴨田 重裕 農学部	シラバス 参照
集中	60229	A 2		全学体験ゼミナール 伊豆に学ぶ1 竹炭焼き、山、桜、菜の花、温泉など自然と人の繋がりをまなぶ	鴨田 重裕 農学部	シラバス 参照
集中	60230	A 2		全学体験ゼミナール 伊豆に学ぶ2 竹炭焼き、山、桜、菜の花、温泉など自然と人の繋がりをまなぶ	鴨田 重裕 農学部	シラバス 参照
集中	60231	A 2		全学体験ゼミナール 伊豆に学ぶ3 竹炭焼き、山、桜、菜の花、温泉など自然と人の繋がりをまなぶ	鴨田 重裕 農学部	シラバス 参照
集中	51355	A 1		全学体験ゼミナール 伊豆に学ぶ（夏）3 自然と人の繋がりについてゼミを振り返る	鴨田 重裕 農学部	シラバス 参照
集中	51356	A 1		全学体験ゼミナール 企画系 さらに伊豆に学ぶA1 人と人をつなぐ	鴨田 重裕 農学部	シラバス 参照
集中	51471	A 1		全学体験ゼミナール 森に学ぶ（ふらの）後編	鴨田 重裕 農学部	シラバス 参照
集中	60228	A 2		全学体験ゼミナール 企画系 さらに伊豆に学ぶA2 人と人をつなぐ	鴨田 重裕 農学部	シラバス 参照
集中	60227	A 2		全学体験ゼミナール 癒しの森と地域社会（冬）	浅野 友子 農学部	シラバス 参照
集中	51354	A		全学体験ゼミナール ダムと土砂と海	蔵治 光一郎 農学部	シラバス 参照
集中	51287	A		全学体験ゼミナール 目に見えない素粒子や原子核を見てやろう	下浦 享 理学部	シラバス 参照
集中	60210	A 2		全学体験ゼミナール 柏キャンパスサイエンスキャンプ VI（大気と海洋）	宇垣 正志 新領域創成科学研究科	シラバス 参照
集中	60205	A 2		全学体験ゼミナール 柏キャンパスサイエンスキャンプ I（物性）	宇垣 正志 新領域創成科学研究科	シラバス 参照
集中	60206	A 2		全学体験ゼミナール 柏キャンパスサイエンスキャンプ II（宇宙）	宇垣 正志 新領域創成科学研究科	シラバス 参照
集中	60207	A 2		全学体験ゼミナール 柏キャンパスサイエンスキャンプ III（エネルギーとマテリアル）	宇垣 正志 新領域創成科学研究科	シラバス 参照
集中	60208	A 2		全学体験ゼミナール 柏キャンパスサイエンスキャンプ IV（環境）	宇垣 正志 新領域創成科学研究科	シラバス 参照
集中	60209	A 2		全学体験ゼミナール 柏キャンパスサイエンスキャンプ V（生命）	宇垣 正志 新領域創成科学研究科	シラバス 参照

開講曜限	時間割コード	開講区分	系	授業科目名	担当教員名・所属	教室
集中	51254	A		全学体験ゼミナール 最先端メディカルゲノムサイエンスを体験する 2017A	松田 浩一 新領域創成科学研究科	シラバス 参照
集中	51255	A		全学体験ゼミナール 火山との共生：箱根火山を知ろう	前野 深 地震研究所	シラバス 参照
集中	51296	A		全学体験ゼミナール 映像デザイン実習	松本 文夫 総合研究博物館	シラバス 参照
集中	51334	A		全学体験ゼミナール ナノ・バイオテクノロジー：最先端ラボへようこそ	宮田 完二郎 工学部	シラバス 参照
集中	51186	A		国際研修 UTokyo/ANU Exchange in Tokyo and Canberra, Australia	矢口 祐人 英語	シラバス 参照
集中	51187	A		国際研修 台湾研修	阿古 智子 中国語	シラバス 参照
集中	51188	A		国際研修 短期集中英語: オーストラリアで上級を目指す！／ Intensive English: Forging an advanced level of English in Australia	櫻井 勇介 国際交流センター	シラバス 参照
集中	51189	A		国際研修 RoboCon: Basic robotics amid a multicultural academic environment in Malaysia	櫻井 勇介 国際交流センター	シラバス 参照
集中	60197	A 2		国際研修 ボン大学ドイツ語ウインタースクール	森井 裕一 ドイツ語	シラバス 参照
集中	60198	A 2		国際研修 平和のために東大生ができること：トルクメニスタン研修	岡田 晃枝 国際関係	シラバス 参照

専門科目について

専門科目のシラバス等はUTASにログインし、閲覧してください。ログインするには、UTokyo AccountのユーザーID・パスワードを入力してください。

●シラバスの閲覧方法

UTASにログイン後、上部のMenu「シラバス」→「シラバス参照」（フリーワード検索、項目指定検索、学科・コース別検索）へと進み、必要な情報を入力し検索・閲覧してください。

●専門科目の開講場所（教室）について

時間割冊子の「専門科目一覧表」・「専門科目時間割表」に、具体的な開講場所（教室）が記載されていない場合（例えば「〇〇学部」等の表記）は、UTASにログイン後、「シラバス参照」（フリーワード検索、項目指定検索、学科・コース別検索）画面の教室欄を確認してください。

UTASでも教室が確認できない場合は、「専門科目一覧表」に記載された各学部の教務担当部署へ問い合わせてください。

●専門科目の授業日程・開講区分について

専門科目の授業は、教養学部前期課程の授業日程にしたがって行われる場合と、専門科目を開講する各学部の授業日程にしたがって行われる場合があります。また、開講区分欄に「W」と記載のある一部の専門科目については、Wターム（1月～3月）の期間に授業が開講される予定です。専門科目の授業日程や開講期間について不明な点がある場合は、各学部の教務担当部署へ問い合わせてください。

●専門科目の履修登録について

専門科目の履修登録は、UTASの「履修登録（前期課程）」画面で行います。履修登録の期間は、前期課程科目の登録期間に準じます。

平成29年度 Aセメスター (A1・A2) 専門科目一覧表

法学部

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
S1S2A1A2	月1	0117071	刑法第1部	佐伯 仁志	講堂	900
A1A2	月2	0117231	ヨーロッパ政治史	平島 健司	講堂	900
S1S2A1A2	月4	0117003	憲法	石川 健治	講堂	900
A1A2	月5	0117661	日本近代法史	和仁 陽	講堂	900
A1A2	火1	0117141	国際法第1部	森 肇志	講堂	900
A1A2	火2	0117381	経済学基礎	柳川 範之	講堂	900
S1S2A1A2	火2	0117003	憲法	石川 健治	講堂	900
A1A2	火3	0117201	政治学	加藤 淳子	講堂	900
A1A2	火4	0117561	国際政治	藤原 帰一	講堂	900
A1A2	水2	0117231	ヨーロッパ政治史	平島 健司	講堂	900
S1S2A1A2	水5	0117021	民法第1部	加毛 明	講堂	900
A1A2	木1	0117561	国際政治	藤原 帰一	講堂	900
S1S2A1A2	木1	0117021	民法第1部	加毛 明	講堂	900
S1S2A1A2	木2	0117003	憲法	石川 健治	講堂	900
A1A2	木3	0117381	経済学基礎	柳川 範之	講堂	900
A1A2	金1	0117141	国際法第1部	森 肇志	講堂	900
A1A2	金2	0117201	政治学	加藤 淳子	講堂	900
S1S2A1A2	金2	0117071	刑法第1部	佐伯 仁志	講堂	900
A 1	金3	0117862	統計学I	入江 薫	駒場13号館	1323
	金4					
A 2	金3	0117863	統計学II	入江 薫	駒場13号館	1323
	金4					

※法学部教務係：03-5841-3109

平成29年度 Aセメスター (A1・A2) 専門科目一覧表

医学部

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A 2	月1	02219	生命科学・ゲノム学 I	渡邊 洋一	医学部	シラバス参照
A1A2	月2	02211	健康総合科学概論	松山 裕	医学部	シラバス参照
A 1	月3	02203	解剖学	渡邊 洋一	医学部	シラバス参照
A 2	月3	02213	社会と健康	近藤 尚己	医学部	シラバス参照
A 1	月4	02212	国際保健学	小坂 理子	医学部	シラバス参照
				梅崎 昌裕		
A 2	月4	02213	社会と健康	近藤 尚己	医学部	シラバス参照
				橋本 英樹		
A 2	火1	02225	薬理学・毒性学	梅崎 昌裕	医学部	シラバス参照
A 1	火2	02206	看護学概論	市川 奈央子	医学部	シラバス参照
				竹原 君江		
				武村 雪絵		
				國江 慶子		
A 2	火2	02225	薬理学・毒性学	梅崎 昌裕	医学部	シラバス参照
A 1	火3	02234	発生発達学	高梨 さやか	医学部	シラバス参照
				水口 雅		
A 2	火3	02214	人類遺伝学 I	徳永 勝士	医学部	シラバス参照
				馬淵 昭彦		
A 1	火4	02234	発生発達学	水口 雅	医学部	シラバス参照
A 2	火4	02204	科学論文・表現技術	近藤 尚己	医学部	シラバス参照
A 1	火5	02210	健康総合科学英語 I	山本 則子	医学部	シラバス参照
				ミリンダ ハル		
A 2	火5	02232	生命環境科学のトピックス	高梨 さやか	医学部	シラバス参照
				水口 雅		
A 1	木1	02226	基礎生命科学	渡邊 洋一	医学部	シラバス参照
A 2	木1	02205	環境と健康	小西 祥子	医学部	シラバス参照
				梅崎 昌裕		
A 1	木2	02226	基礎生命科学	渡邊 洋一	医学部	シラバス参照
A 2	木2	02205	環境と健康	小西 祥子	医学部	シラバス参照
				梅崎 昌裕		
A 1	木3	02216	生物統計学	松山 裕	医学部	シラバス参照
A 2	木3	02250	基礎看護学 I	市川 奈央子	医学部	シラバス参照
				竹原 君江		
				武村 雪絵		
				國江 慶子		
A 1	木4	02216	生物統計学	松山 裕	医学部	シラバス参照
A 2	木4	02250	基礎看護学 I	市川 奈央子	医学部	シラバス参照
				竹原 君江		
				武村 雪絵		
				國江 慶子		
A 1	金1	02207	感染症	高梨 さやか	医学部	シラバス参照
				水口 雅		
A 2	金1	02218	生命・医療倫理 I	中澤 栄輔	医学部	シラバス参照
				赤林 朗		
A 1	金2	02209	健康心理学	川上 憲人	医学部	シラバス参照
A 2	金2	02218	生命・医療倫理 I	中澤 栄輔	医学部	シラバス参照
				赤林 朗		
A 1	金3	02221	生理学	佐々木 誠一	医学部	シラバス参照
				小西 祥子		
				梅崎 昌裕		
A 2	金3	02241	公共健康科学統合講義 I	橋本 英樹	医学部	シラバス参照
A 1	金4	02221	生理学	佐々木 誠一	医学部	シラバス参照
				小西 祥子		
				梅崎 昌裕		
A 2	金4	02241	公共健康科学統合講義 I	橋本 英樹	医学部	シラバス参照
通年	金5	02290	ゼミナール	山本 則子	医学部	シラバス参照
集中	集中	02170	医学序論	科目担当教員	医学部	シラバス参照
集中	集中	02441	チュートリアル (2年生)	科目担当教員	医学部	シラバス参照
集中	集中	02300	解剖学第1(組織学)	科目担当教員	医学部	シラバス参照
集中	集中	02350	生化学・栄養学	科目担当教員	医学部	シラバス参照
集中	集中	02440	統計学	科目担当教員	医学部	シラバス参照
集中	集中	02115	実験動物資源学	科目担当教員	医学部	シラバス参照
集中	集中	02351	生化学・栄養学実習	科目担当教員	医学部	シラバス参照
集中	集中	02430	人類遺伝学	科目担当教員	医学部	シラバス参照
W	集中	02255	健康支援実習	玉井 奈緒	医学部	シラバス参照
				真田 弘美		
				仲上 豪二郎		

※医学部教務係：03-5841-3308

平成29年度 Aセメスター (A1・A2) 専門科目一覧表

工学部

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A 1	月1	FEN-CH2F00L1	生命化学I	畑中 研一	駒場13号館	1313
A 1	月1	FEN-MA2E07L1	材料力学I	榎 学	駒場5号館	511
				井上 純哉		
A 1	月1	FEN-UE2M03L1	地球環境工学	滝沢 智	工14号館	144講義室
A 2	月1	FEN-CH2F01L1	生命化学II	岡本 晃充	駒場13号館	1313
A 2	月1	FEN-AR2Q07L1	建築弾性学	桑村 仁	工1号館	工12号講義室
A1A2	月1	FEN-EE2I02L1	信号解析基礎	苗村 健	駒場11号館	1108
A 1	月2	FEN-CH2200L1	電気工学大要第一	杉山 正和	駒場11号館	1102
A 1	月2	FEN-MA2201L1	材料量子力学	渡邊 聡	駒場5号館	511
A 1	月2	FEN-SI2B11L1	材料力学1	村山 英晶	駒場5号館	533
A 1	月2	FEN-CE2A03L1	基礎流体力学	下園 武範	工学部新2号館	工213号講義室
A 2	月2	FEN-CH2306L1	化学工学I	酒井 康行	駒場7号館	761
A 2	月2	FEN-SI2B12L1	材料力学2	村山 英晶	駒場5号館	533
A 2	月2	FEN-MA2301L1	有機材料化学	山崎 裕一	駒場5号館	511
				吉田 亮		
A 2	月2	FEN-UE2M04L1	環境公衆衛生	福士 謙介	工14号館	144講義室
A 2	月2	FEN-CE2402L1	社会技術論	加藤 浩徳	工1号館	工15号講義室
				小松崎 俊作		
A1A2	月2	FEN-EE2C02L1	デジタル回路	入江 英嗣	駒場7号館	721
A1A2	月2	FEN-AA2U41L1	航空宇宙情報システム学第一	堀 浩一	駒場5号館	513
A1A2	月2	FEN-AM2220L1	統計熱力学	岩佐 義宏	駒場11号館	1108
A1A2	月2	FEN-MX2B01L1	流れ学第一	高木 周	工学部新2号館	工221号講義室
				杵淵 郁也		
A1A2	月2	FEN-AR2Q01L1	建築構造解析第一	藤田 香織	工1号館	工12号講義室
				塩原 等		
				高田 毅士		
A 1	月3	FEN-PE2D00L1	プログラミング基礎I	各教員	情報教育棟	E26
				大竹 豊		
A 1	月3	FEN-SI2W53L1	社会システム工学基礎	教員	駒場5号館	533
				吉田 好邦		
A 1	月3	FEN-CH2307L1	有機化学I	吉江 尚子	駒場13号館	1311・1312
				工藤 一秋		
A 1	月3	FEN-CE2A06L1	基盤技術設計論I	長山 智則	工1号館	工15号講義室
				石田 哲也		
				古関 潤一		
A 2	月3	FEN-PE2801S1	設計演習II	深野 暁雄	情報教育棟	E26
				浅間 一		
A 2	月3	FEN-CH2308L1	有機化学II	藤田 誠	駒場13号館	1311・1312
A 2	月3	FEN-SI2W54L1	知識と知能	合田 隆	21KOMCEE East	K213
				大澤 幸生		
				青山 和浩		
A 2	月3	FEN-CE2A07L1	基盤技術設計論II	長山 智則	工1号館	工15号講義室
				石田 哲也		
				古関 潤一		
A1A2	月3	FEN-SI2W57L1	レジリエンスコロキウム	糸井 達哉	工3号館	工34号講義室
				出町 和之		
A1A2	月3	FEN-EE2201L1	電気磁気学I	種村 拓夫	駒場7号館	761
				小野 亮		
A1A2	月3	FEN-AM2150L1	最適化手法	谷川 眞一	駒場11号館	1108
A1A2	月3	FEN-CO2927S1	数学及力学演習 G	矢入 健久	駒場13号館	1322
A1A2	月3	FEN-MX2602L1	計測の原理と応用	米谷 玲皇	工学部新2号館	工221号講義室
				割澤 伸一		
				下山 勲		
A1A2	月3	FEN-AR2R01L1	建築構法概論	清家 剛	工1号館	工12号講義室
A 1	月4	FEN-CH2301L1	物理化学I	高木 紀明	駒場12号館	1225
A 1	月4	FEN-PE2D00L1	プログラミング基礎I	各教員	情報教育棟	E26
				大竹 豊		
A 1	月4	FEN-SI2W01L1	システム創成学基礎	大橋 弘忠	駒場5号館	533
				古田 一雄		
A 1	月4	FEN-CE2101L1	数理分析の基礎	本田 利器	工1号館	工15号講義室
				市村 強		
A 1	月4	FEN-UE2101L1	基礎統計	中谷 隼	工14号館	144講義室
A 1	月4	FEN-CO2922L1	数学及力学演習 B	伊山 潤	工1号館	工12号講義室
A 2	月4	FEN-CH2302L1	量子化学I	田村 宏之	駒場12号館	1225
				山下 晃一		
A 2	月4	FEN-PE2801S1	設計演習II	深野 暁雄	情報教育棟	E26
				浅間 一		

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A 2	月4	FEN-SI2503L1	環境・エネルギー材料科学概論	阿部 弘亨	駒場13号館	1331
				寺井 隆幸		
A 2	月4	FEN-CE2401L1	基礎経済学	羽藤 英二	工1号館	工15号講義室
A 2	月4	FEN-UE2102L1	社会調査法	樋野 公宏	工14号館	144講義室
				浅見 泰司		
				瀬田 史彦		
A1A2	月4	FEN-EE2202L1	電磁気学II	種村 拓夫	駒場7号館	761
				小野 亮		
A1A2	月4	FEN-CO2927S1	数学及力学演習 G	矢入 健久	駒場13号館	1322
A1A2	月4	FEN-AM2D10L1	数値解析	松尾 宇泰	駒場11号館	1108
A1A2	月4	FEN-MX2601L1	システム制御 1	杉田 直彦	工学部新 2 号館	工221号講義室
				福井 類		
				小竹 元基		
A 1	月5	FEN-SI2701L1	安全学基礎	斉藤 拓巳	駒場5号館	533
				古田 一雄		
A 1	月5	FEN-CO2922L1	数学及力学演習 B	伊山 潤	工1号館	工12号講義室
A 1	月5	FEN-CE2D01L1	基礎情報学	山口 敦	情報基盤センター	大演習室 1
				石原 孟		
A 2	月5	FEN-PE2801S1	設計演習II	深野 暁雄	情報教育棟	E26
				浅間 一		
A 2	月5	FEN-SI2503L1	環境・エネルギー材料科学概論	阿部 弘亨	駒場13号館	1331
				寺井 隆幸		
A 1	火1	FEN-SI2Z02L1	ビジネス入門	元橋 一之	駒場13号館	1312
A 1	火1	FEN-CH2305L1	コンピュータ科学	大久保 將史	駒場13号館	1331
A 1	火1	FEN-CE2A02L1	構造の力学	本田 利器	工学部新 2 号館	工213号講義室
				長山 智則		
A 2	火1	FEN-CH2M00S1	コンピュータ及び演習	阿久津 好明	情報教育棟	E21
A 2	火1	FEN-AR2Q04L1	荷重外力論第一	高田 毅士	工1号館	工11号講義室
A1A2	火1	FEN-EE2D04L1	情報通信理論	相澤 清晴	駒場11号館	1108
A1A2	火1	FEN-PE2E00L1	材料工学I	須賀 唯知	工14号館	142講義室
A1A2	火1	FEN-MX2B06L1	機械力学	党 超鋌	工学部新 2 号館	工221号講義室
				山崎 由大		
				金子 成彦		
				小竹 元基		
A 1	火2	FEN-SI2Z02L1	ビジネス入門	元橋 一之	駒場13号館	1312
A 1	火2	FEN-SI2504L1	地球科学	中村 謙太郎	駒場5号館	524
				徳永 朋祥		
				宮本 英昭		
				加藤 泰浩		
A 1	火2	FEN-CH2303L1	分析化学I	田端 和仁	駒場7号館	743
A 1	火2	FEN-SI2D08L1	データ指向モデリング	和泉 潔	駒場12号館	1214
				鳥海 不二夫		
A 1	火2	FEN-MA2E02L1	材料速度論	神原 淳	工4号館	工42号講義室
				長汐 晃輔		
A 2	火2	FEN-CH2309L1	分析化学II	馬渡 和真	駒場11号館	1101
				北森 武彦		
A 2	火2	FEN-SI2501L1	環境・エネルギー概論	鈴木 英之	駒場5号館	523
				ドドビバ ジョルジ		
				寺井 隆幸		
A 2	火2	FEN-CE2A05L1	水理学	知花 武佳	工1号館	工14号講義室
				池内 幸司		
A 2	火2	FEN-MA2E03L1	材料相平衡論	松浦 宏行	工4号館	工42号講義室
A1A2	火2	FEN-EE2601L1	電気電子計測	廣瀬 明	駒場11号館	1108
A1A2	火2	FEN-AA2U46L1	航空機力学第一	今村 太郎	駒場1号館	162
A1A2	火2	FEN-PE2C00L1	電気回路基礎	神保 泰彦	工14号館	142講義室
A1A2	火2	FEN-AM2211L1	電磁気学第一	芝内 孝禎	駒場7号館	724
A1A2	火2	FEN-MX2903S1	機械力学演習	学科長	工学部新 2 号館	工221号講義室
				高橋 宏知		
				党 超鋌		
				山崎 由大		
				二瓶 美里		
A1A2	火2	FEN-AR2O01L1	環境工学概論	赤司 泰義	工8号館	工83号講義室
				前 真之		
				佐久間 哲哉		
				平手 小太郎		
A 1	火3	FEN-CH2304L1	無機化学I	宮山 勝	駒場7号館	761
A 1	火3	FEN-PE2B00L1	機械振動学基礎	保坂 寛	工14号館	142講義室
A 1	火3	FEN-AM2100L1	基礎数理	岩田 覚	駒場7号館	724
A 1	火3	FEN-AR2S01L1	建築材料学概論	野口 貴文	工1号館	工12号講義室
A 1	火3	FEN-MA2303L1	材料結晶学	阿部 英司	工4号館	工42号講義室
A 2	火3	FEN-CH2300L1	物性論I	竹谷 純一	駒場11号館	1102

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A 2	火3	FEN-AM2240L1	半導体概論	千葉 大地	工学部新 2 号館	工212号講義室
A 2	火3	FEN-CE2A04L1	材料の力学	長井 宏平 古関 潤一	工学部新 2 号館	工211号講義室
A 2	火3	FEN-MA2302L1	無機材料化学	喜多 浩之	工4号館	工42号講義室
A1A2	火3	FEN-EE2C01L1	電気回路理論第一	藤本 博志 小関 泰之	駒場11号館	1108
A1A2	火3	FEN-AA2U62L1	航空宇宙推進学第一	中谷 辰爾	21KOMCEE East	K212
A1A2	火3	FEN-MX2902S1	機械数学演習	学科長 牛久 祥孝 杵淵 郁也	工学部新 2 号館	工221号講義室
A1A2	火3	FEN-SI2900S1	動機付けプロジェクト	中村 謙太郎 沖田 泰良 橋本 学 菅野 太郎 藤井 康正 早稲田 卓爾 松尾 豊 柴田 和也 藤田 豊久 愛知 正温 青山 和浩	駒場1号館 情報教育棟	109・112・113・ 115・151・167・ 184・E25・E35・E39
A1A2	火3	FEN-UE2M07L1	緑地計画概論	横張 真	工14号館	141講義室
A 1	火4	FEN-CA2900L1	応用化学基礎論	各教員 渡邊 力也	駒場5号館	522
A 1	火4	FEN-AM2610L1	回路とシステムの基礎	檜山 敦	工学部新 2 号館	工212号講義室
A 1	火4	FEN-PE2B00L1	機械振動学基礎	保坂 寛	工14号館	142講義室
A 1	火4	FEN-MA2E01L1	基礎熱力学	山口 周	工4号館	工42号講義室
A 2	火4	FEN-CA2500L1	エネルギー化学I	小倉 賢 立間 徹 石井 和之	駒場5号館	512
A 2	火4	FEN-MP2710L1	認識行動システムの基礎	稲見 昌彦	工学部新 2 号館	工212号講義室
A 2	火4	FEN-MA2202L1	材料統計力学	木村 薫	工4号館	工42号講義室
A1A2	火4	FEN-CS2901L1	化学システム工学基礎論	各教員 山田 淳夫	駒場12号館	1212
A1A2	火4	FEN-EE2C01L1	電気回路理論第一	藤本 博志 小関 泰之	駒場11号館	1108
A1A2	火4	FEN-CB2001L3	Introductory lectures for chemistry and biotechnology	池内 与志穂 各教員	駒場1号館	107
A1A2	火4	FEN-SI2900S1	動機付けプロジェクト	中村 謙太郎 沖田 泰良 橋本 学 菅野 太郎 藤井 康正 早稲田 卓爾 松尾 豊 柴田 和也 藤田 豊久 愛知 正温 青山 和浩	駒場1号館 情報教育棟	109・112・113・ 115・151・167・ 184・E25・E35・E39
A1A2	火4	FEN-MX2B03L1	熱工学第一	大宮司 啓文 飛原 英治	工学部新 2 号館	工221号講義室
A1A2	火4	FEN-CE2M23L1	社会基盤学序論	羽藤 英二	工学部新 2 号館	工211号講義室
A1A2	火4	FEN-UE2M08L1	都市居住概論	樋野 公宏	工14号館	144講義室
A 1	火5	FEN-UE2D01L1	情報学概論	各教員	工14号館	144講義室
A1A2	火5	FEN-SI2900S1	動機付けプロジェクト	中村 謙太郎 沖田 泰良 橋本 学 菅野 太郎 藤井 康正 早稲田 卓爾 松尾 豊 柴田 和也 藤田 豊久 愛知 正温 青山 和浩	駒場1号館 情報教育棟	109・112・113・ 115・151・167・ 184・E25・E35・E39
A1A2	火5	FEN-CE2A01L1	水圏デザイン基礎	鯉渕 幸生 田島 芳満 知花 武佳 池内 幸司 芳村 圭	工学部新 2 号館	工211号講義室

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A1A2	火5	FEN-MA2E08L1	マテリアル工学概論	小関 敏彦	工4号館	工42号講義室
				石原 一彦		
				渡邊 聡		
				前田 正史		
				後藤 芳一		
A 1	水1	FEN-UE2M05L1	都市計画概論	大方 潤一郎	駒場13号館	1311
A1A2	水1	FEN-CO2F00L1	生命科学概論(電気系・物工・計数)	酒井(古川) 克子	駒場11号館	1101
				高木 周		
				廣瀬 明		
				田畑 仁		
				高橋 浩之		
A1A2	水1	FEN-CO2F01L1	生命科学概論(マテ・応化・化シス)	長棟 輝行	駒場11号館	1102
				大庭 伸介		
				野地 博行		
				鈴木 健夫		
				高野 渉		
A1A2	水1	FEN-MX2D01L1	ソフトウェア第一	岡田 慧	情報教育棟	E31
				森本 賢一		
				羽柴 公博		
A 1	水2	FEN-SI2T04S1	力学演習 1	柴沼 一樹	21KOMCEE East	K114・K214
				早稲田 卓爾		
				尾崎 雅彦		
				大方 潤一郎		
A 1	水2	FEN-UE2M05L1	都市計画概論	大方 潤一郎	駒場13号館	1311
A 2	水2	FEN-SI2T05S1	力学演習 2	羽柴 公博	21KOMCEE East	K114・K214
				柴沼 一樹		
				早稲田 卓爾		
				尾崎 雅彦		
A1A2	水2	FEN-EE2D03S1	プログラミング基礎演習	長谷川 禎彦	情報教育棟	E21
A1A2	水2	FEN-CO2601L1	計測通論A	本多 敏	駒場7号館	741
A1A2	水2	FEN-CO2602L1	計測通論B	池内 真志	21KOMCEE East	K213
A1A2	水2	FEN-SI2E01L1	物性学基礎	長谷川 秀一	21KOMCEE East	K211
				沖田 泰良		
A1A2	水2	FEN-PE2600L1	計測と加工の基礎(2年生対象)	梶原 優介	駒場12号館	1214
A1A2	水2	FEN-CE2M24L1	社会基盤史	北河 大次郎	駒場13号館	1312
				中井 祐		
A1A2	水2	FEN-CO2603L1	計測通論C	渡辺 義浩	21KOMCEE East	K212
A1A2	水2	FEN-MX2904S1	機械ソフトウェア演習	高野 渉	情報教育棟	E31
				岡田 慧		
				森本 賢一		
A1A2	水2	FEN-AR2M05L1	都市建築史概論	伊藤 毅	工1号館	工15号講義室
A 1	水3	FEN-AR2W01S1	造形第一	教員	工8号館	工83号講義室
				小淵 祐介		
A 2	水3	FEN-AR2W02S1	造形第二	高木 秀太	工8号館	工83号講義室
				隈 研吾		
A1A2	水3	FEN-CO2C01L1	電気工学通論第一	山下 真司	駒場12号館	1225
A1A2	水3	FEN-CE2M25L1	国際プロジェクト序論	田島 芳満	駒場13号館	1312
				本田 利器		
				堀井 秀之		
				加藤 浩徳		
				石田 哲也		
				小松崎 俊作		
				小谷 潔		
A1A2	水3	FEN-PE2100L1	精密数理I-1	小谷 潔	21KOMCEE East	K211
A1A2	水3	FEN-CO2141L1	数理手法I	縄田 和満	駒場7号館 情報教育棟	743・E26・E31・E38・E42
				合田 隆		
A1A2	水3	FEN-UE2M02L1	環境水質化学	小熊 久美子	駒場12号館	1214
				中島 典之		
A1A2	水3	FEN-AM2231L1	量子力学第一	鹿野田 一司	駒場7号館	741
A 1	水4	FEN-AR2W01S1	造形第一	教員	工8号館	工83号講義室
				小淵 祐介		
A 2	水4	FEN-AR2W02S1	造形第二	高木 秀太	工8号館	工83号講義室
				隈 研吾		
A1A2	水4	FEN-CO2115L1	数学 I E	妹尾 仁嗣	駒場11号館	1106
A1A2	水4	FEN-SI2101S1	数理演習 1	松崎 浩之	21KOMCEE East	K212・K213・K214
				橋本 学		
				多部田 茂		
				早稲田 卓爾		
				井原 智彦		
				阿部 弘亨		
				松島 潤		
				愛知 正温		
A1A2	水4	FEN-CO2112L1	数学 I B	井上 純一	駒場7号館	761

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A1A2	水4	FEN-CO2114L1	数学ⅠD	江澤 雅彦	駒場7号館	743
A1A2	水4	FEN-CO2111L1	数学ⅠA	佐々 成正	駒場7号館	741
A 1	水5	FEN-AR2R02L1	建築構造計画概論	各教員	工1号館	工11号講義室
A1A2	水5	FEN-AA2U01L1	空気力学第一	李家 賢一	駒場5号館	511
A1A2	水5	FEN-CO2145L1	数理手法V	科目担当教員	駒場7号館	741
A1A2	水5	FEN-SI2101S1	数理演習Ⅰ	松崎 浩之	21KOMCEE East	K212・K213・K214
				橋本 学		
				多部田 茂		
				早稲田 卓爾		
				井原 智彦		
				阿部 弘亨		
				松島 潤		
				愛知 正温		
A 1	木1	FEN-CH2301L1	物理化学Ⅰ	高木 紀明	駒場12号館	1225
A 1	木1	FEN-PE2104L1	確率・統計	木下 裕介	工14号館	142講義室
				高松 誠一		
A 1	木1	FEN-MA2E07L1	材料力学Ⅰ	榎 学	駒場5号館	511
				井上 純哉		
A 2	木1	FEN-CH2308L1	有機化学Ⅱ	藤田 誠	駒場13号館	1311・1312
A 2	木1	FEN-PE2101L1	精密数理Ⅰ-2	森田 剛	工14号館	142講義室
				藤井 浩光		
A 2	木1	FEN-UE2M09L1	都市デザイン概論	出口 敦	工14号館	141講義室
A 2	木1	FEN-AR2Q07L1	建築弾性学	桑村 仁	工1号館	工12号講義室
A1A2	木1	FEN-EE2203L1	電子基礎物理	杉山 正和	駒場5号館	525
				山下 真司		
A 1	木2	FEN-SI2B21L1	流体力学Ⅰ	山口 一	駒場13号館	1331
				平林 紳一郎		
				柴田 和也		
A 1	木2	FEN-MA2201L1	材料量子力学	渡邊 聡	駒場5号館	511
A 1	木2	FEN-CH2307L1	有機化学Ⅰ	吉江 尚子	駒場13号館	1311・1312
				工藤 一秋		
A 1	木2	FEN-PE2104L1	確率・統計	木下 裕介	工14号館	142講義室
				高松 誠一		
A 1	木2	FEN-CE2A03L1	基礎流体力学	下園 武範	工学部新2号館	工213号講義室
A 2	木2	FEN-CH2302L1	量子化学Ⅰ	田村 宏之	駒場12号館	1225
				山下 晃一		
A 2	木2	FEN-SI2B22L1	流体力学Ⅱ	山口 一	駒場13号館	1331
				平林 紳一郎		
				柴田 和也		
A 2	木2	FEN-MA2301L1	有機材料化学	山崎 裕一	駒場5号館	511
				吉田 亮		
A 2	木2	FEN-UE2M09L1	都市デザイン概論	出口 敦	工14号館	141講義室
A 2	木2	FEN-CE2402L1	社会技術論	加藤 浩徳	工1号館	工15号講義室
				小松崎 俊作		
A 2	木2	FEN-PE2101L1	精密数理Ⅰ-2	森田 剛	工14号館	142講義室
				藤井 浩光		
A1A2	木2	FEN-EE2203L1	電子基礎物理	杉山 正和	駒場5号館	525
				山下 真司		
A1A2	木2	FEN-MX2B02L1	材料力学第一	泉 聡志	工学部新2号館	工221号講義室
				酒井 信介		
A1A2	木2	FEN-AR2O02L1	建築熱環境	赤司 泰義	工1号館	工12号講義室
A 1	木3	FEN-CH2F00L1	生命化学Ⅰ	畑中 研一	駒場13号館	1313
				山口 哲志		
A 1	木3	FEN-EE2D01L1	ソフトウェアⅠ	川原 圭博	情報教育棟	E21
A 1	木3	FEN-SI2W53L1	社会システム工学基礎	教員	駒場5号館	533
				吉田 好邦		
A 1	木3	FEN-PE2800S1	設計演習Ⅰ	二瓶 一裕	工14号館	142講義室
				鈴木 宏正		
A 1	木3	FEN-CE2A06L1	基盤技術設計論Ⅰ	長山 智則	工1号館	工15号講義室
				石田 哲也		
				古関 潤一		
A 2	木3	FEN-CH2F01L1	生命化学Ⅱ	岡本 晃充	駒場13号館	1313
A 2	木3	FEN-EE2D02L1	ソフトウェアⅡ	齋藤 大輔	情報教育棟	E21
A 2	木3	FEN-SI2W54L1	知識と知能	合田 隆	21KOMCEE East	K213
				大澤 幸生		
				青山 和浩		
A 2	木3	FEN-PE2D01L1	プログラミング基礎Ⅱ	各教員	工14号館	326設計演習室
				大竹 豊		
A 2	木3	FEN-CE2A07L1	基盤技術設計論Ⅱ	長山 智則	工1号館	工15号講義室
				石田 哲也		
				古関 潤一		

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A1A2	木3	FEN-AA2801S1	航空宇宙学製図第一	姫野 武洋	駒場1号館	167
A1A2	木3	FEN-CO2929S1	数学及力学演習 I	江澤 雅彦	駒場7号館	722・742
A1A2	木3	FEN-MX2B04L1	機構学	高畑 智之	工学部新 2 号館	工221号講義室
				下山 勲		
A1A2	木3	FEN-AR2V01S1	建築総合演習	建築全教員	工1号館	工12号講義室
				清家 剛		
A 1	木4	FEN-EE2D01L1	ソフトウェア I	川原 圭博	情報教育棟	E21
A 1	木4	FEN-CH2200L1	電気工学大要第一	杉山 正和	駒場11号館	1102
A 1	木4	FEN-SI2W01L1	システム創成学基礎	大橋 弘忠	駒場5号館	533
				古田 一雄		
A 1	木4	FEN-CE2101L1	数理分析の基礎	本田 利器	工1号館	工15号講義室
				市村 強		
A 1	木4	FEN-PE2800S1	設計演習I	二瓶 一裕	工14号館	142講義室
				鈴木 宏正		
A 2	木4	FEN-EE2D02L1	ソフトウェアII	齋藤 大輔	情報教育棟	E21
A 2	木4	FEN-CH2306L1	化学工学I	酒井 康行	駒場7号館	761
A 2	木4	FEN-CE2401L1	基礎経済学	羽藤 英二	工1号館	工15号講義室
A 2	木4	FEN-PE2D01L1	プログラミング基礎II	各教員	工14号館	326設計演習室
				大竹 豊		
A1A2	木4	FEN-CO2929S1	数学及力学演習 I	江澤 雅彦	駒場7号館	722・742
A1A2	木4	FEN-AR2V01S1	建築総合演習	建築全教員	工1号館	工12号講義室
				清家 剛		
A1A2	木4	FEN-UE2901S1	環境計画基礎演習	各教員	工14号館	145講義室
				中谷 隼		
A1A2	木4	FEN-UE2902S1	都市工学設計製図	全教員	工14号館	141講義室
A 1	木5	FEN-SI2701L1	安全学基礎	斉藤 拓巳	駒場5号館	533
				古田 一雄		
A 1	木5	FEN-CE2D01L1	基礎情報学	山口 敦	情報基盤センター	大演習室 1
				石原 孟		
A 1	木5	FEN-PE2800S1	設計演習I	二瓶 一裕	工14号館	142講義室
				鈴木 宏正		
A1A2	木5	FEN-UE2902S1	都市工学設計製図	全教員	工14号館	141講義室
A1A2	木5	FEN-UE2901S1	環境計画基礎演習	各教員	工14号館	145講義室
				中谷 隼		
A 1	金1	FEN-SI2Z02L1	ビジネス入門	元橋 一之	駒場13号館	1312
A 1	金1	FEN-CH2304L1	無機化学I	宮山 勝	駒場7号館	761
A 2	金1	FEN-CH2300L1	物性論I	竹谷 純一	駒場11号館	1102
A1A2	金1	FEN-EE2501L1	エネルギー工学	日高 邦彦	駒場11号館	1108
				松橋 隆治		
A1A2	金1	FEN-PE2B03L1	連続体力学基礎	三村 秀和	工14号館	142講義室
A1A2	金1	FEN-AA2U61L1	高速内燃機関	津江 光洋	工8号館	工83号講義室
A1A2	金1	FEN-UE2M06L1	都市交通論	原田 昇	工14号館	144講義室
A1A2	金1	FEN-MX2901S1	機械工学総合演習第一	学科長	工学部新 2 号館	工221号講義室
				中尾 政之		
A 1	金2	FEN-SI2Z02L1	ビジネス入門	元橋 一之	駒場13号館	1312
A 1	金2	FEN-SI2504L1	地球科学	中村 謙太郎	駒場5号館	524
				徳永 朋祥		
				宮本 英昭		
				加藤 泰浩		
A 1	金2	FEN-CH2303L1	分析化学I	田端 和仁	駒場7号館	743
A 1	金2	FEN-SI2D08L1	データ指向モデリング	和泉 潔	駒場12号館	1214
				鳥海 不二夫		
A 1	金2	FEN-CE2A02L1	構造の力学	本田 利器	工学部新 2 号館	工213号講義室
				長山 智則		
A 1	金2	FEN-AR2N08L1	建築設計基礎第一	松田 雄二	工1号館	工15号講義室
				西出 和彦		
				大月 敏雄		
A 1	金2	FEN-MA2E02L1	材料速度論	神原 淳	工4号館	工42号講義室
				長汐 晃輔		
A 2	金2	FEN-CH2309L1	分析化学II	馬渡 和真	駒場11号館	1101
				北森 武彦		
A 2	金2	FEN-SI2501L1	環境・エネルギー概論	鈴木 英之	駒場5号館	523
				ドトビバ ジョルジ		
				寺井 隆幸		
A 2	金2	FEN-UE2D02L1	都市情報科学概論	貞廣 幸雄	工14号館	144講義室
A 2	金2	FEN-CE2A05L1	水理学	知花 武佳	工1号館	工14号講義室
				池内 幸司		
A 2	金2	FEN-AR2N09L1	建築設計基礎第二	松田 雄二	工1号館	工15号講義室
				西出 和彦		
				大月 敏雄		
A 2	金2	FEN-MA2E03L1	材料相平衡論	松浦 宏行	工4号館	工42号講義室

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A1A2	金2	FEN-EE2C03L1	電子デバイス基礎	竹中 充	駒場11号館	1102
				染谷 隆夫		
A1A2	金2	FEN-AA2U21L1	基礎材料力学	上西 幸司	工8号館	工83号講義室
A1A2	金2	FEN-PE2604L1	信号処理工学	山本 晃生	工14号館	142講義室
A1A2	金2	FEN-AM2900S1	物理数学	芝内 孝禎	工学部新2号館	工212号講義室
				岩佐 義宏		
				鹿野田 一司		
A1A2	金2	FEN-MX2901S1	機械工学総合演習第一	学科長	工学部新2号館	工221号講義室
				中尾 政之		
A1A2	金2	FEN-AA2U21L1	基礎材料力学	上西 幸司	工8号館	工83号講義室
A 1	金3	FEN-CH2305L1	コンピュータ科学	大久保 將史	駒場13号館	1331
A 1	金3	FEN-AA2U43L1	宇宙工学入門	小泉 宏之	工8号館	工83号講義室
				岩崎 晃		
				中須賀 真一		
A 1	金3	FEN-AM2100L1	基礎数理	岩田 覚	工学部新2号館	工212号講義室
A 1	金3	FEN-CE2M01S1	導入プロジェクト	中井 祐	工1号館	土木設計演習室
A 1	金3	FEN-MA2303L1	材料結晶学	阿部 英司	工4号館	工42号講義室
A 1	金3	FEN-AR2N01S1	建築設計製図第一	建築全教員	工1号館	製図室
				千葉 学		
A 2	金3	FEN-CH2M00S1	コンピュータ及び演習	阿久津 好明	情報教育棟	E21
A 2	金3	FEN-AM2240L1	半導体概論	千葉 大地	工学部新2号館	工212号講義室
A 2	金3	FEN-AR2N02S1	建築設計製図第二	建築全教員	工1号館	製図室
				千葉 学		
A 2	金3	FEN-CE2A04L1	材料の力学	長井 宏平	工学部新2号館	工211号講義室
				古関 潤一		
A 2	金3	FEN-MA2302L1	無機材料化学	喜多 浩之	工4号館	工42号講義室
A1A2	金3	FEN-PE2900S1	精密工学基礎演習	高増 潔	工14号館	142講義室
				浅間 一		
				日暮 栄治		
				太田 順		
				高橋 哲		
				須賀 唯知		
A1A2	金3	FEN-EE2101S1	電気電子数学演習	矢谷 浩司	駒場13号館	1311・1321・1322
				飯塚 哲也		
				横田 知之		
A1A2	金3	FEN-SI2D01S1	プログラミング基礎	稗方 和夫	情報教育棟	A1 : E21・E38・E42 A2 : E38・E41・E42
				小林 肇		
				鳥海 不二夫		
A1A2	金3	FEN-AA2U21L1	基礎材料力学	上西 幸司	工8号館	工83号講義室
A1A2	金3	FEN-UE2M01L1	都市環境概論	古米 弘明	工14号館	144講義室
				森口 祐一		
A1A2	金3	FEN-MX2B05L1	メカトロニクス	高畑 智之	工学部新2号館	工221号講義室
A 1	金4	FEN-CA2900L1	応用化学基礎論	各教員	駒場5号館	522
				渡邊 力也		
A 1	金4	FEN-AM2610L1	回路とシステムの基礎	檜山 敦	工学部新2号館	工212号講義室
A 1	金4	FEN-MA2E01L1	基礎熱力学	山口 周	工4号館	工42号講義室
A 1	金4	FEN-AR2N01S1	建築設計製図第一	建築全教員	工1号館	製図室
				千葉 学		
A 1	金4	FEN-CE2M01S1	導入プロジェクト	中井 祐	工1号館	土木設計演習室
A 1	金4	FEN-AA2U43L1	宇宙工学入門	小泉 宏之	工8号館	工83号講義室
				岩崎 晃		
				中須賀 真一		
A 2	金4	FEN-CA2500L1	エネルギー化学I	小倉 賢	駒場5号館	522
				立間 徹		
				石井 和之		
A 2	金4	FEN-MP2710L1	認識行動システムの基礎	稲見 昌彦	工学部新2号館	工212号講義室
A 2	金4	FEN-MA2202L1	材料統計力学	木村 薫	工4号館	工42号講義室
A 2	金4	FEN-AR2N02S1	建築設計製図第二	建築全教員	工1号館	製図室
				千葉 学		
A1A2	金4	FEN-CS2902L1	環境システム工学概論	各教員	駒場5号館	532
				戸野倉 賢一		
A1A2	金4	FEN-EE2101S1	電気電子数学演習	矢谷 浩司	駒場13号館	1311・1321・1322
				飯塚 哲也		
				横田 知之		
A1A2	金4	FEN-SI2D01S1	プログラミング基礎	稗方 和夫	情報教育棟	A1 : E21・E38・E42 A2 : E38・E41・E42
				小林 肇		
				鳥海 不二夫		

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A1A2	金4	FEN-PE2900S1	精密工学基礎演習	高増 潔	工14号館	142講義室
				浅間 一		
				日暮 栄治		
				太田 順		
				高橋 哲		
				須賀 唯知		
A1A2	金4	FEN-UE2901S1	環境計画基礎演習	各教員	工14号館	145講義室
				中谷 隼		
A1A2	金4	FEN-MX2801L1	機械設計	草加 浩平	工学部新2号館	工221号講義室
				柳澤 秀吉		
				村上 存		
A1A2	金4	FEN-UE2902S1	都市工学設計製図	全教員	工14号館	141講義室
A 1	金5	FEN-SI2202L1	応用のための物理I(古典論)	吉田 善章	駒場13号館	1322
A 1	金5	FEN-CE2M01S1	導入プロジェクト	中井 祐	工1号館	土木設計演習室
A 1	金5	FEN-AR2N01S1	建築設計製図第一	建築全教員	工1号館	製図室
				千葉 学		
A 2	金5	FEN-SI2203L1	応用のための物理II(熱力学)	吉田 善章	駒場13号館	1322
A 2	金5	FEN-AR2N02S1	建築設計製図第二	建築全教員	工1号館	製図室
				千葉 学		
A1A2	金5	FEN-SI2W60L1	社会システムと産業	坂田 一郎	駒場12号館	1212
A1A2	金5	FEN-PE2900S1	精密工学基礎演習	高増 潔	工14号館	142講義室
				浅間 一		
				日暮 栄治		
				太田 順		
				高橋 哲		
				須賀 唯知		
A1A2	金5	FEN-MA2901L1	マテリアル工学自由研究	学科長	工4号館	工42号講義室
A1A2	金5	FEN-MX2802L1	生産の技術	長藤 圭介	工学部新2号館	工221号講義室
				中尾 政之		
A1A2	金5	FEN-UE2901S1	環境計画基礎演習	各教員	工14号館	145講義室
				中谷 隼		
A1A2	金5	FEN-UE2902S1	都市工学設計製図	全教員	工14号館	141講義室

※工学部学務課学部チーム：03-5841-6036

平成29年度 Aセメスター (A1・A2) 専門科目一覽表

文学部

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A1A2	月2	04170411	倫理学特殊講義II	池松 辰男 熊野 純彦	21KOMCEE East	K114
A1A2	月2	04171209	東洋史学研究入門	吉澤 誠一郎 島田 竜登	駒場1号館	104
A1A2	月2	04173863	比較文学概論	河野 至恩	法文1号館	215教室
A1A2	月2	04171402	考古学概論I	大貫 静夫	法文1号館	319教室
A1A2	月2	04171123	日本史学特殊講義II	鈴木 淳 牧原 成征	法文1号館	315教室
A1A2	月3	04174313	社会調査	藤原 翔 白波瀬 佐和子	文学部	シラバス参照
A1A2	月3	04174212	社会心理学調査実習	白岩 祐子 唐沢 かおり 橋本 剛明	法文1号館	215教室
A1A2	月3	04170604	原典講読I	渡辺 裕	法文1号館	217教室
A1A2	月3	04172117	言語学特殊講義III	梅谷 博之		文学部・人文社会系研究科 各研究室
A1A2	月3	04173002	英語学英米文学特殊講義 IV	大橋 洋一	法文1号館	113教室
A1A2	月3	04172201	国語学概論	月本 雅幸	法文1号館	312教室
A1A2	月3	04170514	宗教学演習I	藤原 聖子	法文1号館	315教室
A 1	月4	04172401	中国語学中国文学特殊講義I	藤井 省三	文学部	シラバス参照
A1A2	月4	04170505	宗教学宗教史学特殊講義I	江川 純一 鶴岡 賀雄	法文2号館	2番大教室
A1A2	月4	04170108	西洋哲学史概説第1部I	納富 信留	法文1号館	214教室
A1A2	月4	04170461	倫理学特殊講義I	魚住 孝至	法文1号館	112教室
A1A2	月4	04174212	社会心理学調査実習	白岩 祐子 唐沢 かおり 橋本 剛明	法文1号館	215教室
A1A2	月4	04173005	英語学英米文学特殊講義I	大橋 洋一 後藤 和彦	法文1号館	314教室
A1A2	月4	04174313	社会調査	藤原 翔 白波瀬 佐和子	文学部	シラバス参照
A 1	月5	04170313	インド哲学概論	高橋 晃一	駒場1号館	119
A 1	月5	04172401	中国語学中国文学特殊講義I	藤井 省三	文学部	シラバス参照
A1A2	月5	04172315	国文学概論	安藤 宏	駒場5号館	512
A1A2	月5	04170666	美学芸術学特殊講義II	小岩 信治	法文2号館	2番大教室
A1A2	月5	04170509	宗教史概説I	池澤 優	法文1号館	113教室
A 1	火1	04170701	イスラム学概論I	柳橋 博之	法文1号館	113教室
A1A2	火2	04171001	史学概論	橋場 弦	駒場12号館	1222
A1A2	火2	04170667	原典講読IV	伊藤 亜紗	法文1号館	319教室
A1A2	火2	04170306	仏教概論I	下田 正弘	法文1号館	312教室
A1A2	火2	04175301	文化交流特殊講義I	小島 毅	法文1号館	112教室
A1A2	火2	04173808	近代文学特殊講義II	柳原 孝敦	法文1号館	219教室
A1A2	火2	04173307	スラヴ文学史概説	楯岡 求美	文学部3号館	スラヴ演習室
A1A2	火3	04172502	印度語学概論II	梶原 三恵子	法文1号館	112教室
A1A2	火3	04170205	中国思想文化史概説II	陳 捷	赤門総合研究棟	赤門721
A1A2	火3	04171206	東洋史学特殊講義I	佐川 英治	法文1号館	212教室
A1A2	火3	04176411	英語後期II	小林 久美子	法文1号館	115教室
A1A2	火3	04170605	美学概論	小田部 胤久	法文2号館	2番大教室
A1A2	火3	04173211	フランス語学フランス文学演習 II	塚本 昌則	法文1号館	216教室
A1A2	火3	04174211	社会心理学実験実習	白岩 祐子 亀田 達也 橋本 剛明	法文1号館	113教室
A1A2	火3	04173026	英語学英米文学演習II	Laurence Williams	法文1号館	315教室
A1A2	火3	04174115	心理学実験演習I	横澤 一彦 LI QI 今水 寛 村上 郁也 中島 亮一	法文1号館	113教室
A1A2	火4	04172212	国語学特殊講義I	肥爪 周二	駒場12号館	1213
A1A2	火4	04173813	近代文学特殊講義III	阿部 賢一	法文1号館	219教室
A1A2	火4	04174211	社会心理学実験実習	白岩 祐子 亀田 達也 橋本 剛明	法文1号館	113教室
A1A2	火4	04172106	言語学特殊講義II	西村 義樹		文学部・人文社会系研究科 各研究室
A1A2	火4	04170201	中国思想文化学概論I	横手 裕	法文1号館	214教室
A1A2	火4	04173213	フランス語学フランス文学演習 III	SIMON-OKAWA Marianne	法文1号館	216教室

開講区分名	開講 曜限	時間割 コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A1A2	火4	04174115	心理学実験演習I	横澤 一彦	法文1号館	113教室
				LI QI		
				今水 寛		
				村上 郁也		
				中島 亮一		
A1A2	火5	04170101	哲学概論I	一ノ瀬 正樹	法文2号館	2番大教室
A1A2	火5	04174110	心理学概論I	村上 郁也	法文1号館	315教室
A1A2	火5	04172305	国文学特殊講義II	藤原 克己	法文1号館	214教室
A1A2	水1	04170517	宗教史概説II	西村 明	法文1号館	113教室
A 1	水2	04172110	言語学概論I	小林 正人	文学部	シラバス参照
				林 徹		
				梅谷 博之		
				西村 義樹		
A1A2	水2	04171301	西洋史学研究入門	勝田 俊輔	駒場11号館	1102
				高山 博		
				池田 嘉郎		
				長井 伸仁		
				橋場 弦		
A1A2	水2	04172319	国文学特殊講義IV	鉄野 昌弘	法文1号館	212教室
A1A2	水2	04173902	西洋古典学特殊講義II	葛西 康德		文学部・人文社会系研究科 各研究室
A1A2	水2	04170403	西洋倫理思想史概説II	熊野 純彦	法文1号館	113教室
A1A2	水2	04173205	フランス文学史概説I	野崎 歆	法文2号館	2番大教室
A 2	水2	04172111	言語学概論II	小林 正人	法文1号館	314教室
				林 徹		
				梅谷 博之		
				西村 義樹		
A1A2	水3	04172104	音声学I	林 徹		文学部・人文社会系研究科 各研究室
				梅谷 博之		
A1A2	水3	04170707	イスラム学演習I	菊地 達也	赤門総合研究棟	赤門840
A1A2	水3	04173204	フランス語学フランス文学演習 I	中地 義和	法文1号館	216教室
A1A2	水3	04171216	東洋史学特殊講義III	島田 竜登	法文1号館	113教室
A1A2	水3	04170612	美学芸術学特殊講義I	三浦 俊彦	法文2号館	2番大教室
A1A2	水4	04170501	宗教学概論I	鶴岡 賀雄	法文2号館	2番大教室
A1A2	水4	04172323	国文学特殊講義V	高木 和子	法文1号館	312教室
A1A2	水5	04172325	国文学演習II	高木 和子	法文1号館	319教室
A 2	水5	04171501	美術史学特殊講義I	佐藤 康宏	法文1号館	211教室
A 2	水6	04171501	美術史学特殊講義I	佐藤 康宏	法文1号館	211教室
A1A2	木1	04172115	比較言語学I	小林 正人		文学部・人文社会系研究科 各研究室
A 1	木2	04170313	インド哲学概論	高橋 晃一	駒場1号館	119
A 1	木2	04172110	言語学概論I	小林 正人	文学部	シラバス参照
				林 徹		
				梅谷 博之		
				西村 義樹		
A1A2	木2	04172301	国文学特殊講義I	長島 弘明	法文1号館	112教室
A1A2	木2	04170112	西洋哲学史概説第2部I	鈴木 泉	法文1号館	312教室
A1A2	木2	04173308	スラヴ語学スラヴ文学特殊講義I	楯岡 求美	文学部3号館	スラヴ演習室
A1A2	木2	04171307	西洋史学特殊講義I	橋場 弦	法文1号館	212教室
A1A2	木2	04170406	倫理学概論II	頼住 光子	法文1号館	113教室
A 2	木2	04172111	言語学概論II	小林 正人	法文1号館	314教室
				林 徹		
				梅谷 博之		
				西村 義樹		
A1A2	木3	04173028	英語学英米文学特殊講義II	Laurence Williams	法文1号館	215教室
A 1	木4	04171446	考古学特殊講義I	近藤 修	駒場12号館	1212
A1A2	木4	04173406	イタリア語学イタリア文学特殊講義I	浦 一章		文学部・人文社会系研究科 各研究室
				長野 徹		
A1A2	木4	04173063	英語学英米文学特殊講義 III	貞廣 真紀	法文1号館	113教室
A1A2	木4	04176305	多分野講義I	David PEACE	法文1号館	217教室
A1A2	木4	04170614	原典講読III	柳澤 史明	法文1号館	317教室
				小田部 胤久		
A 1	木5	04171446	考古学特殊講義I	近藤 修	駒場12号館	1212
A1A2	木5	04176430	イタリア語中級I	古田 耕史	法文1号館	319教室
A 1	金1	04170701	イスラム学概論I	柳橋 博之	法文1号館	113教室

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A1A2	金1	04174301	社会学概論	本田 洋	駒場5号館	511
				佐藤 健二		
				松本 三和夫		
				出口 剛司		
				祐成 保志		
				小林 真理		
				中村 雄祐		
				武川 正吾		
				白波瀬 佐和子		
A1A2	金2	04174301	社会学概論	赤川 学	駒場5号館	511
				本田 洋		
				佐藤 健二		
				松本 三和夫		
				出口 剛司		
				祐成 保志		
				小林 真理		
				中村 雄祐		
				武川 正吾		
A1A2	金2	04174161	心理学統計I	岡田 謙介	駒場11号館	1108
A1A2	金2	04174267	社会心理学統計I	岡田 謙介	駒場11号館	1108
A1A2	金2	04176407	英語後期I	兼武 道子	法文1号館	115教室
A1A2	金2	04172561	印度文学史概説I	水野 善文	法文1号館	112教室
A1A2	金2	04173215	フランス語学フランス文学演習IV	SIMON-OIKAWA Marianne	法文1号館	216教室
A1A2	金3	04170608	原典講読II	小田部 胤久	法文1号館	114教室
A1A2	金3	04171210	東洋史学特殊講義II	吉澤 誠一郎	法文2号館	2番大教室
A1A2	金3	04176423	フランス語後期I	横山 安由美	法文1号館	212教室
A1A2	金3	04172307	国文学演習I	藤原 克己	法文1号館	316教室
A1A2	金3	04173202	フランス語学フランス文学特殊講義I	中地 義和	法文1号館	216教室
A1A2	金4	04173102	ドイツ語圏言語文化	大宮 勘一郎	駒場12号館	1212
A1A2	金4	04171512	美術史学演習I	秋山 聡	法文1号館	319教室
A1A2	金4	04174167	心理学研究法	岡 隆	駒場12号館	1214
A1A2	金5	04170408	東洋倫理思想史概説II	頼住 光子	法文1号館	113教室
A1A2	金5	04171314	西洋史学特殊講義II	勝田 俊輔	法文1号館	312教室

※文学部教務係：03-5841-3709

平成29年度 Aセメスター (A1・A2) 専門科目一覽表

理学部

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A1A2	月1	0528073	層序地質学	田中 秀実	駒場1号館	112
				對比地 孝亘		
				遠藤 一佳		
				狩野 彰宏		
A1A2	月2	0560501	生物情報学基礎論I	浅井 潔	駒場1号館	113
				岩崎 渉		
				津田 宏治		
				笠原 雅弘		
A1A2	月2	0515009	電磁気学I	高木 利久	駒場11号館	1106
A 1	月3	0515085	解析力学	駒宮 幸男	駒場11号館	1106
A1A2	月3	0510003	計算機システム	常行 真司	駒場12号館	1212
A1A2	月3	0540016	植物形態学	吉本 芳英	駒場1号館	156
				塚谷 裕一		
A1A2	月3	0528002	地球システム進化学	邑田 仁	駒場1号館	150
				田近 英一		
				多田 隆治		
A 2	月3	0515086	量子力学I	遠藤 一佳	駒場11号館	1106
A 1	月4	0515085	解析力学	福嶋 健二	駒場11号館	1106
A1A2	月4	0540004	遺伝学	常行 真司	駒場1号館	157
				角谷 徹仁		
				斎藤 成也		
A1A2	月4	0528005	地球惑星環境学基礎演習I	小林 武彦	駒場1号館	150
A1A2	月4	0510006	ハードウェア構成法	田近 英一	駒場5号館	511
A 2	月4	0515086	量子力学I	小林 芳直	駒場11号館	1106
A1A2	月5	0560502	生物情報学基礎論II	福嶋 健二	駒場1号館	113
				黒田 真也		
				程 久美子		
				鈴木 稜		
A1A2	月5	0530003	量子化学I	大島 健志朗	駒場11号館	1101
A1A2	火1	0528072	固体地球惑星科学概論	山内 薫	駒場1号館	154
				櫻庭 中		
				飯塚 毅		
A1A2	火1	0505001	代数と幾何	沖野 郷子	駒場7号館	722
A1A2	火2	0540001	細胞生理学	今井 直毅	駒場5号館	532
				神田 真司		
				岡 良隆		
A1A2	火2	0515003	物理実験学	榎本 和生	駒場13号館	1331
A1A2	火2	0505001	代数と幾何	藤森 淳	駒場7号館	722
A1A2	火3	0526003	地球惑星物理学基礎演習II	酒井 広文	21KOMCEE West	K402
				今井 直毅		
				櫻庭 中		
A1A2	火3	0515008	物理学演習II	田中 祐希	駒場1号館	157・158
				横山 央明		
				須山 輝明		
				常行 真司		
				樫山 和己		
A1A2	火4	0526003	地球惑星物理学基礎演習II	福嶋 健二	21KOMCEE West	K402
A1A2	火4	0510007	アルゴリズムとデータ構造	櫻庭 中	21KOMCEE East	K011
A1A2	火4	0505007	代数と幾何演習	田中 祐希	駒場5号館	523・524
A1A2	火4	0540005	進化生物学	横山 央明	駒場5号館	533
				五十嵐 健夫		
				今井 直毅		
				對比地 孝亘		
				野崎 久義		
				入江 直樹		
				平野 博之		
				嶋田 正和		
				近藤 修		
A1A2	火4	0515008	物理学演習II	遠藤 一佳	駒場1号館	157・158
				大橋 順		
				上島 励		
				須山 輝明		
A1A2	火5	0510008	情報科学基礎実験	常行 真司	情報教育棟	E41
A1A2	火5	0590005	情報科教育法II	樫山 和己	理7号館	102号室
A1A2	火5	0540015	動物系統分類学	福嶋 健二	駒場1号館	162

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A1A2	火5	0520003	天文学概論	田村 元秀	駒場11号館	1101
				尾中 敬		
				戸谷 友則		
A1A2	水1	0540017	生態学概論	寺島 一郎	駒場5号館	515
A1A2	水2	0542030	植物細胞生理学	杉山 宗隆	駒場13号館	1322
A1A2	木1	0528001	地球環境学	阿部 彩子	駒場1号館	152
				高橋 嘉夫		
				茅根 創		
A1A2	木1	0505003	集合と位相	金井 雅彦	駒場5号館	532
A 1	木2	0515007	物理数学I	松尾 泰	駒場11号館	1106
A1A2	木2	0528003	地球惑星物質科学	廣瀬 敬	駒場5号館	513
				三河内 岳		
A1A2	木2	0535001	生物化学概論I	濡木 理	駒場11号館	1108
				深田 吉孝		
A1A2	木2	0505003	集合と位相	金井 雅彦	駒場5号館	532
A 2	木2	0515076	物理数学II	村尾 美緒	駒場11号館	1106
A 1	木3	0515007	物理数学I	松尾 泰	駒場11号館	1106
A1A2	木3	0540011	分子生物学	平良 眞規	駒場5号館	521
				近藤 真理子		
A 2	木3	0515076	物理数学II	村尾 美緒	駒場11号館	1106
A 1	木4	0543001	人類生物学	井原 泰雄	駒場12号館	1212
				長谷川 壽一		
				近藤 修		
				大橋 順		
				植田 信太郎		
A1A2	木4	0526002	地球惑星物理学基礎演習I	河原 創	21KOMCEE West	K303
				桂華 邦裕		
				横山 央明		
A1A2	木4	0520002	天体物理学演習I	高田 将郎	駒場5号館	516
A1A2	木4	0505008	集合と位相演習	金井 雅彦	駒場5号館	532
A1A2	木4	0515004	物理学演習I	添田 彬仁	駒場1号館	157・158
				松尾 泰		
				村尾 美緒		
				赤城 裕		
A 2	木4	0540055	霊長類学	河村 正二	駒場1号館	105
				石田 貴文		
A 1	木5	0543001	人類生物学	井原 泰雄	駒場12号館	1212
				長谷川 壽一		
				近藤 修		
				大橋 順		
				植田 信太郎		
A1A2	木5	0526002	地球惑星物理学基礎演習I	河原 創	21KOMCEE West	K303
				桂華 邦裕		
				横山 央明		
A1A2	木5	0520002	天体物理学演習I	高田 将郎	駒場5号館	516
A1A2	木5	0530005	分析化学I(総論)	小澤 岳昌	駒場5号館	513
A1A2	木5	0515004	物理学演習I	添田 彬仁	駒場1号館	157・158
				松尾 泰		
				村尾 美緒		
				赤城 裕		
A 2	木5	0540055	霊長類学	河村 正二	駒場1号館	105
				石田 貴文		
A1A2	金1	0528074	自然地理学	阿部 彩子	駒場12号館	1221
				小口 高		
				茅根 創		
				須貝 俊彦		
A1A2	金1	0530006	有機化学I	原野 幸治	駒場5号館	514
A1A2	金1	0505005	複素解析学I	中村 栄一	駒場5号館	513
A1A2	金2	0530006	有機化学I	坂井 秀隆	駒場5号館	514
				原野 幸治		
A1A2	金2	0526005	地球惑星物理学概論	中村 栄一	駒場5号館	532
				関 華奈子		
				生駒 大洋		
				三浦 裕亮		
A1A2	金2	0505005	複素解析学I	井出 哲	駒場5号館	513
A1A2	金2	0528006	地域論	坂井 秀隆	駒場5号館	513
A1A2	金3	0535002	生物化学概論II	荒井 良雄	駒場13号館	1311
				塩見 美喜子		
A1A2	金3	0510001	情報数学	飯野 雄一	駒場1号館	157
A1A2	金3	0510001	情報数学	須田 礼仁	駒場5号館	525
A1A2	金4	0530004	無機化学I	西原 寛	駒場5号館	514

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A1A2	金4	0505009	複素解析学I演習	坂井 秀隆	駒場5号館	513
A1A2	金4	0510002	形式言語理論	蓮尾 一郎	駒場1号館	106
A1A2	金4	0540018	骨格人類学実習	近藤 修	理学部2号館	402
A1A2	金5	0530002	化学熱力学I	大越 慎一	駒場5号館	525
A1A2	金5	0510008	情報科学基礎実験	萩谷 昌己	情報教育棟	E41
A1A2	金5	0540018	骨格人類学実習	近藤 修	理学部2号館	402
A1A2	土1	0530084	初級化学英語演習	化学専攻各教員	化学東館	202号室・220号室
	土2					

※理学部教務チーム（学部担当）：03-5841-4003

平成29年度 Aセメスター (A1・A2) 専門科目一覧表

農学部

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A1A2	月1	060310051	植物栄養学	藤原 徹	農学部1号館	第8講義室
A1A2	月2	060200126	森林環境科学汎論	龍原 哲	農学部1号館	第9講義室
				古井戸 宏通		
				廣嶋 卓也		
				白石 則彦		
				尾張 敏章		
				安村 直樹		
				藏治 光一郎		
				熊谷 朝臣		
A1A2	月2	060200071	植物生理学	山岸 順子	農学部2号館	化学第2講義室
				青木 直大		
A1A2	月2	060200051	基礎生物化学	東原 和成	農学部1号館	第8講義室
A1A2	月3	060200149	基礎高分子化学	岩田 忠久	農学部5号館	5-105
				竹村 彰夫		
A1A2	月3	060200091	遺伝学	高野 哲夫	農学部2号館	化学第3講義室
A1A2	月3	060100111	放射線環境学	田野井 慶太郎	農学部1号館	第8講義室
				二瓶 直登		
A1A2	月3	060200251	応用動物科学概論	杉浦 勝明	農学部2号館	化学第2講義室
				中山 裕之		
				成島 悦雄		
				前多 敬一郎		
				松木 直章		
A1A2	月4	060200201	農業資源経済学汎論	中嶋 康博	農学部1号館	第8講義室
A1A2	月4	060200241	動物生理学	金子 豊二	農学部2号館	化学第2講義室
				大久保 範聡		
				遠藤 秀紀		
				前多 敬一郎		
				武内 ゆかり		
				山内 啓太郎		
				菊池 潔		
				後藤 康之		
				高橋 伸一郎		
				桑原 正貴		
A1A2	月4	060200165	木質構造科学概論	西原 真杉	農学部1号館	第7講義室
				青木 謙治		
				稲山 正弘		
				信田 聡		
				青木 謙治		
				稲山 正弘		
A1A2	月4	060200081	細胞生物学	信田 聡	農学部2号館	化学第3講義室
				有村 慎一		
A 1	月5	060500011	環境倫理	吉永 明弘	農学部1号館	第8講義室
A1A2	火1	060320320	構造力学	稲山 正弘	農学部5号館	5-105
A 1	火2	060200147	基礎物理化学	齋藤 継之	農学部5号館	5-105
A 1	火2	060310001	農芸化学概論	関係各教員	農学部2号館	化学第1講義室
				西山 真		
				東原 和成		
				伏信 進矢		
A1A2	火2	060200215	ミクロ経済学	齋藤 勝宏	農学部1号館	第8講義室
A1A2	火3	060100011	人口と食糧	齋藤 勝宏	農学部1号館	第8講義室
				山次 康幸		
A1A2	火3	060311240	生物素材化学概論	齋藤 継之	農学部5号館	5-105
A1A2	火3	060311181	実験動物学	久和 茂	農学部7号館A棟	7A-104/105
A1A2	火5	060320440	ポストハーベスト工学	牧野 義雄	農学部2号館	化学第3講義室
A1A2	火5	060200065	植物分類・形態学	根本 圭介	農学部1号館	第7講義室
A 2	水1	060320666	ゲーム理論基礎	櫻井 武司	農学部1号館	第9講義室
A1A2	水2	060100061	生物の多様性と進化	佐野 光彦	農学部1号館	第8講義室
				宮下 直		
				尾仲 宏康		
				井出 雄二		
				久保田 耕平		
				岸野 洋久		

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目日名称	担当教員名	建物	施設
A 1	水3	060100083	化合物の多様性と生理機能Ⅰ	作田 庄平	農学部1号館	第8講義室
				五十嵐 圭日子		
				松本 雄二		
				中嶋 正敏		
				浅見 忠男		
				岡田 憲典		
A 1	水3	060100075	環境と生物の情報科学	岡田 茂	農学部1号館	第4講義室
				小林 和彦		
				山川 卓		
				露木 聡		
				清水 庸		
A1A2	水3	060200131	動物分類学	飯田 俊彰	農学部7号館A棟	7A-104/105
A 2	水3	060200175	応用物理学	武田 正倫		
A 2	水3	060100086	化合物の多様性と生理機能Ⅱ	信田 聡	農学部1号館	第8講義室
				潮 秀樹		
				東原 和成		
				片岡 宏誌		
				渡邊 秀典		
				浅見 忠男		
A1A2	水4	060200011	基礎有機化学	松永 茂樹	農学部1号館	第8講義室
A1A2	水4	060100031	土壌圏の科学	渡邊 秀典	農学部2号館	化学第3講義室
				岡田 謙介		
				溝口 勝		
				藤原 徹		
				西村 拓		
				妹尾 啓史		
A1A2	水4	060200106	昆虫学	丹下 健	農学部7号館A棟	7A-104/105
				石川 幸男		
				嶋田 透		
A 1	木1	060320663	農業経営概論	松尾 隆嗣	農学部1号館	第9講義室
A1A2	木1	060200021	基礎分析化学	木南 章	農学部1号館	第8講義室
				作田 庄平		
A1A2	木2	060310310	栽培植物学	鈴木 道生	農学部1号館	第9講義室
				柴田 道夫		
A1A2	木2	060310310	栽培植物学	山岸 順子	農学部1号館	第9講義室
A1A2	木2	060200031	基礎微生物学	大西 康夫	農学部1号館	第8講義室
A1A2	木2	060200181	流れ学	久保 成隆	農学部2号館	化学第2講義室
A1A2	木2	060412010	農業・資源経済学演習Ⅰ	関係各教員	農学部1号館	研究室
				中嶋 康博		
				木南 章		
				安藤 光義		
				櫻井 武司		
				木南 章		
A 1	木3	060100093	バイオマス利用学概論	石井 正治	農学部1号館	第8講義室
				芋生 憲司		
				齋藤 継之		
				岩田 忠久		
				岡田 茂		
				堀 正敏		
A 2	木3	060311161	薬理学総論	岡田 茂	農学部7号館A棟	7A-104/105
A 2	木3	060100096	森林資源と木材利用	堀 正敏	農学部1号館	第8講義室
				鮫島 正浩		
				白石 則彦		
				稲山 正弘		
A 1	木4	060100055	環境と景観の生物学	仁多見 俊夫	農学部1号館	第8講義室
				大黒 俊哉		
				下村 彰男		
A1A2	木4	060200191	情報工学	橋本 禪	農学部7号館B棟	7B-133
A 2	木4	060311121	神経生理学	中村 典裕	農学部7号館A棟	7A-104/105
				山内 啓太郎		
A 1	木5	060100025	生態系の中の人類	西原 眞杉	農学部1号館	第8講義室
				杉浦 勝明		
				八木 信行		
				小林 和彦		
				宮沢 佳恵		
				萬木 孝雄		
A 2	木5	060412015	農村調査概論	鈴木 宣弘	農学部1号館	第9講義室
				各教員		
A1A2	金1	060310031	環境土壌学	萬木 孝雄	農学部1号館	第8講義室
A1A2	金2	060200225	農業史概論	妹尾 啓史	農学部1号館	第5講義室
A1A2	金2	060320430	土壌物理学	松本 武祝	農学部7号館A棟	7A-113
				濱本 昌一郎		
				西村 拓		

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A1A2	金2	060200041	分子生物学	日高 真誠	農学部1号館	第8講義室
				伏信 進矢		
A1A2	金3	060330041	細菌学	関崎 勉	農学部7号館A棟	7A-104/105
A1A2	金3	060200121	動物生態学	久保田 耕平	農学部2号館	化学第3講義室
A1A2	金3	060100101	食の安全科学	中嶋 康博	農学部1号館	第8講義室・第9講義室・第10講義室
A1A2	金4	060330051	ウイルス学	堀本 泰介	農学部7号館A棟	7A-104/105
A1A2	金4	060100041	水の環境科学	浅野 友子	農学部1号館	第8講義室
				高橋 一生		
				木村 伸吾		
				久保 成隆		
A1A2	金4	060200151	植物生態学	大黒 俊哉	農学部1号館	第4講義室
				鈴木 牧		
A1A2	金5	060311071	発生学	金井 克晃	農学部7号館A棟	7A-104/105
A1A2	金5	060200103	生物統計学	大森 宏	情報基盤センター	大演習室 1
				岩田 洋佳		
				岸野 洋久		
集中	集中	060500001	農学リテラシー	関係各教員	弥生講堂	
				河鱈 実之		
				清水 謙多郎		
				良永 知義		
				中嶋 康博		
				八木 信行		
				今川 和彦		
				石井 正治		
				久和 茂		
				笹部 哲郎		
				蔵治 光一郎		
				辻 佳子		
				大島 義人		

※農学部教務課学生支援チーム：03-5841-5008

平成29年度 Aセメスター (A1・A2) 専門科目一覧表

経済学部

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A 2	月1	0701401-01	経済史 I	岡崎 哲二	駒場13号館	1323
	月2			小野塚 知二		
A 1	月4 月5	0701101-01	経済原論 I	清水 真志	駒場13号館	1323
A 2	月4 月5	0701101-02	経済原論 II	清水 真志	駒場13号館	1323
A 1	火1 火2	0701102-01	ミクロ経済学 I	神取 道宏	駒場13号館	1323
A 2	火1 火2	0701102-02	ミクロ経済学 II	神取 道宏	駒場13号館	1323
A 1	火3 火4	0701302-01	ファイナンス	佐藤 整尚	駒場13号館	1323
A 1	木1 木2	0701103-01	マクロ経済学 I	渡辺 努	駒場13号館	1323
A 2	木1 木2	0701103-02	マクロ経済学 II	中嶋 智之	駒場13号館	1323
A 1	木3 木4	0701303-01	会計	米山 正樹	駒場13号館	1323
A 1	金1 金2	0701301-01	経営	高橋 伸夫	駒場13号館	1323
A 1	金3 金4	0701104-01	統計 I	入江 薫	駒場13号館	1323
A 2	金3 金4	0701104-02	統計 II	入江 薫	駒場13号館	1323

※経済学部教務係：03-5841-5552

教養学部専門科目について

教養学部専門科目には、同一科目名で複数開講されている科目または前期課程の科目と合併の科目が存在します。同じ教員・時間帯で開講されている場合、専門科目コードを確認して履修登録をしてください。特に、教養学部進学予定の学生は誤って履修してしまうと卒業単位に算入されませんので、所属学科・分科・コースの科目かどうか下記の専門科目コード一覧を参照して、間違いのないように履修登録して下さい。

記

科目番号	コース等名	科目番号	コース等名
08X0001	高度教養科目	08C3101	相関社会科学
08A0001	言語共通（共通外国語）科目	08C3201	国際関係論
08B0001	言語専門（専門外国語）科目	08C4001	国際日本研究
08C0001	教養学科共通科目	08D0001	学際科学学科共通
08C1001	文化人類学	08D1001	科学技術論
08C1101	表象文化論	08D1101	地理・空間
08C1201	比較文学比較芸術	08D1201	総合情報学
08C1301	現代思想	08D1301	広域システム
08C1401	学際日本文化論	08D1401	国際環境学
08C1501	学際言語科学	08D1501	進化学
08C1601	言語態・テキスト文化論	08E0001	統合自然科学科共通
08C2101	イギリス研究	08E1001	数理自然科学
08C2201	フランス研究	08E1101	物質基礎科学
08C2301	ドイツ研究	08E1201	統合生命科学
08C2401	ロシア東欧研究	08E1301	認知行動科学
08C2501	イタリア地中海研究	08E1401	スポーツ科学サブコース
08C2601	北アメリカ研究	08F0001	学融合プログラム
08C2701	ラテンアメリカ研究	08H0001	特設科目（後期TLP）
08C2801	アジア・日本研究		
08C2901	韓国朝鮮研究		

平成29年度 Aセメスター (A1・A2) 専門科目一覧表

教養学部

※ 開講場所等が変更される場合があるので、授業開始前に必ずUTASの時間割情報等を確認すること

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A1A2	月1	08A9304	共通ラテン語 (4)	井上 秀太郎	駒場1号館	150教室
A1A2	月1	08X2003	生命科学概論	道上 達男	駒場16号館	126室,127室
A1	月1	08A9701A1	共通日本語 (1)a	藤井 聖子 宇佐美 洋	駒場10号館	10-201
A2	月1	08A9701B1	共通日本語 (1)b	藤井 聖子 宇佐美 洋	駒場10号館	10-201
A1A2	月1	08H006324	東西文明学I(言語と歴史4)	片山 晶子	駒場8号館	8-112
A1A2	月1	08E1404	適応生命科学	石井 直方	駒場3号館	113室
A1A2	月1	08C403329	国際日本研究特論XXIX	片山 晶子	駒場8号館	8-112
A1A2	月1	08D1414	環境経済学	成田 大樹	駒場12号館	1221教室
A1A2	月2	08A0201	共通英語 (Adv ALE 1)	片山 晶子	駒場8号館	8-112
A1A2	月2	08A3010	共通ロシア語 (10)	丸山 由紀子	駒場12号館	1221教室
A1A2	月2	08A9302	共通ラテン語 (2)	井上 秀太郎	駒場8号館	8-416
A1A2	月2	08B2006	専門ドイツ語 (6)	石原 あえか	駒場10号館	10-308
A1A2	月2	08B2008	専門ドイツ語 (8)	古荘 真敬	駒場12号館	1223教室
A1A2	月2	08X2007	Advanced ALESS II	マニナン ジョン	21KOMCEE West	K201
A1	月2	08B2004A	専門ドイツ語 (4)a	森井 裕一	駒場8号館	8-209
A2	月2	08B2004B	専門ドイツ語 (4)b	森井 裕一	駒場8号館	8-209
A1A2	月2	08A9631073	日本語 (73): 上級会話・発音 (L6-LS)	小林 真紀子	駒場10号館	10-202
A1A2	月2	08E1411	スポーツ生化学	八田 秀雄	駒場9号館	会議室
A1A2	月2	08C4040	東アジアの社会II	クロイドン, シルビア アタナソヴァ	駒場8号館	8-113
A1A2	月2	08D1125	ラテンアメリカの自然と社会	丸山 浩明	駒場1号館	156教室
A1A2	月2	08D1214	情報工学VII	加藤 恒昭	駒場18号館	言語情報解析室
A1A2	月2	08D1219	統計学[総合情報学コース]	嶋田 正和	情報教育棟	E42教室
A1A2	月2	08D1402	統計学[国際環境学コース]	リチャード シェファースン	情報教育棟	E41教室
A1A2	月2	08D1306	統計学I[広域システムコース]	嶋田 正和	情報教育棟	E42教室
A1A2	月2	08E1059	統合自然科学セミナー[数理自然科学コース]	新井 仁之 稲葉 寿		教養学部
A1A2	月2	08E1164	統合自然科学セミナー[物質基礎科学コース]	長谷川 宗良 内田 さやか 鳥井 寿夫 松田 恭幸 寺尾 潤		教養学部
A1A2	月2	08E1244	統合自然科学セミナー[統合生命科学コース]	道上 達男		教養学部
A1A2	月2	08E1335	統合自然科学セミナー[認知行動科学コース]	四本 裕子 各教員		教養学部
A1A2	月2	08C1312	現代哲学特殊研究II	古荘 真敬	駒場12号館	1223教室
A1A2	月2	08C1517	言語情報処理II[学際言語科学コース]	加藤 恒昭	駒場18号館	言語情報解析室
A1A2	月2	08C161107	テキスト分析演習IV(7)	石原 あえか	駒場10号館	10-308
A1A2	月2	08C2105	イギリス言語芸術論II	中尾 まさみ	駒場8号館	8-317
A1	月2	08C2349A	ドイツ政治論演習a	森井 裕一	駒場8号館	8-209
A2	月2	08C2349B	ドイツ政治論演習b	森井 裕一	駒場8号館	8-209
A1	月2	08C2758	ラテンアメリカ地理I	丸山 浩明	駒場1号館	156教室
A2	月2	08C2759	ラテンアメリカ地理II	丸山 浩明	駒場1号館	156教室
A1A2	月2	08C2852	アジア政治経済論	木宮 正史	駒場8号館	8-205
A1	月2	08C2852A	アジア政治経済論a	木宮 正史	駒場8号館	8-205
A2	月2	08C2852B	アジア政治経済論b	木宮 正史	駒場8号館	8-205
A1A2	月2	08C3103	現代社会論I	市野川 容孝	駒場11号館	1105教室
A1A2	月2	08C3201	国際政治	古城 佳子	駒場8号館	8-210
A1A2	月3	08A0033	共通英語 (33)	THURGILL JAMES CHRISTOPHER	駒場1号館	102教室
A1A2	月3	08A5010	共通スペイン語 (10) (会話)	ロサレス バトリシア	駒場1号館	112教室
A1A2	月3	08B0013	専門英語 (13)	板津 木綿子	駒場8号館	8-210
A1A2	月3	08B2009	専門ドイツ語 (9)	大石 紀一郎	駒場8号館	8-320
A1A2	月3	08F1109	認知神経科学	今水 寛	駒場5号館	525教室
A1A2	月3	08G0002	国語科教育法II	齋藤 知也	駒場1号館	103教室
A1A2	月3	08X1007	プログラミング基礎	土井 靖生 金井 崇	情報教育棟	E42教室
A1A2	月3	08X1009	複合系計画論	嶋田 正和 石川 晃	駒場15号館	15-101
A1A2	月3	08X2004	認知脳科学概論	今水 寛	駒場5号館	525教室
A1A2	月3	08F140611	グローバル教養特別演習II(11)	板津 木綿子	駒場8号館	8-210
A1A2	月3	08H006312	東西文明学I(思想と批評2)	オデイ ジョン	駒場8号館	8-321
A1A2	月3	08H006332	東西文明学I(国際社会科学2)	板津 木綿子	駒場8号館	8-210
A2	月3	08A9631043	日本語 (43): 中級総合(IJ-VI) (L3)	柿山 礼美	駒場10号館	10-203
A1	月3	08A9631045	日本語 (45): 中級総合(L4-5)	藤井 明子	駒場10号館	10-303
A2	月3	08A9631047	日本語 (47): 中級総合(L4-5)	藤井 明子	駒場10号館	10-303
A1A2	月3	08E1415	健康スポーツ医学	今井 一博	駒場9号館	会議室

開講区分名	開講 曜限	時間割 コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A1A2	月3	08C4041	文化・思想研究の基礎I	板津 木綿子	駒場8号館	8-210
A1A2	月3	08D1010	科学哲学演習IV	オデイ ジョン	駒場8号館	8-321
A1A2	月3	08D1126	アジアの自然と社会	永田 淳嗣	駒場12号館	1222教室
A1	月3	08E1254	器官生物学	松田 良一	駒場16号館	126室,127室
A2	月3	08E1255	発生・再生生物学	道上 達男	駒場16号館	126室,127室
A1A2	月3	08C102309	文化人類学特殊講義（民族地理論）	永田 淳嗣	駒場12号館	1222教室
A1A2	月3	08C102404	文化人類学特殊演習（テクノロジーと社会）	福島 真人	駒場14号館	407室
A1A2	月3	08C1124	表象メディア論演習	オデイ ジョン	駒場8号館	8-321
A1A2	月3	08C1313	現代哲学特殊研究III	大石 紀一郎	駒場8号館	8-320
A1A2	月3	08C1417	日本文化資料研究II	齋藤 知也	駒場1号館	103教室
A1A2	月3	08C1507	言語と人間I	グレノン イザベル	駒場8号館	8-209
A1A2	月3	08C1513	言語の対照と類型I	田中 伸一	駒場8号館	8-110
A1A2	月3	08C161915	言語文化論特殊研究（15）	板津 木綿子	駒場8号館	8-210
A1A2	月3	08C2438	ロシア東欧政治社会論	鶴見 太郎	駒場5号館	515教室
A1A2	月3	08C2630	特殊研究演習I[北アメリカ研究コース]	板津 木綿子	駒場8号館	8-210
A1	月3	08C2752	スペイン研究III	黒田 祐我	駒場8号館	8-205
A2	月3	08C2753	スペイン研究IV	黒田 祐我	駒場8号館	8-205
A1A2	月3	08C2807	アジアの地理	永田 淳嗣	駒場12号館	1222教室
A1A2	月3	08C2818	中央アジア地域文化研究	中村 淳	駒場11号館	1109教室
A1A2	月3	08C3221	国際協力演習	遠藤 貢	駒場8号館	8-206
A1A2	月4	08A0034	共通英語（34）	ノールト デリック	駒場1号館	153教室
A1A2	月4	08A9484	シリア語（4）	高橋 英海	駒場8号館	8-324
A1A2	月4	08B0004	専門英語（4）	中澤 恒子	駒場8号館	8-113
A1A2	月4	08B0063	専門英語（63）	阿部 公彦	駒場1号館	117教室
A1A2	月4	08B1005	専門フランス語（5）	長谷川 まゆ帆	駒場8号館	8-322
A1A2	月4	08B9303	専門ラテン語（3）	日向 太郎	駒場8号館	8-208
A1A2	月4	08X1007	プログラミング基礎	土井 靖生	情報教育棟	E42教室
				金井 崇		
A1A2	月4	08F140615	グローバル教養特別演習II(15)	阿部 公彦	駒場1号館	117教室
A1	月4	08F140802	グローバル教養特別演習IV(2)	市原 麻衣子	駒場5号館	517教室
A1A2	月4	08C403404	国際日本研究演習IV	阿部 公彦	駒場1号館	117教室
A1A2	月4	08D1118	社会経済地理学Ⅱ	梶田 真	駒場1号館	119教室
A1A2	月4	08E1024	電磁気学[数理自然科学コース]	小野瀬 佳文	駒場16号館	109室
A1A2	月4	08E1118	電磁気学[物質基礎科学コース]	小野瀬 佳文	駒場16号館	109室
A1A2	月4	08E1231	電磁気学[統合生命科学コース]	小野瀬 佳文	駒場16号館	109室
A1A2	月4	08C1101	表象文化基礎論	田中 純	駒場8号館	8-323室
A1A2	月4	08C1318	現代哲学特殊演習II	村瀬 鋼	駒場11号館	1107教室
A1A2	月4	08C1411	メディア文化論[学際日本文化論コース]	佐藤 温	駒場1号館	155教室
A1A2	月4	08C151101	原典講読特殊演習（1）[学際言語科学コース]	中澤 恒子	駒場8号館	8-113
A1A2	月4	08C161305	原典講読特殊演習（5）[言語態・テキスト文化論コース]	日向 太郎	駒場8号館	8-208
A1A2	月4	08C2103	イギリス政治文化論	小川 浩之	駒場12号館	1214教室
A1A2	月4	08C2217	フランス歴史文化論演習	長谷川 まゆ帆	駒場8号館	8-322
A1A2	月4	08C2402	ロシア東欧文学テキスト分析	安岡 治子	駒場8号館	8-321
A1A2	月4	08C2537	特殊研究演習VIII[イタリア地中海研究コース]	日向 太郎	駒場8号館	8-208
A1	月4	08C2778	ラテンアメリカ政治演習I	大串 和雄	駒場8号館	8-317
A2	月4	08C2779	ラテンアメリカ政治演習II	大串 和雄	駒場8号館	8-317
A1A2	月4	08C3228	国際機構	西村 弓	駒場12号館	1213教室
A1A2	月4	08C322518	特殊研究演習「ラテンアメリカの政治演習」	大串 和雄	駒場8号館	8-317
A1A2	月5	08A1015	共通フランス語（15）（文法）	星埜 守之	駒場8号館	8-112
A1A2	月5	08A9306	共通ラテン語（6）	筒井 賢治	駒場1号館	118教室
A1A2	月5	08A9460	台湾語（4）（初級）	王 嵐	駒場1号館	105教室
A1A2	月5	08B0046	専門英語（46）	林 少陽	駒場5号館	518教室
A1A2	月5	08X2002	物質科学概論	長谷川 宗良	駒場16号館	109室
				酒井 邦嘉		
A1	月5	08A9702A1	共通日本語（2）a	藤井 聖子	駒場10号館	10-201
				大久保 雅子		
A2	月5	08A9702A3	共通日本語（2）a	藤井 聖子	駒場10号館	10-201
				大久保 雅子		
A1	月5	08F140802	グローバル教養特別演習IV(2)	市原 麻衣子	駒場5号館	517教室
A1A2	月5	08C4007	国際日本研究文献演習I	前島 志保	駒場8号館	8-207
A1A2	月5	08D1104	地理・空間調査設計I	荒井 良雄	駒場2号館	202室
A1A2	月5	08C1127	表象文化論特殊研究演習III	林 少陽	駒場5号館	518教室
A1A2	月5	08C1201	資料・文献調査法	徳盛 誠	駒場8号館	319室
A1A2	月5	08C1310	文化社会論演習[現代思想コース]	林 少陽	駒場5号館	518教室
A1A2	月5	08C1419	東アジア文化資料研究II	緑川 明憲	駒場1号館	154教室
A2	月5	08C1555	言語データ分析基礎	加藤 恒昭	駒場18号館	言語情報解析室
A1A2	月5	08C3201	国際政治	古城 佳子	駒場8号館	8-416,8-418,8-420,8-422
A1A2	火1	08A9480	サンスクリット語（4）	高橋 晃一	駒場1号館	150教室

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A1A2	火1	08F140622	グローバル教養特別演習II(22)	山川 隆	駒場1号館	157教室
				平山 和宏		
				八村 敏志		
				関崎 勉		
A1A2	火1	08H006342	東西文明学I(環境と身体2)	山川 隆	駒場1号館	157教室
				平山 和宏		
				八村 敏志		
				関崎 勉		
A1A2	火1	08A9631083	日本語 (83):職業コミュニケーション(LS-L6)	松本 順子	駒場1号館	105教室
A1A2	火1	08E1416	スポーツ心理学	工藤 和俊	駒場9号館	会議室
A1A2	火1	08D1441	食の安全安心	山川 隆	駒場1号館	157教室
				平山 和宏		
				八村 敏志		
				関崎 勉		
A1	火1	08C2756	ブラジル研究III	松岡 秀明	駒場8号館	8-418
A2	火1	08C2757	ブラジル研究IV	松岡 秀明	駒場8号館	8-418
A1A2	火1	08C2851	アジア地域史II	岡田 泰平	駒場5号館	517教室
A1	火1	08C2851A	アジア地域史IIa	岡田 泰平	駒場5号館	517教室
A2	火1	08C2851B	アジア地域史IIb	岡田 泰平	駒場5号館	517教室
A1A2	火2	08A0032	共通英語 (32)	アンダル, ジャクリーン	駒場8号館	8-207
A1A2	火2	08A4020	共通中国語 (20) (中級読解)	秋山 珠子	駒場1号館	107教室
A1A2	火2	08A4023	共通中国語 (23) (中級会話)	劉 岸麗	駒場1号館	153教室
A1A2	火2	08A4035	共通中国語 (35) (上級読解)	石井 剛	駒場5号館	516教室
A1A2	火2	08A8016	共通韓国朝鮮語 (16) (会話)	張 銀英	駒場1号館	103教室
A1A2	火2	08A9307	共通ラテン語 (7)	Hermann Gottschewski	アドミニストレーション棟	学際交流ホール
A1A2	火2	08A9468	モンゴル語 (4)	荒井 幸康	駒場1号館	118教室
A1A2	火2	08A9472	ベルシャ語 (4)	前田 君江	駒場5号館	518教室
A1A2	火2	08A9486	広東語 (6) (初級)	谷垣 真理子	駒場1号館	115教室
A1A2	火2	08B0010	専門英語 (10)	吉国 浩哉	駒場8号館	8-206
A1A2	火2	08B0024	専門英語 (24)	西川 杉子	駒場8号館	8-112
A1A2	火2	08B0045	専門英語 (45)	中島 隆博	駒場8号館	8-113
A1A2	火2	08B9202	専門ギリシア語 (2)	筒井 賢治	駒場8号館	8-322
A1A2	火2	08B9305	専門ラテン語 (5)	山本 芳久	駒場14号館	708室
A1A2	火2	08F10012	倫理宗教論 (2)[グローバル・エシックス]	中島 隆博	駒場8号館	8-113
A1A2	火2	08F140617	グローバル教養特別演習II(17)	李 彦銘	駒場1号館	114教室
A1A2	火2	08H006432	東西文明学II(国際社会科学2)	李 彦銘	駒場1号館	114教室
A1A2	火2	08A96310711	日本語 (71):翻訳 (英日) (LS-L7)	立見 みどり	駒場10号館	10-201
A1A2	火2	08E1402	運動神経生理学	柳原 大	駒場9号館	会議室
A1A2	火2	08D1237	人間情報学I	山口 泰	駒場15号館	15-104
				植田 一博		
				館 知宏		
				福田 玄明		
A1A2	火2	08D1443	食料生産の技術と政策	坂井 真樹	駒場12号館	1211教室
				高野 哲夫		
				鈴木 宣弘		
				岡田 謙介		
A1A2	火2	08D1342910	広域システム特論V(10)	山口 泰	駒場15号館	15-104
				植田 一博		
				館 知宏		
				福田 玄明		
A2	火2	08E1220	構成・システム生物学[統合生命科学コース]	豊田 太郎	駒場16号館	129室
				澤井 哲		
				若本 祐一		
A1A2	火2	08E1345	生物心理学演習	岡ノ谷 一夫	駒場3号館	113室
A1A2	火2	08C1121	表象文化論特殊講義I	中島 隆博	駒場8号館	8-113
A1A2	火2	08C1224	比較日本文化論演習	寺田 寅彦	駒場5号館	534教室
A1A2	火2	08C130702	倫理宗教論 (2)[現代思想コース]	中島 隆博	駒場8号館	8-113
A1A2	火2	08C131702	現代哲学特殊演習I(2)	山本 芳久	駒場14号館	708室
A1A2	火2	08C1421	学際日本文化論演習II	田口 一郎	駒場11号館	1109教室
A1A2	火2	08C1528	言語科学特殊講義	生越 直樹	駒場8号館	8-110
A1A2	火2	08C161304	原典講読特殊演習 (4)[言語態・テキスト文化論コース]	吉国 浩哉	駒場8号館	8-206
A1A2	火2	08C2143	イギリス歴史・政治論演習I	西川 杉子	駒場8号館	8-112
A1A2	火2	08C2254	フランス研究演習IX	寺田 寅彦	駒場5号館	534教室
A1A2	火2	08C2318	ドイツ政治文化論演習	川村 陶子	駒場8号館	8-320
A1A2	火2	08C2409	ロシア東欧表象文化論	鴻野 わか菜	駒場5号館	513教室
A1A2	火2	08C2526	地中海古典テキスト分析演習II	筒井 賢治	駒場8号館	8-322
A1A2	火2	08C2623	アメリカ文学テキスト分析演習	高尾 直知	駒場8号館	8-321
A2	火2	08C2653B	アメリカ政治論演習b	西崎 文子	駒場8号館	8-317
A1	火2	08C2785	特殊研究演習V[ラテンアメリカ研究コース]	ドニャス ベレニャ アントニオ	駒場8号館	8-208
A2	火2	08C2786	特殊研究演習VI[ラテンアメリカ研究コース]	ドニャス ベレニャ アントニオ	駒場8号館	8-208
A1A2	火2	08C2904	韓国朝鮮言語論	生越 直樹	駒場8号館	8-110

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A1A2	火2	08C3105	社会思想研究	山本 芳久	駒場14号館	708室
A1A2	火2	08C3203	国際経済	竹野 太三	21KOMCEE East	K112
A1A2	火2	08C321603	特殊講義「国民統合の政治学」	山本 芳久	駒場14号館	708室
A1A2	火3	08A0028	共通英語 (28)	矢田部 修一	駒場8号館	8-110
A1A2	火3	08A1010	共通フランス語 (10) (精読)	桑田 光平	駒場12号館	1224教室
A1A2	火3	08A8014	共通韓国朝鮮語 (14) (作文)	ジ ミンギョン	駒場12号館	1231教室
A1A2	火3	08A9438	トルコ語 (6)	高松 洋一	駒場12号館	1226教室
A1A2	火3	08A9504	日本手話 (4)	小林 信恵	駒場8号館	8-320
				伊藤 たかね		
A1A2	火3	08B0008	専門英語 (8)	小林 宜子	駒場8号館	8-112
A1A2	火3	08B0040	専門英語 (40)	キハラハント 愛	駒場10号館	10-103
A1A2	火3	08B9503	専門日本語 (3)	酒井 哲哉	駒場1号館	107教室
A1A2	火3	08F1115	進化認知脳科学特論III	本吉 勇	駒場16号館	126室,127室
A1A2	火3	08F1402	グローバル教養特別講義I	鹿毛 利枝子	駒場8号館	8-208
A1A2	火3	08X1006	広域システム概論II	小宮 剛	駒場15号館	15-104
A1	火3	08B2002A	専門ドイツ語 (2)a	石田 勇治	駒場8号館	8-206
A2	火3	08B2002B	専門ドイツ語 (2)b	石田 勇治	駒場8号館	8-206
A1A2	火3	08F140604	グローバル教養特別演習II(4)	キハラハント 愛	駒場10号館	10-103
A1A2	火3	08F140616	グローバル教養特別演習II(16)	王 前	駒場8号館	8-322
A1A2	火3	08H006412	東西文明学II(思想と批評2)	王 前	駒場8号館	8-322
A1A2	火3	08X000104	超域文化科学高度教養 (現代哲学)	野矢 茂樹	駒場8号館	8-210
A1A2	火3	08C4024	国際社会分析演習II	鹿毛 利枝子	駒場8号館	8-208
A1A2	火3	08C4055	歴史・地域研究特殊演習I	キハラハント 愛	駒場10号館	10-103
A1A2	火3	08D1449	都市基盤技術II	目黒 公郎	21KOMCEE East	K213
A1A2	火3	08E1318	心理物理学	本吉 勇	駒場16号館	126室,127室
A1A2	火3	08C1106	表象文化史演習	加治屋 健司	駒場8号館	8-323室
A1A2	火3	08C1230	テキスト精読法VIII	平石 典子	駒場8号館	8-209
A1A2	火3	08C130102	現代哲学 (2)	野矢 茂樹	駒場8号館	8-210
A1A2	火3	08C1403	日本文化資料読解I	品田 悦一	駒場8号館	8-418
A1A2	火3	08C1524	言語文化横断論演習[学際言語科学コース]	三ツ井 崇	駒場12号館	1233教室
A1A2	火3	08C1530	言語理論II	グレノン イザベル	駒場8号館	8-113
A1A2	火3	08C160913	テキスト分析演習II(13)	小林 宜子	駒場8号館	8-112
A1A2	火3	08C161210	テキスト分析演習V(10)	品田 悦一	駒場8号館	8-418
A1A2	火3	08C2125	イギリス言語様態論演習	小林 宜子	駒場8号館	8-112
A1	火3	08C2346A	ドイツ歴史社会論演習Ia	石田 勇治	駒場8号館	8-206
A2	火3	08C2346B	ドイツ歴史社会論演習Ib	石田 勇治	駒場8号館	8-206
A1	火3	08C2644	アメリカ政治論	西崎 文子	駒場8号館	8-317
A1	火3	08C2772	ラテンアメリカ文学・思想演習III	齊藤 文子	駒場8号館	8-321
A2	火3	08C2773	ラテンアメリカ文学・思想演習IV	齊藤 文子	駒場8号館	8-321
A1A2	火3	08C2809	東アジア近現代史	酒井 哲哉	駒場1号館	107教室
A1A2	火3	08C2841	特殊研究演習VII[アジア・日本研究コース]	キハラハント 愛	駒場10号館	10-103
A1A2	火3	08C2931	韓国朝鮮社会文化論	三ツ井 崇	駒場12号館	1233教室
A1A2	火3	08C3109	法学研究[関連社会科学コース]	早川 眞一郎	駒場12号館	1225教室
A1A2	火3	08C3127	政治学研究[関連社会科学コース]	樋渡 展洋	駒場5号館	531教室
A1A2	火3	08C3203	国際経済	竹野 太三	21KOMCEE East	K112
A1A2	火3	08C3204	国際関係史I	酒井 哲哉	駒場1号館	107教室
A1A2	火3	08C3232	法学研究[国際関係論コース]	早川 眞一郎	駒場12号館	1225教室
A1A2	火3	08C3233	政治学研究[国際関係論コース]	樋渡 展洋	駒場5号館	531教室
A1A2	火4	08A3014	共通ロシア語 (14)	ブロウナ クセーニヤ	21KOMCEE East	K113
A1A2	火4	08A4048	共通中国語 (48) (TLP中級会話)	藤原 優美	法文1号館	213教室
A1A2	火4	08A5014	共通スペイン語 (14) (演習)	イザベル カルロス	駒場12号館	1231教室
A1A2	火4	08A9012	共通アラビア語 (12)	濱田 聖子	駒場12号館	1221教室
A1A2	火4	08A9432	ベトナム語 (8)	岩月 純一	駒場12号館	1232教室
A1A2	火4	08A9440	トルコ語 (8)	高松 洋一	駒場12号館	1226教室
A1A2	火4	08B0041	専門英語 (41)	池内 恵	駒場8号館	8-208
A1A2	火4	08B0042	専門英語 (42)	エリス 俊子	駒場8号館	8-209
A1A2	火4	08B0062	専門英語 (62)	斎藤 兆史	駒場8号館	8-324
A1A2	火4	08B2010	専門ドイツ語 (10)	大石 紀一郎	駒場8号館	8-320
A1A2	火4	08B4002	専門中国語 (2)	川島 真		
A1A2	火4	08F1113	進化認知脳科学特論I	四本 裕子	駒場3号館	113室
A1A2	火4	08F1403	グローバル教養特別講義II	エリス 俊子	駒場8号館	8-209
A1A2	火4	08X1008	学際科学概論	和泉 潔	駒場15号館	15-104
				江守 正多		
				大澤 剛士		
				宮川 卓也		
				一ノ瀬 友博		
				田中 彰吾		
				各教員		
A1	火4	08B0032A	専門英語 (32)a	ロビンズ・ロジャー	駒場8号館	8-112
A1A2	火4	08F140814	グローバル教養特別演習IV(14)	嶋田 美子	駒場1号館	117教室
A1A2	火4	08C4044	文化・思想研究演習II	エリス 俊子	駒場8号館	8-209

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A1A2	火4	08C403401	国際日本研究演習I	斎藤 兆史	駒場8号館	8-324
A1A2	火4	08D1116	文化空間論	森本 泉	21KOMCEE East	K211
A1A2	火4	08E1307	感覚運動情報処理	四本 裕子	駒場3号館	113室
A1A2	火4	08C102305	文化人類学特殊講義（民族誌作成）	田辺 明生	駒場14号館	407室
A1A2	火4	08C1119	言語芸術論I	一條 麻美子	駒場8号館	8-323室
A1A2	火4	08C1233	比較文学比較文化論演習III	エリス 俊子	駒場8号館	8-209
A1A2	火4	08C1316	現代思想特殊研究III	大石 紀一郎	駒場8号館	8-320
A1A2	火4	08C1420	学際日本文化論演習I	渡辺 美季	駒場14号館	605号室
A2	火4	08C1552	基礎言語理論I：形の体系	伊藤 たかね	駒場18号館	18号館メディアラボ2
A1A2	火4	08C1603	言語態研究演習	西中村 浩	駒場8号館	8-206
A1A2	火4	08C161914	言語文化論特殊研究（14）	エリス 俊子	駒場8号館	8-209
A1A2	火4	08C2238	フランス現代社会論	増田 一夫	駒場8号館	8-317
A1	火4	08C2238A	フランス現代社会論a	増田 一夫	駒場8号館	8-317
A2	火4	08C2238B	フランス現代社会論b	増田 一夫	駒場8号館	8-317
A1A2	火4	08C2514	特殊講義II[イタリア地中海研究コース]	松浦 高志	駒場8号館	8-322
A1A2	火4	08C2541	イタリア地中海思想文学テキスト分析II	高橋 英海	駒場8号館	8-321
A1	火4	08C2608A	アメリカ宗教文化論a	ロビンズ・ロジャー	駒場8号館	8-112
A1A2	火4	08C2842	特殊研究演習VIII[アジア・日本研究コース]	池内 恵	駒場8号館	8-208
A1A2	火4	08C2843	特殊研究演習IX	高橋 英海	駒場8号館	8-321
A1A2	火4	08C3101	相関社会科学基礎論I	森 政稔	駒場8号館	8-113
A1A2	火4	08C3201	国際政治	古城 佳子	駒場8号館	8-207
A1A2	火4	08C321619	特殊講義「中国の外交」	川島 真	駒場8号館	8-210
A1A2	火4	08C321645	特殊講義「国際取引」	早川 眞一郎	駒場12号館	1233教室
A1A2	火5	08A4030	共通中国語（30）（上級会話）	賈 黎黎	駒場1号館	152教室
A1A2	火5	08A9016	共通アラビア語（16）	オダイマ ムハンマド	駒場8号館	8-324
A1A2	火5	08A9206	共通ギリシア語（6）	松浦 高志	駒場1号館	117教室
A1A2	火5	08B0001	専門英語（1）	関谷 雄一	駒場8号館	8-205
A1A2	火5	08B0003	専門英語（3）	佐藤 光	駒場1号館	120教室
A1A2	火5	08B0014	専門英語（14）	吉国 浩哉	駒場8号館	8-206
A1A2	火5	08B3002	専門ロシア語（2）	乗松 亨平	駒場8号館	8-208
A1A2	火5	08F1116	進化認知脳科学特論IV	菅生 康子	駒場1号館	116教室
A1A2	火5	08G0015	情報科教育法II	辰己 丈夫	理7号館	102号室
A1A2	火5	08X1008	学際科学概論	和泉 潔	駒場15号館	15-104
				江守 正多		
				大澤 剛士		
				一ノ瀬 友博		
				田中 彰吾		
				梶田 真		
				各教員		
A1A2	火5	08A9631033	日本語（33）：アカデミックスキル（総合）（L4-5）	得丸 智子	駒場10号館	10-102
A1A2	火5	08A9631035	日本語（35）：アカデミックスキル（総合）（L6）	ボイクマン 総子	駒場10号館	10-203
A1	火5	08D1422	環境測定法II	沖 一雄	先産研As棟	301
				竹内 渉		
A1A2	火5	08D1444	持続可能な社会－生態系	露木 聡	21KOMCEE West	K303
				龍原 哲		
				大黒 俊哉		
				八木 信行		
				橋本 禪		
A1A2	火5	08C1011	応用人類学I	関谷 雄一	駒場8号館	8-205
A1A2	火5	08C1214	比較文学論II	佐藤 光	駒場1号館	120教室
A1A2	火5	08C1401	日本文化研究法I	田村 隆	駒場14号館	706号室
A1A2	火5	08C1519	言語と社会II	松本 和子	駒場8号館	8-113
A1A2	火5	08C161918	言語文化論特殊研究（18）	吉国 浩哉	駒場8号館	8-206
A1A2	火5	08C2424	ロシア地域文化特殊演習	乗松 亨平	駒場8号館	8-208
A1	火5	08C2760	ラテンアメリカ言語I	川崎 義史	駒場8号館	8-317
A2	火5	08C2761	ラテンアメリカ言語II	川崎 義史	駒場8号館	8-317
A1A2	火5	08C2915	特殊講義II[韓国朝鮮研究コース]	小林 聡明	駒場8号館	8-320
A1A2	水1	08X2001	数理科学概論	國場 敦夫	駒場16号館	109室
A1A2	水1	08A9631091	日本語（91）：現代文化（L6-LS）	松下 達彦	駒場10号館	10-203
A1A2	水1	08C403421	国際日本研究演習XXI	ダルグリーシュ プレガム	駒場5号館	516教室
A1A2	水1	08D1110	都市地域デザイン	加藤 道夫	駒場15号館	15-104
A1	水1	08D1423	環境熱力学	深津 晋	駒場11号館	1105教室
A1A2	水2	08A3020	共通ロシア語（20）	GOLUBOVSKAYA Liubov	駒場5号館	517教室
A1A2	水2	08A9464	タイ語（4）	浅見 靖仁	駒場12号館	1211教室
A1A2	水2	08A9476	ヘブライ語（4）	飯郷 友康	駒場7号館	761教室
A1A2	水2	08B0060	専門英語（60）	オデイ ジョン	駒場8号館	8-321
A1A2	水2	08X1005	広域システム概論I	山口 和紀	駒場15号館	15-104
				山口 泰		
				福永 アレックス		
A1	水2	08B0051A	専門英語（51）a	土屋 和代	駒場8号館	8-205
A2	水2	08B0052B	専門英語（52）b	土屋 和代	駒場8号館	8-205

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A1A2	水2	08F140614	グローバル教養特別演習II(14)	オデイ ジョン	駒場8号館	8-321
A1A2	水2	08E1412	スポーツ栄養学	寺田 新	駒場3号館	113室
A1A2	水2	08C403322	国際日本研究特論XXII	オデイ ジョン	駒場8号館	8-321
A1A2	水2	08D1021	科学哲学特論I	田中 彰吾	駒場8号館	8-207
A1	水2	08D1423	環境熱力学	深津 晋	駒場11号館	1105教室
A1A2	水2	08D1438	エネルギー資源論III	増田 建	駒場5号館	518教室
A1A2	水2	08E1021	統計力学I[数理自然科学コース]	池田 昌司	駒場16号館	109室
A1A2	水2	08E1115	統計力学I[物質基礎科学コース]	池田 昌司	駒場16号館	109室
A1A2	水2	08E1151	バイオイメージング[物質基礎科学コース]	佐藤 守俊 村田 昌之	駒場3号館	116室
A1A2	水2	08E1214	バイオイメージング[統合生命科学コース]	佐藤 守俊 村田 昌之	駒場3号館	116室
A1A2	水2	08E1232	統計力学I[統合生命科学コース]	池田 昌司	駒場16号館	109室
A1A2	水2	08C102403	文化人類学特殊演習 (アジアの宗教と社会)	藏本 龍介	駒場14号館	407室
A1A2	水2	08C1117	映像芸術論I	三浦 哲哉	駒場18号館	18号館メディアラボ2
A1A2	水2	08C1220	比較日本文化論II	菅原 克也	駒場8号館	319室
A1A2	水2	08C1302	現代思想	古荘 真敬	駒場12号館	1221教室
A1A2	水2	08C1556	言語構造論特殊演習	稲葉 治朗	駒場8号館	8-112
A1A2	水2	08C2532	特殊研究演習III[イタリア地中海研究コース]	村松 真理子	駒場8号館	8-324
A1	水2	08C2651A	特殊講義VIIa[北アメリカ研究コース]	土屋 和代	駒場8号館	8-205
A2	水2	08C2651B	特殊講義VIIb[北アメリカ研究コース]	土屋 和代	駒場8号館	8-205
A1	水2	08C2737	ラテンアメリカ史III	網野 徹哉	駒場8号館	8-317
A1A2	水2	08C2839	特殊研究演習V[アジア・日本研究コース]	杉山 清彦	駒場12号館	1233教室
A1A2	水2	08C3128	経済学研究I[関連社会科学コース]	結城 剛志	駒場12号館	1213教室
A1A2	水2	08C3130	社会学研究[関連社会科学コース]	橋本 摂子	駒場12号館	1224教室
A1A2	水2	08C3234	経済学研究I[国際関係論コース]	結城 剛志	駒場12号館	1213教室
A1A2	水2	08C3236	社会学研究[国際関係論コース]	橋本 摂子	駒場12号館	1224教室
A1A2	水3	08A5016	共通スペイン語 (16) (文法)	齊藤 文子	駒場12号館	1212教室
A1A2	水3	08A8020	共通韓国朝鮮語 (20) (表現練習)	三ツ井 崇	駒場12号館	1211教室
A1A2	水3	08B9302	専門ラテン語 (2)	筒井 賢治	駒場8号館	8-322
A1A2	水3	08F1012	環境社会科学[グローバル・エシックス]	丸山 真人	駒場1号館	149教室
A1	水3	08B2003A	専門ドイツ語 (3)a	足立 信彦	駒場8号館	8-321
A2	水3	08B2003B	専門ドイツ語 (3)b	足立 信彦	駒場8号館	8-321
A1A2	水3	08H006334	東西文明学I(国際社会科学4)	マキュワン クリストファー	駒場8号館	8-205
A1A2	水3	08X000102	超域文化科学高度教養(人類学的集団範疇論—民族とカーストを中心に)	名和 克郎	駒場13号館	1311教室
A1A2	水3	08C4037	東アジアの思想	鍾 以江	駒場11号館	1105教室
A1A2	水3	08D1001	科学哲学概論	信原 幸弘	駒場12号館	1224教室
A1A2	水3	08C1014	地域民族誌I	名和 克郎	駒場13号館	1311教室
A1A2	水3	08C1212	芸術作品分析法IV	Hermann Gottschewski	アドミニストレーション棟	学際交流ホール
A1A2	水3	08C1311	現代哲学特殊研究I	信原 幸弘	駒場12号館	1224教室
A1A2	水3	08C132202	現代思想特殊演習III	鍾 以江	駒場11号館	1105教室
A1A2	水3	08C1415	東洋古典学	谷口 洋	駒場11号館	1109教室
A1A2	水3	08C1532	言語理論IV	矢田部 修一	駒場8号館	8-110
A1	水3	08C2319A	ドイツ文学テキスト演習Ia	足立 信彦	駒場8号館	8-321
A2	水3	08C2319B	ドイツ文学テキスト演習Ib	足立 信彦	駒場8号館	8-321
A1A2	水3	08C2437	ロシア東欧歴史論	黛 秋津	駒場8号館	8-317
A1A2	水3	08C2528	地中海古典テキスト分析演習IV	筒井 賢治	駒場8号館	8-322
A1A2	水3	08C2539	論文指導II[イタリア地中海研究コース]	マルコ ビオンディ	21KOMCEE West	K402
A1	水3	08C2745	ラテンアメリカ社会・民族III	和田 毅	駒場8号館	8-113
A1A2	水3	08C2838	特殊研究演習IV[アジア・日本研究コース]	浅見 靖仁	駒場12号館	1233教室
A1A2	水3	08C2854	アジアの民族	名和 克郎	駒場13号館	1311教室
A1A2	水3	08C282102	特殊講義III(2)[アジア・日本研究コース]	天児 慧	駒場12号館	1226教室
A1A2	水3	08C3113	環境社会科学	丸山 真人	駒場1号館	149教室
A1A2	水3	08C312205	特殊研究演習「ジェンダー論演習」	瀬地山 角	21KOMCEE East	K112
A1A2	水3	08C321605	特殊講義「環境文明論」	丸山 真人	駒場1号館	149教室
A1A2	水3	08C321649	特殊講義「空間秩序と国際法」	西村 弓	駒場12号館	1221教室
A1A2	水4	08A0031	共通英語 (31)	中尾 まさみ	駒場8号館	8-113
A1A2	水4	08A1014	共通フランス語 (14) (作文)	DE VOS PATRICK HENRI	駒場1号館	150教室
A1A2	水4	08A9020	共通アラビア語 (20)	杉田 英明	駒場12号館	1223教室
A1A2	水4	08B0002	専門英語 (2)	清水 晶子	駒場8号館	8-323室
A1A2	水4	08B0025	専門英語 (25)	ギルバート ヘレン	駒場8号館	8-209
A1A2	水4	08B0066	専門英語 (66)	北村 朋史 井上 彰	駒場1号館	116教室
A1A2	水4	08B9502	専門日本語 (2)	前島 志保	駒場8号館	319室
A1A2	水4	08F1304	科学技術リテラシー論II	松本 真由美	駒場1号館	115教室
A1	水4	08B0066A	専門英語 (66)a	井上 彰	駒場1号館	116教室
A2	水4	08B0066B	専門英語 (66)b	北村 朋史	駒場1号館	116教室
A1A2	水4	08F140602	グローバル教養特別演習II(2)	北村 朋史 井上 彰	駒場1号館	116教室
A1A2	水4	08F140813	グローバル教養特別演習IV(13)	THORNTON Peter		

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A1A2	水4	08C4028	国際社会分析特論II	北村 朋史	駒場1号館	116教室
				井上 彰		
A1	水4	08C4028A	国際社会分析特論IIa	井上 彰	駒場1号館	116教室
A2	水4	08C4028B	国際社会分析特論IIb	北村 朋史	駒場1号館	116教室
A1A2	水4	08C40328	国際日本研究特論XXVIII	ジロドウ イザベル	駒場8号館	8-210
A1A2	水4	08D1009	科学哲学演習III	石原 孝二	駒場14号館	710室
A1A2	水4	08D14131	環境と法（2）	ジロドウ イザベル	駒場8号館	8-210
A1A2	水4	08E1326	認知行動科学特論II	鯨島 和行	駒場3号館	113室
A1A2	水4	08C102405	文化人類学特殊演習（イメーজの人類学）	箭内 匡	駒場14号館	407室
A1A2	水4	08C1125	表象文化論特殊研究演習I	清水 晶子	駒場8号館	8-323室
A1A2	水4	08C1234	比較文学比較文化論演習IV	前島 志保	駒場8号館	319室
A1A2	水4	08C131402	現代思想特殊研究I（2）	石原 孝二	駒場14号館	710室
A1A2	水4	08C1604	テキスト文化論演習	ベティート ジョシュア	駒場8号館	8-206
A1A2	水4	08C2114	広域英語圏地域論〔イギリス研究コース〕	ギルバート ヘレン		
A1A2	水4	08C2130	広域英語圏地域論演習〔イギリス研究コース〕	ギルバート ヘレン	駒場8号館	8-209
A1A2	水4	08C2502	イタリア地中海歴史社会論II	池上 俊一	駒場5号館	515教室
A1A2	水4	08C2629	広域英語圏地域論演習〔北アメリカ研究コース〕	ギルバート ヘレン	駒場8号館	8-209
A1A2	水4	08C2835	特殊研究演習I〔アジア・日本研究コース〕	松田 康博	駒場8号館	8-112
A1A2	水4	08C3102	相関社会科学基礎論II	佐藤 俊樹	駒場12号館	1233教室
A1A2	水4	08C312215	特殊研究演習「現代社会論演習」	内山 融	駒場11号館	1109教室
A1	水4	08C322505	特殊研究演習「国際経済理論演習」	受田 宏之	駒場1号館	118教室
A1A2	水5	08A3016	共通ロシア語（16）	GOLUBOVSKAYA Liubov	駒場5号館	515教室
A1A2	水5	08A3018	共通ロシア語（18）	毛利 公美	駒場1号館	108教室
A1A2	水5	08A9018	共通アラビア語（18）	杉田 英明	駒場1号館	103教室
A1A2	水5	08A9488	広東語（8）（中級）	吉川 雅之	駒場10号館	10-102
A1A2	水5	08B0023	専門英語（23）	中尾 まさみ	駒場8号館	8-321
				フィッツサイモンズ アンドルー		
A1A2	水5	08F1307	科学技術表現論I	大島 まり		
A1A2	水5	08X0005	Liberal Arts for Advanced Students II	堀田 千里	駒場8号館	8-208
A1A2	水5	08X1013	進化管理論〔高度教養科目〕	嶋田 正和	駒場15号館	15-104
				池上 高志		
A1A2	水5	08X2005	スポーツ科学概論	柳原 大	駒場16号館	126室,127室
A1A2	水5	08F140816	グローバル教養特別演習IV（16）	内藤 まりこ	駒場8号館	8-317
A1A2	水5	08D1504P	進化管理論〔進化学コース〕	嶋田 正和	駒場15号館	15-104
				池上 高志		
A1A2	水5	08D1005	科学技術史演習III	岡本 拓司	駒場14号館	308室
A1A2	水5	08C1018	歴史と文化II	田辺 明生	駒場14号館	407室
A1A2	水5	08C1103	表象システム論	DE VOS PATRICK HENRI	駒場1号館	117教室
A1A2	水5	08C1412	日本思想	高山 大毅	駒場12号館	1221教室
A1A2	水5	08C2135	特殊研究演習V〔イギリス研究コース〕	中尾 まさみ	駒場8号館	8-321
				フィッツサイモンズ アンドルー		
A1A2	水5	08C2250	フランス研究演習V	三浦 篤	駒場8号館	319室
A1A2	水5	08C2517	特殊講義V〔イタリア地中海研究コース〕	筒井 賢治	駒場8号館	8-322
A1A2	木1	08A9204	共通ギリシア語（4）	上野 愼也	駒場5号館	515教室
A1	木1	08G0012	英語科教育法I	奥 聡一郎	21KOMCEE West	K501
A1A2	木1	08H006344	東西文明学I（環境と身体4）	ジェームズ エリンガー	21KOMCEE West	K401
A1A2	木1	08E1413	身体トレーニング論	石井 直方	駒場9号館	会議室
				八田 秀雄		
				久保 啓太郎		
				吉岡 伸輔		
A1A2	木1	08D1208	情報工学I	越塚 登	駒場5号館	516教室
A1A2	木1	08D1433	物質循環科学IV	ジェームズ エリンガー	21KOMCEE West	K401
A1A2	木1	08E1208	生命科学研究法	道上 達男	駒場16号館	126室,127室
A1A2	木2	08A0030	共通英語（30）	小林 宜子	駒場8号館	8-112
A1A2	木2	08A4036	共通中国語（36）（上級読解）	村田 雄二郎	駒場5号館	515教室
A1A2	木2	08A4046	共通中国語（46）（TLP中級読解）	王 前	駒場1号館	156教室
A1A2	木2	08A9202	共通ギリシア語（2）	上野 愼也	駒場8号館	8-420
A1A2	木2	08B0005	専門英語（5）	WILSON BRENDAN	駒場8号館	8-207
A1A2	木2	08B0007	専門英語（7）	田尻 芳樹	駒場8号館	8-321
A1A2	木2	08B0037	専門英語（37）	井坂 理徳	駒場1号館	120教室
A1A2	木2	08F1003	応用倫理学概論〔グローバル・エシックス〕	鈴木 貴之	駒場14号館	308室
A1	木2	08G0012	英語科教育法I	奥 聡一郎	21KOMCEE West	K501
A1	木2	08B0031A	専門英語（31）a	矢口 祐人	駒場8号館	8-205
A2	木2	08F1103B	言語の認知科学IIIb	田中 伸一	駒場8号館	8-206
A1A2	木2	08A9631051	日本語（51）：地理・社会・ニュース（L3-L5）	根本 愛子	駒場10号館	10-205
A1	木2	08F1406A12	グローバル教養特別演習IIa（12）	矢口 祐人	駒場8号館	8-205
A1A2	木2	08A96310931	日本語（93）：文学・映画（L6-LS）	有吉 英心子	駒場10号館	10-203
A1A2	木2	08E1410	スポーツバイオメカニクス	深代 千之	駒場9号館	会議室
A1A2	木2	08D1002	応用倫理学概論〔科学技術論コース〕	鈴木 貴之	駒場14号館	308室
A1A2	木2	08D1102	地理情報分析基礎I	松原 宏	駒場2号館	202室
A1A2	木2	08D1237901	人間情報学I（1）	吉田 丈人	駒場15号館	15-104

開講区分名	開講 曜限	時間割 コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A1A2	木2	08D1330	生態・進化学I	吉田 丈人	駒場15号館	15-104
A1A2	木2	08E1015	量子力学I[数理自然科学コース]	深津 晋	駒場16号館	109室
A1A2	木2	08E1109	量子力学I[物質基礎科学コース]	深津 晋	駒場16号館	109室
A1A2	木2	08E1234	量子力学I[統合生命科学コース]	深津 晋	駒場16号館	109室
A1	木2	08E1245	細胞生物学I	坪井 貴司	駒場3号館	113室
A2	木2	08E1246	細胞生物学II	大杉 美穂	駒場3号館	113室
A1A2	木2	08C1016	地域民族誌III	石橋 純	駒場8号館	8-209
A1A2	木2	08C1232	比較文化論IV	伊藤 徳也	駒場8号館	8-322
A1A2	木2	08C130302	現代哲学演習 (2)	國分 功一郎	21KOMCEE West	K401
A1A2	木2	08C1510	言語の変異・変化II	寺澤 盾	駒場8号館	8-210
A1A2	木2	08C151102	原典講読特殊演習 (2)[学際言語科学コース]	WILSON BRENDAN	駒場8号館	8-207
A1A2	木2	08C160912	テキスト分析演習II(12)	田尻 芳樹	駒場8号館	8-321
A1A2	木2	08C2108	イギリス言語様態論	寺澤 盾	駒場8号館	8-210
A1A2	木2	08C2134	特殊研究演習IV[イギリス研究コース]	WILSON BRENDAN	駒場8号館	8-207
A1A2	木2	08C2146	イギリス文学テキスト演習II	田尻 芳樹	駒場8号館	8-321
A1A2	木2	08C2202	フランス思想テキスト分析	原 和之	駒場8号館	8-110
A1	木2	08C2202A	フランス思想テキスト分析a	原 和之	駒場8号館	8-110
A2	木2	08C2202B	フランス思想テキスト分析b	原 和之	駒場8号館	8-110
A2	木2	08C2646	アメリカ文化研究基礎論	矢口 祐人	駒場8号館	8-205
A1	木2	08C2633A	特殊研究演習IVa[北アメリカ研究コース]	矢口 祐人	駒場8号館	8-205
A1	木2	08C2774	ラテンアメリカ民族論演習I	石橋 純	駒場8号館	8-209
A2	木2	08C2775	ラテンアメリカ民族論演習II	石橋 純	駒場8号館	8-209
A1A2	木2	08C2815	南アジア地域文化研究	井坂 理穂	駒場1号館	120教室
A1A2	木2	08C2824	東アジア地域研究演習	山口 輝臣	駒場14号館	605号室
A1A2	木2	08C311501	特殊講義「現代社会思想」	國分 功一郎	21KOMCEE West	K401
A1A2	木2	08C3220	国際体系演習	田中 孝彦	駒場11号館	1109教室
A1A2	木3	08A0029	共通英語 (29)	加治屋 健司	駒場8号館	8-321
A1A2	木3	08A4047	共通中国語 (47)(TLP中級作文)	王 前	駒場1号館	156教室
A1A2	木3	08A9422	ヒンディー語 (6)	藤井 毅	駒場12号館	1211教室
A1A2	木3	08A9450	インドネシア語 (6)	高地 薫	駒場1号館	109教室
A1A2	木3	08B1007	専門フランス語 (7)	鈴木 啓二	駒場8号館	8-110
A1A2	木3	08F1104	言語の脳神経科学	酒井 邦嘉	駒場16号館	119室
A1A2	木3	08F10042	文化社会論 (2)[グローバル・エシックス]	斉藤 渉	駒場8号館	8-208
A2	木3	08A9631043	日本語 (43): 中級総合(IJ-VI) (L3)	古川 明子	駒場10号館	10-303
A1	木3	08A9631045	日本語 (45): 中級総合(L4-5)	柿山 礼美	駒場10号館	10-201
A2	木3	08A9631047	日本語 (47): 中級総合(L4-5)	柿山 礼美	駒場10号館	10-201
A1A2	木3	08D1502P	宇宙地球科学I[進化学コース]	小宮 剛 磯崎 行雄	駒場15号館	15-104
A1A2	木3	08C4003	日本近現代史	バクスター, ジョシュア	駒場5号館	518教室
A1A2	木3	08D1012	科学技術社会論演習II	廣野 喜幸	駒場11号館	1109教室
A1A2	木3	08D1209901	情報工学II(1)	小宮 剛 磯崎 行雄	駒場15号館	15-104
A1A2	木3	08D1312	宇宙地球科学I[広域システムコース]	小宮 剛 磯崎 行雄	駒場15号館	15-104
A1A2	木3	08E1131	物理化学	長谷川 宗良	駒場16号館	109室
A1A2	木3	08E1302	認知行動科学方法論	四本 裕子 各教員	駒場3号館	116室
A2	木3	08C1024A01	文化人類学特殊演習a(ロシア民族学史)	渡邊 日日	駒場8号館	8-205
A1A2	木3	08C1108	表象文化論実習II	桑田 光平 各教員	駒場8号館	8-323室
A1A2	木3	08C1111	伝統芸能論I	松岡 心平	駒場8号館	8-324
A1A2	木3	08C130802	文化社会論 (2)[現代思想コース]	斉藤 渉	駒場8号館	8-208
A1A2	木3	08C1423	学際日本文化論演習IV	松岡 心平	駒場8号館	8-324
A1A2	木3	08C1606	メディア文化論[言語態・テキスト文化論コース]	石田 英敬	駒場8号館	8-210
A1A2	木3	08C2102	イギリス歴史社会論II	後藤 春美	駒場1号館	118教室
A1A2	木3	08C2219	フランス文学テキスト分析演習	鈴木 啓二	駒場8号館	8-110
A2	木3	08C2451A	ロシア東欧政治社会特殊演習a	渡邊 日日	駒場8号館	8-205
A1	木3	08C2622A	アメリカ思想テキスト分析演習a	遠藤 泰生	駒場14号館	206室
A1	木3	08C2750	スペイン研究I	下山 静香	駒場8号館	8-207
A1A2	木3	08C2847	特殊研究演習XIII	野田 真里	駒場8号館	8-113
A1A2	木3	08C3131	法学演習	福岡 安都子	駒場11号館	1107教室
A1A2	木4	08A4022	共通中国語 (22)(中級会話)	李 雲	駒場1号館	103教室
A1A2	木4	08A5012	共通スペイン語 (12)(作文)	ルイズ ティノコ アントニオ	駒場1号館	117教室
A1A2	木4	08A5022	共通スペイン語 (22)(会話)	FERNANDEZ HERBOSO	駒場1号館	114教室
A1A2	木4	08A6006	共通ポルトガル語 (6)	牧野 真也	駒場1号館	153教室
A1A2	木4	08A9424	ヒンディー語 (8)	藤井 毅	駒場12号館	1211教室
A1A2	木4	08A9452	インドネシア語 (8)	高地 薫	駒場1号館	102教室
A1A2	木4	08B1012	専門フランス語 (12)	ビゼ	駒場8号館	8-112
A1	木4	08F1105	進化人類学	近藤 修	駒場12号館	1212教室
A1A2	木4	08X1010	エネルギー科学概論	瀬川 浩司 松本 真由美	駒場15号館	15-104

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A1A2	木4	08F140618	グローバル教養特別演習II(18)	ビゼ	駒場8号館	8-112
A1A2	木4	08F140619	グローバル教養特別演習II(19)	ネルソン シャリティー	駒場5号館	515教室
A1A2	木4	08F140801	グローバル教養特別演習IV(1)	東 大作	21KOMCEE East	K114
A1A2	木4	08H006322	東西文学I(言語と歴史2)	ネルソン シャリティー	駒場5号館	515教室
A1A2	木4	08H006346	東西文学I(環境と身体6)	ウー ジン	21KOMCEE West	K402
A1A2	木4	08A9631031	日本語(31):アカデミックスキル(総合)(L3-4)	柿山 礼美	駒場10号館	10-202
A1	木4	08D1509P	人類進化学	近藤 修	駒場12号館	1212教室
				大橋 順		
				植田 信太郎		
				井原 泰雄		
				長谷川 壽一		
A1A2	木4	08D14241	環境情報科学(2)	ウー ジン	21KOMCEE West	K402
A1A2	木4	08E1011	常微分方程式論	米田 剛	駒場16号館	109室
A1A2	木4	08E1302	認知行動科学方法論	四本 裕子	駒場1号館	118教室
				各教員		
A2	木4	08C1023A01	文化人類学特殊講義a(政治人類学)	中川 理	駒場14号館	407室
A1A2	木4	08C1319	現代哲学特殊演習III	湯浅 正彦	駒場1号館	154教室
A1A2	木4	08C2248	フランス研究演習III	ビゼ	駒場8号館	8-112
A1A2	木4	08C2515	特殊講義III[イタリア地中海研究コース]	水野 千依	駒場8号館	8-317
A1	木4	08C2751	スペイン研究II	下山 静香	駒場8号館	8-207
A1A2	木4	08C322507	特殊研究演習「外交政策演習」	東 大作	21KOMCEE East	K114
A1A2	木5	08A4026	共通中国語(26)(中級作文)	柴 森	駒場1号館	104教室
A1A2	木5	08A4032	共通中国語(32)(上級作文)	毛 興華	駒場1号館	150教室
A1A2	木5	08A6008	共通ポルトガル語(8)	牧野 真也	駒場1号館	153教室
A1A2	木5	08A9413	ポーランド語(5)	小椋 彩	駒場1号館	108教室
A1	木5	08F1105	進化的人類学	近藤 修	駒場12号館	1212教室
A1	木5	08A9702A2	共通日本語(2)a	藤井 聖子	駒場10号館	10-205
				大久保 雅子		
A2	木5	08A9702A4	共通日本語(2)a	藤井 聖子	駒場10号館	10-205
				大久保 雅子		
A1A2	木5	08F140621	グローバル教養特別演習II(21)	ウッドワード・ジョナサン・ロジャー	駒場8号館	8-205
A1A2	木5	08X000303	総合社会科学高度教養(地域政策論)	植田 昌也	駒場12号館	1214教室
A1A2	木5	08X000304	総合社会科学高度教養(アジア太平洋の国際関係)	川島 真	駒場8号館	8-210
A1	木5	08D1509P	人類進化学	近藤 修	駒場12号館	1212教室
				大橋 順		
				植田 信太郎		
				井原 泰雄		
				長谷川 壽一		
A1A2	木5	08D1220	統計学実習[総合情報学コース]	嶋田 正和	情報教育棟	E42教室
A1A2	木5	08D1428	環境と分子	ウッドワード・ジョナサン・ロジャー	駒場8号館	8-205
A1A2	木5	08D1310	統計学実習[広域システムコース]	嶋田 正和	情報教育棟	E42教室
A1A2	木5	08E1012	常微分方程式論演習	米田 剛	駒場16号館	109室
A1A2	木5	08C1021	日本文化研究I	重信 幸彦	駒場8号館	8-209
A1A2	木5	08C161917	言語文化論特殊研究(17)	崔 泰源	駒場11号館	1107教室
A1A2	木5	08C2934	韓国朝鮮社会文化論特殊講義	崔 泰源	駒場11号館	1107教室
A1A2	木5	08C311511	特殊講義「地域政策論」	植田 昌也	駒場12号館	1214教室
A1A2	木5	08C321615	特殊講義「アジア太平洋の国際関係」	川島 真	駒場8号館	8-210
A1A2	金1	08A0039	共通英語(Adv ALE 1)	THURGILL JAMES CHRISTOPHER		
A1A2	金1	08B0006	専門英語(6)	坪井 栄治郎	駒場10号館	10-101
A1A2	金1	08C403420	国際日本研究演習XX	ジロドウ イザベル	21KOMCEE West	K401
A1A2	金1	08D1101	自然環境論	松山 洋	駒場1号館	149教室
A1A2	金1	08D1461	科学技術と社会	ジロドウ イザベル	21KOMCEE West	K401
A1A2	金1	08C151201	個別言語特殊演習(1)	坪井 栄治郎	駒場10号館	10-101
A1A2	金2	08A0036	共通英語(36)	ポター サイモン	駒場8号館	8-208
A1A2	金2	08A4028	共通中国語(28)(中級読解)	伊藤 博	駒場1号館	151教室
A1A2	金2	08A8018	共通韓国朝鮮語(18)(精読)	橋本 繁	駒場1号館	120教室
A1A2	金2	08A9456	上海語(4)(初級)	王 英輝	駒場1号館	115教室
A1A2	金2	08B0022	専門英語(22)	ミルズ アンソニー	駒場8号館	8-322
A1A2	金2	08B7004	専門イタリア語(4)	高桑 和巳	駒場8号館	8-321
A1A2	金2	08X1003	地理・空間基礎論I	荒井 良雄	駒場12号館	1213教室
A1A2	金2	08F10022	倫理宗教論演習(2)[グローバル・エシックス]	梶谷 真司	21KOMCEE West	K303
A1A2	金2	08X000202	地域文化研究高度教養(ヨーロッパ)	ミルズ アンソニー	駒場8号館	8-322
A1A2	金2	08X000203	地域文化研究高度教養(アジア)	谷垣 真理子	駒場8号館	8-210
A1A2	金2	08D1432	物質循環科学III	岡部 徹	駒場1号館	117教室
A1A2	金2	08E1013	物理数学I[数理自然科学コース]	國場 敦夫	駒場16号館	109室
A1A2	金2	08E1107	物理数学I[物質基礎科学コース]	國場 敦夫	駒場16号館	109室
A2	金2	08E1220	構成・システム生物学[統合生命科学コース]	豊田 太郎	駒場16号館	129室
				澤井 哲		
				若本 祐一		
A1A2	金2	08E1324	心理統計学	岡田 謙介	駒場11号館	1108教室
A1A2	金2	08C1001	文化人類学基礎論	津田 浩司	駒場14号館	407室

開講区分名	開講 曜限	時間割 コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A1A2	金2	08C130902	倫理宗教論演習（2）[現代思想コース]	梶谷 真司	21KOMCEE West	K303
A1A2	金2	08C1414	日本語学	矢田 勉	駒場8号館	8-110
A1A2	金2	08C1522	日本語学I	矢田 勉	駒場8号館	8-110
A1A2	金2	08C161711	批評理論文献講読I(11)	佐藤 元状	駒場5号館	516教室
A1A2	金2	08C161921	言語文化論特殊研究（21）	矢田 勉	駒場8号館	8-110
A1A2	金2	08C2115	特殊講義I[イギリス研究コース]	ミルズ アンソニー	駒場8号館	8-322
A1A2	金2	08C2546	イタリア思想文学テキスト分析演習I	高桑 和巳	駒場8号館	8-321
A1	金2	08C2640	アメリカ近代史	橋川 健竜	駒場8号館	8-112
A2	金2	08C2643	アメリカ文学テキスト分析	HONES SHEILA ANNE	駒場8号館	8-324
A1	金2	08C2762	特殊講義I[ラテンアメリカ研究コース]	久松 佳彰	駒場8号館	8-317
A2	金2	08C2763	特殊講義II[ラテンアメリカ研究コース]	久松 佳彰	駒場8号館	8-317
A1A2	金2	08C2819	特殊講義I[アジア・日本研究コース]	谷垣 真理子	駒場8号館	8-210
A1A2	金2	08C2845	特殊研究演習XI	後藤 絵美	駒場8号館	8-205
A1A2	金2	08C321640	特殊講義「ラテンアメリカ政治経済論」	久松 佳彰	駒場8号館	8-317
A1A2	金3	08A3012	共通ロシア語（12）	GOLUBOVSKAYA Liubov	駒場5号館	511教室
A1A2	金3	08B0036	専門英語（36）	金 志英	21KOMCEE East	K114
A2	金3	08B0067	専門英語（67）	阪本 拓人	情報教育棟	E25教室
A1A2	金3	08B1009	専門フランス語（9）	森元 庸介	駒場8号館	8-317
A1A2	金3	08B7001	専門イタリア語（1）	日向 太郎	駒場8号館	8-112
A1A2	金3	08X1011	環境エネルギー経済学	松井 英生	駒場8号館	8-205
A1	金3	08B2005A	専門ドイツ語（5）a	相澤 隆	駒場8号館	8-208
A2	金3	08B2005B	専門ドイツ語（5）b	相澤 隆	駒場8号館	8-208
A2	金3	08F140601	グローバル教養特別演習II（1）	阪本 拓人	情報教育棟	E25教室
A1A2	金3	08F140613	グローバル教養特別演習II(13)	金 志英	21KOMCEE East	K114
A1A2	金3	08F140623	グローバル教養特別演習II(23)	マニナン ジョン	駒場5号館	516教室
A1A2	金3	08H006348	東西文学I(環境と身体8)	マニナン ジョン	駒場5号館	516教室
A1A2	金3	08A9631081	日本語（81）：地理・社会・ニュース(L6-LS)	寺尾 綾	駒場10号館	10-206
A1A2	金3	08A9631101	日本語（101）：チュートリアル（L3-L5）	片山 智子	駒場10号館	10-201
A1A2	金3	08C4056	歴史・地域研究特殊演習II	金 志英	21KOMCEE East	K114
A2	金3	08C4058	国際社会分析特殊演習II	阪本 拓人	情報教育棟	E25教室
A1A2	金3	08D1006	科学技術史演習IV	橋本 毅彦	駒場1号館	119教室
A1A2	金3	08D1124	ロシア・東欧の自然と社会	雲 和広	駒場1号館	158教室
A1A2	金3	08D1206	情報数理科学演習I	中村 政隆	駒場15号館	15-104
				柏原 賢二		
A1A2	金3	08D1426	最適化・意思決定論	前田 章	駒場8号館	8-206
A1A2	金3	08D14471	食と安全特論（2）	マニナン ジョン	駒場5号館	516教室
A1A2	金3	08D1340901	広域システム特論III（1）	中村 政隆	駒場15号館	15-104
				柏原 賢二		
A1A2	金3	08E1009	複素解析学	石村 直之	駒場16号館	109室
A1A2	金3	08E1311	行動適応論	丹野 義彦	駒場13号館	1312教室
A1A2	金3	08C1022	日本文化研究II	岩本 通弥	駒場14号館	407室
A1A2	金3	08C1105	表象文化史	長木 誠司	駒場8号館	8-323室
A1A2	金3	08C1405	日本言語文化論	小森 陽一	駒場8号館	8-210
A1A2	金3	08C1525	言語教育・学習論I[学際言語科学コース]	宇佐美 洋	駒場5号館	518教室
A1A2	金3	08C1615	言語教育・学習論I[言語態・テキスト文化論コース]	宇佐美 洋	駒場5号館	518教室
A1A2	金3	08C160811	テキスト分析演習I(11)	日向 太郎	駒場8号館	8-112
A1A2	金3	08C161920	言語文化論特殊研究（20）	小森 陽一	駒場8号館	8-210
A1A2	金3	08C2222	フランス表象芸術論演習	森元 庸介	駒場8号館	8-317
A1	金3	08C2310A	ドイツ都市文化論a	相澤 隆	駒場8号館	8-208
A2	金3	08C2310B	ドイツ都市文化論b	相澤 隆	駒場8号館	8-208
A1A2	金3	08C2411	ロシア東欧の地理	雲 和広	駒場1号館	158教室
A1A2	金3	08C2509	イタリア地中海言語文化論	日向 太郎	駒場8号館	8-112
A1A2	金3	08C2606	アメリカ経済論	杉浦 哲郎	駒場5号館	521教室
A1	金3	08C2746	ラテンアメリカ社会・民族IV	和田 毅	駒場8号館	8-113
A1A2	金3	08C2831	中国地域特殊演習	田原 史起	駒場8号館	8-321
A1A2	金3	08C2846	特殊研究演習XII	金 志英	21KOMCEE East	K114
A1A2	金3	08C311535	特殊講義「日本社会研究」	松原 隆一郎	駒場1号館	155教室
A1A2	金3	08C3203	国際経済	竹野 太三	21KOMCEE East	K112
A2	金3	08C322519	特殊研究演習「計算社会科学入門」	阪本 拓人	情報教育棟	E25教室
A1A2	金4	08A0202	共通英語（Adv ALE 2）	ROLAND DOUGLAS WILLI	駒場1号館	119教室
A1A2	金4	08A1012	共通フランス語（12）（会話）	ビゼ	駒場1号館	153教室
A1A2	金4	08A4024	共通中国語（24）（中級会話）	毛 興華	駒場1号館	149教室
A1A2	金4	08A9405	セルビア・クロアチア語（5）	山崎 信一	駒場1号館	114教室
A1A2	金4	08A9430	ベトナム語（6）	加藤 栄	駒場1号館	116教室
A1A2	金4	08B0054	専門英語（54）	野網 摩利子	駒場8号館	8-112
A2	金4	08B0067	専門英語（67）	阪本 拓人	情報教育棟	E25教室
A1A2	金4	08B0068	専門英語（68）	ワトソン アレックス	駒場8号館	8-209
A2	金4	08F140601	グローバル教養特別演習II（1）	阪本 拓人	情報教育棟	E25教室
A1A2	金4	08F140815	グローバル教養特別演習IV(15)	仁井田 千絵	駒場1号館	117教室
A2	金4	08H006442	東西文学II(環境と身体2)	白 佐立	駒場8号館	8-321
A1A2	金4	08X400102	高度教養特殊講義（こころの総合人間科学特論）	小池 進介	駒場13号館	1312教室

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A2	金4	08C4058	国際社会分析特殊演習Ⅱ	阪本 拓人	情報教育棟	E25教室
A1A2	金4	08D1042	科学技術社会論特論Ⅴ	田中 幹人	駒場5号館	517教室
A1A2	金4	08D1206	情報数理学演習Ⅰ	中村 政隆 柏原 賢二	駒場15号館	15-104
A2	金4	08D1437	エネルギー資源論Ⅱ	時松 宏治	駒場11号館	1105教室
A1A2	金4	08D1340901	広域システム特論Ⅲ(Ⅰ)	中村 政隆 柏原 賢二	駒場15号館	15-104
A1A2	金4	08E1010	複素解析学演習	石村 直之	駒場16号館	109室
A1A2	金4	08E1168	有機化学Ⅰ	豊田 太郎	駒場16号館	119室
A1A2	金4	08E1301	認知行動科学研究法	岡 隆	駒場12号館	1214教室
A1A2	金4	08C1304	現代思想演習	石井 剛	駒場8号館	8-317
A1A2	金4	08C1408	国際日本文化研究	野網 摩利子	駒場8号館	8-112
A1A2	金4	08C1514	言語の対照と類型Ⅱ	藤井 聖子	駒場18号館	18号館メディアラボ2
A1A2	金4	08C2136	特殊研究演習Ⅵ[イギリス研究コース]	西川 杉子 ワトソン アレックス	駒場8号館	8-209
A1A2	金4	08C2447	ロシア東欧研究Ⅴ	蓮見 雄	駒場12号館	1221教室
A1A2	金4	08C2823	特殊講義Ⅴ[アジア・日本研究コース]	石井 剛	駒場8号館	8-317
A1A2	金4	08C311508	特殊講義「開発経済学」	中西 徹	駒場8号館	8-210
A1A2	金4	08C3213	経済発展	中西 徹	駒場8号館	8-210
A2	金4	08C322519	特殊研究演習「計算社会科学入門」	阪本 拓人	情報教育棟	E25教室
A1A2	金5	08A8012	共通韓国朝鮮語(Ⅻ)(文法)	金 亨貞	駒場1号館	114教室
A1A2	金5	08B0039	専門英語(39)	佐藤 安信	21KOMCEE West	K401
A1A2	金5	08B0071	専門英語(71)	エリス 俊子	駒場8号館	8-207
A1	金5	08F1315	科学技術インタープリター実験実習Ⅰ	孫 大輔 江間 有沙	医学部教育研究棟	13階SPH講義室
A1A2	金5	08X2006	Advanced ALESS I	テラシマ アレクサンドラ	21KOMCEE East	K112
A1	金5	08A9701A2	共通日本語(Ⅰ)a	藤井 聖子 宇佐美 洋	駒場10号館	10-205
A2	金5	08A9701B2	共通日本語(Ⅰ)b	藤井 聖子 宇佐美 洋	駒場10号館	10-205
A1A2	金5	08F140102	グローバル教養実践演習(Ⅱ)	エリス 俊子	駒場8号館	8-207
A1A2	金5	08F140603	グローバル教養特別演習Ⅱ(Ⅲ)	佐藤 安信	21KOMCEE West	K401
A2	金5	08H006442	東西文明学Ⅱ(環境と身体Ⅱ)	白 佐立	駒場8号館	8-321
A1A2	金5	08X000106	超域文化科学高度教養(言語科学への招待)	吉川 雅之	駒場5号館	512教室
A1A2	金5	08X400101	高度教養特殊講義(こころの総合人間科学概論)	長谷川 壽一 小池 進介	駒場13号館	1312教室
A1A2	金5	08C4054	歴史・地域研究特論Ⅱ	佐藤 安信	21KOMCEE West	K401
A1A2	金5	08D1017	科学技術史特論Ⅰ	吉本 秀之	駒場11号館	1107教室
A1A2	金5	08D1201	情報数理学Ⅰ[総合情報学コース]	山口 和紀	駒場15号館	15-104
A1	金5	08D1422	環境測定法Ⅱ	沖 一雄 竹内 渉	先産研As棟	301
A2	金5	08D1437	エネルギー資源論Ⅱ	時松 宏治	駒場11号館	1105教室
A1A2	金5	08D1303	情報数理学Ⅰ[広域システムコース]	山口 和紀	駒場15号館	15-104
A1A2	金5	08C1551	言語科学への招待	吉川 雅之	駒場5号館	512教室
A1A2	金5	08C2209	広域フランス語圏文化論	森山 工	駒場8号館	8-205
A1	金5	08C2209A	広域フランス語圏文化論a	森山 工	駒場8号館	8-205
A2	金5	08C2209B	広域フランス語圏文化論b	森山 工	駒場8号館	8-205
A1A2	金5	08C2836	特殊研究演習Ⅱ[アジア・日本研究コース]	佐藤 安信	21KOMCEE West	K401
A1	金5	08C322505	特殊研究演習「国際経済理論演習」	受田 宏之	駒場1号館	118教室
A1	金6	08F1315	科学技術インタープリター実験実習Ⅰ	孫 大輔	医学部教育研究棟	13階SPH講義室
A1A2	集中	08A0040	共通英語(40)	BORLONGAN ARIANE MAC		
A1A2	集中	08A4042	共通中国語(42)(北京研修)	刈間 文俊		
A1A2	集中	08B0038	専門英語(38)	小原 優貴		
A1A2	集中	08B0058	専門英語(58)	アッシュ イアン トーマス		
A1A2	集中	08F1117	進化認知脳科学演習	中谷 裕教 岡ノ谷 一夫		
A1A2	集中	08F1306	現代科学技術概論Ⅱ	中村 征樹	21KOMCEE West	K402
A2	集中	08B3002A	専門ロシア語(Ⅱ)a	乗松 亨平		
A1A2	集中	08F140811	グローバル教養特別演習Ⅳ(11)	アッシュ イアン トーマス		
A2	集中	08F140812	グローバル教養特別演習Ⅳ(12)	山中 由里子		
A1A2	集中	08H006414	東西文明学Ⅱ(思想と批評Ⅳ)	石井 剛		
A1A2	集中	08H006424	東西文明学Ⅱ(言語と歴史Ⅳ)	石井 剛		
A1A2	集中	08H006434	東西文明学Ⅱ(国際社会科学Ⅳ)	石井 剛		
A1A2	集中	08H006444	東西文明学Ⅱ(環境と身体Ⅳ)	石井 剛		
A1A2	集中	08H006512	東西文明学Ⅲ(思想と批評Ⅱ)	清水 剛		
A1A2	集中	08H006522	東西文明学Ⅲ(言語と歴史Ⅱ)	清水 剛		
A1A2	集中	08H006532	東西文明学Ⅲ(国際社会科学Ⅱ)	清水 剛		
A1A2	集中	08H006542	東西文明学Ⅲ(環境と身体Ⅱ)	清水 剛		
A1A2	集中	08X400205	高度教養特殊演習(進化認知科学実習)	中谷 裕教 小池 進介 明地 洋典		

開講区分名	開講 曜限	時間割 コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A1A2	集中	08X500103	後期国際研修（3）	矢口 祐人		
A1A2	集中	08C403301	国際日本研究特論I	未定		
A1A2	集中	08C403302	国際日本研究特論II	園田 茂人		
A1A2	集中	08C403305	国際日本研究特論V	アッシュ イアン トーマス		
A1A2	集中	08C403321	国際日本研究特論XXI	Miller David		
				田尻 芳樹		
A1A2	集中	08C403325	国際日本研究特論XXV	クロイドン, シルビア アタナソヴァ		
A1A2	集中	08D1106	地理・空間フィールドワークI	荒井 良雄		
A1A2	集中	08D12481	外国語論文講読I	山口 和紀		
A1A2	集中	08D12482	外国語論文講読I	山口 泰		
A1A2	集中	08D12483	外国語論文講読I	福永 アレックス		
A1A2	集中	08D12484	外国語論文講読I	金井 崇		
A1A2	集中	08D12485	外国語論文講読I	金子 知適		
A2	集中	08D1410	環境リスク論	松田 裕之		
A1A2	集中	08D1416	環境と開発	ジロドウ イザベル		
A1A2	集中	08D1439	エネルギー環境工学	未定		
A1A2	集中	08E1217	生命の多様性	道上 達男		
				矢島 潤一郎		
A1A2	集中	08C161916	言語文化論特殊研究（16）	Miller David		
				田尻 芳樹		
A1A2	集中	08C2458	ロシア東欧特殊研究演習VI	月村 太郎		
A2	集中	08C2424A	ロシア地域文化特殊演習a	乗松 亨平		
A1A2	集中	08C2649	特殊講義V[北アメリカ研究コース]	未定		
A2	集中	08C2621B	アメリカ現代史演習b	西崎 文子		
A1A2	集中	08C2822	特殊講義IV[アジア・日本研究コース]	小原 優貴		
A1A2	集中	08C312216	特殊研究演習「社会統計分析」	倉田 博史		
A1A2	集中	08C3229	国際政治理論	未定		
A1A2	集中	08C321646	特殊講義「ヨーロッパ統合史」	遠藤 乾		
A1A2	集中	08C322506	特殊研究演習「国際関係データ分析」	倉田 博史		
A2	集中	08C403327	国際日本研究特論XXVII	未定		

※教養学部教務課後期課程係：03-5454-6056

平成29年度 Aセメスター (A1・A2) 専門科目一覧表

教育学部

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A 1	月1	0998008	身体教育学概論I	森田 賢治	教育学部棟	158講義室
				野崎 大地		
				山本 義春		
A1A2	月1	0998001	学校はデータでどう描けるか	藤田 武志	駒場5号館	512
A 2	月1	0998009	身体教育学概論II	佐々木 司	教育学部棟	158講義室
				多賀 厳太郎		
				東郷 史治		
A 1	月2	0998003	教育行財政学	勝野 正章	駒場5号館	514
				村上 祐介		
A 1	月3	0998004	社会教育論I	李 正連	駒場5号館	531
A 2	月3	0998002	学校教育学概論	斎藤 兆史	駒場5号館	521
				藤江 康彦		
				浅井 幸子		
A 1	月4	0998004	社会教育論I	李 正連	駒場5号館	531
A 2	月4	0998002	学校教育学概論	斎藤 兆史	駒場5号館	521
				藤江 康彦		
				北村 友人		
				浅井 幸子		
A 1	月5	0999124	教育方法論	渡辺 貴裕	教育学部棟	158講義室
A1A2	月5	0999211	教育相談I	東海林 麗香	駒場12号館	1222
A1A2	月5	0999107	地理歴史科教育法III	小林 汎	教育学部棟	159講義室
A 1	月6	0999124	教育方法論	渡辺 貴裕	教育学部棟	158講義室
A1A2	火1	0999110	数学科教育法III	加々美 勝久	教育学部棟	109講義室
A1A2	火4	0999207	教育と社会	西島 央	駒場12号館	1225
A1A2	火4	0999105	社会科教育法IV	橋本 渉	教育学部棟	356演習室
A1A2	火4	0991303	教育文化論演習	田中 智志	教育学部棟	109講義室
A1A2	火6	0999204	特別活動論	滝 充	駒場13号館	1313
A 1	木1	0998008	身体教育学概論I	森田 賢治	教育学部棟	158講義室
				野崎 大地		
				山本 義春		
				佐々木 司		
A 2				多賀 厳太郎		
				東郷 史治		
A 1	木2	0998003	教育行財政学	勝野 正章	駒場5号館	514
			村上 祐介			
A1A2	木3	0998007	教育心理学実験演習 I	藤村 宣之	教育学部棟	159講義室
				下山 晴彦		
				遠藤 利彦		
				滝沢 龍		
				秋田 喜代美		
				市川 伸一		
				植阪 友理		
				高橋 美保		
				針生 悦子		
				南風原 朝和		
				岡田 猛		
				能智 正博		
A1A2	木4	0998005	情報・資料分析論演習	影浦 峯	情報教育棟	E41
A1A2	木4	0998007	教育心理学実験演習 I	藤村 宣之	教育学部棟	159講義室
				下山 晴彦		
				遠藤 利彦		
				滝沢 龍		
				秋田 喜代美		
				市川 伸一		
				植阪 友理		
				高橋 美保		
				針生 悦子		
				南風原 朝和		
				岡田 猛		
				能智 正博		
A1A2	木5	0998010	教育資料調査法演習	影浦 峯	駒場1号館	155
A1A2	金1	0999126	教育相談II	伊藤 直樹	赤門総合研究棟	A200講義室
A1A2	金2	0998006	心理統計学I	岡田 謙介	駒場11号館	1108
A1A2	金4	0991302	価値と教育Ⅱ	片山 勝茂	教育学部棟	109講義室
A1A2	金5	0999120	特別活動の指導法	森 俊二	教育学部棟	109講義室

※教育学部学生支援チーム：03-5841-3907

平成29年度 Aセメスター (A1・A2) 専門科目一覽表

薬学部

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A 1	月2	1011126	機能形態学	一條 秀憲	薬学部	西館1F 西講義室
				三浦 正幸		
				小山 隆太		
				名黒 功		
				山口 良文		
				富田 泰輔		
A 2	月2	1012128	製剤設計学	楠原 洋之	薬学部	西館1F 西講義室
				前田 和哉		
A 1	月3	1012129	薬事法・特許法	小野 俊介	薬学部	西館1F 西講義室
				梶田 祥子		
A 2	月3	1012127	微生物学・化学療法学	垣内 力	薬学部	西館1F 西講義室
				堀 昌平		
A 1	月4	1011129	薬理学I	池谷 裕二	薬学部	西館1F 西講義室
A 2	月4	1011115	物理化学III	大戸 梅治	薬学部	西館1F 西講義室
				清水 敏之		
A 1	火2	1011146	分子生物学	村田 茂穂	薬学部	西館1F 西講義室
				八代田 英樹		
A 2	火2	1012253	医薬品・医療ビジネス	木村 廣道	薬学部	西館1F 西講義室
A 1	火3	1011147	薬物動態制御学	楠原 洋之	薬学部	西館1F 西講義室
				前田 和哉		
A 2	火3	1011159	病理学	富田 泰輔	薬学部	西館1F 西講義室
A 1	火4	1012236	生物統計学	五十嵐 中	薬学部	講堂
A 2	火4	1012304	構造分子薬学	嶋田 一夫	薬学部	西館1F 西講義室
				大戸 梅治		
				清水 敏之		
A 1	水2	1012204	免疫学	堀 昌平	薬学部	西館1F 西講義室
				東 伸昭		
A 2	水2	1011156	機能生物学	後藤 由季子	薬学部	西館1F 西講義室
A 1	水3	1011148	有機化学I	井上 将行	薬学部	西館1F 西講義室
A 2	水3	1011150	有機化学III	宮本 和範	薬学部	西館1F 西講義室
				内山 真伸		
A 1	水4	1011113	物理化学I	嶋田 一夫	薬学部	西館1F 西講義室
				西田 紀貴		
A 2	水4	1012130	医薬品評価科学	小野 俊介	薬学部	西館1F 西講義室
A 1	木2	1011158	放射化学	秋光 信佳	薬学部	西館1F 西講義室
A 2	木2	1011157	医療薬学	鈴木 洋史	薬学部	西館1F 西講義室
				高田 龍平		
A 1	木3	1011114	物理化学II	角田 誠	薬学部	西館1F 西講義室
				船津 高志		
A 2	木3	1011151	有機化学IV	金井 求	薬学部	西館1F 西講義室
A 1	木4	1011154	分析化学I	三田 智文	薬学部	西館1F 西講義室
A 2	木4	1012126	公衆衛生学	五十嵐 中	薬学部	西館1F 西講義室
A 1	金2	1011153	細胞生物学	新井 洋由	薬学部	西館1F 西講義室
				福山 征光		
				富田 泰輔		
A 2	金2	1012233	発生遺伝学	三浦 正幸	薬学部	西館1F 西講義室
				山口 良文		
A 1	金3	1011101	薬学概論	一條 秀憲	薬学部	西館1F 西講義室
A 2	金3	1011155	分析化学II	角田 誠	薬学部	西館1F 西講義室
				船津 高志		
A 1	金4	1011149	有機化学II	尾谷 優子	薬学部	西館1F 西講義室
				大和田 智彦		
A 2	金4	1011301	創薬科学	金井 求	薬学部	西館1F 西講義室
				池谷 裕二		

※薬学部教務チーム：03-5841-4703

平成29年度 Aセメスター (A1・A2) 専門科目 (教職科目) 一覧表

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設	対象	開講学部
A1A2	月3	08G0002	国語科教育法II	齋藤 知也	駒場1号館	103	2年	教養学部
A1A2	月5	0999211	教育相談I	東海林 麗香	駒場12号館	1222	1年 2年	教育学部
A1A2	月5	0999107	地理歴史科教育法III	小林 汎	教育学部棟	159講義室	2年	教育学部
A 1	月6	0999124	教育方法論	渡辺 貴裕	教育学部棟	158講義室	1年 2年	教育学部
A1A2	火1	0999110	数学科教育法III	加々美 勝久	教育学部棟	109講義室	2年	教育学部
A1A2	火4	0999207	教育と社会	西島 央	駒場12号館	1225	1年 2年	教育学部
A1A2	火4	0999105	社会科教育法IV	橋本 渉	教育学部棟	356演習室	2年	教育学部
A1A2	火5	0590005	情報科教育法II	辰己 丈夫	理7号館	102号室	1年 2年	理学部
A1A2	火6	0999204	特別活動論	滝 充	駒場13号館	1313	1年 2年	教育学部
A1A2	水4	04170501	宗教学概論I	鶴岡 賀雄	法文2号館	2番大教室	2年	文学部
A 1	木1	08G0012	英語科教育法I	奥 聡一郎	21KOMCEE West	K501	2年	教養学部
A1A2	金1	0999126	教育相談II	伊藤 直樹	赤門総合研究棟	A200講義室	1年 2年	教育学部
A1A2	金5	0999120	特別活動の指導法	森 俊二	教育学部棟	109講義室	1年 2年	教育学部

※お問い合わせは開講学部の教務担当まで

法学部 専門科目時間割表

※法学部教務係：03-5841-3109

	月曜日					
	時間割 コード	開講 区分	科目名	教員名	建物	教室
1 時 限						
2 時 限	0117231	A1A2	ヨーロッパ政治史	平島 健司	講堂	900
3 時 限						
4 時 限						
5 時 限	0117661	A1A2	日本近代法史	和仁 陽	講堂	900

	火曜日					
	時間割 コード	開講 区分	科目名	教員名	建物	教室
1 時 限	0117141	A1A2	国際法第1部	森 肇志	講堂	900
2 時 限	0117381	A1A2	経済学基礎	柳川 範之	講堂	900
3 時 限	0117201	A1A2	政治学	加藤 淳子	講堂	900
4 時 限	0117561	A1A2	国際政治	藤原 帰一	講堂	900
5 時 限						

法学部 専門科目時間割表

	水曜日					
	時間割 コード	開講 区分	科目名	教員名	建物	教室
1 時 限						
2 時 限	0117231	A1A2	ヨーロッパ政治史	平島 健司	講堂	900
3 時 限						
4 時 限						
5 時 限						

	木曜日					
	時間割 コード	開講 区分	科目名	教員名	建物	教室
1 時 限	0117561	A1A2	国際政治	藤原 昶一	講堂	900
2 時 限						
3 時 限	0117381	A1A2	経済学基礎	柳川 範之	講堂	900
4 時 限						
5 時 限						

法学部 専門科目時間割表

	金曜日					
	時間割 コード	開講 区分	科目名	教員名	建物	教室
1 時 限	0117141	A1A2	国際法第 1 部	森 肇志	講堂	900
2 時 限	0117201	A1A2	政治学	加藤 淳子	講堂	900
3 時 限	0117862 0117863	A 1 A 2	統計学I 統計学II	入江 薫 入江 薫	駒場13号館 駒場13号館	1323 1323
4 時 限	0117862 0117863	A 1 A 2	統計学I 統計学II	入江 薫 入江 薫	駒場13号館 駒場13号館	1323 1323
5 時 限						

医学部 専門科目時間割表

※ 医学部教務係：03-5841-3308

※ 建物が「医学部」となっている科目の開講場所は、医学部の時間割冊子等を確認してください。

※ 医学部開講科目は日程が変則的なため、開講場所と同様に医学部の時間割冊子等を確認してください。

	月曜日					
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1 時限	02219	A2	生命科学・ゲノム学 I	渡邊 洋一	医学部	
2 時限	02211	A1A2	健康総合科学概論	松山 裕	医学部	
3 時限	02203 02213	A1 A2	解剖学 社会と健康	渡邊 洋一 近藤 尚己	医学部 医学部	
4 時限	02212 02213	A1 A2	国際保健学 社会と健康	梅崎 昌裕, 小坂 理子 近藤 尚己, 橋本 英樹	医学部 医学部	
5 時限						

	火曜日					
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1 時限	02225	A2	薬理学・毒性学	梅崎 昌裕	医学部	
2 時限	02206 02225	A1 A2	看護学概論 薬理学・毒性学	國江 慶子, 武村 雪絵, 竹原 君江, 市川 奈央子 梅崎 昌裕	医学部 医学部	
3 時限	02214 02234	A2 A1	人類遺伝学 I 発生発達学	馬淵 昭彦, 徳永 勝士 水口 雅, 高梨 さやか	医学部 医学部	
4 時限	02204 02234	A2 A1	科学論文・表現技術 発生発達学	近藤 尚己 水口 雅	医学部 医学部	
5 時限	02210 02232	A1 A2	健康総合科学英語 I 生命環境科学のトピックス	山本 則子, ミリンド ハル 水口 雅, 高梨 さやか	医学部 医学部	

医学部 専門科目時間割表

	水曜日					
	時間割 コード	開講 区分	科目名	教員名	建物	教室
1 時 限						
2 時 限						
3 時 限						
4 時 限						
5 時 限						

	木曜日					
	時間割 コード	開講 区分	科目名	教員名	建物	教室
1 時 限	02205 02226	A2 A1	環境と健康 基礎生命科学	梅崎 昌裕,小西 祥子 渡邊 洋一	医学部 医学部	
2 時 限	02205 02226	A2 A1	環境と健康 基礎生命科学	梅崎 昌裕,小西 祥子 渡邊 洋一	医学部 医学部	
3 時 限	02216 02250	A1 A2	生物統計学 基礎看護学 I	松山 裕 國江 慶子,武村 雪絵, 竹原 君江,市川 奈央子	医学部 医学部	
4 時 限	02216 02250	A1 A2	生物統計学 基礎看護学 I	松山 裕 國江 慶子,武村 雪絵, 竹原 君江,市川 奈央子	医学部 医学部	
5 時 限						

医学部 専門科目時間割表

	金曜日					
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1 時限	02207	A1	感染症	水口 雅, 高梨 さやか	医学部	
	02218	A2	生命・医療倫理 I	赤林 朗, 中澤 栄輔	医学部	
2 時限	02209	A1	健康心理学	川上 憲人	医学部	
	02218	A2	生命・医療倫理 I	赤林 朗, 中澤 栄輔	医学部	
3 時限	02221	A1	生理学	佐々木 誠一, 梅崎 昌裕, 小西 祥子	医学部	
	02241	A2	公共健康科学統合講義 I	橋本 英樹	医学部	
4 時限	02221	A1	生理学	佐々木 誠一, 梅崎 昌裕, 小西 祥子	医学部	
	02241	A2	公共健康科学統合講義 I	橋本 英樹	医学部	
5 時限	02290	通年	ゼミナール	山本 則子	医学部	

	集中					
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
02170	集中 W		医学序論	科目担当教員	医学部	
			健康支援実習	仲上 豪二朗, 玉井 奈緒, 真田 弘美	医学部	
02300	集中		解剖学第1(組織学)	科目担当教員	医学部	
02350	集中		生化学・栄養学	科目担当教員	医学部	
02351	集中		生化学・栄養学実習	科目担当教員	医学部	
02430	集中		人類遺伝学	科目担当教員	医学部	
02440	集中		統計学	科目担当教員	医学部	
02441	集中		チュートリアル (2年生)	科目担当教員	医学部	

工学部 専門科目時間割表

※ 工学部学務課学部チーム：03-5841-6036

※ 最新の開講場所については、UTASシラバス、工学部の時間割冊子等を確認してください。

	月曜日					
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1時限	FEN-AR2Q07L1	A2	建築弾性学	桑村 仁	工1号館	工12号講義室
	FEN-CH2F00L1	A1	生命化学I	山口 哲志, 畑中 研一	駒場13号館	1313
	FEN-CH2F01L1	A2	生命化学II	岡本 晃光	駒場13号館	1313
	FEN-EE2102L1	A1A2	信号解析基礎	苗田 健	駒場11号館	1108
	FEN-MA2E07L1	A1	材料力学I	井上 純哉, 榎 学	駒場5号館	511
	FEN-UE2M03L1	A1	地球環境工学	滝沢 智	工14号館	144講義室
2時限	FEN-AA2U41L1	A1A2	航空宇宙情報システム学第一	堀 浩一	駒場5号館	513
	FEN-AM2201L1	A1A2	統計熱力学	岩佐 義宏	駒場11号館	1108
	FEN-AR2Q01L1	A1A2	建築構造解析第一	藤田 香織, 塩原 等, 高田 毅士	工1号館	工12号講義室
	FEN-CE2402L1	A2	社会技術論	加藤 浩徳, 小松崎 俊作	工1号館	工15号講義室
	FEN-CE2A03L1	A1	基礎流体力学	下園 武範	工学部新2号館	工213号講義室
	FEN-CH2200L1	A1	電気工学大要第一	杉山 正和	駒場11号館	1102
	FEN-CH2306L1	A2	化学工学I	酒井 康行	駒場7号館	761
	FEN-EE2C02L1	A1A2	デジタル回路	入江 英嗣	駒場7号館	721
	FEN-MA2201L1	A1	材料量子力学	渡邊 聡	駒場5号館	511
	FEN-MA2301L1	A2	有機材料化学	山崎 裕一, 吉田 亮	駒場5号館	511
	FEN-MX2B01L1	A1A2	流れ学第一	高木 周, 杵淵 郁也	工学部新2号館	工221号講義室
	FEN-SI2B11L1	A1	材料力学1	村山 英晶	駒場5号館	533
	FEN-SI2B12L1	A2	材料力学2	村山 英晶	駒場5号館	533
	FEN-UE2M04L1	A2	環境公衆衛生	福士 謙介	工14号館	144講義室
3時限	FEN-AM2150L1	A1A2	最適化手法	谷川 眞一	駒場11号館	1108
	FEN-AR2R01L1	A1A2	建築構法概論	清家 剛	工1号館	工12号講義室
	FEN-CE2A06L1	A1	基盤技術設計論I	石田 哲也, 長山 智則, 古岡 潤一	工1号館	工15号講義室
	FEN-CE2A07L1	A2	基盤技術設計論II	石田 哲也, 長山 智則, 古岡 潤一	工1号館	工15号講義室
	FEN-CH2307L1	A1	有機化学I	工藤 一秋, 吉江 尚子	駒場13号館	1311, 1312
	FEN-CH2308L1	A2	有機化学II	藤田 誠	駒場13号館	1311, 1312
	FEN-CO2927S1	A1A2	数学及力学演習 G	矢入 健久	駒場13号館	1322
	FEN-EE2201L1	A1A2	電気磁気学I	小野 亮, 榎村 拓夫	駒場7号館	761
	FEN-MX2602L1	A1A2	計測の原理と応用	下山 勲, 米谷 玲皇, 朝澤 伸一	工学部新2号館	工221号講義室
	FEN-PE2801S1	A2	設計演習II	深野 暁雄, 浅間 一	情報教育棟	E26
	FEN-PE2D00L1	A1	プログラミング基礎I	大竹 豊, 各教員	情報教育棟	E26
	FEN-SI2W53L1	A1	社会システム工学基礎	吉田 好邦, 教員	駒場5号館	533
	FEN-SI2W54L1	A2	知識と知能	青山 和浩, 合田 隆, 大澤 幸生	2IKOMCEE East	K213
4時限	FEN-AM2D10L1	A1A2	数値解析	松尾 宇泰	駒場11号館	1108
	FEN-CE2101L1	A1	数理分析の基礎	市村 強, 本田 利器	工1号館	工15号講義室
	FEN-CE2401L1	A2	基礎経済学	羽藤 英二	工1号館	工15号講義室
	FEN-CH2301L1	A1	物理化学I	高木 紀明	駒場12号館	1225
	FEN-CH2302L1	A2	量子化学I	田村 宏之, 山下 晃一	駒場12号館	1225
	FEN-CO2922L1	A1	数学及力学演習 B	伊山 潤	工1号館	工12号講義室
	FEN-CO2927S1	A1A2	数学及力学演習 G	矢入 健久	駒場13号館	1322
	FEN-EE2202L1	A1A2	電気磁気学II	小野 亮, 榎村 拓夫	駒場7号館	761
	FEN-MX2601L1	A1A2	システム制御 I	小竹 元基, 杉田 直彦, 福井 順	工学部新2号館	工221号講義室
	FEN-PE2801S1	A2	設計演習II	深野 暁雄, 浅間 一	情報教育棟	E26
	FEN-PE2D00L1	A1	プログラミング基礎I	大竹 豊, 各教員	情報教育棟	E26
	FEN-SI2503L1	A2	環境・エネルギー材料科学概論	寺井 隆幸, 阿部 弘亨	駒場13号館	1331
	FEN-SI2W01L1	A1	システム創成学基礎	大橋 弘忠, 吉田 一雄	駒場5号館	533
	FEN-SI2101L1	A1	基礎統計	中谷 隼	工14号館	144講義室
	FEN-UE2102L1	A2	社会調査法	浅見 泰司, 堀野 公宏, 瀬田 史彦	工14号館	144講義室
5時限	FEN-CE2D01L1	A1	基礎情報学	石原 孟, 山口 敦	情報基盤センター	大演習室 1
	FEN-CO2922L1	A1	数学及力学演習 B	伊山 潤	工1号館	工12号講義室
	FEN-PE2801S1	A2	設計演習II	深野 暁雄, 浅間 一	情報教育棟	E26
	FEN-SI2503L1	A2	環境・エネルギー材料科学概論	寺井 隆幸, 阿部 弘亨	駒場13号館	1331
	FEN-SI2701L1	A1	安全学基礎	古田 一雄, 斉藤 拓巳	駒場5号館	533

	火曜日					
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1時限	FEN-AR2Q04L1	A2	荷重外力論第一	高田 毅士	工1号館	工11号講義室
	FEN-CE2A02L1	A1	構造の力学	長山 智則, 本田 利器	工学部新2号館	工212号講義室
	FEN-CH2305L1	A1	コンピュータ科学	大久保 将史	駒場13号館	1331
	FEN-CH2M00S1	A2	コンピュータ及び演習	阿久津 好明	情報教育棟	E21
	FEN-EE2D04L1	A1A2	情報通信理論	相澤 清晴	駒場11号館	1108
	FEN-MX2B06L1	A1A2	機械力学	金子 成彦, 小竹 元基, 山崎 由大, 党 超銀	工学部新2号館	工221号講義室
	FEN-PE2E00L1	A1A2	材料工学I	須賀 唯知	工14号館	142講義室
	FEN-SI2Z02L1	A1	ビジネス入門	元橋 一之	駒場13号館	1312
2時限	FEN-AA2U46L1	A1A2	航空機力学第一	今村 太郎	駒場1号館	162
	FEN-AM2211L1	A1A2	電磁気学第一	芝内 孝禎	駒場7号館	724
	FEN-AR2001L1	A1A2	環境工学概論	前 真之, 平手 小太郎, 佐久間 哲哉, 赤司 泰義	工8号館	工83号講義室
	FEN-CE2A05L1	A2	水理学	知花 武佳, 池内 幸司	工1号館	工14号講義室
	FEN-CH2303L1	A1	分析化学I	田端 和仁	駒場7号館	743
	FEN-CH2309L1	A2	分析化学II	北森 武彦, 馬渡 和真	駒場11号館	1101
	FEN-EE2601L1	A1A2	電気電子計測	廣瀬 明	駒場11号館	1108
	FEN-MA2E02L1	A1	材料速度論	長沙 晃輔, 神原 淳	工4号館	工42号講義室
	FEN-MA2E03L1	A2	材料相平衡論	松浦 宏行	工4号館	工42号講義室
	FEN-MX2903S1	A1A2	機械力学演習	高橋 宏知, 山崎 由大, 二瓶 美里, 党 超銀, 学科長	工学部新2号館	工221号講義室
	FEN-PE2C00L1	A1A2	電気回路基礎	神保 泰彦	工14号館	142講義室
	FEN-SI2501L1	A2	環境・エネルギー概論	寺井 隆幸, 鈴木 英之, ドロビバジョルジ	駒場5号館	523
	FEN-SI2504L1	A1	地球科学	徳永 朋祥, 宮本 英昭, 中村 謙太郎, 加藤 泰浩	駒場5号館	524
	FEN-SI2D08L1	A1	データ指向モデリング	和泉 潔, 烏海 不二夫	駒場12号館	1214
	FEN-SI2Z02L1	A1	ビジネス入門	元橋 一之	駒場13号館	1312
3時限	FEN-AA2U62L1	A1A2	航空宇宙推進学第一	中谷 辰爾	2IKOMCEE East	K212
	FEN-AM2100L1	A1	基礎数理	岩田 覚	駒場7号館	724
	FEN-AR2S01L1	A1	建築材料科学概論	野口 貴文	工1号館	工12号講義室
	FEN-CE2A04L1	A2	材料の力学	長井 宏平, 古岡 潤一	工学部新2号館	工211号講義室
	FEN-CH2300L1	A2	物性論I	竹谷 純一	駒場11号館	1102
	FEN-CH2304L1	A1	無機化学I	宮山 勝	駒場7号館	761
	FEN-EE2C01L1	A1A2	電気回路理論第一	藤本 博志, 小関 泰之	駒場11号館	1108
	FEN-MA2302L1	A2	無機材料化学	喜多 浩之	工4号館	工42号講義室
	FEN-MA2303L1	A1	材料結晶学	阿部 英司	工4号館	工42号講義室
	FEN-MX2902S1	A1A2	機械数学演習	杵淵 郁也, 牛久 祥孝, 学科長	工学部新2号館	工221号講義室
	FEN-PE2B00L1	A1	機械振動学基礎	保坂 寛	工14号館	142講義室
	FEN-SI2900S1	A1A2	動機付けプロジェクト	愛知 正温, 藤田 豊久, 青山 和浩, 早稲田 卓爾, 神田 泰良, 菅野 太郎, 中村 謙太郎, 柴田 和也, 松尾 豊, 藤井 康正, 橋本 学	駒場1号館, 情報教育棟	109, 112, 113, 115, 151, 167, 184, E25, E35, E39
	FEN-UE2M07L1	A1A2	緑地計画概論	横張 真	工14号館	141講義室
4時限	FEN-AM2610L1	A1	回路とシステムの基礎	檜山 敦	駒場11号館	1101
	FEN-CA2500L1	A2	エネルギー化学I	石井 和之, 小倉 賢, 立間 徹	駒場5号館	522
	FEN-CA2900L1	A1	応用化学基礎論	渡邊 力也, 各教員	駒場5号館	522
	FEN-CB2001L3	A1A2	Introductory lectures for chemistry and biotechnology	池内 与志穂, 各教員	駒場1号館	107
	FEN-CE2M23L1	A1A2	社会基盤学序論	羽藤 英二	工学部新2号館	工211号講義室
	FEN-CS2901L1	A1A2	化学システム工学基礎論	山田 淳夫, 各教員	駒場12号館	1212
	FEN-EE2C01L1	A1A2	電気回路理論第一	藤本 博志, 小関 泰之	駒場11号館	1108
	FEN-MA2202L1	A2	材料統計力学	木村 薫	工4号館	工42号講義室
	FEN-MA2E01L1	A1	基礎熱力学	山口 周	工4号館	工42号講義室
	FEN-MP2710L1	A2	認識行動システムの基礎	稲見 昌彦	駒場11号館	1101
	FEN-MX2B03L1	A1A2	熱工学第一	飛原 英治, 大宮司 啓文	工学部新2号館	工221号講義室
	FEN-PE2B00L1	A1	機械振動学基礎	保坂 寛	工14号館	142講義室
	FEN-SI2900S1	A1A2	動機付けプロジェクト	愛知 正温, 藤田 豊久, 青山 和浩, 早稲田 卓爾, 神田 泰良, 菅野 太郎, 中村 謙太郎, 柴田 和也, 松尾 豊, 藤井 康正, 橋本 学	駒場1号館, 情報教育棟	109, 112, 113, 115, 151, 167, 184, E25, E35, E39
	FEN-UE2M08L1	A1A2	都市居住概論	堀野 公宏	工14号館	144講義室
5時限	FEN-CE2A01L1	A1A2	水圏デザイン基礎	知花 武佳, 田島 芳満, 池内 幸司, 芳村 圭, 難潤 幸生	工学部新2号館	工211号講義室
	FEN-MA2E08L1	A1A2	マテリアル工学概論	前田 正史, 渡邊 聡, 小関 敏彦, 石原 一彦, 後藤 芳一	工4号館	工42号講義室
	FEN-SI2900S1	A1A2	動機付けプロジェクト	愛知 正温, 藤田 豊久, 青山 和浩, 早稲田 卓爾, 神田 泰良, 菅野 太郎, 中村 謙太郎, 柴田 和也, 松尾 豊, 藤井 康正, 橋本 学	駒場1号館, 情報教育棟	109, 112, 113, 115, 151, 167, 184, E25, E35, E39
	FEN-UE2D01L1	A1	情報学概論	各教員	工14号館	144講義室

工学部 専門科目時間割表

	水曜日					
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1 時限	FEN-C02F00L1	A1A2	生命科学概論(電気系・物工・計数)	高橋 浩之, 高木 周, 酒井(古川) 克子, 廣瀬 明, 田畑 仁	駒場11号館	1101
	FEN-C02F01L1	A1A2	生命科学概論(マテ・応化・化シス)	大庭 伸介, 長棟 輝行, 鈴木 健夫, 野地 博行	駒場11号館	1102
	FEN-MX2D01L1	A1A2	ソフトウェア第一	岡田 慧, 森本 賢一, 高野 渉	情報教育棟	E31
	FEN-UE2M05L1	A1	都市計画概論	大方 潤一郎	駒場13号館	1311
2 時限	FEN-AR2M05L1	A1A2	都市建築史概論	伊藤 毅	工 1 号館	工15号講義室
	FEN-CE2M24L1	A1A2	社会基盤史	北河 次太郎, 中井 祐本多 敏	駒場13号館	1312
	FEN-C02601L1	A1A2	計測通論A	池内 真志	駒場7号館	741
	FEN-C02602L1	A1A2	計測通論B	2IKOMCEE East		K213
	FEN-C02603L1	A1A2	計測通論C	2IKOMCEE East		K212
	FEN-EE2D03S1	A1A2	プログラミング基礎演習	長谷川 植彦	情報教育棟	E21
	FEN-MX2904S1	A1A2	機械ソフトウェア演習	岡田 慧, 森本 賢一, 高野 渉	情報教育棟	E31
	FEN-PE2600L1	A1A2	計測と加工の基礎(2年生対象)	梶原 優介	駒場12号館	1214
	FEN-SI2E01L1	A1A2	物性学基礎	長谷川 秀一, 沖田 泰良	2IKOMCEE East	K211
	FEN-SI2T04S1	A1	力学演習 1	早稲田 卓爾, 羽柴 公博, 柴沼 一樹, 尾崎 雅彦	2IKOMCEE East	K114, K214
	FEN-SI2T05S1	A2	力学演習 2	早稲田 卓爾, 羽柴 公博, 柴沼 一樹, 尾崎 雅彦	2IKOMCEE East	K114, K214
	FEN-UE2M05L1	A1	都市計画概論	大方 潤一郎	駒場13号館	1311
3 時限	FEN-AM2231L1	A1A2	量子力学第一	鹿野田 一司	駒場7号館	741
	FEN-AR2W01S1	A1	造形第一	小淵 祐介, 教員	工 8 号館	工83号講義室
	FEN-AR2W02S1	A2	造形第二	高木 秀太, 隈 研吾	工 8 号館	工83号講義室
	FEN-CE2M25L1	A1A2	国際プロジェクト序論	堀井 秀之, 加藤 浩徳, 石田 哲也, 田島 芳満, 小松崎 俊作, 本田 利器	駒場13号館	1312
	FEN-C02141L1	A1A2	数理手法I	合田 隆, 縄田 和満	駒場7号館, 情報教育棟	743, E26, E31, E38, E42
	FEN-C02C01L1	A1A2	電気工学通論第一	山下 真司	駒場12号館	1225
	FEN-PE2100L1	A1A2	精密数理I-1	小谷 潔	2IKOMCEE East	K211
	FEN-UE2M02L1	A1A2	環境水質化学	中島 典之, 小熊 久美子	駒場12号館	1214
4 時限	FEN-AR2W01S1	A1	造形第一	小淵 祐介, 教員	工 8 号館	工83号講義室
	FEN-AR2W02S1	A2	造形第二	高木 秀太, 隈 研吾	工 8 号館	工83号講義室
	FEN-C02111L1	A1A2	数学 1 A	佐々 成正	駒場7号館	741
	FEN-C02112L1	A1A2	数学 1 B	井上 純一	駒場7号館	761
	FEN-C02114L1	A1A2	数学 1 D	江澤 雅彦	駒場7号館	743
	FEN-C02115L1	A1A2	数学 1 E	妹尾 仁嗣	駒場11号館	1106
	FEN-SI2101S1	A1A2	数理演習 1	愛知 正温, 阿部 弘亨, 早稲田 卓爾, 松島 潤, 松崎 浩之, 多田 茂, 井原 智彦, 橋本 学	2IKOMCEE East	K212, K213, K214
5 時限	FEN-AA2U01L1	A1A2	空気力学第一	李家 賢一	駒場5号館	511
	FEN-AR2R02L1	A1	建築構造計画概論	各教員	工 1 号館	講義室 741
	FEN-C02145L1	A1A2	数理手法V	愛知 正温, 阿部 弘亨, 早稲田 卓爾, 松島 潤, 松崎 浩之, 多田 茂, 井原 智彦, 橋本 学	2IKOMCEE East	K212, K213, K214
	FEN-SI2101S1	A1A2	数理演習 1	各教員	駒場7号館	741

	木曜日					
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1 時限	FEN-AR2Q07L1	A2	建築弾性学	桑村 仁	工 1 号館	工12号講義室
	FEN-CH2301L1	A1	物理化学I	高木 紀明	駒場12号館	1225
	FEN-CH2308L1	A2	有機化学II	藤田 誠	駒場13号館	1311, 1312
	FEN-EE2203L1	A1A2	電子基礎物理	杉山 正和, 山下 真司	駒場5号館	525
	FEN-MA2E07L1	A1	材料力学I	井上 純哉, 榎 学	駒場5号館	511
	FEN-PE2101L1	A2	精密数理I-2	森田 剛, 藤井 浩光	工14号館	142講義室
	FEN-PE2104L1	A1	確率・統計	高松 誠一, 木下 裕介	工14号館	142講義室
	FEN-UE2M09L1	A2	都市デザイン概論	出口 敦	工14号館	141講義室
2 時限	FEN-AR2Q02L1	A1A2	建築熱環境	赤司 泰義	工 1 号館	工12号講義室
	FEN-CE2402L1	A2	社会技術論	加藤 浩徳, 小松崎 俊作	工 1 号館	工15号講義室
	FEN-CE2A03L1	A1	基礎流体力学	下園 武範	工学部新2号館	工213号講義室
	FEN-CH2302L1	A2	量子化学I	田村 宏之, 山下 晃一	駒場12号館	1225
	FEN-CH2307L1	A1	有機化学I	工藤 一秋, 吉江 高子	駒場13号館	1311, 1312
	FEN-EE2203L1	A1A2	電子基礎物理	杉山 正和, 山下 真司	駒場5号館	525
	FEN-MA2201L1	A1	材料量子力学	渡邊 聡	駒場5号館	511
	FEN-MA2301L1	A2	有機材料化学	山崎 裕一, 吉田 亮	駒場5号館	511
	FEN-MX2B02L1	A1A2	材料力学第一	酒井 信介, 泉 聡志	工学部新2号館	工221号講義室
	FEN-PE2101L1	A2	精密数理I-2	森田 剛, 藤井 浩光	工14号館	142講義室
	FEN-PE2104L1	A1	確率・統計	高松 誠一, 木下 裕介	工14号館	142講義室
	FEN-SI2B21L1	A1	流体力学 1	山口 一, 柴田 和也, 平林 紳一郎	駒場13号館	1331
	FEN-SI2B22L1	A2	流体力学 2	山口 一, 柴田 和也, 平林 紳一郎	駒場13号館	1331
	FEN-UE2M09L1	A2	都市デザイン概論	出口 敦	工14号館	141講義室
3 時限	FEN-AA2801S1	A1A2	航空宇宙学製図第一	姫野 武洋	駒場1号館	167
	FEN-AR2V01S1	A1A2	建築総合演習	清家 剛, 建築全教員	工 1 号館	工12号講義室
	FEN-CE2A06L1	A1	基盤技術設計論I	石田 哲也, 長山 智則, 古岡 潤一	工 1 号館	工15号講義室
	FEN-CE2A07L1	A2	基盤技術設計論II	石田 哲也, 長山 智則, 古岡 潤一	工 1 号館	工15号講義室
	FEN-CH2F00L1	A1	生命化学I	山口 哲志, 畑中 研一	駒場13号館	1313
	FEN-CH2F01L1	A2	生命化学II	岡本 晃充	駒場13号館	1313
	FEN-C02929S1	A1A2	数学及力学演習 I	江澤 雅彦	駒場7号館	722, 742
	FEN-EE2D01L1	A1	ソフトウェア I	川原 圭博	情報教育棟	E21
	FEN-EE2D02L1	A2	ソフトウェアII	齋藤 大輔	情報教育棟	E21
	FEN-MX2B04L1	A1A2	機構学	下山 勲, 高畑 智之	工学部新2号館	工221号講義室
	FEN-PE2800S1	A1	設計演習I	二瓶 一裕, 鈴木 宏正	工14号館	142講義室
	FEN-PE2D01L1	A2	プログラミング基礎II	大竹 豊, 各教員	326設計演習室	
	FEN-SI2W53L1	A1	社会システム工学基礎	吉田 好邦, 教員	駒場5号館	533
	FEN-SI2W54L1	A2	知識と知能	青山 和浩, 合田 隆, 大澤 幸生	2IKOMCEE East	K213
4 時限	FEN-AR2V01S1	A1A2	建築総合演習	清家 剛, 建築全教員	工 1 号館	工12号講義室
	FEN-CE2101L1	A1	数理分析の基礎	市村 強, 本田 利器	工 1 号館	工15号講義室
	FEN-CE2401L1	A2	基礎経済学	羽藤 英二	工 1 号館	工15号講義室
	FEN-CH2200L1	A1	電気工学大要第一	杉山 正和	駒場11号館	1102
	FEN-CH2306L1	A2	化学工学I	酒井 康行	駒場7号館	761
	FEN-C02929S1	A1A2	数学及力学演習 I	江澤 雅彦	駒場7号館	722, 742
	FEN-EE2D01L1	A1	ソフトウェア I	川原 圭博	情報教育棟	E21
	FEN-EE2D02L1	A2	ソフトウェアII	齋藤 大輔	情報教育棟	E21
	FEN-PE2800S1	A1	設計演習I	二瓶 一裕, 鈴木 宏正	工14号館	142講義室
	FEN-PE2D01L1	A2	プログラミング基礎II	大竹 豊, 各教員	工14号館	326設計演習室
	FEN-SI2W01L1	A1	システム創成学基礎	大橋 弘忠, 吉田 一雄	駒場5号館	533
	FEN-UE2901S1	A1A2	環境計画基礎演習	中谷 隼, 各教員	工14号館	145講義室
	FEN-UE2902S1	A1A2	都市工学設計製図	全教員	工14号館	141講義室
5 時限	FEN-CE2D01L1	A1	基礎情報学	石原 孟, 山口 敦	情報基盤センター	大演習室 1
	FEN-PE2800S1	A1	設計演習I	二瓶 一裕, 鈴木 宏正	工14号館	142講義室
	FEN-SI2701L1	A1	安全学基礎	古田 一雄, 斎藤 拓巳	駒場5号館	533
	FEN-UE2901S1	A1A2	環境計画基礎演習	中谷 隼, 各教員	工14号館	145講義室
5 時限	FEN-UE2902S1	A1A2	都市工学設計製図	全教員	工14号館	141講義室

工学部 専門科目時間割表

金曜日					
時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1時限	FEN-AA2U61L1	A1A2 高速内燃機関	津江 光洋	工 8 号館	工83号講義室
	FEN-CH2300L1	A2 物性論I	竹谷 純一	駒場11号館	1102
	FEN-CH2304L1	A1 無機化学I	宮山 勝	駒場7号館	761
	FEN-EE2501L1	A1A2 エネルギー工学	松橋 隆治, 日高 邦彦	駒場11号館	1108
	FEN-MX2901S1	A1A2 機械工学総合演習第一	中尾 政之, 学科長	工学部新2号館	工221号講義室
	FEN-PE2B03L1	A1A2 連続体力学基礎	三村 秀和	工14号館	142講義室
	FEN-SI2Z02L1	A1 ビジネス入門	元橋 一之	駒場13号館	1312
	FEN-UE2M06L1	A1A2 都市交通論	原田 昇	工14号館	144講義室
	FEN-AA2U21L1	A1A2 基礎材料力学	上西 幸司, 上西 幸司	工 8 号館	工83号講義室
	FEN-AA2U21L1	A1A2 基礎材料力学	上西 幸司, 上西 幸司	工 8 号館	工83号講義室
2時限	FEN-AM2900S1	A1A2 物理数学	鹿野田 一司, 岩佐 義弘, 芝内 孝植	工学部新2号館	工212号講義室
	FEN-AR2N08L1	A1 建築設計基礎第一	西出 和彦, 松田 雄二, 大月 敏雄	工 1 号館	工15号講義室
	FEN-AR2N09L1	A2 建築設計基礎第二	西出 和彦, 松田 雄二, 大月 敏雄	工 1 号館	工15号講義室
	FEN-CE2A02L1	A1 構造の力学	長山 智則, 本田 利器	工学部新2号館	工213号講義室
	FEN-CE2A05L1	A2 水理学	知花 武佳, 池内 幸司	工 1 号館	工14号講義室
	FEN-CH2303L1	A1 分析化学I	田端 和仁	駒場7号館	743
	FEN-CH2309L1	A2 分析化学II	北森 武彦, 馬渡 和真	駒場11号館	1101
	FEN-EE2C03L1	A1A2 電子デバイス基礎	竹中 充, 染谷 隆夫	駒場11号館	1102
	FEN-MA2E02L1	A1 材料速度論	長沙 晃輔, 神原 淳	工 4 号館	工42号講義室
	FEN-MA2E03L1	A2 材料相平衡論	松浦 宏行	工 4 号館	工42号講義室
	FEN-MX2901S1	A1A2 機械工学総合演習第一	中尾 政之, 学科長	工学部新2号館	工221号講義室
	FEN-PE2B04L1	A1A2 信号処理工学	山本 晃生	工14号館	142講義室
	FEN-SI2Z01L1	A2 環境・エネルギー概論	寺井 隆幸, 鈴木 英之, ドドビジョルジ	駒場5号館	523
	FEN-SI2S04L1	A1 地球科学	徳永 朋祥, 宮本 英昭, 中村 謙太郎, 加藤 泰浩	駒場5号館	524
	FEN-SI2D08L1	A1 データ指向モデリング	和泉 潔, 島海 不二夫	駒場12号館	1214
	FEN-SI2Z02L1	A1 ビジネス入門	元橋 一之	駒場13号館	1312
	FEN-UE2D02L1	A2 都市情報科学概論	貞廣 幸雄	工14号館	144講義室
3時限	FEN-AA2U21L1	A1A2 基礎材料力学	上西 幸司	工 8 号館	工83号講義室
	FEN-AA2U43L1	A1 宇宙工学入門	中須賀 真一, 小泉 宏之, 岩崎 晃	工 8 号館	工83号講義室
	FEN-AM2100L1	A1 基礎数理	岩田 覚	工学部新2号館	工212号講義室
	FEN-AR2N01S1	A1 建築設計製図第一	千葉 学, 建築全教員	工 1 号館	製図室
	FEN-AR2N02S1	A2 建築設計製図第二	千葉 学, 建築全教員	工 1 号館	製図室
	FEN-CE2A04L1	A2 材料の力学	長井 宏平, 古閑 潤一	工学部新2号館	工211号講義室
	FEN-CE2M01S1	A1 導入プロジェクト	中井 祐	工 1 号館	土木設計演習室
	FEN-CH2305L1	A1 コンピュータ科学	大久保 将史	駒場13号館	1331
	FEN-CH2M00S1	A2 コンピュータ及び演習	阿久津 好明	情報教育棟	E21
	FEN-EE2101S1	A1A2 電気電子数学演習	横田 知之, 矢谷 浩司, 飯塚 哲也	駒場13号館	1311, 1321, 1322
	FEN-MA2302L1	A2 無機材料化学	喜多 浩之	工 4 号館	工42号講義室
	FEN-MA2303L1	A1 材料結晶学	阿部 英司	工 4 号館	工42号講義室
	FEN-MX2B05L1	A1A2 メカトロニクス	高畑 智之	工学部新2号館	工221号講義室
	FEN-PE2900S1	A1A2 精密工学基礎演習	高増 潔, 須賀 唯知, 太田 順, 日暮 栄治, 浅間 一, 高橋 哲	工14号館	142講義室
	FEN-SI2D01S1	A1A2 プログラミング基礎	神方 和夫, 小林 肇, 島海 不二夫	情報教育棟	A1: E21, E38, E42 A2: E38, E41, E42
	FEN-UE2M01L1	A1A2 都市環境概論	古米 弘明, 森口 祐一	工14号館	144講義室

金曜日					
時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
4時限	FEN-AA2U43L1	A1 宇宙工学入門	中須賀 真一, 小泉 宏之, 岩崎 晃	工 8 号館	工83号講義室
	FEN-AM2610L1	A1 回路とシステムの基礎	檜山 敦	工学部新2号館	工212号講義室
	FEN-AR2N01S1	A1 建築設計製図第一	千葉 学, 建築全教員	工 1 号館	製図室
	FEN-AR2N02S1	A2 建築設計製図第二	千葉 学, 建築全教員	工 1 号館	製図室
	FEN-CA2500L1	A2 エネルギー化学I	石井 立間 徹	駒場5号館	522
	FEN-CA2900L1	A1 応用化学基礎論	渡邊 力也, 各教員	駒場5号館	522
	FEN-CE2M01S1	A1 導入プロジェクト	中井 祐	工 1 号館	土木設計演習室
	FEN-CS2902L1	A1A2 環境システム工学概論	戸野倉 賢一, 各教員	駒場5号館	532
	FEN-EE2101S1	A1A2 電気電子数学演習	横田 知之, 矢谷 浩司, 飯塚 哲也	駒場13号館	1311, 1321, 1322
	FEN-MA2202L1	A2 材料統計力学	木村 薫	工 4 号館	工42号講義室
5時限	FEN-MA2E01L1	A1 基礎熱力学	山口 周	工 4 号館	工42号講義室
	FEN-MP2710L1	A2 認識行動システムの基礎	稲見 昌彦	工学部新2号館	工212号講義室
	FEN-MX2801L1	A1A2 機械設計	村上 存, 草加 浩平, 柳澤 秀吉	工学部新2号館	工221号講義室
	FEN-PE2900S1	A1A2 精密工学基礎演習	高増 潔, 須賀 唯知, 太田 順, 日暮 栄治, 浅間 一, 高橋 哲	工14号館	142講義室
	FEN-SI2D01S1	A1A2 プログラミング基礎	神方 和夫, 小林 肇, 島海 不二夫	情報教育棟	A1: E21, E38, E42 A2: E38, E41, E42
	FEN-UE2901S1	A1A2 環境計画基礎演習	中谷 隼, 各教員	工14号館	工14号館 145講義室
	FEN-UE2902S1	A1A2 都市工学設計製図	全教員	工14号館	141講義室
	FEN-AR2N01S1	A1 建築設計製図第一	千葉 学, 建築全教員	工 1 号館	製図室
	FEN-AR2N02S1	A2 建築設計製図第二	千葉 学, 建築全教員	工 1 号館	製図室
	FEN-CE2M01S1	A1 導入プロジェクト	中井 祐	工 1 号館	土木設計演習室
6時限	FEN-MA2801L1	A1A2 マテリアル工学自由研究	学科長	工 4 号館	工42号講義室
	FEN-MX2802L1	A1A2 生産の技術	中尾 政之, 長藤 圭介	工学部新2号館	工221号講義室
	FEN-PE2900S1	A1A2 精密工学基礎演習	高増 潔, 須賀 唯知, 太田 順, 日暮 栄治, 浅間 一, 高橋 哲	工14号館	142講義室
	FEN-SI2202L1	A1 応用のための物理I(古典論)	吉田 善章	駒場13号館	1322
	FEN-SI2203L1	A2 応用のための物理II(熱力学)	吉田 善章	駒場13号館	1322
	FEN-SI2W60L1	A1A2 社会システムと産業	坂田 一郎	駒場12号館	1212
	FEN-UE2901S1	A1A2 環境計画基礎演習	中谷 隼, 各教員	工14号館	工14号館 145講義室
	FEN-UE2902S1	A1A2 都市工学設計製図	全教員	工14号館	141講義室

文学部 専門科目時間割表

※ 文学部教務係：03-5841-3709

※ 最新の開講場所については、UTASシラバス、文学部の時間割冊子等を確認してください。

	月曜日					
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1時限						
2時限	04170411	A1A2	倫理学特殊講義II	熊野 純彦, 池松 辰男	2IKOMCEE East	K114
	04171123	A1A2	日本史学特殊講義II	鈴木 淳, 牧原 成征	法文1号館	315教室
	04171209	A1A2	東洋史学研究入門	吉澤 誠一郎, 島田 竜登	駒場1号館	104
	04171402	A1A2	考古学概論I	大貫 静夫	法文1号館	319教室
	04173863	A1A2	比較文学概論	河野 至恩	法文1号館	215教室
3時限	04170514	A1A2	宗教学演習I	藤原 聖子	法文1号館	315教室
	04170604	A1A2	原典講読I	渡辺 裕	法文1号館	217教室
	04172117	A1A2	言語学特殊講義III	梅谷 博之		文学部・人文社会系研究科各研究室
	04172201	A1A2	国語学概論	月本 雅幸	法文1号館	312教室
	04173002	A1A2	英語学英米文学特殊講義 IV	大橋 洋一	法文1号館	113教室
	04174212	A1A2	社会心理学調査実習	橋本 剛明, 唐沢 かおり, 白岩 祐子	法文1号館	215教室, 216教室
	04174313	A1A2	社会調査	白波瀬 佐和子, 藤原 翔	法文2号館	1番大教室
4時限	04170108	A1A2	西洋哲学史概説第1部I	納富 信留	法文1号館	214教室
	04170461	A1A2	倫理学特殊講義I	魚住 孝至	法文1号館	112教室
	04170505	A1A2	宗教学宗教史学特殊講義I	江川 純一, 鶴岡 賢雄	法文2号館	2番大教室
	04172401	A1	中国語学中国文学特殊講義I	藤井 省三	法文1号館	311教室
	04173005	A1A2	英語学英米文学特殊講義I	大橋 洋一, 後藤 和彦	法文1号館	314教室
	04174212	A1A2	社会心理学調査実習	橋本 剛明, 唐沢 かおり, 白岩 祐子	法文1号館	215教室, 216教室
	04174313	A1A2	社会調査	白波瀬 佐和子, 藤原 翔	文学部	
5時限	04170313	A1	インド哲学概論	高橋 晃一	駒場1号館	119
	04170509	A1A2	宗教史概説I	池澤 優	法文1号館	113教室
	04170666	A1A2	美学芸術学特殊講義II	小岩 信治	法文2号館	2番大教室
	04172315	A1A2	国文学概論	安藤 宏	駒場5号館	512
	04172401	A1	中国語学中国文学特殊講義I	藤井 省三	文学部	
6時限						

	火曜日					
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1時限	04170701	A1	イスラム学概論I	柳橋 博之	法文1号館	113教室
2時限	04170306	A1A2	仏教概論I	下田 正弘	法文1号館	312教室
	04170667	A1A2	原典講読IV	伊藤 亜紗	法文1号館	319教室
	04171001	A1A2	史学概論	橋場 弦	駒場12号館	1222
	04173307	A1A2	スラヴ文学史概説	楯岡 求美	文学部3号館	スラヴ演習室
	04173808	A1A2	近代文学特殊講義 II	柳原 孝敦	法文1号館	219教室
	04175301	A1A2	文化交流特殊講義I	小島 毅	法文1号館	112教室
3時限	04170205	A1A2	中国思想文化史概説II	陳 捷	赤門総合研究棟	赤門721
	04170605	A1A2	美学概論	小田部 胤久	法文2号館	2番大教室
	04171206	A1A2	東洋史学特殊講義I	佐川 英治	法文1号館	212教室
	04172502	A1A2	印度語学概論II	梶原 三恵子	法文1号館	112教室
	04173026	A1A2	英語学英米文学演習II	Laurence Williams	法文1号館	315教室
	04173211	A1A2	フランス語学フランス文学演習 II	塚本 昌則	法文1号館	216教室
	04174115	A1A2	心理学実験演習I	横澤 一彦, 村上 郁也, 今水 寛, 中島 亮一, LI QI	法文1号館	113教室
	04174211	A1A2	社会心理学実験実習	橋本 剛明, 亀田 達也, 白岩 祐子	法文1号館	113教室
	04176411	A1A2	英語後期II	小林 久美子	法文1号館	115教室
4時限	04170201	A1A2	中国思想文化学概論I	横手 裕	法文1号館	214教室
	04172106	A1A2	言語学特殊講義II	西村 義樹		文学部・人文社会系研究科各研究室
	04172212	A1A2	国語学特殊講義I	肥爪 周二	駒場12号館	1213
	04173213	A1A2	フランス語学フランス文学演習 III	SIMON-OIKAWA Marianne	法文1号館	216教室
	04173813	A1A2	近代文学特殊講義 III	阿部 賢一	法文1号館	219教室
	04174115	A1A2	心理学実験演習I	横澤 一彦, 村上 郁也, 今水 寛, 中島 亮一, LI QI	法文1号館	113教室
	04174211	A1A2	社会心理学実験実習	橋本 剛明, 亀田 達也, 白岩 祐子	法文1号館	113教室
5時限	04170101	A1A2	哲学概論I	一ノ瀬 正樹	法文2号館	2番大教室
	04172305	A1A2	国文学特殊講義II	藤原 克己	法文1号館	214教室
	04174110	A1A2	心理学概論I	村上 郁也	法文1号館	315教室
6時限						

文学部 専門科目時間割表

	水曜日					
	時間割 コード	開講 区分	科目名	教員名	建物	教室
1 時 限	04170517	A1A2	宗教史概説II	西村 明	法文1号館	113教室
2 時 限	04170403	A1A2	西洋倫理思想史概説II	熊野 純彦	法文1号館	113教室
	04171301	A1A2	西洋史学研究入門	勝田 俊輔, 橋場 弦, 高山 博, 長井 伸仁, 池田 嘉郎	駒場11号館	1102
	04172110	A1	言語学概論I	梅谷 博之, 西村 義樹, 林 徹, 小林 正人	法文1号館	314教室
	04172111	A2	言語学概論II	梅谷 博之, 西村 義樹, 林 徹, 小林 正人	法文1号館	314教室
	04172319	A1A2	国文学特殊講義IV	鉄野 昌弘	法文1号館	212教室
	04173205	A1A2	フランス文学史概説I	野崎 敏	法文2号館	2番大 教室
	04173902	A1A2	西洋古典学特殊講義II	葛西 康德		文学部・ 人文社会 系研究科 各研究室
3 時 限	04170612	A1A2	美学芸術学特殊講義I	三浦 俊彦	法文2号館	2番大 教室
	04170707	A1A2	イスラム学演習I	菊地 達也	赤門総合 研究棟	赤門 840
	04171216	A1A2	東洋史学特殊講義III	島田 竜登	法文1号館	113教室
	04172104	A1A2	音声学I	梅谷 博之, 林 徹		文学部・ 人文社会 系研究科 各研究室
	04173204	A1A2	フランス語学フランス文学演習 I	中地 義和	法文1号館	216教室
4 時 限	04170501	A1A2	宗教学概論I	鶴岡 賀雄	法文2号館	2番大 教室
	04172323	A1A2	国文学特殊講義V	高木 和子	法文1号館	312教室
5 時 限	04171501	A2	美術史学特殊講義I	佐藤 康宏	法文1号館	211教室
	04172325	A1A2	国文学演習II	高木 和子	法文1号館	319教室
6 時 限	04171501	A2	美術史学特殊講義I	佐藤 康宏	法文1号館	211教室

	木曜日					
	時間割 コード	開講 区分	科目名	教員名	建物	教室
1 時 限	04172115	A1A2	比較言語学I	小林 正人		文学部・ 人文社会 系研究科 各研究室
2 時 限	04170112	A1A2	西洋哲学史概説第2部I	鈴木 泉	法文1号館	312教室
	04170313	A1	インド哲学概論	高橋 晃一	駒場1号館	119
	04170406	A1A2	倫理学概論II	頼住 光子	法文1号館	113教室
	04171307	A1A2	西洋史学特殊講義I	橋場 弦	法文1号館	212教室
	04172110	A1	言語学概論I	梅谷 博之, 西村 義樹, 林 徹, 小林 正人		文学部
	04172111	A2	言語学概論II	梅谷 博之, 西村 義樹, 林 徹, 小林 正人	法文1号館	314教室
	04172301	A1A2	国文学特殊講義I	長島 弘明	法文1号館	112教室
	04173308	A1A2	スラヴ語学スラヴ文学特殊講義I	楢岡 求美	文学部3号館	スラヴ 演習室
3 時 限	04173028	A1A2	英語学英米文学特殊講義II	Laurence Williams	法文1号館	215教室
4 時 限	04170614	A1A2	原典講読III	柳澤 史明, 小田部 胤久	法文1号館	317教室
	04171446	A1	考古学特殊講義I	近藤 修	駒場12号館	1212
	04173063	A1A2	英語学英米文学特殊講義 III	貞廣 真紀	法文1号館	113教室
	04173406	A1A2	イタリア語学イタリア文学特殊講義I	長野 徹, 浦 一章		文学部・ 人文社会 系研究科 各研究室
	04176305	A1A2	多分野講義I	David PEACE	法文1号館	217教室
5 時 限	04171446	A1	考古学特殊講義I	近藤 修	駒場12号館	1212
	04176430	A1A2	イタリア語中級I	古田 耕史	法文1号館	319教室
6 時 限						

文学部 専門科目時間割表

	金曜日					
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1時限	04170701	A1	イスラム学概論I	柳橋 博之	法文1号館	113教室
	04174301	A1A2	社会学概論	武川 正吾, 松本 三和夫, 小林 真理, 佐藤 健二, 中村 雄祐, 本田 洋, 白波瀬 佐和子, 赤川 孝, 祐成 保志, 出口 剛司	駒場5号館	511
2時限	04172561	A1A2	印度文学史概説I	水野 善文	法文1号館	112教室
	04173215	A1A2	フランス語学フランス文学演習IV	SIMON-OIKAWA Marianne	法文1号館	216教室
	04174161	A1A2	心理学統計I	岡田 謙介	駒場11号館	1108
	04174267	A1A2	社会心理学統計I	岡田 謙介	駒場11号館	1108
	04174301	A1A2	社会学概論	武川 正吾, 松本 三和夫, 小林 真理, 佐藤 健二, 中村 雄祐, 本田 洋, 白波瀬 佐和子, 赤川 孝, 祐成 保志, 出口 剛司	駒場5号館	511
	04176407	A1A2	英語後期I	兼武 道子	法文1号館	115教室
3時限	04170608	A1A2	原典講読II	小田部 胤久	法文1号館	114教室
	04171210	A1A2	東洋史学特殊講義II	吉澤 誠一郎	法文2号館	2番大教室
	04172307	A1A2	国文学演習I	藤原 克己	法文1号館	316教室
	04173202	A1A2	フランス語学フランス文学特殊講義I	中地 義和	法文1号館	216教室
	04176423	A1A2	フランス語後期I	横山 安由美	法文1号館	212教室
4時限	04171512	A1A2	美術史学演習I	秋山 聡	法文1号館	319教室
	04173102	A1A2	ドイツ語圏言語文化	大宮 勘一郎	駒場12号館	1212
	04174167	A1A2	心理学研究法	岡 隆	駒場12号館	1214
5時限	04170408	A1A2	東洋倫理思想史概説II	頼住 光子	法文1号館	113教室
	04171314	A1A2	西洋史学特殊講義II	勝田 俊輔	法文1号館	312教室
6時限						

理学部 専門科目時間割表

※ 理学部教務チーム（学部担当）：03-5841-4003
※ 最新の開講場所については、UTASシラバス、理学部の時間割冊子等を確認してください。

	月曜日					
	時間割 コード	開講 区分	科目名	教員名	建物	教室
1 時 限	0528073	A1A2	層序地質学	狩野 彰宏, 遠藤 一佳, 對比地 孝亘, 田中 秀実	駒場1号館	112
2 時 限	0515009	A1A2	電磁気学I	駒宮 幸男 笠原 雅弘, 浅井 潔, 津田 宏治, 高木 利久, 岩崎 渉	駒場11号館	1106
	0560501	A1A2	生物情報学基礎論I		駒場1号館	113
3 時 限	0510003	A1A2	計算機システム	吉本 芳英	駒場12号館	1212
	0515085	A1	解析力学	常行 真司	駒場11号館	1106
	0515086	A2	量子力学I	福嶋 健二	駒場11号館	1106
	0528002	A1A2	地球システム進化学	多田 隆治, 田近 英一, 遠藤 一佳	駒場1号館	150
	0540016	A1A2	植物形態学	邑田 仁, 塚谷 裕一	駒場1号館	156
4 時 限	0510006	A1A2	ハードウェア構成法	小林 芳直	駒場5号館	511
	0515085	A1	解析力学	常行 真司	駒場11号館	1106
	0515086	A2	量子力学I	福嶋 健二	駒場11号館	1106
	0528005	A1A2	地球惑星環境学基礎演習I	田近 英一	駒場1号館	150
	0540004	A1A2	遺伝学	角谷 徹仁, 小林 武彦, 斎藤 成也	駒場1号館	157
5 時 限	0530003	A1A2	量子化学I	山内 薫	駒場11号館	1101
	0560502	A1A2	生物情報学基礎論II	黒田 真也, 程 久美子, 鈴木 隼, 大島 健志朗	駒場1号館	113

	火曜日					
	時間割 コード	開講 区分	科目名	教員名	建物	教室
1 時 限	0505001	A1A2	代数と幾何	今井 直毅	駒場7号館	722
	0528072	A1A2	固体地球惑星科学概論	櫻庭 中, 飯塚 毅, 沖野 郷子	駒場1号館	154
2 時 限	0505001	A1A2	代数と幾何	今井 直毅	駒場7号館	722
	0515003	A1A2	物理実験学	藤森 淳, 酒井 広文	駒場13号館	1331
	0540001	A1A2	細胞生理学	榎本 和生, 岡 良隆, 神田 真司	駒場5号館	532
3 時 限	0515008	A1A2	物理学演習II	常行 真司, 須山 輝明, 櫻山 和己, 福嶋 健二	駒場1号館	157,158
	0526003	A1A2	地球惑星物理学基礎演習II	横山 央明, 櫻庭 中, 田中 祐希	21KOMCEE West	K402
4 時 限	0505007	A1A2	代数と幾何演習	今井 直毅	駒場5号館	523,524
	0510007	A1A2	アルゴリズムとデータ構造	五十嵐 健夫	21KOMCEE East	K011
	0515008	A1A2	物理学演習II	常行 真司, 須山 輝明, 櫻山 和己, 福嶋 健二	駒場1号館	157,158
	0526003	A1A2	地球惑星物理学基礎演習II	横山 央明, 櫻庭 中, 田中 祐希	21KOMCEE West	K402
	0540005	A1A2	進化生物学	平野 博之, 近藤 修, 大橋 順, 遠藤 一佳, 野崎 久義, 對比地 孝亘, 入江 直樹, 嶋田 正和, 上島 励	駒場5号館	533
5 時 限	0510008	A1A2	情報科学基礎実験	萩谷 昌己	情報教育棟	E41
	0520003	A1A2	天文学概論	田村 元秀, 戸谷 友則, 尾中 敬	駒場11号館	1101
	0540015 0590005	A1A2 A1A2	動物系統分類学 情報科教育法II	上島 励 辰己 丈夫	駒場1号館 理7号館	162 102号室

理学部 専門科目時間割表

	水曜日					
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1時限	0540017	A1A2	生態学概論	寺島 一郎	駒場5号館	515
2時限	0542030	A1A2	植物細胞生理学	杉山 宗隆	駒場13号館	1322
3時限						
4時限						
5時限						

	木曜日					
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1時限	0505003 0528001	A1A2 A1A2	集合と位相 地球環境学	金井 雅彦 芥根 創,阿部 彩子, 高橋 嘉夫	駒場5号館 駒場1号館	532 152
2時限	0505003 0515007 0515076 0528003 0535001	A1A2 A1 A2 A1A2 A1A2	集合と位相 物理数学I 物理数学II 地球惑星物質科学 生物化学概論I	金井 雅彦 松尾 泰 村尾 美緒 廣瀬 敬,三河内 岳 齋木 理,深田 吉孝	駒場5号館 駒場11号館 駒場11号館 駒場5号館 駒場11号館	532 1106 1106 513 1108
3時限	0515007 0515076 0540011	A1 A2 A1A2	物理数学I 物理数学II 分子生物学	松尾 泰 村尾 美緒 平良 眞規,近藤 真理子	駒場11号館 駒場11号館 駒場5号館	1106 1106 521
4時限	0505008 0515004 0520002 0526002 0540055 0543001	A1A2 A1A2 A1A2 A1A2 A2 A1	集合と位相演習 物理学演習I 天体物理学演習I 地球惑星物理学基礎演習I 霊長類学 人類生物学	金井 雅彦 松尾 泰,村尾 美緒, 添田 彬仁,赤城 裕 高田 将郎 横山 央明,河原 創, 桂華 邦裕 河村 正二,石田 貴文 近藤 修,大橋 順, 植田 信太郎,井原 泰雄, 長谷川 壽一	駒場5号館 駒場1号館 駒場5号館 21KOMCEE West 駒場1号館 駒場12号館	532 157,158 516 K303 105 1212
5時限	0515004 0520002 0526002 0530005 0540055 0543001	A1A2 A1A2 A1A2 A1A2 A2 A1	物理学演習I 天体物理学演習I 地球惑星物理学基礎演習I 分析化学I(総論) 霊長類学 人類生物学	松尾 泰,村尾 美緒, 添田 彬仁,赤城 裕 高田 将郎 横山 央明,河原 創, 桂華 邦裕 小澤 岳昌 河村 正二,石田 貴文 近藤 修,大橋 順, 植田 信太郎,井原 泰雄, 長谷川 壽一	駒場1号館 駒場5号館 21KOMCEE West 駒場5号館 駒場1号館 駒場12号館	157,158 516 K303 513 105 1212

専門科目時間割表

理学部 専門科目時間割表

	金曜日					
	時間割 コード	開講 区分	科目名	教員名	建物	教室
1 時 限	0505005	A1A2	複素解析学I	坂井 秀隆	駒場5号館	513
	0528074	A1A2	自然地理学	小口 高, 茅根 創, 須貝 俊彦, 阿部 彰子	駒場12号館	1221
	0530006	A1A2	有機化学I	原野 幸治, 中村 栄一	駒場5号館	514
2 時 限	0505005	A1A2	複素解析学I	坂井 秀隆	駒場5号館	513
	0526005	A1A2	地球惑星物理学概論	井出 哲, 三浦 裕亮, 生駒 大洋, 圓 華奈子	駒場5号館	532
	0528006	A1A2	地域論	荒井 良雄	駒場13号館	1311
	0530006	A1A2	有機化学I	原野 幸治, 中村 栄一	駒場5号館	514
3 時 限	0510001	A1A2	情報数学	須田 礼仁	駒場5号館	525
	0535002	A1A2	生物化学概論II	飯野 雄一, 塩見 美喜子	駒場1号館	157
4 時 限	0505009	A1A2	複素解析学I演習	坂井 秀隆	駒場5号館	513
	0510002	A1A2	形式言語理論	蓮尾 一郎	駒場1号館	106
	0530004	A1A2	無機化学I	西原 寛	駒場5号館	514
	0540018	A1A2	骨格人類学実習	近藤 修	理学部2号館	402
5 時 限	0510008	A1A2	情報科学基礎実験	萩谷 昌己	情報教育棟	E41
	0530002	A1A2	化学熱力学I	大越 慎一	駒場5号館	525
	0540018	A1A2	骨格人類学実習	近藤 修	理学部2号館	402

	土曜日					
	時間割 コード	開講 区分	科目名	教員名	建物	教室
1 時 限	0530084	A1A2	初級化学英語演習	化学専攻各教員	化学東館	202号室, 220号室
2 時 限	0530084	A1A2	初級化学英語演習	化学専攻各教員	化学東館	202号室, 220号室

農学部 専門科目時間割表

※ 農学部教務課学生支援チーム：03-5841-5008
※ 最新の開講場所については、UTASシラバス、農学部の時間割冊子等を確認してください。

	月曜日					
	時間割 コード	開講 区分	科目名	教員名	建物	教室
1 時 限	060310051	A1A2	植物栄養学	藤原 徹	農学部1号館	第8 講義室
2 時 限	060200051	A1A2	基礎生物化学	東原 和成	農学部1号館	第8 講義室
	060200071	A1A2	植物生理学	山岸 順子, 青木 直大	農学部2号館	化学第2 講義室
	060200126	A1A2	森林環境科学汎論	尾張 敏章, 熊谷 朝臣, 仁多見 俊夫, 龍原 哲, 白石 則彦, 廣嶋 卓也, 古井戸 宏通, 安村 直樹, 蔵治 光一郎	農学部1号館	第9 講義室
3 時 限	060100111	A1A2	放射線環境学	二瓶 直登, 田野井 慶太郎	農学部1号館	第8 講義室
	060200091	A1A2	遺伝学	高野 哲夫	農学部2号館	化学第3 講義室
	060200149	A1A2	基礎高分子化学	岩田 忠久, 竹村 彰夫	農学部5号館	5-105
	060200251	A1A2	応用動物科学概論	成島 悦雄, 中山 裕之, 松木 直章, 杉浦 勝明, 前多 敬一郎	農学部2号館	化学第2 講義室
4 時 限	060200081	A1A2	細胞生物学	有村 慎一	農学部2号館	化学第3 講義室
	060200165	A1A2	木質構造科学概論	信田 聡, 青木 謙治, 稲山 正弘	農学部1号館	第7 講義室
	060200201	A1A2	農業資源経済学汎論	中嶋 康博	農学部1号館	第8 講義室
	060200241	A1A2	動物生理学	遠藤 秀紀, 大久保 範聡, 桑原 正賢, 西原 真杉, 武内 ゆかり, 山内 啓太郎, 菊池 潔, 後藤 康之, 金子 豊二, 高橋 伸一郎, 前多 敬一郎	農学部2号館	化学第2 講義室
5 時 限	060500011	A1	環境倫理	吉永 明弘	農学部1号館	第8 講義室

	火曜日					
	時間割 コード	開講 区分	科目名	教員名	建物	教室
1 時 限	060320320	A1A2	構造力学	稲山 正弘	農学部5号館	5-105
2 時 限	060200147	A1	基礎物理化学	齋藤 継之	農学部5号館	5-105
	060200215	A1A2	ミクロ経済学	齋藤 勝宏	農学部1号館	第8 講義室
	060310001	A1	農芸化学概論	東原 和成, 西山 真 伏信 進矢, 関係各教員	農学部2号館	化学第1 講義室
3 時 限	060100011	A1A2	人口と食糧	齋藤 勝宏, 山次 康幸	農学部1号館	第8 講義室
	060311181	A1A2	実験動物学	久和 茂	農学部7号館 A棟	7A- 104/105
	060311240	A1A2	生物素材化学概論	齋藤 継之	農学部5号館	5-105
4 時 限						
5 時 限	060200065	A1A2	植物分類・形態学	根本 圭介	農学部1号館	第7 講義室
	060320440	A1A2	ポストハーベスト工学	牧野 義雄	農学部2号館	化学第3 講義室

専門科目時間割表

農学部 専門科目時間割表

	水曜日					
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1時限	060320666	A2	ゲーム理論基礎	櫻井 武司	農学部1号館	第9講義室
2時限	060100061	A1A2	生物の多様性と進化	岸野 洋久, 佐野 光彦, 久保田 耕平, 尾仲 宏康, 宮下 直, 井出 雄二	農学部1号館	第8講義室
3時限	060100075	A1	環境と生物の情報科学	飯田 俊彰, 露木 聡, 清水 庸, 山川 卓, 小林 和彦	農学部1号館	第4講義室
	060100083	A1	化合物の多様性と生理機能Ⅰ	松本 雄二, 岡田 茂, 中嶋 正敏, 五十嵐 圭子, 浅見 忠男, 岡田 憲典, 作田 庄平	農学部1号館	第8講義室
	060100086	A2	化合物の多様性と生理機能Ⅱ	東原 和成, 渡邊 秀典, 片岡 宏詔, 松永 茂樹, 浅見 忠男, 潮 秀樹	農学部1号館	第8講義室
	060200131	A1A2	動物分類学	武田 正倫	農学部7号館 A棟	7A-104/105
	060200175	A2	応用物理学	信田 聡	農学部1号館	第9講義室
4時限	060100031	A1A2	土壌圏の科学	妹尾 啓史, 西村 拓, 藤原 徹, 丹下 健, 溝口 勝, 岡田 謙介	農学部2号館	化学第3講義室
	060200011	A1A2	基礎有機化学	渡邊 秀典	農学部1号館	第8講義室
	060200106	A1A2	昆虫学	松尾 隆嗣, 石川 幸男, 嶋田 透	農学部7号館 A棟	7A-104/105
5時限						

	木曜日					
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1時限	060200021	A1A2	基礎分析化学	鈴木 道生, 作田 庄平	農学部1号館	第8講義室
	060320663	A1	農業経営概論	木南 章	農学部1号館	第9講義室
2時限	060200031	A1A2	基礎微生物学	大西 康夫	農学部1号館	第8講義室
	060200181	A1A2	流れ学	久保 成隆	農学部2号館	化学第2講義室
	060310310	A1A2	栽培植物学	柴田 道夫, 山岸 順子	農学部1号館	第9講義室
	060412010	A1A2	農業・資源経済学演習Ⅰ	安藤 光義, 中嶋 康博, 櫻井 武司, 木南 章, 関係各教員		研究室
3時限	060100093	A1	バイオマス利用学概論	半生 憲司, 石井 正治, 岡田 茂, 岩田 忠久, 齋藤 継之, 木南 章	農学部1号館	第8講義室
	060100096	A2	森林資源と木材利用	鯨島 正浩, 七多見 俊夫, 白石 則彦, 稲山 正弘	農学部1号館	第8講義室
	060311161	A2	薬理学総論	堀 正敏	農学部7号館 A棟	7A-104/105
4時限	060100055	A1	環境と景観の生物学	下村 彰男, 大黒 俊哉, 橋本 禪	農学部1号館	第8講義室
	060200191	A1A2	情報工学	中村 典裕	農学部7号館 B棟	7B-133
	060311121	A2	神経生理学	西原 眞杉, 山内 啓太郎	農学部7号館 A棟	7A-104/105
5時限	060100025	A1	生態系の中の人類	萬木 孝雄, 小林 和彦, 八木 信行, 杉浦 勝明, 宮沢 佳恵, 鈴木 宣弘	農学部1号館	第8講義室
	060412015	A2	農村調査概論	各教員, 萬木 孝雄	農学部1号館	第9講義室

農学部 専門科目時間割表

	金曜日					
	時間割 コード	開講 区分	科目名	教員名	建物	教室
1 時 限	060310031	A1A2	環境土壌学	妹尾 啓史	農学部1号館	第8 講義室
2 時 限	060200041	A1A2	分子生物学	日高 真誠 伏信 遼矢	農学部1号館	第8 講義室
	060200225	A1A2	農業史概論	松本 武祝	農学部2号館	化学第2 講義室
	060320430	A1A2	土壌物理学	濱本 昌一郎 西村 拓	農学部7号館 A棟	7A-113
3 時 限	060100101	A1A2	食の安全科学	中嶋 康博	農学部1号館	第8講義室, 第9講義室, 第10講義室
	060200121	A1A2	動物生態学	久保田 耕平	農学部2号館	化学第3 講義室
	060330041	A1A2	細菌学	関崎 勉	農学部7号館 A棟	7A- 104/105
4 時 限	060100041	A1A2	水の環境科学	久保 成隆 高橋 一生 浅野 友子 木村 伸吾	農学部1号館	第8 講義室
	060200151	A1A2	植物生態学	鈴木 牧 大黒 俊哉	農学部1号館	第4 講義室
	060330051	A1A2	ウイルス学	堀本 泰介	農学部7号館 A棟	7A- 104/105
5 時 限	060200103	A1A2	生物統計学	岸野 洋久 大森 宏 岩田 洋佳	情報基盤 センター	大演習室1
	060311071	A1A2	発生学	金井 克晃	農学部7号館 A棟	7A- 104/105

経済学部 専門科目時間割表

※ 経済学部教務係：03-5841-5552

	月曜日					
	時間割 コード	開講 区分	科目名	教員名	建物	教室
1 時 限	0701401-01	A2	経済史 I	岡崎 哲二, 小野塚 知二	駒場13号館	1323
2 時 限	0701401-01	A2	経済史 I	岡崎 哲二, 小野塚 知二	駒場13号館	1323
3 時 限						
4 時 限	0701101-01 0701101-02	A1 A2	経済原論 I 経済原論 II	清水 真志 清水 真志	駒場13号館 駒場13号館	1323 1323
5 時 限	0701101-01 0701101-02	A1 A2	経済原論 I 経済原論 II	清水 真志 清水 真志	駒場13号館 駒場13号館	1323 1323

	火曜日					
	時間割 コード	開講 区分	科目名	教員名	建物	教室
1 時 限	0701102-01 0701102-02	A1 A2	ミクロ経済学 I ミクロ経済学 II	神取 道宏 神取 道宏	駒場13号館 駒場13号館	1323 1323
2 時 限	0701102-01 0701102-02	A1 A2	ミクロ経済学 I ミクロ経済学 II	神取 道宏 神取 道宏	駒場13号館 駒場13号館	1323 1323
3 時 限	0701302-01	A1	ファイナンス	佐藤 整尚	駒場13号館	1323
4 時 限	0701302-01	A1	ファイナンス	佐藤 整尚	駒場13号館	1323
5 時 限						

経済学部 専門科目時間割表

	水曜日					
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1時限						
2時限						
3時限						
4時限						
5時限						

	木曜日					
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1時限	0701103-01 0701103-02	A1 A2	マクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅱ	渡辺 努 中嶋 智之	駒場13号館 駒場13号館	1323 1323
2時限	0701103-01 0701103-02	A1 A2	マクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅱ	渡辺 努 中嶋 智之	駒場13号館 駒場13号館	1323 1323
3時限	0701303-01	A1	会計	米山 正樹	駒場13号館	1323
4時限	0701303-01	A1	会計	米山 正樹	駒場13号館	1323
5時限						

経済学部 専門科目時間割表

	金曜日					
	時間割 コード	開講 区分	科目名	教員名	建物	教室
1 時 限	0701301-01	A1	経営	高橋 伸夫	駒場13号館	1323
2 時 限	0701301-01	A1	経営	高橋 伸夫	駒場13号館	1323
3 時 限	0701104-01	A1	統計Ⅰ	入江 薫	駒場13号館	1323
	0701104-02	A2	統計Ⅱ	入江 薫	駒場13号館	1323
4 時 限	0701104-01	A1	統計Ⅰ	入江 薫	駒場13号館	1323
	0701104-02	A2	統計Ⅱ	入江 薫	駒場13号館	1323
5 時 限						

教養学部 専門科目時間割表

※ 教養学部後期課程係：03-5454-6057

※ 最新の開講場所については、UTASシラバス、教養学部後期課程の時間割冊子等を確認してください。

	月曜日					
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1 時限	08A9304	A1A2	共通ラテン語（４）	井上 秀太郎	駒場1号館	150
	08D1414	A1A2	環境経済学	成田 大樹	駒場12号館	1221
	08E1404	A1A2	適応生命科学	石井 直方	駒場3号館	113
	08X2003	A1A2	生命科学概論	道上 達男	駒場16号館	126,127
2 時限	08A3010	A1A2	共通ロシア語（10）	丸山 由紀子	駒場12号館	1221
	08A9302	A1A2	共通ラテン語（２）	井上 秀太郎	駒場8号館	8-416
	08A9631073	A1A2	日本語（73）：上級会話・発音(L6-L5)	小林 真紀子	駒場10号館	10-202
	08B2004A	A1	専門ドイツ語（４）a	森井 裕一	駒場8号館	8-209
	08B2004B	A2	専門ドイツ語（４）b	森井 裕一	駒場8号館	8-209
	08B2006	A1A2	専門ドイツ語（６）	石原 あえか	駒場10号館	10-308
	08B2008	A1A2	専門ドイツ語（８）	古荘 真敬	駒場12号館	1223
	08C1312	A1A2	現代哲学特殊研究II	古荘 真敬	駒場12号館	1223
	08C1517	A1A2	言語情報処理II[学際言語科学コース]	加藤 恒昭	駒場18号館	言語情報 解析室
	08C161107	A1A2	テキスト分析演習IV（７）	石原 あえか	駒場10号館	10-308
	08C2105	A1A2	イギリス言語芸術論II	中尾 まさみ	駒場8号館	8-317
	08C2349A	A1	ドイツ政治論演習a	森井 裕一	駒場8号館	8-209
	08C2349B	A2	ドイツ政治論演習b	森井 裕一	駒場8号館	8-209
	08C2758	A1	ラテンアメリカ地理I	丸山 浩明	駒場1号館	156
	08C2759	A2	ラテンアメリカ地理II	丸山 浩明	駒場1号館	156
	08C2852	A1A2	アジア政治経済論	木宮 正史	駒場8号館	8-205
	08C2852A	A1	アジア政治経済論a	木宮 正史	駒場8号館	8-205
	08C2852B	A2	アジア政治経済論b	木宮 正史	駒場8号館	8-205
	08C3103	A1A2	現代社会論I	市野川 容孝	駒場11号館	1105
	08C3201	A1A2	国際政治	古城 佳子	駒場8号館	8-210
	08C4040	A1A2	東アジアの社会II	クロイドン、 シリビア アタナソヴァ	駒場8号館	8-113
	08D1125	A1A2	ラテンアメリカの自然と社会	丸山 浩明	駒場1号館	156
	08D1214	A1A2	情報工学VII	加藤 恒昭	駒場18号館	言語情報 解析室
	08D1219	A1A2	統計学[総合情報学コース]	嶋田 正和	情報教育棟	E42
	08D1306	A1A2	統計学II[広域システムコース]	嶋田 正和	情報教育棟	E42
	08D1402	A1A2	統計学[国際環境学コース]	リチャード シェファソン	情報教育棟	E41
	08E1059	A1A2	統合自然科学セミナー[数理自然科学コース]	新井 仁之、稲葉 寿	シラバス参照	
	08E1164	A1A2	統合自然科学セミナー[物質基礎科学コース]	長谷川 宗良、内田 さやか、 島井 寿夫、松田 恭幸、 寺尾 潤	シラバス参照	
	08E1244	A1A2	統合自然科学セミナー[統合生命科学コース]	道上 達男	シラバス参照	
	08E1335	A1A2	統合自然科学セミナー[認知行動科学コース]	西本 裕子、各教員	シラバス参照	
	08E1411	A1A2	スポーツ生化学	八田 秀雄	駒場9号館	会議室
	08X2007	A1A2	Advanced ALESS II	マニナン ジョン	2IKOMCEE West	K201
3 時限	08A0033	A1A2	共通英語（33）	THURGILL JAMES CHRISTOPHER	駒場1号館	102
	08A5010	A1A2	共通スペイン語（10）（会話）	ロサレス バトリシア	駒場1号館	112
	08A9631043	A2	日本語（43）：中級総合(IJ-VI) (L.3)	柿山 礼美	駒場10号館	10-203
	08A9631045	A1	日本語（45）：中級総合(L4-5)	藤井 明子	駒場10号館	10-303
	08A9631047	A2	日本語（47）：中級総合(L4-5)	藤井 明子	駒場10号館	10-303
	08B0013	A1A2	専門英語（13）	板津 木綿子	駒場8号館	8-210
	08B2009	A1A2	専門ドイツ語（９）	大石 紀一郎	駒場8号館	8-320
	08C102309	A1A2	文化人類学特殊講義（民族地理論）	永田 淳嗣	駒場12号館	1222
	08C102404	A1A2	文化人類学特殊演習(テクノロジーと社会)	福島 真人	駒場14号館	407
	08C1124	A1A2	表象メディア論演習	オデイ ジョン	駒場8号館	8-321
	08C1313	A1A2	現代哲学特殊研究III	大石 紀一郎	駒場8号館	8-320
	08C1417	A1A2	日本文化資料研究II	齋藤 知也	駒場1号館	103
	08C1507	A1A2	言語と人間I	グレンノ イザベル	駒場8号館	8-209
	08C1513	A1A2	言語の対照と類型I	田中 伸一	駒場8号館	8-110
	08C161915	A1A2	言語文化論特殊研究（15）	板津 木綿子	駒場8号館	8-210
	08C2438	A1A2	ロシア東欧政治社会論	鶴見 太郎	駒場5号館	515
	08C2630	A1A2	特殊研究演習II[北アメリカ研究コース]	板津 木綿子	駒場8号館	8-210
	08C2752	A1	スペイン研究III	黒田 祐我	駒場8号館	8-205
	08C2753	A2	スペイン研究IV	黒田 祐我	駒場8号館	8-205
	08C2807	A1A2	アジアの地理	永田 淳嗣	駒場12号館	1222
	08C2818	A1A2	中央アジア地域文化研究	中村 淳	駒場11号館	1109
	08C3221	A1A2	国際協力演習	遠藤 貢	駒場8号館	8-206
	08C4041	A1A2	文化・思想研究の基礎I	板津 木綿子	駒場8号館	8-210
	08D1010	A1A2	科学哲学演習IV	オデイ ジョン	駒場8号館	8-321
	08D1126	A1A2	アジアの自然と社会	永田 淳嗣	駒場12号館	1222
	08E1254	A1	器官生物学	松田 良一	駒場16号館	126,127
	08E1255	A2	発生・再生生物学	道上 達男	駒場16号館	126,127
	08E1415	A1A2	健康スポーツ医学	今井 一博	駒場9号館	会議室
	08F1109	A1A2	認知神経科学	今水 寛	駒場5号館	525
	08F140611	A1A2	グローバル教養特別演習II(11)	板津 木綿子	駒場8号館	8-210
	08G0002	A1A2	国語科教育法II	齋藤 知也	駒場1号館	103
	08H006312	A1A2	東西文明学I(思想と批評２)	オデイ ジョン	駒場8号館	8-321
	08H006332	A1A2	東西文明学I(国際社会科学２)	板津 木綿子	駒場8号館	8-210
	08X1007	A1A2	プログラミング基礎	土井 靖生、金井 崇	情報教育棟	E42
	08X1009	A1A2	複合系計画論	嶋田 正和、石川 晃	駒場15号館	15-101
	08X2004	A1A2	認知脳科学概論	今水 寛	駒場5号館	525

	月曜日					
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
4 時限	08A0034	A1A2	共通英語（34）	ノールト デリック	駒場1号館	153
	08A9484	A1A2	シリア語（４）	高橋 英海	駒場8号館	8-324
	08B0004	A1A2	専門英語（４）	中澤 恒子	駒場8号館	8-113
	08B0063	A1A2	専門英語（63）	阿部 公彦	駒場1号館	117
	08B1005	A1A2	専門フランス語（５）	長谷川 まゆ帆	駒場8号館	8-322
	08B9303	A1A2	専門ラテン語（３）	日向 太郎	駒場8号館	8-208
	08C1101	A1A2	表象文化基礎論	田中 純	駒場8号館	8-323
	08C1318	A1A2	現代哲学特殊演習II	村瀬 鋼	駒場11号館	1107
	08C1411	A1A2	メディア文化論[学際日本文化論コース]	佐藤 温	駒場1号館	155
	08C151101	A1A2	原典講読特殊演習(1)[学際言語科学コース]	中澤 恒子	駒場8号館	8-113
	08C161305	A1A2	原典講読特殊演習(5)[言語・テキスト文化論コース]	日向 太郎	駒場8号館	8-208
	08C2103	A1A2	イギリス政治文化論	小川 浩之	駒場12号館	1214
	08C2217	A1A2	フランス歴史文化論演習	長谷川 まゆ帆	駒場8号館	8-322
	08C2402	A1A2	ロシア東欧文学テキスト分析	安岡 治子	駒場8号館	8-321
	08C2537	A1A2	特殊研究演習VIII[イタリア地中海研究コース]	日向 太郎	駒場8号館	8-208
	08C2778	A1	ラテンアメリカ政治演習I	大串 和雄	駒場8号館	8-317
	08C2779	A2	ラテンアメリカ政治演習II	大串 和雄	駒場8号館	8-317
	08C322518	A1A2	特殊研究演習「ラテンアメリカの政治演習」	大串 和雄	駒場8号館	8-317
	08C3228	A1A2	国際機構	西村 弓	駒場12号館	1213
	08C403404	A1A2	国際日本研究演習IV	阿部 公彦	駒場1号館	117
5 時限	08A1015	A1A2	共通フランス語（15）（文法）	星壁 守之	駒場8号館	8-112
	08A9306	A1A2	共通ラテン語（６）	筒井 賢治	駒場1号館	118
	08A9460	A1A2	台湾語（４）（初級）	王 嵐	駒場1号館	105
	08B0046	A1A2	専門英語（46）	林 少陽	駒場5号館	518
	08C1127	A1A2	表象文化論特殊研究演習III	林 少陽	駒場5号館	518
	08C1201	A1A2	資料・文献調査法	徳盛 誠	駒場8号館	319
	08C1310	A1A2	文化社会論演習[現代思想コース]	林 少陽	駒場5号館	518
	08C1419	A1A2	東アジア文化資料研究II	緑川 明恵	駒場1号館	154
	08C1555	A2	言語データ分析基礎	加藤 恒昭	駒場18号館	言語情報 解析室
	08C3201	A1A2	国際政治	古城 佳子	駒場8号館	8-4168-418、 8-4208-422
	08C4007	A1A2	国際日本研究文庫演習I	前島 志保	駒場8号館	8-207
	08D1104	A1A2	地理・空間調査設計I	荒井 良雄	駒場2号館	202
	08X2002	A1A2	物質科学概論	長谷川 宗良、酒井 邦嘉	駒場16号館	109
6 時限						

教養学部 専門科目時間割表

	火曜日					
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1時間	08A9480	A1A2	サンスクリット語（４）	高橋 晃一	駒場1号館	150
	08A9631083	A1A2	日本語(83)・職業コミュニケーション(LS-L6)	松本 順子	駒場1号館	105
	08C2756	A1	ブラジル研究III	松岡 秀明	駒場8号館	8-418
	08C2757	A2	ブラジル研究IV	松岡 秀明	駒場8号館	8-418
	08C2851	A1A2	アジア地域史II	岡田 泰平	駒場5号館	517
	08C2851A	A1	アジア地域史IIa	岡田 泰平	駒場5号館	517
	08C2851B	A2	アジア地域史IIb	岡田 泰平	駒場5号館	517
	08D1441	A1A2	食の安全安心	山川 隆・平山 和宏・八村 敏志・岡崎 勉	駒場1号館	157
	08E1416	A1A2	スポーツ心理学	工藤 和俊	駒場9号館	会議室
	08F140622	A1A2	グローバル教養特別演習II(22)	山川 隆・平山 和宏・八村 敏志・岡崎 勉	駒場1号館	157
	08H006342	A1A2	東西文明学I(環境と身体２)	山川 隆・平山 和宏・八村 敏志・岡崎 勉	駒場1号館	157
	08A0032	A1A2	共通英語（32）	アンダル、ジャクリーン	駒場8号館	8-207
	08A020	A1A2	共通中国語（20）(中級読解)	秋山 珠子	駒場1号館	107
	08A4023	A1A2	共通中国語（23）(中級会話)	柳 岸麗	駒場1号館	153
	08A4035	A1A2	共通中国語（35）(上級読解)	石井 剛	駒場5号館	516
	08A8016	A1A2	共通韓国朝鮮語（6）(会話)	張 銀英	駒場1号館	103
	08A9307	A1A2	共通ラテン語（17）	Hermann Gottschewski	アドミニストレーション棟	学際交流ホール
2時間	08A9468	A1A2	モンゴル語（４）	荒井 幸康	駒場1号館	118
	08A9472	A1A2	ベルシア語（４）	前田 君江	駒場5号館	518
	08A9486	A1A2	広東語（６）(初級)	谷垣 真理子	駒場1号館	115
	08A96310711	A1A2	日本語（71）・翻訳（英日）(LS-L7)	立見 みどり	駒場10号館	10-201
	08B0010	A1A2	専門英語（10）	吉国 浩哉	駒場8号館	8-206
	08B0024	A1A2	専門英語（24）	西川 杉子	駒場8号館	8-112
	08B0045	A1A2	専門英語（45）	中島 隆博	駒場8号館	8-113
	08B9202	A1A2	専門ギリシア語（２）	簡井 賢治	駒場8号館	8-322
	08B9305	A1A2	専門ラテン語（５）	山本 芳久	駒場14号館	708
	08C1121	A1A2	表象文化論特殊講義I	中島 隆博	駒場8号館	8-113
	08C1224	A1A2	比較日本文化論演習I	寺田 寅彦	駒場5号館	534
	08C130702	A1A2	倫理宗教論（２）[現代思想コース]	中島 隆博	駒場8号館	8-113
	08C131702	A1A2	現代哲学特殊演習I(2)	山本 芳久	駒場14号館	708
	08C1421	A1A2	学際日本文化論演習II	田口 一郎	駒場11号館	1109
	08C1528	A1A2	言語科学特殊講義	生越 直樹	駒場8号館	8-110
	08C161304	A1A2	原典講読特殊演習(4)[言語態・テキスト文化論コース]	吉国 浩哉	駒場8号館	8-206
	08C2143	A1A2	イギリス歴史・政治論演習I	西川 杉子	駒場8号館	8-112
	08C2254	A1A2	フランス研究演習IX	寺田 寅彦	駒場5号館	534
	08C2318	A1A2	ドイツ政治文化論演習	川村 陶子	駒場8号館	8-320
	08C2409	A1A2	ロシア東欧表象文化論	鴻野 わか菜	駒場5号館	513
	08C2526	A1A2	地中海古典テキスト分析演習II	簡井 賢治	駒場8号館	8-322
	08C2623	A1A2	アメリカ文学テキスト分析演習	高尾 直知	駒場8号館	8-321
	08C2785	A1	特殊研究演習VII[ラテンアメリカ研究コース]	ドニャス・バレコフ・アントニョ	駒場8号館	8-208
	08C2786	A2	特殊研究演習VII[ラテンアメリカ研究コース]	ドニャス・バレコフ・アントニョ	駒場8号館	8-208
	08C2904	A1A2	韓国朝鮮言語論	生越 直樹	駒場8号館	8-110
	08C3105	A1A2	社会思想研究	山本 芳久	駒場14号館	708
	08C3203	A1A2	国際経済	竹野 太三	2IKOMCEE East	K112
	08C321603	A1A2	特殊講義「国民統合の政治学」	山本 芳久	駒場14号館	708
	08D1237	A1A2	人間情報学1	山口 泰・植田 一博・館 知宏・福田 玄明	駒場15号館	15-104
	08D1342910	A1A2	広域システム特論V(10)	山口 泰・植田 一博・館 知宏・福田 玄明	駒場15号館	15-104
	08D1443	A1A2	食料生産の技術と政策	坂井 貴樹・高野 哲夫・鈴木 宣弘・岡田 謙介	駒場12号館	1211
	08E1220	A2	構成・システム生物学[統合生命科学コース]	豊田 太郎・澤井 哲・若本 祐一	駒場16号館	129
	08E1345	A1A2	生物心理学演習	岡ノ谷 一夫	駒場3号館	113
	08E1402	A1A2	運動神経生理学	柳原 大	駒場9号館	会議室
	08F10012	A1A2	倫理宗教論(2)[グローバル・エシックス]	中島 隆博	駒場8号館	8-113
	08F140617	A1A2	グローバル教養特別演習II(17)	李 彦銘	駒場1号館	114
	08H006432	A1A2	東西文明学II(国際社会科学２)	李 彦銘	駒場1号館	114
3時間	08A0028	A1A2	共通英語（28）	矢田部 修一	駒場8号館	8-110
	08A1010	A1A2	共通フランス語（10）(精読)	桑田 光平	駒場12号館	1224
	08A8014	A1A2	共通韓国朝鮮語（14）(作文)	ジ ミンギョン	駒場12号館	1231
	08A9438	A1A2	トルコ語（６）	高松 洋一	駒場12号館	1226
	08A9504	A1A2	日本手話（4）	小林 信恵・伊藤 たかね	駒場8号館	8-320
	08B0008	A1A2	専門英語（８）	小林 宣子	駒場8号館	8-112
	08B0040	A1A2	専門英語（40）	キハラハント 愛	駒場10号館	10-103
	08B2002A	A1	専門ドイツ語（2）a	石田 勇治	駒場8号館	8-206
	08B2002B	A2	専門ドイツ語（2）b	石田 勇治	駒場8号館	8-206
	08B9503	A1A2	専門日本語（３）	酒井 哲哉	駒場1号館	107
	08C1106	A1A2	表象文化史演習	加治屋 健司	駒場8号館	8-323
	08C1230	A1A2	テキスト精読法VIII	平石 典子	駒場8号館	8-209
	08C130102	A1A2	現代哲学（２）	野矢 茂樹	駒場8号館	8-210
	08C1403	A1A2	日本文化資料読解I	品田 悦一	駒場8号館	8-418
	08C1524	A1A2	言語文化横断論演習[学際言語科学コース]	三ツ井 崇	駒場12号館	1233
	08C1530	A1A2	言語理論II	グレンノ イザベル	駒場8号館	8-113
	08C160913	A1A2	テキスト分析演習II(13)	小林 宣子	駒場8号館	8-112
	08C161210	A1A2	テキスト分析演習V(10)	品田 悦一	駒場8号館	8-418
	08C2125	A1A2	イギリス言語様態論演習	小林 宣子	駒場8号館	8-112
	08C2346A	A1	ドイツ歴史社会論演習Ia	石田 勇治	駒場8号館	8-206
	08C2346B	A2	ドイツ歴史社会論演習Ib	石田 勇治	駒場8号館	8-206
	08C2644	A1	アメリカ政治論	西崎 文子	駒場8号館	8-317
	08C2772	A1	ラテンアメリカ文学・思想演習III	斎藤 文子	駒場8号館	8-321
	08C2773	A2	ラテンアメリカ文学・思想演習IV	斎藤 文子	駒場8号館	8-321
	08C2809	A1A2	東アジア近代史	酒井 哲哉	駒場1号館	107
	08C2841	A1A2	特殊研究演習VII[アジア・日本研究コース]	キハラハント 愛	駒場10号館	10-103
	08C2931	A1A2	韓国朝鮮社会文化論	三ツ井 崇	駒場12号館	1233
	08C3109	A1A2	法学研究[関連社会科学コース]	早川 眞一郎	駒場12号館	1225
	08C3127	A1A2	政治学研究[関連社会科学コース]	樋渡 展洋	駒場5号館	531
	08C3203	A1A2	国際経済	竹野 太三	2IKOMCEE East	K112
	08C3204	A1A2	国際関係I	酒井 哲哉	駒場1号館	107
	08C3232	A1A2	法学研究[国際関係論コース]	早川 眞一郎	駒場12号館	1225
	08C3233	A1A2	政治学研究[国際関係論コース]	樋渡 展洋	駒場5号館	531
	08C4024	A1A2	歴史社会分析演習II	鹿毛 利枝子	駒場8号館	8-208
	08C4055	A1A2	歴史・地域研究特殊演習I	キハラハント 愛	駒場10号館	10-103
	08D1449	A1A2	都市基盤技術II	目黒 公郎	2IKOMCEE East	K213

	火曜日						
	時間割 コード	開講 区分	科目名	教員名	建物	教室	
3 時 限	08E1318	A1A2	心理物理学	本吉 勇	駒場16号館	126,127	
	08F1115	A1A2	進化認知脳科学特論III	本吉 勇	駒場16号館	126,127	
	08F1402	A1A2	グローバル教養特別講義I	鹿毛 利枝子	駒場8号館	8-208	
	08F140604	A1A2	グローバル教養特別演習II(4)	キハラハント 愛	駒場10号館	10-103	
	08F140616	A1A2	グローバル教養特別演習II(16)	王 前	駒場8号館	8-322	
	08H006412	A1A2	東西文明学II(思想と批評2)	王 前	駒場8号館	8-322	
	08X1006	A1A2	広域システム概論II	小宮 剛	駒場15号館	15-104	
4 時 限	08A3014	A1A2	共通ロシア語(14)	グロウイナ クセーニヤ	2IKOMCEE East	K113	
	08A4048	A1A2	共通中国語(48)(TLP中級会話)	藤原 優美	法文1号館	213	
	08A5014	A1A2	共通スペイン語(14)(演習)	イサベル カルロス	駒場12号館	1231	
	08A9012	A1A2	共通アラビア語(12)	濱田 聖子	駒場12号館	1221	
	08A9432	A1A2	ベトナム語(8)	岩月 純一	駒場12号館	1232	
	08A9440	A1A2	トルコ語(8)	高松 洋一	駒場12号館	1226	
	08B0032A	A1	専門英語(32)a	ロビンス・ロジャー	駒場8号館	8-112	
	08B0041	A1A2	専門英語(41)	池内 恵	駒場8号館	8-208	
	08B0042	A1A2	専門英語(42)	エリス 俊子	駒場8号館	8-209	
	08B0062	A1A2	専門英語(62)	斎藤 亮史	駒場8号館	8-324	
	08B2010	A1A2	専門ドイツ語(10)	大石 紀一郎	駒場8号館	8-320	
	08C102305	A1A2	文化人類学特殊講義(民族誌作成)	田辺 明生	駒場14号館	407	
	08C1119	A1A2	言語芸術論I	一條 麻美子	駒場8号館	8-323	
	08C1233	A1A2	比較文学比較文化論演習III	エリス 俊子	駒場8号館	8-209	
	08C1316	A1A2	現代思想特殊研究III	大石 紀一郎	駒場8号館	8-320	
	08C1420	A1A2	学際日本文化論演習I	渡辺 美季	駒場14号館	605	
	08C1552	A2	基礎言語理論I:形の体系	伊藤 たかね	駒場18号館	国際メディア研究	
	08C1603	A1A2	言語態研究演習	西中村 浩	駒場8号館	8-206	
	08C161914	A1A2	言語文化論特殊研究(14)	エリス 俊子	駒場8号館	8-209	
	08C2238	A1A2	フランス現代社会論	増田 一夫	駒場8号館	8-317	
	08C2238A	A1	フランス現代社会論a	増田 一夫	駒場8号館	8-317	
	08C2238B	A2	フランス現代社会論b	増田 一夫	駒場8号館	8-317	
	08C2514	A1A2	特殊講義III(イタリア地中海研究コース)	松浦 高志	駒場8号館	8-322	
	08C2541	A1A2	イタリア地中海思想文学テキスト分析II	高橋 英海	駒場8号館	8-321	
	08C2608A	A1	アメリカ宗教文化論a	ロビンス・ロジャー	駒場8号館	8-112	
	08C2842	A1A2	特殊研究演習VIII(アジア・日本研究コース)	池内 恵	駒場8号館	8-208	
	08C2843	A1A2	特殊研究演習IX	高橋 英海	駒場8号館	8-321	
	08C3101	A1A2	相関社会科学基礎論I	森 政彦	駒場8号館	8-113	
	08C3201	A1A2	国際政治	古城 佳子	駒場8号館	8-207	
	08C321619	A1A2	特殊講義「中国の外交」	川島 真	駒場8号館	8-210	
	08C321645	A1A2	特殊講義「国際取引」	早川 眞一郎	駒場12号館	1233	
	08C403401	A1A2	国際日本研究演習I	斎藤 亮史	駒場8号館	8-324	
08C4044	A1A2	文化・思想研究演習II	エリス 俊子	駒場8号館	8-209		
08D1116	A1A2	文化空間論	森本 泉	2IKOMCEE East	K211		
08E1307	A1A2	感覚運動情報処理	四本 裕子	駒場3号館	113		
08F1113	A1A2	進化認知脳科学特論I	四本 裕子	駒場3号館	113		
08F1403	A1A2	グローバル教養特別講義II	エリス 俊子	駒場8号館	8-209		
08X1008	A1A2	学際科学概論	和泉 潔・江守 正多・大澤 晴士・宮川 卓也・一瀬 友博・田中 彰吾・各教員	駒場15号館	15-104		
5 時 限	08A4030	A1A2	共通中国語(30)(上級会話)	賈 黎黎	駒場1号館	152	
	08A9016	A1A2	共通アラビア語(16)	オダイマ ムハンマド	駒場8号館	8-324	
	08A9206	A1A2	共通ギリシア語(6)	松浦 高志	駒場1号館	117	
	08A9631033	A1A2	日本語(33):アカデミックス(総合)(L4-5)	得丸 智子	駒場10号館	10-102	
	08A9631035	A1A2	日本語(35):アカデミックス(総合)(L6)	ボイクマン 総子	駒場10号館	10-203	
	08B0001	A1A2	専門英語(1)	関谷 雄一	駒場8号館	8-205	
	08B0003	A1A2	専門英語(3)	佐藤 光	駒場1号館	120	
	08B0014	A1A2	専門英語(14)	吉国 浩哉	駒場8号館	8-206	
	08C1011	A1A2	応用人類学I	関谷 雄一	駒場8号館	8-205	
	08C1214	A1A2	比較文学論II	佐藤 光	駒場1号館	120	
	08C1401	A1A2	日本文化研究法I	田村 隆	駒場14号館	706	
	08C1519	A1A2	言語と社会II	松本 和子	駒場8号館	8-113	
	08C161918	A1A2	言語文化論特殊研究(18)	吉国 浩哉	駒場8号館	8-206	
	08C2760	A1	ラテンアメリカ言語I	川崎 義史	駒場8号館	8-317	
	08C2761	A2	ラテンアメリカ言語II	川崎 義史	駒場8号館	8-317	
	08C2915	A1A2	特殊講義III(韓国朝鮮研究コース)	小林 聡明	駒場8号館	8-320	
	08D1422	A1	環境測定法II	沖 一雄・竹内 渉	生産研As棟	301	
	08D1444	A1A2	持続可能な社会－生態系	露木 聡・能原 哲・大黒 俊哉・八木 信行・橋本 禰	2IKOMCEE West	K303	
	6 時 限	08F1116	A1A2	進化認知脳科学特論IV	菅生 康子	駒場1号館	116
		08G0015	A1A2	情報科教育法II	辰己 丈夫	理7号館	102
08X1008		A1A2	学際科学概論	和泉 潔・江守 正多・大澤 晴士・宮川 卓也・一瀬 友博・田中 彰吾・梶田 真・各教員	駒場15号館	15-104	

教養学部 専門科目時間割表

水曜日							
	時間割 コード	開講 区分	科目名	教員名	建物	教室	
1 時 限	08A9631091	A1A2	日本語 (91)：現代文化(L6-L5)	松下 達彦	駒場10号館	10-203	
	08D1110	A1A2	都市地域デザイン	加藤 道夫	駒場15号館	15-104	
	08D1423	A1	環境熱力学	深津 晋	駒場11号館	1105	
	08X2001	A1A2	数理科学概論	國場 敦夫	駒場16号館	109	
2 時 限	08A3020	A1A2	共通ロシア語 (20)	GOLUBOVSKAYA Liubov	駒場5号館	517	
	08A9464	A1A2	タイ語 (4)	浅見 靖仁	駒場12号館	1211	
	08A9476	A1A2	ヘブライ語 (4)	飯塚 友康	駒場7号館	761	
	08B0051A	A1	専門英語 (51)a	土屋 和代	駒場8号館	8-205	
	08B0052B	A2	専門英語 (52)b	土屋 和代	駒場8号館	8-205	
	08B0060	A1A2	専門英語 (60)	オデー ジョン	駒場8号館	8-321	
	08C102403	A1A2	文化人類学特殊演習(アジアの宗教と社会)	蔵本 龍介	駒場14号館	407	
	08C1117	A1A2	映像芸術論I	三浦 哲哉	駒場18号館	国際センター7F703	
	08C1220	A1A2	比較日本文化論II	菅原 克也	駒場8号館	319	
	08C1302	A1A2	現代思想	古荘 真敬	駒場12号館	1221	
	08C1556	A1A2	言語構造論特殊演習	稲葉 治朗	駒場8号館	8-112	
	08C2532	A1A2	特殊研究演習III[イタリア地中海研究コース]	村松 真理子	駒場8号館	8-324	
	08C2651A	A1	特殊講義VIIa[北アメリカ研究コース]	土屋 和代	駒場8号館	8-205	
	08C2651B	A2	特殊講義VIIb[北アメリカ研究コース]	土屋 和代	駒場8号館	8-205	
	08C2737	A1	ラテンアメリカ史III	網野 徹哉	駒場8号館	8-317	
	08C2839	A1A2	特殊研究演習V[アジア・日本研究コース]	杉山 清彦	駒場12号館	1233	
	08C3128	A1A2	経済学研究II[国際社会科学コース]	結城 剛志	駒場12号館	1213	
	08C3130	A1A2	社会学研究I[国際社会科学コース]	橋本 祺子	駒場12号館	1224	
	08C3234	A1A2	経済学研究II[国際関係論コース]	結城 剛志	駒場12号館	1213	
	08C3236	A1A2	社会学研究II[国際関係論コース]	橋本 祺子	駒場12号館	1224	
	08C403322	A1A2	国際日本研究特論XXII	オデー ジョン	駒場8号館	8-321	
	08D1021	A1A2	科学哲学特論I	佐藤 守俊・村田 昌之	駒場8号館	8-207	
	08D1423	A1	環境熱力学	深津 晋	駒場11号館	1105	
	08D1438	A1A2	エネルギー資源論III	増田 建	駒場5号館	518	
	08E1021	A1A2	統計力学II[数理自然科学コース]	池田 昌司	駒場16号館	109	
	08E1115	A1A2	統計力学I[物質基礎科学コース]	池田 昌司	駒場16号館	109	
	08E1151	A1A2	バイオイメージング[物質基礎科学コース]	佐藤 守俊・村田 昌之	駒場3号館	116	
	08E1214	A1A2	バイオイメージング[統合生命科学コース]	佐藤 守俊・村田 昌之	駒場3号館	116	
	08E1232	A1A2	統計力学II[統合生命科学コース]	池田 昌司	駒場16号館	109	
	08E1412	A1A2	スポーツ栄養学	寺田 新	駒場3号館	113	
	08F140614	A1A2	グローバル教育特別演習II(14)	オデー ジョン	駒場8号館	8-321	
	08X1005	A1A2	広域システム概論I	山口 和紀・山口 泰福永アレックス	駒場15号館	15-104	
	3 時 限	08A5016	A1A2	共通スペイン語 (16) (文法)	齊藤 文子	駒場12号館	1212
		08A8020	A1A2	共通韓国朝鮮語 (20) (表現練習)	三ツ井 崇	駒場12号館	1211
		08B2003A	A1	専門ドイツ語 (3)a	足立 信彦	駒場8号館	8-321
		08B2003B	A2	専門ドイツ語 (3)b	足立 信彦	駒場8号館	8-321
		08B9302	A1A2	専門ラテン語 (2)	筒井 賢治	駒場8号館	8-322
		08C1014	A1A2	地域民族誌I	名和 克郎	駒場13号館	1311
		08C1212	A1A2	芸術作品分析法IV	Hermann Gottschewski	アドニストレーション棟	学際交流ホール
08C1311		A1A2	現代哲学特殊研究I	鍾 幸弘	駒場12号館	1224	
08C132202		A1A2	現代思想特殊演習III	鍾 以江	駒場11号館	1105	
08C1415		A1A2	東洋古典学	谷口 洋	駒場11号館	1109	
08C1532		A1A2	言語理論IV	矢田部 修一	駒場8号館	8-110	
08C2319A		A1	ドイツ文学テキスト演習Ia	足立 信彦	駒場8号館	8-321	
08C2319B		A2	ドイツ文学テキスト演習Ib	足立 信彦	駒場8号館	8-321	
08C2437		A1A2	ロシア東欧歴史論	篠 秋津	駒場8号館	8-317	
08C2528		A1A2	地中海古典テキスト分析演習IV	筒井 賢治	駒場8号館	8-322	
08C2539		A1A2	論文指導III[イタリア地中海研究コース]	マルコ ビオンディ	2IKOMCEE West	K402	
08C2745		A1	ラテンアメリカ社会・民族III	和田 毅	駒場8号館	8-113	
08C282102		A1A2	特殊講義III(2)[アジア・日本研究コース]	天見 慧	駒場12号館	1226	
08C2838		A1A2	特殊研究演習IV[アジア・日本研究コース]	浅見 靖仁	駒場12号館	1233	
08C2854		A1A2	アジアの民族	名和 克郎	駒場13号館	1311	
08C3113		A1A2	環境社会科学	丸山 真人	駒場1号館	149	
08C312205		A1A2	特殊研究演習「ジェンダー論演習」	瀬地山 角	2IKOMCEE East	K112	
08C321605		A1A2	特殊講義「環境文明論」	丸山 真人	駒場1号館	149	
08C321649		A1A2	特殊講義「空間秩序と国際法」	西村 弓	駒場12号館	1221	
08C4037		A1A2	東アジアの思想	鍾 以江	駒場11号館	1105	
08D1001		A1A2	科学哲学概論	銀原 幸弘	駒場12号館	1224	
08F1012		A1A2	環境社会科学I[グローバル・エシックス]	丸山 真人	駒場1号館	149	
08X000102		A1A2	超域文化科学高度教養 (人類的集団間論—民族とカーストを中心に)	名和 克郎	駒場13号館	1311	

	水曜日					
	時間割 コード	開講 区分	科目名	教員名	建物	教室
4 時 限	08A0031	A1A2	共通英語 (31)	中尾 まさみ	駒場8号館	8-113
	08A1014	A1A2	共通フランス語 (14) (作文)	DE VOS PATRICK HENRI	駒場1号館	150
	08A9020	A1A2	共通アラビア語 (20)	杉田 英明	駒場12号館	1223
	08B0002	A1A2	専門英語 (2)	清水 晶子	駒場8号館	8-323
	08B0025	A1A2	専門英語 (25)	ギルバート ヘレン	駒場8号館	8-209
	08B0066	A1A2	専門英語 (66)	北村 朋史,井上 彰	駒場1号館	116
	08B0066A	A1	専門英語 (66)a	井上 彰	駒場1号館	116
	08B0066B	A2	専門英語 (66)b	北村 朋史	駒場1号館	116
	08B9502	A1A2	専門日本語 (2)	前島 志保	駒場8号館	319
	08C1125	A1A2	表象文化論特殊研究演習I	清水 晶子	駒場8号館	8-323
	08C1234	A1A2	比較文学比較文化論演習IV	前島 志保	駒場8号館	319
	08C131402	A1A2	現代思想特殊研究I(2)	石原 孝二	駒場14号館	710
	08C1604	A1A2	テキスト文化論演習	ベティート ジョシュア	駒場8号館	8-206
	08C2130	A1A2	広域英語圏地域論演習Ⅰ[イギリス研究コース]	ギルバート ヘレン	駒場8号館	8-209
	08C2502	A1A2	イタリア地中海歴史社会論Ⅱ	池上 俊一	駒場5号館	515
	08C2629	A1A2	広域英語圏地域論演習Ⅱ[北アメリカ研究コース]	ギルバート ヘレン	駒場8号館	8-209
	08C2835	A1A2	特殊研究演習Ⅱ[アジア・日本研究コース]	松田 康博	駒場8号館	8-112
	08C3102	A1A2	相関社会科学基礎論Ⅱ	佐藤 俊樹	駒場12号館	1233
	08C312215	A1A2	特殊研究演習「現代社会論演習」	内山 融	駒場11号館	1109
	5 時 限	08C322505	A1	特殊研究演習「国際経済理論演習」	受田 宏之	駒場1号館
08C4028		A1A2	国際社会分析特殊Ⅱ	北村 朋史,井上 彰	駒場1号館	116
08C4028A		A1	国際社会分析特殊Ⅱa	井上 彰	駒場1号館	116
08C4028B		A2	国際社会分析特殊Ⅱb	北村 朋史	駒場1号館	116
08D1009		A1A2	科学哲学演習Ⅲ	石原 孝二	駒場14号館	710
08E1326		A1A2	認知行動科学特殊Ⅱ	鯨島 和行	駒場3号館	113
08F1304		A1A2	科学技術リテラシー論Ⅱ	松本 真由美	駒場1号館	115
08F140602		A1A2	グローバル教養特別演習Ⅱ(2)	北村 朋史,井上 彰	駒場1号館	116
08A3016		A1A2	共通ロシア語 (16)	GOLUBOVSKAYA Liubov	駒場5号館	515
08A3018		A1A2	共通ロシア語 (18)	毛利 公美	駒場1号館	108
08A9018		A1A2	共通アラビア語 (18)	杉田 英明	駒場1号館	103
08A9488		A1A2	広東語 (8) (中級)	吉川 雅之	駒場10号館	10-102
08B0023		A1A2	専門英語 (23)	中尾 まさみ, フィッパヤミンズ アンドルー	駒場8号館	8-321
08C1018		A1A2	歴史と文化Ⅱ	田辺 明生	駒場14号館	407
08C1103		A1A2	表象システム論	DE VOS PATRICK HENRI	駒場1号館	117
08C1412		A1A2	日本思想	高山 大毅	駒場12号館	1221
08C2135		A1A2	特殊研究演習Ⅳ[イギリス研究コース]	中尾 まさみ, フィッパヤミンズ アンドルー	駒場8号館	8-321
08C2250		A1A2	フランス研究演習Ⅴ	三浦 篤	駒場8号館	319
08C2517		A1A2	特殊講義Ⅴ[イタリア地中海研究コース]	筒井 賢治	駒場8号館	8-322
08D1005		A1A2	科学技術史演習Ⅲ	関本 拓司	駒場14号館	308
08D1504P	A1A2	進化的理論[進化学コース]	嶋田 正和,池上 高志	駒場15号館	15-104	
08F1307	A1A2	科学技術表現論Ⅰ	大島 まり	工学部2号館	93B	
08X0005	A1A2	Liberal Arts for Advanced Students Ⅱ	堀田 千里	駒場8号館	8-208	
08X1013	A1A2	進化的理論[高度教養科目]	嶋田 正和,池上 高志	駒場15号館	15-104	
08X2005	A1A2	スポーツ科学概論	柳原 大	駒場16号館	126,127	
6 時 限						

教養学部 専門科目時間割表

	木曜日					
	時間割 コード	開講 区分	科目名	教員名	建物	教室
1 時 限	08A9204	A1A2	共通ギリシア語（４）	上野 慎也	駒場5号館	515
	08D1208	A1A2	情報工学I	越塚 登	駒場5号館	516
	08D1433	A1A2	物質循環科学IV	ジェームズ エリンガー	2IKOMCEE West	K401
	08E1208	A1A2	生命科学研究法	道上 達男	駒場16号館	126,127
	08E1413	A1A2	身体トレーニング論	石井 直方, 八田 秀雄, 久保 啓太郎, 吉岡 伸輔	駒場9号館	会議室
	08G0012	A1	英語科教育法I	奥 聡一郎	2IKOMCEE West	K501
	2 時 限	08A0030	A1A2	共通英語（30）	小林 宣子	駒場8号館
08A4036		A1A2	共通中国語（36）（上級読解）	村田 雄二郎	駒場5号館	515
08A4046		A1A2	共通中国語（46）（TLP中級読解）	王 前	駒場1号館	156
08A9202		A1A2	共通ギリシア語（２）	上野 慎也	駒場8号館	8-420
08A9631051		A1A2	日本語（51）：地理・社会・ニュース(L3-L5)	根本 愛子	駒場10号館	10-205
08A96310931		A1A2	日本語（93）：文学・映画（L6-L5）	有吉 美央子	駒場10号館	10-203
08B0005		A1A2	専門英語（５）	WILSON BRENDAN	駒場8号館	8-207
08B0007		A1A2	専門英語（７）	田尻 芳樹	駒場8号館	8-321
08B0031A		A1	専門英語（31）a	矢口 祐人	駒場8号館	8-205
08B0037		A1A2	専門英語（37）	井坂 理穂	駒場1号館	120
08C1016		A1A2	地域民族誌III	石橋 純	駒場8号館	8-209
08C1232		A1A2	比較文化論IV	伊藤 徳也	駒場8号館	8-322
08C130302		A1A2	現代哲学演習（２）	國分 功一郎	2IKOMCEE West	K401
08C1510		A1A2	言語の変異・変化II	寺澤 盾	駒場8号館	8-210
08C151102		A1A2	原典講読特殊演習（2）[学際言語科学コース]	WILSON BRENDAN	駒場8号館	8-207
08C160912		A1A2	テキスト分析演習II（12）	田尻 芳樹	駒場8号館	8-321
08C2108		A1A2	イギリス言語概論論	寺澤 盾	駒場8号館	8-210
08C2134		A1A2	特殊研究演習IV[イギリス研究コース]	WILSON BRENDAN	駒場8号館	8-207
08C2146		A1A2	イギリス文学テキスト演習II	田尻 芳樹	駒場8号館	8-321
08C2202		A1A2	フランス思想テキスト分析	原 和之	駒場8号館	8-110
08C2202A		A1	フランス思想テキスト分析a	原 和之	駒場8号館	8-110
08C2202B		A1	フランス思想テキスト分析b	原 和之	駒場8号館	8-110
08C2633A		A1	特殊研究演習IVa[北アメリカ研究コース]	矢口 祐人	駒場8号館	8-205
08C2646		A2	アメリカ文化研究基礎論	矢口 祐人	駒場8号館	8-205
08C2774		A1	ラテンアメリカ民族論演習I	石橋 純	駒場8号館	8-209
08C2775		A2	ラテンアメリカ民族論演習II	石橋 純	駒場8号館	8-209
08C2815		A1A2	南アジア地域文化研究	井坂 理穂	駒場1号館	120
08C2824		A2	東アジア地域研究演習	山口 輝臣	駒場14号館	605
08C311501		A1A2	特殊講義「現代社会思想」	國分 功一郎	2IKOMCEE West	K401
08C3220		A1A2	国際体系演習	田中 孝彦	駒場11号館	1109
08D1002		A1A2	応用倫理学概論[科学技術論コース]	鈴木 貴之	駒場14号館	308
08D1102		A1A2	地理情報分析基礎I	松原 宏	駒場2号館	202
08D1237901		A1A2	人間情報学I（1）	吉田 文人	駒場15号館	15-104
08D1330		A1A2	生態・進化学I	吉田 文人	駒場15号館	15-104
08E1015		A1A2	量子力学II[数理解自然科学コース]	深津 晋	駒場16号館	109
08E1109		A1A2	量子力学II[物理基礎科学コース]	深津 晋	駒場16号館	109
08E1234	A1A2	量子力学I[統合生命科学コース]	深津 晋	駒場16号館	109	
08E1245	A1	細胞生物学I	坪井 貴司	駒場3号館	113	
08E1246	A2	細胞生物学II	大杉 美穂	駒場3号館	113	
08E1410	A1A2	スポーツバイオメカニクス	深代 千之	駒場9号館	会議室	
08F1003	A1A2	応用倫理学概論[グローバル・エシックス]	鈴木 貴之	駒場14号館	308	
08F1103B	A1	言語の認知科学IIb	田中 伸一	駒場8号館	8-206	
08F1406A12	A1	グローバル教養特別演習IIa（12）	矢口 祐人	駒場8号館	8-205	
08G0012	A1	英語科教育法I	奥 聡一郎	2IKOMCEE West	K501	
3 時 限	08A0029	A1A2	共通英語（29）	加治屋 健司	駒場8号館	8-321
	08A4047	A1A2	共通中国語（47）（TLP中級作文）	王 前	駒場1号館	156
	08A9422	A1A2	ヒンディー語（６）	藤井 毅	駒場12号館	1211
	08A9450	A1A2	インドネシア語（６）	高地 薫	駒場1号館	109
	08A9631043	A2	日本語（43）：中級総合(IJ-VI)（L3）	古川 明子	駒場10号館	10-303
	08A9631045	A1	日本語（45）：中級総合(L4-5)	柿山 礼美	駒場10号館	10-201
	08A9631047	A2	日本語（47）：中級総合(L4-5)	柿山 礼美	駒場10号館	10-201
	08B1007	A1A2	専門フランス語（７）	鈴木 啓二	駒場8号館	8-110
	08C1024A01	A2	文化人類学特殊演習a（ロシア民族学史）	渡邊 日比	駒場8号館	8-205
	08C1108	A1A2	表象文化論実習II	桑田 光平, 各教員	駒場8号館	8-323
	08C1111	A1A2	伝統芸能論I	松岡 心平	駒場8号館	8-324
	08C130802	A1A2	文化社会論（2）[現代思想コース]	斉藤 渉	駒場8号館	8-208
	08C1423	A1A2	学際日本文化論演習IV	松岡 心平	駒場8号館	8-324
	08C1606	A1A2	メディア文化論[言語・テキスト文化論コース]	石田 英敬	駒場8号館	8-210
	08C2102	A1A2	イギリス歴史社会語Ⅱ	後藤 春美	駒場1号館	118
	08C2219	A1A2	フランス文学テキスト分析演習	鈴木 啓二	駒場8号館	8-110
	08C2451A	A2	ロシア東欧政治社会特殊演習a	渡邊 日比	駒場8号館	8-205
	08C2622A	A1	アメリカ思想テキスト分析演習a	渡藤 泰生	駒場14号館	206
	08C2750	A1	スペイン研究I	下田 静香	駒場8号館	8-207
	08C2847	A1A2	特殊研究演習XIII	野田 真里	駒場8号館	8-113
	08C3131	A1A2	法学演習	福岡 安都子	駒場11号館	1107
	08C4003	A1A2	日本近現代史	バクスター, ジョシュア	駒場5号館	518
	08D1012	A1A2	科学技術社会論演習II	廣野 幸幸	駒場11号館	1109
	08D1209901	A1A2	情報工学II（1）	小宮 剛, 磯崎 行雄	駒場15号館	15-104
	08D1312	A1A2	宇宙地球科学I[広域システムコース]	小宮 剛, 磯崎 行雄	駒場15号館	15-104
	08D1502P	A1A2	宇宙地球科学I[進化学コース]	小宮 剛, 磯崎 行雄	駒場15号館	15-104
	08E1131	A1A2	物理化学I	長谷川 宗良	駒場16号館	109
08E1302	A1A2	認知行動科学方法論	四本 裕子, 各教員	駒場3号館	116	
08F10042	A1A2	文化社会論（2）[グローバル・エシックス]	斉藤 渉	駒場8号館	8-208	
08F1104	A1A2	言語の脳神経科学	酒井 邦嘉	駒場16号館	119	

	木曜日					
	時間割 コード	開講 区分	科目名	教員名	建物	教室
4 時 限	08A4022	A1A2	共通中国語 (22) (中級会話)	李 雲	駒場1号館	103
	08A5012	A1A2	共通スペイン語 (12) (作文)	ルイス ティノコ アントニオ	駒場1号館	117
	08A5022	A1A2	共通スペイン語 (22) (会話)	FERNANDEZ HERBOSO	駒場1号館	114
	08A6006	A1A2	共通ポルトガル語 (6)	牧野 真也	駒場1号館	153
	08A9424	A1A2	ヒンディー語 (8)	藤井 毅	駒場12号館	1211
	08A9452	A1A2	インドネシア語 (8)	高地 薫	駒場1号館	102
	08A9631031	A1A2	日本語 (31):アカデミックススキル (総合) (L3-4)	柿山 礼美	駒場10号館	10-202
	08B1012	A1A2	専門フランス語 (12)	ビゼ	駒場8号館	8-112
	08C1023A01	A2	文化人類学特殊講義a(政治人類学)	中川 理	駒場14号館	407
	08C1319	A1A2	現代哲学特殊演習III	湯浅 正彦	駒場1号館	154
	08C2248	A1A2	フランス研究演習III	ビゼ	駒場8号館	8-112
	08C2515	A1A2	特殊講義III[イタリア地中海研究コース]	水野 千依	駒場8号館	8-317
	08C2751	A1	スペイン研究II	下山 静香	駒場8号館	8-207
	08C32507	A1A2	特殊研究演習「外交政策演習」	東 大作	2IKOMCEE East	K114
	08D1509P	A1	人類進化学	近藤 修、大橋 順、 植田 信太郎、井原 泰雄、 長谷川 壽一	駒場12号館	1212
	08E1011	A1A2	常微分方程式論	米田 剛	駒場16号館	109
	08E1302	A1A2	認知行動科学方法論	四本 幸三, 各教員	駒場1号館	118
08F1105	A1	進化人類学	近藤 修	駒場12号館	1212	
08X140801	A1A2	グローバル教養特別演習IV(1)	東 大作	2IKOMCEE East	K114	
08X1010	A1A2	エネルギー科学概論	瀬川 浩司, 松本 真由美	駒場15号館	15-104	
5 時 限	08A4026	A1A2	共通中国語 (26) (中級作文)	柴 森	駒場1号館	104
	08A4032	A1A2	共通中国語 (32) (上級作文)	栗 興華	駒場1号館	150
	08A6008	A1A2	共通ポルトガル語 (8)	牧野 真也	駒場1号館	153
	08A9413	A1A2	ポランド語 (5)	小椋 彩	駒場1号館	108
	08C1021	A1A2	日本文化研究I	重信 幸彦	駒場8号館	8-209
	08C161917	A1A2	言語文化論特殊研究 (17)	崔 泰源	駒場11号館	1107
	08C2934	A1A2	韓国朝鮮社会文化論特殊講義	崔 泰源	駒場11号館	1107
	08C311511	A1A2	特殊講義「地域政策論」	植田 昌也	駒場12号館	1214
	08C321615	A1A2	特殊講義「アジア太平洋の国際関係」	川島 真	駒場8号館	8-210
	08D1220	A1A2	統計学実習(総合情報学コース)	嶋田 正和	情報教育棟	E42
	08D1310	A1A2	統計学実習[広域システムコース]	嶋田 正和	情報教育棟	E42
	08D1428	A1A2	環境と分子	クッドワード・ジョナサン・ロジャー	駒場11号館	8-205
	08D1509P	A1	人類進化学	近藤 修、大橋 順、 植田 信太郎、井原 泰雄、 長谷川 壽一	駒場12号館	1212
	08E1012	A1A2	常微分方程式論演習	米田 剛	駒場16号館	109
	08F1105	A1	進化人類学	近藤 修	駒場12号館	1212
	08F140621	A1A2	グローバル教養特別演習II(21)	クッドワード・ジョナサン・ロジャー	駒場8号館	8-205
	08X000303	A1A2	総合社会科学高度教養 (地域政策論)	植田 昌也	駒場12号館	1214
08X000304	A1A2	総合社会科学高度教養 (アジア太平洋の国際関係)	川島 真	駒場8号館	8-210	
6 時 限						

教養学部 専門科目時間割表

	金曜日					
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1時限	08B0006	A1A2	専門英語（6）	坪井 栄治郎	駒場10号館	10-101
	08C151201	A1A2	個別言語特殊演習（1）	坪井 栄治郎	駒場10号館	10-101
	08D1101	A1A2	自然環境論	松山 洋	駒場1号館	149
	08D1461	A1A2	科学技術と社会	ジロドウ イザベル	2IKOMCEE West	K401
2時限	08A0036	A1A2	共通英語（36）	ボター サイモン	駒場8号館	8-208
	08A4028	A1A2	共通中国語（28）（中級読解）	伊藤 博	駒場1号館	151
	08A8018	A1A2	共通韓国朝鮮語（18）（精読）	橋本 繁	駒場1号館	120
	08A9456	A1A2	上海語（4）（初級）	王 英輝	駒場1号館	115
	08B0022	A1A2	専門英語（22）	ミルズ アンソニー	駒場8号館	8-322
	08B7004	A1A2	専門イタリア語（4）	高桑 和巳	駒場8号館	8-321
	08C1001	A1A2	文化人類学基礎論	津田 浩司	駒場14号館	407
	08C130902	A1A2	倫理宗教論演習（2）[現代思想コース]	梶谷 真司	2IKOMCEE West	K303
	08C1414	A1A2	日本語学	矢田 勉	駒場8号館	8-110
	08C1522	A1A2	日本語学I	矢田 勉	駒場8号館	8-110
	08C161711	A1A2	批評理論文献講読I（11）	佐藤 元状	駒場5号館	516
	08C161921	A1A2	言語文化論特殊研究（21）	矢田 勉	駒場8号館	8-110
	08C2115	A1A2	特殊講義I[イギリス研究コース]	ミルズ アンソニー	駒場8号館	8-322
	08C2546	A1A2	イタリア思想文学テキスト分析演習I	高桑 和巳	駒場8号館	8-321
	08C2640	A1	アメリカ近代史	橋川 健竜	駒場8号館	8-112
	08C2643	A2	アメリカ文学テキスト分析	HONES SHEILA ANNE	駒場8号館	8-324
	08C2762	A1	特殊講義I[ラテンアメリカ研究コース]	久松 佳彰	駒場8号館	8-317
	08C2763	A2	特殊講義II[ラテンアメリカ研究コース]	久松 佳彰	駒場8号館	8-317
	08C2819	A1A2	特殊講義I[アジア・日本研究コース]	谷垣 真理子	駒場8号館	8-210
	08C2845	A1A2	特殊研究演習XI	後藤 絵美	駒場8号館	8-205
	08C321640	A1A2	特殊講義「ラテンアメリカ政治経済論」	久松 佳彰	駒場8号館	8-317
	08D1432	A1A2	物質環境科学III	岡部 徹	駒場1号館	117
	08E1013	A1A2	物理数学I[数理自然科学コース]	國場 敦夫	駒場16号館	109
	08E1107	A1A2	物理数学II[物質基礎科学コース]	國場 敦夫	駒場16号館	109
	08E1220	A2	構成・システム生物学[統合生命科学コース]	豊田 太郎、澤井 哲、若本 祐一	駒場16号館	129
	08E1324	A1A2	心理統計学	岡田 謙介	駒場11号館	1108
	08F10022	A1A2	倫理宗教論演習（2）[グローバル・エシックス]	梶谷 真司	2IKOMCEE West	K303
	08X000202	A1A2	地域文化研究高度教養（ヨーロッパ）	ミルズ アンソニー	駒場8号館	8-322
	08X000203	A1A2	地域文化研究高度教養（アジア）	谷垣 真理子	駒場8号館	8-210
	08X1003	A1A2	地理・空間基礎論I	荒井 良雄	駒場12号館	1213
3時限	08A3012	A1A2	共通ロシア語（12）	GOLUBOVSKAYA Liubov	駒場5号館	511
	08A9631081	A1A2	日本語（81）：地理・社会・ニュース（L6-L5）	寺尾 綾	駒場10号館	10-206
	08A9631101	A1A2	日本語（101）：チュートリアル（L3-L5）	片山 智子	駒場10号館	10-201
	08B0036	A1A2	専門英語（36）	金 志英	2IKOMCEE East	K114
	08B0067	A2	専門英語（67）	阪本 拓人	情報教育棟	E25
	08B1009	A1A2	専門フランス語（9）	森元 庸介	駒場8号館	8-317
	08B2005A	A1	専門ドイツ語（5）a	相澤 隆	駒場8号館	8-208
	08B2005B	A2	専門ドイツ語（5）b	相澤 隆	駒場8号館	8-208
	08B7001	A1A2	専門イタリア語（1）	日向 太郎	駒場8号館	8-112
	08C1022	A1A2	日本文化研究II	岩本 通弥	駒場14号館	407
	08C1105	A1A2	表象文化史	長木 誠司	駒場8号館	8-323
	08C1405	A1A2	日本言語文化論	小森 陽一	駒場8号館	8-210
	08C1525	A1A2	言語教育・学習論II[国際言語科学コース]	宇佐美 洋	駒場5号館	518
	08C160811	A1A2	テキスト分析演習I（11）	日向 太郎	駒場8号館	8-112
	08C1615	A1A2	言語教育・学習論I[言語・テキスト文化論コース]	宇佐美 洋	駒場5号館	518
	08C161920	A1A2	言語文化論特殊研究（20）	小森 陽一	駒場8号館	8-210
	08C2222	A1A2	フランス表象芸術論演習	森元 庸介	駒場8号館	8-317
	08C2310A	A1	ドイツ都市文化論a	相澤 隆	駒場8号館	8-208
	08C2310B	A2	ドイツ都市文化論b	相澤 隆	駒場8号館	8-208
	08C2411	A1A2	ロシア東欧の地理	雲 和広	駒場1号館	158
	08C2509	A1A2	イタリア地中海言語文化論	日向 太郎	駒場8号館	8-112
	08C2606	A1A2	アメリカ経済論	杉浦 哲郎	駒場5号館	521
	08C2746	A1	ラテンアメリカ社会・民族IV	和田 毅	駒場8号館	8-113
	08C2831	A1A2	中国地域特殊演習	田原 史起	駒場8号館	8-321
	08C2846	A1A2	特殊研究演習XII	金 志英	2IKOMCEE East	K114
	08C311535	A1A2	特殊講義「日本社会研究」	松原 隆一郎	駒場1号館	155
	08C3203	A1A2	国際経済	竹野 太三	2IKOMCEE East	K112
	08C322519	A2	特殊研究演習「計算社会科学入門」	阪本 拓人	情報教育棟	E25
	08C4056	A1A2	歴史・地域研究特殊演習II	金 志英	2IKOMCEE East	K114
	08C4058	A2	国際社会分析特殊演習II	阪本 拓人	情報教育棟	E25
	08D1006	A1A2	科学技術史演習IV	橋本 毅彦	駒場1号館	119
	08D1124	A1A2	ロシア・東欧の自然と社会	雲 和広	駒場1号館	158
	08D1206	A1A2	情報数理学演習I	中村 政隆、柏原 賢二	駒場15号館	15-104
	08D1340901	A1A2	広域システム特論III（1）	中村 政隆、柏原 賢二	駒場15号館	15-104
	08D1426	A1A2	最適化・意思決定論	前田 章	駒場8号館	8-206
	08E1009	A1A2	複素解析学	石村 直之	駒場16号館	109
	08E1311	A1A2	行動適応論	丹野 義彦	駒場13号館	1312
	08F140601	A2	グローバル教養特別演習II（1）	阪本 拓人	情報教育棟	E25
	08F140613	A1A2	グローバル教養特別演習II（13）	金 志英	2IKOMCEE East	K114
	08X1011	A1A2	環境エネルギー・経済学	松井 英生	駒場8号館	8-205

	金曜日					
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
4時限	08A1012	A1A2	共通フランス語（12）（会話）	ビゼ	駒場1号館	153
	08A4024	A1A2	共通中国語（24）（中級会話）	毛 興華	駒場1号館	149
	08A9405	A1A2	セルビア・クロアチア語（5）	山崎 信一	駒場1号館	114
	08A9430	A1A2	ベトナム語（6）	加藤 栄	駒場1号館	116
	08B0054	A1A2	専門英語（54）	野瀬 摩利子	駒場8号館	8-112
	08B0067	A2	専門英語（67）	阪本 拓人	情報教育棟	E25
	08B0068	A1A2	専門英語（68）	ワトソン アレックス	駒場8号館	8-209
	08C1304	A1A2	現代思想演習	石井 剛	駒場8号館	8-317
	08C1408	A1A2	国際日本文化研究	野瀬 摩利子	駒場8号館	8-112
	08C1514	A1A2	言語の対照と類型II	藤井 聖子	駒場18号館	18階B1F77号
	08C2136	A1A2	特殊研究演習V[Iイギリス研究コース]	西川 彬、ワトソン アレックス	駒場8号館	8-209
	08C2447	A1A2	ロシア東欧研究V	蓮見 雄	駒場12号館	1221
	08C2823	A1A2	特殊講義V[アジア・日本研究コース]	石井 剛	駒場8号館	8-317
	08C311508	A1A2	特殊講義「開発経済学」	中西 徹	駒場8号館	8-210
	08C3213	A1A2	経済発展	中西 徹	駒場8号館	8-210
	08C322519	A2	特殊研究演習「計算社会科学入門」	阪本 拓人	情報教育棟	E25
	08C4058	A2	国際社会分析特殊演習II	阪本 拓人	情報教育棟	E25
	08D1042	A1A2	科学技術社会論特論V	田中 幹人	駒場5号館	517
	08D1206	A1A2	情報数理学演習I	中村 政隆、柏原 賢二	駒場12号館	15-104
	08D1340901	A1A2	広域システム特論III（1）	中村 政隆、柏原 賢二	駒場15号館	15-104
	08D1437	A2	エネルギー資源論II	時松 宏治	駒場11号館	1105
	08E1010	A1A2	複素解析学演習	石村 直之	駒場16号館	109
	08E1168	A1A2	有機化学I	豊田 太郎	駒場16号館	119
	08E1301	A1A2	認知行動科学研究法	岡 隆	駒場12号館	1214
	08F140601	A2	グローバル教養特別演習II（1）	阪本 拓人	情報教育棟	E25
	08H006442	A2	東西文明学II（環境と身体2）	白 佐立	駒場8号館	8-321
	08X400102	A1A2	高度教養特殊講義（こころの総合人間科学特論）	小池 進介	駒場13号館	1312
5時限	08A8012	A1A2	共通韓国朝鮮語（12）（文法）	金 亨貞	駒場1号館	114
	08B0039	A1A2	専門英語（39）	佐藤 安信	2IKOMCEE West	K401
	08B0071	A1A2	専門英語（71）	エリス 俊子	駒場8号館	8-207
	08C1551	A1A2	言語科学への招待	吉川 雅之	駒場5号館	512
	08C2209	A1A2	広域フランス語圏文化論	森山 工	駒場8号館	8-205
	08C2209A	A1	広域フランス語圏文化論a	森山 工	駒場8号館	8-205
	08C2209B	A2	広域フランス語圏文化論b	森山 工	駒場8号館	8-205
	08C2836	A1A2	特殊研究演習III[アジア・日本研究コース]	佐藤 安信	2IKOMCEE West	K401
	08C322505	A1	特殊研究演習「国際経済理論演習」	受田 宏之	駒場1号館	118
	08C4054	A1A2	歴史・地域研究特論II	佐藤 安信	2IKOMCEE West	K401
	08D1017	A1A2	科学技術史特論I	吉本 秀之	駒場11号館	1107
	08D1201	A1A2	情報数理学II[総合情報学コース]	山口 和紀	駒場15号館	15-104
	08D1303	A1A2	情報数理学II[広域システムコース]	山口 和紀	駒場15号館	15-104
	08D1422	A1	環境測定法II	沖 一雄、竹内 渉	生産研As棟	301
	08D1437	A2	エネルギー資源論II	時松 宏治	駒場11号館	1105
	08F1315	A1	科学技術インタープリター実験実習I	孫 大輔、江間 有沙	医学部教育研究棟	13階SPH講義室
	08F140102	A1A2	グローバル教養実践演習（2）	エリス 俊子	駒場8号館	8-207
	08F140603	A1A2	グローバル教養特別演習II（3）	佐藤 安信	2IKOMCEE West	K401
	08H006442	A2	東西文明学II（環境と身体2）	白 佐立	駒場8号館	8-321
	08X000106	A1A2	超域文化科学高度教養（言語科学への招待）	吉川 雅之	駒場5号館	512
	08X2006	A1A2	Advanced ALESS I	テラシマ アレクサンドラ	2IKOMCEE East	K112
	08X400101	A1A2	高度教養特殊講義（こころの総合人間科学概論）	長谷川 壽一、小池 進介	駒場13号館	1312
6時限	08F1315	A1	科学技術インタープリター実験実習I	孫 大輔	医学部教育研究棟	13階SPH講義室

教養学部 専門科目時間割表

	集中					
	時間割 コード	開講 区分	科目名	教員名	建物	教室
	08B0058	A1A2	専門英語 (58)	アッシュ イアン トーマス	2IKOMCEE West	K402
	08C161916	A1A2	言語文化論特殊研究 (16)	Miller David, 田尻 芳樹		
	08C2458	A1A2	ロシア東欧特殊研究演習VI	月村 太郎		
	08C403302	A1A2	国際日本研究特論II	園田 茂人		
	08C403305	A1A2	国際日本研究特論V	アッシュ イアン トーマス		
	08C403321	A1A2	国際日本研究特論XXI	Miller David, 田尻 芳樹		
	08D1106	A1A2	地理・空間フィールドワークI	荒井 良雄		
	08D12481	A1A2	外国語論文講読I	山口 和紀		
	08D12482	A1A2	外国語論文講読I	山口 泰		
	08D12483	A1A2	外国語論文講読I	福永 アレックス		
	08D12484	A1A2	外国語論文講読I	金井 崇		
	08D12485	A1A2	外国語論文講読I	金子 知通		
	08D1410	A2	環境リスク論	松田 裕之		
	08E1217	A1A2	生命の多様性	道上 達男, 矢島 潤一郎		
	08F1117	A1A2	進化認知脳科学演習	中谷 裕教, 岡ノ谷 一夫		
	08F1306	A1A2	現代科学技術概論II	中村 征樹		
	08F140811	A1A2	グローバル教養特別演習IV (11)	アッシュ イアン トーマス		
	08F140812	A2	グローバル教養特別演習IV (12)	山中 由里子		
	08H006512	A1A2	東西文明学III(思想と批評2)	清水 剛		
	08H006522	A1A2	東西文明学III(言語と歴史2)	清水 剛		
	08H006532	A1A2	東西文明学III(国際社会科学2)	清水 剛		
	08H006542	A1A2	東西文明学III(環境と身体2)	清水 剛		
	08X400205	A1A2	高度教養特殊演習(進化認知科学実習)	中谷 裕教, 小池 遼介, 明地 洋典		
	08X500103	A1A2	後期国際研修 (3)	矢口 祐人		

教育学部 専門科目時間割表

※ 教育学部学生支援チーム：03-5841-3907
※ 最新の開講場所については、UTASシラバス、教育学部の時間割冊子等を確認してください。

	月曜日					
	時間割 コード	開講 区分	科目名	教員名	建物	教室
1 時 限	0998001	A1A2	学校はデータでどう描けるか	藤田 武志	駒場5号館	512
	0998008	A1	身体教育学概論I	森田 賢治, 山本 義春, 野崎 大地	教育学部棟	158講義室
	0998009	A2	身体教育学概論II	多賀 厳太郎, 佐々木 司, 東郷 史治	教育学部棟	158講義室
2 時 限	0998003	A1	教育行財政学	勝野 正章, 村上 祐介	駒場5号館	514
3 時 限	0998004	A1	社会教育論I	李 正連	駒場5号館	531
	0998002	A2	学校教育学概論	斎藤 兆史, 藤江 康彦, 浅井 幸子	駒場5号館	521
4 時 限	0998004	A1	社会教育論I	李 正連	駒場5号館	531
	0998002	A2	学校教育学概論	北村 友人, 斎藤 兆史, 藤江 康彦, 浅井 幸子	駒場5号館	521
5 時 限	0999211	A1A2	教育相談I	東海林 麗香	駒場12号館	1222
	0999107	A1A2	地理歴史科教育法III	小林 汎	教育学部棟	159講義室
	0999124	A1	教育方法論	渡辺 貴裕	教育学部棟	158講義室
6 時 限	0999124	A1	教育方法論	渡辺 貴裕	教育学部棟	158講義室

	火曜日					
	時間割 コード	開講 区分	科目名	教員名	建物	教室
1 時 限	0999110	A1A2	数学科教育法III	加々美 勝久	教育学部棟	109講義室
2 時 限						
3 時 限						
4 時 限	0999207	A1A2	教育と社会	西島 央	駒場12号館	1225
	0999105	A1A2	社会科教育法IV	橋本 渉	教育学部棟	356演習室
	0991303	A1A2	教育文化論演習	田中 智志	教育学部棟	109講義室
5 時 限						
6 時 限	0999204	A1A2	特別活動論	滝 充	駒場13号館	1313

専門科目時間割表

教育学部 専門科目時間割表

	水曜日					
	時間割 コード	開講 区分	科目名	教員名	建物	教室
1 時 限						
2 時 限						
3 時 限						
4 時 限						
5 時 限						
6 時 限						

	木曜日					
	時間割 コード	開講 区分	科目名	教員名	建物	教室
1 時 限	0998008	A1	身体教育学概論I	森田 賢治, 山本 義春, 野崎 大地	教育学部棟	158講義室
	0998009	A2	身体教育学概論II	多賀 徹太郎, 佐々木 司, 東郷 史治	教育学部棟	158講義室
2 時 限	0998003	A1	教育行財政学	勝野 正章, 村上 祐介	駒場5号館	514
3 時 限	0998007	A1A2	教育心理学実験演習 I	藤村 宣之, 市川 伸一, 能智 正博, 下山 晴彦, 秋田 喜代美, 針生 悦子, 高橋 美保, 南風原 朝和, 岡田 猛, 滝沢 龍, 遠藤 利彦, 植阪 友理	教育学部棟	159講義室
4 時 限	0998005	A1A2	情報・資料分析論演習	影浦 峯	情報教育棟	E41
	0998007	A1A2	教育心理学実験演習 I	藤村 宣之, 市川 伸一, 能智 正博, 下山 晴彦, 秋田 喜代美, 針生 悦子, 高橋 美保, 南風原 朝和, 岡田 猛, 滝沢 龍, 遠藤 利彦, 植阪 友理	教育学部棟	159講義室
5 時 限	0998010	A1A2	教育資料調査法演習	影浦 峯	駒場1号館	155
6 時 限						

教育学部 専門科目時間割表

	金曜日					
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1時限	0999126	A1A2	教育相談II	伊藤 直樹	赤門総合研究棟	A200講義室
2時限	0998006	A1A2	心理統計学I	岡田 謙介	駒場11号館	1108
3時限						
4時限	0991302	A1A2	価値と教育Ⅱ	片山 勝茂	教育学部棟	109講義室
5時限	0999120	A1A2	特別活動の指導法	森 俊二	教育学部棟	109講義室
6時限						

専門科目時間割表

薬学部 専門科目時間割表

※ 薬学部教務チーム：03-5841-4703
※ 最新の開講場所については、UTASシラバス、薬学部の時間割冊子等を確認してください。

	月曜日					
	時間割 コード	開講 区分	科目名	教員名	建物	教室
1 時 限						
2 時 限	1011126	A1	機能形態学	名黒 功, 小山 隆太, 富田 泰輔, 池谷 裕二, 山口 良文, 一條 秀憲, 三浦 正幸	薬学部	西館1F 西講義室
	1012128	A2	製剤設計学	楠原 洋之, 前田 和哉	薬学部	西館1F 西講義室
3 時 限	1012127	A2	微生物学・化学療法学	垣内 力, 堀 昌平	薬学部	西館1F 西講義室
	1012129	A1	薬事法・特許法	榊田 祥子, 小野 俊介	薬学部	西館1F 西講義室
4 時 限	1011115	A2	物理化学III	清水 敏之, 大戸 梅治	薬学部	西館1F 西講義室
	1011129	A1	薬理学I	池谷 裕二	薬学部	西館1F 西講義室
5 時 限						

	火曜日					
	時間割 コード	開講 区分	科目名	教員名	建物	教室
1 時 限						
2 時 限	1011146	A1	分子生物学	村田 茂穂, 八代田 英樹	薬学部	西館1F 西講義室
	1012253	A2	医薬品・医療ビジネス	木村 廣道	薬学部	西館1F 西講義室
3 時 限	1011147	A1	薬物動態制御学	楠原 洋之, 前田 和哉	薬学部	西館1F 西講義室
	1011159	A2	病理学	富田 泰輔	薬学部	西館1F 西講義室
4 時 限	1012236	A1	生物統計学	五十嵐 中	薬学部	講堂
	1012304	A2	構造分子薬学	清水 敏之, 嶋田 一夫, 大戸 梅治	薬学部	西館1F 西講義室
5 時 限						

薬学部 専門科目時間割表

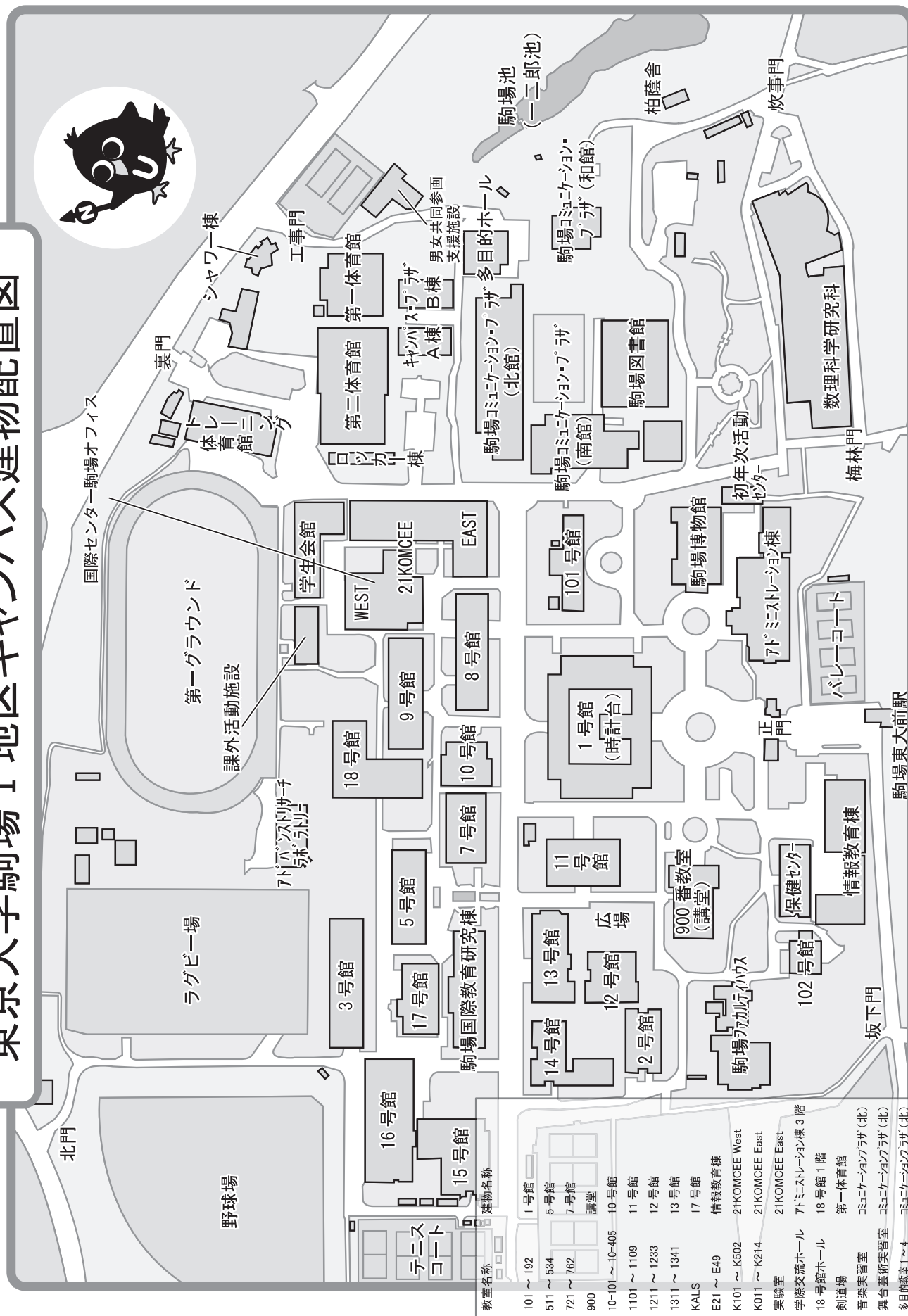
	水曜日					
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1時限						
2時限	1011156	A2	機能生物学	後藤 由季子	薬学部	西館1F 西講義室
	1012204	A1	免疫学	東 伸昭,堀 昌平	薬学部	西館1F 西講義室
3時限	1011148	A1	有機化学I	井上 将行	薬学部	西館1F 西講義室
	1011150	A2	有機化学III	内山 真伸,宮本 和範	薬学部	西館1F 西講義室
4時限	1011113	A1	物理化学I	嶋田 一夫,西田 紀貴	薬学部	西館1F 西講義室
	1012130	A2	医薬品評価科学	小野 俊介	薬学部	西館1F 西講義室
5時限						

	木曜日					
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1時限						
2時限	1011157	A2	医療薬学	高田 龍平,鈴木 洋史	薬学部	西館1F 西講義室
	1011158	A1	放射化学	秋光 信佳	薬学部	西館1F 西講義室
3時限	1011114	A1	物理化学II	角田 誠,船津 高志	薬学部	西館1F 西講義室
	1011151	A2	有機化学IV	金井 求	薬学部	西館1F 西講義室
4時限	1011154	A1	分析化学I	三田 智文	薬学部	西館1F 西講義室
	1012126	A2	公衆衛生学	五十嵐 中	薬学部	西館1F 西講義室
5時限						

薬学部 専門科目時間割表

	金曜日					
	時間割 コード	開講 区分	科目名	教員名	建物	教室
1 時 限						
2 時 限	1011153	A1	細胞生物学	新井 洋由, 富田 泰輔, 福山 征光	薬学部	西館1F 西講義室
	1012233	A2	発生遺伝学	山口 良文, 三浦 正幸	薬学部	西館1F 西講義室
3 時 限	1011101	A1	薬学概論	一條 秀憲	薬学部	西館1F 西講義室
	1011155	A2	分析化学II	角田 誠, 船津 高志	薬学部	西館1F 西講義室
4 時 限	1011149	A1	有機化学II	大和田 智彦, 尾谷 優子	薬学部	西館1F 西講義室
	1011301	A2	創薬科学	池谷 裕二, 金井 求	薬学部	西館1F 西講義室
5 時 限						

東京大学駒場Ⅰ地区キャンパス建物配置図



教室名称	建物名称
101 ~ 192	1号館
511 ~ 534	5号館
721 ~ 762	7号館
900	講堂
10-101 ~ 10-405	10号館
1101 ~ 1109	11号館
1211 ~ 1233	12号館
1311 ~ 1341	13号館
KALS	17号館
E21 ~ E49	情報教育棟
K101 ~ K502	21KOMCEE West
K011 ~ K214	21KOMCEE East
実験室	21KOMCEE East
学際交流ホール	アドミニストレーション棟 3階
18号館ホール	18号館 1階
剣道場	第一体育館
音楽実習室	コミュニケーションプラザ (北)
舞台芸術実習室	コミュニケーションプラザ (北)
多目的教室 1 ~ 4	コミュニケーションプラザ (北)
身体運動実習室 1 ~ 3	コミュニケーションプラザ (北)

本郷地区建物配置図

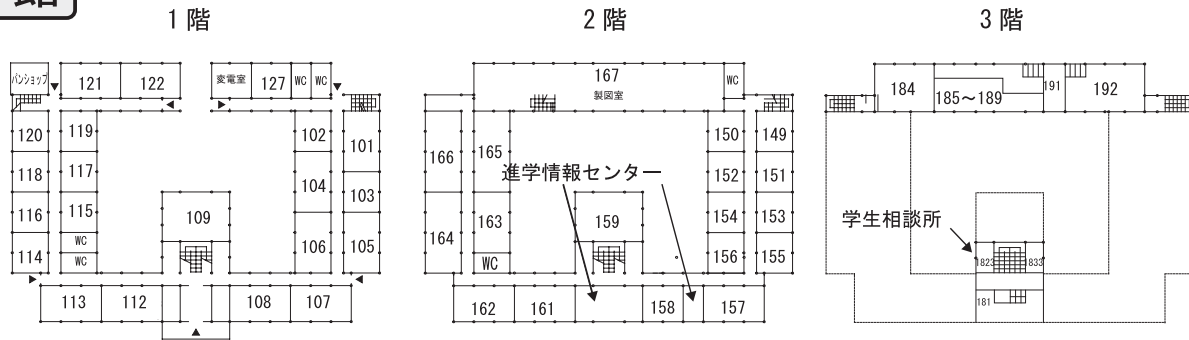
- ① 法学部・法政治学研究科事務 (法文1号館2F)
- ② 医学部・医学系研究科事務 (医学部2号館本館1F)
- ③ 工学部・工学系研究科事務 (工学部8号館1F)
- ④ 文学部・人文社会系研究科事務 (法文2号館1F)
- ⑤ 理学部・理学系研究科事務 (理学部1号館1F)
- ⑥ 農学部・農学生命科学研究科事務 (農学部3号館1F)
- ⑦ 経済学部・経済学研究科事務 (経済学研究科棟5F)
- ⑧ 教育学部・教育学研究科事務 (教育学部1F)
- ⑨ 薬学部・薬学研究科事務 (薬学部1F)
- ⑩ 情報理工学系研究科事務 (工学部8号館1F)
- ⑪ 学際情報学府事務 (情報学連・学際情報学府1F)
- ⑫ 公共政策大学院事務 (第2本部棟5F)

- ① 総合図書館
- ② 情報基盤センター
- ③ 教育・学生支援部 (学生支援課)
- ④ 教育・学生支援部 (奨学厚生課)
- ⑤ 国際部 (留学生・外国人研究者支援課)
- ⑥ キャリアサポート室
- ⑦ なんでも相談コーナー
- ⑧ コミュニケーション・林・ホールム
- ⑨ 学生相談所
- ⑩ ピアサポートルーム
- ⑪ バリアフリー支援室
- ⑫ 保健センター
- ⑬ ハラスメント相談所
- ⑭ 警備室

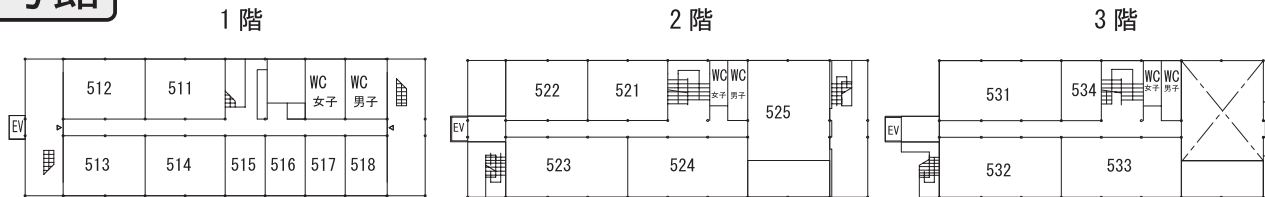


教養学部 教室配置図

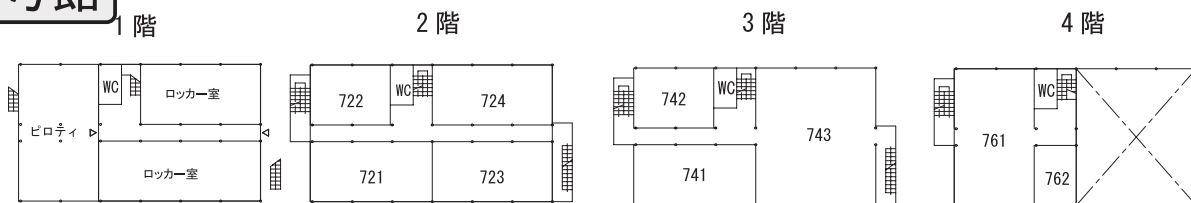
1号館



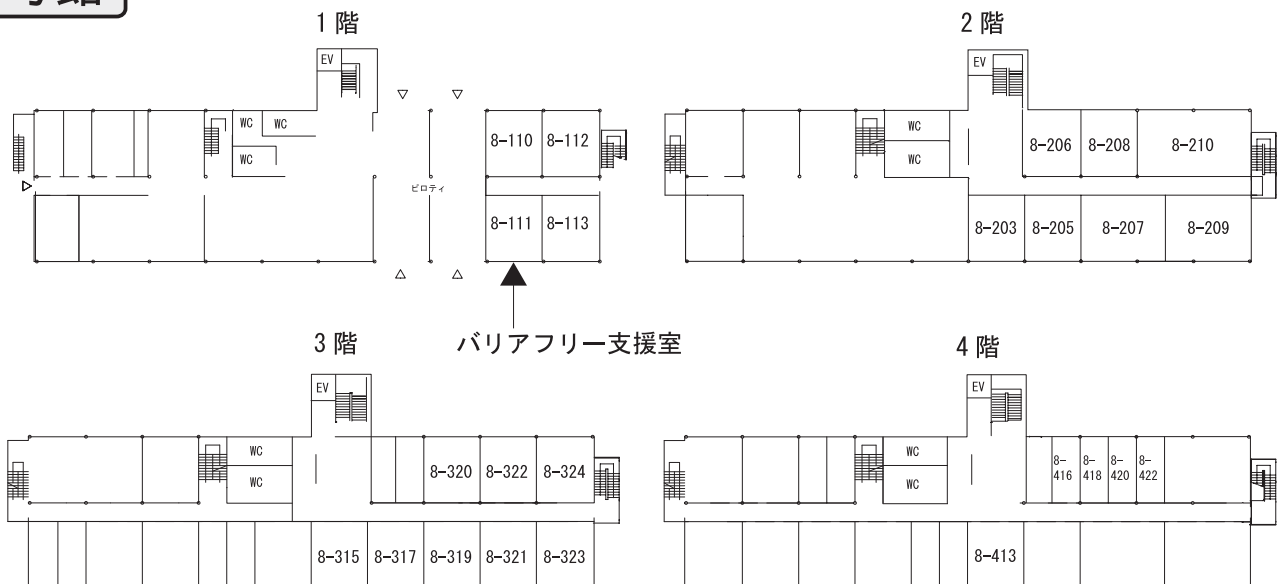
5号館



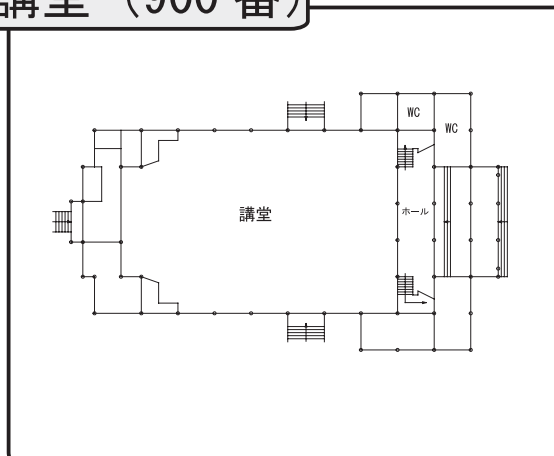
7号館



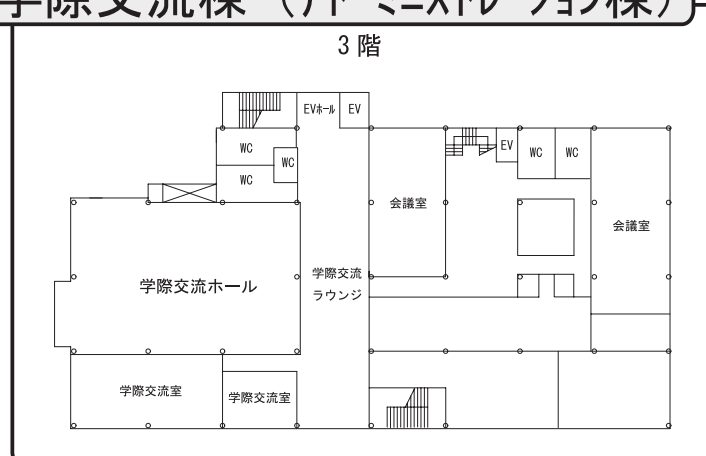
8号館



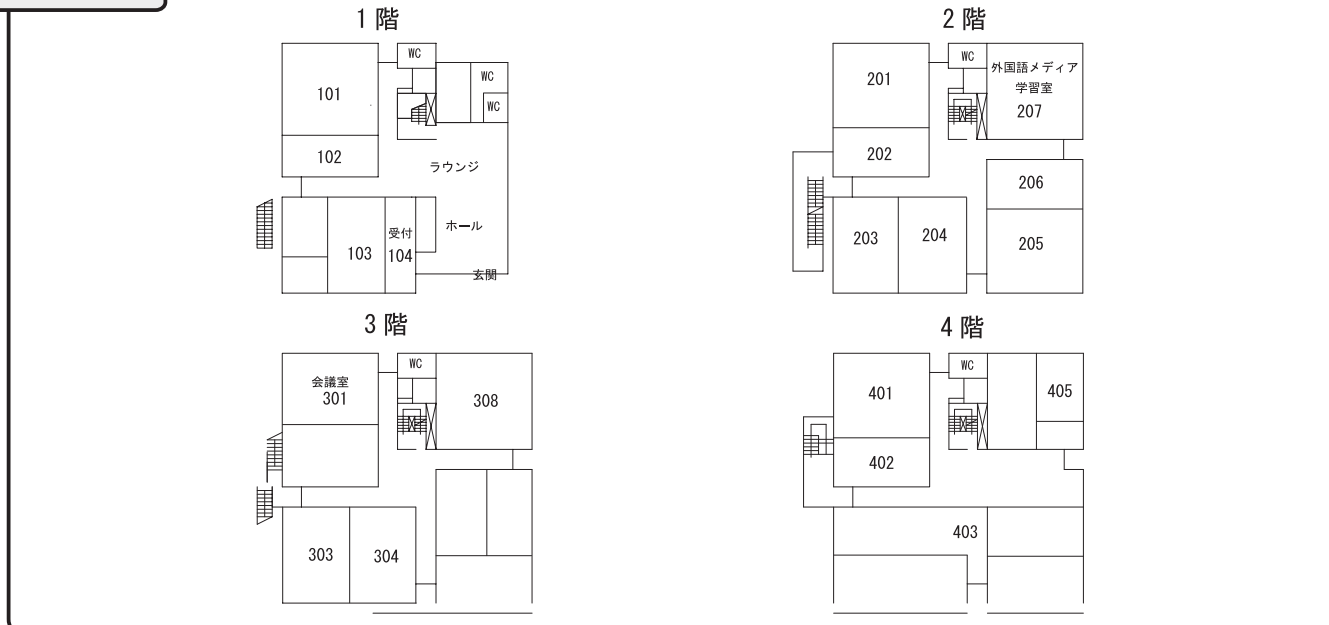
講堂（900 番）



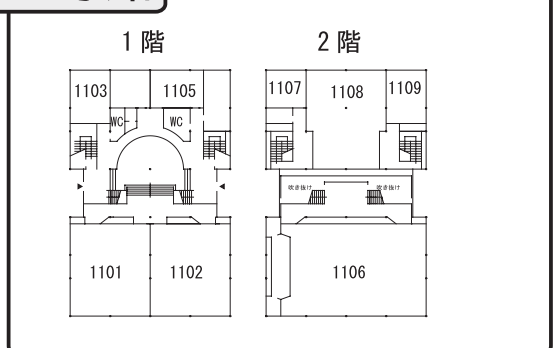
学際交流棟（アドミニストレーション棟）



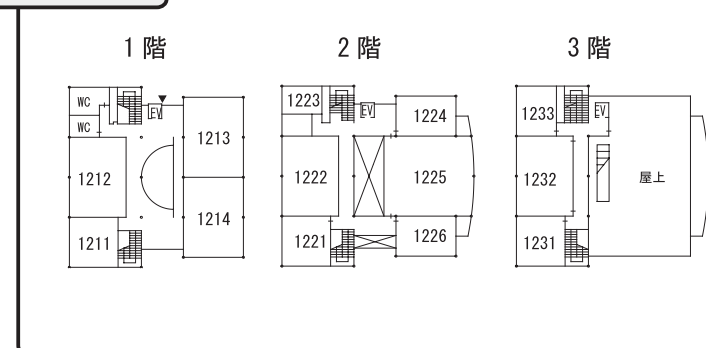
10 号館



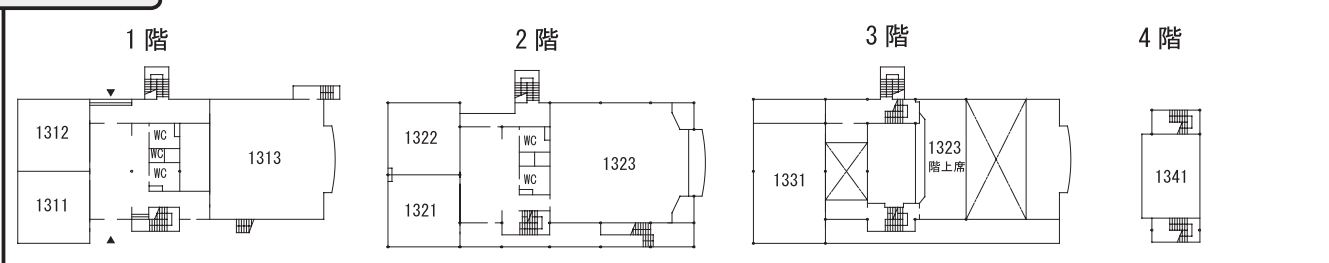
11 号館



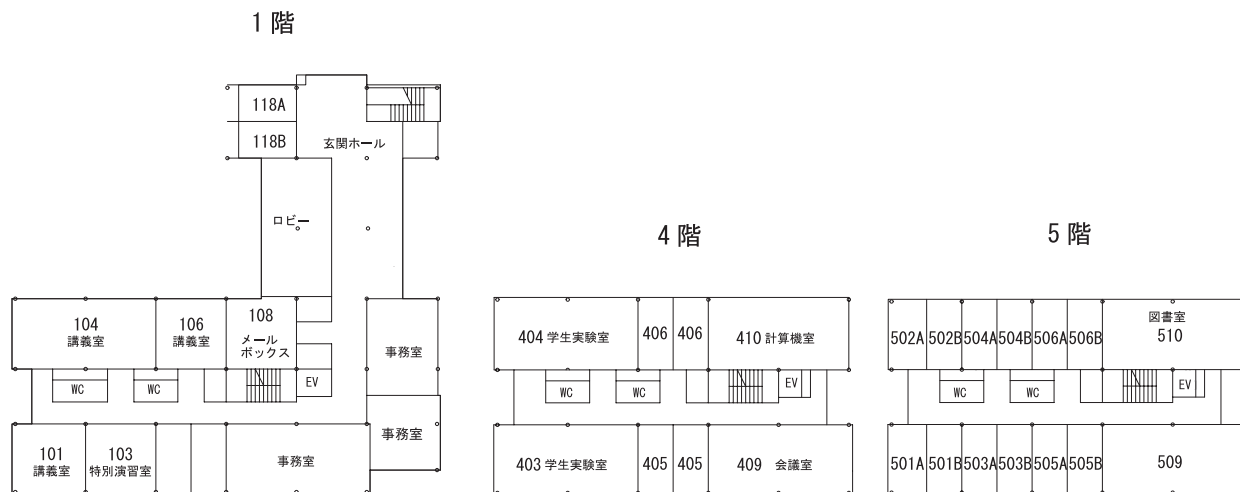
12 号館



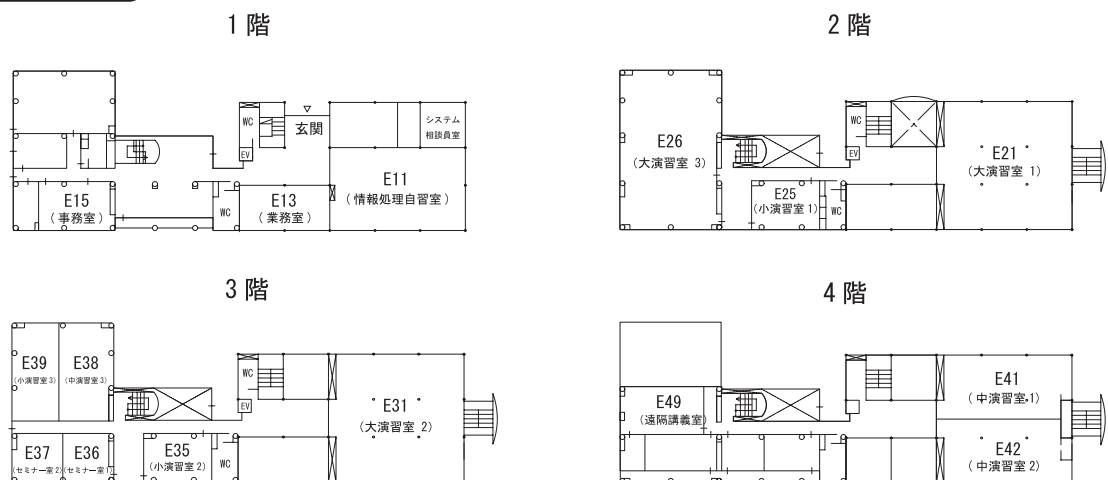
13 号館



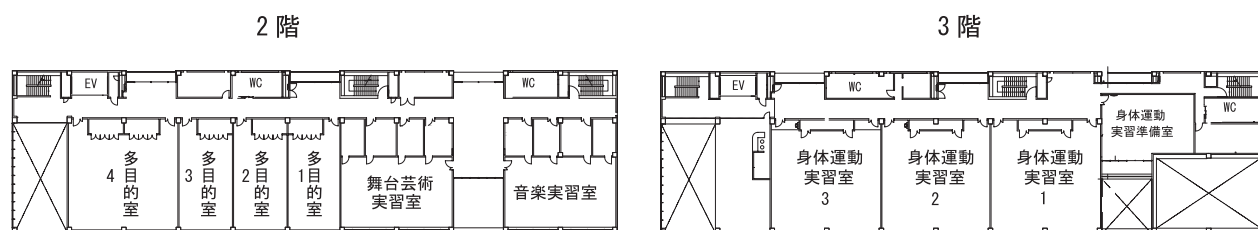
15 号館



情報教育棟

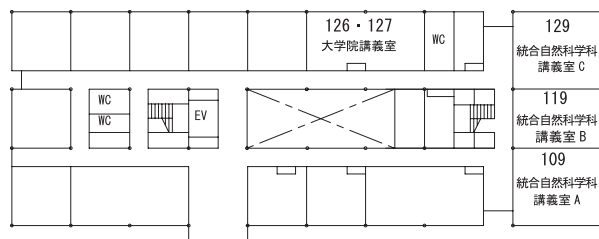


コミュニケーションプラザ（北館）

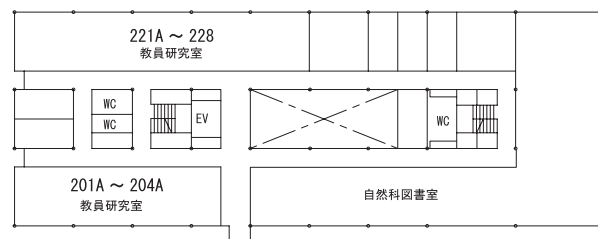


16 号館

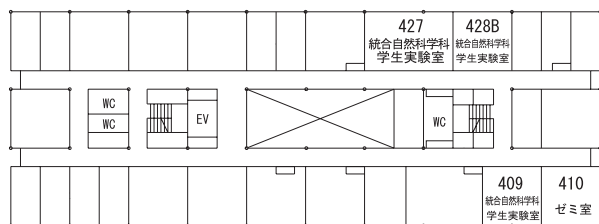
1 階



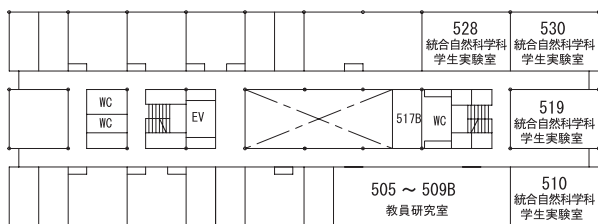
2 階



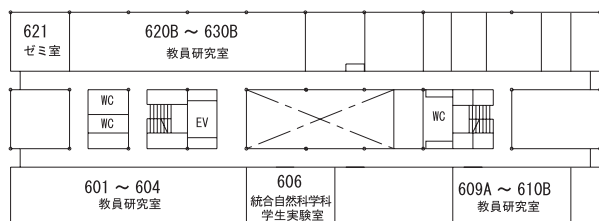
4 階



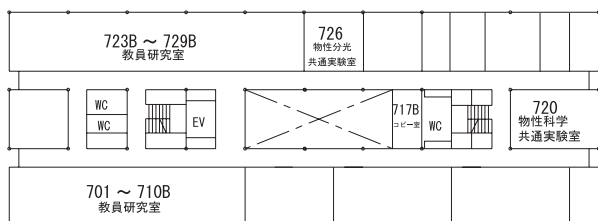
5 階



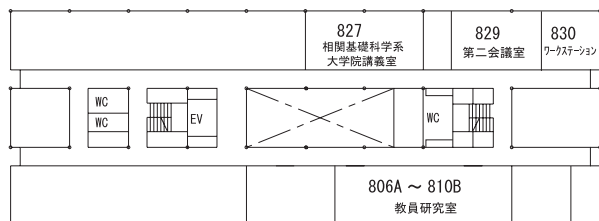
6 階



7 階

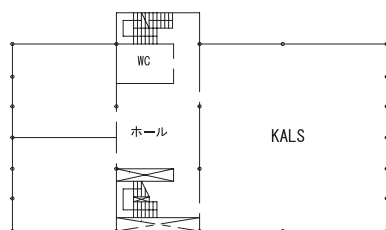


8 階

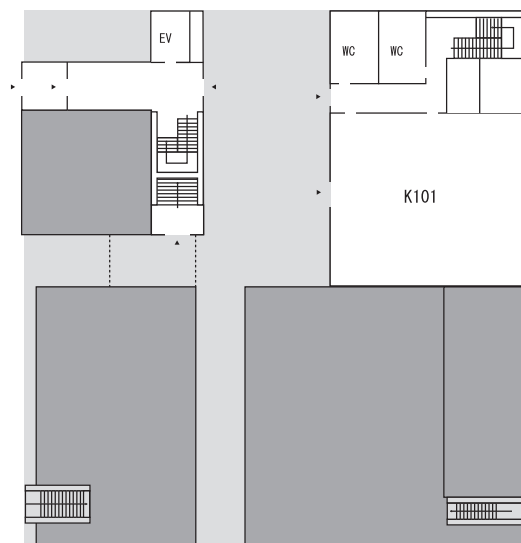


17 号館

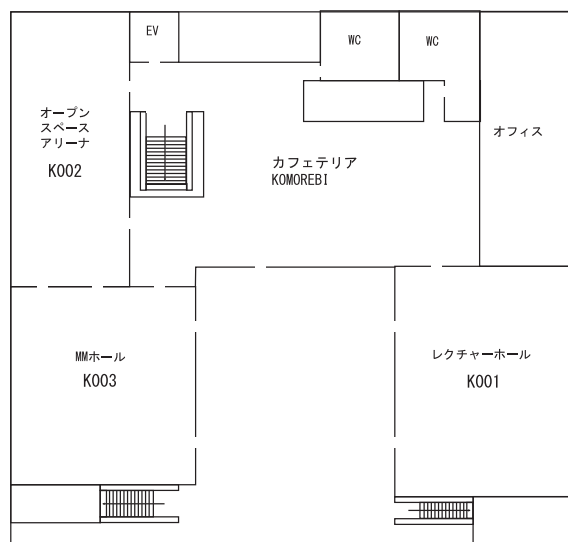
2 階



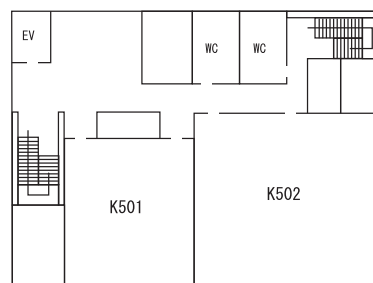
21KOMCEE West



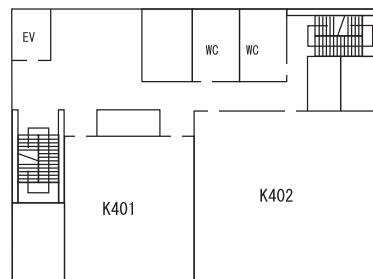
1階



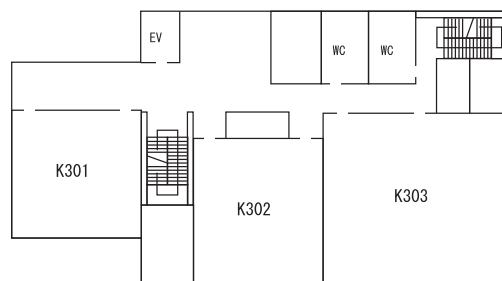
B1階



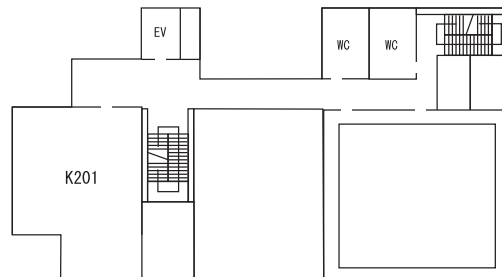
5階



4階



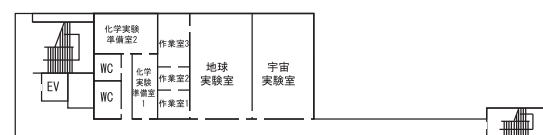
3階



2階

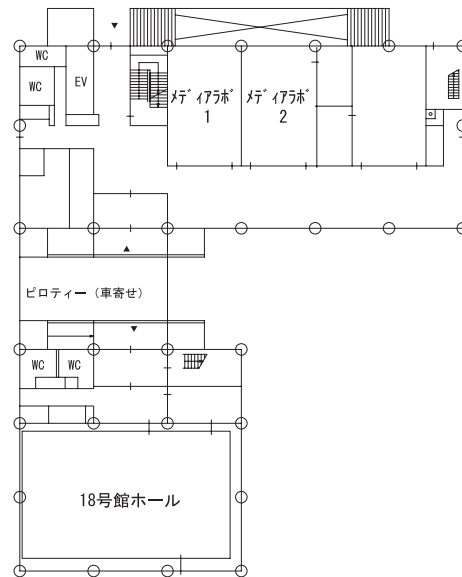


3階

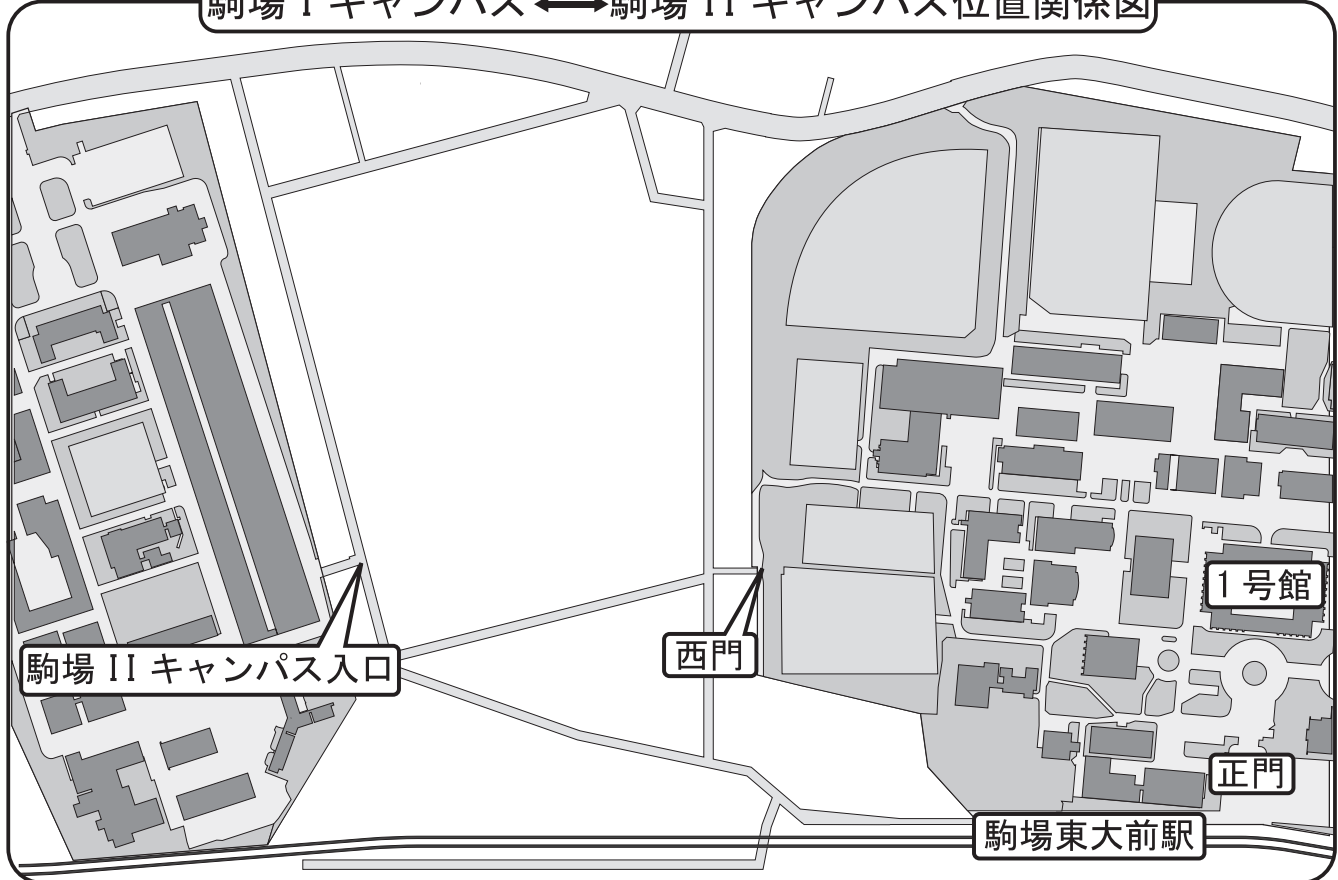


18 号館

1 階



駒場Ⅰキャンパス ↔ 駒場Ⅱキャンパス位置関係図



年Aセメスター-A1/A2ターム時間割表

この授業を

6限と集中の時間割は裏面へ！

[illegible]



6

18:45
20:30

集中

月

火

水

木

金

先生 教室 基展 曲 A A1 総主 先生 教室 基展 曲 A2 総主 先生 教室 基展 曲 A A1 総主 先生 教室 基展 曲 A2 総主	先生 教室 基展 曲 A A1 総主 先生 教室 基展 曲 A2 総主	先生 教室 基展 曲 A A1 総主 先生 教室 基展 曲 A2 総主	先生 教室 基展 曲 A A1 総主 先生 教室 基展 曲 A2 総主	先生 教室 基展 曲 A A1 総主 先生 教室 基展 曲 A2 総主	先生 教室 基展 曲 A A1 総主 先生 教室 基展 曲 A2 総主
先生 教室 基展 曲 A A1 総主 先生 教室 基展 曲 A2 総主	先生 教室 基展 曲 A A1 総主 先生 教室 基展 曲 A2 総主	先生 教室 基展 曲 A A1 総主 先生 教室 基展 曲 A2 総主	先生 教室 基展 曲 A A1 総主 先生 教室 基展 曲 A2 総主	先生 教室 基展 曲 A A1 総主 先生 教室 基展 曲 A2 総主	先生 教室 基展 曲 A A1 総主 先生 教室 基展 曲 A2 総主

履修登録期間

A1
A2
月 日 時 分 ~ 月 日 時 分

履修訂正期間

A1
月 日 時 分 ~ 月 日 時 分

A2
月 日 時 分 ~ 月 日 時 分

成績発表日

月 日 時 分

成績確認願申請期間

月 日 時 分 ~ 月 日 時 分

成績の原評価（点数）閲覧期間

月 日 時 分 ~

登録忘れないように！

試験

1 限
08:40~

2 限
10:35~

3 限
13:10~

4 限
15:05~

5 限
17:00~

/					
/					
/					
/					
/					
/					
/					
/					
/					
/					
/					
/					



履修控えと成績表は
セメスター毎に印刷しよう！